



2024年度
Aセメスタ(A1・A2)
科目紹介(シラバス抜粋)

東京大学教養学部前期課程

はじめに

この冊子には、2024年度のA Semesterに教養学部前期課程の1・2年生に対して開講される講義内容の概要（『科目紹介』）が記載されています。

『科目紹介』では、授業計画時点での時間割ごとに講義に関する情報を記載していますが、より詳しい・最新の情報は、UTAS (<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/>) のシラバスで公開・更新していますので、履修を検討している講義については必ず参照してください。

それぞれの講義内容をよく比較して、各自履修計画を立ててください。なお、こちらは『履修の手引き』のI-4に掲載されている、(表2)「前期課程で各科類の学生が取得すべき必要最低単位数」の順に記されています。

入学時に配付された『履修の手引き』を参照して、前期課程の修了要件を満たすためにはどの科目群からどの程度の単位の履修が必要か、進学志望の学部・学科等の要望科目・要求科目はどうなっているか、将来進むべき専門分野の基礎知識を十分につけ、あわせて幅広く深い教養を身につけるためにはどのような組み合わせで講義を履修するのがよいかなどを十分に考えて、バランスよく履修計画を立ててください。

A セメスター (A1・A2 ターム) 科目紹介

この電子ブックにはA セメスター (A1・A2 ターム) に開講される科目の科目紹介 (シラバス抜粋) が掲載されていますので、履修計画を立てる際の参考にしてください。各授業のシラバスは、UTAS にログインの上、画面上「シラバス」メニューから「(シラバス参照)」を選択することで参照ができます。UTAS 上のシラバスは本冊子の科目紹介よりも多くの情報が掲載されていますので、履修を考えている授業については、必ず UTAS 上のシラバスを参照するようにしてください。

科目紹介 (シラバス) 例 (科目ごとに掲載されている項目・情報は異なります)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	単位	対象
①	②	東大概論	駒場 太郎	③	④	⑤	⑥
講義題目		⑦					
目標概要							

①時間割コード

それぞれの授業に割り振られている固有の番号です。UTAS でシラバスを参照する際などに使用します。

②開講区分

授業が開講される期間を示します。それぞれの表示は以下の期間での開講を表します。

開講区分	正式名称	授業の開講期間
A	A セメスター	概ね 10～1 月
A1	A1 ターム	概ね 10～11 月
A2	A2 ターム	概ね 12～1 月

授業日の詳細については、授業日程を参照してください。

③所属

教養学部（総合文化研究科）が開講する授業は、開講元の部会名又は学科（専攻）が掲載されています。他学部・研究科等が開講する授業は、当該学部・研究科等の名前が掲載されています。

開講所属凡例

教養学部前期課程部会
英語
ドイツ語
フランス語・イタリア語
中国語
韓国朝鮮語
ロシア語
スペイン語
古典語・地中海諸言語
法・政治
経済・統計
社会・社会思想史
国際関係
歴史学
国文・漢文学
文化人類学
哲学・科学史
心理・教育学
人文地理学
物理
化学
生物
情報・図形
宇宙地球
相関自然
スポーツ・身体運動
数学
PEAK 前期
日本語
先進科学

教養学部
統合自然科学科

総合文化研究科
言語情報科学専攻
超域文化科学専攻
表象文化論コース
超域文科化学専攻
比較文学比較文化コース
地域文化研究専攻
地域文化研究専攻
アジア・日本文化研究コース

その他（後期課程諸学部、全学センターなど）
情報メディア科学委員会
法学部
医学部
新領域創成科学研究科
先端科学技術研究センター
生産技術研究所
人間の安全保障プログラム
etc.

④曜限

授業が行われる曜限が掲載されています。「集中講義」と記載されている授業は、特定の日程や授業期間外に行われることがありますので、授業内容を確認してください。

⑤単位

当該授業に合格した場合に得られる単位数が掲載されています。当項目の掲載がない科目については、『履修の手引き』p.6に掲載されている内容に従います。

⑥対象

授業の対象となる科類やクラスが掲載されています。欄内の数字は組番号を表し、複数クラスが対象の場合は「6,16-18,20」のように範囲を示しています（この場合は17組も対象クラスに含みます）。「奇数」「偶数」と記載のある場合には、学生証番号末尾の数字の奇数・偶数で対象学生を示しています。本項目で指定されていない科類・クラス等に所属している学生は当該授業の履修登録を行うことができないので、注意してください。

⑦科目紹介の内容

具体的な科目紹介の内容が掲載されています。授業によっては、履修にあたっての注意点等が挿入されていることがあります。不明な点は教務課に必ず確認の上、履修登録を行うようにしてください。

英語の履修について

既修外国語の英語は各科目1単位または2単位で、計5単位の科目群であり、英語一列（教養英語）・英語二列S（アカデミック・ディスカッション）・英語二列W（アカデミック・ライティング）に分けられます（その他に総合科目L系列3単位）。

英語一列（教養英語）は共通教科書とこれに関連する音声教材を使用する習熟度別の授業です。英語二列Sも同じく習熟度別の授業であり、文科生、理科生ともFLOW(Fluency-Oriented Workshop)のプログラムにより実施します。英語二列Wは、文科生はALESA(Active Learning of English for Students of the Arts)、理科生はALESS(Active Learning of English for Science Students)のプログラムにより実施します。

●「英語一列」「英語二列S」「英語二列W」は所属クラスに応じてあらかじめ指定された授業を履修します。「英語一列」「英語二列S」は習熟度別にクラスが分けられています。UTAS ログイン後の「履修登録」画面より自分のクラスを確認してください（授業期間開始までにはUTASに反映されます。）。

●「英語二列S」の履修には英語スピーキング能力の申請（クラス分け申請）が必要です。3月末の初回クラス分け申請をしていない2024年度入学1年生（および申請に不備がありクラス分けできなかった1年生）は、各ターム開始前に、追加クラス分けに関する案内を前期課程HP「お知らせ」に掲示するので、自分が履修するタームの前に必ず確認し、所定の手続きを行ってください。手続きに不備があると履修できないことがあります。

●「英語一列」「英語二列S」「英語二列W」の3科目をそれぞれのターム・セメスターに履修するかについては、所属クラスにより異なり、下表の4つのグループにあらかじめ分けられています。「(クラス指定総合科目L)」と記載されている部分については、総合科目L系列「英語中級」が所属クラスに対するクラス指定の授業として開講されます。

所属クラス	ターム・セメスター			
	1S1	1S2	1A1	1A2
	1S		1A	
文一二 (8,11,22,25-26) 文三 (5,7,11,14,19) 理一 (1-4,12,17,18,20,23,31,35-36,39) 理二三 (11,13,20,23)	英語一列① (クラス指定総合科目L)	英語二列S	(クラス指定総合科目L)	英語一列②
文一二 (5-6,13,15,16,18-19,24) 文三 (6,10,12,17) 理一 (7,9,13,19,25,28,30,34,37) 理二三 (6-7,18,19,22)	英語一列① 英語二列W	(クラス指定総合科目L)	英語二列S	英語一列② (クラス指定総合科目L)
文一二 (1-3,7,10,17,20-21,23,27-28) 文三 (1-3,9,15-16) 理一 (8,11,16,21,24,27,29,33) 理二三 (4,8,9,14,17,21)	英語二列S (クラス指定総合科目L)	英語一列①	英語一列②	(クラス指定総合科目L)
文一二 (4,9,12,14) 文三 (4,8,13,18,20) 理一 (5-6,10,14-15,22,26,32,38) 理二三 (1-3,5,10,12,15-16,24)	(クラス指定総合科目L) 英語二列W	英語一列①	英語一列②	英語二列S (クラス指定総合科目L)

外国語（英語一列・特別クラス）

英語一列（教養英語）・特別クラス

≪英語一列②（教養英語）≫

目標・概要	英語一列は本学教養部の英語部会教員が教養課程における英語学習のために作成した、理科学、文科学を問わず学生の知的関心に応える高度で分野横断的な内容をもつ教科書を使用して行う授業である。言外の意味やニュアンス、書き手の真の意図への理解も含めた英文の深い読解力の涵養を目指すとともに、題材となっている科学、社会、文化、言語、歴史など文理横断的な多様なジャンルや問題への関心を喚起することで、多元化する世界に応じた幅広い「教養」を培うことを目標としている。クラスは学生の習熟度に合わせて3段階に分かれており、全クラスで共通して学習する教科書の指定されたセッションを試験範囲とし、これに実力問題を加えた統一定期試験を実施する。
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> 英語一列が行われる曜限にはそれぞれ複数のクラスが設けられている。各クラスの教室割り当てについては教務課からの掲示を参照し、必ず指定されたクラスで受講すること（他の語学クラスとは違うので注意すること）。 英語一列では習熟度に応じて3つのグループを設定している。教務課からの教室割り当ての掲示にそれぞれのクラスがどのグループに該当するのかも示されている。 <p>グループ1 (G1)：授業は英語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲をカバーすることもあり、テキストの内容理解に加え、作文・ディスカッションなど各教員の個性を生かした応用的な活動も含まれる。</p> <p>グループ2 (G2)：授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲をカバーすることもあり、テキストの正確な読解に加え、作文・ディスカッションなど各教員の個性を生かした応用的な活動も含まれる。</p> <p>グループ3 (G3)：授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分をカバーし、語彙・文法等を重視しながら読解力の養成を目指す。それをもとにした発展的な活動を含むこともある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的な授業の方法（教材の選択と利用方法、必要な準備、課題や小テストなど）についてはUTOLの各クラスのページを参照し、初回授業時に担当教員から説明を受けること。 平常点5割、定期試験（統一試験）5割で評価が決定される。 定期試験を受けなかった場合は平常点のみ（つまり50点以下）の成績がつくことになるので必ず受験すること。 期末試験日以前に休学し試験当日に在籍していない場合は成績はつかない。
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 平常点5割、定期試験（統一試験）5割で評価が決定される。 定期試験を受けなかった場合は平常点のみ（つまり50点以下）の成績がつくことになるので必ず受験すること。 期末試験日以前に休学し試験当日に在籍していない場合は成績はつかない。
教科書	<p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook</p> <p>書名 多元化する世界を英語で読む</p> <p>著者（訳者） 東京大学教養学部英語部会（編）</p> <p>出版社 東京大学出版会</p> <p>ISBN 978-4-13-082135-3</p>

関連ホームページ

≪英語特別クラス≫

非英語圏からの留学生、及び入試の外国語を英語以外で受験した者で、かつ英語の履修を希望する者は、英語部会の許可を得て「英語特別クラス」の履修で「英語一列②」「英語二列」「総合科目L系列 英語中級」の単位に充当することができる。履修希望者は第一週のガイダンス（日時、場所は掲示を参照）に出席すること。

授業科目名	担当教員	教室	開講	曜限	対象クラス
英語一列②	教養英語 担当教員	各教室	A1	火3	1年文一二（1-3,7,9,27）文三（1-3,8-9）理一（5-6,16,27）理二三（1-3,5,12,17）
				火4	1年文一二（4,21,23）文三（16,18）理一（21-22,32,38）理二三（8,14-15）
				水2	1年文一二（10,14,20）文三（4,13）理一（11,14-15,24）理二三（4,9-10）
				水3	1年文一二（12,17,28）文三（15,20）理一（8,10,26,29,33）理二三（16,21,24）
			A2	火3	1年文一二（13・24・25）文三（11・17）理一（1・4・9・18-19）理二三（7・13）
				火4	1年文一二（6・8・18）文三（5・7・12）理一（20・30-31・34-35）理二三（11・18・22）
				水2	1年文一二（5・15・19・26）文三（6・19）理一（7・12・23・28・36）理二三（6・23）
				水3	1年文一二（11・16・22）文三（10・14）理一（13・17・25・37・39）理二三（19-20）

外国語（英語二列 S）

Fluency-Oriented Workshop (FLOW)				
授業の目標・概要		The course aims to build students' confidence and ability to engage fluently and critically in an academic discussion, to be aware of their weaknesses in holding a discussion in English, and to have the tools to improve autonomously.		
成績評価方法		Grades are based on active participation in class activities and on related assignments.		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割コード	開講	曜限	担当教員	対象クラス
50328	A 1	火 3	Alexandra Terashima	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50329	A 1	火 3	Eric Vanden Bussche	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50330	A 1	火 3	Ian Wash	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50331	A 1	火 3	Simon Perry	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50332	A 1	火 3	Graham Peebles	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50333	A 1	火 3	Raquel Moreno Penaranda	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50334	A 1	火 3	John Solomon Maninang	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50335	A 1	火 3	Stefanie Mack	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50336	A 1	火 3	Candler Hallman	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50337	A 1	火 3	Isaac Tyrone Ghampson	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50338	A 1	火 3	Naomi Berman	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50339	A 1	火 3	Tito Akindele	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50340	A 1	火 3	Leonard Sprague	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50341	A 1	火 3	John Quayle	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50342	A 1	火 3	Elisa Ruiz-Tada	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50343	A 1	火 3	Manuel Senna	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50408	A 1	火 3	クリストファー スコット マキュワン	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50393	A 1	火 4	Tito Akindele	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50394	A 1	火 4	Naomi Berman	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50395	A 1	火 4	Isaac Tyrone Ghampson	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50396	A 1	火 4	Candler Hallman	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50397	A 1	火 4	Stefanie Mack	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50398	A 1	火 4	John Solomon Maninang	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50399	A 1	火 4	Raquel Moreno Penaranda	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50400	A 1	火 4	Graham Peebles	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50401	A 1	火 4	Simon Perry	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50402	A 1	火 4	Jesus Alberto Pulido Arcas	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50403	A 1	火 4	Elisa Ruiz-Tada	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50404	A 1	火 4	Leonard Sprague	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50405	A 1	火 4	Alexandra Terashima	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50406	A 1	火 4	Eric Vanden Bussche	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50407	A 1	火 4	Ian Wash	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50409	A 1	火 4	フランチェスコ カンジェミ	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50504	A 1	水 2	Erika D'Souza	1年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50505	A 1	水 2	Alex Bueno	1年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)

外国語（英語二列 s）

50506	A 1	水 2	Eric Vanden Bussche	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50507	A 1	水 2	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50508	A 1	水 2	Richard Dietz	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50509	A 1	水 2	Simon Perry	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50510	A 1	水 2	Raquel Moreno Penaranda	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50511	A 1	水 2	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50512	A 1	水 2	Catherine Hansen	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50513	A 1	水 2	Doris Zhang	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50514	A 1	水 2	Aurora Tsai	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50515	A 1	水 2	Dennis Stromback	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50516	A 1	水 2	Jesus Alberto Pulido Arcas	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50517	A 1	水 2	John Pazdziora	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50518	A 1	水 2	Christopher Nicklin	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50519	A 1	水 2	Greg Dalziel	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50598	A 1	水 3	クリストファー スコット マキュワン	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50599	A 1	水 3	フランチェスコ カンジェミ	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50600	A 1	水 3	Doris Zhang	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50601	A 1	水 3	Aurora Tsai	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50602	A 1	水 3	Simon Perry	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50603	A 1	水 3	John Pazdziora	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50604	A 1	水 3	Christopher Nicklin	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50605	A 1	水 3	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50606	A 1	水 3	Alex Bueno	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50607	A 1	水 3	Catherine Hansen	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50608	A 1	水 3	Natsuno Funada	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50609	A 1	水 3	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50610	A 1	水 3	Richard Dietz	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50611	A 1	水 3	Greg Dalziel	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50612	A 1	水 3	Erika D'Souza	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50613	A 1	水 3	Dennis Stromback	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
60103	A 2	火 3	Graham Peebles	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60104	A 2	火 3	Ian Wash	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60105	A 2	火 3	Simon Perry	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60106	A 2	火 3	Elisa Ruiz-Tada	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60107	A 2	火 3	Manuel Senna	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60108	A 2	火 3	Candler Hallman	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60109	A 2	火 3	Naomi Berman	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60110	A 2	火 3	Stefanie Mack	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60111	A 2	火 3	John Solomon Maninang	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60112	A 2	火 3	Eric Vanden Bussche	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60113	A 2	火 3	Alexandra Terashima	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60114	A 2	火 3	Raquel Moreno Penaranda	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60115	A 2	火 3	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)

外国語（英語二列 s）

60116	A 2	火 3	Tito Akindele	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60117	A 2	火 3	John Quayle	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60118	A 2	火 3	Leonard Sprague	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60128	A 2	火 3	クリストファー スコット マキュワン	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60119	A 2	火 4	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60120	A 2	火 4	フランチェスコ カンジェミ	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60121	A 2	火 4	Candler Hallman	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60122	A 2	火 4	Elisa Ruiz-Tada	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60123	A 2	火 4	Leonard Sprague	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60124	A 2	火 4	Stefanie Mack	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60125	A 2	火 4	Jesus Alberto Pulido Arcas	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60126	A 2	火 4	Alexandra Terashima	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60127	A 2	火 4	Eric Vanden Bussche	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60129	A 2	火 4	Ian Wash	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60130	A 2	火 4	Tito Akindele	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60131	A 2	火 4	Simon Perry	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60132	A 2	火 4	Raquel Moreno Penaranda	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60133	A 2	火 4	Graham Peebles	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60134	A 2	火 4	Naomi Berman	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60135	A 2	火 4	John Solomon Maninang	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60151	A 2	水 2	Doris Zhang	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60152	A 2	水 2	Alex Bueno	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60153	A 2	水 2	Eric Vanden Bussche	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60154	A 2	水 2	Dennis Stromback	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60155	A 2	水 2	Greg Dalziel	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60156	A 2	水 2	Raquel Moreno Penaranda	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60157	A 2	水 2	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60158	A 2	水 2	Aurora Tsai	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60159	A 2	水 2	Richard Dietz	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60160	A 2	水 2	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60161	A 2	水 2	Erika D'Souza	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60162	A 2	水 2	Christopher Nicklin	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60163	A 2	水 2	Catherine Hansen	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60164	A 2	水 2	John Pazdziora	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60165	A 2	水 2	Simon Perry	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60166	A 2	水 2	Jesus Alberto Pulido Arcas	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60167	A 2	水 3	Richard Dietz	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60168	A 2	水 3	Doris Zhang	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60169	A 2	水 3	Natsuno Funada	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60170	A 2	水 3	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60171	A 2	水 3	クリストファー スコット マキュワン	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60172	A 2	水 3	フランチェスコ カンジェミ	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60173	A 2	水 3	John Pazdziora	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)

外国語 (英語二列 s)

60174	A 2	水 3	Christopher Nicklin	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60175	A 2	水 3	Aurora Tsai	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60176	A 2	水 3	Simon Perry	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60177	A 2	水 3	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60178	A 2	水 3	Alex Bueno	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60179	A 2	水 3	Erika D'Souza	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60180	A 2	水 3	Dennis Stromback	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60181	A 2	水 3	Catherine Hansen	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60182	A 2	水 3	Greg Dalziel	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)

外国語 (英語二列 W) ALESA

Active Learning of English for Students of the Arts (ALESA)		開講区分	A
授業の目標・概要	<p>This course introduces students to the skill of building an effective written argument in English supported by sources and evidence, and to the conventions of formal writing. By the end of the course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> - be able to present a clear position which is supported by evidence and addresses alternative points of view; - understand the organisation and rhetorical features of an argumentative essay; - be familiar with basic stylistic conventions of academic writing. 		
授業の方法	<p>Class activities will include reading and analyzing argumentative writing in English; developing a position on an issue on the basis of individual research; engaging in a variety of pre-writing exercises; writing and revising; and using peer feedback to improve students' own and others' work in discussion and written comments. The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and discussion.</p>		
成績評価方法	<p>Grades are based on writing assignments, discussion, and participation in class activities.</p>		
関連ホームページ	<p>https://ale2.c.u-tokyo.ac.jp/</p>		
<p>※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること</p>			
時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50032	月 2	Candler Hallman	1年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50033	月 2	Simon Perry	1年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50034	月 2	Leonard Sprague	1年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50035	月 2	Aurora Tsai	1年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50036	月 2	Sylwia Ejmont	1年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50037	月 2	Ian Wash	1年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50038	月 2	Natsuno Funada	1年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50039	月 2	Manuel Senna	1年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50040	月 2	Doris Zhang	1年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50041	月 2	Eric Vanden Bussche	1年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50733	木 2	Sylwia Ejmont	1年 文一二(7,23,26)文三(14)
50734	木 2	Erika D'Souza	1年 文一二(7,23,26)文三(14)
50735	木 2	Catherine Hansen	1年 文一二(7,23,26)文三(14)
50736	木 2	Incoronata Nadia Inerra	1年 文一二(7,23,26)文三(14)
50737	木 2	John Pazdziora	1年 文一二(7,23,26)文三(14)
50738	木 2	Aurora Tsai	1年 文一二(7,23,26)文三(14)
50739	木 2	Alex Bueno	1年 文一二(7,23,26)文三(14)
50740	木 2	Manuel Senna	1年 文一二(7,23,26)文三(14)
50741	木 2	Dennis Stromback	1年 文一二(7,23,26)文三(14)
50742	木 2	Doris Zhang	1年 文一二(7,23,26)文三(14)
50793	木 3	Naomi Berman	1年 文一二(10,17,20)文三(19)
50794	木 3	Alex Bueno	1年 文一二(10,17,20)文三(19)
50795	木 3	Erika D'Souza	1年 文一二(10,17,20)文三(19)
50796	木 3	Greg Dalziel	1年 文一二(10,17,20)文三(19)
50797	木 3	Richard Dietz	1年 文一二(10,17,20)文三(19)
50798	木 3	Sylwia Ejmont	1年 文一二(10,17,20)文三(19)
50799	木 3	John Pazdziora	1年 文一二(10,17,20)文三(19)
50800	木 3	Manuel Senna	1年 文一二(10,17,20)文三(19)
50801	木 3	Dennis Stromback	1年 文一二(10,17,20)文三(19)
50802	木 3	Catherine Hansen	1年 文一二(10,17,20)文三(19)

50803	木 3	Doris Zhang	1年 文一二(10,17,20)文三(19)
50912	金 1	Greg Dalziel	1年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50913	金 1	Erika D'Souza	1年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50914	金 1	Alex Bueno	1年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50915	金 1	Catherine Hansen	1年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50916	金 1	Richard Dietz	1年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50917	金 1	Aurora Tsai	1年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50918	金 1	Incoronata Nadia Inserra	1年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50919	金 1	John Pazdziora	1年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50920	金 1	Leonard Sprague	1年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50921	金 1	Dennis Stromback	1年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
51007	金 3	Incoronata Nadia Inserra	1年 文一二(21,28)文三(11,16)
51008	金 3	John Pazdziora	1年 文一二(21,28)文三(11,16)
51009	金 3	Dennis Stromback	1年 文一二(21,28)文三(11,16)
51010	金 3	Aurora Tsai	1年 文一二(21,28)文三(11,16)
51011	金 3	Candler Hallman	1年 文一二(21,28)文三(11,16)
51012	金 3	Catherine Hansen	1年 文一二(21,28)文三(11,16)
51013	金 3	Erika D'Souza	1年 文一二(21,28)文三(11,16)
51014	金 3	Alex Bueno	1年 文一二(21,28)文三(11,16)
51015	金 3	Greg Dalziel	1年 文一二(21,28)文三(11,16)

外国語（英語二列 W）ALESS

Active Learning of English for Science Students (ALESS)		開講区分	A
授業の目標・概要	In this course, students learn about formal scientific writing and style in English; the organization, language, and rhetoric of scientific papers; and the process of writing and preparing formal papers through peer review and revision.		
授業の方法	Class activities include reading and analyzing scientific writing in English, designing a research project, group work, peer review of student writing, and speaking activities. Each student writes a research paper based on an application of the scientific method. The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the ALESS Lab and the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and presentation.		
成績評価方法	Grades are based on writing a research paper, speaking activities, written assignments, and participation in class activities.		
関連ホームページ	https://ale2.c.u-tokyo.ac.jp/		
※講義の詳細・受講する	クラスについては、UTASを参照すること		
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50049	月 2	Raquel Moreno Penaranda	1年 理一(4,35-36)
50050	月 2	Graham Peebles	1年 理一(4,35-36)
50051	月 2	クリストファー スコット マキュワン	1年 理一(4,35-36)
50052	月 2	フランチェスコ カンジェミ	1年 理一(4,35-36)
50053	月 2	Alexandra Terashima	1年 理一(4,35-36)
50054	月 2	Elisa Ruiz-Tada	1年 理一(4,35-36)
50055	月 2	Tomoko Kamishima	1年 理一(4,35-36)
50090	月 3	Raquel Moreno Penaranda	1年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50091	月 3	John Quayle	1年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50092	月 3	Jesus Alberto Pulido Arcas	1年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50093	月 3	John Solomon Maninang	1年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50094	月 3	Candler Hallman	1年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50095	月 3	クリストファー スコット マキュワン	1年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50096	月 3	フランチェスコ カンジェミ	1年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50097	月 3	Alexandra Terashima	1年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50098	月 3	Doris Zhang	1年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50099	月 3	Ian Wash	1年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50100	月 3	Eric Vanden Bussche	1年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50101	月 3	Leonard Sprague	1年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50102	月 3	Christopher Nicklin	1年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50103	月 3	Graham Peebles	1年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50104	月 3	Elisa Ruiz-Tada	1年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50105	月 3	Manuel Senna	1年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50151	月 4	Tomoko Kamishima	1年 理一(12,16)理二三(13)
50152	月 4	Stefanie Mack	1年 理一(12,16)理二三(13)
50153	月 4	John Solomon Maninang	1年 理一(12,16)理二三(13)
50154	月 4	Raquel Moreno Penaranda	1年 理一(12,16)理二三(13)
50155	月 4	Christopher Nicklin	1年 理一(12,16)理二三(13)
50156	月 4	Jesus Alberto Pulido Arcas	1年 理一(12,16)理二三(13)
50157	月 4	Elisa Ruiz-Tada	1年 理一(12,16)理二三(13)

50158	月 4	Ian Wash	1年 理一(12,16)理二三(13)
50231	火 1	Leonard Sprague	1年 理二三(21,23)
50232	火 1	クリストファー スコット マキュワン	1年 理二三(21,23)
50233	火 1	John Quayle	1年 理二三(21,23)
50234	火 1	Naomi Berman	1年 理二三(21,23)
50235	火 1	Jesus Alberto Pulido Arcas	1年 理二三(21,23)
50472	水 1	Simon Perry	1年 理一(1-3,18,27)
50473	水 1	Naomi Berman	1年 理一(1-3,18,27)
50474	水 1	Jesus Alberto Pulido Arcas	1年 理一(1-3,18,27)
50475	水 1	Elisa Ruiz-Tada	1年 理一(1-3,18,27)
50476	水 1	John Quayle	1年 理一(1-3,18,27)
50477	水 1	Stefanie Mack	1年 理一(1-3,18,27)
50478	水 1	Eric Vanden Bussche	1年 理一(1-3,18,27)
50762	木 2	Richard Dietz	1年 理一(17,20)理二三(20)
50763	木 2	Isaac Tyrone Ghampson	1年 理一(17,20)理二三(20)
50764	木 2	Tomoko Kamishima	1年 理一(17,20)理二三(20)
50765	木 2	John Quayle	1年 理一(17,20)理二三(20)
50766	木 2	Greg Dalziel	1年 理一(17,20)理二三(20)
50767	木 2	クリストファー スコット マキュワン	1年 理一(17,20)理二三(20)
50768	木 2	Ian Wash	1年 理一(17,20)理二三(20)
50769	木 2	Naomi Berman	1年 理一(17,20)理二三(20)
50933	金 1	John Solomon Maninang	1年 理二三(8,14)
50934	金 1	Graham Peebles	1年 理二三(8,14)
50935	金 1	Tito Akindele	1年 理二三(8,14)
50936	金 1	Alexandra Terashima	1年 理二三(8,14)
50937	金 1	フランチェスコ カンジェミ	1年 理二三(8,14)
51027	金 3	Tito Akindele	1年 理一(29,39)理二三(9)
51028	金 3	Christopher Nicklin	1年 理一(29,39)理二三(9)
51029	金 3	Graham Peebles	1年 理一(29,39)理二三(9)
51030	金 3	Alexandra Terashima	1年 理一(29,39)理二三(9)
51031	金 3	フランチェスコ カンジェミ	1年 理一(29,39)理二三(9)
51032	金 3	Stefanie Mack	1年 理一(29,39)理二三(9)
51033	金 3	Richard Dietz	1年 理一(29,39)理二三(9)
51034	金 3	Isaac Tyrone Ghampson	1年 理一(29,39)理二三(9)
51065	金 4	Christopher Nicklin	1年 理二三(4,11,17)
51066	金 4	Candler Hallman	1年 理二三(4,11,17)
51067	金 4	Tito Akindele	1年 理二三(4,11,17)
51068	金 4	Stefanie Mack	1年 理二三(4,11,17)
51069	金 4	Isaac Tyrone Ghampson	1年 理二三(4,11,17)

基礎科目 ドイツ語

ドイツ語		開講区分	A		
授業の目標・概要	<p>一列・二列では共通教材『Einblicke』（東京大学教養学部ドイツ語部会編）を用いて、週二回の授業により、文法と読解を中心に、会話練習を交えながら総合的にドイツ語を学習する。</p> <p>履修者は必ず、同一クラスの一列と二列を履修すること。一列もしくは二列のみの履修は認められない。</p> <p>なお、L系列の科目、特にドイツ語初級（演習）も積極的に履修することを勧める。</p>				
成績評価方法	<p>平常点および試験によって行う。なお、1年生Sセメスターの一列・二列には同一の成績がつく。</p>				
教科書	<p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook</p> <p>書名 ドイツ語共通教科書『Einblicke』</p> <p>著者（訳者） 東京大学教養学部ドイツ語部会編</p> <p>出版社</p> <p>ISBN</p> <p>その他</p>				
関連ホームページ	<p>http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/</p>				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること					
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス	
50062	月 2	ドイツ語一列②	森 芳樹	1年 理一(29)	
50063	月 2	ドイツ語一列②	一條 麻美子	1年 理一(32)	
50652	月 3	ドイツ語一列②	平松 英人	1年 理一(30)	
50345	火 3	ドイツ語一列②	梶谷 真司	1年 文一二(20)	
50358	火 3	ドイツ語一列②	速水 淑子	1年 文三(15)	
50365	火 3	ドイツ語一列②	大石 紀一郎	1年 理一(31)	
50427	火 4	ドイツ語一列②	針貝 真理子	1年 理一(28)	
50614	水 3	ドイツ語一列②	竹峰 義和	1年 文一二(21)	
50143	木 3	ドイツ語一列②	北川 千香子	1年 文一二(22)	
50557	木 4	ドイツ語一列②	有信 真美菜	1年 理二三(17)	
50838	木 4	ドイツ語一列②	北川 千香子	1年 文一二(1)文三(1)理一(1)理二三(1)	
51040	金 3	ドイツ語一列②	瀬尾 文子	1年 理二三(19)	
50359	金 4	ドイツ語一列②	工藤 達也	1年 文三(16)	
51072	金 4	ドイツ語一列②	江口 大輔	1年 理二三(18)	
50629	水 3	ドイツ語特修	一條 麻美子	2年 文科 理科	

基礎科目 フランス語

フランス語		開講区分	A	
授業の目標・概要	<p>文系クラス、理系クラスとも、一列・二列を通じて文法および講読の基礎を固める。 文系は、これに加えて演習を履修し、発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。 理系には、自由選択が可能な国際コミュニケーションの初級科目への積極的な参加を勧める。</p>			
成績評価方法 教科書	<p>平常点（出席・授業への参加態度および小テストなど）と学期末試験で総合的に評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他</p>			
関連ホームページ	<p>http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp ※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること</p>			
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50046	月 2	フランス語一列②	斎藤 かぐみ	1年 文一二(24)
50064	月 2	フランス語一列②	片岡 大右	1年 理一(37)
50114	月 3	フランス語一列②	飛嶋 隆信	1年 理一(38)
50115	月 3	フランス語一列②	治山 純子	1年 理一(39)
50144	月 4	フランス語一列②	治山 純子	1年 文一二(23)
50420	火 4	フランス語一列②	西川 純子	1年 文一二(26)
50485	水 1	フランス語一列②	赤羽 悠	1年 理一(33)
50558	水 2	フランス語一列②	桑田 光平	1年 理二三(20)
50623	水 3	フランス語一列②	平澤 暢之	1年 理一(36)
50644	水 4	フランス語一列②	谷本 道昭	1年 文三(17)
50749	木 2	フランス語一列②	郷原 佳以	1年 文三(18)
50750	木 2	フランス語一列②	渡邊 淳也	1年 文三(19)
50751	木 2	フランス語一列②	實谷 総一郎	1年 文三(20)
50774	木 2	フランス語一列②	坂本 さやか	1年 理一(35)
50777	木 2	フランス語一列②	関俣 賢一	1年 理二三(22)
50812	木 3	フランス語一列②	松村 剛	1年 文一二(25)
50813	木 3	フランス語一列②	関俣 賢一	1年 文一二(27)
50814	木 3	フランス語一列②	片岡 大右	1年 文一二(28)
50839	木 4	フランス語一列②	ビゼ	1年 文一二(2)文三(2)理一(2)理二三(2)
50861	木 4	フランス語一列②	野崎 夏生	1年 理二三(23)
51035	金 3	フランス語一列②	鈴木 順子	1年 理一(34)
51041	金 3	フランス語一列②	小西 英則	1年 理二三(21)
51042	金 3	フランス語一列②	斎藤 かぐみ	1年 理二三(24)
50630	水 3	フランス語特修	森元 庸介	2年 文科 理科

基礎科目 中国語

中国語		開講区分	A	
授業の目標・概要	中国語の要である発音をしっかりと身につけた上で、文法の基礎を一年かけて一通り学習する。 ●文科生は選択必修科目の初級演習をあわせて履修し、コミュニケーション能力を養成する。クラス別に開講するので、自分のクラスの初級演習を履修すること。 ●理科生向けには、選択科目の「初級演習」を開講しているため、一、二列で習ったことをもとに、コミュニケーション能力を高めることが望ましい。(木5に開講) ●既習クラスは、概要やテキストが異なるため該当クラスのシラバスを確認すること。			
成績評価方法	期末試験、小テストなどで評価をするが、具体的には学期途中で指示をするので各教員の指示に従うこと。			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 漢語課本 著者(訳者) 小野秀樹・賈黎黎・吉川雅之・小嶋美由紀・李佳樑 著 出版社 白帝社 ISBN その他			
関連ホームページ	※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50044	月 2	中国語一列②	大橋 義武	1年 文一二(16)
50061	月 2	中国語一列②	小野 秀樹	1年 理一(24)
50113	月 3	中国語一列②	賈 黎黎	1年 理一(20)
50148	月 4	中国語一列②	中村 元哉	1年 文三(11)
50149	月 4	中国語一列②	瀬地山 角	1年 文三(13)
50220	火 1	中国語一列②	石井 剛	1年 文三(14)
50221	火 1	中国語一列②	菊池 真純	1年 理一(3)理二三(3)
50426	火 4	中国語一列②	王 欽	1年 理一(27)
50484	水 1	中国語一列②	田中 雄大	1年 理一(26)
50535	水 2	中国語一列②(TLP)	岩月 純一	1年 文一二(17)(TLP)
50545	水 2	中国語一列②(TLP)	伊藤 徳也	1年 文三(12)(TLP)
50550	水 2	中国語一列②	張 政遠	1年 理一(19)
50551	水 2	中国語一列②	及川 茜	1年 理一(22)
50556	水 2	中国語一列②	小野 秀樹	1年 理二三(16)
50642	水 4	中国語一列②	毛 興華	1年 文一二(18)
50744	木 2	中国語一列②	下出 宣子	1年 文一二(14)
50745	木 2	中国語一列②	久保 茉莉子	1年 文一二(15)
50772	木 2	中国語一列②	松本 秀士	1年 理一(25)
50811	木 3	中国語一列②	下出 宣子	1年 文一二(19)
50831	木 3	中国語一列②	河野 直恵	1年 理二三(15)
50840	木 4	中国語一列②	賈 黎黎	1年 文一二(3)文三(3)理一(3)理二三(3)
50843	木 4	中国語一列②	渡辺 剛	1年 文一二(13)
50860	木 4	中国語一列②	河野 直恵	1年 理二三(13)
51024	金 3	中国語一列②	谷垣 真理子	1年 理一(23)
51039	金 3	中国語一列②	前田 恭規	1年 理二三(14)
51064	金 4	中国語一列②	前田 恭規	1年 理一(21)
50660	水 4	中国語特修	谷垣 真理子	2年 文科 理科

基礎科目 ロシア語

ロシア語		開講区分	A
授業の目標・概要	初修ロシア語の1年目はロシア語の文字からはじめて、ロシア語の基礎文法を修得する。1年を終えるころには簡単なロシア語テキストが自在に読める能力の獲得をめざす。 文系・理系を問わず、共通教科書を使用する。 Sセメスターに学んだ文法の基本を発展させ、さらに新しい文法項目を学ぶとともに、テキストによって読解の基礎をつける。		
成績評価方法	定期試験と平常点に基づいて評価する。 (1) 平常点とは、出席、授業中に実施される小テスト、その他の課題等に基づいて算出される点数を指す。 (2) 定期試験（本試験）を欠席した場合、平常点に関係なく「欠席」となり、実質的に0点（「不可」）となる（平常点は考慮されない）。 (3) やむをえない理由があって定期試験（本試験）を欠席した場合は、所定の手続きを経て追試験を受けることができる。 (4) 追試験を欠席した場合の成績は、本試験欠席時と同様に、「欠席」となる。追試験を受けた場合の平常点の扱いは、本試験を受験した場合に準ずる。		
教科書	※定期試験（本試験・追試験）と成績評価に関しては「履修の手引き」36～46頁を熟読すること。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Изучаем русский язык с нуля (ロシア語をはじめよう) 著者(訳者) 西中村浩・朝妻恵理子 出版社 朝日出版社 ISBN その他		
関連ホームページ	※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること		

時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50218	火 1	ロシア語一列②(TLP)	乗松 亨平	1年 文一二(4)文三(4)理一(4-5)理二三(4)(TLP)
50428	火 4	ロシア語一列②	石井 優貴	1年 理二三(4)
50753	木 2	ロシア語一列②	鳥山 祐介	1年 理一(4)
50754	木 2	ロシア語一列②	浜田 華練	1年 理一(5)
50997	金 3	ロシア語一列②	畔柳 千明	1年 文一二(4)
51016	金 3	ロシア語一列②	乗松 亨平	1年 文三(4)
50661	水 4	ロシア語特修	石井 優貴	2年 文科 理科

基礎科目 スペイン語

スペイン語		開講区分	A
授業の目標・概要	初修スペイン語では、共通教科書『Brújula』を用い、1年間かけて、日常使われるスペイン語を理解し、簡単な文章を読んだり書いたり、またスペイン語でコミュニケーションをとるために必要な文法体系全体を学習する。Sセメスターでは、内容を1列(文法)と2列(講読)に分ける。Aセメスターでは1列で文法・講読の両方を扱う。文系では、外国人教員が担当するクラス指定の演習を設け、教科書の進度に合わせて、発音、聞き取り、会話練習、文法の応用練習などを行う。また、スペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを週2回開講する。そのほかに、初級作文や初級会話の科目を開講しており、これらを履修することによりスペイン語の運用能力をさらに高めることができる。		
成績評価方法	各担当教員に任されている。		
教科書	次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook 書名 Brújula-スペイン語学習の羅針盤 著者(訳者) 東京大学教養学部スペイン語部会 出版社 朝日出版社 ISBN その他		
関連ホームページ	※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること		

時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50042	月 2	スペイン語一列②	川上 英	1年 文一二(9)
50066	月 2	スペイン語一列②	金子 亜美	1年 理二三(10)
50119	月 3	スペイン語一列②	川上 英	1年 理二三(7)
50120	月 3	スペイン語一列②	豊田 唯	1年 理二三(8)
50172	月 4	スペイン語一列②	豊田 唯	1年 理二三(12)
50228	火 1	スペイン語一列②	杉守 慶太	1年 理一(11)
50229	火 1	スペイン語一列②	豊田 唯	1年 理一(16)
50356	火 3	スペイン語一列②	杉守 慶太	1年 文三(10)
50430	火 4	スペイン語一列②	川崎 義史	1年 理二三(9)
50549	水 2	スペイン語一列②	倉田 量介	1年 理一(18)
50617	水 3	スペイン語一列②	藤井 礼奈	1年 文三(9)
50649	水 4	スペイン語一列②	藤井 礼奈	1年 理一(9)
50650	水 4	スペイン語一列②	伊香 祝子	1年 理一(17)
50743	木 2	スペイン語一列②	若林 大我	1年 文一二(10)
50758	木 2	スペイン語一列②	愛場 百合子	1年 理一(10)
50761	木 2	スペイン語一列②	倉田 量介	1年 理一(15)
50804	木 3	スペイン語一列②	倉田 量介	1年 文一二(11)
50815	木 3	スペイン語一列②	棚瀬 あずさ	1年 文三(7)
50820	木 3	スペイン語一列②	若林 大我	1年 理一(12)
50821	木 3	スペイン語一列②	木崎 孝嘉	1年 理一(13)
50830	木 3	スペイン語一列②	豊田 唯	1年 理二三(11)
50842	木 4	スペイン語一列②	木崎 孝嘉	1年 文一二(8)
50849	木 4	スペイン語一列②	若林 大我	1年 理一(14)
51005	金 3	スペイン語一列②	有田 美保	1年 文一二(7)
51017	金 3	スペイン語一列②	見田 悠子	1年 文三(8)
51050	金 4	スペイン語一列②	有田 美保	1年 文一二(12)
50631	水 3	スペイン語特修	石橋 純	2年 文科 理科

基礎科目 韓国朝鮮語

韓国朝鮮語		開講区分	A		
授業の目標・概要	<p>●1年生初修クラス Sセメスターに引き続き、共通教材『ことばの架け橋（精選版）』を通じて文法と語彙を学んでいき、教科書を終えた後には、さまざまな教材を用いて一年間に学んだ文法知識の応用練習を行います。これらによってAセメスターの授業では、基礎文法を完全に習得した上で、辞書を引きながら新聞・雑誌記事を読む程度、また基本的な内容ならば自分の考えや意見を正確に表現できる程度の力を身につけることを目指します。</p> <p>文科生はこのほか総合科目L系列において、韓国人教員が担当する「初級（演習）②」を履修し、基礎知識の応用をはかっています。</p>				
成績評価方法	●特修クラス これまでに学んだ内容の復習によって、韓国朝鮮語の基本的な能力を身に付けることを目指します。詳しくはUTAS上のシラバスを参照してください。				
教科書	定期試験と平常点（出席、小テスト、課題など） 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『ことばの架け橋（精選版）』 著者（訳者） 生越直樹，三ツ井崇，チョ・ヒ Chol 出版社 ISBN その他				
関連ホームページ	http://phiz.c.u-tokyo.ac.jp/~korea/korea_junior.html				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること					
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス	
50146	月 4	韓国朝鮮語一列②	月脚 達彦	1年 文三(5)	
50323	火 3	韓国朝鮮語一列②	河崎 啓剛	1年 文一二(5)	
50429	火 4	韓国朝鮮語一列②	月脚 達彦	1年 理二三(5)	
50927	金 1	韓国朝鮮語一列②	齊藤 良子	1年 理一(6)	
50662	水 4	韓国朝鮮語特修	三ツ井 崇	2年 文科 理科	

基礎科目 イタリア語

イタリア語		開講区分	A		
授業の目標・概要	<p>●1年生初修クラス I列II列では、Aセメスター前半までに、初級文法を一通り習得します。Aセメスター後半ではそれを応用しながら、比較的平易な現代文を中心としたテキストの読解と、接続法・条件法等の文法知識の整理を行います。テキストとして、東京大学イタリア語教材編集委員会編の文法教科書「イタリア語のスタート Italiano... in partenza!」(白水社)を適宜参照しながら、中級読解教科書『ピアッツァ』(東京大学出版局)を主に使用します。あわせて、ネイティブスピーカーの教員による、文法知識の定着と自然なイタリア語の習得のための演習が必修科目(文系)・国際コミュニケーション科目(理系)として開講されています。「国際コミュニケーション」として、ほかにも初級の会話・作文、テキスト分析Iも開講されているので、積極的に受講してください。</p> <p>●既修クラス 総合科目L系列「国際コミュニケーション」科目の中・上級科目を既修者の単位として認定しています。</p> <p>●授業計画 1年生初修 —Aセメスター前半 初級文法まとめ Aセメスター後半 講読中心</p> <p>●学習上のアドバイス 時間割上可能で意欲的な学習者には、総合科目L系列「国際コミュニケーション」で開講される選択科目「初級・中級会話」「初級・中級作文」「読解」「表現練習」等の受講をあわせておすすめします。授業には積極的に参加し、有効な学習としてください。</p>				
成績評価方法	平常点とセメスター末の筆記試験				
教科書	<p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 文法と練習』 著者(訳者) 東京大学イタリア語教材編集委員会編 出版社 白水社 ISBN その他</p>				
関連ホームページ	<p>※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること</p>				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス	
50058	月 2	イタリア語一列②	岡本 太郎	1年 理一(8)	
50171	月 4	イタリア語一列②	岡本 太郎	1年 理二三(6)	
50324	火 3	イタリア語一列②	藤崎 衛	1年 文一二(6)	
50360	火 3	イタリア語一列②	山崎 彩	1年 理一(7)	
50748	木 2	イタリア語一列②	村松 真理子	1年 文三(6)	
50663	水 4	イタリア語特修	村松 真理子	2年 文科 理科	

基礎科目 日本語

日本語		開講区分	A		
授業の目標・概要	<p>[注意事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 前期課程外国語科目の既修外国語、あるいは、[既修・既修選択]の初修外国語相当として「日本語」を選択した学生は、基礎科目「日本語一列②」が必修となります。初回授業から必ず出席してください。 ● 総合科目L系列科目は、自由選択科目です。履修登録は、UTAS や授業での指示に沿って進めてください。 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 基礎科目『日本語一列②』 「調査・分析・議論のための日本語演習」 文理横断的なテーマに関して、文献リサーチ・資料収集・調査分析・結果発表を協働で行い、日本語の諸技能の習得・上達を目指しつつ、現象や課題について他者と建設的な意見交換を行う力を育むことを目指します。テーマは人文・社会・科学等様々な分野から、受講生の関心も踏まえて決定します。協働的タスクの遂行、及び授業中のディスカッション・プレゼンテーション・ピアフィードバック等への能動的な参加が求められます。 ● 総合科目L系列『日本語上級』 総合科目L系列においては、「大学で、日本語を使って学んでいく」ために必要となる各種技能をバランス良く伸ばしていけるよう、多様な内容の科目を提供しています。各授業の特徴・焦点目標については、UTAS の各シラバスを参照してください。 <p>2024 年度 A セメスターには、総合科目として以下のような科目が開講される予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「アカデミックプレゼンテーションのための発音」 「アカデミックライティング（1）－日本語の短編小説を読み、エッセイを書く」 「アカデミックライティング（2）－日本語の短編小説を批判的に読んで書評をまとめる 「アカデミックプレゼンテーションとディスカッション」 「文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える」 「近代日本の童話を読む」 「読解を通じ、日本の歴史を考える」 「アカデミック・ディスカッション：日本語で考える SDGs と世界の課題」 				
成績評価方法	<p>成績評価方法は、科目により異なるので、UTask-Web 上のそれぞれの科目のページを参照してください。全般的に、毎回の授業活動(および予習・復習)を重視し、出席、授業活動参加、ディスカッション、クイズ、宿題等の課題、発表、試験、レポート等を総合して評価します。</p>				
教科書	<p>その他。/Other 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他</p>				
関連ホームページ	<p>※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること</p>				
時間割 コード	開講	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50255	A	火 2	日本語一列②	本林 響子	1 年 文科 理科
50946	A	金 2	日本語一列②	本林 響子	1 年 文科 理科

身体運動・健康科学実習Ⅱ

身体運動・健康科学実習Ⅱ		開講区分	A	
授業の目標・概要	<p>週1回の授業を通じて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。 			
授業計画	<p>第1回 講義（オンライン） 第2回 種目選択（対面） 第3回から第13回 選択した種目での授業 （注意事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回はオンラインで行う。受講方法はUTOLで周知する。 ・第2回は大教室で行う。使用教室はUTOLや9号館前の掲示板に掲示する。 ・学期中に2回、身体運動の科学的理解を目的とした共通基礎実習を行う。詳細は第1回授業で確認すること。 ・雨天が続いた場合など、例外的に外種目を体育館で行い、本来の体育館種目が別の場所（教室など）に移動することもあるので、9号館前の掲示板やUTOLのお知らせを毎回よく確認すること。 ・体力テストを12月下旬の授業にて実施する可能性がある。実施方法はUTOLを使って連絡する。 ・以上の授業計画が変更となる場合はUTOLを使って連絡する。 			
授業の方法	<p>第2回の授業で、種目選択を行う。スポーツコース（テニス、サッカー、バドミントン等）、フィットネスコース、サイエンスコース（一部の曜限のみ）から選択する。各曜限の開講種目とその内容は種目選択の際に説明するが、身体運動科学研究室ホームページ（URLは後述）にも掲示する。 種目選択以降は、各種目に分かれて実習を行う。基本的には選択した種目の実技を中心に授業が展開されるが、ルールの説明、技術の解説、研究内容の紹介など、講義の要素もある。実技と講義のバランスは種目や授業回により様々である。 学期中に2回、身体運動の科学的理解を目的とした共通基礎実習を通常とは別の場所で行う。講義や共通基礎実習だけでなく、実技授業でも教科書「身体運動・健康科学ベーシック」を用いることがあるので、毎回持ってくること。</p>			
成績評価方法	<p>出席：身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 達成度：各自が選択したコース・実技種目と共通基礎実習に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。 体力テスト：例年4月と12月に行い、評価に含める。 レポート：実習内容に関連したレポートを提出させ、知識、理解度、文章表現力などを評価する。レポートのテーマと評価方法は教員ごとに異なる。 その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。</p>			
教科書	<p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 身体運動・健康科学ベーシック 著者（訳者） 東京大学身体運動科学研究室 出版社 東大出版会 ISBN</p>			
履修上の注意 学習上のアドバイス	<p>盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。 後述する関連ホームページ内のWebシラバスを閲覧するにはECCSクラウドメールへのログインが必要である。 種目担当教員のメールアドレスはITC-LMSのお知らせに掲載予定である。</p>			
関連ホームページ	<p>https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html ※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること</p>			
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50047	月 2	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1年 文一二(26)文三(11,16) 理一(10-11,19,23,25-26)理二三(4,8)
50322	火 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1年 文一二(4,14)文三(18)理一(14,17,20,28,34-35,37-38)
50378	火 4	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1年 文一二(1-3,5,11-12,25)文三(1-3,14-15) 理二三(1-3,7,12,17,19)
50574	水 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1年 文一二(7-8,15)文三(8)理一(4,7,9,15,27,30,32)
50641	水 4	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1年 文一二(16,27-28)文三(4,9) 理一(13,16,24)理二三(16,20-21)
50752	木 2	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1年 理一(1-3,12,31,33)理二三(5-6,9-11,15,24)
50792	木 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1年 文一二(6,9,18,23)文三(6,12,17) 理一(5,18)理二三(13-14,23)

身体運動・健康科学実習Ⅱ

51006	金 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1年 文一二(13,17,20,24)文三(5,7,10) 理一(6,8,21,36)理二三(18)
51049	金 4	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1年 文一二(10,19,21-22)文三(13,19-20) 理一(22,29,39)理二三(22)

身体運動・健康科学実習Ⅱ (メデイカケア)

身体運動・健康科学実習Ⅱ (メデイカケア)		開講区分	A	
授業の目標・概要	<p>週1回の授業を通じて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解(肌でわかる・体感する)のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。 			
授業計画	<p>第1回 講義(オンライン) 第2回 講義、種目選択(対面) 第3回以降 各自の選択した曜限での授業(原則として対面授業だが、一部はオンライン授業となる可能性もある) (注意事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回目までの授業は原則としてクラス指定された身体運動・健康科学実習Ⅱの曜限で受講すること。使用するURLや教室はUTOLや9号館前の掲示板に掲示する。 ・第2回目の授業後半に種目選択を行う。その際にメディカルケアコースの履修希望であることを申し出ること。履修する曜限(月1、月5、火1、水1のいずれか)は必ずしもその日に決定しなくてよいが、判断に困る場合は教員によく相談すること。 ・第3回以降は月1、月5、火1、水1のいずれかで授業を受けることになる。いずれの曜限においても、各自の状態に応じて実習を行うことになるので、担当教員とよく話し合いながら実習に取り組むことが望ましい。 ・以上の授業計画に変更が生じる場合はメールまたはUTOLを使って連絡する。 			
授業の方法	<p>各自の状況に応じて、各自に合った運動を処方して行う。 毎回目誌をつけて、自己の状況を確認する。</p>			
成績評価方法	<p>出席：身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席(遅刻、早退、見学を含む)はきわめて重視される。</p> <p>達成度：各自が選択したコース・実技種目に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。</p> <p>レポート：実習内容に関連したレポートを提出させ、知識、理解度、文章表現力などを評価することがある。レポートのテーマと評価方法は教員ごとに異なる。</p> <p>その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。</p>			
教科書	<p>次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook</p> <p>書名 身体運動・健康科学ベーシック 著者(訳者) 東京大学身体運動科学研究室 出版社 東大出版会 ISBN</p>			
履修上の注意	<p>盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。 後述する関連ホームページ内のWebシラバスを閲覧するにはECCSクラウドメールへのログインが必要である。</p>			
学習上のアドバイス	<p>https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html</p> <p>※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること</p>			
関連ホームページ	<p>https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html</p>			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50183	月 5	身体運動・健康科学実習Ⅱ (メデイカケア1)	実技担当	1年 文科 理科
50492	水 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ (メデイカケア2)	実技担当	1年 文科 理科
50001	月 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ (メデイカケア3)	実技担当	1年 文科 理科
50236	火 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ (メデイカケア3)	実技担当	1年 文科 理科

基礎科目 社会科学

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50127	A	法Ⅱ	小粥 太郎	法・政治	月 3	1年 文二 文三 2年 文二 文三
講義題目 授業の目標概要	法の基本要素・法学の思考方法 授業では、具体的なテーマに即して、法の基本要素・法学の思考方法を紹介・検討することにより、法学を専攻しない学生に対して、法とはどのようなものか、法学がどのような学問であるのか、法学部生はどんな勉強をしているのか、などを体感してもらう材料を提供することに努めます。 内容は、一言でいえば、「教養としての法学」を敷衍するようなものになります。通俗的な意味での実用性はほとんどありませんが、真の実用性はあるはずだと考えております。 教養学部前期課程において提供される法学の入門的授業の内容やアプローチには多様なものがありうると考えており、この授業は、その1つの試みです。					
成績評価方法	期末筆記試験（7割）とコメントペーパー（2割）を評価資料として成績を評価します。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50469	A	法Ⅱ	神吉 知郁子	法・政治	水 1	1年 文一 文一二(1-11) 2年 文一
講義題目 授業の目標概要	法令・判例を使いこなす 【文一のみ履修可】 この講義では、現在の日本における法令（憲法・法律・命令を中心とする制定法）・判例（裁判所の示した判断のうち先例性を持つもの）に関する基礎的な知識を習得したうえで、具体的な問題を目の前にして自分の力で法令・判例を使いこなすことができるような基礎的な素養を身に着けることを目標とする。 授業の概要は以下のとおりである。 1. 現在の日本における法のあり方（法源論） 2. 法令の基礎知識と使いこなし方 3. 判例の基礎知識と使いこなし方					
成績評価方法	期末試験 100% ※授業中の発言を別途平常点として加算する可能性がある。詳細は、授業が始まってから、参加者の様子を見て確定する。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 荒木尚志・森田宏樹 ポケット六法 令和7年版 有斐閣 978-4641009257					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50470	A	法Ⅱ	福岡 安都子	法・政治	水 1	1年 文一 文一二(12-20) 2年 文一
講義題目 授業の目標概要	公法学のテキストを読む 【文一のみ履修可】 「法Ⅰ」で法学につき基礎的な知識を習得したことを前提に、引き続き、公法学分野の具体的素材とその読解を通じて、より多角的に法学に対してアプローチすることを目指す。					
成績評価方法	平常点及び期末試験による。					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50471	A	法Ⅱ	白石 忠志	法・政治	水 1	1年 文一 文一二(21-28) 2年 文一
講義題目 授業の目標概要	法2 (白石忠志) 【文一のみ履修可】 「法律問題を扱う際に具体的に必要となる基本的な知識や枠組み」を身に付けることを目指す法学入門です。「身近な問題を自由に考えてみよう」という法学入門ではなく、高尚で抽象的な法学論を講ずる法学入門でもありません。それらも有益ですが、他にお任せします。					
成績評価方法 教科書	期末の定期試験を中心とします。平常点を組み込むかどうかを含め、詳細は、UTOL に書いて周知します。 その他。/Other 「授業計画」に書いたとおりです。					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50128	A	政治Ⅱ	伊藤 武	法・政治	月 3	1年 文一 2年 文一
講義題目 授業の目標概要	比較政治入門 この授業は、専門課程で学ぶ政治学系科目の基礎として、政治Iで学んだ政治学原論に続き、比較政治の基本的な考え方を身に付けることを目的とします。 ・比較政治(学)は、国際政治学や政治思想史・政治理論と並ぶ政治学の主要な分野です。特定の国や事例を見るだけでは分からない共通のメカニズムや特徴を、比較の手法や政治学理論を用いて明らかにする政治学の重要な分野の1つです。 ・授業では、欧米アジアの民主主義国の政治を中心としながら、アフリカなどの権威主義体制も対象に、選挙や政党政治など従来重要とされてきた分野だけでなく、ポピュリズムや司法・専門家の政治的役割など最近特に注目される新分野も扱います。 ・授業の解説は基本的なレベルから行います。新しい研究動向なども紹介しながら必要に応じて発展的内容も扱います。受講者の方は、それぞれの関心に応じて取り組んで下さい。 ・授業方法は、講義が中心ですが、質問やディスカッション、プレゼンも取り入れて双方向性を確保します。ぜひ積極的に参加してください。授業の理解と定着のためには、予習・復習を行い、質問の機会を積極的に活用してください。可能であれば、先端的研究を行っている研究者や、政治やその周辺の世界でプレイヤーとして活躍されているゲストをお呼びして、お話を伺える機会も設けたいと思っています。					
成績評価方法	<評価の基本方針> ・試験と平常点をあわせて、得点調整を行い総合的に評価します。 ・配点：試験 70% + 小テスト 30% + 平常点 (付加的) →付加的にプレゼン等の機会を設けてことがあります。 →100点を超えた場合でも、100点を上限とします。 <試験> ・対面式の定期試験を予定しています。 →この場合、持ち込み可とする予定です。 →対象は、電子機器以外のテキスト等書籍、印刷したレジュメなど資料です。 ・感染状況の推移などの事情で、他の形式(レポート試験など)となる場合があります。 <小テスト> ・各回の授業内容に関する選択式の小テストを予定しています。 →各回の配点は、合格4点・不合格0点とします。合計配点は上限30点です。 ・個人的事情で受験できない場合でも数回分の余裕がありますので、期間後の受験はできません。個別の救済措置は実施しません。					
教科書	<平常点> ・研究発表などを実施する場合は、補足的に考慮します。この場合は100点の持ち点を超える付加要素として考慮し、上限100点の制限内で成績評価に反映します。 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 網谷龍介・伊藤武・成廣孝編 / 砂原庸介・稗田健志・多湖 淳 ヨーロッパのデモクラシー<改訂第2版>/ 政治学の第一歩<新版> ナカニシヤ出版 / 有斐閣 9784779508059 / 9784641150782 2冊はそれぞれヨーロッパ各国の政治の解説と(米日を含む)理論的解説という役割分担です。事例や理論の詳細を全て解説する時間は授業内では取れないため、教科書は何らかの形で入手してください。授業内や予復習で使用する他、対面定期試験の場合でも参照可能とする予定です					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50493	A	政治II	木宮 正史	法・政治	水 1	1年 文二 文三 2年 文二 文三
講義題目 授業の目標概要	政治学の基礎概念とグローバル秩序変革期の政治学の役割 1 「政治とは何か」「何のために政治学を勉強するのか」という根本的な問いから始まって、政治権力(political power)、政治体制 (political regime)、国家(state)、民主主義 (democracy)、政党(political party)、選挙(election)及び投票行動(voting behavior)など、政治を理解するために必要な基本的な諸概念に関する理解を深め、今後、政治に関する種々の現象を分析するのに必要な基礎を身につける。 2 以上の問題の根底にあるのは、民主主義 (democracy) とは何であり、それがどのように機能しているのかいないのかということである。こうした民主主義 (democracy) に関する既存の見方をふまえたうえで、その現代的意味についても考察を深めることにする。 3 ますます緊密度を深める政治と経済との関係について、歴史的な展開過程やいくつかの争点を選んで考察を深める。 4 2024年は、前年に引き続き、ロシア・ウクライナ戦争が続いた。国連の常任理事国による隣国への侵略である。さらに、米中対立が深刻の度合いを強めつつある。それに伴い世界もグローバル化が一方向に進むのではなく、新たな分断が生まれようとしている。さらに、それは、日本の政治外交の従来のある方に重大な課題を突きつけている。にもかかわらず、日本政治は、こうした困難な課題に立ち向かうに足るような条件を持ちうるとは言いがたい。こうしたグローバル秩序の変革期に直面し、政治、および政治学の役割を今一度再検討する。					
成績評価方法	課題1 10%、課題2 20%、課題3 20%、学期末試験 50% という割合で成績評価をする。 提出課題 課題1 (成績評価の10%とする) 第1回の授業およびビデオ「NHK ETV 特集 丸山真男と戦後日本」の内容を参考にして、政治に期待すること、政治学に期待すること、そのために自分は政治学をどのように学んでいったらよいと考えるのか、などを論じたレポートを1500字程度、10/30までに、UTOLの所定の場所に提出すること。(成績評価の10%とする。) 丸山真男は「現実科学としての政治学」という立場から、一方で日本政治思想史の研究を地道に続けながらも、他方で政治学と現実との関係に関して、戦後日本の政治学、社会科学を「再建」する立場から格闘した、戦後日本における最も代表的な政治学者である。 このビデオについては、授業中ではなく、各自、時間をみつけて下記のURLにアクセスして見ておくようにすること。上下各45分ずつで計90分です。 ① https://drive.google.com/file/d/1m13zLcDNgKYLNCpyZOFyIK9uEmykPuOF/view?usp=sharing ② https://drive.google.com/file/d/1XeoToA3Vd09kYngiURSI3dG0x1kVM4Fk/view?usp=sharing ③ https://drive.google.com/file/d/135K0Bz8KTwhWyq9MQp2zYpoh4thb3UeB/view?usp=sharing ④ https://drive.google.com/file/d/1OIbyTjAAanwLzqCTzB-vBxUYe5auiD8X/view?usp=sharing 課題2：杉田敦『自由とセキュリティ』集英社、2024年を読み、何が興味深かったのかを論じたうえで、なぜ、それが興味深かったのかを掘り下げて論じてください。分量は3000字程度とし、提出期限は12月4日までに、UTOLの所定の場所に提出すること。(成績評価の20%とする。) 課題3 未定 授業の推移、さらには、現実の推移(例えば、日本において総選挙が実施されるのか否かなど)に応じて、追って指示する。(成績評価の20%とする。) 定期試験を実施する。定期試験は成績評価の50%とする。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50129	A	経済II	竹野 太三	経済・統計	月 3	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	経済学 II 価格理論を学びます。価格理論は経済学の基礎となる大変重要な理論体系であることから、本講義では一学期をかけて、価格理論をゼロから網羅的に、考え方を含めて学びます。なお、本講義は「基礎科目」ですので、本講義で初めて経済学を学ばれる方を想定します。					
成績評価方法	期末試験によります。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 竹野太三 経済学の基礎 価格理論 東京大学出版会 978-4-13-042146-1					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50452	A	経済Ⅱ	高見 典和	経済・統計	火 5	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	科学コミュニティの社会性に注目する現代の科学論を参照しながら、経済学の歴史を議論します。欧米の一部の研究者は、より洗練された視点で経済学の歴史を研究しています。本講義では、担当講師の訳書や著書を用いて、近年の経済学史研究の一端を紹介したいと思います。					
成績評価方法 教科書	平常点および試験 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 野原, 沖, 高見 経済学史 日本評論社					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50130	A	社会Ⅱ	網谷 壮介	社会・社会思想史	月 3	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	政治思想史・社会思想史入門：公的なものの思想史 今学期のこの科目では、政治思想史・社会思想史という学問分野の導入となる授業を行う。これらは過去の哲学者・思想家が政治や社会についてどのように思考してきたのかを歴史的な文脈に照らして理解する学問である。この授業では、特に西欧の歴史において「公的なもの」ないし「公共性」がどのように理解されてきたのかに着目する。古代ギリシアから現代へと「公的なもの」の思想史をたどり、政治と私的な生、メディア、民主主義と全体主義、ジェンダー、プライバシー、新自由主義といったテーマについて考える。 「公的なもの」の概念は——対となる「私的なもの」の概念も——歴史を通じて変化してきた。例えば、現代では私生活の充実に価値が置かれているが、私生活ではなくむしろ共同体の皆にかかわる公的な事柄を優先する生き方が理想とされた時代もあった。あるいは、個人に関する事柄は公共性がなく、政治的な問題ではないとされてきた一方で、現代では例えば女性の生き方やあるいは一般に働き方さえ政治が解決すべき課題となっている。もう少し具体的に書くと、「公的なもの」についての思想の歴史を古代ギリシアから現代へとたどりながら、次のような問いについて考えたい					
成績評価方法 教科書	授業課題：50%、期末レポート：50% 教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50494	A	数学Ⅰ	志甫 淳	数学	水 1	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	数学Ⅰ 文科生向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、順序は異なることがある。					
成績評価方法 教科書	主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50495	A	数学Ⅱ	坂井 秀隆	数学	水 1	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	数学Ⅱ 文科生向けの、ベクトルと行列に関する基礎的な内容や、計算手法を理解するための科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を総合科目「数理科学概論Ⅱ」で学ぶことができる。					
成績評価方法 教科書	主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50496	A	数学II	齊藤 宣一	数学	水 1	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		数学II 文科生向けの、ベクトルと行列に関する基礎的な内容や、計算手法を理解するための科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を総合科目「数理科学概論II」で学ぶことができる。 主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance				

基礎科目 人文科学

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50131	A	哲学Ⅱ	國分 功一郎	哲学・科学史	月 3	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	「他者」を改めて問う―〈類似的他者〉の概念に向けて 20世紀フランスの哲学における他者概念を足がかりにして、この概念を批判的かつ発展的に論じていく。1990年代以降、他者という、「差異」「絶対的な懸隔」「絶対的他者」等々を取り上げられることが多かったし、それには一定の意義もあったが、こうした他者の捉え方には落とし穴があるのではなからうか。この授業ではそれとは正反対に、「私」と類似した他者について考えてみたい。類似した他者について語ることは、「絶対的他者性」の観点からすると排他的と思われるかもしれないが、はたして本当にそうだろうか。これは哲学的な認識論や存在論のみならず、精神疾患や精神障害についての研究、更には政治経済にも関わる広大な領域と関わるテーマである。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	期末に提出するレポートで評価。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50453	A	哲学Ⅱ	松村 康平	哲学・科学史	火 5	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	哲学の探求方法を考える 哲学とは普遍的なテーマについて考えるものである一方で、その語られ方や書かれ方は各時代の文化的社会的な特徴を反映したものである。本授業の目的は、西洋哲学を哲学史的な観点から俯瞰しつつ、各時代の「語り方/書き方」や特徴的なトピックに着目することで、それぞれの時代における哲学のアクチュアリティとその焦点がどのような事柄に向けられていたのかを理解することを通して、哲学的な問いや応答の仕方を学ぶことにある。そのために、本授業では古代から近代までの各時代の文化的社会的背景を踏まえつつ、それらに呼応する特徴的なテキストを取り上げて読むことで、哲学における基礎知識や考え方を身に着けることを目指す。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	初回授業時に告知します。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50132	A	倫理Ⅱ	小松 美彦	哲学・科学史	月 3	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	死をめぐる生命倫理 本シラバスを入力している 2024年7月25日現在、未だに日本は新型コロナウイルス感染症の猛威（第11波）の渦中にある。既に4年半に及ぶコロナ禍にあって、最も軽視されてきたのは、存外にも人々の「死」であるように思われる。厚労書の公表（本年6月5日）によれば、日本でも累計10万5950人の者が新型コロナで死亡しており、そこには10万5950の悲しみがあるにもかかわらずである。しかし、顧みれば、こうした死の軽視は今に始まったことではなく、脳死や安楽死・尊厳死の推進政策の延長線上での事態ではあるまいか。 そこで本講義では、現況の基点をなす脳死と安楽死・尊厳死の問題を主題として、死について倫理的かつ多角的に考える。そして講義の終盤では、レベルを一段上げて、M.フーコーやG.アガンベンが論じた「生権力」と「死権力」の問題を扱い、さらに「人間の尊厳」について考察する。					
成績評価方法	脳死と安楽死・尊厳死はもとより、死そのものに関して、自分の倫理的思考を錬磨することを目指す。そして、それを通じて、そもそも「倫理」とは何かを省みることを大目標とする。 開講時（ガイダンス時）に課す「授業アンケート」の提出を条件として、期末試験で評価する。 授業内の質疑応答での優れた回答や、自主レポートの提出は、成績評価に加味する。 コロナなどの状況次第で、期末試験を期末レポートに変更する可能性がある。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50454	A	歴史I	杉山 清彦	歴史学	火 5	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	ユーラシアのなかの「中国」史 現在われわれの眼前には、「中国」と呼ばれ、また自らもそう称する国家が存在しており、その領域で生起してきたできごととは「中国史」と称される。しかし、現在の中国の領域の半分以上は、歴史的に漢字文化を共有しない人びとが主に住まい、活動してきた地域であり、他方、「中国」というまとまりを与えてきた漢字文化は、現在の中国の領域を超えて、朝鮮半島・日本列島・インドシナ半島東北部に広がっている。このようにみるならば、「中国」というまとまりや「中国史」という語りはけっして自明のものではなく、長い時間のなかで絶えず変化しながら形づくられ、特定の時期に明確な事情から創出されたものであったと言うことさえできよう。 本講義では、漢人（漢民族）を自明の存在とみるのではなく、彼らをも歴史的に形成され変遷してゆく存在と捉え、あくまでも数ある人間集団の一つ（ずば抜けて巨大ではあるが）にすぎないものと位置づけて、ユーラシア東方の諸社会との対比を意識しながら、その特質と歴史の展開を概観する。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	期末の論述試験を主とし、講義中必要に応じて課す小テストなどを加味して判断する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50455	A	歴史II	山口 輝臣	歴史学	火 5	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	歴史学の思考法（2） 「歴史を学んで何になるんだろう」——年号や人名の暗記に苦しんだ受験勉強の最中に、そんな風に思ったことはないだろうか。しかし歴史学とはもちろん暗記ではない。「史料に基づき過去の人間生活の事象を研究する学問」である。それは専門的な学問領域であると同時に、「歴史的にみる・考える」という普遍的な思考力を身に付けるためのトレーニングでもある。物事を常に長期的な視野で見る姿勢、経験不可能な物事に対するリアルな推測力、「現在」を相対的に視る力——歴史学によって必然的に養われるこれらの力（＝歴史的思考）は、過去を振り返るときだけでなく、今を生き、未来を踏み誤らないためにも必要不可欠のものだろう。 こうした認識に基づき、前期課程の学生が、歴史的思考法とは何かを知り、「歴史的にみる・考える」力を養うことができるよう、教養学部の歴史学教員は、「歴史学Ⅰ：歴史学の思考法（1）」（Sセメスター開講）と「歴史Ⅱ：歴史学の思考法（2）」のふたつの授業をリレー講義形式で行うことにした。いずれも5名ずつの教員からなり、両方受講しても、いずれか一方を受講しても差し支えないよう、内容やバランスを加味して構成してある。 歴史学の研究とは、どのような発想と手法によって進められ、その結果どのような歴史像が描き出されるのか。歴史学を専門的に学びたい学生ばかりでなく、歴史的思考法を身につけたいと考えるすべての文科生に受講してほしい。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	授業内課題と期末試験で評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学教養学部歴史学部会編 『東大連続講義 歴史学の思考法』 岩波書店 9784000614061 2,000円＋税 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50456	A	ことばと文学II	高山 大毅	国文・漢文学	火 5	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	江戸期の漢文学から考える 江戸時代、漢詩・漢文は盛んに制作され、当時の文学において重要な位置を占めていた。近代においても、格調高い文章が漢文書き下し体（いわゆる「明治普通文」）で記されていたことに示されているように、江戸期の漢文学の隆盛は、近代以後の日本の言語・文学にも大きな影響を残している。しかし、残念なことに現在では、江戸期の漢文学は日本社会を生きる多くの人々にとって縁遠いものとなっている。そこで、本講義では、江戸期の漢文学の魅力を様々な観点から紹介していきたい。江戸期の漢文学は、人間と「ことば」・「文学」の関係について思索する上で、興味深い素材でもある。本講義は、江戸期の漢文学を考えるだけでなく、江戸期の漢文学から広く「ことば」と「文学」について考えること目標とする。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	定期試験期間に論述問題の試験を行う。 細かな固有名詞については暗記しなくても済むような試験方式を考えている。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50457	A	ことばと文学Ⅲ	青山 英正	国文・漢文学	火 5	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	現代の古典文学研究を概観する。 人文学研究の目指すところは、常識や通説を疑い、実証的な方法を用いてそれらを覆すことにあるが、日本古典文学研究においてもそれは同じである。この授業では、従来の常識・通念・通説を覆した近年の日本古典文学研究の成果を紹介し、それを通じて文学研究とはいかなるものかを知り、その方法の一端を身につけることを目標とする。 なお、「ことばと文学Ⅲ」は「近代を中心に概観する」科目であるが、文学の営みは創作に限られず、〈読むこと〉もまた文学の営みである。最新の古典文学研究を担うのは現代の研究者にほかならず、通説の形成過程には近代の問題も関わる。授業では、前近代から現代に至るまでの古典解釈史にもおのずから言及することになるが、受講生には、古典文学と近代文学、読むことと創作すること、といった一見自明な枠組みにも疑いの目を向けてもらいたい。					
成績評価方法	レポート 100% レポートは 4000～5000 字。授業で取り上げた研究のうちから一つを選び、下記の参考書を読み、授業を聴いた上で、その内容をまとめるものとする。ただし、それぞれの研究の問題設定・克服した通説や先行研究・主要な一次資料・到達した結論を、漏れなく出典明記の上で記すこと。					
教科書	その他。/Other UTOL 上で資料を配付する。					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50133	A	ことばと文学Ⅳ	佐藤 光	英語	月 3	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	ウィリアム・ブレイク講義——文学研究とは何か/Lectures on William Blake ウィリアム・ブレイク (William Blake, 1757-1827) は英国ロマン派詩人の一人であり、画家であり、銅版画職人です。自作の詩を自作の絵と共に印刷して彩色しました。ブレイクのテキストには、アメリカ独立、フランス革命、産業革命など、時代と社会に対する応答という性質があります。この授業では、ブレイクとその周辺のテキストを読みながら、(1) テキストの精読とは何か、(2) 文学研究の現場で何をしているのか、をお伝えします。各回のテーマとしてブレイク理解のための鍵言葉を設定しましたが、ブレイク以外の文学研究にも応用してください。ブレイク周辺のテキストとしては、英文学以外に千家元麿、三木露風、岸田劉生、大江健三郎などをとりあげる予定。文学研究のための方法論の修得を目指してください。					
成績評価方法	UTOL 上での応答と学期末レポートをもとに総合的に判断します。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50134	A	心理Ⅱ	本吉 勇	心理・教育学	月 3	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	心理学概論 人間は、環境から受け取った光や音の情報をもとに、外界のモノや出来事を認識し、過去の記憶や与えられた状況に応じて適切に反応し、また他の人間と相互作用することができる。このすぐれて知的な能力はすべて脳の情報処理によるものである。認知科学(cognitive science)とは、心理学・神経生理学・情報工学が密接に結びつきながら、その仕組みを解明し制御することをめざす巨大な学問領域である。 本講義では、多くの錯覚デモや模擬実験を体験しながら、知覚、認識、記憶、感情、思考、意識、社会性といった、人の心の基本的な仕組み及び働きを支えている脳情報処理の原理原則と、その背後にある生理学的・計算論的メカニズムの基礎を学ぶ。それによって、進化と学習が生み出した優れた情報処理マシンとしての脳と人間を理解するための知識と視点を身につけることをめざす。人工知能や脳信号解読を含めた脳工学技術や心理学の成り立ちにも触れる。					
成績評価方法	試験の成績、出席、その他の提出物、をもとに総合的に評価する。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50497	A	心理II	今福 理博	心理・教育学	水 1	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	心理学概論 心理学は人を含む動物の心と行動を科学的に研究する学問である。 本講義では、心理学の成り立ちや人の心の基本的な仕組み及び働きについて、心理学の知識を広く概観することで理解することを目的とする。					
成績評価方法 教科書	とりわけ、遺伝と環境の相互作用の中で人の心がいつ、どのように発達するのかという視点から、知覚、認知、感情、言語、パーソナリティなどのテーマについて詳述する。 課題の提出 40%、学期末テスト 60%。					
ガイダンス	次 の教科書を使用する。／Will use the following textbook 今福理博 赤ちゃんの心はどのように育つのか：社会性とことばの発達を科学する ミネルヴァ書房 4623086542 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

基礎実験

基礎実験	開講区分	A 1 /A2
授業の目標・概要	自然科学の学習に不可欠な基本的な知識・技能を習得する。 1) 将来の自然科学の発展に対応できるように、自然科学諸分野の基礎的な実験方法と概念を理解できるようにする。 2) 基礎講義の内容を、基礎実験によってよりよく理解できるようにする。 3) 未知の自然現象の解明を目的とする研究実験に必要な観察力・姿勢を養い、みずから実験を計画する場合に不可欠な基本的技法を習得できるようにする。	
授業の方法	月曜から金曜の指定された曜日に週1回受講する。実施日程、実験種目ローテーション、事前準備などに関しては、UTASもしくはITC-LMSに掲載するので、前もって確認しておくこと。	
成績評価方法	成績は、出席、予習、実験ノート、提出物（化学実験は実験報告書、物理学実験は実験ノート）で評価する。	
教科書	次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook 書名 『基礎物理学実験』、 『基礎化学実験』 著者（訳者） 基礎物理学実験テキスト編集委員会、教養学部化学部会 出版社 学術図書出版社、東京化学同人 ISBN その他	
履修上の注意	過去ノートの持ち込みはカンニング行為とみなす。 実験室内は飲食禁止。	
関連ホームページ	http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/chemistry/exp/index.html	
※講義の詳細については、UTASを参照すること		

時間割コード	開講	曜限	科目名	対象クラス
50086	A 1	月 3, 月 4	基礎実験 I (物理学)	1年 理一(1-3,5,7,9,13-14,17-18)
50363	A 1	火 3, 火 4	基礎実験 I (物理学)	1年 理一(23-25,29,33,36,39)
50619	A 1	水 3, 水 4	基礎実験 I (物理学)	1年 理一(12,20-22,31,34,38)
50818	A 1	木 3, 木 4	基礎実験 I (物理学)	1年 理一(4,6,8,10-11,15-16,19)
51025	A 1	金 3, 金 4	基礎実験 I (物理学)	1年 理一(26-28,30,32,35,37)
51131	A 1	集中	基礎実験 I (物理学) α	1年 理一
60002	A 2	月 3, 月 4	基礎実験 II (物理学)	1年 理一(1-3,5,7,9,13-14,17-18)
60028	A 2	火 3, 火 4	基礎実験 II (物理学)	1年 理一(23-25,29,33,36,39)
60075	A 2	水 3, 水 4	基礎実験 II (物理学)	1年 理一(12,20-22,31,34,38)
60080	A 2	木 3, 木 4	基礎実験 II (物理学)	1年 理一(4,6,8,10-11,15-16,19)
60085	A 2	金 3, 金 4	基礎実験 II (物理学)	1年 理一(26-28,30,32,35,37)
60090	A 2	集中	基礎実験 II (物理学) α	1年 理一
50087	A 1	月 3, 月 4	基礎実験 I (化学)	1年 理一(1-3,5,7,9,13-14,17-18)
50364	A 1	火 3, 火 4	基礎実験 I (化学)	1年 理一(23-25,29,33,36,39)
50620	A 1	水 3, 水 4	基礎実験 I (化学)	1年 理一(12,20-22,31,34,38)
50819	A 1	木 3, 木 4	基礎実験 I (化学)	1年 理一(4,6,8,10-11,15-16,19)
51026	A 1	金 3, 金 4	基礎実験 I (化学)	1年 理一(26-28,30,32,35,37)
51133	A 1	集中	基礎実験 I (化学) α	1年 理一
60003	A 2	月 3, 月 4	基礎実験 II (化学)	1年 理一(1-3,5,7,9,13-14,17-18)
60029	A 2	火 3, 火 4	基礎実験 II (化学)	1年 理一(23-25,29,33,36,39)
60076	A 2	水 3, 水 4	基礎実験 II (化学)	1年 理一(12,20-22,31,34,38)
60081	A 2	木 3, 木 4	基礎実験 II (化学)	1年 理一(4,6,8,10-11,15-16,19)
60086	A 2	金 3, 金 4	基礎実験 II (化学)	1年 理一(26-28,30,32,35,37)
60091	A 2	集中	基礎実験 II (化学) α	1年 理一
50116	A 1	月 3, 月 4	基礎物理学実験	1年 理二三(1-4,9-11) 奇数
50368	A 1	火 3, 火 4	基礎物理学実験	1年 理二三(16,20-21,24) 奇数

基礎実験

50627	A 1	水 3, 水 4	基礎物理学実験	1年 理二三(14-15,17,22) 奇数
50828	A 1	木 3, 木 4	基礎物理学実験	1年 理二三(5-6,8,18-19) 奇数
51037	A 1	金 3, 金 4	基礎物理学実験	1年 理二三(7,12-13,23) 奇数
60004	A 2	月 3, 月 4	基礎物理学実験	1年 理二三(1-4,9-11) 偶数
60030	A 2	火 3, 火 4	基礎物理学実験	1年 理二三(16,20-21,24) 偶数
60077	A 2	水 3, 水 4	基礎物理学実験	1年 理二三(14-15,17,22) 偶数
60082	A 2	木 3, 木 4	基礎物理学実験	1年 理二三(5-6,8,18-19) 偶数
60087	A 2	金 3, 金 4	基礎物理学実験	1年 理二三(7,12-13,23) 偶数
50117	A 1	月 3, 月 4	基礎化学実験	1年 理二三(1-4,9-11) 偶数
50369	A 1	火 3, 火 4	基礎化学実験	1年 理二三(16,20-21,24) 偶数
50628	A 1	水 3, 水 4	基礎化学実験	1年 理二三(14-15,17,22) 偶数
50829	A 1	木 3, 木 4	基礎化学実験	1年 理二三(5-6,8,18-19) 偶数
51038	A 1	金 3, 金 4	基礎化学実験	1年 理二三(7,12-13,23) 偶数
60005	A 2	月 3, 月 4	基礎化学実験	1年 理二三(1-4,9-11) 奇数
60031	A 2	火 3, 火 4	基礎化学実験	1年 理二三(16,20-21,24) 奇数
60078	A 2	水 3, 水 4	基礎化学実験	1年 理二三(14-15,17,22) 奇数
60083	A 2	木 3, 木 4	基礎化学実験	1年 理二三(5-6,8,18-19) 奇数
60088	A 2	金 3, 金 4	基礎化学実験	1年 理二三(7,12-13,23) 奇数

微分積分学②

微分積分学②		開講区分	A
授業の目標・概要	<p>代数学、幾何学とともに、数学の根幹をなす解析学について、その基本的な考え方や方法を学ぶ。力学における運動方程式などに代表されるように、自然界の多くの現象が、微分積分学を用いて記述される。微分積分学は、あらゆる科学技術の基礎となっている。微分積分学は17世紀末に、ニュートンやライプニッツらによって創成された。ニュートンは量の変化の記述に注目し、速度、加速度などの物理量を表現するために微分の概念を導入した。「微分積分学の基本定理」により、区分求積法によって定義される積分は、微分の逆操作であることが、明確に認識されるようになった。</p> <p>微分積分学では、極限をとること、無限和をとることなどの操作が重要な役割を果たす。このような微分積分学の基礎となる極限の厳密な定義は、19世紀後半から整えられていった。この授業では、「数理科学基礎」で学んだ極限の扱いに基づき、微分積分学の基礎と応用を学ぶ。具体的な項目は以下の通りである。S2タームで項目1,2を扱い、Aセメスターで項目3~6を扱うことを目安とするが、担当教員によって、順序や内容に一部変更が加えられる場合がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一変数関数の微分 (微分の基本性質、テーラーの定理、テーラー展開) 2. 多変数関数の微分 (偏微分と全微分、合成関数の微分の連鎖律) 3. 多変数関数の微分 (続き) (高階偏微分、多変数のテーラーの定理とその応用) 4. 一変数関数の積分 (区分求積法、微分積分学の基本定理) 5. 多変数関数の積分 (多重積分と累次積分、多重積分の変数変換公式) 6. 無限級数と広義積分 (関数列の収束、広義積分) <p>実数の連続性に基づく微分積分学の基礎の厳密な展開は、2年次Sセメスターの総合科目「解析学基礎」で学ぶことができる。将来、本格的に数学を使う分野に進学しようという場合は「解析学基礎」によって微分積分学の理論的基礎を修得することをすすめる。なお、「解析学基礎」は1年次Sセメスターでも履修することができる。また、2年次Sセメスターの総合科目として、「微分積分学」の直接的な続きにあたる「微分積分学続論」、および「微分積分学」で学んだ事項の応用にあたる「常微分方程式」、「ベクトル解析」が開講される。主として定期試験によるが、担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある。</p>		
成績評価方法 教科書	<p>その他。/Other 書名 著者(訳者) 出版社 ISBN</p>		
関連ホームページ	<p>https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/calculus.html</p>		
※講義の詳細については、UTASを参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50067	月 2	戸松 玲治	1年 理二三(14-16)
50068	月 2	佐々田 槇子	1年 理二三(17-20)
50069	月 2	土屋 卓也	1年 理二三(21-24)
50166	月 4	高山 茂晴	1年 理一(20-23)
50167	月 4	桐木 紳	1年 理一(24-27)
50168	月 4	権業 善範	1年 理一(28-31)
50169	月 4	足助 太郎	1年 理一(32-35)
50170	月 4	木田 良才	1年 理一(36-39)
50421	火 4	辻 雄	1年 理一(1-5,17)
50422	火 4	大場 清	1年 理一(6,18-19)
50423	火 4	林 修平	1年 理一(7-9,13)
50424	火 4	松田 茂樹	1年 理一(10-12)
50425	火 4	斉藤 義久	1年 理一(14-16)
50624	水 3	逆井 卓也	1年 理二三(1-7)
50625	水 3	WILLOX RALPH	1年 理二三(8-10)
50626	水 3	岩木 耕平	1年 理二三(11-13)

線型代数学②

線型代数学②		開講区分	A
授業の目標・概要	<p>線型代数学の萌芽である行列は多変数の連立一次方程式を効率的、統一的に扱う手法として発明された。また、行列式は方程式の解がただ一つ存在するための条件として発見された。ベクトルの概念の起こりは古典力学にあり、その意味で線型代数学の歴史は古い。しかし行列の本質である線型性概念の真の威力が認識され、数学の一分野として線型代数学が確立したのは新しく、20世紀にはいつてのことであった。</p> <p>自然界や社会科学における現象は一般には複雑で一次方程式で表せることはまれだが、一次近似によりその本質的な部分をとらえることは常套手段であり、線型代数学の考え方は非常に有効である。また、量子力学や、フーリエ解析などに現れる無限次元のベクトル空間を扱うための基礎ともなっており、線型代数学の応用については枚挙にいとまがない。このように、線型代数学の考え方は現代数学や理論物理学においてはもちろぬこと、工学、農学、医学、経済学などにおいても基本的な考え方として浸透しており、応用範囲も広い。線型代数学は理論的には単純で明快であるが、その反面、抽象的な概念操作にある程度慣れないと理解しにくい面もある。線型代数学を身につけるには、演習などのさまざまな問題にあたり、理解を深めることが必要である。「数理科学基礎」において学んだベクトルと線型写像に関する知識を前提とする。</p> <p>S2タームでUTASシラバス「授業計画」の項目1,2を扱い、Aセメスターで項目3~6を扱うことを目安とするが、担当教員によって、順序や内容に一部変更が加えられる場合がある。</p> <p>主として定期試験によるが、担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある。</p> <p>その他。/Other</p>		
成績評価方法 教科書	<p>書名 著者(訳者) 出版社 ISBN</p>		
関連ホームページ	<p>https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/linear_algebra.html</p>		
※講義の詳細については、UTASを参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50486	水 1	清田 正夫	1年 理二三(1-7)
50487	水 1	小林 正典	1年 理二三(8-10)
50488	水 1	植野 義明	1年 理二三(11-13)
50489	水 1	関口 英子	1年 理二三(14-16)
50490	水 1	村上 順	1年 理二三(17-20)
50491	水 1	白石 潤一	1年 理二三(21-24)
50755	木 2	北山 貴裕	1年 理一(6,18-19)
50822	木 3	下川 航也	1年 理一(20-23)
50823	木 3	加藤 晃史	1年 理一(24-27)
50824	木 3	梶原 健	1年 理一(28-31)
50825	木 3	山崎 満	1年 理一(32-35)
50826	木 3	相馬 輝彦	1年 理一(36-39)
50928	金 1	松本 久義	1年 理一(7-9,13)
50929	金 1	植田 一石	1年 理一(10-12)
50930	金 1	高木 俊輔	1年 理一(14-16)
51021	金 3	戸瀬 信之	1年 理一(1-5,17)

微分積分学演習・線型代数学演習

微分積分学演習・線型代数学演習	
授業の目標・概要	数学は講義を聴いただけでは意味を理解することが難しく、自分の手を動かして計算や証明をやる必要がある。この2つの科目は微分積分学や線型代数学の講義と一体であり、練習問題を解くことによって講義に対する理解を助け、応用力を養う。講義内容に即した応用問題の他に、講義の理解を深めるための証明問題や、講義で触れられなかった内容に関する補足問題を適宜付け加えることもある。
成績評価方法	通常は定期試験を行わず、平常の出席点と対応する講義の試験結果とを組み合わせ、授業時間に発表した解答・提出レポート・小テストなどを適宜勘案した総合評価をもって成績とする。出席点が重視されるため、欠席を重ねると単位を出せなくなることがある。
教科書	その他。/Other 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/
※講義の詳細については、UTAS も参照すること	

時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	対象クラス
50121	A	月 3	微分積分学演習	戸松 玲治	1年 理二三(14-16)
50122	A	月 3	線型代数学演習	関口 英子	1年 理二三(14-16)
50123	A	月 3	微分積分学演習	浅井 聡太	1年 理二三(17-20)
50124	A	月 3	線型代数学演習	浅井 聡太	1年 理二三(17-20)
50125	A	月 3	微分積分学演習	間瀬 崇史	1年 理二三(21-24)
50126	A	月 3	線型代数学演習	間瀬 崇史	1年 理二三(21-24)
50439	A	火 5	微分積分学演習	辻 雄	1年 理一(1-5,17)
50440	A	火 5	線型代数学演習	伊山 修	1年 理一(1-5,17)
50441	A	火 5	微分積分学演習	清野 和彦	1年 理一(6,18-19)
50442	A	火 5	線型代数学演習	清野 和彦	1年 理一(6,18-19)
50443	A	火 5	微分積分学演習	榎園 誠	1年 理一(7-9,13)
50444	A	火 5	線型代数学演習	榎園 誠	1年 理一(7-9,13)
50445	A	火 5	微分積分学演習	牛腸 徹	1年 理一(10-12)
50446	A	火 5	線型代数学演習	牛腸 徹	1年 理一(10-12)
50447	A	火 5	微分積分学演習	斉藤 義久	1年 理一(14-16)
50448	A	火 5	線型代数学演習	高木 俊輔	1年 理一(14-16)
50654	A	水 4	微分積分学演習	清野 和彦	1年 理二三(1-7)
50655	A	水 4	線型代数学演習	清野 和彦	1年 理二三(1-7)
50656	A	水 4	微分積分学演習	松井 千尋	1年 理二三(8-10)
50657	A	水 4	線型代数学演習	大島 芳樹	1年 理二三(8-10)
50658	A	水 4	微分積分学演習	牛腸 徹	1年 理二三(11-13)
50659	A	水 4	線型代数学演習	牛腸 徹	1年 理二三(11-13)
50850	A	木 4	微分積分学演習	森 迪也	1年 理一(20-23)
50851	A	木 4	線型代数学演習	森 迪也	1年 理一(20-23)
50852	A	木 4	微分積分学演習	本多 正平	1年 理一(24-27)
50853	A	木 4	線型代数学演習	加藤 晃史	1年 理一(24-27)
50854	A	木 4	微分積分学演習	権業 善範	1年 理一(28-31)
50855	A	木 4	線型代数学演習	梶原 健	1年 理一(28-31)
50856	A	木 4	微分積分学演習	葉廣 和夫	1年 理一(32-35)

微分積分学演習・線型代数学演習

50857	A	木 4	線型代数学演習	山崎 満	1年 理一(32-35)
50858	A	木 4	微分積分学演習	坪内 俊太郎	1年 理一(36-39)
50859	A	木 4	線型代数学演習	坪内 俊太郎	1年 理一(36-39)

数理科学基礎（補修）

数理科学基礎（補修）					
授業の目標・概要	科学・技術の礎となる数理科学の基礎的内容を学び、高等学校で学んだ数学から大学で学ぶ数学への橋渡しとする。 講義は微分積分と線型代数の二つのテーマからなる。本科目の講義内容は S2 タームから始まる「微分積分学」「線型代数学」に接続する。				
成績評価方法	定期試験による。				
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他				
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/ms_sl.html				
※講義の詳細については、UTAS も参照すること					
時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	対象クラス
50184	A	月 5	数理科学基礎（補修）	岩木 耕平	1年 理科 2年 理科
50672	A	水 5	数理科学基礎（補修）	吉野 太郎	1年 理科 2年 理科

電磁気学A

電磁気学A		開講区分	A
授業の目標・概要	<p>電気・磁気の法則を電荷やその運動による電流が作り出す電磁場の法則として捉える事によって、電磁気現象を統一的に理解し、基礎方程式としてのマクスウェル方程式に至る。また、代表的な例題の解法を通じて、その内容と応用の理解を深める。主な項目は以下の通りであるが、実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に*印のついた項目は省略される場合がある。</p> <p>1.序論：自然界の基本的力と電磁場、ローレンツ力、電荷の保存</p> <p>2.静電場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クーロンの法則とガウスの法則 ・電位とその性質 ・静電場の微分方程式（ガウスの定理、ストークスの定理） ・導体系 ・静電場のエネルギーとストレス <p>3.定常電流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オームの法則、連続の方程式 ・回路への応用（キルヒホフの法則） ・ジュール熱 <p>4.定常電流による磁場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンペールの法則 ・静磁場の微分方程式 ・ベクトルポテンシャル ・ビオー・サヴァールの法則 ・円電流と等価磁石 ・単位系 <p>5.電磁誘導とマクスウェル方程式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファラデー・レンツの法則 ・変位電流と連続の方程式 ・マクスウェル方程式 ・電磁場のエネルギーと仕事 ・平面電磁波 ・準定常電磁場と交流回路 <p>*6.物質中の電磁場</p> <ul style="list-style-type: none"> *考え方：分極電荷、磁化電流 *誘電体、磁性体（常磁性、反磁性、強磁性） *異なった物質の間の境界条件 *物質中の電磁場エネルギー 		
成績評価方法 教科書	<p>主として定期試験によるが、担当教員の UTAS シラバスを参照すること その他。/Other</p> <p>書名 著者(訳者) 出版社 ISBN</p>		
関連ホームページ	<p>※講義の詳細については、UTAS を参照すること</p>		
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50546	水 2	村上 雄太	1 年 理一(1-6)
50552	水 2	下村 裕	1 年 理一(31-33)
50553	水 2	多田 司	1 年 理一(34-35,37)
50554	水 2	水野 英如	1 年 理一(38-39)理二三(1-3,7)
50555	水 2	島野 亮	1 年 理二三(8,11,19)
50559	水 2	藤山 茂樹	1 年 理二三(21-22,24)
50756	木 2	森松 治	1 年 理一(7-9,14)
50770	木 2	國場 敦夫	1 年 理一(21-23)
50771	木 2	福島 孝治	1 年 理一(24,26-27)
50773	木 2	野海 俊文	1 年 理一(28-30)
50775	木 2	岡本 徹	1 年 理二三(4,17-18,23)
50776	木 2	下村 裕	1 年 理二三(12-14)
51059	金 4	大谷 宗久	1 年 理一(10-12)
51061	金 4	深津 晋	1 年 理一(13,15-16)
51062	金 4	牛島 一朗	1 年 理一(17-19)

51063	金 4	藤井 宏次	1年 理一(20,25,36)
51070	金 4	年吉 洋	1年 理二三(5-6,10,20)
51071	金 4	町田 友樹	1年 理二三(9,15-16)

電磁気学B

電磁気学B		開講区分	A
授業の目標・概要		<p>入学試験で物理学を選択しなかった学生で希望する者を対象とする。 高等学校で未履修であること前提とした講義を行う。 講義では演習、宿題等を十分に課する。 目的は大学レベルの電磁気学を習得してもらう事である。入試において物理学を選択したものは受講資格がない。主な内容は以下の通り。</p> <p>1.序論：自然界の基本的力と電磁場、ローレンツ力、電荷の保存 2.静電場 ・クーロンの法則とガウスの法則 ・電位とその性質 ・静電場の微分方程式（ガウスの定理、ストークスの定理） ・導体系、導体に働く力、静電場のエネルギーとストレス 演習 3.定常電流 ・オームの法則、連続の方程式 ・回路への応用（キルヒホフの法則） ・ジュール熱 4.定常電流による磁場 ・アンペールの法則 ・ビオー・サヴァールの法則 ・電流に働く力 ・円電流と等価磁石 ・磁場のエネルギー ・単位系 5.時間的に変動する電磁場 ・ファラデー・レンツの電磁誘導の法則 ・交流回路 6.変位電流とマクスウェル方程式 ・変位電流と電荷の保存 ・マクスウェル方程式（積分形） ・平面電磁波 演習</p>	
成績評価方法 教科書		<p>主として定期試験によるが、担当教員の UTAS シラバスを参照すること その他。/Other 書名 著者(訳者) 出版社 ISBN</p>	
関連ホームページ		<p>※講義の詳細については、UTAS を参照すること</p>	
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50547	水 2	齋藤 晴雄	1年 理一(1-6,31-35,37-39)理二三(1-3,7-8,11,19,21-22,24)
50757	木 2	菊川 芳夫	1年 理一(7-9,14,21-24,26-30)理二三(4,12-14,17-18,23)
51060	金 4	加藤 雄介	1年 理一(10-13,15-20,25,36)理二三(5-6,9-10,15-16,20)

構造化学

構造化学		開講区分	A
授業の目標・概要	<p>物質の多様な構造や性質、反応を体系的に理解するには、原子や分子に基づいた化学的な考察が不可欠である。本講義では、初歩的な量子論に基づいて、原子の構造や周期律、分子の化学結合の基礎を学ぶ。理論的な基礎だけでなく、契機となった実験結果や身近な物質・現象を通して理解を深めることを目指す。各教員が共通して取り上げる具体的な項目は、下記の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 量子論の必要性 <ul style="list-style-type: none"> 原子の発光スペクトル(離散的なエネルギー準位, Bohr 原子) 電子の粒子性と波動性(電子回折, 物質波) 量子論の基礎 <ul style="list-style-type: none"> Schrödinger 方程式(原子・分子の量子論の出発点) 1次元箱中の電子(ポリエンの吸収スペクトルと色) 2原子分子の振動(振動スペクトルと分子構造) 原子の構造と性質 <ul style="list-style-type: none"> 水素原子(量子数, エネルギー準位, 原子軌道) Pauli の排他原理(電子スピン) 多電子原子(元素の周期律と構成原理) 化学結合と分子 <ul style="list-style-type: none"> 水素分子イオン(分子軌道, 化学結合) 2原子分子(分子の性質と電子構造) 		
成績評価方法 教科書	<p>※各授業の UTAS シラバスを参照すること その他。/ Other 書名 著者(訳者) 出版社 ISBN</p>		
関連ホームページ	<p>※講義の詳細については、UTAS を参照すること</p>		
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50056	月 2	立川 仁典	1年 理一(5,31,33-34)
50060	月 2	十代 健	1年 理一(20-22)
50065	月 2	奥野 将成	1年 理二三(5,7,9,11)
50088	月 3	木下 卓巳	1年 理一(4,29,35-36)
50118	月 3	安池 智一	1年 理二三(6,12-13)
50222	火 1	岩崎 純史	1年 理一(7,12,27,38)
50230	火 1	河野 淳也	1年 理二三(15,17,20)
50361	火 3	山崎 康臣	1年 理一(8,11,13,30)
50366	火 3	長谷川 宗良	1年 理二三(8,14,22)
50367	火 3	杉原 加織	1年 理二三(10,18-19,23)
50621	水 3	澁田 靖	1年 理一(16,18-19)
50622	水 3	中田 真秀	1年 理一(24,28)
50647	水 4	城野 亮太	1年 理一(6,10,15)
50651	水 4	沖野 友哉	1年 理一(23,25-26)
50653	水 4	石井 邦彦	1年 理一(32,37,39)
50817	木 3	永田 利明	1年 理一(1-3,9,14,17)
50827	木 3	木下 卓巳	1年 理二三(1-4,16,21,24)
50911	木 6	羽馬 哲也	1年 理科
51105	金 6	羽馬 哲也	1年 理科

生命科学II

生命科学II		開講区分	A
授業の目標・概要	細胞生物学を中心に細胞の構造と機能の初歩を講義する。内容はほぼ以下の通りであるが、講義の具体的な進め方は教員によって多少異なることもある。開講時の説明をよく聞くこと。 1. 細胞内輸送 2. 細胞骨格と細胞運動 3. 細胞間・細胞内情報伝達 4. 神経伝達と機能 5. 細胞周期 6. 動物・植物の発生 7. 遺伝子の発現制御 8. ゲノムと進化 9. 生物多様性		
成績評価方法	実施の詳細は担当教員から指示される。		
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 理系総合のための生命科学－分子・細胞・個体から知る“生命”のしくみ－第5版 著者(訳者) 東京大学生命科学教科書編集委員会 編 出版社 (株)羊土社 ISBN 978-4-7581-2102-6		
関連ホームページ	※講義の詳細については、UTASを参照すること		
時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50173	月 4	加納 純子、渡邊 雄一郎	1年 理二三(14,16,18-19)
50174	月 4	瀬尾 秀宗	1年 理二三(20-23)
50932	金 1	道上 達男、末次 憲之	1年 理二三(7,9-10,12)
50938	金 1	佐藤 健、北西 卓磨	1年 理二三(11,13,15,24)
51036	金 3	阿部 光知、谷崎 祐太	1年 理二三(1-6,8,17)

展開科目 社会科学ゼミナール

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50185	A	社会科学ゼミナール (国際関係)	石田 淳	国際関係	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	国際政治学の思考様式 今学期はロシアによるウクライナ侵攻(2022~)、イスラエルによるガザ侵攻(2023~)といった現実の戦争と、平和実現のための政策課題とを意識しつつ、古典的文献を読む。 特に、リベラリズムと平和との関連について、Michael Doyle の <i>Liberalism and Peace</i> を通じて考える。最終的な目標は、国際政治学の思考様式を身につけることにある。					
成績評価方法	演習における議論への貢献(報告者、討論者としての発言に限定されない)と、学期末の小論文によって成績を評価する。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Michael Doyle <i>Liberal Peace: Selected Essays</i> Routledge 978-0-415-78175-6					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50256	A	社会科学ゼミナール (社会・社会思想史)	小山 裕	社会・社会思想史	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	研究入門：計量歴史社会学の射程 計量歴史社会学は、過去に行われた社会調査等のデータを収集・整理・分析する社会学の一分野です。本演習では、担当教員とともに、この分野の研究に従事することを通じて、主に次の3つ課題に取り組みます。 1. 戦後日本社会の形成過程を、特に戦争の影響に留意しつつ、過去に実施された経験的な社会調査データをもとに記述・検証する論文の執筆。 2. アカデミック・ライティングやRなどの統計分析ツールの基本的な使い方といった研究のための実践的なスキルの修得。 3. 歴史的・社会的現実とデータの関係や史料としての統計データの性質といった理論的な問題の検討。 本演習で扱うデータは「京浜工業地帯調査(従業員個人調査)」(1951年)を予定しています。履修者の関心に応じて「貧困層の形成(静岡)調査」(1953年)や「神奈川県における民生基礎調査(ボーダー・ライン層調査)」(1961年)などを扱う可能性があります。 履修希望者が20名を超えた場合、小論文による選考を行う可能性があるため、初回の授業には必ず出席してください。受講許可は第2回の授業日までに掲示によって告知します。					
成績評価方法	平常点(議論への貢献) 60% 論文 40%					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50257	A	社会科学ゼミナール (社会・社会思想史)	橋本 摂子	社会・社会思想史	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	質的調査の方法 社会調査は、量的調査と質的調査の二つに大別されるが、本授業では、質的調査(聞き取り調査、参与観察法、ドキュメント分析、ライフストーリー分析、等)の方法、および質的データの分析手法について習得する。社会調査士【F】科目。					
成績評価方法	授業中に与えられる諸課題、レポート等。					
教科書	授業中に指示をする。/Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51345	A	社会科学ゼミナール (法・政治)	酒井 智大	法学部	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	日本法制史学の論争を読む 本授業は、鎌倉幕府の成立をめぐる大正十一年（1922）に中田薫（東京帝国大学）と牧健二（京都帝国大学）の間で交わされた論争を読解することで、法制史学・歴史学の方法について考察することを目指す。中田と牧は東西両京の帝国大学における日本法制史担当者であり、その主要著作が日本中世史の古典学説として今日でも中学・高校の歴史教科書に影響を及ぼしているほどの存在であるが、百年以上前の論文となれば現在では必ずしも理解が容易でない面もあろう。本ゼミでは、中田・牧論争で交わされた議論の応酬を丁寧に追跡するとともに、その前提となった論争以前の議論状況や、以後現在に至る鎌倉幕府成立史研究の展開（この領域の専門家をゲストとして招くこともあり得る）についても視野に入れることとなる。併せて、（授業担当者がそうであるように）法学部で日本法制史を研究する意義や、歴史学における学説の発展や論争が持つ意味についても考える機会になるかもしれない。					
成績評価方法	履修にあたって選考は行わない。あらゆる関心の参加希望者を歓迎する。 授業中のパフォーマンスによる。ゼミであるから、毎回の出席が単位付与の前提となり、無断欠席は著しい負の評価をもたらす。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51078	A	社会科学ゼミナール (法・政治)	内山 融	法・政治	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	EBPM（エビデンスに基づく政策形成）の研究 現在、中央省庁や地方自治体など政策の現場で EBPM（evidence-based policy-making, エビデンスに基づく政策形成）の導入が進んでいる。EBPM とは、政策の効果を科学的手法できちんと測定した上で、そうしたエビデンスに基づいて政策形成を行う活動である。 この授業では、EBPM の基本的な考え方や手法、海外や日本国内での先行事例、具体的な政策分析について理解を深めたい。					
成績評価方法	公務員や政策研究者を志望する人はもちろんのこと、シンクタンク、コンサル、NPO など政策に関わりたいと考えている人に特に参加してほしい。そうでない人ももちろん歓迎する。 平常点による（報告と議論への貢献）。期末レポートを課す可能性もある。					
教科書	詳細は UTOL に掲載するシラバスを参照すること。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 大竹文雄・内山融・小林庸平 EBPM エビデンスに基づく政策形成の導入と実践 日本経済新聞出版 9784296115266					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51344	A	社会科学ゼミナール (法・政治)	板橋 拓己	法学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>国際政治学の古典を読む 無数に情報が溢れるなか、いかにして国際政治を認識し、理解すればよいのか。単なる知識の集積ではなく、学問として国際政治を学ぶとはどういうことか。本授業では、国際政治学の古典中の古典を読み、それぞれがいかにして国際政治の現実に向き合い、学問の対象にしようとしたのかを学ぶ。講読文献は E.H. カー『危機の二十年——理想と現実』（原彬久訳、岩波文庫、2011年）とモーゲンソー『国際政治——権力と平和』（全3巻、原彬久監訳、岩波文庫、2013年）を予定している。本授業は演習方式で進める。 ※履修希望者が20名を超えた場合は、小論文の課題を実施して選考するので、初回の授業に必ず出席すること。受講許可は第2回目の授業までに掲示によって告知する。</p>					
成績評価方法	<p>平常点による。すなわち (1) 出席状況、(2) 予習の深度、(3) 討論への積極的参加、(4) 報告・提出物などから、総合的に評価する。なお、毎回の出席が前提であり、無断欠席は厳禁である。付け加えるなら、余りに消極的な履修者（予習不足など）には、たとえ開講後でも参加をお断りすることがあるので注意されたい。逆に、脱落することなく最後まで演習に参加できれば、少なくとも単位は認定されよう。</p>					
教科書	<p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook E.H. カー著、原彬久訳 危機の二十年——理想と現実 岩波書店（岩波文庫） 9784003402214</p>					
ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

展開科目 人文科学ゼミナール

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50188	A	人文科学ゼミナール (ことばと文化)	田村 隆	国文・漢文学	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		『紫式部集』を読む 今年NHK大河ドラマで「光る君へ」が放送され、紫式部や『源氏物語』への注目が集まっている。この授業ではドラマの主要な素材の一つでもある『紫式部集』を諸本や注釈に目を配りながら皆で読み進め、作品や作者紫式部についての理解を深める。必要に応じて写本の表記にも適宜触れるが、基本的には活字テキストを用いて読み進める。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		演習発表時の資料と学期末のレポートによる。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50189	A	人文科学ゼミナール (ことばと文化)	藤岡 俊博	仏語・伊語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス思想研究入門——レヴィナス『全体性と無限』 フランスの哲学者エマニュエル・レヴィナス（1906-1995）の主著『全体性と無限』（1961）を題材に、フランス思想を研究する際の基本的な方法論、および、関連する哲学・思想的知識の習得を目的とします。事前知識を必要とするものではありませんが、哲学や思想に強い興味・関心を持っている受講者に向けた授業になります。 履修希望者は初回の授業にかならず参加してください。10名程度の履修者を想定していますので、万が一、希望者が多い場合には選考をおこないます。選考にあたっては、初回授業時に提示するフォームを通じて、履修を希望する理由や興味・関心などについて記した小レポートを当日中に提出していただきます。履修許可者は翌日以降すみやかに教務課の掲示により告知する予定です。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		出席・参加態度：50%、発表：25%、期末レポート：25% 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook エマニュエル・レヴィナス（藤岡俊博訳） 『全体性と無限』 講談社学術文庫 4065193443 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51347	A	人文科学ゼミナール (ことばと文化)	板東 洋介	文学部	水 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		本居宣長『古事記伝』を読む 本居宣長の『古事記伝』は、日本の政治史・思想史・宗教史・文学史等々のあらゆる領野において画期をなした、記念碑的な著作である。しかしながら、その割にこの本を通読したことのある人は少ない。思想的なまとまった論述はほとんど見られず、ひたすら『古事記』の逐語的な解釈に徹しているからである。このような演習の場でない、存外に読むことは難しい。そこで本講義では、本書の中から総論、およびいくつかの神話の上で重要な場面に宣長が施した実際の注釈を選んで精読し、その思想的特質を明らかにする。その際『神代巻口訣』『日本書紀纂疏』など、ほかの代表的な注釈も適宜参照し、存外に奥深い日本神話注釈の世界の見通しを得ることも目指したい。おもに注目されるのは、宣長の古代観、倫理観、言語観、神祇観、日本観といったテーマである。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		毎回の講義への参与（20%）と最終レポート（80%）で評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50673	A	人文科学ゼミナール (ことばと文化)	谷口 洋	国文・漢文学	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	『墨子』を読んで、平和の話をしよう					
授業の目標概要	中国古代思想のうちでも、侵略戦争への反対を明確に述べた『墨子』の原文を、漢文訓読の方法によって読む。『墨子』の思想としては「兼愛」即ち無差別愛がよく知られるが、それはおのずと「非攻」すなわち侵略戦争反対につながる。無差別愛、侵略反対という、極めて今日的ともいえる思想は、中国古代において、漢文という言葉においてどのように表現されていたのか。現在から見れば不満や違和感を感じる箇所もあるかも知れないが、それらも含めて、彼らの議論と向き合ってみよう。					
成績評価方法	基本的には毎回の授業における表現に基づいて評価する。受講者が多く、細やかな観察が難しければ、レポートのような課題を課すことになるかも知れない。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50949	A	人文科学ゼミナール (ことばと文化)	井上 博之	英語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	アメリカ合衆国の文学を読む					
授業の目標概要	An Introduction to the Literature of the United States 19世紀の古典から20世紀後半の作品まで、アメリカ合衆国の代表的な作家によって書かれたいくつもの短編小説、長編小説、詩を講読する演習形式の授業です。レイモンド・カーヴァー (Raymond Carver)、エドワード・P・ジョーンズ (Edward P. Jones)、グレイス・ペイリー (Grace Paley)、ゾラ・ニール・ハーストン (Zora Neale Hurston) の短編小説、ロバート・フロスト (Robert Frost) とエリザベス・ビショップ (Elizabeth Bishop) の詩、マーク・トウェイン (Mark Twain) の長編小説を今のところ取り上げる予定ですが、一部の作品は差し替えるかもしれません。短編小説と詩は英語で読み、長編小説は日本語訳を基本としつつ、ときどき原文も参照して読み進めます。学期の後半は文学作品について論じる際のヒントを提供してくれる英語の文章 (This Thing Called Literature からの抜粋) も並行して読みます。舞台となる場所、時代、登場人物、扱われる主題や文章のスタイルなどは作家によって異なりますが、テキストにしっかりと向きあい、個別の作品を楽しんで読みながら、多様で雑多なアメリカ合衆国の文学の魅力に触れる機会、文学の言語やそこで描かれる社会への関心と理解を深める機会にしてください。文学作品を分析的に読むおもしろさを実感してもらいつつ、文学研究への入門となる授業を目指します。					
成績評価方法	発表やグループでのディスカッションを中心に進行するため、受講生の主体的な参加を求める授業であることは強調しておきます (説明を聞くだけでいたいという人には向かない授業です)。しっかり予習をして積極的に議論に参加してもらえれば、今まであまり文学作品を読んでこなかった人も含めてあらゆる学生の受講を歓迎します。短編小説を扱うあいだは毎回5~10ページほどの英文、詩のときは数ページ分の英文、長編小説を扱う学期後半は日本語訳で毎回80ページほどの分量 (およびレポート・論文を書くためのヒントを提供してくれる英語の文章2~3ページ分) を読んでうえて参加してもらうことになります。毎週の予習にある程度の時間がかかることを覚悟しておいてください。こちらからも補助教材の提供などをおしてサポートします。長編小説は指定する日本語訳を購入してもらいますが、それ以外の教材は印刷物と PDF ファイルで提供します。履修が決まった方は初回の授業から必ず出席してください。初回は予習の必要はありません。					
教科書	発表やグループでのディスカッションを中心に進行するため、受講生の主体的な参加を求める授業であることは強調しておきます (説明を聞くだけでいたいという人には向かない授業です)。しっかり予習をして積極的に議論に参加してもらえれば、今まであまり文学作品を読んでこなかった人も含めてあらゆる学生の受講を歓迎します。短編小説を扱うあいだは毎回5~10ページほどの英文、詩のときは数ページ分の英文、長編小説を扱う学期後半は日本語訳で毎回80ページほどの分量 (およびレポート・論文を書くためのヒントを提供してくれる英語の文章2~3ページ分) を読んでうえて参加してもらうことになります。毎週の予習にある程度の時間がかかることを覚悟しておいてください。こちらからも補助教材の提供などをおしてサポートします。長編小説は指定する日本語訳を購入してもらいますが、それ以外の教材は印刷物と PDF ファイルで提供します。履修が決まった方は初回の授業から必ず出席してください。初回は予習の必要はありません。					
ガイダンス	なお、少人数の演習の環境を確保するため、授業の履修者数は20名程度を想定しています。履修希望者が20名を大幅に超える場合、初回授業時 (10/4) に履修者選考のための短い論述課題について説明し、10/7までに指定する方法 (Google フォーム) で提出してもらいます。そのうえで遅くとも第2回授業 (10/11) の前日までに受講を許可する学生のリストをUTOLの授業のページおよびUTAS上の教務課からの掲示で通知します。履修希望者数が20名以下の場合は課題による選考は実施しません。履修を希望する方は必ず初回のオンライン授業から参加してください。※学部の方針に従い、初回のみZoomでのオンライン授業、2回目以降は対面授業となります。					
	予習やディスカッションへの参加度を含む平常点 (30%)、発表担当 (20%)、毎回提出のレスポンス・ペーパー (20%)、期末レポート (30%) を基本として判断し、学期末に調整を加えます。ただし発表担当とレポート提出の両方をこなしていることを単位認定のための必須条件とします。					
	予習をしていない場合、議論に参加していない場合は欠席と同じ扱いです。また、特別な事情や教員への連絡がないまま4回以上欠席した場合は不可とします。					
	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook マーク・トウェイン (柴田元幸訳) ハックルベリー・フィンの冒険 研究社 9784327492014					
	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50939	A	人文科学ゼミナール (データ分析)	大森 拓哉	心理・教育学	金 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	心理学統計法 今日注目を集めているデータサイエンスという分野において重要なことは、物事を客観的に判断するために証拠となるデータを集め、的確に分析することである。この授業では、人間行動や社会現象一般のデータを用い、的確な分析ができるようになるための基礎を学ぶ。その中でも特に「心理学で用いられる統計手法」および「統計に関する基礎的な知識」を学ぶ。講義は、統計ソフト R と EXCEL 上で動く HAD を用いて、実際のデータの収集・分析・考察を講義と演習によって行う。基礎統計の授業などで学んだ理論を実際のデータを自分の手で分析することによって理解を確実なものにすることを目的とする。 授業では、講義と演習を行うが、PC を用いた演習を主とする。演習においては、各自の調査内容をプレゼンテーションする機会も設ける。 受講者数が収容人数 (30 名程度) を超えるような場合には受講人数に制限を設けることがある。その場合は初回授業出席者の中から選考する。					
成績評価方法	平常点、授業中の課題、最終課題の合計点で評価する。 平常点 20%、課題点 80%					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51079	A	人文科学ゼミナール (データ分析)	大関 洋平	英語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	自然言語処理入門 昨今の機械学習やビッグデータの急速な発展に伴い、社会科学や自然科学だけでなく、人文科学においてもデータ分析が必要不可欠な教養になりつつあります。そこで、本授業では、自然言語のデータ分析を対象とする「自然言語処理」(Natural Language Processing, NLP) の概要を説明し、Python と NLTK を用いて実際にプログラムを実行することで、その基盤技術を理解することを目標とします。特に、形態素解析、構文解析、意味解析、日本語の自然言語処理、ニューラルネットワークと深層学習、などを取り扱う予定です。					
成績評価方法	毎週の演習および期末課題を踏まえて、総合的に判断する。					
教科書 ガイダンス	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Steven Bird, Ewan Klein, Edward Loper Natural Language Processing with Python O'Reilly Media, Inc. 9780596516499 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50707	A	人文科学ゼミナール (哲学・科学史)	藤川 直也	哲学・科学史	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	言語哲学の古典的文献を読む。 現代の言語哲学の基礎をなす古典的な文献を精読する。今年度は、ジョン・サールの「発語内行為の分類法」という論文を取り上げる (時間に余裕があれば、同著者の『表現と意味——言語行為論研究』に収められた他の論文も読む)。専門的な論文の読み方 (cf. ノートの取り方、批判的検討)、言語哲学を研究するための基礎的な知識の獲得を目指す。					
成績評価方法	学期末レポートに基づいて評価する。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50948	A	人文科学ゼミナール (文化人類学)	中村 沙絵	文化人類学	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>研究入門：他者性をめぐる人類学的思考</p> <p>【授業の目標】文化／社会人類学において、他者性 (alterity, otherness) の概念はつねに重要な位置を占めてきました。この講義は、時代的・地域的背景のことなるいくつかの民族誌を読み合わせながら、他者性をめぐる人類学的思考の特徴を深く理解することを目的とします。受講者がそれぞれの日常において、このような思考を実践する可能性や意味を検討できるように、インタラクティブな授業を目指します。</p> <p>【概要】</p> <p>人類学者の著す書物 (多くの場合「民族誌」とよばれる) について、それが「文化的な他者」を理解可能なものとする記述・考察であるとする一般的な捉え方があります。こうした理解にみられるように、これまで人類学は、客観的に記述・分析でき、把握できるものとしての他者性 (cultural Other) を問題にする学問として位置づけられてきました。1980年代以降、民族誌家が「文化的な他者」として描いてきたコミュニティの内外から、他者表象の権威性や暴力性などが問われるようになると、人類学の営みそれ自体が厳しい批判に曝されるようになりました。人類学者の営みが調査地で出会うことになる人々 (他者) を言葉や概念によって領有する行為であること、その政治的帰結の深刻さなどが明るみに出されました。文化的他者 (≒自分からもっとも離れた人々) のもとに飛び込み、調査者自身のものの見方や生への構えが問いなおされる状況で、新たな生き方の可能性について思索を巡らせるという人類学的フィールドワークは、特権的な地位にいる学者の自己満足でしかないという厳しい批判も寄せられました。</p> <p>しかし、人類学的フィールドワークにおける他者性とは、文化的な他者性に留まるものではありません。つまりそれは、一見「訳がわからない」「合理的に説明しうる」ような何かに留まりません。フィールドワークで浮かびあがってくる他者性とは、哲学における他者性の概念にあるように、それは理解をすり抜けてしまうもの、私の言葉や主張を否定してくるように思われるものを含む (少なくとも、含みうる) と考えることができます。このような意味での他者性は、初期の民族誌を丁寧に読めば浮かび上がってくるものであり、近年の人類学者に拠る手記や実験的民族誌においてはより明示的・豊かに展開されています。</p> <p>つまり、人類学的思考における他者性には、自分とはことなる (あたりまえ) を生きる人々について、できるだけ理解しようとする (≒文化的な他者についての知識を得ること) と、どうしても私の理解をすり抜ける、あるいは日常が裂開するような経験において感じられるような根本的な (radical) 他者性のなかで思索をめぐらせる、と二つの極が、相互排他的ではないかたちで共存してきた、ということです。この講義では、上述のように人類学における他者性は二つの極を揺れ動いてきた、という理解 (仮説) にもとづき、他者性をめぐる人類学的思考の軌跡をなぞっていきます。</p> <p>・平常点 (ディスカッションへの参加度) を重視します (70%)。</p> <p>・そのほか、①読み合わせの回でレジュメをきってくれる場合には、その発表内容を、②担当されない場合には読書メモの提出を最低3回分、提出してもらいます。これを以て提出物として評価します (30%)</p>					
成績評価方法	<p>授業中に指示をする。／Will specify at class time</p>					
教科書 ガイダンス	<p>授業中に指示をする。／Will specify at class time</p> <p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50187	A	人文科学ゼミナール (歴史学)	塚原 伸治	歴史学	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>「東京の民俗学」を構想する</p> <p>この授業では「東京の民俗学」がどのように可能か、考えてみたい。</p> <p>民俗学は、さまざまな形で営まれる人々の暮らしのありかたについて、具体的な記述とともに考える学問分野である。そういった意味では研究のフィールドはどこでも成立しうるはずだが、民俗学では暮らしの地域的多様性に関する関心が強く、また、どちらかといえば伝統文化を扱うことを得意としてきたという事情から、少数の例外をのぞいて、東京のような大都市の生活はフィールドワークの地とはなりにくかった。</p> <p>一方で、民俗学においては現代社会を生きる人びとの同時代的な日常生活への関心も高まっており、地方・農村・伝統文化などを扱うことだけが民俗学ではないという考えが主流化している。ただし、その場合、特定の土地に結びついた研究として行われるというよりは、より広い地域でみられるような現象を扱うという傾向が強く、やはり「東京の」民俗学が行われてきたとはいいいがたい。</p> <p>この授業ではジョルダン・サンド著『東京ヴァナキュラー—モノユメントなき都市の歴史と記憶—』を手がかりに、東京の民俗学がいかんにして可能か考えてみたい。同書は民俗学の視点から書かれたものではないが、書名にある「ヴァナキュラー」というキーワードは、現代民俗学の最重要キーワードのひとつである。この本を片手に、ともに「東京の民俗学」を構想してみたい。</p>					
成績評価方法	<p>授業中の発表 (約 50%)、議論への貢献度 (約 50%) をもって総合的に判断する。もし受講者が多く全員に発表の機会がない場合は、レポートをもって代える可能性がある。</p>					
教科書	<p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook</p> <p>ジョルダン・サンド (池田真歩訳)</p> <p>東京ヴァナキュラー—モノユメントなき都市の歴史と記憶—</p> <p>新曜社</p> <p>9784788517387</p>					
ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50947	A	人文科学ゼミナール (歴史学)	田中 創	歴史学	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>エドワード・ギボン『ローマ帝国衰亡史』を読む 古代ローマ史の古典的文献であるエドワード・ギボン『ローマ帝国衰亡史』の第3巻（第28章から第38章+西ローマ帝国滅亡の総括）を講読する。18世紀に書かれた本書は近代歴史学が確立する以前のものであり、学術内容的にはその後の研究によって取って代わられた部分も少なくない。しかし、授業ではそのような小難しいことを論じるのではなく、肩の力を抜いて学生と教員での読み合わせを行い、壮大なスケールを持つこの古典的名著を楽しみたい。ローマ帝政史は一般学生にはなじみの薄いテーマであろうが、分からないことがあれば適宜教員が解説をするので、専門家との読書を通じて、西洋の基礎教養である古代ローマ史に関する視野・知識を広げる機会にしてもらいたい。</p> <p>著作の内容としてはテオドシウス1世治世のいわゆる「キリスト教国教化」から5世紀の「西ローマ帝国滅亡」までのローマ帝国史を扱う。時代のスパンは短いものの、キリスト教のヨーロッパへの浸透をはじめ、西ゴート人のローマ市劫略、フン王アッティラの活躍、フランク王クローヴィスの台頭など見どころの多い箇所であり、歴史だけでなく、文学（ヨーロッパのみならず、近代日本も含め）、神学に興味のある者にも得られるところは多いであろう。授業の目的としては、一般的な歴史的知識を獲得するとともに、何より18世紀啓蒙時代の知識人の考え方・世界観に触れることを目指す。</p>					
成績評価方法	<p>なお、初回授業時（オンラインで実施）の履修希望者が20名を超えた場合は、小論文の試験を実施して選考するので、初回授業には必ず出席すること。受講許可は第2回までにUTOLを通じて告知する。</p> <p>平常点とレポート（提出物）で評価する。演習形式をとるため、授業の出席と授業内での発言・発表といった平常点が重視される。</p>					
教科書	<p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook エドワード・ギボン（著）、中野好夫・朱牟田夏雄（訳） ローマ帝国衰亡史（ちくま学芸文庫版 第4巻と第5巻） 筑摩書房 978-4480082640、978-4480082657</p>					
ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

展開科目 自然科学ゼミナール

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50258	A	自然科学ゼミナール (化学)	平岡 秀一	化学	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	有機反応機構を考える 本ゼミナールは実際に報告されている様々な有機化学反応を題材に、その反応機構を考える授業である。講義では、有機化合物の立体構造や安定性、基本的な有機反応とその反応機構を電子論的に考え、さらに、なぜそのような反応が起こるのか、もしくはある生成物がなぜ優先的に生成するのかを、軌道の相互作用、中間体もしくは遷移状態の安定性をもとに定性的に議論し、合理的な解釈へ至る方法を学ぶ。本授業は、高校までの知識で履修可能で、特別な予備知識は必要としません。基本からはじめ、順にレベルが上がっていきますので、興味のある方、大歓迎です。なお、本講義では、受講希望者が多数の場合は、選抜を実施します。履修希望者は第1回目の講義に出席してください。選抜結果は、第2回講義前までに掲示します。参考として、過去に受講者の選抜が行われたことはありません(平均して15名程度履修しています)。					
成績評価方法 教科書	平常点および期末試験により評価を行います。 プリントを配布する。/Will distribute handouts オンラインで行う場合は、UTOLを通して資料を提供します。					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51349	A	自然科学ゼミナール (情報科学)	伊東 乾	情報学環	火 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	生成 AI 以降の算数・数学教育／プログラミング教育 ChatGPT に、例えば「二重ガウス分布関数によるフィッティングの Python のプログラムコードを教えて」とプロンプトでリクエストすれば、それなりのソースコードが瞬時に得られるようになっているのが、2022年冬以降の状況である。では「プログラミング教育」は不要なのか？そうではない。コーディングの細部はもちろん、より大局的なアルゴリズムの立て方など、人間ならではの進んだ課題を問う余地が広がったと考えるべきだろう。本コマでは小学校の算数、中学高校の数学、おのおのの情報科目や、場合により「小学英語」など、大規模言語モデルを用いた機械学習システム（いわゆる「生成 AI」）以降の状況を前提に、2030-2050年代などに向けての、初等中等教育の在り方を、現実的に考えてゆく。					
成績評価方法 教科書	出席と発表、状況により追加レポートで評価。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 文部省 緑表紙尋常小学算術教科書（復刻版） 啓林館					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50175	A	自然科学ゼミナール (身体運動科学)	久保 啓太郎	スポーツ・身体運動	月 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	アドバンスト・フィットネス 定期的にトレーニングやスポーツを行っている学生やトレーニングに興味を持つ学生を対象に、最新のトレーニング科学の知識を講義と実習を通じて提供する（定員25名）。受講希望者が25名を超過した場合には、受講を希望する理由書（第1回講義の時間内に課す）に基づき選抜を実施する（詳細は、下記の「履修上の注意」を参照すること）。選抜結果は、第2回講義前までに UTOL に掲載する。					
成績評価方法 教科書	出席、レポート、受講態度などから総合的に評点する。 教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50778	A	自然科学ゼミナール (数理科学)	権業 善範	数学	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	群論入門					
授業の目標概要	群について親しむ					
成績評価方法	レポートによる評価とする。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50950	A	自然科学ゼミナール (数理科学)	柏原 崇人	数学	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	『これなら分かる応用数学教室』を読む					
授業の目標概要	<p>本科目では、応用数学入門として、『これなら分かる応用数学教室』（金谷健一著、共立出版）をセミナー形式で輪読する。つまり、毎回の授業において受講者の中から発表者を決め、発表者は上記テキストの担当範囲をしっかりと読み込んで予習した上で、授業当日は黒板に板書をしながら発表を行う。</p> <p>応用数学は、その名の通り数学的知見を他分野の問題に応用することを目指す。そのためには応用先の問題とうまくマッチするように数学的概念・枠組みを適切に設定する必要があり、それ自体が重要な数理科学的考察である。こういった応用数学独特の視点は、通常の数学の講義では（時間的制約もあって）扱われることは少ないものの、数学だけでなく物理・工学・情報といった分野を専攻しようとする学生にとって有意義である。</p> <p>本テキストは、最小2乗法・直交関数展開・（離散）フーリエ解析・主成分分析・ウェーブレット解析を解説している（情報系分野のトピックがやや多い）。本文は平易で読みやすく、対談形式で書かれたディスカッション部分は発展的な話題にも触れていて読み応えがある。「線形代数や微分積分の授業は受けたが、いまいち理解が深まっていない気がする」ので、それらの知識の応用先を学ぶことで重要性を理解したい」と感じている学生に最適だと思う。</p> <p>受講希望者多数の場合には、本科目の趣旨を考慮して、応用数学を学びたいという意欲があるかという観点で選抜を行う。下記(1)(2)をA4用紙1枚程度に記載し、第1回講義までに提出せよ（提出先はUTOLとする予定）。</p> <p>(1) 本科目の受講を希望する理由（数行でよい）</p> <p>(2) テキスト第1章「最小二乗法」の第1.1節「データの表現」を読んで、興味を持った部分</p>					
成績評価方法	出席状況とセミナーにおける発表・質疑応答の内容にもとづいて評価する。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook					
ガイダンス	金谷健一 これなら分かる応用数学教室 共立出版 978-4-320-01738-2 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51134	A	自然科学ゼミナール (生命科学)	谷崎 祐太	生物	集中	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	血球の形態、機能の多様性に関する実習					
授業の目標概要	<p>体内を循環する血液に含まれる血球は赤血球、顆粒球、血小板（栓球）と大まかに3つに分類される。一般的に、赤血球は核がなく円盤状の形をしていることが知られているものの、その特徴は生物の中でも哺乳類を指したものとなっている。魚類、両生類、爬虫類、鳥類など脊椎動物の赤血球を広く観察すると大半の動物種が有核赤血球を有しており、形も楕円形であることがわかる。本ゼミナールでは比較血液学がいかんして生物学、医学に貢献してきたのか概説するとともに、実際に基本的な血球の機能を調べる。両生類ツメガエルを利用した血球の観察、遺伝子発現解析を通して、血液学、動物学の基礎を学び、分子生物学的手法、細胞生物学的手法の基礎を習得することが本ゼミナールの目的である。</p> <p>本授業は実習形式のため、受講を希望する理由書に基づき選抜を実施する。履修希望者は10月2日（水）までにLMSのメッセージ機能を用いて名前、所属、学生証番号、受講希望理由書（200字程度）を提出すること。選抜結果は、10月9日（水）までに掲示する。</p>					
成績評価方法	実習をまとめたレポート（12月8日日曜日締切）と参加状況により評価する。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51135	A	自然科学ゼミナール (生命科学)	池田 啓、 土畑 重人	生物	集中	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>自然史生物学：博物館の標本から学ぶ生物多様性 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。博物館が保有する標本をもとに生物の進化や多様性について考察することで、生物多様性に関する知識が形成されたプロセスを理解できるようになることを目標とする。</p>					
成績評価方法	<p>自然史博物館の役割を解説した上で、国立科学博物館（上野本館、及び筑波実験植物園[予定]）を見学し、博物館の活動を学ぶとともに生物標本を観察する。観察した標本から生物の進化や多様性に関する考察を行い、考察した内容の発表をもとにディスカッションを行う。</p>					
教科書 ガイダンス	<p>「自然科学ゼミナール（生命科学）」では、実習及びディスカッションを円滑に行うため、受講希望者を選抜する。ガイダンス後に UTOL 経由でアンケートを実施し、受講を希望する理由や集中講義を実施する日程などをもとに履修者を選抜する。選抜結果は、10月10日までに通知する。（*選抜に関する詳細は、ガイダンスの際に改めて連絡する）。</p> <p>出席状況をもとに総合的に評価する。出席だけでなく、プレゼンテーションでの発表やディスカッションに対する取り組みなどを評価する。</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time</p>					

展開科目 文理融合ゼミナール

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51337	A	文理融合ゼミナール (メディアと芸術)	中井 悠	先進融合	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	18号館ホールのからくり 駒場キャンパスの18号館ホールはかなり充実した施設であるにも関わらず、誰もその充実した設備の全貌を把握しておらず、それゆえに十全に使いこなす機会がないということが最近の調べで判明しました。この授業では、18号館ホールを巨大な「楽器」に見立てて、さまざまな仕方での構造や機能、クセや能力を内部から探り出し、この楽器でしか上演できないパフォーマンスをみんなで構想します。この場合、「パフォーマンス」という言葉は「人の前で演じられるもの」という広い意味で使われており、音楽、演劇、上映会、レクチャー、漫才、ダンス、伝統芸能、授業、などはもちろん、それ以外の形式にも開かれています。最終的にできるパフォーマンスは受講生それぞれがひとつでも、複数人でひとつでも、全体でひとつでも構いません。既存の作品の上演も含めます。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	出席、参加の度合いなども踏まえた自己採点。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51340	A	文理融合ゼミナール (メディアと芸術)	岩井 俊雄 橋本 典久	先進融合	集中	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	実験的メディア考古学：19世紀の映像装置を再発明する 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。 19世紀末、エジソンやリュミエール兄弟によって映画が生まれ、現代の映像文化へと発展した。しかしさらに遡れば、規則的に並んだ柵の後ろを通る馬車の車輪のスポークが奇妙に歪んで見えることを、イギリスの科学者ロジェが200年前に気がついたことに辿り着く。柵と馬車の車輪が、なぜ映像装置の発明へとつながるのだろうか？ この授業では、こうした19世紀の発見や映像装置を資料から読み解き、実際に自分で作り、実験し、仕組みや効果を検証しながら、我々が日常的に目にしている映像というもののルーツに迫ります。そして、19世紀にこぼれおちてしまったポテンシャルを拾い上げ、そこから新しい映像装置やメディアを再発明する試みにつなげます。 メディアアーティストで絵本作家の岩井俊雄と、プリミティブメディアアーティストの橋本典久が担当。受講者とともに未知なる映像の魅力を発見する機会となることを期待しています。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	毎日のコメントシート 50%、最終課題 50%で算出する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51338	A	文理融合ゼミナール (研究入門)	中井 悠	先進融合	月 6	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	副産物ラボ／Side Effects Lab 文理融合ゼミナール「研究入門」では、芸術と諸学術の協働により得られた諸分野の問いに実際に取り組み、教員のメンターシップのもと、研究発表、展示・公演、社会実装などを目指します。 「副産物ラボ」では、さまざまな専門を持つ学生とともに、広い意味でのパフォーマンスの研究と制作、そして「癖」や「影響」などの関連トピックを軸とするセミナーや出版物の企画を行なっています。同時に、ラボの名前通り、個々の目的を追求しながらも、その過程において生じてくる思いがけない副産物や副作用にも注目し、それらを活動に回収していくことも目指します。ラボの詳しい活動についてはホームページをご覧ください (http://selout.site)					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	取り組み、出席、成果などを総合的に踏まえた自己評価を基本とする。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51334	A	文理融合ゼミナール (研究入門)	館 知宏	教養教育 高度化機構	集中	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	つながるかたち 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。文理融合ゼミナール「研究入門」では、芸術と諸学術の協働により得られた諸分野の問いに実際に取り組み、教員のメンターシップのもと、研究発表、展示・公演、社会実装などを目指します。					
成績評価方法	「つながるかたち」では、手を動かして「かたち」をつくることを端緒とし、科学的視点で発見すること、問いを得ること、その問いを解くことの連鎖を実践します。研究室のデジタルファブリケーション機器などを用いた製作や、CAD・プログラミングによるモデリングなども行います。					
教科書	研究活動への取り組み、対外発表等への取り組みなどを総合して評価を行う。					
ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51335	A	文理融合ゼミナール (研究入門)	工藤 和俊	教養教育 高度化機構	集中	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	身体パフォーマンスの熟達化 スポーツ、ダンス、音楽などのパフォーマンス時における動作、筋活動、心拍、呼吸等の生体情報計測、映像解析、および文献調査等を用いてアート・パフォーマンス熟達者の身体技法やパフォーマンスの熟達プロセスを明かにするとともに、国内外での研究発表を目指します。					
成績評価方法	研究への取り組みや成果を総合して評価を行う。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51343	A	文理融合ゼミナール (研究入門)	本間 健太郎	生産技術研究所	集中	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	プロジェクト・プロトタイピング 「研究入門」では、芸術と諸学術の協働により得られた諸分野の問いに実際に取り組み、教員のメンターシップのもと、研究発表、展示・公演、社会実装などを目指します。 *****					
成績評価方法	「プロジェクト・プロトタイピング」では、生産技術研究所価値創造デザイン推進基盤の協力ののもと、新たなプロダクト、建築や空間、メディアアートやUI、電子的デバイス、web サービスなどを各自が制作します。					
教科書	何を制作するかは各自の自由で、できれば学術的背景のあるプロジェクトを推奨します。本演習を通して制作したいものがおおそ決まっている状態で参加してください。制作したいものが既に明確になっている方も歓迎しますし、そうでなくても、例えば「○○という学術的な知見や技術を用いて何らかのプロダクトを制作したい」程度の展望があれば、それも歓迎します。詳細テーマの決定と、何をどのように作るかについては、教員がサポートします。					
ガイダンス	成果のクオリティや、活動への積極性などを総合して評価を行う。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51348	A	文理融合ゼミナール (研究入門)	寛 康明	情報学環	集中	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	マテリアルインタラクション 文理融合ゼミナール「研究入門」では、芸術と諸学術の協働により得られた諸分野の問いに実際に取り組み、教員のメンターシップのもと、研究発表、展示・公演、社会実装などを目指します。 「マテリアルインタラクション」では、物理的な素材の特性や現象に着目しながら、コンピュータを介した新しいインタラクションを創出することを目指します。身の回りの素材を含むものの特性に注目し、ディスプレイやセンシングなどインタフェースへの活用方法を考えます。さらに、アプリケーションシナリオの提示や作品表現などアウトプットやプレゼンテーション方法にもこだわりを持って進めます。 研究テーマに応じて、研究室のデジタルファブリケーション機器などを用いた製作や、Arduino などを用いた電子工作なども行います。 受講に際してガイダンスを10月2日(水)6pm～、オンラインで行います(リンクはUTOLに記載します)。受講には課題の提出が必要になりますので、ガイダンスを受講するようにしてください。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	授業への取り組み(出席は重要視します)、成果、対外発表などを総合して評価を決定する。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特定日に行く。/Will conduct guidance at another time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51336	A	文理融合ゼミナール (身体と芸術)	中井 悠	先進融合	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Archi-Choreographics：振り付けとしてのクセ (TAKE 8) 口癖、手癖、怠け癖、思考癖、酒癖、難癖、曲者、潔癖、寝癖、癖が強い、などなど、日本語の「クセ」という言葉は、単なる「習慣(habit)」には収まらない広がりを持つ不思議な概念です。この授業では人の持つさまざまな「クセ」を、本人が知らない間に身体や思考に植え付けられた根源的な「振り付け(コレオグラフィー)」とみなし、拡張されたダンスの問題として捉えます。そしてそのような身体や思考の偏りを受講生どうしの相互観察を通じて探り合い、個々のクセの来歴を明らかにしたり、それを他人に移したりすることで、個人の「その人らしさ」という感覚がどこで生み出され、どのように変容しうるかを検証します。新しい振付を考えることでダンスをいわば足し算的につくる通常のアプローチとは逆に、各自が気づかないうちにすでに踊っている振付を露わにすることで引き算的にダンスを浮かび上がらせる試みです。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	出席、参加、学習・納得の程度、発表などを考慮に入れた自己採点をベースとします(怠け癖、虚言癖は減点の対象になります)。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51350	A	文理融合ゼミナール (身体と芸術)	伊東 乾	情報学環	火 6	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	生成AI以降に伸びる 人間の創造性とは？ 例えば、マンガの「効果線」をAIは描けるだろうか？ベタ塗りやスクリーントーンを貼るような作業と違って、センスを感じさせるような効果線をAIに期待するのは困難である。それどころか、コミックスの現場やアニメーションの背景などは、AIの活用が期待されているけれど、2024年時点で、およそ実用の水準に達していない。逆に、そうした要素に生成AIを活用することで、初めて可能になるような新たな表現があるだろうか？例えば手塚プロダクションの場合、ネーム(シナリオとセリフ)についてはAIを活用しているが、作画については依然として、およそ実用レベルには達していない。担当者は音楽家で、コミックスはファン/コラボレータに過ぎないが、このコミックスの例を含め、生成AI以降の時代だからこそも初めて可能な、人間の創造性を飛躍させるような表現の可能性、あるいは表現の倫理などを、クリエイター目線で検討するコマである。可能であればプロの漫画家など、ゲストをお招きしたいとも考える。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	発表と期末提出物 教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行く。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51352	A	文理融合ゼミナール (身体と芸術)	辻 裕久、 尾藤 万希子	先進融合	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	合唱音楽の実践的研究 音楽の実践を授業として学ぶ場である。テノール歌手として活躍し、合唱指導のキャリアも長い辻裕久氏を講師に迎え、混声合唱を基本から学ぶ。音楽実習室のキャパシティから履修者の上限を 80 名前後とする。また、初回授業（対面実施）時にパート編制を行うが、パートの人数バランスによっては抽選等による選別の可能性もある。 授業履修に際しては指定教科書の入手を必須条件としている。 発声を整えつつ、言語、様式などの異なるさまざまな合唱作品を音楽的に構成してゆく過程を体感する。 毎回の授業では全員による総合練習に加え、パート練習の時間を持つ。それぞれ自主性、協調性を発揮し、音楽構成に全員で参加、寄与することを目標としたい。最終時には既習作品の全曲演奏を行い、授業のまとめとする。					
成績評価方法 教科書	平常点（出席）による。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 日本合唱指揮者協会編 「リーダーシャッツIV」 混声合唱／名曲篇 カワイ出版 978-4-7609-4209-1					
ガイダンス	第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51339	A	文理融合ゼミナール (身体と芸術)	西原 尚	先進融合	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	音が鳴る物を手作りすることから、自分の体を完全に客観視する。 毎回の授業で、ひとつずつ、音が鳴る物を作りします。作業を通じて、自分の体の働き方を見つめ直します。手で材料を加工し、音を鳴らし、耳で聞き、そして手の作業を繰り返して、再び音を鳴らして、耳で聞き、手の作業を重ね、音の鳴り具合を確認し、手の作業に戻るといった、体の連携とフィードバックの作業を行います。音を媒介に耳と手の連携を見直す作業であり、普段は使わない思考回路の開通作業でもあります。理屈で音が鳴る仕組みを理解することと同時に、またそれ以上に鳴り物の音の具合に耳を澄ませながら、手触りや手探りを頼りに次の手作業を判断する、という作業です。そして耳と手を使うことから、体全体のネットワークを再認識することを目標にします。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	出席重視。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51346	A	文理融合ゼミナール (身体と芸術)	田中 庸介	医学部	集中	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	医学と芸術 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。 アートとサイエンスはどのように関係しどのように異なるか。本授業では、担当教官とゲストスピーカーによる座学ならびに演習を通して、演劇、音楽、美術等、さまざまな芸術の精神力動性を活かしたアートセラピーの現在を学びつつ、将来的に他者を「癒す」ことのできる自我のあり方を探っていきます。直接的に医療や看護とは関係しない進路の学生も歓迎します。東大芸術創造連携研究機構 (ACUT) 連携講義です。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	出席とレポート、ブラッシュアップテストによる 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行く。／Will conduct guidance at another time					

英語中級 (クラス指定ターム型) 火 3

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50348	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	王 怡人	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目 授業の目標概要	Effective Communication and Presentation Skills in English This course aims to equip non-native English-speaking students with essential skills for writing and presenting scientific content in English. Through interactive workshops, students will learn to craft concise scientific abstracts, deliver compelling elevator pitches, and create engaging presentations with effective visual aids. By the end of this course, students will be able to: 1.Compose clear and concise scientific abstracts. 2.Deliver various types of presentations. 3.Develop structured outlines and notes for presentations. 4.Apply advanced presentation techniques for openings, closings, and Q&A sessions. 5.Design impactful visual aids, including slides and posters. 6.Integrate technology to enhance presentations. 7.Conduct informative presentations with confidence. 8.Engage in constructive peer evaluation.					
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> •Class contribution (20%) •Peer work, group discussion (30%) •Reflection (20%) •Final presentation (30%) 					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/ Will not use textbook 特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50349	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目 授業の目標概要	Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.					
成績評価方法	Participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/ Will not use textbook 特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50350	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	小林 宜子	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目 授業の目標概要	Reith Lectures の読解と聴解を通して英語の理解力を養う 毎年、イギリスの公共放送局 BBC のラジオで放送される Reith Lectures のスクリプトと音声教材として用い、各界を代表する専門家が一般の聴衆向けに行なった講演内容の読解と聴解を通じて英語の理解力を養います。講演の内容は政治、法律、科学技術、芸術、倫理など多岐にわたります。特に印象深く、啓発的な内容の講演を3つほど選び、英文を細部まで正確に理解する力を養うとともに、講演で扱われた種々のテーマについて考察します。					
成績評価方法	毎週の授業で行われる小テストと、学期の最終日に行なわれる試験を併せて成績評価の対象とし、その結果を総合的に評価します。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。/ Will distribute handouts 特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50351	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	牛村 圭	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目 授業の目標概要	英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	複数回の発表を含めた平常点と学期末の筆記課題（または筆記試験）による。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50352	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	林 克彦	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目 授業の目標概要	科学技術論文・書籍を読み解く 科学技術論文・書籍を読解し、社会調査に関する実験方法やそれに伴う問題を英語で理解することが目標となる。特に以下の内容に関わる有名論文や書籍（の一部）を読解する。 「ビッグデータやAIに関連した偏見・差別といった社会問題」 「社会調査入門、ビッグデータ時代の社会調査」 論文は一般性の高い内容となっているが、個別の社会調査事例における具体的な実験も含まれるため、一般的な読み物ではなく、本格的な科学技術論文となる。そのため、技術的な内容にも踏み込むことはあるが、高度な専門理解を要する内容は成績評価には含めない。 講義は輪読形式として、受講生をグループに分割し、各グループが担当した論文・範囲を毎週紹介する形で進める。1文ずつ丁寧に読み上げて、1本の論文を1-2回で時間をかけて読解してゆく。 期間中に読解した論文の内容に基づいて、期末レポートを作成する。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	発表を20%、課題を30%、学期末レポートを50%程度の割合で評価する。ただし、割合については、実施状況に応じて変更する場合がある。また、学期末レポートも受講生の希望に応じて、期末試験に変更する場合がある。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50353	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目 授業の目標概要	19世紀後半から20世紀に書かれた優れた短編小説を深く味わう 作品をただ読むのではなく、その中の表現方法や起こっている事がらを通して見えてくる時代の風潮、当時の社会通念や文化表象などについて知識を深めながら、作品の世界を深く味わっていく。風景描写や会話のなかに登場する英語表現、助動詞や冠詞一つ、文体、時制にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目する。小説の中にさりげなく登場する階級意識、社会運動、ジェンダー、風俗習慣、ヨーロッパ的/米国的世界観の相違、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。 サスペンス・怪奇短編小説を検討しています。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	テスト（期末試験+小テスト含む） 80% 平常点（グループワーク時、授業時における自主的な発言などの積極性、課題への取り組みなど総体的判断） 20% なお、出席しただけで付与される点数はありません。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50354	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	田尻 芳樹	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目 授業の目標概要	短編小説を読む この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、20 世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	平常の参加度と、期末テスト (7 回目=最終回)。 プリントを配布する。/Will distribute handouts 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60096	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	田尻 芳樹	英語	火 3	1年 文一二(1-3,7,27) 文三(1-3,9)理一(16,27) 理二三(17)
講義題目 授業の目標概要	短編小説を読む この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、20 世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	平常の参加度と、期末テスト (7 回目=最終回)。 プリントを配布する。/Will distribute handouts 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60097	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	火 3	1年 文一二(1-3,7,27) 文三(1-3,9)理一(16,27) 理二三(17)
講義題目 授業の目標概要	19 世紀後半から 20 世紀に書かれた優れた短編小説を深く味わう 作品をただ読むのではなく、その中の表現方法や起こっている事がらを通して見えてくる時代の風潮、当時の社会通念や文化表象などについて知識を深めながら、作品の世界を深く味わっていく。風景描写や会話のなかに登場する英語表現、助動詞や冠詞一つ、文体、時制にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目する。小説の中にさりげなく登場する階級意識、社会運動、ジェンダー、風俗習慣、ヨーロッパ的/米国的世界観の相違、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。 英国と米国で出版されたサスペンス・怪奇短編小説を検討しています。					
成績評価方法	テスト (期末試験+小テスト含む) 80% 平常点 (グループワーク時、授業時における自主的な発言などの積極性、課題への取り組みなど総体的判断) 20% なお、出席ただけで付与される点数はありません。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60098	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	王 怡人	英語	火 3	1年 文一二(1-3,7,27) 文三(1-3,9)理一(16,27) 理二三(17)
講義題目 授業の目標概要	Effective Communication and Presentation Skills in English This course aims to equip non-native English-speaking students with essential skills for writing and presenting scientific content in English. Through interactive workshops, students will learn to craft concise scientific abstracts, deliver compelling elevator pitches, and create engaging presentations with effective visual aids. By the end of this course, students will be able to: 1.Compose clear and concise scientific abstracts. 2.Deliver various types of presentations. 3.Develop structured outlines and notes for presentations. 4.Apply advanced presentation techniques for openings, closings, and Q&A sessions. 5.Design impactful visual aids, including slides and posters. 6.Integrate technology to enhance presentations. 7.Conduct informative presentations with confidence. 8.Engage in constructive peer evaluation.					
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> •Class contribution (20%) •Peer work, group discussion (30%) •Reflection (20%) •Final presentation (30%) 					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60099	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 3	1年 文一二(1-3,7,27) 文三(1-3,9)理一(16,27) 理二三(17)
講義題目 授業の目標概要	Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.					
成績評価方法	Participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60100	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	林 克彦	英語	火 3	1年 文一二(1-3,7,27) 文三(1-3,9)理一(16,27) 理二三(17)
講義題目 授業の目標概要	科学技術論文・書籍を読み解く 科学技術論文・書籍を読解し、社会調査に関する実験方法やそれに伴う問題を英語で理解することが目標となる。 特に以下の内容に関わる有名論文や書籍（の一部）を読解する。 「ビッグデータや AI に関連した偏見・差別といった社会問題」 「社会調査入門、ビッグデータ時代の社会調査」 論文は一般性の高い内容となっているが、個別の社会調査事例における具体的な実験も含まれるため、一般的な読み物ではなく、本格的な科学技術論文となる。そのため、技術的な内容にも踏み込むことはあるが、高度な専門理解を要する内容は成績評価には含めない。 講義は輪読形式として、受講生をグループに分割し、各グループが担当した論文・範囲を毎週紹介する形で進める。1文ずつ丁寧に読み上げて、1本の論文を1-2回で時間をかけて読解してゆく。 期間中に読解した論文の内容に基づいて、期末レポートを作成する。					
成績評価方法	発表を20%、課題を30%、学期末レポートを50%程度の割合で評価する。ただし、割合については、実施状況に応じて変更する場合がある。また、学期末レポートも受講生の希望に応じて、期末試験に変更する場合がある。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60101	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	牛村 圭	英語	火 3	1年 文一二(1-3,7,27) 文三(1-3,9)理一(16,27) 理二三(17)
講義題目 授業の目標概要	英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。					
成績評価方法	複数回の発表を含めた平常点と学期末の筆記課題（または筆記試験）による。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60102	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	小林 宜子	英語	火 3	1年 文一二(1-3,7,27) 文三(1-3,9)理一(16,27) 理二三(17)
講義題目 授業の目標概要	Reith Lectures の読解と聴解を通して英語の理解力を養う 毎年、イギリスの公共放送局 BBC のラジオで放送される Reith Lectures のスクリプトと音声教材として使い、各界を代表する専門家が一般の聴衆向けに行なった講演内容の読解と聴解を通じて英語の理解力を養います。講演の内容は政治、法律、科学技術、芸術、倫理など多岐にわたります。特に印象深く、啓発的な内容の講演を3つほど選び、英文を細部まで正確に理解する力を養うとともに、講演で扱われた種々のテーマについて考察します。					
成績評価方法	毎週の授業で行われる小テストと、学期の最終日に行なわれる試験を併せて成績評価の対象とし、その結果を総合的に評価します。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級 (クラス指定ターム型) 火 4

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50410	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	牛村 圭	英語	火 4	1年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要	英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。					
成績評価方法	複数回の発表を含めた平常点と学期末の筆記課題 (または筆記試験) による。					
教科書	プリントを配布する。/Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50411	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	王 怡人	英語	火 4	1年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要	Effective Communication and Presentation Skills in English This course aims to equip non-native English-speaking students with essential skills for writing and presenting scientific content in English. Through interactive workshops, students will learn to craft concise scientific abstracts, deliver compelling elevator pitches, and create engaging presentations with effective visual aids. By the end of this course, students will be able to:					
成績評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1.Compose clear and concise scientific abstracts. 2.Deliver various types of presentations. 3.Develop structured outlines and notes for presentations. 4.Apply advanced presentation techniques for openings, closings, and Q&A sessions. 5.Design impactful visual aids, including slides and posters. 6.Integrate technology to enhance presentations. 7.Conduct informative presentations with confidence. 8.Engage in constructive peer evaluation. <ul style="list-style-type: none"> •Class contribution (20%) •Peer work, group discussion (30%) •Reflection (20%) •Final presentation (30%) 					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50412	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	田尻 芳樹	英語	火 4	1年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要	短編小説を読む この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、20 世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。					
成績評価方法	平常の参加度と、期末テスト (7 回目 = 最終回)。					
教科書	プリントを配布する。/Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50413	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 4	1年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要	Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.					
成績評価方法	Participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/ Will not use textbook 特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50414	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	林 克彦	英語	火 4	1年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要	科学技術論文・書籍を読み解く 科学技術論文・書籍を読解し、社会調査に関する実験方法やそれに伴う問題を英語で理解することが目標となる。 特に以下の内容に関わる有名論文や書籍 (の一部) を読解する。 「ビッグデータや AI に関連した偏見・差別といった社会問題」 「社会調査入門、ビッグデータ時代の社会調査」 論文は一般性の高い内容となっているが、個別の社会調査事例における具体的な実験も含まれるため、一般的な読み物ではなく、本格的な科学技術論文となる。そのため、技術的な内容にも踏み込むことはあるが、高度な専門理解を要する内容は成績評価には含めない。 講義は輪読形式として、受講生をグループに分割し、各グループが担当した論文・範囲を毎週紹介する形で進める。1文ずつ丁寧に読み上げて、1本の論文を1-2回で時間をかけて読解してゆく。 期間中に読解した論文の内容に基づいて、期末レポートを作成する。					
成績評価方法	発表を 20%、課題を 30%、学期末レポートを 50%程度の割合で評価する。ただし、割合については、実施状況に応じて変更する必要がある。また、学期末レポートも受講生の希望に応じて、期末試験に変更する必要がある。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。/ Will specify at class time 特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50415	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	小林 宜子	英語	火 4	1年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要	Reith Lectures の読解と聴解を通して英語の理解力を養う 毎年、イギリスの公共放送局 BBC のラジオで放送される Reith Lectures のスクリプトと音声教材として用い、各界を代表する専門家が一般の聴衆向けに行なった講演内容の読解と聴解を通じて英語の理解力を養います。講演の内容は政治、法律、科学技術、芸術、倫理など多岐にわたります。特に印象深く、啓発的な内容の講演を3つほど選び、英文を細部まで正確に理解する力を養うとともに、講演で扱われた種々のテーマについて考察します。					
成績評価方法	毎週の授業で行われる小テストと、学期の最終日に行なわれる試験を併せて成績評価の対象とし、その結果を総合的に評価します。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。/ Will distribute handouts 特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50416	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	逆井 聡人	英語	火 4	1年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Discussing Contemporary Society with Critical Theories</p> <p>この授業の目標は、現代社会における様々な問題を英語で批評的に考え、議論できる素地を作ることです。ナショナリズムやレイシズム、ジェンダー、ポストコロニアル、環境、ケアといった批評理論の英語で書かれた／英訳された基礎的文献に触れ、そこから得られた知見を活用して、現代社会で起こっている出来事をどのように捉えられるかを議論します。毎回のコメントシート、ディスカッションへの貢献度、プレゼンテーションの点数を総合的に評価します。</p> <p>授業中に指示をする。／Will specify at class time</p> <p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50417	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	火 4	1年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>19世紀後半から20世紀に書かれた優れた短編小説を深く味わう</p> <p>作品をただ読むのではなく、その中の表現方法や起こっている事がらを通して見えてくる時代の風潮、当時の社会通念や文化表象などについて知識を深めながら、作品の世界を深く味わっていく。風景描写や会話のなかに登場する英語表現、助動詞や冠詞一つ、文体、時制にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目する。小説の中にさりげなく登場する階級意識、社会運動、ジェンダー、風俗習慣、ヨーロッパ的/米国的世界観の相違、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。</p> <p>英国と米国で出版されたサスペンス・怪奇短編小説を検討しています。</p> <p>テスト（期末試験＋小テスト含む） 80%</p> <p>平常点（グループワーク時、授業時における自主的な発言などの積極性、課題への取り組みなど総体的判断） 20%</p> <p>なお、出席しただけで付与される点数はありません。</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60136	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	逆井 聡人	英語	火 4	1年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Discussing Contemporary Society with Critical Theories</p> <p>この授業の目標は、現代社会における様々な問題を英語で批評的に考え、議論できる素地を作ることです。ナショナリズムやレイシズム、ジェンダー、ポストコロニアル、環境、ケアといった批評理論の英語で書かれた／英訳された基礎的文献に触れ、そこから得られた知見を活用して、現代社会で起こっている出来事をどのように捉えられるかを議論します。</p> <p>毎回のコメントシート、ディスカッションへの貢献度、プレゼンテーションの点数を総合的に評価します。</p> <p>授業中に指示をする。／Will specify at class time</p> <p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60137	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	火 4	1年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要	19世紀後半から20世紀に書かれた優れた短編小説を深く味わう 作品をただ読むのではなく、その中の表現方法や起こっている事がらを通して見えてくる時代の風潮、当時の社会通念や文化表象などについて知識を深めながら、作品の世界を深く味わっていく。風景描写や会話のなかに登場する英語表現、助動詞や冠詞一つ、文体、時制にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目する。小説の中にさりげなく登場する階級意識、社会運動、ジェンダー、風俗習慣、ヨーロッパ的/米国的世界観の相違、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。 英国と米国で出版されたサスペンス・怪奇短編小説を検討しています。					
成績評価方法	テスト(期末試験+小テスト含む) 80% 平常点(グループワーク時、授業時における自主的な発言などの積極性、課題への取り組みなど総体的判断) 20% なお、出席しただけで付与される点数はありません。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60138	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	小林 宜子	英語	火 4	1年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要	Reith Lectures の読解と聴解を通して英語の理解力を養う 毎年、イギリスの公共放送局 BBC のラジオで放送される Reith Lectures のスクリプトと音声教材として用い、各界を代表する専門家が一般の聴衆向けに行なった講演内容の読解と聴解を通じて英語の理解力を養います。講演の内容は政治、法律、科学技術、芸術、倫理など多岐にわたります。特に印象深く、啓発的な内容の講演を3つほど選び、英文を細部まで正確に理解する力を養うとともに、講演で扱われた種々のテーマについて考察します。					
成績評価方法	毎週の授業で行われる小テストと、学期の最終日に行なわれる試験を併せて成績評価の対象とし、その結果を総合的に評価します。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。/Will distribute handouts 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60139	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	牛村 圭	英語	火 4	1年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要	英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。					
成績評価方法	複数回の発表を含めた平常点と学期末の筆記課題(または筆記試験)による。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。/Will distribute handouts 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60140	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	王 怡人	英語	火 4	1年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要	Effective Communication and Presentation Skills in English This course aims to equip non-native English-speaking students with essential skills for writing and presenting scientific content in English. Through interactive workshops, students will learn to craft concise scientific abstracts, deliver compelling elevator pitches, and create engaging presentations with effective visual aids. By the end of this course, students will be able to: 1.Compose clear and concise scientific abstracts. 2.Deliver various types of presentations. 3.Develop structured outlines and notes for presentations. 4.Apply advanced presentation techniques for openings, closings, and Q&A sessions. 5.Design impactful visual aids, including slides and posters. 6.Integrate technology to enhance presentations. 7.Conduct informative presentations with confidence. 8.Engage in constructive peer evaluation.					
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> •Class contribution (20%) •Peer work, group discussion (30%) •Reflection (20%) •Final presentation (30%) 					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60141	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	田尻 芳樹	英語	火 4	1年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要	短編小説を読む この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、20 世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。					
成績評価方法	平常の参加度と、期末テスト (7 回目 = 最終回)。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60142	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 4	1年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要	Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.					
成績評価方法	Participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60143	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	林 克彦	英語	火 4	1年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目	科学技術論文・書籍を読み解く					
授業の目標概要	科学技術論文・書籍を読解し、社会調査に関する実験方法やそれに伴う問題を英語で理解することが目標となる。特に以下の内容に関わる有名論文や書籍（の一部）を読解する。 「ビッグデータや AI に関連した偏見・差別といった社会問題」 「社会調査入門、ビッグデータ時代の社会調査」 論文は一般性の高い内容となっているが、個別の社会調査事例における具体的な実験も含まれるため、一般的な読み物ではなく、本格的な科学技術論文となる。そのため、技術的な内容にも踏み込むことはあるが、高度な専門理解を要する内容は成績評価には含めない。 講義は輪読形式として、受講生をグループに分割し、各グループが担当した論文・範囲を毎週紹介する形で進める。1文ずつ丁寧に読み上げて、1本の論文を1-2回で時間をかけて読解してゆく。 期間中に読解した論文の内容に基づいて、期末レポートを作成する。					
成績評価方法	発表を20%、課題を30%、学期末レポートを50%程度の割合で評価する。ただし、割合については、実施状況に応じて変更する場合がある。また、学期末レポートも受講生の希望に応じて、期末試験に変更する場合がある。					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級 (クラス指定ターム型) 水2

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50536	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	栗原 浪絵	英語	水 2	1年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要	Art in English 教科書のリーディングを丁寧にやっつ、美術史や現代のアートについて英語でディスカッションを行う。並行してデザインや建築についても関心を広げる予定である。					
成績評価方法 教科書	プレゼンテーション、授業への参加、レポートで評価する。(試験は行わない。) 次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook Clair Hughes The English Family Portrait 英宝社 978-4-269-12026-6 一部の章のみを扱う予定である。					
ガイダンス	特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50537	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	Yassin Eiman	英語	水 2	1年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要	The Growing Influence of AI in Our Daily Lives This 7-week course explores the growing influence of Artificial Intelligence (AI) in our daily lives. Through engaging activities and discussions, students will develop their English communication skills while investigating the potential and challenges of AI. The course will enhance your abilities to:					
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> •Discuss complex topics related to AI in clear and concise English. •Analyze information from various English sources (movies, podcasts, articles, etc.) •Formulate and defend your own point of view on AI's role in society with clear English. •Work collaboratively on a group project that explores the practical applications of AI. Course Objectives: By the end of this course, you will be able to: <ul style="list-style-type: none"> •Explain basic AI concepts and their applications in various domains. •Critically evaluate the impact of AI on society, considering both benefits and drawbacks. •Conduct research on a specific AI tool and present your findings effectively. •Collaborate effectively in a group setting to complete a project. •Communicate your ideas clearly and concisely in spoken and written English. 					
教科書 ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> •Class participation: 10% •Peer work and group discussion: 20% •Reflection: 10% •Weekly assignments: 20% •Individual report: 10% •Final presentation: 30% 教科書は使用しない。/ Will not use textbook 特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50538	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	秦 邦生	英語	水 2	1年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要	Kazuo Ishiguro の短編小説を読む 1954年に日本の長崎で生まれ、1960年に両親の仕事の都合で5歳にしてイギリスに渡ったカズオ・イシグロは、成長して英語で書く小説家となり、2017年にはノーベル文学賞も受賞しました。この授業では彼の短編小説をいくつか選んで読み、それと同時に動画やPodcastで流通している彼のインタビューも視聴することで、カズオ・イシグロの作品について深い理解を養いながら、英語の読解力と聴解力を養います。授業全体としては、①英文読解力、②文体や形式に配慮した文学テキスト解釈、③ミニ課題やプレゼンテーションを通じた発信力という3つの力を、実践をつうじて高めることを目標とします。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	平常点(発言や課題、プレゼンテーションなどを通じた授業への貢献)ならびに期末課題による総合評価。 プリントを配布する。/ Will distribute handouts 特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50539	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	清水 晶子	英語	水 2	1年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要	デザインと技術、社会の関わりについての考察を読む 都市の設計、建築、テクノロジーや技術、そして文化と政治。私たちの生活と社会はこれらの組み合わせによって支えられています。この授業では、私たちが日常において必ずしも意識していないところで私たちの生活を支えたり規定したりしているこれらのデザインに着目して 10 年以上にわたって人気を集めてきた Podcast からいくつかのエピソードを選び、リスニングとリーディングを通じて、デザインと社会との関係について考えます。それを通じて、純粋な会話文とは異なる、ある程度まとまった長文レポートのリスニングおよび読解に慣れることを目指します。					
成績評価方法	毎回の授業での参加・貢献と、内容理解確認の結果とで、総合的に判断します。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50540	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	堀越 庸一郎	英語	水 2	1年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要	楽園はここにある—Marcus B. Huish, Birket Foster: His Life and Work (1890) を読む リーディング主体の英語の授業ですが、ところであなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょうか。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごとも、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、居心地のいい楽園。そこで永遠に繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつか、薄汚れた都会など離れ、緑のコテージに住んで、そういう「本当に確かなもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ているのです。					
成績評価方法	授業中の和訳に対する評価 (30%)、およびターム末レポート (70% : 2-3 ページ分の英文の和訳に訳注を付記したもの。詳細は授業中にご説明します)。					
教科書	その他。/Other					
ガイダンス	下記「履修上の注意」に詳細があります。 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50542	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	岩佐 将志	英語	水 2	1年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要	英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。					
成績評価方法	授業内の発表、小テスト (数回実施予定)、期末エッセイから総合的に判断する。					
教科書	授業中に指示をする。/Will specify at class time Anthony Elliott Reinvention Routledge 9780415682848					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50541	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	瀧野 みゆき	英語	水 2	1年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目	英語動画を素材に英語で Discussion					
授業の目標概要	身近で時事性のあるテーマの英語の短編動画を視聴して、内容を理解し、関連した問いについて小グループでディスカッションします。 授業内の英語 Discussion では、1) 自分の意見を英語で言う、2) 英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、3) 他の人の意見を積極的に聞く、そして4) 英語 Discussion の基本的ルールを実践する、の4点を目標とします。 授業中は、できるだけ長くスピーキングの時間を取り、話す経験を積み、明解で説得力がある英語表現をすることを目指します。 併せて、動画などの英語の素材を活用し、長期的な英語学習に役立つスキルを身に着けます： □英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する □英語動画等を視聴しながら、英語を聴き取り、理解する力を伸ばす □動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す力を習得する					
成績評価方法	授業のディスカッションのノート 40% 各授業のリスニングミニテスト 6回 40% 授業への積極的な参加 20% (期末テスト等は行わない)					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60144	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	栗原 浪絵	英語	水 2	1年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目	Art in English					
授業の目標概要	教科書のリーディングを丁寧に行いつつ、美術史や現代のアートについて英語でディスカッションを行う。並行してデザインや建築についても関心を広げる予定である。					
成績評価方法	プレゼンテーション、授業への参加、レポートで評価する。(試験は行わない。)					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Clair Hughes The English Family Portrait 英宝社 978-4-269-12026-6 一部の章のみを扱う予定である。					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60145	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	瀧野 みゆき	英語	水 2	1年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要	英語動画を素材に英語で Discussion 身近で時事性のあるテーマの英語の短編動画を視聴して、内容を理解し、関連した問いについて小グループでディスカッションします。 授業内の英語 Discussion では、1) 自分の意見を英語で言う、2) 英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、3) 他の人の意見を積極的に聞く、そして4) 英語 Discussion の基本的ルールを実践する、の4点を目標とします。 授業中は、できるだけ長くスピーキングの時間を取り、話す経験を積み、明解で説得力がある英語表現をすることを目指します。 併せて、動画などの英語の素材を活用し、長期的な英語学習に役立つスキルを身に着けます： □英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する □英語動画等を視聴しながら、英語を聴き取り、理解する力を伸ばす □動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す力を習得する					
成績評価方法	授業のディスカッションのノート 40% 各授業のリスニングミニテスト 6回 40% 授業への積極的な参加 20% (期末テスト等は行わない)					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60146	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	岩佐 将志	英語	水 2	1年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要	英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。					
成績評価方法	授業内の発表、小テスト (数回実施予定)、期末エッセーから総合的に判断する。					
教科書	授業中に指示をする。/Will specify at class time Anthony Elliott Reinvention Routledge 9780415682848					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60147	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	清水 晶子	英語	水 2	1年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要	デザインと技術、社会の関わりについての考察を読む 都市の設計、建築、テクノロジーや技術、そして文化と政治。私たちの生活と社会はこれらの組み合わせによって支えられています。この授業では、私たちが日常において必ずしも意識していないところで私たちの生活を支えたり規定したりしているこれらのデザインに着目して 10 年以上にわたって人気を集めてきた Podcast からいくつかのエピソードを選び、リスニングとリーディングを通じて、デザインと社会との関係について考えます。それを通じて、純粋な会話文とは異なる、ある程度まとまった長文レポートのリスニングおよび読解に慣れることを目指します。					
成績評価方法	毎回の授業での参加・貢献と、内容理解確認の結果とで、総合的に判断します。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60148	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	堀越 庸一郎	英語	水 2	1年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要	<p>楽園はここにある—Marcus B. Huish, Birket Foster: His Life and Work (1890) を読む</p> <p>リーディング主体の英語の授業ですが、ところであなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょうか。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごとも、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、居心地のいい楽園。そこで永遠に繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつか、薄汚れた都会など離れ、緑のコテージに住んで、そういう「本当に確かなもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ているのです。</p> <p>そういう「楽園」のイメージを、ヴィクトリア朝イギリスの画家、バーケット・フォスター (1825-99) の版画や水彩画が描いています。心ざわめくようで、それでいてどこか懐かしい、気がかりな夢の断片のような、イングランドの田園風景。今回、このクラスでテキストにするのは、そのフォスターの絵をふんだんに掲載した、画集のような伝記のような、マークス・ボーン・ヒューイッシュ (1843-1921) による 1890 年出版の本です。</p> <p>130 年も前の格調高い英文ですので、少々読みにくいと感じる方もおいでかもしれません。文体もそうですし、内容的にも古いので、ある程度は調べながら読んでいかないと、うまく読解することはできません。授業で行うのは、ですので、そういったこと、つまり、テキストの精読、ということになります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはどんな文章であろうと変わりません—現代英語の気楽な読み物だろうと、ヴィクトリア朝イギリスの華美な文体だろうと、千年前に書かれた古英語の断片だろうと、同じです。この「作法」を、まあ、お伝えしたい、そういう授業です。</p>					
成績評価方法	授業中の和訳に対する評価 (30%)、およびターム末レポート (70% : 2-3 ページ分の英文の和訳に訳注を付記したもの。詳細は授業中にご説明します)。					
教科書	その他。/Other					
ガイダンス	下記「履修上の注意」に詳細があります。 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60149	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	秦 邦生	英語	水 2	1年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要	<p>Kazuo Ishiguro の短篇小説を読む</p> <p>1954 年に日本の長崎で生まれ、1960 年に両親の仕事の都合で 5 歳にしてイギリスに渡ったカズオ・イシグロは、成長して英語で書く小説家となり、2017 年にはノーベル文学賞も受賞しました。この授業では彼の短篇小説をいくつか選んで読み、それと同時に動画や Podcast で流通している彼のインタビューも視聴することで、カズオ・イシグロの作品について深い理解を養いながら、英語の読解力と聴解力を養います。授業全体としては、①英文読解力、②文体や形式に配慮した文学テキスト解釈、③ミニ課題やプレゼンテーションを通じた発信力という 3 つの力を、実践をつうじて高めることを目標とします。</p>					
成績評価方法	平常点 (発言や課題、プレゼンテーションなどを通じた授業への貢献) ならびに期末課題による総合評価。					
教科書	プリントを配布する。/Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60150	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	Yassin Eiman	英語	水 2	1年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要	<p>The Growing Influence of AI in Our Daily Lives</p> <p>This 7-week course explores the growing influence of Artificial Intelligence (AI) in our daily lives. Through engaging activities and discussions, students will develop their English communication skills while investigating the potential and challenges of AI. The course will enhance your abilities to:</p> <ul style="list-style-type: none"> •Discuss complex topics related to AI in clear and concise English. •Analyze information from various English sources (movies, podcasts, articles, etc.) •Formulate and defend your own point of view on AI's role in society with clear English. •Work collaboratively on a group project that explores the practical applications of AI. <p>Course Objectives:</p> <p>By the end of this course, you will be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> •Explain basic AI concepts and their applications in various domains. •Critically evaluate the impact of AI on society, considering both benefits and drawbacks. •Conduct research on a specific AI tool and present your findings effectively. •Collaborate effectively in a group setting to complete a project. •Communicate your ideas clearly and concisely in spoken and written English. 					
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> •Class participation: 10% •Peer work and group discussion: 20% •Reflection: 10% •Weekly assignments: 20% •Individual report: 10% •Final presentation: 30% 					
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

英語中級 (クラス指定ターム型) 水3

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50575	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	堀越 庸一郎	英語	水 3	1年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要	<p>楽園はここにあり—Marcus B. Huish, Birket Foster: His Life and Work (1890) を読む リーディング主体の英語の授業ですが、ところであなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょうか。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごとも、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、居心地のいい楽園。そこで永遠に繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつか、薄汚れた都会など離れ、緑のコテージに住んで、そういう「本当に確かなもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ているのです。</p> <p>そういう「楽園」のイメージを、ヴィクトリア朝イギリスの画家、バーケット・フォスター (1825-99) の版画や水彩画が描いています。心ざわめくようで、それでいてどこか懐かしい、気がかりな夢の断片のような、イングランドの田園風景。今回、このクラスでテキストにするのは、そのフォスターの絵をふんだんに掲載した、画集のような伝記のような、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ (1843-1921) による 1890 年出版の本です。</p> <p>130 年も前の格調高い英文ですので、少々読みにくいとを感じる方もおいでかもしれません。文体もそうですし、内容的にも古いので、ある程度は調べながら読んでいかないと、うまく読解することはできません。授業で行うのは、ですので、そういうしたこと、つまり、テキストの精読、ということになります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはどんな文章であろうと変わりません—現代英語の気楽な読み物だろうと、ヴィクトリア朝イギリスの華美な文体だろうと、千年前に書かれた古英語の断片だろうと、同じです。この「作法」を、まあ、お伝えしたい、そういう授業です。</p>					
成績評価方法	授業中の和訳に対する評価 (30%)、およびターム末レポート (70%: 2-3 ページ分の英文の和訳に訳注を付記したもの。詳細は授業中にご説明します)。					
教科書	その他。/Other					
ガイダンス	下記「履修上の注意」に詳細があります。 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50576	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	瀧野 みゆき	英語	水 3	1年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要	<p>英語動画を素材に英語で Discussion 身近で時事性のあるテーマの英語の短編動画を視聴して、内容を理解し、関連した問いについて小グループでディスカッションします。</p> <p>授業内の英語 Discussion では、1) 自分の意見を英語で言う、2) 英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、3) 他の人の意見を積極的に聞く、そして 4) 英語 Discussion の基本的ルールを実践する、の 4 点を目標とします。</p> <p>授業中は、できるだけ長くスピーキングの時間を取り、話す経験を積み、明解で説得力がある英語表現をすることを目指します。</p> <p>併せて、動画などの英語の素材を活用し、長期的な英語学習に役立つスキルを身に着けます：</p> <ul style="list-style-type: none"> □英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する □英語動画を視聴しながら、英語を聴き取り、理解する力を伸ばす □動画を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す力を習得する 					
成績評価方法	<p>授業のディスカッションのノート 40%</p> <p>各授業のリスニングミニテスト 6回 40%</p> <p>授業への積極的な参加 20%</p> <p>(期末テスト等を行わない)</p>					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50577	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	栗原 浪絵	英語	水 3	1年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Art in English 教科書のリーディングを丁寧にやっつ、美術史や現代のアートについて英語でディスカッションを行う。並行してデザインや建築についても関心を広げる予定である。 プレゼンテーション、授業への参加、レポートで評価する。(試験は行わない。) 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Clair Hughes The English Family Portrait 英宝社 978-4-269-12026-6 一部の章のみを扱う予定である。 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50578	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	岩佐 将志	英語	水 3	1年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。 授業内の発表、小テスト(数回実施予定)、期末エッセーから総合的に判断する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time Anthony Elliott Reinvention Routledge 9780415682848 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50579	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	オデイ ジョン	英語	水 3	1年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Philosophy (Applied Ethics) This is a content-oriented course that focuses on topics in Philosophy, and Applied Ethics in particular. We will first cover some of the major philosophical approaches to ethical issues, such as virtue theory, utilitarianism, and others. With this as background, students will be presented with an ethical issue, read about it, and discuss the arguments in class. Weekly participation in class discussion, and one major presentation project. 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50580	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	Yassin Eiman	英語	水 3	1年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要	The Growing Influence of AI in Our Daily Lives This 7-week course explores the growing influence of Artificial Intelligence (AI) in our daily lives. Through engaging activities and discussions, students will develop their English communication skills while investigating the potential and challenges of AI. The course will enhance your abilities to: •Discuss complex topics related to AI in clear and concise English. •Analyze information from various English sources (movies, podcasts, articles, etc.) •Formulate and defend your own point of view on AI's role in society with clear English. •Work collaboratively on a group project that explores the practical applications of AI.					
成績評価方法	Course Objectives: By the end of this course, you will be able to: •Explain basic AI concepts and their applications in various domains. •Critically evaluate the impact of AI on society, considering both benefits and drawbacks. •Conduct research on a specific AI tool and present your findings effectively. •Collaborate effectively in a group setting to complete a project. •Communicate your ideas clearly and concisely in spoken and written English.					
教科書 ガイダンス	•Class participation: 10% •Peer work and group discussion: 20% •Reflection: 10% •Weekly assignments: 20% •Individual report: 10% •Final presentation: 30% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50581	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	佐々木 悠介	英語	水 3	1年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要	ジャック・ロンドンの短編小説を読む 本格的な小説のテキスト(リライト版でない)を自力で読むには、報道記事や論文を読むのとは異なる種類の英語力が必要になる。 この授業では、英語の文体に対する感受性を養うための最初の一步としたい。					
成績評価方法	予習課題および輪読を評価する。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50582	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	逆井 聡人	英語	水 3	1年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要	Discussing Contemporary Society with Critical Theories この授業の目標は、現代社会における様々な問題を英語で批評的に考え、議論できる素地を造ることです。ナショナリズムやレイシズム、ジェンダー、ポストコロニアル、環境、ケアといった批評理論の英語で書かれた／英訳された基礎的文献に触れ、そこから得られた知見を活用して、現代社会で起こっている出来事をどのように捉えられるかを議論します。					
成績評価方法	毎回のコメントシート、ディスカッションへの貢献度、プレゼンテーションの点数を総合的に評価します。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60183	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	瀧野 みゆき	英語	水 3	1年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要	英語動画を素材に英語で Discussion 身近で時事性のあるテーマの英語の短編動画を視聴して、内容を理解し、関連した問いについて小グループでディスカッションします。 授業内の英語 Discussion では、1) 自分の意見を英語で言う、2) 英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、3) 他の人の意見を積極的に聞く、そして4) 英語 Discussion の基本的ルールを実践する、の4点を目標とします。 授業中は、できるだけ長くスピーキングの時間を取り、話す経験を積み、明解で説得力がある英語表現をすることを目指します。					
成績評価方法	併せて、動画などの英語の素材を活用し、長期的な英語学習に役立つスキルを身に着けます： □英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する □英語動画等を視聴しながら、英語を聴き取り、理解する力を伸ばす □動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す力を習得する					
教科書 ガイダンス	授業のディスカッションのノート 40% 各授業のリスニングミニテスト 6回 40% 授業への積極的な参加 20% (期末テスト等は行わない) 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60184	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	オデイ ジョン	英語	水 3	1年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要	Philosophy (Applied Ethics) This is a content-oriented course that focuses on topics in Philosophy, and Applied Ethics in particular. We will first cover some of the major philosophical approaches to ethical issues, such as virtue theory, utilitarianism, and others. With this as background, students will be presented with an ethical issue, read about it, and discuss the arguments in class.					
成績評価方法	Weekly participation in class discussion, and one major presentation project.					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60185	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	Yassin Eiman	英語	水 3	1年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要	<p>The Growing Influence of AI in Our Daily Lives</p> <p>This 7-week course explores the growing influence of Artificial Intelligence (AI) in our daily lives. Through engaging activities and discussions, students will develop their English communication skills while investigating the potential and challenges of AI. The course will enhance your abilities to:</p> <ul style="list-style-type: none"> •Discuss complex topics related to AI in clear and concise English. •Analyze information from various English sources (movies, podcasts, articles, etc.) •Formulate and defend your own point of view on AI's role in society with clear English. •Work collaboratively on a group project that explores the practical applications of AI. <p>Course Objectives:</p> <p>By the end of this course, you will be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> •Explain basic AI concepts and their applications in various domains. •Critically evaluate the impact of AI on society, considering both benefits and drawbacks. •Conduct research on a specific AI tool and present your findings effectively. •Collaborate effectively in a group setting to complete a project. •Communicate your ideas clearly and concisely in spoken and written English. 					
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> •Class participation: 10% •Peer work and group discussion: 20% •Reflection: 10% •Weekly assignments: 20% •Individual report: 10% •Final presentation: 30% 					
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60186	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	堀越 庸一郎	英語	水 3	1年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要	<p>楽園はここにある—Marcus B. Huish, Birket Foster: His Life and Work (1890) を読む</p> <p>リーディング主体の英語の授業ですが、ところであなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょうか。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごとも、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、居心地のいい楽園。そこで永遠に繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつか、薄汚れた都会など離れ、緑のコテージに住んで、そういう「本当に確かなもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ているのです。</p> <p>そういう「楽園」のイメージを、ヴィクトリア朝イギリスの画家、パーケット・フォスター (1825-99) の版画や水彩画が描いています。心ざわめくようで、それでいてどこか懐かしい、気がかりな夢の断片のような、イングランドの田園風景。今回、このクラスでテキストにするのは、そのフォスターの絵をふんだんに掲載した、画集のような伝記のような、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ (1843-1921) による 1890 年出版の本です。</p> <p>130 年も前の格調高い英文ですので、少々読みにくいと感じる方もおいでかもしれません。文体もそうですし、内容的にも古いので、ある程度は調べながら読んでいかないと、うまく読解することはできません。授業で行うのは、ですので、そういったこと、つまり、テキストの精読、ということになります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはどんな文章であろうと変わりません—現代英語の気楽な読み物だろうと、ヴィクトリア朝イギリスの華やかな文体だろうと、千年前に書かれた古英語の断片だろうと、同じです。この「作法」を、まあ、お伝えしたい、そういう授業です。</p>					
成績評価方法	<p>授業中の和訳に対する評価 (30%)、およびターム末レポート (70% : 2-3 ページ分の英文の和訳に訳注を付記したもの。詳細は授業中にご説明します)。</p>					
教科書	<p>その他。／Other</p>					
ガイダンス	<p>下記「履修上の注意」に詳細があります。 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60187	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	佐々木 悠介	英語	水 3	1年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要	ジャック・ロンドンの短編小説を読む 本格的な小説のテキスト(リライト版でない)を自力で読むには、報道記事や論文を読むのとは異なる種類の英語力が必要になる。 この授業では、英語の文体に対する感受性を養うための最初の一步としたい。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	予習課題および輪読を評価する。 授業中に指示をする。/Will specify at class time 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60188	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	逆井 聡人	英語	水 3	1年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要	Discussing Contemporary Society with Critical Theories この授業の目標は、現代社会における様々な問題を英語で批評的に考え、議論できる素地を作ることです。ナショナリズムやレイシズム、ジェンダー、ポストコロニアル、環境、ケアといった批評理論の英語で書かれた/英訳された基礎的文献に触れ、そこから得られた知見を活用して、現代社会で起こっている出来事をどのように捉えられるかを議論します。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	毎回のコメントシート、ディスカッションへの貢献度、プレゼンテーションの点数を総合的に評価します。 授業中に指示をする。/Will specify at class time 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60189	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	栗原 浪絵	英語	水 3	1年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要	Art in English 教科書のリーディングを丁寧にやってみよう、美術史や現代のアートについて英語でディスカッションを行う。並行してデザインや建築についても関心を広げる予定である。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	プレゼンテーション、授業への参加、レポートで評価する。(試験は行わない。) 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Clair Hughes The English Family Portrait 英宝社 978-4-269-12026-6 一部の章のみを扱う予定である。 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60190	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	岩佐 将志	英語	水 3	1年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要	英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	授業内の発表、小テスト(数回実施予定)、期末エッセイから総合的に判断する。 授業中に指示をする。/Will specify at class time Anthony Elliott Reinvention Routledge 9780415682848 特に行わない。/Will not conduct guidance					

英語中級 (クラス指定セメスター型) 月2

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50022	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	愛甲 雄一	英語	月 2	1年 文一二(6,14,19) 文三(10,12,20)理一(9,13) 理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要	国際政治に影響を与える諸要素を英語で学ぶ 本コースは、Jeffrey Haynes, et al., <i>World Politics: International Relations & Globalisation in the 21st Century</i> (Sage, 2023), third edition の中に収められている一部の章を教材として用い、その読解を行なっていく「リーディング」を主眼としたコースである。このリーディングを通じて本コースの受講者は、国際政治の動向に影響を与える代表的な諸要素（国際法・人種・人権など）に関しての基本的な事実や理論上の問題点などが理解できるようになるとともに、あるべき国際政治に向けての改革案をも見据えた、より豊かな国際政治観を身に付けることができる。また現代国際政治の様々な問題に関する英語で記されたニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。					
成績評価方法	本コースでは、以下の3項目の合計点を基準に、各受講者の最終的な成績の評価が行なわれる。 (1) 平常点 (10点満点)：授業への貢献度などに応じた評価項目。授業時において発言を求められた場合の対応、グループ内での話し合いにおける積極度、小テスト (下記) の受験回数などをベースに、本項目の評価は行なわれる。 (2) 小テスト (30点満点)：本コースでは、第2回 (10月7日) から第12回 (1月6日) までの各授業が終了したその当日中に UTOL 上で受験可能な「小テスト」が、必須課題として課される。本項目の評価は					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50023	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	堀越 庸一郎	英語	月 2	1年 文一二(6,14,19) 文三(10,12,20)理一(9,13) 理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要	楽園はどこにある—Marcus B. Huish, <i>Happy England as Painted by Helen Allingham, R.W.S. (1903)</i> を読む リーディング主体の英語の授業ですが、ところであなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょうか。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、多少の悶着も厄介ごと、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、居心地のいい楽園。そこで永遠に繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつか、薄汚れた都会など離れ、緑のコテージに住んで、そういう「本当に確かなもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ているのです。 この「楽園」としての農村を、ヴィクトリア朝イギリスの画家、ヘレン・アリンガム (1848-1926) の水彩画が描いています。うっとりするような、はかない夢のような、イングランドの田園風景。今回、このクラスでテキストにするのは、そのアリンガムの絵をふんだんに掲載した、画集のような伝記のような、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ (1843-1921) による 1903 年出版の本です。これを一緒に読んでいきます。 N.B. この本は本年度夏学期の授業でも使い、第3章まで読みました。今回は第4章から読みますが、第3章までの内容は要約を配布して、授業開始時に詳しくご説明しますので、事前に読んでおいて頂く必要はありません。 このクラスがもつばら扱うのは 120 年も前の、ヴィクトリア朝の格調高い英文ですので、少々読みにくいと感じる方もおいでかもしれません。文体もそうですし、内容的にも古いので、ある程度はウェブ検索などで調べながら読んでいかないと、うまく読解することはできません。授業で行うのは、ですので、そういったこと、つまり、テキストの精読、ということになります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはどんな文章であろうと変わりません—現代英語の気楽な読み物だろうと、ヴィクトリア朝イングランドの流麗な文体だろうと、千年前に書かれた古英語の断片だろうと、同じです。この「作法」を、まあ、お伝えしたい、そういう授業です。					
成績評価方法	授業中の和訳に対する評価 (30%)、および学期末レポート (70%：3～4 頁分の英文の和訳に訳注を付記したもの)。学期末レポートは UTOL で配布・回収します。					
教科書 ガイダンス	その他。／Other 下記「履修上の注意」に詳細があります。 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50024	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	WONG Michelle	英語	月 2	1年 文一二(6,14,19) 文三(10,12,20)理一(9,13) 理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要	TED Talks - Discussions and Presentations The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly.					
成績評価方法	40% Student-led discussion assignment 40% Group presentation assignment 20% Participation					
教科書 ガイダンス	Full attendance and active participation are expected of all students. 教科書は使用しない。/ Will not use textbook 特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50025	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	佐藤 光	英語	月 2	1年 文一二(6,14,19) 文三(10,12,20)理一(9,13) 理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要	アガサ・クリスティ『パディントン発 4時50分』を原文で読む <目標>英語で小説を読み切ることを目指します。					
成績評価方法 教科書	<概要>Agatha Christie, 4.50 from Paddington を必ず手に入れて下さい。HarperCollins 版を生協に発注しますが、異なる版でもかまいません。推理小説、英文学、イギリス文化に興味のある人を歓迎します。 授業時の質問への応答、小テスト、学期末レポートをもとに、総合的に判断します。					
ガイダンス	次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook Agatha Christie 4.50 from Paddington HarperCollins 0008196585 特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50026	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	LANDAU Samantha	英語	月 2	1年 文一二(6,14,19) 文三(10,12,20)理一(9,13) 理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要	Introduction to 20th and 21st Century American Poetry Poetry is a short form of writing, which lends itself well to close readings and discussion because it uses language flexibly. The aim of this course is to learn the basics of how to read a poem, focusing on poems from the 20th and 21st centuries. We will consider different ways of reading and interpreting poetry: learning on how to read texts, paying attention to traditional and revolutionary forms, and thinking about poetic genres. We will also consider how a poet's background and influences may change the way they write, their subject matter, and their intended audience.					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	We will first reexamine how authors who are well-known (canonized), such as Robert Frost, Karl Shapiro, and Langston Hughes. We will then examine poets such as Joy Harjo, N. Scott Momaday, or Li-Young Li, as well as contemporary writers such as Hyejung Kook and Julia Kolchinsky Dasbach. Final Report: 40%, Midterm Report: 30%, In-class assignments and participation: 30% 教科書は使用しない。/ Will not use textbook 特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50027	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	三吉 美加	英語	月 2	1年 文一二(6,14,19) 文三(10,12,20)理一(9,13) 理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要	19世紀後半から20世紀に書かれた優れた短編小説を深く味わう 作品をただ読むのではなく、その中の表現方法や起こっている事がらを通して見えてくる時代の風潮、当時の社会通念や文化表象などについて知識を深めながら、作品の世界を深く味わっていく。風景描写や会話のなかに登場する英語表現、助動詞や冠詞一つ、文体、時制にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目する。小説の中にさりげなく登場する階級意識、社会運動、ジェンダー、風俗習慣、ヨーロッパ的/米国的世界観の相違、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。					
成績評価方法	サスペンス・怪奇短編小説を検討しています。 テスト(期末試験+小テスト含む) 80% 平常点(グループワーク時、授業時における自主的な発言などの積極性、課題への取り組みなど総体的判断) 20% なお、出席しただけで付与される点数はありません。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50028	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	英語	月 2	1年 文一二(6,14,19) 文三(10,12,20)理一(9,13) 理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要	[M2] Social Inequality: Now and in the Future This course will explore a range of social issues and situations faced by people in different societies around the world today. We will also explore how ideas of social inequality in future societies is represented in films. Through learning and discussing these issues, students will develop their comprehension and communication skills in English. The course is designed to help you learn and understand important sociological issues, in English. You will learn new vocabulary, and also practice your English discussion and presentation skills. The exact topics covered will be decided in class and could include: Social Stratification Gender Inequality Impact of AI and robots on society Inequalities of Race and Ethnicity etc. Students will gain a better understanding of basic sociology, as well as use critical thinking to discuss possible solutions to some of the main social inequalities covered in the class.					
成績評価方法	20%: Learning Journal 30%: Presentation (including poster) (2x12.5% or 1x25% depending on class size) 25%: Timed-essay in class 25%: Active participation and contribution to the class					
教科書 ガイダンス	その他。/Other No textbook is required, but students will have to watch two films themselves (DVD, digital, streaming, etc). 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50029	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	後藤 春美	英語	月 2	1年 文一二(6,14,19) 文三(10,12,20)理一(9,13) 理二三(1-3)
講義題目	英語講読 (国際社会と人種問題、女性問題)					
授業の目標概要	英文の雑誌に掲載された論文の読解。 授業は英文和訳を中心とするが、「自分の担当箇所を訳して終わり」ではなく、論文が全体として何を言っているのか理解し、考えることを目標とする。					
成績評価方法	また、将来的には自分一人でこのような論文を読めるようになることを目標とする。 平常点(毎回の授業で訳読や説明を担当した時の出来、予習の有無、出席などを勘案する)を主(7割)とする。最終授業時間に行うテスト(3割)で補完する。					
教科書	その他。/Other UTOLにアップするので、そこから各自でダウンロードして欲しい。(なお、各自で本学の e-journal からダウンロードすることも可能である。)					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50030	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	岩崎 徹	英語	月 2	1年 文一二(6,14,19) 文三(10,12,20)理一(9,13) 理二三(1-3)
講義題目	黒船ミュージカルの台本を読む					
授業の目標概要	黒船来航時の日本の混乱をコミカルに描いたスティーヴン・ソンドハイム (『ウェスト・サイド物語』では作詞を担当) 作詞・作曲のブロードウェイ・ミュージカルの台本を舞台映像を見ながら読む。アメリカ建国 200 周年の年に初演されたこの作品では、浦賀奉行所与力の香山栄左衛門とジョン万次郎 (元祖帰国子女、史実的にはその後、東大講師) のたどる対照的な運命を軸に、幕末明治の混乱が描かれている。外国人を歓迎する遊郭の女たちが歌う「ウェルカム・トゥー・カナガワ」や、日本側が欧米列強の砲艦外交の圧力により不平等条約を結ばされる「ブリーズ・ハロー」などのナンバーは傑作だ。史実の大胆な書き換えはあるものの、日本を舞台とした欧米の作品にしては珍しく、粗暴でカタコト英語を話すのはアメリカ人で、日本人がより好意的に描かれている点も注目される。					
成績評価方法	試験の成績に出席、平常点を加味する。					
教科書	授業中に指示をする。/Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

英語中級 (クラス指定セメスター型) 月3

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50106	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	MENISH Marc Craig	英語	月 3	1年 理一(15,25-26,28,34)
講義題目 授業の目標概要	Innovative Public Speaking: Creating Dynamic Presentations in English This class will provide students with a strong foundation in understanding spoken English. Students will create and deliver powerpoint presentations in class which will then be discussed and evaluated.					
成績評価方法	In addition to classroom exercises and homework assignments, students are encouraged to listen to English on their own as well. Homework Assignments 20% Weekly Quizzes and Class Participation 20% In-class Presentations 20% Media Projects 20% Final Exam 20%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/ Will not use textbook 特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50107	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	英語	月 3	1年 理一(15,25-26,28,34)
講義題目 授業の目標概要	[M3] Social Inequality: Now and in the Future This course will explore a range of social issues and situations faced by people in different societies around the world today. We will also explore how ideas of social inequality in future societies is represented in films. Through learning and discussing these issues, students will develop their comprehension and communication skills in English. The course is designed to help you learn and understand important sociological issues, in English. You will learn new vocabulary, and also practice your English discussion and presentation skills. The exact topics covered will be decided in class and could include: Social Stratification Gender Inequality Impact of AI and robots on society Inequalities of Race and Ethnicity etc.					
成績評価方法	Students will gain a better understanding of basic sociology, as well as use critical thinking to discuss possible solutions to some of the main social inequalities covered in the class. 20%: Learning Journal 30%: Presentation (including poster) (2x12.5% or 1x25% depending on class size) 25%: Timed-essay in class 25%: Active participation and contribution to the class					
教科書 ガイダンス	その他。/ Other No textbook is required, but students will have to watch two films themselves (DVD, digital, streaming, etc). 特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50108	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	WONG Michelle	英語	月 3	1年 理一(15,25-26,28,34)
講義題目 授業の目標概要	TED Talks - Discussions and Presentations The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly.					
成績評価方法	40% Student-led discussion assignment 40% Group presentation assignment 20% Participation Full attendance and active participation are expected of all students.					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/ Will not use textbook 特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50109	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	愛甲 雄一	英語	月 3	1年 理一(15,25-26,28,34)
講義題目 授業の目標概要	国際政治上の諸問題を英語で学ぶ 本コースは、Jeffrey Haynes, et al., World Politics: International Relations & Globalisation in the 21st Century (Sage, 2023), third edition の中に収められている一部の章を教材として用い、その読解を行なっていく「リーディング」を主眼としたコースである。このリーディングを通じて本コースの受講者は、現代世界が直面する主要な懸案事項（地球環境問題・貧困・感染症など）についての基本的な事実や理論上の論点などが理解できるようになるとともに、これらの問題をどう克服したり解消していけばいいのかについて考察していくための基礎的な素養を身に付けることができる。また現代国際政治の様々な問題に関する英語で記されたニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。					
成績評価方法	本コースでは、以下の3項目の合計点を基準に、各受講者の最終的な成績の評価が行なわれる。 (1) 平常点 (10点満点): 授業への貢献度などに応じた評価項目。授業時において発言を求められた場合の対応、グループ内での話し合いにおける積極度、小テスト (下記) の受験回数などをベースに、本項目の評価は行なわれる。 (2) 小テスト (30点満点): 本コースでは、第2回 (10月7日) から第12回 (1月6日) までの各授業が終了したその当日中に UTOL 上で受験可能な「小テスト」が、必須課題として課される。本項目の評価は、すべてのテスト (計11回) の結果を合計した点数をもとに、それを0~30点の間に換算させる形で行なわれる。なおテストの問題はいずれも、その日の授業回でカバーされた教材内に登場する単語に関連したものに限られる。また講師が特別に許可を与えた場合を除き、授業を欠席した回の本テストの獲得点数は、当該学生の成績の評価には反映されない。 (3) 学期末試験 (60点満点): 最終授業回の第13回 (1月20日) に行なわれる試験の結果に応じて、本項目の配点は行なわれる。なお本試験の問題は、授業内で扱った教材の内容にすべて関連したものである。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。/Will distribute handouts 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50110	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	岩崎 徹	英語	月 3	1年 理一(15,25-26,28,34)
講義題目 授業の目標概要	元祖ミュージカル (ドタバタ法廷劇) の台本を読む 『キャッツ』や『オペラ座の怪人』のロイド・ウェバーの約100年前、ヴィクトリア朝末期のロンドンで大流行し、英語圏に広まった「サヴォイ・オペラ」は、元祖ミュージカルとも言うべき喜歌劇だ。諷刺の利いたギルバートの台本 (・歌詞) と軽快で親しみやすいサリヴァンの曲で、現在でも人気が高い。今学期は、レパトリーの中から、婚約不履行訴訟の法廷を舞台にした『陪審裁判』(Trial by Jury) をビデオを鑑賞しながら読み、イギリス的ユーモアを味わう。洗練された英語で書かれた台詞、韻を踏んだ歌詞、それに時代背景や上演のエピソードなどについての詳しい注、と多様な文体にふれる機会にもなる。					
成績評価方法	試験の成績に平常点を加味する。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。/Will specify at class time 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50111	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	平沢 慎也	英語	月 3	1年 理一(15,25-26,28,34)
講義題目 授業の目標概要	<p>定冠詞研究：Langacker の認知文法 (Cognitive Grammar) の観点から 英語の定冠詞には謎がいっぱいです。大学受験対策で教わるであろう用法の中で言うと、「総称の定冠詞」(たとえば The dog is... 「犬というものは・・・」) はそれ以外の総称表現 (たとえば無冠詞複数の Dogs are ...) とどう異なるのでしょうか。堅い言い方とされることがありますが、正しいのでしょうか。もし正しいと言える面があるとしたら、それでは、どうして堅くなるのでしょうか。</p> <p>She hit him on the head. や He pulled her by the arm. のような言い方では、定冠詞はどのような意味を担っているのでしょうか。arm は 1 人につき 2 本ついていますから、単に arm と言うだけでは、どちらの arm なのかまで定まっています。それなのに、"the" arm.</p> <p>次のような用法はそもそも教わったことがないかもしれません。しかし極めて自然な使い方です。 [状況説明] 宇宙船 Voyager 号の船員たちは超新星の爆発を観測史上最も近い位置から観測できた。 Kim: Definitely a record. Janeway: Who brought the champagne? ([TV ドラマ] Star Trek: Voyager, Season 3, Episode 11, The Q and the Grey) こういう場面では定冠詞が必須なのかというと、そうでもありません。 [状況説明] Facebook の社員である Mackey が、CEO の Sean Parker の指示に従ってホームページ画面を更新 (refresh) してみたところ、ユーザー数が 100 万人を突破していることが判明し、社員たちの間で拍手が沸き起こった。Sean は社員たちに次のように言う。 Who's got champagne? ([映画] The Social Network)</p> <p>Star Trek の例と The Social Network の例では一体なにが異なっているのでしょうか。 こうした定冠詞の振る舞いは、どのように説明できるのでしょうか。本講義では、上にあげたものを含めて、定冠詞にまつわる諸問題に対して、アメリカの言語学者 Ronald W. Langacker の創始した言語理論である認知文法 (Cognitive Grammar) の観点からアプローチします。 ただし、いきなり定冠詞の問題に切り込むのではなく、意味というもののそのものについての認知文法的な立場を外観したのちに、名詞の意味、(不) 可算名詞の意味に関して議論し、それを踏まえた上で定冠詞の意味と向き合うという経路をたどることにします。</p>					
成績評価方法	<p>(1) 奇数週の小テスト 30% (2) 期末試験 70%</p>					
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。/ Will not use textbook 特に行わない。/ Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50112	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	三吉 美加	英語	月 3	1年 理一(15,25-26,28,34)
講義題目 授業の目標概要	<p>19 世紀後半から 20 世紀に書かれた優れた短編小説を深く味わう 作品をただ読むのではなく、その中の表現方法や起こっている事がらを通して見えてくる時代の風潮、当時の社会通念や文化表象などについて知識を深めながら、作品の世界を深く味わっていく。風景描写や会話のなかに登場する英語表現、助動詞や冠詞一つ、文体、時制にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目する。小説の中にさりげなく登場する階級意識、社会運動、ジェンダー、風俗習慣、ヨーロッパ的/米国的世界観の相違、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。 サスペンス・怪奇短編小説を予定しています。</p>					
成績評価方法	<p>テスト (期末試験 + 小テスト含む) 80% 平常点 (グループワーク時、授業時における自主的な発言などの積極性、課題への取り組みなど総体的判断) 20% なお、出席ただけで付与される点数はありません。</p>					
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。/ Will not use textbook 特に行わない。/ Will not conduct guidance</p>					

英語中級 (クラス指定セメスター型) 月4

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50159	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	野口 大斗	英語	月 4	1年 理一(19) 理二三(7,15,24)
講義題目	アウトプットのための英語リスニング					
授業の目標概要	この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程のなかで、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。					
成績評価方法	積極的な授業への参加 (発言など) : 10% 課題 : 15% 小テスト : 15% 期末試験 (教材以外の初見問題を含む) : 60%					
教科書	プリントを配布する。/ Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50160	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	高橋 和子	英語	月 4	1年 理一(19) 理二三(7,15,24)
講義題目	名作から学ぶ英語リーディング					
授業の目標概要	English Reading through Masterpieces 本授業では、英語を学ぶ大学生ならば理科系・文科系に関わらず、一度は英語で読んでおきたい名作の名場面を取り上げます。様々な名作を読むことを通して、英語力を向上させることを目標とします。 また、名作との比較をはかる観点から、状況に応じて他ジャンルの文章を読解する機会も持つ予定です。 This class aims to get used to reading English texts of various literary materials. Students develop their English skills by reading famous scenes from masterpieces.					
成績評価方法	毎回の授業に関連したレポート及びディスカッション・プレゼンテーションの成果 (60%) 最終レポートと小テスト (40%) : 詳細は授業で説明します。					
教科書	授業中に指示をする。/ Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50162	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	愛甲 雄一	英語	月 4	1年 理一(19) 理二三(7,15,24)
講義題目	国際政治上の諸問題を英語で学ぶ					
授業の目標概要	本コースは、Jeffrey Haynes, et al., World Politics: International Relations & Globalisation in the 21st Century (Sage, 2023), third edition の中に収められている一部の章を教材として用い、その読解を行なっていく「リーディング」を主眼としたコースである。このリーディングを通じて本コースの受講者は、現代世界が直面する主要な懸案事項 (地球環境問題・貧困・感染症など) についての基本的な事実や理論上の論点などが理解できるようになるとともに、これらの問題をどう克服したり解消していけばいいのかについて考察していくための基礎的な素養を身に付けることができる。また現代国際政治の様々な問題に関する英語で記されたニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。					
成績評価方法	本コースでは、以下の3項目の合計点を基準に、各受講者の最終的な成績の評価が行なわれる。 (1) 平常点 (10点満点) : 授業への貢献度などに応じた評価項目。授業時において発言を求められた場合の対応、グループ内での話し合いにおける積極度、小テスト (下記) の受験回数などをベースに、本項目の評価は行なわれる。 (2) 小テスト (30点満点) : 本コースでは、第2回 (10月7日) から第12回 (1月6日) までの各授業が終了したその当日中に UTOL 上で受験可能な「小テスト」が、必須課題として課される。本項目の評価は					
教科書	プリントを配布する。/ Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50161	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	平沢 慎也	英語	月 4	1年 理一(19) 理二三(7,15,24)
講義題目 授業の目標概要	<p>定冠詞研究：Langacker の認知文法 (Cognitive Grammar) の観点から 英語の定冠詞には謎がいっぱいです。大学受験対策で教わるであろう用法の中で言うと、「総称の定冠詞」(たとえば The dog is ... 「犬というものは・・・」) はそれ以外の総称表現 (たとえば無冠詞複数の Dogs are ...) とどう異なるのでしょうか。堅い言い方とされることがありますが、正しいのでしょうか。もし正しいと言える面があるとしたら、それでは、どうして堅くなるのでしょうか。</p> <p>She hit him on the head. や He pulled her by the arm. のような言い方では、定冠詞はどのような意味を担っているのでしょうか。arm は1人につき2本ついていきますから、単に arm というだけでは、どちらの arm なのかまで定まっています。それなのに、"the" arm.</p> <p>次のような用法はそもそも教わったことがないかもしれません。しかし極めて自然な使い方です。 [状況説明] 宇宙船 Voyager 号の船員たちは超新星の爆発を観測史上最も近い位置から観測できた。 Kim: Definitely a record. Janeway: Who brought the champagne? ([TV ドラマ] Star Trek: Voyager, Season 3, Episode 11, The Q and the Grey) こういう場面では定冠詞が必須なのかというと、そうでもありません。 [状況説明] Facebook の社員である Mackey が、CEO の Sean Parker の指示に従ってホームページ画面を更新 (refresh) してみたところ、ユーザー数が 100 万人を突破していることが判明し、社員たちの間で拍手が沸き起こった。Sean は社員たちに次のように言う。 Who's got champagne? ([映画] The Social Network) Star Trek の例と The Social Network の例では一体なが異なっているのでしょうか。 こうした定冠詞の振る舞いは、どのように説明できるでしょうか。本講義では、上にあげたものを含めて、定冠詞にまつわる諸問題に対して、アメリカの言語学者 Ronald W. Langacker の創始した言語理論である認知文法 (Cognitive Grammar) の観点からアプローチします。 ただし、いきなり定冠詞の問題に切り込むのではなく、意味というもののそのものについての認知文法的な立場を外観したのちに、名詞の意味、(不)可算名詞の意味に関して議論し、それを踏まえた上で定冠詞の意味と向き合うという経路をたどることにします。</p>					
成績評価方法	<p>(1) 偶数週の小テスト 30% (2) 期末試験 70%</p>					
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。/ Will not use textbook 特に行わない。/ Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50163	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	WONG Michelle	英語	月 4	1年 理一(19) 理二三(7,15,24)
講義題目 授業の目標概要	<p>TED Talks - Discussions and Presentations The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly.</p>					
成績評価方法	<p>40% Student-led discussion assignment 40% Group presentation assignment 20% Participation Full attendance and active participation are expected of all students.</p>					
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。/ Will not use textbook 特に行わない。/ Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50164	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	MENISH Marc Craig	英語	月 4	1年 理一(19) 理二三(7,15,24)
講義題目 授業の目標概要	Innovative Public Speaking: Creating Dynamic Presentations in English This class will provide students with a strong foundation in understanding spoken English. Students will create and deliver powerpoint presentations in class which will then be discussed and evaluated.					
成績評価方法	In addition to classroom exercises and homework assignments, students are encouraged to listen to English on their own as well. Homework Assignments 20% Weekly Quizzes and Class Participation 20% In-class Presentations 20% Media Projects 20% Final Exam 20%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50165	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	英語	月 4	1年 理一(19) 理二三(7,15,24)
講義題目 授業の目標概要	[M4] Social Inequality: Now and in the Future This course will explore a range of social issues and situations faced by people in different societies around the world today. We will also explore how ideas of social inequality in future societies is represented in films. Through learning and discussing these issues, students will develop their comprehension and communication skills in English. The course is designed to help you learn and understand important sociological issues, in English. You will learn new vocabulary, and also practice your English discussion and presentation skills. The exact topics covered will be decided in class and could include: Social Stratification Gender Inequality Impact of AI and robots on society Inequalities of Race and Ethnicity etc.					
成績評価方法	Students will gain a better understanding of basic sociology, as well as use critical thinking to discuss possible solutions to some of the main social inequalities covered in the class. 20%: Learning Journal 30%: Presentation (including poster) (2x12.5% or 1x25% depending on class size) 25%: Timed-essay in class 25%: Active participation and contribution to the class					
教科書 ガイダンス	その他。/Other No textbook is required, but students will have to watch two films themselves (DVD, digital, streaming, etc). 特に行わない。/Will not conduct guidance					

英語中級 (クラス指定セメスター型) 火1

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50223	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	火 1	1年 理一(10,14) 理二三(12,16)
講義題目 授業の目標概要	An Introduction to Cultural Geography This course will provide students with an opportunity to explore the complex terrain of cultural geography through English language texts. Starting with an overview of cultural geography, the course will then look at specific cultural, critical and aesthetic theory, helping students to reflect on the relationship between culture, nature and representation. Each class will focus on a particular cultural geographic theme (e.g. the culture-nature divide; mobility; the anthropocene; landscape and memory; urbanism and rurality; folklore and landscape). By the end of the course students will have a comprehensive understanding of the connections between people, landscape and the geographic imagination. The course is designed to develop your critical thinking, discussion and presentation, and reading skills and will therefore require you to read short academic articles and take part in class discussion on a weekly basis. You will be expected to prepare for classes in advance and play an active role in the discussion, presentation and defence of your ideas throughout the course. Students should be prepared to share their ideas with the rest of the class and take part in group work..					
成績評価方法	Attendance, Participation and Engagement: 20% Presentation: 30% Research Paper: 50% Students must both submit a research paper and conduct a presentation in order to pass this class.					
教科書 ガイダンス	About 'Active Participation': It is a requirement of the course that s 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50224	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	アンダル ジャクリーン	英語	火 1	1年 理一(10,14) 理二三(12,16)
講義題目 授業の目標概要	Colonial Encounters This reading-based course will use different texts to develop skills in English comprehension. The course will draw on fiction, essays and autobiographical writing related to the colonial encounter between Britain and the Caribbean. It will be based mainly on the work of the British writer Andrea Levy. Her writing has focused on Britain's long relationship with the Caribbean and the erasure of that history in contemporary Britain. However, her writing lends itself to broader universal and contemporary social themes. Students will learn to engage with the language and ideas in the selected texts and to explore their responses to the readings in class. Readings for this class will be available online or will be distributed in class.					
成績評価方法	Course evaluation will be based on participation, a presentation and a written assessment.					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50225	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	松井 洋和	英語	火 1	1年 理一(10,14) 理二三(12,16)
講義題目 授業の目標概要	The Australian Embassy in Tokyo and Australia-Japan Relations を読む オーストラリア駐日大使館の歴史を多面的に扱った The Australian Embassy in Tokyo and Australia-Japan Relations を購読する。 本授業の目的は以下の通りである。 ①学術的な英語の文章に慣れ、その内容を正確に読解する能力を養うこと。 ②現在多くの面で緊密になっている日豪関係が、第二次世界大戦後にどのような歴史をたどってきたのかを理解すること。 ※ただし、オーストラリアについての事前知識は履修の前提としない。					
成績評価方法	平常点(授業への参加度と小テスト)：70% 期末試験(最終授業時間に行う)：30%					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Kate-Darian Smith, David Lowe The Australian Embassy in Tokyo and Australia-Japan Relations Australian National University Press 9781760465407 (online); 9781760465391 (print) テキストは以下の URL よりダウンロード可能である。 https://press.anu.edu.au/publications/australian-embassy-tokyo-australia-japan-relations					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50226	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	佐藤 光	英語	火 1	1年 理一(10,14) 理二三(12,16)
講義題目 授業の目標概要	アガサ・クリスティ『パディントン発 4時 50分』を原文で読む <目標>英語で小説を読み切ることを目指します。					
成績評価方法 教科書	<概要>Agatha Christie, 4.50 from Paddington を必ず手に入れて下さい。HarperCollins 版を生協に発注しますが、異なる版でもかまいません。推理小説、英文学、イギリス文化に興味のある人を歓迎します。 授業時の質問への応答、小テスト、学期末レポートをもとに、総合的に判断します。					
ガイダンス	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Agatha Christie 4.50 from Paddington HarperCollins 0008196585 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50227	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	松本 和子	英語	火 1	1年 理一(10,14) 理二三(12,16)
講義題目 授業の目標概要	はじめてのニュース英語 ニュース英語を通じて、リスニングによる理解力を伸ばすことを目指す。具体的には、イギリスの国営放送 BBC のニュースを通じ、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さに慣れることを目指す。はじめて英語のニュースを聞くような学生を対象としているため、すでにニュースを英語で聞いて問題なく理解できる学生はネイティブの先生の授業を履修することをすすめる。					
成績評価方法 教科書	出席・参加・シャドイング・単語テスト・期末試験 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Timothy Knowles, Mayumi Tamura, Minne Tanaka, Mihoko Nakamura British News Update 2 金星堂					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級 (クラス指定セメスター型) 火5

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50449	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	高橋 和子	英語	火 5	1年 理一(30,37)理二三(5)
講義題目 授業の目標概要	Pronunciation and Listening 形式：第1週はオンライン (Zoom) で、それ以降は教室で行なう。 概要：英語発音とリスニング力の向上を目指すクラスである。特に発音訓練に重点をおくため、「発音だけでは自信がなく、自分が話した英語が聞き手に通じにくい」と感じている人が履修することをお勧めする。主に、発音記号に沿って注意すべき英語音声について学び、ひとつずつ発音練習をしていく。加えて、英語独特の音の連結、消失、弱化やイントネーション、リズムを学び、リスニングの訓練を行う。また、聞き手に理解してもらえるように、文章の音読やプレゼンテーションを行う。 目標：英語を聞き、話す際に重要である英語音声の基礎知識を習得し、実践で活かせる力をつけることが本授業の目的である。将来、国際的な場において英語で発信、発表するための確かな道具を手に入れよう。本授業の到達目標は次の通りである。(1) 英語音声を正しく理解し、発音できるようになる。(2) 日本人にとって紛らわしい英語発音を聞き分けられるようになる。(3) 専門用語を含む英文を、発音記号を調べ、正しく音読できるようになる。(4) 英語リスニング力を向上させる。					
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・個別発音テスト 40%、リスニングテスト 20%、単語テストとレポート 20%、授業参加 (出席、プレゼンテーションを含む) 20% を総合して評価する予定である。 ・個別発音テストにおいては 44 問中 35 問以上正しく発音できることが必要である。 ・感染症対策など、状況によっては評価方法を多少変更しなくてはならない場合もあるが、個別発音テストに一番大きなウエートが置かれることは変わらない。 					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 鷲見由理 DVD&CD でマスター 英語の発音が正しくなる本 ナツメ社 13: 978-4816344640					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50450	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	リチンスキ ダン	英語	火 5	1年 理一(30,37)理二三(5)
講義題目 授業の目標概要	English Lectures on General Physics This course will provide lectures on a series of Physics topics selected to ensure a balance between presentation of basic concepts and terminology, diagrams and formulas as well as proper reasoning about the underlying principles and mechanisms, using adequate English language. Although mainly intended for students interested to major in sciences, effort is made to select stand-alone content, presented so that it could be accessible to those specializing in other areas as well. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on two fronts: (i) comprehension of the studied Physics topics and (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various scientifically-valid perspectives, analyze problems, provide solutions and envision applications.					
成績評価方法	Participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70% W While emphasis in evaluation will not be on the mastering of the Physics content itself, highest grades will require a good performance with respect					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50451	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	牛村 圭	英語	火 5	1年 理一(30,37)理二三(5)
講義題目		New York Times で世界を読む				
授業の目標概要		New York Times に掲載された署名入り記事に注釈が付された教材を精読する。さまざまな今日の諸問題が、英語ではどのように表現されて論じられているかを知る機会とするにとどまらず、学生諸君の文理にわたる知的関心を高めることをも目指したい。				
成績評価方法		担当した訳文の発表を含めた平常点、そして学期末の筆記試験による (予定)。				
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook ニューヨークタイムズ社会点描 英潮社				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

英語中級 (クラス指定セメスター型) 水1

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50479	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	アンダル ジャクリーン	英語	水 1	1年 理一(6,22,32,38)
講義題目 授業の目標概要	Colonial Encounters This reeading-based course will use different texts to develop skills in English comprehension. The course will draw on fiction, essays and autobiographical writing related to the colonial encounter between Britain and the Caribbean. It will be based mainly on the work of the British writer Andrea Levy. Her writing has focused on Britain's long relationship with the Caribbean and the erasure of that history in contemporary Britain. However, her writing lends itself to broader universal and contemporary social themes. Students will learn to engage with the language and ideas in the selected texts and to explore their responses to the readings in class. Readings for this class will be available online or will be distributed in class.					
成績評価方法	Course evaluation will be based on participation, a presentation and a written assessment.					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50480	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	松井 洋和	英語	水 1	1年 理一(6,22,32,38)
講義題目 授業の目標概要	The Australian Embassy in Tokyo and Australia-Japan Relations を読む オーストラリア駐日大使館の歴史を多面的に扱った The Australian Embassy in Tokyo and Australia-Japan Relations を購読する。 本授業の目的は以下の通りである。 ①学術的な英語の文章に慣れ、その内容を正確に読解する能力を養うこと。 ②現在多くの面で緊密になっている日豪関係が、第二次世界大戦後にどのような歴史をたどってきたのかを理解すること。 ※ただし、オーストラリアについての事前知識は履修の前提としない。					
成績評価方法	平常点(授業への参加度と小テスト)：70% 期末試験(最終授業時間に行う)：30%					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook Kate-Darian Smith, David Lowe The Australian Embassy in Tokyo and Australia-Japan Relations Australian National University Press 9781760465407 (online); 9781760465391 (print) テキストは以下の URL よりダウンロード可能である。 https://press.anu.edu.au/publications/australian-embassy-tokyo-australia-japan-relations					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50483	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	河合 祥一郎	英語	水 1	1年 理一(6,22,32,38)
講義題目 授業の目標概要	『鏡の国のアリス』を原文で読む 『鏡の国のアリス』の原文の音声教材を自宅でよく聴いて予習し、発音やリズム等に気をつけながら音読することで、英語の読み方の基本を身につけます。また、毎回授業の初めに TOEIC の語彙についての小テストを行い、語彙力を維持します。毎回発音指導を行い、そのための早口言葉を覚えてもらいます。					
成績評価方法	毎回の小テストとクラスでの取り組み姿勢を評価する。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50481	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	堀越 庸一郎	英語	水 1	1年 理一(6,22,32,38)
講義題目	楽園はどこにある—Marcus B. Huish, Happy England as Painted by Helen Allingham, R.W.S. (1903) を読む					
授業の目標概要	リーディング主体の英語の授業ですが、とてころであなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょうか。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、多少の悶着も厄介ごとも、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、居心地のいい楽園。そこで永遠に繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつか、薄汚れた都会など離れ、緑のコテージに住んで、そういう「本当に確かなもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ているのです。					
成績評価方法	この「楽園」としての農村を、ヴィクトリア朝イギリスの画家、ヘレン・アリンガム (1848-1926) の水彩画が描いています。うっとりするような、はかない夢のような、イングランドの田園風景。今回、このクラスでテキストにするのは、そのアリンガムの絵をふんだんに掲載した、画集のような伝記のような、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ (1843-1921) による 1903 年出版の本です。これを一緒に読んでいきます。					
教科書	N.B. この本は本年度夏学期の授業でも使い、第3章まで読みました。今回は第4章から読みますが、第3章までの内容は要約を配布して、授業開始時に詳しくご説明しますので、事前に読んでおいて頂く必要はありません。					
ガイダンス	このクラスがもつばら扱うのは 120 年も前の、ヴィクトリア朝の格調高い英文ですので、少々読みにくいと感ずる方もおいでかもしれません。文体もそうですし、内容的にも古いので、ある程度はウェブ検索などで調べながら読んでいかないと、うまく読解することはできません。授業で行うのは、ですので、そういったこと、つまり、テキストの精読、ということになります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはどんな文章であろうと変わりません—現代英語の気楽な読み物だろうと、ヴィクトリア朝イングランドの流麗な文体だろうと、千年前に書かれた古英語の断片だろうと、同じです。この「作法」を、まあ、お伝えしたい、そういう授業です。					
	授業中の和訳に対する評価 (30%)、および学期末レポート (70% : 3~4 頁分の英文の和訳に訳注を付記したもの)。学期末レポートは UTOL で配布・回収します。					
	その他。/Other 下記「履修上の注意」に詳細があります。					
	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50482	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	瀧野 みゆき	英語	水 1	1年 理一(6,22,32,38)
講義題目	プロフェッショナルのための共通語としての英語					
授業の目標概要	Communicating in English as Professionals プロフェッショナルとして、将来にわたって世界のひとと英語を使って協働することを目標に、実践的な英語使用の考え方とスキルを学びます。プロフェッショナルとは、研究・専門職、ビジネス、公務員、国際協力など、多様なフィールドで、高度な専門性をもって仕事をする人を想定しています。					
成績評価方法	英語を多様な文化・国籍をもった人とコミュニケーションする共通語として使うことをイメージし、必要なスキルを入門的に広く学ぶため、次の4つの大きなテーマを設けます。					
	1) Networking : 英語を学ぶグローバルな背景を考えつつ、英語を通して人間関係を築く					
	2) Presentation: 英語プレゼンテーションの基本ルールと効果的な方法を学び、実際に短い英語プレゼンを行い、自分の考えを論理的かつ説得力をもって伝える力を養う					
	3) Meeting : 授業で扱うケースについて、グループで問題解決のアイデアを英語で交換してまとめ、最終成果をグループでプレゼンする。これによって、英語 Meeting に参加・リードするスキルを学び、英語で協働できるようになる					
	4) Negotiation : タスクを使って英語で簡単な交渉を行い、英語での交渉の基本的な考え方を知る					
	授業の活動は、2) Presentation と 3) Meeting に焦点をあて、1) と 4) は授業の多様な活動の中に織り込んでいきます。					
	50%は、2回の個人英語プレゼンテーションの評価					
	個人プレゼンは、定められたテーマについて、3分程度のわかりやすいプレゼンテーションにまとめ、PowerPoint 等を使って英語で行います。この評価は、単に流暢な英語で話すことより、英語で理論的に説得力のある内容を作ることを重視します。また、授業で学ぶ英語プレゼンテーションの基本的なスキルの応用や、英語のわかりやすさを考慮します。					
	15%は、グループでの Meeting の活動や授業内タスクへの参加。					
	35%は、課外でのリスニング学習の成果を確認するリスニングミニテストの得点。個人の学習努力を評価します。					
教科書	中間、期末のペーパーテストは行いません。					
ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

英語中級 (クラス指定セメスター型) 木2

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50728	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	中澤 恒子	英語	木 2	1年 文一二(4,9,18) 文三(17)
講義題目 授業の目標概要	The Terminal Steven Spielberg 監督、Tom Hanks 主演の 2004 年アメリカ映画 The Terminal を教材とする。自然な英語を聞き取り、大意をつかみ、自分の言葉で内容や感想を伝える練習をする。映像によってストーリーの理解に努めた後で、スクリプトを読み進めながら理解できなかった部分を確認する。英語細部の追求より、物語の展開、何がおかしくてどこが悲しいのか、登場人物と共に笑ったり泣いたりできるような、映画を楽しむための英語理解を目指す。					
成績評価方法	毎週の授業参加とクイズ (ディクテーション)、期末試験。欠席は 3 回までとし、4 回以上の場合は理由に関わらず単位を認定しない。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50729	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	加太 康孝	英語	木 2	1年 文一二(4,9,18) 文三(17)
講義題目 授業の目標概要	キャサリン・マンズフィールドの短編を精読する ◎授業の目標 英語で書かれた短編作品を精確に読みながら、基礎的な読解力を固める。 ◎授業概要 キャサリン・マンズフィールドの短編を読み、英語を読む能力の基礎固めを目指します。 マンズフィールドは 1888 年にニュージーランドのウェリントンで生まれています。10 代半ばで地球の反対側のヨーロッパに渡り、20 歳の頃からロンドンを拠点に作家としての活動を行います。34 歳の若さで亡くなったため 10 年強の執筆期間でしたが、その作品は今でも広く読まれ「モダニズム」や「世界文学」の作品として高く評価されています。 英語科目としての目標は上記の通りで、とにかく英語の精確な読解を重視します。具体的には、語彙や文法の知識を適切に動員し、文脈に留意しながら読むという、いわば定石通りの読み方となります。大学で学習を進めていく中で、まっとうに読む力を初期に固めておくことは必ずや助けになるでしょう。 もちろん、扱うのは短編小説ですから、「文学テキスト読解」としてこれらの作品に向き合うことにも（受講生の関心を考慮しつつ）取り組みたいと思います。しかしながら、文学テキストの読解というものは結局は英語がきちんと読めてこそそのものですから、両者は連続しています。英文を精確に読み解くためにやるべきことは実にたくさんあるので、基礎を大切にしたいと思っています。					
成績評価方法	※上記の通り「授業の方法」に調整の余地があるため、第 5 週までに方針を確定する予定です。 平常点 (授業内提出課題を含む) 30% 小テスト 35% (15%+20%) 口頭報告およびそのまとめレポート 35% ※口頭報告を行いそのまとめレポートを提出することが単位認定の必須条件となります。 また、事情にかかわらず授業を 5 回欠席した時点でまとめレポートの提出資格を失います。やむを得ない欠席と認められる場合は代替課題の提出で出席と見なす場合がありますので、適宜ご相談ください。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50730	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	平賀 優子	英語	木 2	1年 文一二(4,9,18) 文三(17)
講義題目 授業の目標概要	英語発音演習—発音力から聴解力へ— この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習 (音読) は、模倣からのみでなく、音声学の理論 (特に、IPA: International Phonetic Alphabet や音声変化) やオーバーラッピング、フォニックスを用いて行います。また、応用言語学に基づく英語学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。					
成績評価方法	学期末レポート、平常点					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 中郷慶他 こうすれば英語が聞ける 英宝社					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50731	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	野口 大斗	英語	木 2	1年 文一二(4,9,18) 文三(17)
講義題目	アウトプットのための英語リスニング					
授業の目標概要	この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程のなかで、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。					
成績評価方法	積極的な授業への参加（発言など）：10% 課題：15% 小テスト：15% 期末試験（教材以外の初見問題を含む）：60%					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50732	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	戸谷 陽子	英語	木 2	1年 文一二(4,9,18) 文三(17)
講義題目	アカデミックプレゼンテーション					
授業の目標概要	大学での授業をはじめ、研究会やパネルディスカッション、学会発表など、アカデミックな状況において、英語で口頭発表を行うための方法とスキルを学び、ワークショップ形式で実践することにより、実際に使える技術として身につける。					
成績評価方法	授業時の発表と課題提出、期末発表と最終ポートフォリオを総合的に評価する。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Susan M. Reinhart Giving Academic Presentations, Second Edition The University of Michigan Press 9780472035090					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級 (クラス指定セメスター型) 木3

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50805	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	平賀 優子	英語	木 3	1年 文一二(13,15) 文三(13)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要	英語発音演習—発音力から聴解力へ— この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習(音読)は、模倣からのみでなく、音声学の理論(特に、IPA: International Phonetic Alphabet や音声変化)やオーバーラッピング、フォニックスを用いて行います。また、応用言語学に基づく英語学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。					
成績評価方法 教科書	学期末レポート、平常点 次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook 中郷慶他 こうすれば英語が聞ける 英宝社					
ガイダンス	特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50806	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	矢島 宏紀	英語	木 3	1年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)
講義題目 授業の目標概要	英文リーディング演習—初期アメリカ史を題材に 【概要】 英文を丹念に読む作業を通して分野を問わず学術の世界で通用する英語読解力(およびそれに基づく作文力)の強化を目指します。本授業で扱う英文はアメリカの歴史、思想、社会等に関するものです。論説記事、研究書の一部(通史の序章など)、論文等を読みます。扱う資料は受講者の人数と関心に応じて設定されます。					
成績評価方法	【目標】 ・アカデミックな英文を正確に理解するために必要となる解釈力と語彙力を高める。 ・やや難解な英文を簡潔かつ正確な日本語および英語で要約できるようになる。 ・アメリカの歴史、思想、社会に関する知識と解釈を知りアメリカについての理解を深める。 期末試験(60%) 小テスト(15%) 発表(レジュメ含む)(25%) 上記を基準に、態度・貢献度(出欠状況含む)を加減して最終評価を決定する。 欠席数が授業回数の1/3を超えると単位認定不可とします。個人の過失によらない原因(交通機関遅延含む)による遅刻・欠席であっても、程度と頻度によっては単位認定のために追加の課題が課されます。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。/ Will distribute handouts 特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50807	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	戸谷 陽子	英語	木 3	1年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)
講義題目 授業の目標概要	アカデミックプレゼンテーション 大学での授業をはじめ、研究会やパネルディスカッション、学会発表など、アカデミックな状況において、英語で口頭発表を行うための方法とスキルを学び、ワークショップ形式で実践することにより、実際に使える技術として身につける。					
成績評価方法 教科書	授業時の発表と課題提出、期末発表と最終ポートフォリオを総合的に評価する。 次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook Susan M. Reinhart Giving Academic Presentations, Second Edition The University of Michigan Press 9780472035090					
ガイダンス	特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50808	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	小野 五弥子	英語	木 3	1年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)
講義題目 授業の目標概要	Gender and sexuality in Japan The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English about gender issues. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender equality, LGBT issues and sexual harassment, and compare how Japan and other countries perceive these issues. At the end of the course, students will collect data on a topic covered in class through readings or interviews/surveys and write a report about it.					
成績評価方法	このクラスでは、日本の若者について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー平等・同性婚・セクシャルハラスメント等で、日本と諸外国がこれらの問題をどのように捉えているかを比較、議論します。また、授業で触れた内容について実際に文献かインタビュー・アンケート等でデータ収集をして、最終レポートを書きます。					
教科書 ガイダンス	Active class participation, including class discussions (25%) Weekly assignments (15%) Group work (10%) Presentation (15%) Research report (35%) 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50809	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	中澤 恒子	英語	木 3	1年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)
講義題目 授業の目標概要	The Terminal Steven Spielberg 監督、Tom Hanks 主演の 2004 年アメリカ映画 The Terminal を教材とする。自然な英語を聞き取り、大意をつかみ、自分の言葉で内容や感想を伝える練習をする。映像によってストーリーの理解に努めた後で、スクリプトを読み進めながら理解できなかった部分を確認する。英語細部の追求より、物語の展開、何がおかしくてどこが悲しいのか、登場人物と共に笑ったり泣いたりできるような、映画を楽しむための英語理解を目指す。					
成績評価方法	毎週の授業参加とクイズ (ディクテーション)、期末試験。欠席は 3 回までとし、4 回以上の場合は理由に関わらず単位を認定しない。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級 (クラス指定セメスター型) 金 1

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50923	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	川崎 修一	英語	金 1	1年 文三(6,8)理二三(6,18)
講義題目 授業の目標概要	<p>「学校では扱われない英語の文法や構文」に関する英語文献を読むー世界最高峰の2大英文法書を中心に 本授業の目標は、一義的には学術的な英文を完璧に読むための読解力の養成です。また、学校文法で扱われることのない（にもかかわらず実際の英語では頻繁に確認できる）文法や構文に関する文献を読み、英語についての洞察を深めることを第二の目標とします。</p> <p>なお、使用する教材は、世界最高峰の2大英文法書： Quirk et al (1985). A Comprehensive Grammar of the English Language. Huddleston and Pullum (2002). The Cambridge Grammar of the English Language.</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>を中心に、第一級の研究者による文献を予定しています。 毎回の小テスト（30%）と授業最終日の学期末試験（70%） プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50924	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	佐藤 洋一	英語	金 1	1年 文三(6,8)理二三(6,18)
講義題目 授業の目標概要	<p>Making bridge from comprehension to practice In this course, you will learn various kinds of English vocabulary and expressions necessary for practical business communication. You will be expected to develop your business English knowledge, including spoken and written communication and critical thinking skills, while learning various kinds of authentic English. In this course, students are expected to learn 1. Vocabulary and expressions for business English, especially for reading and listening, 2. Business English skills for effective spoken and written communication, 3. Strategic competence necessary for global business. By the end of this course, you will be able to: -Comprehend basic vocabulary and expressions for business English -Speak and write basic-level short sentences about business topics -Ask and answer questions about basic business issues in English, especially about intercultural business and management -Present your basic ideas about global business communication in English</p>					
成績評価方法	<p>Course orientation 5% Vocabulary topics 10% Weekly assignments (course video) 20% Weekly homework 20% Final exam 20% Final presentation assignment 15% Active Participation 10% Attendance is essential to your success in this course. Five unexcused lates o</p>					
教科書	<p>プリントを配布する。／Will distribute handouts Yoichi Sato, Steven William Smoley & Seisho Ano Strategic Management in Business English Harima Publishing (播磨書院) 978-4-87768-340-5 C6037 Please make sure to get the latest version of the textbook.</p>					
ガイダンス	<p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50925	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	榊原 知樹	英語	金 1	1年 文三(6,8)理二三(6,18)
講義題目 授業の目標概要	エッセイを読む この授業では、英語で書かれたエッセイの傑作を集めた Ten on Ten: Major Essayists on Recurring Themes と The Art of the Personal Essay: An Anthology from the Classical Era to the Present から数篇を取り上げて講読する。定評ある随筆家たちが普遍性の高いテーマを題材に著した随筆を読み込むことで、読解力を高め、さらには執筆上の工夫への理解を深めることを目標とする。					
成績評価方法	学期末試験 (40%)、小テストおよび授業内課題 (30%)、授業参加状況 (30%) で評価する。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50926	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	小野 五弥子	英語	金 1	1年 文三(6,8)理二三(6,18)
講義題目 授業の目標概要	Gender and sexuality in Japan The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English about gender issues. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender equality, LGBT issues and sexual harassment, and compare how Japan and other countries perceive these issues. At the end of the course, students will collect data on a topic covered in class through readings or interviews/surveys and write a report about it. このクラスでは、日本の若者について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー平等・同性婚・セクシャルハラスメント等で、日本と諸外国がこれらの問題をどのように捉えているかを比較、議論します。また、授業で触れた内容について実際に文献かインタビュー・アンケート等でデータ収集をして、最終レポートを書きます。					
成績評価方法	Active class participation, including class discussions (25%) Weekly assignments (15%) Group work (10%) Presentation (15%) Research report (35%)					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級 (クラス指定セメスター型) 金3

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50998	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	MENISH Marc Craig	英語	金 3	1年 文一二(5,12,16) 文三(18)理二三(22)
講義題目 授業の目標概要	Innovative Public Speaking: Creating Dynamic Presentations in English This class will provide students with a strong foundation in understanding spoken English. Students will create and deliver powerpoint presentations in class which will then be discussed and evaluated. In addition to classroom exercises and homework assignments, students are encouraged to listen to English on their own as well.					
成績評価方法	Homework Assignments 20% Weekly Quizzes and Class Participation 20% In-class Presentations 20% Media Projects 20% Final Exam 20%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50999	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	鈴木 哲平	英語	金 3	1年 文一二(5,12,16) 文三(18)理二三(22)
講義題目 授業の目標概要	英語文学の 1200 年 ・ 学生さん一人ひとりが、英語文学の作品を選んで日本語で紹介する授業です。 ・ 具体的な作品をつうじて、中世から現代にいたる英語文学の歴史をごく簡単にたどります。 ・ 英語文学に関心のある方も、この先英語で文学に触れる予定のない学生さんも歓迎です。 ・ 受験英語や世界史の知識も活かします。 (最初の 15 分は質問を受けたり、TOEFL 問題の紹介をしたりします)					
成績評価方法	・ 授業内での発表：40% ・ 授業内テスト：20% (発表の進み具合によってレポートに差し替えられることがあります) ・ 課題提出等：30% ・ エクストラポイント：10% (発表・課題・テストで特に優れた活動が見られた場合に加点)					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51000	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	志子田 祥子	英語	金 3	1年 文一二(5,12,16) 文三(18)理二三(22)
講義題目 授業の目標概要	現代の短編小説を読む この授業では英語圏の一般読者向けに書かれた短編小説を中心にさまざまなタイプの文章を読むことで、総合的な英語力の向上を目指します。語り手や視点、時制、話法等、小説に限らず文章を読む際に必要な英文解釈のこつを学ぶとともに、現代に求められる教養や洞察力、思考力を養うことが重要な目的となります。					
成績評価方法	授業内活動への積極的な参加と貢献 (クイズ解答、UTOL の Forums への投稿等も含む) 20%; 諸課題への取り組み (授業時間内に取り組みその場で提出する課題、授業後の Reflection 提出状況、中間・最終課題等) 80%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51001	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	朝岡 浩美	英語	金 3	1年 文一二(5,12,16) 文三(18)理二三(22)
講義題目 授業の目標概要	英語の動画を視聴し、英語でディスカッションやプレゼンテーションを行う。 本授業では、英語の総合的な能力を高めることを主目標としています。映像を使った教材を使い、リスニング力と読解力を養い、グループディスカッションを通じて、自分の意見を英語で話す練習を行います。ロジカルに自分の意見を言えるようになるために、ロジカルシンキングについても学びます。また、プレゼンテーションのテーマに基づいて、様々な角度から調べ、スライドを作成し、英語でプレゼンテーションを行い、プレゼンテーションとディスカッションのスキルを磨いていただきたいと思います。 本授業の目的は、以下の通りです。 (1) 英語の動画を視聴して、英語のリスニング力と読解力を伸ばす。 (2) 英語でのプレゼンテーションを通じて、プレゼンテーション力を高める。 (3) 様々なテーマに基づいて、ディスカッションを行い、自分の意見を英語で話すスキルを高める。					
成績評価方法	期末試験：50% グループプレゼンテーション：20% クラスディスカッション (授業への貢献)：20% 宿題：10%					
教科書	次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook Makoto Shishido AFP World News Report 7 SEIBIDO 9784791972883					
ガイダンス	特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51002	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	小野 五弥子	英語	金 3	1年 文一二(5,12,16) 文三(18)理二三(22)
講義題目 授業の目標概要	Gender and sexuality in Japan The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English about gender issues. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender equality, LGBT issues and sexual harassment, and compare how Japan and other countries perceive these issues. At the end of the course, students will collect data on a topic covered in class through readings or interviews/surveys and write a report about it. このクラスでは、日本の若者について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー平等・同性婚・セクシャルハラスメント等で、日本と諸外国がこれらの問題をどのように捉えているかを比較、議論します。また、授業で触れた内容について実際に文献かインタビュー・アンケート等でデータ収集をして、最終レポートを書きます。					
成績評価方法	Active class participation, including class discussions (25%) Weekly assignments (15%) Group work (10%) Presentation (15%) Research report (35%)					
教科書	教科書は使用しない。/ Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51003	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	古田 直肇	英語	金 3	1年 文一二(5,12,16) 文三(18)理二三(22)
講義題目 授業の目標概要	<p>An Introduction to Positive Psychology and Intellectual Life</p> <p>この授業では、ハーバード大学で人気を博したポジティブ心理学の講義を基にしたワークブックである <i>Even Happier</i> (邦題は『ハーバードの人生を変える授業』) を読んでいきます。ただポジティブ心理学の理論を学ぶだけではなく、本で紹介されているタスクを実際に行うことを通して、受講生それぞれが自分の人生観について思索を深めること、そして考えたことを英語で表現できるようになることを目指します。本書の内容を語ることを通して、同時に、大学生や社会人に必須の「言語技術」(特に要約の技法) の実践を試みます。</p> <p>また、英文の講読を通じて、発音・文法・語彙など、英語の基礎を学び直しつつ、「英語の学び方」を学ぶことも、この授業の目標です。テキストは比較的平易な英語で書かれており、読み取るのに苦労はしないと思いますので、授業での主眼はアウトプットであり、特に話す能力(即興の会話ではなく、事前に準備をした上で臨むプレゼンテーション) に重点を置きます。</p> <p>授業は教科書を軸に進みますが、ハマトンの『知的生活』など、教科書以外の題材も適宜取り入れて補足します。授業の到達目標は、以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数ページ程度の英文のメッセージを的確に把握することができる。 ・ある程度入り組んだ構造の英文であっても、語彙・文法の知識を活用して精読することで、正確にその意味を理解することができる。 ・自分の人生経験を「ストーリー」として他人に伝わるように母語および英語で物語るすることができる。 ・自分なりの人生観を構築し、それを他者に母語および英語で説明することができる。 					
成績評価方法	<p>授業参加 50%</p> <p>期末テスト 50%</p> <p>※成績評価方法の詳細については、初回授業で説明します。</p>					
教科書	<p>次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook</p> <p>Tal Ben-Shahar</p> <p><i>Even happier: A gratitude journal for daily joy and lasting fulfillment</i></p> <p>McGraw Hill</p> <p>978-0071638036</p>					
ガイダンス	<p>紙媒体のものは品切れ状態ですので、各自、Amazonなどで電子版(Kindle)の購入をお願いします。</p> <p>特に行わない。/ Will not conduct guidance</p>					

英語中級 (クラス指定セメスター型) 金 4

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51051	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	志子田 祥子	英語	金 4	1年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要	現代の短編小説を読む この授業では英語圏の一般読者向けに書かれた短編小説を中心にさまざまなタイプの文章を読むことで、総合的な英語力の向上を目指します。語り手や視点、時制、話法等、小説に限らず文章を読む際に必要な英文解釈のこつを学ぶとともに、現代に求められる教養や洞察力、思考力を養うことが重要な目的となります。					
成績評価方法	授業内活動への積極的な参加と貢献 (クイズ解答、UTOL の Forums への投稿等も含む) 20%; 諸課題への取り組み (授業時間内に組みその場で提出する課題、授業後の Reflection 提出状況、中間・最終課題等) 80%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51052	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	小野 五弥子	英語	金 4	1年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要	Gender and sexuality in Japan The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English about gender issues. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender equality, LGBT issues and sexual harassment, and compare how Japan and other countries perceive these issues. At the end of the course, students will collect data on a topic covered in class through readings or interviews/surveys and write a report about it. このクラスでは、日本の若者について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー平等・同性婚・セクシャルハラスメント等で、日本と諸外国がこれらの問題をどのように捉えているかを比較、議論します。また、授業で触れた内容について実際に文献かインタビュー・アンケート等でデータ収集をして、最終レポートを書きます。					
成績評価方法	Active class participation, including class discussions (25%) Weekly assignments (15%) Group work (10%) Presentation (15%) Research report (35%)					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51053	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	MENISH Marc Craig	英語	金 4	1年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要	Innovative Public Speaking: Creating Dynamic Presentations in English This class will provide students with a strong foundation in understanding spoken English. Students will create and deliver powerpoint presentations in class which will then be discussed and evaluated.					
成績評価方法	In addition to classroom exercises and homework assignments, students are encouraged to listen to English on their own as well. Homework Assignments 20% Weekly Quizzes and Class Participation 20% In-class Presentations 20% Media Projects 20% Final Exam 20%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51054	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	鈴木 哲平	英語	金 4	1年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要	英語文学の 1200 年 ・ 学生さん一人ひとりが、英語文学の作品を選んで日本語で紹介する授業です。 ・ 具体的な作品をつうじて、中世から現代にいたる英語文学の歴史をごく簡単にたどります。 ・ 英語文学に関心のある方も、この先英語で文学に触れる予定のない学生さんも歓迎です。 ・ 受験英語や世界史の知識も活かします。 (最初の 15 分は質問を受けたり、TOEFL 問題の紹介をしたりします)					
成績評価方法	・ 授業内での発表：40% ・ 授業内テスト：20% (発表の進み具合によってレポートに差し替えられることがあります) ・ 課題提出等：30% ・ エクストラポイント：10% (発表・課題・テストで特に優れた活動が見られた場合に加点)					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51055	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	那谷 洋太朗	英語	金 4	1年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要	Contemporary American Society This is an introductory sociology course, with a focus on Reading in English. The aim of the course is to provide a general overview of American society, and strengthen the English abilities of students comprehensively. This will be accomplished through reading assignments, writing exercises, discussion, presentations, and the completion of a research project. During the semester, we will explore the following themes: (1) capitalism and the market economy; (2) race, gender, and inequality; (3) the culture of individualism and its relation to community; (4) politics and religion; (5) nationalism and the crisis of American democracy. Cumulatively, studying these topics will help us understand why the United States today is such a divided society. Through the close reading of texts and discussion in class, we will think about what it means to live in a democratic society and the challenges confronting the American democratic project.					
成績評価方法	Participation and Exercises (25%); Exam (25%); Research Paper (30%); Presentation (20%)					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Erik Olin Wright & Joel Rogers American Society: How it Really Works (3rd Edition) W. W. Norton & Company, Inc. 978-1-324-03329-5					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級・上級

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50190	A	英語中級	野口 大斗	英語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>アウトプットのための英語リスニング この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程のなかで、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。</p> <p>積極的な授業への参加（発言など）：10% 課題：15% 小テスト：15% 期末試験（教材以外の初見問題を含む）：60%</p> <p>プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50260	A	英語中級	Christopher D. Hammond	英語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Education and Society This course will introduce learners to a broad range of theories, issues and debates about the societal roles and functions of schools, universities and education systems around the world. Taking a sociological perspective, the objectives of the course are to:</p> <ul style="list-style-type: none"> •Introduce learners to a range of theories and approaches to critically analyze the roles of education in society •Debate and discuss the ‘grand challenges of education’, namely the challenges of participation, relevance, flexibility, quality, and funding •Examine the relationships between schooling and national and global identity formation •Explore debates about social mobility and reproduction through education in the context of gender, ability, race and social class •Investigate the phenomenon of student-led social activism in varied socio-cultural contexts •Consider the challenges and implications for education systems in a century marked by rapid technological innovation and change <p>We will engage with leading scholarship in the field, representations in the media, and our own educational experiences to explore these and other student-directed topics. Students will develop skills in academic reading, writing, presentation, and discussion.</p> <p>Weekly written assignments: 50%, Active participation in class: 25% Final research paper: 25% (*completion of all components are required to receive a passing grade)</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50674	A	英語中級	Christopher D. Hammond	英語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Education and Society This course will introduce learners to a broad range of theories, issues and debates about the societal roles and functions of schools, universities and education systems around the world. Taking a sociological perspective, the objectives of the course are to:</p> <ul style="list-style-type: none"> •Introduce learners to a range of theories and approaches to critically analyze the roles of education in society •Debate and discuss the ‘grand challenges of education’, namely the challenges of participation, relevance, flexibility, quality, and funding •Examine the relationships between schooling and national and global identity formation •Explore debates about social mobility and reproduction through education in the context of gender, ability, race and social class •Investigate the phenomenon of student-led social activism in varied socio-cultural contexts •Consider the challenges and implications for education systems in a century marked by rapid technological innovation and change <p>We will engage with leading scholarship in the field, representations in the media, and our own educational experiences to explore these and other student-directed topics. Students will develop skills in academic reading, writing, presentation, and discussion.</p> <p>Weekly written assignments: 50%, Active participation in class: 25% Final research paper: 25% (*completion of all components are required to receive a passing grade)</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50708	A	英語中級	野口 大斗	英語	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>アウトプットのための英語リスニング</p> <p>この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程のなかで、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。</p> <p>積極的な授業への参加（発言など）：10% 課題：15% 小テスト：15% 期末試験（教材以外の初見問題を含む）：60%</p> <p>プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50862	A	英語中級	LANDAU Samantha	英語	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Reading Holocaust Narratives (Maus I and II)</p> <p>In this course, students will be introduced to the Holocaust, its history and legacy. Together we will read Art Spiegelman's masterpiece of Holocaust biography in comic book form, Maus I and II. Maus brings together two very powerful narratives, that of Art's father, Vladek, who survived Auschwitz, and Art's struggle as the child of a survivor to understand the enormity of the destruction the Holocaust wrought on the Jews and on his family. Each class will have a lecture that situates the narrative in its historical context. No prior knowledge of either Judaism or the Holocaust is necessary. Students are encouraged to ask questions and critically think about the Holocaust and its legacy, both for the Jewish people, and for the world at large. Elie Wiesel, one of the most famous Holocaust survivors, said that "to listen to a witness is to become a witness." In this course, we will bear witness to Art's and Vladek's story, and to many other stories, too. Wiesel also said that "[the Holocaust] is not an example of man's inhumanity to man. It was man's inhumanity to Jews." In trying to understand this genocide, the most industrialized and methodical genocide in human history, we will also try to understand the role of antisemitism in the world, and what we need to do today to prevent such terrible violence from happening again.</p> <p>Final Report: 40%, Midterm Report: 30%, In-class assignments and participation: 30%</p> <p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Art Spiegelman The Complete Maus (MAUS I and II) Penguin 978-0141014081</p> <p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50863	A	英語中級	中澤 恒子	英語	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>The Terminal</p> <p>Steven Spielberg 監督、Tom Hanks 主演の 2004 年アメリカ映画 The Terminal を教材とする。自然な英語を聞き取り、大意をつかみ、自分の言葉で内容や感想を伝える練習をする。映像によってストーリーの理解に努めた後で、スクリプトを読み進めながら理解できなかった部分を確認する。英語細部の追求より、物語の展開、何がおかしくてどこが悲しいのか、登場人物と共に笑ったり泣いたりできるような、映画を楽しむための英語理解を目指す。</p> <p>毎週の授業参加とクイズ（ディクテーション）、期末試験。欠席は 3 回までとし、4 回以上の場合は理由に関わらず単位を認定しない。</p> <p>プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50878	A	英語中級	LANDAU Samantha	英語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Introduction to 20th and 21st Century American Poetry Poetry is a short form of writing, which lends itself well to close readings and discussion because it uses language flexibly. The aim of this course is to learn the basics of how to read a poem, focusing on poems from the 20th and 21st centuries. We will consider different ways of reading and interpreting poetry: learning on how to read texts, paying attention to traditional and revolutionary forms, and thinking about poetic genres. We will also consider how a poet's background and influences may change the way they write, their subject matter, and their intended audience. We will first reexamine how authors who are well-known (canonized), such as Robert Frost, Karl Shapiro, and Langston Hughes. We will then examine poets such as Joy Harjo, N. Scott Momaday, or Li-Young Li, as well as contemporary writers such as Hyejung Kook and Julia Kolchinsky Dasbach.					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	Final Report: 40%, Midterm Report: 30%, In-class assignments and participation: 30% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50951	A	英語中級	榊原 知樹	英語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	エッセイを読む この授業では、英語で書かれたエッセイの傑作を集めた Ten on Ten: Major Essayists on Recurring Themes と The Art of the Personal Essay: An Anthology from the Classical Era to the Present から数篇を取り上げて講読する。定評ある随筆家たちが普遍性の高いテーマを題材に著した随筆を読み込むことで、読解力を高め、さらには執筆上の工夫への理解を深めることを目標とする。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	学期末試験 (40%)、小テストおよび授業内課題 (30%)、授業参加状況 (30%) で評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50952	A	英語中級	アンダル ジャクリーン	英語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Colonial Encounters This reading-based course will use different texts to develop skills in English comprehension. The course will draw on fiction, essays and autobiographical writing related to the colonial encounter between Britain and the Caribbean. It will be based mainly on the work of the British writer Andrea Levy. Her writing has focused on Britain's long relationship with the Caribbean and the erasure of that history in contemporary Britain. However, her writing lends itself to broader universal and contemporary social themes. Students will learn to engage with the language and ideas in the selected texts and to explore their responses to the readings in class. Readings for this class will be available online or will be distributed in class.					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	Course evaluation will be based on participation, a presentation and a written assessment. 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51080	A	英語中級	那谷 洋太郎	英語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Contemporary American Society This is an introductory sociology course, with a focus on Reading in English. The aim of the course is to provide a general overview of American society, and strengthen the English abilities of students comprehensively. This will be accomplished through reading assignments, writing exercises, discussion, presentations, and the completion of a research project. During the semester, we will explore the following themes: (1) capitalism and the market economy; (2) race, gender, and inequality; (3) the culture of individualism and its relation to community; (4) politics and religion; (5) nationalism and the crisis of American democracy. Cumulatively, studying these topics will help us understand why the United States today is such a divided society. Through the close reading of texts and discussion in class, we will think about what it means to live in a democratic society and the challenges confronting the American democratic project.					
成績評価方法 教科書	Participation and Exercises (25%); Exam (25%); Research Paper (30%); Presentation (20%) 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Erik Olin Wright & Joel Rogers American Society: How it Really Works (3rd Edition) W. W. Norton & Company, Inc. 978-1-324-03329-5					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50953	A	英語上級	LANDAU Samantha	英語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	20th to 21st Century American Gothic Fiction This course is an overview of American Gothic fiction from the 20th and 21st centuries. In this class, students will learn to read literature in an interdisciplinary way. They will approach American Gothic through the lens of American social issues and in the context of American history. In addition to stories, students may be introduced to history, social criticism, gender theory, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.					
成績評価方法 教科書	Final Report: 40%, Midterm Report: 30%, In-class assignments and participation: 30% プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51081	A	英語上級	LANDAU Samantha	英語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Weird Fiction This class will focus on reading a variety of short "weird fiction" mainly published between the late 1800s and 1970s. Touching on monsters, unexplained/unexplainable events, parallel universes, and even ghosts, "Weird Fiction" is a genre that expresses both the anxieties of society and the human fascination for the unknown and inexplicable. This course is designed to engage students in interdisciplinary approaches to reading a text. This course also aims to teach students to deeply consider historical contexts when reading literature. Students will broadly consider how these stories deal with phobias and fascinations, but also consider historic issues in scientific ethics, colonialism, and racism. Students who want to understand psychological, historical, or scientific aspects of literature are encouraged to take this course.					
成績評価方法 教科書	Final Report: 40%, Written assignments (including Midterm Report): 30%, In-class assignments and Participation: 30% 教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

総合科目 L ドイツ語

ドイツ語初級（演習）②		開講区分	A
授業の目標・概要	In dem Kurs werden überwiegend Grammatik- und Gespraechs-, durchgeführt, die sich an den Themen des Lehrbuchs orientieren, das auch in der ersten Reihe verwendet wird.		
成績評価方法	一列の授業で学習する教科書のテーマに沿った文法と会話の練習をおこなう。 出席、および授業中の積極的な参加を平常点として成績評価に入れる。期末に筆記および口頭によるテストを行う。		
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ドイツ語共通教科書『Einblicke』 著者(訳者) 東京大学教養学部ドイツ語部会編 出版社 ISBN		
関連ホームページ	http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/		
※講義の詳細については、UTASを参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50844	月 4	I・カウフマン	1年 文一二(21)
50346	火 3	I・カウフマン	1年 文一二(22)
50848	水 4	ヤン シュトラースハイム	1年 文三(16)
50643	木 2	オブヒュルス 鹿島	1年 文一二(20)
50816	木 3	ヤン シュトラースハイム	1年 文三(15)
51091	金 5	稲葉 治朗	1年 文科 (TLP)
51092	金 5	斉藤 渉	1年 文科 (TLP)

※TLP履修者は、対象クラスで「1年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目L系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51082	A	ドイツ語初級（演習）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	金 5	1年 理科
講義題目	ドイツ語初級（演習）					
授業の目標概要	授業は文法の基礎知識がある初心者を対象とし、日常生活における基礎的なドイツ語の運用能力を養う。授業はヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の言語レベル A1 の典型的な表現に焦点を当て、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能すべての実践的な演習で構成されている。 Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen mit leichten Grundkenntnissen in Grammatik. Geübt werden alltägliche Szenen aus dem nahen Lebensumfeld. Im Mittelpunkt stehen typische Redemittel für das Sprachniveau A1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER). Der Unterricht besteht aus praktischen Übungen in allen vier Fertigkeiten Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben.					
成績評価方法	平常点（出席、練習、授業への参加）および宿題（毎週）によって行う。 Regelmäßige Teilnahme und Mitarbeit im Unterricht, wöchentliche Hausaufgaben.					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51089	A	ドイツ語初級（演習）(TLP)	斉藤 渉	ドイツ語	金 5	1年 理科 (TLP)
講義題目	ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）					
授業の目標概要	In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一系列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Evans, Sandra et al. Momente A2, Kursbuch Hueber					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51090	A	ドイツ語初級（演習）(TLP)	稲葉 治朗	ドイツ語	金 5	1年 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語演習（TLP クラス指定科目） In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の系列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt.					
教科書	授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Evans, Sandra et al. Momente A2: Deutsch als Fremdsprache / Kursbuch plus interaktive Version Hueber 978-3-19-501792-3					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50458	A	ドイツ語初級（会話）	ヤン シュトラースハイム	ドイツ語	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級（会話） Deutsche Konversation für Anfänger_innen 初めてドイツ語を学ぶ学生をめざし、日常生活における基礎的なドイツ語会話の運用能力を養う。授業の目標はヨーロッパ共通参照枠（CEFR）のレベル A1 に必要なドイツ語能力の養成にある。会話の授業であるため、重点は口頭の練習及び語彙の増やすことにある。 Der Kurs richtet sich an Studierende, die zum ersten Mal Deutsch lernen. Geübt werden grundlegende Konversationsfähigkeiten in Szenen des Alltagslebens. Ziel ist der Erwerb mündlicher Ausdrucksfähigkeiten auf dem Niveau A1 des Gemeinsamen europäischen Referenzrahmens für Sprachen (CEFR). Im Mittelpunkt des Unterrichts stehen Sprechübungen und die Erweiterung des Wortschatzes.					
成績評価方法	平常点（授業への参加・課題・出席率）を 60% で、期末試験を 40% で総合的に評価する。累積欠席回数が 4 回に達した場合、不可とする。 Die Note ergibt sich zu 60% aus der Mitarbeit bei den Sitzungen, den Aufgaben und Übungen und der Teilnahmehäufigkeit sowie zu 40% aus einer Abschlussprüfung. Bei viermaligem unbegründetem Fehlen kann die Teilnahme nicht mehr bescheinigt werden.					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50261	A	ドイツ語初級（作文）	板倉 歌	ドイツ語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級（作文） S セメスターにドイツ語文法の基礎を学んだ学生、あるいはその知識のある学生を対象に、文法知識の定着を図りながら、日常生活に沿う形での作文練習をします。A セメスターに必修クラスで学習する文法の進度も考慮しながら、授業を進めます。					
成績評価方法	テストと平常点（提出物を含む）によって評価します。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51083	A	ドイツ語初級（作文）	江口 大輔	ドイツ語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ドイツ語初級（作文）					
授業の目標概要	Sセメスターにドイツ語共通教科書『Einblicke』でドイツ文法の基礎（1～11, 12 課）を学んだ学生、あるいはその知識のある学生を対象に、文法の復習、補足をしながら独作文の練習をしていきます。Aセメスターに必修クラスで学習していく文法の進度も考慮しながら、授業を進めていきます。					
成績評価方法	教科書として用いる『ドイツ語作文 400 題』は、文法の項目ごとの独作文の練習問題です。教科書を進めながら、補助プリントで文法事項の復習を行います。					
教科書	授業計画はあくまで目安であり、状況に応じて変更する場合があります。					
ガイダンス	授業への積極的参加と試験期間内のテスト 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 福山明治、山口幸輔、成田克史、ハインツ・シュタインベルグ ドイツ語作文 400 題 朝日出版社 978-4-255-25376-3 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50879	A	ドイツ語初級（表現練習）	ヤン シュトラースハイム	ドイツ語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ドイツ語初級（表現練習）					
授業の目標概要	Redemittelübungen Deutsch für Anfänger_innen 初めてドイツ語を学ぶ学生をめざし、日常生活における基礎的なドイツ語の運用能力を養う。授業はヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の言語レベル A1 の典型的な表現に焦点を当て、聞き取り、読解、会話、作文の 4 技能すべての実践的な演習で構成されている。					
成績評価方法	Der Kurs richtet sich an Studierende, die zum ersten Mal Deutsch lernen. Geübt werden grundlegende Ausdrucksfähigkeiten in alltäglichen Szenen. Im Mittelpunkt stehen typische Redemittel auf dem Sprachniveau A1 des Gemeinsamen europäischen Referenzrahmens für Sprachen (CEFR). Der Unterricht umfasst praktische Übungen für die vier Fertigkeiten Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben. 平常点（授業への参加・課題・出席率）を 60% で、期末試験を 40% で総合的に評価する。累積欠席回数が 4 回に達した場合、不可とする。					
教科書	Die Note ergibt sich zu 60% aus der Mitarbeit bei den Sitzungen, den Aufgaben und Übungen und der Teilnahmehäufigkeit sowie zu 40% aus einer Abschlussprüfung. Bei viermaligem unbegründetem Fehlen kann die Teilnahme nicht mehr bescheinigt werden. 教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50275	A	ドイツ語初級（インテンシヴ） (TLP)	I・カウフマン	ドイツ語	火 2	1年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語演習（TLP クラス指定科目） In dem Kurs wird das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen mit geringen Vorkenntnissen (Niveau A1) der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer*innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一系列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を前期で始めた学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt.					
教科書	授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Braun-Podeschwa, Julia et al. Momente A2 Hueber 978-3-19-501792-3					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50276	A	ドイツ語初級（インテンシヴ） (TLP)	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	火 2	1年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語演習（TLP クラス指定科目） Der Kurs richtet sich an fortgeschrittene Anfänger*innen mit Vorkenntnissen auf dem Niveau A1. Im Mittelpunkt stehen die vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben, die gleichmäßig geübt werden. Die Teilnehmenden lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Auf diese Weise werden die grammatischen Kenntnisse aus den Pflichtkursen (1. Reihe) in der Praxis eingeübt und gefestigt. Der Kurs bereitet u. a. auf die offizielle deutsche Sprachprüfung "Goethe Zertifikat A2" vor und schließt mit dem Niveau A2+ des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER, englisch: CEFR) ab. この授業はドイツ語を前期で始めた学生を対象とし、レベル A1 程度の予備知識からスタートする。授業は聴く・読む・話す・書くの 4 技能を同時に練習させ、日常的な状況でのコミュニケーション能力に重点を置く。このようにして、必修科目の一系列で学んだ文法的知識を練習し、定着させる。授業は、ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の A2+レベルを目指す。授業の目的は、ドイツ語検定試験「Goethe Zertifikat A2」を準備することでもある。					
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt.					
教科書	授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Braun-Podeschwa, Julia et al. Momente A2: Deutsch als Fremdsprache / Kursbuch + interaktive Version Hueber 9783195017923					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50675	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	ヤン シュトラースハイム	ドイツ語	水 5	1年 文科 理科
講義題目	ドイツ語初級（インテンシヴ）					
授業の目標概要	Intensivkurs Deutsch für Anfänger_innen 必修の一系列の授業でドイツ語の文法を学んでいる初心者を対象としたコースである。授業は週二回行われ、教科書に従って進行する。このコースでは、ヨーロッパ共通参照枠（CEFR）のレベル A1 に相当する「聞く」「読む」「話す」「書く」の能力を養成する。簡単な会話を理解して行うことができるようになり、日常生活に関連した簡単な文章を理解し、ちょっとしたメッセージを作成することができるようになる。					
成績評価方法	Der lehrbuchgestützte, zweimal wöchentlich stattfindende Intensivkurs richtet sich an Deutsch-Anfänger_innen, die zeitgleich in den Kursen der 1. Reihe Grammatik lernen. Wir trainieren die Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben auf dem Niveau A1 des Gemeinsamen europäischen Referenzrahmens (CEFR). Die Teilnehmenden lernen, einfache Gespräche zu verstehen und selbst zu führen, auf den Alltag bezogene, einfache Texte zu lesen und kleine Nachrichten zu verfassen. 平常点（授業への参加・課題・出席率）を60%で、期末試験を40%で総合的に評価する。累積欠席回数が4回に達した場合、不可とする。					
教科書	Die Note ergibt sich zu 60% aus der Mitarbeit bei den Sitzungen, den Aufgaben und Übungen und der Teilnahmehäufigkeit sowie zu 40% aus einer Abschlussprüfung. Bei viermaligem unbegründetem Fehlen kann die Teilnahme nicht mehr bescheinigt werden. 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Anne Buscha, Szilvia Szita Begegnungen A1+. Integriertes Kurs- und Arbeitsbuch Schubert 978-3-96915-005-4					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50894	A	ドイツ語初級（インテンシヴ） （TLP）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	木 5	1年 文科 理科 (TLP)
講義題目	ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）					
授業の目標概要	Der Kurs richtet sich an fortgeschrittene Anfänger*innen mit Vorkenntnissen auf dem Niveau A1. Im Mittelpunkt stehen die vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben, die gleichmäßig geübt werden. Die Teilnehmenden lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Auf diese Weise werden die grammatischen Kenntnisse aus den Pflichtkursen (1. Reihe) in der Praxis eingeübt und gefestigt. Der Kurs bereitet u. a. auf die offizielle deutsche Sprachprüfung "Goethe Zertifikat A2" vor und schließt mit dem Niveau A2+ des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER, englisch: CEFR) ab. この授業はドイツ語を前期で始めた学生を対象とし、レベル A1 程度の予備知識からスタートする。授業は聴く・読む・話す・書くの4技能を同時に練習させ、日常的な状況でのコミュニケーション能力に重点を置く。このようにして、必修科目の一系列で学んだ文法的知識を練習し、定着させる。授業は、ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の A2+レベルを目指す。授業の目的は、ドイツ語検定試験「Goethe Zertifikat A2」を準備することでもある。					
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Braun-Podeschwa, Julia et al. Momente A2: Deutsch als Fremdsprache / Kursbuch + interaktive Version Hueber 9783195017923					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50895	A	ドイツ語初級（インテンシヴ） （TLP）	I・カウフマン	ドイツ語	木 5	1年 文科 理科 (TLP)
講義題目	ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）					
授業の目標概要	In dem Kurs wird das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen mit geringen Vorkenntnissen (Niveau A1) der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer*innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一系列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を前期で始めた学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt.					
教科書	授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Braun-Podeschwa, Julia et al. Momente A2 Hueber 978-3-19-501792-3					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51084	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	ヤン シュトラースハイム	ドイツ語	金 5	1年 文科 理科
講義題目	ドイツ語初級（インテンシヴ）					
授業の目標概要	Intensivkurs Deutsch für Anfänger_innen 必修の一系列の授業でドイツ語の文法を学んでいる初心者を対象としたコースである。授業は週二回行われ、教科書に従って進行する。このコースでは、ヨーロッパ共通参照枠（CEFR）のレベル A1 に相当する「聞く」「読む」「話す」「書く」の能力を養成する。簡単な会話を理解して行うことができるようになり、日常生活に関連した簡単な文章を理解し、ちょっとしたメッセージを作成することができるようになる。 Der lehrbuchgestützte, zweimal wöchentlich stattfindende Intensivkurs richtet sich an Deutsch-Anfänger_innen, die zeitgleich in den Kursen der 1. Reihe Grammatik lernen. Wir trainieren die Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben auf dem Niveau A1 des Gemeinsamen europäischen Referenzrahmens (CEFR). Die Teilnehmenden lernen, einfache Gespräche zu verstehen und selbst zu führen, auf den Alltag bezogene, einfache Texte zu lesen und kleine Nachrichten zu verfassen.					
成績評価方法	平常点（授業への参加・課題・出席率）を 60% で、期末試験を 40% で総合的に評価する。累積欠席回数が 4 回に達した場合、不可とする。					
教科書	Die Note ergibt sich zu 60% aus der Mitarbeit bei den Sitzungen, den Aufgaben und Übungen und der Teilnahmehäufigkeit sowie zu 40% aus einer Abschlussprüfung. Bei viermaligem unbegründetem Fehlen kann die Teilnahme nicht mehr bescheinigt werden. 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Anne Buscha, Szilvia Szita Begegnungen A1+. Integriertes Kurs- und Arbeitsbuch Schubert 978-3-96915-005-4					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50192	A	ドイツ語初級（第三外国語）	EINS Wieland	ドイツ語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Deutsch für Anfänger/ ドイツ語初級 Dieser Kurs baut auf dem im Sommersemester angebotenen Kurs (ドイツ語初級(第三外国語)) auf und richtet sich an Studierende, die insbesondere ihre mündliche Ausdrucksfähigkeit verbessern möchten. Schreib-, Hör- und Grammatikübungen sind ebenso Teil des Unterrichts, sodass Teilnehmende am Ende des Kurses in etwa A1-Niveau erreicht haben werden. This course builds on the ドイツ語初級（第三外国語） course offered in the summer semester and is designed for students who aim to improve their communicative skills. Writing-, listening- and grammar exercises will also be part of this class, so that participants will reach the A1 proficiency level at the end of this course.					
成績評価方法	この授業は、既に夏学期に第三外国語として初級クラスドイツ語を学んだ学習者あるいはそのレベルに達した学習者を対象とする。特に会話能力を伸ばすことを目的としているが、このコースが終わった段階で A1 レベルに到達目標とするため、聞く、読む、文法の練習も授業の一部に含まれる。 Mitarbeit im Unterricht und mündliche Paar- oder Einzelprüfung am Ende des Semesters. Vorbereitung auf jede Stunde (einschließlich Hausaufgaben) und regelmässige Teilnahme am Unterricht wird vorausgesetzt und fließt in die mündliche Bewertung mit ein. Active participation in class and oral examination at the end of the term. Preparation for each class (including homework) and regular attendance is presupposed and will be graded.					
教科書 ガイダンス	授業内での積極的な参加、会話によるペアワーク、学期末の口頭試験。毎回の授業前の準備（宿題も含める）、規則的な授業の参加も口頭評価に加味される。 教科書は使用しない。/ Will not use textbook 特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50880	A	ドイツ語初級（第三外国語）	宮谷 尚実	ドイツ語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級（第三外国語） S セメスターから引き続き、週 1 回 1 コマの通年でドイツ語の文法項目をひと通り習得する。四技能（読む・書く・聞く・話す）の基礎を身につける。					
成績評価方法	平常点（継続的な出席、授業での発言、ピア・ラーニングへの貢献など）、課題成果物の提出、および授業内期末テストにより総合的に評価する。					
教科書	次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook 三瓶慎一 CD で学ぶドイツ語入門 [改訂版] 白水社 9784560066508					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/ Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50954	A	ドイツ語初級（第三外国語）	瀬尾 文子	ドイツ語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級（第三外国語） / German Language (Introductory) 1 セメスターでドイツ語初級文法の全体を一通り学習します。原則として、1 回の授業で教科書を 1 課ずつ進めます。 なお、初回（10/6）はオンライン授業です。					
成績評価方法	平常点（授業への積極的参加、課題提出）および期末試験					
教科書	次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook 高橋亮介、川名真矢 新・アプライゼ 伝え合うドイツ語 朝日出版社 978-4-255-25473-9					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/ Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50779	A	ドイツ語中級（演習）	常石 史子	ドイツ語	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語で映画批評を読む 自分が見た映画、これから見ようとする映画について、批評を読みたいと思うことは多いでしょう。これをドイツ語でも自力でできるようになることで、ドイツ語の習得によって拓かれる世界の広がりを実感していただきたいと思います。					
成績評価方法	新作映画に関する新聞の映画評をドイツ語で読む訓練を通じて、同時代の批評において頻繁に用いられる表現や思考方法、映画をはじめとする視覚メディアに特有の語彙を学びます。					
教科書	同時代の映画作品が扱っているさまざまな社会的・文化的課題についても洞察を深めます。					
ガイダンス	授業への積極的参加度と期末テストにより総合的に評価します。					
	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50955	A	ドイツ語中級（演習）	林 志津江	ドイツ語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語テキストを読み、考え、楽しむ （目標）ドイツ語のテキストを読む楽しさや奥深さを共有しつつ、ドイツ語テキストを自力で読む力の習得とともに、資料を精読する意味や、文献研究に対する理解を深めていきます。					
成績評価方法	（概要）文学・歴史・法律など、複数のジャンルのドイツ語テキスト（詩、短編、エッセイ、文化論的記述、法律文など）の精読を通じて、ドイツ語初級文法の復習と中級文法の導入を行います。ドイツ語初級文法の知識があることを前提としますが、1年生（Sセメスターのみ既習）の履修者にも配慮する形で、文法事項の学習も適宜補足します。					
教科書	授業への積極的な参加・貢献および学期末テストの得点をあわせ、総合的に評価します。					
ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51085	A	ドイツ語中級（会話）	ファイファー マティアス	ドイツ語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Konversationskurs (Mittelstufe) - ドイツ語中級（会話） Dieser Kurs ist für Studierende mit Vorkenntnissen der deutschen Sprache konzipiert (Stufe A2-B1 des Europäischen Referenzrahmens). Im Mittelpunkt steht die Entwicklung der Kommunikationsfähigkeit. Die bisher erworbenen sprachlichen Fertigkeiten sollen gefestigt und automatisiert werden. Das Hörverständnis soll verbessert, der Wortschatz erweitert und die Ausdrucksfähigkeit ausgebaut werden. Besonders die mündliche Kommunikation soll gezielt gefördert werden.					
成績評価方法	初級程度の会話力を持つひとのための授業です。コミュニケーション能力を高めるために、すでに得た会話能力をいっそう確実にし、すらすらと話せるようにしましょう。また、聴き取り能力を向上させ、語彙を増やし、高度な表現力を身につけましょう。					
教科書	Die Bewertung ergibt sich aus der aktiven Teilnahme im Kurs, den Ergebnissen der Hausaufgaben und einer Präsentation und/oder mündlichen Prüfung am Ende des Semesters. Regelmäßige Anwesenheit wird vorausgesetzt.					
ガイダンス	授業への積極性、宿題、プレゼンテーション、学期末の口述試験によって評価します。出席は前提とします。					
	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook					
	藤村三枝子					
	スタート！2（コミュニケーション活動で学ぶドイツ語）					
	三修社					
	978-4384-13096-6					
	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50956	A	ドイツ語中級（作文）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Deutsch: Schreiben für fortgeschrittene Anfänger*innen (Mittelstufe) Der Kurs richtet sich an Studierende mit Vorkenntnissen (ein Jahr und mehr). Trainiert werden das Schreiben von eigenen Texten zu Themen nach Wahl des Kurses. Ziel ist das Erlernen von Textmustern und das Einüben geeigneter Redemittel etwa auf dem Niveau A2-B1. Der Inhalt der Schreibübungen richtet sich nach den Interessen des Kurses. ドイツ語を1年（以上）学んだことがある受講者を想定している。本授業では、講座で選んだテーマを基盤に各自の文章を書く訓練を行う。授業の目標は、複数のテキスト・パターンを学び、適切な表現を練習することにある。演習の内容は、コースの興味に応じて決定される。					
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der Qualität der Beiträge im Seminar sowie der Hausaufgaben. Regelmäßige und aktive Teilnahme werden vorausgesetzt. Ein Test findet nicht statt. 成績評価は平常点によって行う。授業中の貢献と宿題の質が判断基準となる。積極的な参加が前提となる。小テスト・期末試験は行わない。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50193	A	ドイツ語中級（インテンシヴ）	I・カウフマン	ドイツ語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語中級（インテンシヴ）／German Language (Intermediate) この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はSセメスターの「ドイツ語初級（インテンシヴ）」を続け、ドイツ語を前期で始めた学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1/A2.1(A2 レベルの前半)に必要な能力を養うことを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。					
成績評価方法	Dieser Kurs ist die Fortsetzung des Kurses „German Language (Intensive)“ aus dem Sommer-Semester und richtet sich an Lernende mit geringen Vorkenntnissen (ca. A1.1) der deutschen Sprache. Durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben wird das erworbene Wissen erweitert und gefestigt. Die Lernenden üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Der Kurs zielt auf das Niveau A1 bzw. A2.1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER). 授業への参加、宿題、定期的な課題によって総合的に評価する。中でも授業への積極的な参加を高く評価する。 Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. Schwerpunkt der Benotung bildet die aktive Beteiligung am Unterricht.					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Momente A1.2 Kursbuch plus interaktive Version Hueber Verlag ISBN 978-3-19-201791-9					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50957	A	ドイツ語中級（インテンシヴ）	I・カウフマン	ドイツ語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ドイツ語中級（インテンシヴ）／German Language (Intermediate)					
授業の目標概要	この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業は S セメスターの「ドイツ語初級（インテンシヴ）」を続け、ドイツ語を前期で始めた学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 レベルに必要な能力を養うことを目指す。					
成績評価方法	ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A2 レベルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。 Dieser Kurs ist die Fortsetzung des Kurses „German Language (Intensive)“ aus dem Sommer-Semester und richtet sich an Lernende mit geringen Vorkenntnissen (ca. A1) der deutschen Sprache. Durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben wird das erworbene Wissen erweitert und gefestigt. Die Lernenden üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Der Kurs zielt auf das Niveau A2 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER). Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe Zertifikats A2.					
教科書	授業への参加、宿題、定期的な課題によって総合的に評価する。中でも授業への積極的な参加を高く評価する。 Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. Schwerpunkt der Benotung bildet die aktive Beteiligung am Unterricht.					
ガイダンス	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Momente A1.2: Kursbuch plus interaktive Version Hueber Verlag 978-3-19-201791-9 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50431	A	ドイツ語上級（演習）	ヤン シュトラースハイム	ドイツ語	火 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	演習（表現・読解）					
授業の目標概要	Ausdruck und Leseverständnis Deutsch für Fortgeschrittene 中級文法を習得済みの受講者を対象とした科目。筆記および口頭での表現力と読解力の向上に努める。文法と語彙の知識を増やし、具体的な状況に適用、修正、洗練できることを目指す。 Der Kurs richtet sich an Studierende, die bereits Grammatikkurse der Mittelstufe belegt haben. Ziel ist es, bestehende Deutschkenntnisse mit Blick auf das schriftliche und mündliche Ausdrucksvermögen sowie das Leseverständnis zu erweitern. Bestehendes Wissen zu Grammatik und Wortschatz soll dabei in konkreten Situationen erweitert, angewandt, abgewandelt und verfeinert werden.					
成績評価方法	平常点（授業への参加・課題・出席率）を 60% で、期末試験を 40% で総合的に評価する。累積欠席回数が 4 回に達した場合、不可とする。 Die Note ergibt sich zu 60% aus der Mitarbeit bei den Sitzungen, den Aufgaben und Übungen und der Teilnahmehäufigkeit sowie zu 40% aus einer Abschlussprüfung. Bei viermaligem unbegründetem Fehlen kann die Teilnahme nicht mehr bescheinigt werden.					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50676	A	ドイツ語上級（会話）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Konversationskurs Oberstufe ドイツ語上級（会話）					
授業の目標概要	Der Kurs richtet sich an Studierende, die bereits über fortgeschrittene Deutschkenntnisse ab Niveau B1 verfügen und Ihre Deutschkenntnisse erhalten oder weiter ausbauen möchten. Im Kurs werden aktuelle Themen aus dem deutschsprachigen Raum in gemeinsamen Übungen und Gesprächen bearbeitet. Der Schwerpunkt liegt auf der mündlichen Kommunikation, aber auch andere Kompetenzen (Lesen, Hören, Schreiben) werden trainiert. 本授業は、レベル B1 以上のドイツ語能力を持ち、その能力を維持またはさらに向上させたい学生を対象としている。授業では、ドイツ語圏の現在トピックを取り上げ、合同演習やディスカッションを行う。重点は口頭コミュニケーションにあるが、他のスキル（読む、聞く、書く）も練習させる。					
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung am Unterricht und an den gestellten Aufgaben. 評価は、授業とその課題への積極的な参加に基づいて行われる。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51043	A	ドイツ語上級（読解）	工藤 達也	ドイツ語	金 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ドイツ語上級（読解）					
授業の目標概要	カフカの短編『断食芸人』を読みます。ドイツ語原典を読みながら文法事項を確認しつつ読解力の養成を目指します。またテキスト翻訳を通して的確な内容理解能力をつけることも目的としています。カフカの文体は複雑なものではないと思うので、誰でも丹念に読み解けば理解できると思います（要するに慣れます）。慣れると読む速度も増すので、もし終わったらカフカから次の短編を選び読みます。					
成績評価方法	普段の授業参加度と学期末レポートで評価する。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

総合科目 L フランス語

フランス語初級（演習）②		開講区分	A
<p>授業の目標・概要</p> <p>一列・二列で文法および講読の基礎を学習していることを踏まえ、演習では発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。</p> <p>この授業科目は文科生を対象としたものであるが、理科生に対しては、自由選択が可能な国際コミュニケーションの初級科目への積極的な参加を勧める。</p> <p>成績評価方法</p> <p>平常点（宿題、出席、発言等）と期末試験で総合的に評価する。</p> <p>※講義の詳細については、UTASを参照すること</p>			
時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50145	月 4	デルヴロワ ミカエル	1年 文一二(26)
50347	火 3	COUCHOT Herve	1年 文一二(23)
50419	火 4	CAPEL Mathieu	1年 文一二(24)
50543	水 2	BELOUAD CHRIS	1年 文一二(27)
50544	水 2	ファイフ ベアトリクス	1年 文一二(28)
50615	水 3	ファイフ ベアトリクス	1年 文一二(25)
50645	水 4	ファイフ ベアトリクス	1年 文三(20)
51019	金 3	BELOUAD CHRIS	1年 文三(17)
51020	金 3	アルベリック ドリブル	1年 文三(19)
51056	金 4	アルベリック ドリブル	1年 文三(18)
50278	火 2	伊達 聖伸	1年 文科 (TLP)

※TLP履修者は、対象クラスで「1年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目L系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50277	A	フランス語初級（演習）(TLP)	松井 裕美	仏語・伊語	火 2	1年 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>T L P フランス語演習 (1年次) T L P (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (T L P用)、そしてインテンシヴ・コース (T L P用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton Atelier Méthode de Français A1 DIDIER 9782278104680 https://didierfle.com/produit/latelier-a1-edition-2022-livre-livre-numerique-didierfle-app/ 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50262	A	フランス語初級（会話）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>フランス語初級（会話）／ French Language (Introductory) 発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や読解の応用練習などを行う。 参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、QUIZ、テスト、定期試験によって評価をします。 We will also use activities as homework's on th website named Furago. The students will have to pay around 1000¥ tu use it. 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50881	A	フランス語初級（作文）	ビゼ	仏語・伊語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Introduction au français écrit Ce cours a plusieurs objectifs: 1. Apprendre aux étudiants à lire un texte quel qu'il soit. 2. Apprendre aux étudiants à composer un texte argumentatif en français. このコースにはいくつかの目的がある： 1. フランス語の文章を読めるようになること。 2. フランス語で論述文を作成できるようになる。 Contrôle continu. Deux notes en cours de semestre et une note finale, consécutive à un rapport. 学生は継続的の評価方法で評価される。学期中に2つの点数が与えられ、レポート提出後に最終点数が与えられる。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50677	A	フランス語初級（表現練習）	デルヴロワ ミカエル	仏語・伊語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	フランス語初修 一列・二列で文法および講読の基礎を学習していることを踏まえ、演習では発音や文法、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。他の義務教育フランチ後科目に沿って改良するつもりです。それで他の一年生学生に比べてもうちょっと語彙の数を増やして文法をもう一回説明のチャンスが頂ける科目。 この授業科目は文科生を対象としたものであるが、理科生に対しては、これに相当するものとして、国際コミュニケーション「フランス語初級（演習）」が開講されているので、積極的に参加してほしい。					
成績評価方法 教科書	平常点（宿題、出席、発言等）と期末試験で総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook アルベリック・ドリブル、ベアトリックス・ファイフ、寺田寅彦 『Rythmes & communication (リズムコミ！ フランス語会話)』 朝日出版社 978-4-225-35275-6					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50003	A	フランス語初級（読解）	小西 英則	仏語・伊語	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	本物のフランス語を読み始める：まずはオンラインの子供新聞から A セメスターが終わる頃には、楽しみながら辞書を片手に、一人でどんどんフランス語が読めるようになっている... そのような状態が実現していれば、この授業の目的は達成されたと言えるでしょう。 そのために、「おもしろさ」と「読みやすさ」を兼ね備えたオンラインの子供新聞を、一緒に読み始めたいと思います。毎回読む記事は教師が指定するのではなく、あくまで履修者の皆さんに本当に読んでみたいと思う記事を選んでもらいます。授業の中では、文中に出てくる基本的な文法事項や発音などを、ていねいに確認していきます。役に立つサイトやおもしろい情報なども、随時紹介する予定です。 無味乾燥な教科書の例文や練習問題とは違い、現実に根差して実際に使われているフランス語は、魅力と刺激に満ちています。この授業が皆さんにとって、インターネット上に無限に広がるフランス語の豊かな世界へのいざないになればと思います。					
成績評価方法	平常点（授業への積極的参加、予習状況、課題提出等）、学期末レポートおよび学期末試験によって、総合的に判断する。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50459	A	フランス語初級（読解）	須藤 佳子	仏語・伊語	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	フランス語読解の基礎力をつける この授業では、初級文法にもとづき基本語彙をもちいて書かれた、フランス語の文章を読んでいきます。 文の構造を正確に把握した訳読をおこなうことで、初級文法の知識を補いつつ定着させ、基本語彙を身につけ、読解の基礎力を養います。まとまりのある平易な文章を、辞書をたよりに、自力で読めるようになることを目指します。					
成績評価方法	授業への参加度、課題、授業内テストにより評価をします。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小川・メルメ・フロランス /久松健一 LE COLLIER 朝日出版社 978-4-255-35278-7					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50958	A	フランス語初級（読解）	斎藤 かぐみ	仏語・伊語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	フランス語ニュースへのいざない 概要：政治経済社会分野をはじめとする語彙を増やしながら、簡単なフランス語ニュースの読解に慣れ親しみ、いずれリソースとして活用するための基盤をつくる。公共ラジオ局 Radio France Internationale ウェブサイト上の学習者向けニュース Journal en français facile を教材として用いるが、履修者のレベルによっては一般向けニュースも取り上げる。					
成績評価方法	平常点（出席、授業時の質疑応答、予習提出など）および期末テスト					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50007	A	フランス語初級（インテンシヴ） (TLP)	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	月 1	1年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	TLPフランス語インテンシヴ・コース（1年次） TLP（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（TLP用）、そしてインテンシヴ・コース（TLP用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。					
成績評価方法	参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、quiz, テスト、定期試験によって評価をします。					
教科書	We will also use the Furago Website for homeworks and the students will have to pay around 1000 yens to use it. 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin L'atelier + A1 (édition 2022) – Livre + livre numérique + didierfle.app Didier FLE 9782278104680					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50008	A	フランス語初級（インテンシヴ） (TLP)	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	月 1	1年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	TLPフランス語インテンシヴ・コース（1年次） TLP（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（TLP用）、そしてインテンシヴ・コース（TLP用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。					
成績評価方法	期末試験、小テスト、Furago e-learning Website (980 yen)、授業への参加態度などから総合的に評価する					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton, Emilie Marolleau, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin L'atelier + A1 (édition 2022) Didier FLE 9782278104680					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50196	A	フランス語初級（インテンシヴ） (TLP)	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	月 5	1年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	フランス語初級（インテンシヴコース） このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる2つの授業のうちの1つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。					
成績評価方法 教科書	参加者の規則正しい出席を前提としています。Furago e-learning Website (980 yen)、定期試験によって評価をします。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Kitamura Ayako, Durrenberger Vincent Maestro 1 朝日出版社 978-4255353074 開講時に指示します（学期開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこと）。					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50197	A	フランス語初級（インテンシヴ） (TLP)	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	月 5	1年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	フランス語初級（インテンシヴコース） このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる2つの授業のうちの1つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、木曜日1限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、アガエス）も受講しなくてはなりません。SセメスターとAセメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。					
成績評価方法 教科書	参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、quiz、テスト、定期試験によって評価をします。 We will also use the Furago Website for homeworks and the students will have to pay around 1000 yens to use it. 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin L'atelier + niv .A1 (édition 2022) – cahier + didierfle.app Didier FLE 9782278108244					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50684	A	フランス語初級（インテンシヴ） (TLP)	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	水 5	1年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	フランス語初級（インテンシヴコース） このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる2つの授業のうちの1つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。					
成績評価方法 教科書	参加者の規則正しい出席を前提としています。Furago e-learning Website (980 yen)、定期試験によって評価をします。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Kitamura Ayako, Durrenberger Vincent Maestro 1 朝日出版社 978-4255353074 開講時に指示します（学期開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこと）。					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50713	A	フランス語初級（インテンシヴ） (TLP)	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	木 1	1年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	フランス語初級（インテンシヴコース） このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる2つの授業のうちの1つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、木曜日1限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、アガエス）も受講しなくてはなりません。SセメスターとAセメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。					
成績評価方法	参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、quiz、テスト、定期試験によって評価をします。 We will also use the Furago Website for homeworks and the students will have to pay around 1000 yens to use it.					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin L'atelier + niv .A1 (édition 2022) – cahier + didierfle.app Didier FLE					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50969	A	フランス語初級（インテンシヴ） (TLP)	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	金 2	1年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	TLPフランス語インテンシヴ・コース（1年次） TLP（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（TLP用）、そしてインテンシヴ・コース（TLP用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。					
成績評価方法	参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、quiz、テスト、定期試験によって評価をします。 We will also use the Furago Website for homeworks and the students will have to pay around 1000 yens to use it.					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin L'atelier + A1 (édition 2022) – Livre + livre numérique + didierfle.app Didier FLE 9782278104680					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51093	A	フランス語初級（インテンシヴ） (TLP)	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	金 5	1年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	TLPフランス語インテンシヴ・コース（1年次） TLP（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（TLP用）、そしてインテンシヴ・コース（TLP用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。					
成績評価方法	期末試験、小テスト、Furago e-learning Website (980 yen)、授業への参加態度などから総合的に評価する					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton, Emilie Marolleau, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin L'atelier + A1 (édition 2022) Didier FLE 9782278104680					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50460	A	フランス語初級（第三外国語）	西川 純子	仏語・伊語	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	フランス語（特急）					
授業の目標概要	つづり字と発音の対応を意識しつつ、初歩のフランス語文法を1セメスターで通覧する。					
成績評価方法	平常点（出席と課題）、小テストおよび期末試験による。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 天羽均他 新・フランス語文法 四訂版 朝日出版社					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50678	A	フランス語初級（第三外国語）	黒木 秀房	仏語・伊語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	フランス語初級 French(Introductory)					
授業の目標概要	フランス語の発音や初級文法を学ぶ。基本的な語彙や表現を身につける。					
成績評価方法	平常点（授業への参加度、小テスト等）と期末試験によって総合的に判断する。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 石井洋二郎 『フランス文法要説（第3版）』 朝日出版社 978-4-255-35258-9					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50959	A	フランス語初級（第三外国語）	小西 英則	仏語・伊語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	フランス語初級（第三外国語）					
授業の目標概要	フランス語の文法的な仕組みを一通り理解し、丁寧に辞書を引けば標準的な文章の意味が正しく理解できるようになる。 フランス語の綴りと発音の関係を理解し、文章を正しく発音できるようになる。 学習した文法事項や表現を用いながら、特定の身近な話題についてフランス語で自然に会話ができるようになる。					
成績評価方法	平常点（授業への積極的参加、予習状況、小テスト、課題等）および学期末試験によって、総合的に判断する。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 太田浩一、前田保、渡辺仁 新・フランス語文法の＜基礎＞ 駿河台出版社 978-4-411-00775-9					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50070	A	フランス語中級（会話）	ラタンジオリリアヌ	仏語・伊語	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	中級会話					
授業の目標概要	フランス文化の様々な側面を学ぶとともに、実践的な会話能力を高める。					
成績評価方法	授業時間中の参加度による平常点と定期試験による。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Liliane Lattanzio, Nao Sawada ヴレマン 第2版 三修社 9784384232134					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50263	A	フランス語中級（会話）	BELOUAD CHRIS	仏語・伊語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Atelier de communication orale					
授業の目標概要	Ce cours s'adresse aux étudiants qui veulent progresser dans la maîtrise du français oral. Au semestre d'automne, nous ferons des activités inspirées des examens du DELF et du DALF. À chaque fois, nous prendrons quelques semaines pour traiter un thème. Pour préparer chaque thème, nous commencerons par regarder de courtes vidéos ou lire de courts textes ensemble. Ensuite, les étudiants devront préparer, individuellement ou à plusieurs, des présentations sur ce thème. En fonction du thème, certaines seront de format libre, d'autres suivront le format du DELF/DALF.					
成績評価方法	Seront évaluées la participation orale tout au long du semestre ainsi qu'une ou deux présentations orales (exposés).					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50960	A	フランス語中級（作文）	BELOUAD CHRIS	仏語・伊語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Atelier d'écriture : écriture journalistique et écriture académique					
授業の目標概要	Ce cours s'adresse aux étudiants qui veulent progresser dans la maîtrise du français écrit. Au semestre d'automne, nous travaillerons sur l'écriture journalistique et l'écriture académique. Nous utiliserons différents documents (épreuves du DELF et du DALF, extraits de journaux, extraits d'articles académiques) à partir desquels nous effectuerons différents exercices : rédiger un résumé, un compte-rendu, une synthèse de documents, etc. Les discussions et la correction des devoirs en classe seront l'occasion de réviser des points de grammaire et d'enrichir votre vocabulaire.					
成績評価方法	Devoirs rendus pendant le semestre (contrôle continu 50%), participation aux activités et discussions en classe (20%), devoir final (contrôle final 30%).					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51485	A	フランス語中級（読解）	鶴岡 彩香	仏語・伊語	月 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	近現代文化史のテキストをフランス語で読む					
授業の目標概要	近現代文化史のテキストの読解を通して、フランス語を正確に読みこなす力を身につける。必要に応じて初級で学んだ文法等の復習も行う。					
成績評価方法	平常点と学期末試験（もしくは課題）により総合的に評価する。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50461	A	フランス語中級（読解）	森元 庸介	仏語・伊語	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	芸術と科学——ユゴーを読みながら 題目のとおり、ヴィクトル・ユゴー「芸術と科学」を読む（評伝『ウィリアム・シェイクスピア』の一部であるが、ひとまず独立したテキストとして読むことができる。「詩は終わった」とする冷笑的諦念を一蹴し、芸術と科学がともに数(すう)の神秘に根ざす「ひとつのことがらのふたつの側面」であることを訴え、そこからしかし改良(perfectionnement)可能性の有無をめぐって両者のラディカルな差異を浮き彫りにしてゆく鋭敏な理路を追う、と同時に——あるいはそれ以上に——無比の磁力を発しながら勇躍する文体を楽しみたい。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	平常点とレポート。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50560	A	フランス語中級（読解）	赤羽 悠	仏語・伊語	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	人文・社会科学のテキストをフランス語で読む 初級で学んだ文法知識を用いて、社会学、歴史学、哲学などの分野のテキスト読解に挑戦します。まずは文法や表現について細かく確認しつつ、フランス語の文章を正確に把握することを目指します。 どちらかといえばアカデミックな文章を扱う予定ですので、読解に多少苦勞するところがあるかもしれません。しかし、そのような文章が読めるようになれば自信もつくはずで、フランス語の読解力を向上させたい方、また、フランスの社会学、歴史学、哲学にフランス語でじかに触れてみたい方の受講を歓迎します。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	平常点（授業への参加）、学期末試験等により総合的に評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50882	A	フランス語中級（読解）	桐谷 慧	仏語・伊語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中級レベルのフランス語テキストを読む フランス語文法の学習を一通り終えた方を対象として、中級レベルのフランス語の文章を読んでいく授業です。受講者のレベルに応じて、重要な語彙の確認、文法のおさらいなども並行して行う予定です。丁寧に文章を読むことを通して、フランス語の文章を読解する力を身につけることを目指します。 また、受講者の希望も考慮しつつ、専門的な文章を取り上げることにより、フランス語圏の思想や文化についての理解を深めることも目標とします。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	平常点（授業への参加）、課題提出、学期末試験などにより評価を行います。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50237	A	フランス語上級（会話）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	火 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Cours de conversation en français niveau avancé (DEL F B1, B2 et plus) Nous allons étudier l'actualité des pays francophones et discuter à propos de sujets et de thèmes variés (cinéma, musique, société, etc.). Nous demanderons également aux étudiants de participer à l'élaboration du programme afin d'étudier des thématiques qui les concernent et pour lesquelles ils ont un intérêt. Nous ferons aussi des jeux pour pratiquer le français.					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	Présentations, rapports, attitude et participation en classe, absences. 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50679	A	フランス語上級（読解）	寺田 寅彦	仏語・伊語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Lire "Les Mémoires" du baron Haussmann Objectif / Vue d'ensemble du cours : Au milieu du XIXe siècle, la ville de Paris a connu une transformation profonde au niveau morphologique et fonctionnel : l'haussmannisation. Réputées comme étroites et sombres, insalubres voire dangereuses, les rues de la capitale française gardaient encore, au début de ce siècle, un aspect moyenâgeux. D'énormes travaux urbains ont été alors entrepris par un certain Georges Eugène Haussmann, le préfet de la Seine. « Paris embellie, Paris agrandie, Paris assainie » : voici l'objectif de cette tentative colossale qui métamorphosera bientôt non seulement Lutèce mais aussi de nombreuses villes françaises voire européennes. Nous allons donc aborder cette méthode d'urbanisme au travers de la lecture et de la traduction des Mémoires du Baron Haussmann, le mentor des travaux monumentaux. Épaisse comme un pavé, cette autobiographie ne peut être entièrement traitée en un seul semestre ; nous nous intéresserons surtout à quelques chapitres sur le plan de Paris. Ainsi parcourrons-nous l'essentiel de la vision haussmannienne afin de mieux comprendre la société et la culture françaises.					
成績評価方法 教科書	Méthode d'évaluation : assiduité, participation, qualité de traduction, examen à la fin du semestre プリントを配布する。／Will distribute handouts Georges Eugène Haussmann Les Mémoires Seuil 978-2020398985					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

総合科目 L 中国語

中国語初級（演習）②		開講区分	A
授業の目標・概要	<p>一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。</p> <p>注意事項：クラス別に開講するので、自分のクラスの演習を履修すること。</p>		
成績評価方法	<p>定期試験を行わず、繰り上げ試験などを行うが、詳細は担当教員の指示に従うこと。</p>		
教科書	<p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook</p> <p>書名 『「聴・説・読・写」で中国語を身につけよう 初修中国語 演習テキスト』</p> <p>著者(訳者) 毛 興華</p> <p>出版社 白帝社</p> <p>ISBN</p>		
関連ホームページ	<p>※講義の詳細については、UTAS を参照すること</p>		
時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50043	月 2	張 ユエ	1年 文一二(13)
50045	月 2	林 立梅	1年 文一二(18)
50219	火 1	黄 海萍	1年 文三(11)
50344	火 3	李 佳リョウ	1年 文一二(19)
50357	火 3	喬 志航	1年 文三(13)
50640	水 4	中原 裕貴	1年 文一二(15)
50810	木 3	毛 興華	1年 文一二(16)
50922	金 1	斉 金英	1年 文一二(14)
51018	金 3	張 玉萍	1年 文三(14)
50746	木 2	鄧 芳	1年 文一二(17)文三(12)(TLP)
50747	木 2	李 彦銘	1年 文一二(17)文三(12)(TLP)

※TLP履修者は、対象クラスで「1年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50883	A	中国語初級（演習）	姚 毅	中国語	木 5	1年 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の基礎を固めるトレーニング 一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。					
成績評価方法 教科書	平常点 50%、期末テスト 50% 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 毛 興華 『「聴・説・読・写」で中国語を身につけよう 初修中国語 演習テキスト』 白帝社					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50004	A	中国語初級（作文）	賈 黎黎	中国語	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語初級作文 半年から一年程度中国語を学習した学生を対象とした授業である。基礎語彙と文法を学び、その知識をもとに作文の訓練をする。更に履修者の作文を添削しながら解説を行うことで初歩的な中国語作文能力を身に付けることを目標とする。					
成績評価方法 教科書	課題、小テストと期末試験によって総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 何彬 小野秀樹 チャイニーズ ライティング 白帝社					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50238	A	中国語初級（作文）	何 珍時	中国語	火 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語初級作文 中国語の初級作文は中国語の基本的な仕組みを理解しながら、中国語の作文する力を身につけ、自分のことや日常生活で必要なことを中国語で書いて表現する能力を養成することを目的としています。 中国語の文法事項や重要な構文を詳しく説明し、単文を中心とした練習問題を解くことによって基礎的な作文能力を身につけていきます。					
成績評価方法 教科書	普段の予習、復習、指定した練習問題の完成度、試験によって総合的に評価をします。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小野秀樹 チャイニーズライティング					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50970	A	中国語初級（表現練習）(TLP)	李 彦銘	中国語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語 基礎トレーニング 演習 TLP（トライリンガル・プログラム）履修生のための科目。中国語一列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。					
成績評価方法 教科書	期末試験と小テストなど 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 苏英霞 乐读——国际中文阅读教学课本（2） 北京语言大学出版社					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50264	A	中国語初級（インテンシヴ）	毛 興華	中国語	火 2	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング B 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週2回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）					
成績評価方法 教科書	実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。A セメスターは2クラス開講し、各クラス定員を20名までとする。Sセメスターに履修した学生を優先する。希望者が定員を超えた場合は抽選を行う。 Aクラス：火2 毛興華先生 木1 李佳樑先生 Bクラス：木5 賈黎黎先生 金2 王英輝先生 ☆必ず木1（担当教員：李佳樑先生）とセットで履修すること。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティブ、ニアネイティブの受講は認めない。 ☆抽選の必要の有無を開講前に把握すべく、履修希望者は9月30日（月）の17時55分までに次のリンク先のフォームを記入して送信してください。 https://forms.gle/MB79c4CuM198ozcu5 【注意事項】抽選を行なった場合、当選結果を10月1日（水）にUTOLにて知らせる。抽選で履修が認められた者は必ず履修すること。 授業貢献度、課題の完成度、小テスト・グループ活動・期末試験等の完成度に基づき総合的に評価する。					
ガイダンス	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 聞いて話す 初級中国語インテンシヴ 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50279	A	中国語初級（インテンシヴ） (TLP)	李 彦銘	中国語	火 2	1年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング（初級リスニング） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる3言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。					
成績評価方法 教科書	授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 駒場中国語教育研究会 孫軍悦、王雪萍、小野秀樹 現代漢語基礎 初級インテンシヴコース リスニング教材					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50280	A	中国語初級（インテンシヴ） (TLP)	白 春花	中国語	火 2	1年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング（初級リスニング） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる3言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。					
成績評価方法 教科書	授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 駒場中国語教育研究会 孫軍悦、王雪萍、小野秀樹 現代漢語基礎 初級インテンシヴコース リスニング教材					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50709	A	中国語初級（インテンシヴ）	李 佳リョウ	中国語	木 1	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング B 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週2回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）					
成績評価方法 教科書	実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。A セメスターは2クラス開講し、各クラス定員を20名までとする。Sセメスターに履修した学生を優先する。希望者が定員を超えた場合は抽選を行う。 Aクラス：火2 毛興華先生 木1 李佳樑先生 Bクラス：木5 賈黎黎先生 金2 王英輝先生 ☆必ず火2（担当教員：毛興華先生）とセットで履修すること。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティブ、ニアネイティブの受講は認めない。 ☆抽選の必要の有無を開講前に把握すべく、履修希望者は9月30日（月）の17時55分までに次のリンク先のフォームを記入して送信してください。 https://forms.gle/MB79c4CuM198ozcu5 【注意事項】抽選を行なった場合、当選結果を10月1日（水）にUTOLにて知らせる。抽選で履修が認められた者は必ず履修すること。 授業貢献度、課題の完成度、小テスト・グループ活動・期末試験等の完成度に基づき総合的に評価する。					
ガイダンス	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 聞いて話す 初級中国語インテンシブ 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50870	A	中国語初級（インテンシヴ） (TLP)	白 春花	中国語	木 4	1年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語 実践トレーニング（初級会話） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる3言語を自在に操る人材になることを目指す。この授業はトライリンガル・プログラム(TLP)の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる3言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。					
成績評価方法 教科書	授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 毛悦 新目標汉语 口语课本（1） 北京語言大学出版社 9787561932711					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50884	A	中国語初級（インテンシヴ）	賈 黎黎	中国語	木 5	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング B 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週2回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）					
成績評価方法 教科書	実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。A セメスターは2クラス開講し、各クラス定員を20名までとする。S セメスターに履修した学生を優先する。希望者が定員を超えた場合は抽選を行う。 A クラス：火2 毛興華先生 木1 李佳樑先生 B クラス：木5 賈黎黎先生 金2 王英輝先生 ☆必ず木5（担当教員：賈黎黎先生）とセットで履修すること。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティブ、ニアネイティブの受講は認めない。 ☆抽選の必要の有無を開講前に把握すべく、履修希望者は9月30日（月）の17時55分までに次のリンク先のフォームを記入して送信してください。 https://forms.gle/MB79c4CuM198ozcu5 【注意事項】抽選を行なった場合、当選結果を10月1日（水）にUTOLにて知らせる。抽選で履修が認められた者は必ず履修すること。 授業貢献度、課題の完成度、小テスト・グループ活動・期末試験等の完成度に基づき総合的に評価する。					
ガイダンス	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 聞いて話す 初級中国語インテンシヴ 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50942	A	中国語初級（インテンシヴ） (TLP)	菊池 真純	中国語	金 1	1年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング（初級リスニング） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる3言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。					
成績評価方法 教科書	授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 駒場中国語教育研究会 孫軍悦、王雪萍、小野秀樹 現代漢語基礎 初級インテンシヴコース リスニング教材					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50961	A	中国語初級（インテンシヴ）	王 英輝	中国語	金 2	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング B 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週2回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）					
成績評価方法 教科書	実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。A セメスターは2クラス開講し、各クラス定員を20名までとする。S セメスターに履修した学生を優先する。希望者が定員を超えた場合は抽選を行う。 Aクラス：火2 毛興華先生 木1 李佳樑先生 Bクラス：木5 賈黎黎先生 金2 王英輝先生 ☆必ず木5（担当教員：賈黎黎先生）とセットで履修すること。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティブ、ニアネイティブの受講は認めない。 ☆抽選の必要の有無を開講前に把握すべく、履修希望者は9月30日（月）の17時55分までに次のリンク先のフォームを記入して送信してください。 https://forms.gle/MB79c4CuM198ozcu5 【注意事項】抽選を行なった場合、当選結果を10月1日（水）にUTOLにて知らせる。抽選で履修が認められた者は必ず履修すること。 授業貢献度、課題の完成度、小テスト・グループ活動・期末試験等の完成度に基づき総合的に評価する。					
ガイダンス	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 聞いて話す 初級中国語インテンシブ 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50971	A	中国語初級（インテンシヴ） (TLP)	鄧 芳	中国語	金 2	1年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語 実践トレーニング（初級会話） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる3言語を自在に操る人材になることを目指す。この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる3言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。					
成績評価方法 教科書	授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 新目標汉语 口语课本（1） 北京言語大学出版社					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50972	A	中国語初級（インテンシヴ） (TLP)	白 春花	中国語	金 2	1年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語 実践トレーニング（初級会話） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる3言語を自在に操る人材になることを目指す。この授業はトライリンガル・プログラム(TLP)の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる3言語を自在に操る人材になることを目指す。					
成績評価方法 教科書	特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。 授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 毛悦 新目標汉语 口语课本（1） 北京語言大学出版社 9787561932711					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50005	A	中国語初級（第三外国語）	林 立梅	中国語	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語入門（A セメスターから始める中国語） 中国語学習の重要な基礎となる”発音”と”文法”を学ぶ。 この授業はA セメスターより中国語学習を始めたい学生のためのクラスである。S セメスターもしくは以前に前半を学習したことのある学生は、火2の黄海萍教員の授業を履修すること。 授業の性質上30名を定員とする。					
成績評価方法 教科書	履修に関する抽選結果は、UTOL のお知らせに公表します。 期末試験など 状況に応じて変更があるので指示に従ってください。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 木村英樹・小野秀樹・陳蓉 北京の風 白帝社					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50265	A	中国語初級（第三外国語）	黄 海萍	中国語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語（初級）（第三外国語）（2）／Chinese (Introductory) (3rd Foreign Language) (2) 中国語学習の重要な基礎となる”発音”と”文法”を学ぶ。この授業は同教員が担当したA セメスターの続きを行う（第1～9課の復習を行った後、第10課から始める予定）。授業の性質上40名を定員とする。初回授業で定員を超えている場合に抽選を行うので履修希望者は必ず出席をすること。					
成績評価方法	出席状況、授業中のパフォーマンス、課題、小テスト、期末試験などで総合的に評価する。 小テスト、課題、期末試験などについては、学期途中で指示をするので各教員の指示に従うこと。 授業に参加することが成績評価の前提であり、出席日数が三分の二未満の場合は不合格とする。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50962	A	中国語初級（第三外国語）	張 玉萍	中国語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の基礎 この授業は直接教授法を取り入れ、基本的に中国語で中国語を教えるものである。教員の一方的な説明に終始することなく、学生とのやり取りや学生同士の様々な形の練習を通して、中国語の表現力・思考力を次第に身につけるようにする。PEAKの学生向けとなっているため、できるだけ日本語は使わずに中国語で講義をする。SセメスターはI、Aセメスターはその続きのIIである。					
成績評価方法 教科書	出席、受講態度、発音練習、最後の発表などによって成績を判定する。詳しいことは初回授業の時に説明する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 八木章好 おぼえチャイナ2 朝日出版社					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50071	A	中国語中級（演習）	鍾 非	中国語	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語作文 和訳に使われるテキストのデジタル・コピーまで許諾されるかは、少なくとも Zoom 授業に関しては不明。それを考慮に入れて、中国語作文だけにする。教官の思い付き（日本語）を丁寧に中訳・添削する形で授業を進める。思い付きとは言え、レベルは初級と大違い。日常会話レベルの日中両国の言語を、慣用句（成語）にするのが要求される（例：日本語：羹に懲りて膾を吹く or 蛇に噛まれて朽繩に怖じる；中国語：小題大做 or 一年被蛇咬，十年怕井繩）。同じ表現なのに、日中両国の言葉に相違点が少なからず存在していることを受講生に気づかせる。語彙テストをランダムに実施（一例。日本語：level1：面白い、level2：興味深い、level3：腹を振る or 腹が振れる、level4：臍で茶を沸かす。中国語：level1：有趣、level2：興味盎然 or 妙趣横生、level3：捧腹大笑、level4：忍俊不禁）。ちなみに、Level1 ができなければ、日常会話で相槌を打つことすら不可能。かたや level4 が「お茶の子さいさい」だと思えば、native でも稀に見る。「覚えることだけが語学」だという悪しき先入観を、「考える語学」まで理路整然と高めるのが、目的。					
成績評価方法 教科書	平常点。 教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50632	A	中国語中級（会話）	中原 裕貴	中国語	水 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	たのしく中国語で会話しましょう この授業では日常生活に良くあることについて、中国語で気楽に、楽しく話せるのを目標にします。例えば、アルバイト、アルバイト収入の使い道、趣味、家族の構成、過去の思い出話、病気見舞い、夏休み、海外旅行、中学生活と大学生生活の違い等の話を広げて、会話をします。					
成績評価方法	平常点 30点 学期末テスト 70点					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50963	A	中国語中級（会話）	斉 金英	中国語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>中級中国語会話 中級レベルの文法を習得しながら、中国や日本の現代文化や社会事情が織り込まれた会話に触れ、テーマごとの会話練習を通して、様々な場面における中国語の自然な言い回しを応用できる口頭表現力を培うことを目指す。</p> <p>期末試験(60点)や授業への参加度(40点)により総合的に評価する。</p> <p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 張 恒悦 巨大中国の今 中級中国語ディベートへの招待 朝日出版社</p> <p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50940	A	中国語中級（作文）	王 英輝	中国語	金 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>中国語中級作文 文法と語彙を強化し、読解力を高めながら、平明達意な中国語の文章を書けることを目標とする。 モデル文を読み、文章表現のポイントを解説した上、テーマ別に中国語の文章を書いてもらい、教員が添削することによって、文章力が着実に身につくことを目指している。</p> <p>平常点（課題、授業への取り組み度など）と期末試験</p> <p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 楊彩虹、趙晴、陳敏 『文章力アップ 伝わる中国語作文』 朝日出版 978-4-255-45363-7</p> <p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50266	A	中国語中級（読解）	李 洵	中国語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>精読で表現力を高めよう 本授業では中国語検定試験2級レベルの長文を精読する。 文章の精読作業を通じて、初級既習文法への理解を深め、新たな応用展開について学び、合わせて様々な場面での表現や語彙を習得する。読解力を身につけるとともに中国語の表現力も高めていく。</p> <p>平常点（出席・授業中のパフォーマンス・小テスト）30%、期末試験70%で総合評価を行う。</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51044	A	中国語中級（読解）	朝倉 友海	中国語	金 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>論説体を中心とした中国語への習熟 本授業では、中国語で中級以上に進むためには避けて通ることのできない「論説体」に習熟することを目標とする。論説体とは新聞報道などメディアの文体を中心に、アカデミックな場など広く用いられる中国語である。フォーマルな言語として口頭でも広く用いられるため、実用性の面から非常に重要なものとなっているが、漢文の伝統を色濃く残す文章語であり、初級で学ぶ口語表現との違いは無視できないほど大きい。本授業は、論説体の中国語に読解・聴取の両面で無理なく馴染むことを主眼とし、ニュース記事や論説記事のほか、アカデミックな内容の文章をも教材として用いて読解練習を進めるが、併せて聞き取り能力も養う。</p> <p>授業参加および分担箇所の取り組みと習熟によって決める。</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50176	A	中国語上級（演習）	比護 遙	中国語	月 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>中国の雑誌『三聯生活週刊』を読む 中国の『タイムズ』誌を目指して1995年に創刊された『三聯生活週刊』には、社会や文化、経済などの多方面にわたる良質な文章が掲載されている。同誌の輪読を通して、速読と精読を組み合わせた実践的な中国語能力を養う。さらに、中国語を活用して中国の現在を理解する感覚を身につける。</p> <p>授業への積極的な参加（50%）、授業内での報告（20%）、レポート（30%）</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50780	A	中国語上級（会話）	毛 興華	中国語	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>中国語上級（会話） 中国語の実際の運用能力（会話力・聴解力）の向上を目的とする。 期末試験を行わず、課題発表や授業中のパフォーマンスに基づき評価を行う。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 孟国 井田綾 平野紀子 街なかの中国語 part2 東方書店 978-4-497-21209-2</p> <p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50710	A	中国語上級（作文）	張 政遠	中国語	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>作文 中国語でエッセイを書く。表現力を高める。 平常点 100% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50561	A	中国語上級（読解）	田中 雄大	中国語	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>中国語上級講読 20世紀中国で書かれた詩論を読みます。 詩論とは、理想的な詩のあり方について論じる評論のことで、基本的には文中で実際の詩作品を引用しながら議論を進めます。中国では『毛詩』「大序」以来、文言文の詩をめぐる詩論が書き継がれてきましたが、本授業で講読する詩論はいわゆる漢詩（旧詩、文語定型詩）ではなく、新詩（口語自由詩）を対象とするものです。 今のところは袁可嘉『論新詩の現代化』、龐名『談新詩』などを購読する予定ですが、参加者の関心や希望に合わせて変更する可能性があります。詩論自体は論説文ですので、中国語で文章の論理を追う訓練になるかと思ひますし、また作中に引用される詩の翻訳も行いますので、しかつめらしい文章に飽き飽きしている方や、より広いジャンルの中国語を読みたい方にも何らかの形で資するところがあるかと思ひます。 詩論を読解するうえでの最低限の時代的ないし文学的背景知識については初回で簡単にお話しますので、特に中国近現代文学に触れたことのない方でも問題ありません（が、文学テキストに興味のある方が来てくださると大変嬉しいです）。 なおテキストは基本的に簡体字のものを使用する予定です。 また文言文の知識がなくとも受講可能です。 授業への積極的な取り組み（出席、予習状況や授業での発言など）、期末レポート 教科書は使用しない。／Will not use textbook （UTOL上でテキストを配布します） 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

総合科目 L ロシア語

ロシア語初級（演習）②		開講区分	A
授業の目標・概要	正確な発音を実につけて、簡単なテキストを読む。内容を理解した上で、テキストに関して質疑応答ができるようにする。		
成績評価方法	平常点など。		
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts 書名 著者(訳者) 出版社 ISBN		
関連ホームページ	※講義の詳細については、UTAS を参照すること		
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50841	木 4	ゴロウィナ クセーニヤ	1年 文一二(4)
50845	木 4	GUTOVA Ekaterina	1年 文三(4)
50944	金 1	GRECKO Valerij	1年 文科 (TLP)

※TLP 履修者は、対象クラスで「1年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50885	A	ロシア語初級（演習）	GRECKO Valerij	ロシア語	木 5	1年 理科
講義題目 授業の目標概要	現代ロシア語の基礎 基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、パターン・プラクティスを通じて、聞く、話す、読む、書くという4つのスキルをバランスよく習得する。書かれたテキストだけでなく、ビデオなどのメディアも用いながら、ノンバーバル・コミュニケーションや言語を使用する際の態度についても学ぶ。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	平常点（授業中の発言、発表）、課題の提出 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50943	A	ロシア語初級（演習）(TLP)	GRECKO Valerij	ロシア語	金 1	1年 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	現代ロシア語の基礎（TLP） 基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、パターン・プラクティスを通じて、聞く、話す、読む、書くという4つのスキルをバランスよく習得する。書かれたテキストだけでなく、ビデオなどのメディアも用いながら、ノンバーバル・コミュニケーションや言語を使用する際の態度についても学ぶ。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	平常点（授業中の発言、発表）、課題の提出、テスト プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50680	A	ロシア語初級（会話）	GRECKO Valerij	ロシア語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ロシア語会話の基礎 ロシア語ネイティブの教員が担当する初心者向けロシア語会話の授業。基礎的なロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）を習得することを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。 日常生活に密着した場面を設定して、会話練習を行う。また、毎回の授業で取り上げるトピックを通して、ロシアでの生活や社会事情、ロシア特有の習慣などについての知識を得る。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	平常点（授業中での発言、発表）、課題の提出、小テスト プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50267	A	ロシア語初級（作文）	石井 優貴	ロシア語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ロシア語初級（作文） 動詞の格支配や移動の動詞など、必修ロシア語の授業で学習した／学習中の文法事項に関連する練習問題を解いていくことで、ロシア語作文のために必要な表現力の向上を目指す授業です。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	課題への取り組み、およびテスト 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50194	A	ロシア語初級（インテンシヴ）	畔柳 千明	ロシア語	月 5	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ロシア語初級（インテンシヴ） ロシア語を第二外国語として履修している人を受講者に想定し、必修の補足を行う授業です。必修の授業の進行に沿って、習った文法事項を復習して定着させ、実際に使えるようになることを目指します。					
成績評価方法 教科書	授業への出席、授業中の取組み、復習課題、小テスト 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 西中村浩・朝妻恵理子 Изучаем русский язык с нуля（ロシア語をはじめよう） 朝日出版社					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50198	A	ロシア語初級（インテンシヴ） (TLP)	GUTOVA Ekaterina	ロシア語	月 5	1年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	ロシア語初級（インテンシヴ）TLP TLP 生を対象にしたインテンシヴ・コースである。ネイティブ・スピーカーの先生が担当し、ロシア語のリスニングやスピーキングの基礎を集中的に学習する。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）に沿って、A1 に続き A2 のレベルを目指した学習を行う。2コマセットで履修すること（月曜 5 限と木曜 5 限）。					
成績評価方法 教科書	授業貢献度、提出課題、小テスト、学期末試験などを考慮して総合的に評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50896	A	ロシア語初級（インテンシヴ） (TLP)	GUTOVA Ekaterina	ロシア語	木 5	1年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	ロシア語初級（インテンシヴ）TLP TLP 生を対象にしたインテンシヴ・コースである。ネイティブ・スピーカーの先生が担当し、ロシア語のリスニングやスピーキングの基礎を集中的に学習する。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）に沿って、A1 に続き A2 のレベルを目指した学習を行う。2コマセットで履修すること（月曜 5 限と木曜 5 限）。					
成績評価方法 教科書	授業貢献度、提出課題、小テスト、学期末試験などを考慮して総合的に評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51086	A	ロシア語初級（インテンシヴ）	GUTOVA Ekaterina	ロシア語	金 5	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ロシア語初級インテンシヴ ロシア語の基礎的知識を確認しながら、会話力を身につける。 ※「初級インテンシヴ」はかならず週 2 回のペアで履修してください。片方だけの履修はできません。					
成績評価方法 教科書	授業態度、宿題提出状況、小テスト、口頭試験による総合評価。 授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50268	A	ロシア語初級（第三外国語）	丸山 由紀子	ロシア語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ロシア語初級（第三外国語） 基礎的なロシア語文法を学びます。S セメスターの続きとして、桑野 隆『初級ロシア語 20 課』白水社の 10 課から行います。 平易な文章であれば辞書を使って読むことができ、また口頭で簡単なコミュニケーションを取れるようになることが目標です。					
成績評価方法 教科書	出席、小テスト（2 回程度）、学期末試験で総合的に評価します。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 桑野 隆 初級ロシア語 20 課 白水社 9784560086148					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50664	A	ロシア語中級（会話）	GRECKO Valerij	ロシア語	水 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ロシア語会話表現（中級） ロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）をさらに伸ばすことを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。 授業では日常生活や身近な話題に取材した短い文章やスキットなどを使って、会話練習を重点的に行う。日常的な場面でよく使われる言い回しを習得し、語彙を増やすとともに、比較的複雑な構造をもった表現を正しく聞き取り、自分でも使えるようになることを目指す。また、毎回の授業で取り上げる題材を通して、ロシアでの生活や社会事情についての知識も身につける。 ※ロシア語を1年以上学習した者を対					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	平常点（授業中の発言、発表）、課題の提出 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50886	A	ロシア語中級（作文）	ゴロウィナ クセーニヤ	ロシア語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ロシア語作文の書き方・実力アップコース この講義では、文法の復習・実用やテキストの読解、翻訳、様々なジャンルの作文の書き方の練習を通して、ロシア語作文の実力アップを目指します。宿題は主として特定のテーマや文体のエッセーです。作文は受講者の希望に合わせて、手紙、体験記、ブログ、新聞や雑誌の記事、エッセーなどの文体を身につけた上で、最終的に学術論文の書き方を理解し、それに相当する短いものを書いてもらいます。文法に関しては、不完了体・完了体や複文、形動詞の使用などに焦点を当てます。コースの最後に筆記試験が行われます。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	授業参加（出席+予習+復習+授業での回答）、宿題、筆記試験。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50681	A	ロシア語中級（読解）	石井 優貴	ロシア語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ロシア語文学作品読解 19 世紀から 20 世紀までの著名なロシア語文学作品を読むことで、ロシア語文学に関する基本的な知識を学びつつ、ロシア語の読解力を向上させていくことを目標とした授業です。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	課題の実施状況の評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50370	A	ロシア語中級（インテンシヴ）	丸山 由紀子	ロシア語	火 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	ロシア語中級（インテンシヴ） 文法知識と語彙力増強に重点を置きながら、インプット（「聞く」「読む」）とアウトプット（「話す」「書く」）、両面からアプローチすることによりロシア語能力を総合的に向上させるのがこの授業の目標です。 授業への出席と貢献度、学期末課題の出来映えにより、総合的に判断します。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51045	A	ロシア語中級（インテンシヴ）	GUTOVA Ekaterina	ロシア語	金 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	ロシア語中級（インテンシヴ） ネイティブ・スピーカーの先生がリスニング、スピーキングに関して高度な運用能力を育成する。取り上げられたテーマに関する会話やディスカッション能力を養う。 授業への積極的な参加、宿題提出状況を総合的に判断して評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50462	A	ロシア語上級（会話）	GRECKO Valerij	ロシア語	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	ロシア語会話表現（応用） ロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）をさらに伸ばすことを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。 授業ではロシア語で書かれた新聞・雑誌の記事や文学テクストを読み、その内容についてディスカッションする。よく使われる熟語等の表現を習得し、語彙を増やすとともに、比較的複雑な構造をもった表現を正しく聞き取り、自分でも使えるようになることを目指す。また、毎回の授業で取り上げる題材を通して、ロシアでの生活や社会事情についての知識も身につける。 ※前期課程（1・2年生）でこの授業を履 平常点（授業中の発言、発表）、課題の提出 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50864	A	ロシア語上級（作文）	GRECKO Valerij	ロシア語	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	ロシア語の文章表現 ロシア語のさまざまな文体（日常会話、新聞や雑誌の記事、文学作品など）を読み、それらについてディスカッションし、ロシア語の文章を書く練習を行う。ロシア語運用能力をさらに高め、特に書く能力を向上させることを目指す。最終的にはエッセイやレポートをロシア語で書く能力を身につける。また、さまざまなスタイルの文章に触れることを通じて、ロシア文化やロシア事情に対する理解を深めることを目指す。 ※前期課程（1・2年生）でこの授業を履修できるのは、「ロシア語既習」で入学した学生のみです。 平常点（授業中の発言、発表）、宿題、レポート 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

総合科目 L スペイン語

スペイン語初級（演習）②		開講区分	A
授業の目標・概要	共通教科書『Brújula』を用い、Aセメスターでは、1列で扱う文法及び講読の進度に合わせ、発音、聞き取り、会話練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力を高めることをめざす。		
成績評価方法	各担当教員に任せられている。		
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 スペイン語初級 著者(訳者) 東京大学教養学部スペイン語部会 出版社 朝日出版社 ISBN		
関連ホームページ	※講義の詳細については、UTASを参照すること		
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50031	月 2	松田 葉月	1年 文一二(7)
50147	月 4	AIT MORENO Isaac	1年 文三(10)
50325	火 3	AIT MORENO Isaac	1年 文一二(10)
50326	火 3	松田 葉月	1年 文一二(11)
50327	火 3	FERNANDEZ HERBOSO	1年 文一二(12)
50418	火 4	AIT MORENO Isaac	1年 文一二(9)
50520	水 2	松田 葉月	1年 文一二(8)
50616	水 3	松田 葉月	1年 文三(7)
50846	木 4	FERNANDEZ HERBOSO	1年 文三(8)
50847	木 4	AIT MORENO Isaac	1年 文三(9)
50199	月 5	松田 葉月	1年 文科 (TLP)

※TLP履修者は、対象クラスで「1年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目L系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50281	A	スペイン語初級（演習）(TLP)	松田 葉月	スペイン語	火 2	1年 理科 (TLP)
講義題目	Curso intensivo de español para el TLP					
授業の目標概要	TLP スペイン語インテンシブ Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。					
成績評価方法	Exámenes parciales y examen final: 80% 小テストと期末テスト 80 点 Participación y tareas: 20% 平常点 20 点					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook スペイン語教材研究会編 Entre amigos 2, Editorial Asahi, 2º edición. 朝日出版社 978-4-255-55075-6					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50964	A	スペイン語初級（演習）	エクトル シエラ	スペイン語	金 2	1年 理科
講義題目	¿HABLAMOS? スペイン語での基本的なコミュニケーション					
授業の目標概要	スペイン語で日常生活について話せるようになることを目指す。 自己紹介、天気や家族、好きなこと、嫌いなこと、料理の簡単な感想、町の様子、過去にしたことや近い未来にしたいことについての会話の演習を行う。 スペイン語らしい発音や自然なイントネーションの習得を目指す。また、前学期で学習した規則動詞の現在形、現在進行形や近未来の復習をした上で、不規則動詞や再帰動詞を使った会話を習得する。					
成績評価方法	The course is recommended for students who want to learn basic Spanish and want to develop essential conversational skills. 参加 30%、宿題・パフォーマンス・態度・授業への貢献 30%、プレゼン 40%					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50711	A	スペイン語初級（会話）	藤井 礼奈	スペイン語	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	スペイン語初級（会話）					
授業の目標概要	発音やイントネーションに留意しながら、初級レベルの実践的な会話の能力を身につける。会話に必要な文法知識、表現、語彙力も適宜補いながら進行する。					
成績評価方法	各担当教員に任されている。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50887	A	スペイン語初級（会話）	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	スペイン語（初級会話） 練習を通して、文法とその機能についての内容を体系化し、生徒の理解を強化する。また、授業を通して学んだことを、それぞれの生徒が活用し表現できるようにすることを目指す。 その他に文法、単語のレベルを DELE A2 まで引き上げていく。					
成績評価方法	Haremos dos exámenes de contenidos generales. El primero será la sexta semana de curso y el segundo será la última semana de curso. Estos dos exámenes supondrán el 80% de la nota. 一般的な内容の2つの試験を行います。最初の試験はコースの6週目に行われ、2番目の試験はコースの最終週に行われます。これら2つの試験は成績の80%を占めます。 ・Mini exámenes de contenido específico. Son exámenes de 10 minutos que haremos casi todas las semanas. Estos exámenes suponen el 20% de la nota.					
教科書 ガイダンス	特定の内容のミニ試験も行います。これらはほぼ毎週、10分間の試験です。これらの試験は成績の20%を占めます。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51087	A	スペイン語初級（会話）	エクトル シエラ	スペイン語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	¿CONVERSAMOS? スペイン語を通じた西洋式のコミュニケーション この授業では日常的な会話、および自己表現まで出来るように会話の演習を行う。さらに、スペイン語らしい発音や自然なイントネーションを習得する。スペイン語を通して、インド・ヨーロッパ言語の構成が見えてくる。 文法の内容として、規則動詞、不規則動詞、再帰動詞の点過去、線過去、現在進行形や近未来を復習する。クラスのレベルに合わせてながら、受動態や能動態、命令形や過去完了、再帰受け身や接続法も学習することがある。					
成績評価方法	The course is recommended for students who want to learn basic Spanish and want to develop essential conversational skills. 参加 30%、宿題・パフォーマンス・態度・授業への貢献 30%、プレゼン 40% Participation 30%、Performance, attitude, homework 30%、Presentation 40%.					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50865	A	スペイン語初級（作文）	内田 兆史	スペイン語	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	日本語で書かれた文学作品や漫画を、スペイン語ネイティブがどのようにスペイン語化したかを眺めながら、『日本語をスペイン語にする』という行為を俯瞰的に眺め自家菜籠中のものとすることを目指します。 日本語をスペイン語にする際に気をつけるべき点を考えることはスペイン語を日本語にする際に気をつけるべき点に気づくことでもある。「作文」よりむしろ「翻訳」を見据えた授業にしていきます。					
成績評価方法	授業前提出課題 25%、授業に基づいた毎週の小テスト（作文）40%、期末課題 35%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50195	A	スペイン語初級（インテンシヴ）	AIT MORENO Isaac	スペイン語	月 5	1年 文科 理科
講義題目	(会話)					
授業の目標概要	必修スペイン語に加えてスペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを開講する。スペイン語初習者に必要とされる、基礎的な表現、文法、語彙を学ぶ。会話練習中心で、個人やグループでの様々なアクティビティなどで、実際にコミュニケーションしながら、文法や語彙の定着を図るようにする。授業はスペイン語ネイティブの教員が担当する。					
成績評価方法	出席および授業への積極的な参加: 5% 試験: 85% (中間+期末) 小テスト等: 10%					
教科書	教科書は使用しない。/ Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50282	A	スペイン語初級（インテンシヴ） (TLP)	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	火 2	1年 文科 理科 (TLP)
講義題目	Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシヴ					
授業の目標概要	Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。					
成績評価方法	Exámenes parciales y examen final: 70% 小テストと期末テスト 70 点 Participación y tareas: 30% 平常点 30 点					
教科書	次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook Equipo para la elaboración de manuales de español Entre amigos 2 Editorial Asahi, 2ª edición. ISBN 978-4-255-55075-6					
ガイダンス	特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50888	A	スペイン語初級（インテンシヴ）	AIT MORENO Isaac	スペイン語	木 5	1年 文科 理科
講義題目	(作文)					
授業の目標概要	必修スペイン語に加えてスペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを開講する。スペイン語初習者に必要とされる、基礎的な表現、文法、語彙を学ぶ。作文練習中心で、個人やグループでの様々なアクティビティなどで、実際にコミュニケーションしながら、文法や語彙の定着を図るようにする。授業はスペイン語ネイティブの教員が担当する。					
成績評価方法	出席および授業への積極的な参加: 5% 試験: 85% (中間+期末) 小テスト等: 10%					
教科書	教科書は使用しない。/ Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50897	A	スペイン語初級 (インテンシヴ) (TLP)	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 5	1年 文科 理科 (TLP)
講義題目	Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシヴ					
授業の目標概要	Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。					
成績評価方法	Exámenes parciales y examen final: 70% 小テストと期末テスト 70 点 Participación y tareas: 30% 平常点 30 点					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Equipo para la elaboración de manuales de español Entre amigos 2 Editorial Asahi, 2º edición. ISBN 978-4-255-55075-6					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50973	A	スペイン語初級 (インテンシヴ) (TLP)	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	金 2	1年 文科 理科 (TLP)
講義題目	Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシヴ					
授業の目標概要	Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。					
成績評価方法	Exámenes parciales y examen final: 70% 小テストと期末テスト 70 点 Participación y tareas: 30% 平常点 30 点					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Equipo para la elaboración de manuales de español Entre amigos 2 Editorial Asahi, 2º edición. ISBN 978-4-255-55075-6					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51094	A	スペイン語初級 (インテンシヴ) (TLP)	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	金 5	1年 文科 理科 (TLP)
講義題目	Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシヴ					
授業の目標概要	Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。					
成績評価方法	Exámenes parciales y examen final: 70% 小テストと期末テスト 70 点 Participación y tareas: 30% 平常点 30 点					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Equipo para la elaboración de manuales de español Entre amigos 2 Editorial Asahi, 2º edición. ISBN 978-4-255-55075-6					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50006	A	スペイン語初級（第三外国語）	松尾 俊輔	スペイン語	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	1年間で学ぶ三外スペイン語 この授業は、スペイン語を第二外国語として履修していない学生を対象とし、1年間かけてスペイン語の基礎的な運用能力を身に付けることを目標としています。併せて、スペイン・ラテンアメリカの豊かな文化と歴史に触れる道を開きます。					
成績評価方法	文法事項をひとつひとつ身に付けていながら、スペイン語世界で通用する実践的なコミュニケーション能力（読む／書く／話す／聞く）の基礎を固めます。SセメスターとAセメスターを通してスペイン語の文法体系全体を学び、「ここまで来ればあとは生のスペイン語にぶつかるだけ」というレベルまで持っていくことが目標です。 Aセメスターの授業では、Sセメスターで学んだ現在形～過去形の復習から始め、接続法までを含むひと通りのスペイン語の文法体系全体を学び終えることを目指します。					
教科書	小テスト 10点×5=50点 期末試験（最終回） 50点 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学教養学部スペイン語部会 スペイン語学習の羅針盤 朝日出版社 978-4-255-55111-1					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50269	A	スペイン語初級（第三外国語）	金子 亜美	スペイン語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	スペイン語初級（第三外国語） 一セメスターでスペイン語の初級文法をひと通り学習します。					
成績評価方法	複数回の小テストと平常点にもとづいて評価します。詳細は授業中に説明します。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Universidad de Tokio, Departamento de Español Brújula: primer curso de español（スペイン語学習の羅針盤） Editorial Asahi 978-4-255-55111-1					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50866	A	スペイン語中級（演習）	アルバロ ペラル ヒガンテ	スペイン語	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>Conversación en español スペイン語での会話 El objetivo fundamental del curso consiste en que los estudiantes adquieran habilidad y seguridad en la interacción oral en español y puedan tener conversaciones con un hispanohablante sobre diferentes temas. 本講義では、履修者がスペイン語による口頭でのインターアクションの能力と確かさを身につけ、さまざまなテーマについてスペイン語話者と会話できるようになることを目指します。 También estudiamos la forma de escribir composiciones en español. また、スペイン語で作文する方法を学びます。</p>					
成績評価方法	<p>期末試験 40% 期末レポート 30% 平常点 30% El profesor evalúa la habilidad de los estudiantes para tener conversaciones en español. Es importante la fluidez, la comprensión auditiva, el uso correcto de la gramática y el vocabulario. El profesor evalúa estos aspectos en las tareas de conversación de la clase. Es muy importante la participación en la clase. El profesor también evalúa la habilidad de los estudiantes para escribir composiciones en español. Es importante la ortografía, el uso correcto de la gramática y del vocabulario. Al final del curso hay un examen.</p>					
教科書	<p>教員は履修者のスペイン語会話能力を評価して成績をつけます。会話のなめらかさ、リスニング能力、文法と語彙の正しさが重要です。授業において、これらの能力を、課題を通じて評価します。授業への参加がとても重要です。教師は生徒がスペイン語で作文を書く能力も評価します。正しいスペルで書くこと、正しい文法、そして語彙で書くことが重要です。コースの最後には試験があります。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Paloma Trenado, Juan Carlos Moyano y Hanako Saito Por escrito 2 Editorial Dogakusha</p>					
ガイダンス	<p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51073	A	スペイン語中級（会話）	エクトル シエラ	スペイン語	金 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>「¿CHARLAMOS?」スペイン語を通じた西洋式のコミュニケーション 様々なトピックに触れながら、会話力を養う。 西洋式コミュニケーションのパターンを探り、慣用句を中心に エリプシス（省略法）、メトニミー（換喩）、メタファー（比喩）を学ぶ。曖昧で婉曲的な伝え方より、アサーティブでメタフォリックなコミュニケーションを目指す。 This is a course to learn new collocations, verbal periphrases, idioms and to practice conversation. The final exam is a presentation.</p>					
成績評価方法	<p>参加 30%、宿題・パフォーマンス・態度・授業への貢献 30%、プレゼンテーション 40%。 Participation 30%、Performance, attitude, homework 30%、Presentation 40%.</p>					
教科書	<p>プリントを配布する。／Will distribute handouts</p>					
ガイダンス	<p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50270	A	スペイン語中級（作文）	石橋 純	スペイン語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>スペイン語中級（作文） スペイン語文法の基礎知識を確認しながら中級レベルの作文練習をおこない、表現力の向上をめざす。日本語の例文に対する複数のスペイン語訳例を提示し、それらのニュアンスの違いや初学者が間違いやすい問題個所などを解説することによって、スペイン語の知識をより確実なものにする。毎回の授業の前半では短めの例文を数多く取り上げ、授業の後半ではある程度まとまりのある文章課題に取り組んでもらう。また、セメスターの最後には、テーマを設定した上でより長い文章課題を提出してもらう。</p>					
成績評価方法	<p>各回の授業に先立って提出する作文の課題、セメスターの最後に提出する長めの作文課題、授業期間中に随時実施する小テストの結果などにもとづき、総合的に評価する。</p>					
教科書	<p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 木村琢也・中西智恵美 新訂版・スペイン語作文中級コース 同学社 978-4-8102-0437-7</p>					
ガイダンス	<p>第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50562	A	スペイン語中級（読解）	丸山 共恵	スペイン語	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	中級レベルの様々なテーマのスペイン語圏のニュースを教材として使用し、基本的な文法知識と語彙を増やし、総合的なスペイン語力の向上を目指す。					
授業の目標概要	ニュースを聞き取るために理解するために必要な文法(S セメスペイン語 1列の復習から接続法)を確認し、語彙を増やししながら、読解力・リスニング力を向上することを目標とする。12回の授業で、様々な構文を理解し、将来スペイン語の文章を自分で読めるようになる為のスペイン語の読解力を基礎から学ぶ。また、ニュースを通じて、スペイン語圏の社会や文化への理解を深める。					
成績評価方法	毎回の小テスト（文法と語彙中心）出席&課題 50% 期末テスト 50%					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 中島聡子 著/ 佐藤佐知 著/ David Taranco ニュースで学ぶ中級スペイン語 [改訂版] 三修社 978-4-384-42021-0 C1087					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50889	A	スペイン語中級（読解）	内田 兆史	スペイン語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ラテンアメリカを中心にしたスペイン語圏のニュース、講演、会話や曲を聞き取り、内容を理解することでスペイン語という視点を獲得し、世界を、あるいは日本を複眼的に眺める武器にしましょう。					
授業の目標概要	スペイン語を用いて世界を、日本を複眼的に眺める手段について学び、たとえばニュースについて日本や英語圏のメディアでの取り上げられ方とスペイン語世界での取り上げられ方との違いについて考察することにより、新たな視点から世界を眺められるようになる。					
成績評価方法	リスニングを含めた課題提出 40%、予習に基づいたテキスト読解 40%、期末課題 20%					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50563	A	スペイン語上級（演習）	AIT MORENO Isaac	スペイン語	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Español Avanzado. Cultura e Historia del Mundo Hispánico.					
授業の目標概要	Practicaremos la gramática y el vocabulario del español mientras estudiamos temas sobre la cultura y la historia del mundo hispánico (España e Hispanoamérica). Este curso está destinado a estudiantes que ya han alcanzado niveles intermedios y desean profundizar en su aprendizaje del español y de la cultura hispánica. Los objetivos son: - Presentar nuevos contenidos gramaticales y discursivos que permitan a los alumnos expresarse en español con más precisión, tanto por escrito como oralmente. - Ampliar el vocabulario de los alumnos, con el mismo objetivo de mejorar la riqueza y precisión de su expresión en español. - Practicar los nuevos aprendizajes por medio de ejercicios, redacciones y presentaciones orales. - Ampliar los conocimientos sobre el ámbito histórico y cultural hispánico.					
成績評価方法	Pruebas escritas: 80% Actividades de clase y tareas: 20%					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50832	A	スペイン語上級（会話）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Curso de español avanzado: “El mundo hispano a través del cine”. En este curso, los estudiantes podrán conocer algunos aspectos de la vida de América Latina a través de algunas películas. Mediante ejercicios de observación y comprensión de películas, los alumnos podrán expresarse oralmente sobre los temas vistos y escribir breves composiciones utilizando algunas herramientas de redacción. También podrán reforzar aspectos de la gramática, sintaxis y ampliación del vocabulario en español.					
成績評価方法	Conversación y composiciones (ejercicios de escritura de reseñas): 50% Asistencia y participación en clase: 20% Presentación y reporte final 30%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50781	A	スペイン語上級（作文）	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	スペイン語による作文の授業 Aprender a escribir bien en una nueva lengua requiere del aprendizaje de un género discursivo totalmente nuevo. Este curso de redacción tiene como fin dotar a los alumnos de las estructuras conceptuales imprescindibles que les permitan comprender el objetivo del texto y cómo realizarlo. El enfoque consiste en la introducción de los modelos conceptuales que permitan al estudiante reorganizar sus ideas y su entorno tanto dentro del aula como fuera de ella para facilitar el aprendizaje de este nuevo el discurso escrito en español. Los niveles de referencia de español que abordaremos son B1-B2 y C1.					
成績評価方法	新しい言語で正しく書くことを学ぶには、まったく新しい論法を学ぶ必要がある。この授業では、文章を書く目的とその実行方法を理解できるようにするための基本的な概念構造を学生に提供することを目的としている。授業の方法は、スペイン語で書かれたこの新しい論法の学習を容易にするために、学生が自分の考えを教室の内外で再編成できるようにする概念モデルを紹介することである。 授業で使用するスペイン語のレベルは前半が B1~B2、後半が C1 である。					
教科書	Método de evaluación: La evaluación continua del trabajo diario en el aula y de la producción de textos que se pidan en la clase. 期末試験は実施しない。毎回の授業で課す課題によって評価する。					
ガイダンス	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Arturo Escandón Trivium. Manual de composición escrita Liberas Press 978-4-909580-02-3 特に行わない。／Will not conduct guidance					

総合科目 L 韓国朝鮮語

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50240	A	韓国朝鮮語初級（演習）(TLP)	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 1	1 年 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級（演習）TLP この授業は、韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当し、韓国朝鮮語一列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用のため、さまざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には、S セミスターにつづき、一列の授業内容に合わせて、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文などをバランスよく練習し、より実践的な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目標とする。					
成績評価方法	期末試験と平常点（出席、小テスト、課題、授業への参加度など）を総合的に評価する。 ※出席日数の3分の1以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50890	A	韓国朝鮮語初級（演習）	朴 天弘	韓国朝鮮語	木 5	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級（演習） 韓国朝鮮語のネイティブ教師が担当する。一列・二列の授業で学んだ基礎知識の定着と、さらに「スピーキング」「リスニング」「リーディング」「ライティング」の諸領域におけるバランスの取れた理解・表現能力の向上を目指す。 ※この授業の履修を希望する人は、「韓国朝鮮語初級（一列・二列）」または「韓国朝鮮語初級（第三外国語）」を履修中か、それと同等の学力を持っていることが望まれます。					
成績評価方法	授業参加（平常点）、小テスト、期末試験を実施して総合的に評価する。評価配分は以下の通りとする。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50142	A	韓国朝鮮語初級（演習）②	李 英蘭	韓国朝鮮語	月 4	1 年 文一二(5)
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級（演習） この授業は、韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当し、韓国朝鮮語一列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用のため、さまざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には、S セミスターにつづき、一列の授業内容に合わせて、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文などをバランスよく練習し、より実践的な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目標とする。					
成績評価方法	期末試験と平常点（出席、小テスト、課題、授業への参加度など）を総合的に評価する。 ※出席日数の3分の1以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50241	A	韓国朝鮮語初級（演習）② (TLP)	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 1	1 年 文科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級（演習）TLP この授業は、韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当し、韓国朝鮮語一列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用のため、さまざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には、S セミスターにつづき、一列の授業内容に合わせて、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文などをバランスよく練習し、より実践的な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目標とする。					
成績評価方法	期末試験と平常点（出席、小テスト、課題、授業への参加度など）を総合的に評価する。 ※出席日数の3分の1以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50355	A	韓国朝鮮語初級（演習）②	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 3	1年 文三(5)
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級（演習） この授業は、韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当し、韓国朝鮮語一列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用のため、さまざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には、Sセミスターにつづき、一列の授業内容に合わせ、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文などをバランスよく練習し、より実践的な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目標とする。					
成績評価方法	期末試験と平常点（出席、小テスト、課題、授業への参加度など）を総合的に評価する。 ※出席日数の3分の1以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50432	A	韓国朝鮮語初級（会話）	金 庚芬	韓国朝鮮語	火 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級（会話） 本授業は、2024年のSセメスターに引き続いて進めます。韓国語の基礎知識を習得、活用しながら、「聴く」そして「話す」能力のトレーニングに重点を置く科目です。そのため、授業では「聴く」と「話す」練習用の様々な種類のアクティビティを行い、実践的な学びを目指します。					
成績評価方法	受講態度・授業への取り組み 10%、小テストと課題 30%、期末試験（筆記・口頭）60%を目安に総合的に評価します。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 世宗学堂 世宗実用韓国語会話 1 延世大学校大学出版文化院 授業では、公開されている電子書籍および音源を使用予定のため、紙媒体は購入不要です。詳細は、初回の授業で説明します。 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50891	A	韓国朝鮮語初級（作文）	鄭 宇鎮	韓国朝鮮語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級（作文） 韓国朝鮮語の入門文法（表現）・初級文法（表現）の知識が身につくようになる。 韓国朝鮮語の入門文法（表現）・初級文法（表現）を用いて短文作文ができるようになる。 韓国朝鮮語の入門文法（表現）・初級文法（表現）を用いて会話文を作ることができるようになる。 韓国朝鮮語の入門文法（表現）・初級文法（表現）を用いた会話ができるようになる。 韓国朝鮮語の入門文法（表現）・初級文法（表現）が用いられた実例を読み解く能力が身につくようになる。					
成績評価方法	毎回の課題と期末課題、平常点（出席、課題、発表、授業への参加度等）を総合的に評価する。 *出席日数の3分の1以上を欠席した者や期末課題の未提出者は、成績評価の対象にならない。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50009	A	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ） (TLP)	朴 天弘	韓国朝鮮語	月 1	1年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	TLP 韓国朝鮮語 初級インテンシヴ一列 韓国朝鮮語 TLP の学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。					
成績評価方法	授業参加（平常点）、小テスト、期末試験を実施して総合的に評価する。評価配分は以下の通りとする。 ○授業への取り組み：20%（宿題やミニエッセイなど） ○音声の課題：20% ○小テスト：20% ○期末試験：40%					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 서울대학교 언어교육원 I Love Korean 2 (사랑해요 한국어 2) 서울대학교출판문화원 9788952128744					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50072	A	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	崔 泰源	韓国朝鮮語	月 2	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級 インテンシヴ 必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。					
成績評価方法	期末試験、課題、小テスト、授業への参加などで総合的に評価する。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 金菊熙 /李順蓮 /安蕙蓮 /李旼映 いよいよ韓国語 朝日出版社 S セメスターに引き続き、第6課から始めます					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50714	A	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ） (TLP)	朴 天弘	韓国朝鮮語	木 1	1年 文科 理科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	TLP 韓国朝鮮語 初級インテンシヴ二列 TLP 韓国朝鮮語の学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。					
成績評価方法	授業参加（平常点）、小テスト、期末試験を実施して総合的に評価する。評価配分は以下の通りとする。 ○授業への取り組み：20%（宿題やミニエッセイなど） ○音声の課題：20% ○小テスト：20% ○期末試験：40%					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 서울대학교 언어교육원 I Love Korean 2 (사랑해요 한국어 2) 서울대학교출판문화원 9788952128744					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50941	A	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	金 1	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語 初級インテンシヴ 韓国朝鮮語を集中的に学習したい人を対象に活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。					
成績評価方法	期末試験、課題、小テスト、授業への参加などで総合的に評価する。					
教科書 ガイダンス	※出席日数の3分の1以上を欠席した者や期末テスト未受験者は成績評価の対象にならない。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50271	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	岩井 智彦	韓国朝鮮語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級 Sセメスター火曜2限の初級クラスの続きで、同講義を履修した方を受講対象とします。初級後半レベルの文法項目、語彙表現を、確実に身につけることを目標とします。 必ず「履修上の注意」をよく読んで上で受講してください。					
成績評価方法	課題、小テスト、期末テスト					
教科書 ガイダンス	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 中島仁ほか 新・韓国語へのとびら 朝日出版社 9784255556772 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50272	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級 本授業は、韓国朝鮮語を初めて学習しようとする学生を対象としている。S・A 両セメスターの履修を前提にし、通年で初級レベルの韓国朝鮮語の表現や語彙を学び、日常生活の基本的な会話ができるようになることを目指す。Sセメスターでは、韓国朝鮮語の文字と発音をしっかり学んだ後、初級前半レベルの表現と語彙を学ぶ。 授業は、「韓国朝鮮語」のみで行う。					
成績評価方法	期末試験と平常点（出席、小テスト、課題、授業への参加度など）を総合的に評価する。					
教科書 ガイダンス	※出席日数の3分の1以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50273	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	朴 天弘	韓国朝鮮語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級（Aセメスター始まり） Aセメスター始まりの授業である（文字・発音の入門から始まる）。文字をちゃんと読める!楽しく学習する!そして書ける!何よりも外国語が話せる喜びを感じさせる、そして韓国について興味入門過程（文字・発音）を中心に基礎的な文法や表現を中心に「読む」「聞く」「書く」「話す」という四つの力をバランスよく身につけることを目標とする。 ゼロから始まる韓国朝鮮語学習者が対象となる。					
成績評価方法	① ハングル文字を正確に読める。 ② あいさつ、自己紹介、数学など、簡単な表現を用いて話したり、書いたりできる。 ③ 「読む」「聞く」「書					
教科書 ガイダンス	期末試験、課題、小テスト、授業への参加などで総合的に評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50371	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	金 庚 芬	韓国朝鮮語	火 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	韓国朝鮮語初級（第三外国語）					
授業の目標概要	本授業は、A セメスター始まりの授業です。初めの韓国語の文字（ハングル）と発音の学習に続き、基本的なあいさつ表現、基礎語彙、基本的な助詞、用言の活用の基礎を学びます。教科書『チンチャ！チョアヘヨ！！韓国語1』を使い、新しい文法や表現の習得、自然な発音を身につけるための繰り返し練習、自己紹介の表現をはじめ、実践的な表現を学びます。教室活動の他に、UTOLを通して、お知らせ、課題がありますので、必ず確認してください。					
成績評価方法	また、自習用動画が用意されているので下記 URL から視聴して下さい。毎週、単語の暗記や本文の読					
教科書	受講態度・授業への取り組み 10%、小テスト&課題：30%、期末試験（筆記・口頭）60%を目安に総合的に評価します。					
ガイダンス	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 金庚芬・丁仁京 チンチャ！チョアヘヨ！！韓国語1 朝日出版社 9784255557021 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50498	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	相川 拓也	韓国朝鮮語	水 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	韓国朝鮮語の基礎文法を学ぶ					
授業の目標概要	Learning basic Korean grammar はじめて韓国朝鮮語を学ぶ人を対象にした授業です。文法・読解を中心として、韓国朝鮮語の基礎を学習します。半期（A セメスター）の学習により、文法事項に対する理解を積み重ねることにより、韓国朝鮮語の概略を把握できることを目指します。また、その後の継続学習により中級レベルに到達できる程度の実力をつけることを目標とします。					
成績評価方法	This course is designed for those learning Korean for the first time. Students will learn the b					
教科書	平常点（30%。授業外課題含む）＋期末テスト（70%） 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 木内明 ゼロからしっかり学べる！ 韓国語文法トレーニング（音声 DL 版） 高橋書店 9784471114503					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50965	A	韓国朝鮮語中級（作文）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	韓国朝鮮語中級（作文）					
授業の目標概要	韓国朝鮮語において日常生活に必要な文の読み書きが自由にできる程度の表現能力を身につけることを目指す。具体的には、中級レベルの語彙・表現を使った短文作文の練習をしつつ、パラグラフ作文及びより論理的な文の作成まで発展させていく。課題作文については教員による添削をみんなで共有し、よくある誤用や韓国朝鮮語の文の特徴についての理解を深める。					
成績評価方法	期末課題と平常点（出席、課題、発表、授業への参加度など）を総合的に評価する。					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50712	A	韓国朝鮮語中級（表現練習）	伊藤 英人	韓国朝鮮語	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	韓国朝鮮語中級演習					
授業の目標概要	韓国朝鮮語文法の上級、韓日漢字音対応規則、講読、口頭発表を順次行う。					
成績評価方法	授業での発言					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50564	A	韓国朝鮮語中級（読解）	相川 拓也	韓国朝鮮語	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	韓国朝鮮語小説の訳読					
授業の目標概要	Reading and translating Korean short stories 韓国朝鮮語で書かれた小説を原文で読み、翻訳してみることで、韓国朝鮮語の多彩な文章表現に触れるとともに、日本語の文章表現との共通性や違いについて学びます。 2024年度Aセメスターでは、黄順元「鶴」（1953年）とキム・エラン「沈黙の未来」（2012年）を取り上げます。 By reading and translating short stories written in Korean, students are encouraged to gain insight into the nuances of					
成績評価方法	平常点（40%。授業外課題含む）＋期末レポート（60%）					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50135	A	韓国朝鮮語中級（インテンシヴ）	李 英蘭	韓国朝鮮語	月 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	韓国朝鮮語中級（インテンシヴ）					
授業の目標概要	本授業では、韓国朝鮮語の初級を学び終えた者を対象とし、中級レベルの文法と語彙を学んでいく。具体的には、主に中級文法の解説と練習を通じて場面に的確な表現を習得し、より高度な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目指す。また、様々なテーマについての読み物を読むことによって読解力の向上も図る。履修前に「へヨ体」「不規則活用」「連体形」の復習しておくことが望ましい。					
成績評価方法	期末試験と平常点（出席、小テスト、課題、授業への参加度など）を総合的に評価する。 ※出席日数の3分の1以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50633	A	韓国朝鮮語中級（インテンシヴ）	河崎 啓剛	韓国朝鮮語	水 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	韓国朝鮮語中級（インテンシヴ）					
授業の目標概要	韓国朝鮮語を集中的に学習したい学生を対象とし、基礎を固めつつ中級レベルの運用能力を鍛えるほか、語彙力の体系的強化を行う。 文法や語彙の学習が「単なる丸暗記」ばかりではない事を学び、本質的かつ効率的な学び方を身につける事を目標とする。					
成績評価方法	課題、小テスト、授業への参加					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 生越直樹 ことばの架け橋 ― 中級表現編 白帝社 978-4-89174-962-0					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50239	A	韓国朝鮮語上級（会話）	朴 天弘	韓国朝鮮語	火 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語上級（会話） より高度な会話力とコミュニケーションスキルを身に付けることを目標としている。様々な会話場面における語彙と文型を覚えていくことで、的確な表現・伝達ができるように練習する。韓国の文化や時事なことやある話題について自分の意見をまとめて話せるように練習を行う。					
成績評価方法	授業への参加状況 課題（発表、原稿作成） 期末の課題					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50867	A	韓国朝鮮語上級（作文）	李 英蘭	韓国朝鮮語	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語上級（作文） 本授業は、韓国朝鮮語においてより高度で専門的な文の読み書きができるよう、読解力と表現力の向上を目指す。具体的には、上級レベルの語彙や表現を使い、韓国の社会、文化、政治、歴史など、あらゆる分野のテーマについて論理的でよく構成されている文の作成に取り組む。その上、日本語と韓国朝鮮語の文の違いを意識しつつ高度で自然な韓国朝鮮語の表現を身につけていく。授業は、主に「韓国朝鮮語」で行う。					
成績評価方法	期末課題（発表）と平常点（出席、課題、授業への参加度など）を総合的に評価する。 ※出席日数の3分の1以上を欠席した者や期末課題の未提出者は、成績評価の対象にならない。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

総合科目 L イタリア語

イタリア語初級（演習）②		開講区分	A
授業の目標・概要	会話、作文など、イタリア語の表現の練習を中心に行い、より実践的なコミュニケーション能力の習得と文法知識の定着をめざします。		
成績評価方法	平常点と定期試験（最終授業時）。		
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time		
	書名		
	著者（訳者）		
	出版社		
	ISBN		
関連ホームページ			
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50048	月 2	DANIELI Daniela	1年 文三(6)
51004	金 3	マルコ ビオンディ	1年 文一二(6)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50966	A	イタリア語初級（演習）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	金 2	1年 理科
講義題目 授業の目標概要	イタリア語初級演習（理科学むけ演習） 習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることをネイティブのイタリア語教員と一緒 に目指します。生きたイタリア語の教材等を使って、理解力を高めながら、話したり書いたりする応用力を高め、コミ ュニケーション能力をみがきましょう。					
成績評価方法	学期末筆記試験（最終授業時）と平常点だけではなく、毎回の授業に積極的に参加しているか、総合的に評価します。 出席/欠席について 1)最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。 2)期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。 3)病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。このよ うな場合には、追試験を受けなくてはなりません。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50665	A	イタリア語初級（会話）	USICCO Francesca	仏語・伊語	水 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	チャオとひとつ、イタリア語を始めよう（その2） ネイティヴスピーカーの教員とともに、イタリア語の基本を身につけながら、コミュニケーションと自然な会話を学びま す。文法事項の学習と会話練習を行います。文法に関する学びと練習に加え、生きた言葉として実際に使う演習が不可欠 です。これにより基本的なイタリア語会話のやり取りを正確にできるようになります。					
成績評価方法	最終授業時の試験のみならず、平常点（授業への参加と積極性、宿題）を考慮して判定します。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50892	A	イタリア語初級（会話）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	イタリア語初級（会話）／Italian Language (Introductory) イタリア語初学者向けの講座です。ネイティヴスピーカーの教員とともに、イタリア語を話す練習をします。ネイティブ スピーカーの話すイタリア語に触れ、実際に発音することによって、イタリア語の運用能力を向上させることが目標で す。					
成績評価方法	成績評価の方法について 1)全授業回数のうち、2/3以上の出席が必須です。 2)教師より出された課題/アクティビティを行い学期末に筆記または口述試験を受験する必要があります。 3)授業中の課題/アクティビティへの個人およびグループでの参加態度は評価の対象になります。 4)科目への興味や習得したいという熱意は評価の対象になります。 出席/欠席について 1)最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。 2)期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。 3)病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。このよ うな場合には、追試験を受けなくてはなりません。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50868	A	イタリア語初級（作文）	大崎 さやの	仏語・伊語	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	イタリア語初級（作文）					
授業の目標概要	イタリア語の初級文法を学びながら、作文の練習をします。					
成績評価方法	平常点と期末試験（最終授業時に行います）					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook ディ・ルッソ、長神、西本 イタリア語練習問題集 白水社					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50634	A	イタリア語初級（読解）	山崎 彩	仏語・伊語	水 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	イタリア語初級講読					
授業の目標概要	比較的簡単な文章をゆっくり読みながら、イタリア語の基礎文法を定着させる。					
成績評価方法	授業への出席、予習をしてくれているかといった平常点による。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50274	A	イタリア語初級（インテンシヴ）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	火 2	1年 文科 理科
講義題目	イタリア語初級（インテンシヴ）／Italian Language (Introductory)					
授業の目標概要	イタリア語を集中的に学びたい初学者のための講座です。ネイティブスピーカーの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。					
成績評価方法	成績評価の方法について 1)全授業回数のうち、2/3以上の出席が必須です。 2)教師より出された課題/アクティビティを行い学期末に筆記または口述試験を受験する必要があります。 3)授業中の課題/アクティビティへの個人およびグループでの参加態度は評価の対象になります。 4)科目への興味や習得したいという熱意は評価の対象になります。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	出席/欠席について 1)最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。 2)期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。 3)病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。このような場合には、追試験を受けなくてはなりません。 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50967	A	イタリア語初級（インテンシヴ）	野里 紳一郎	仏語・伊語	金 2	1年 文科 理科
講義題目	イタリア語初級（インテンシヴ）					
授業の目標概要	イタリア語の基本文法の理解。					
成績評価方法	学期末試験（最終授業時）					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50074	A	イタリア語初級（第三外国語）	野里 紳一郎	仏語・伊語	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	イタリア語初級（第三外国語）I					
授業の目標概要	イタリア語の基本文法の理解。					
成績評価方法	学期末試験（最終授業時）					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51088	A	イタリア語初級（第三外国語）	大澤 麻里子	仏語・伊語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	初修イタリア語					
授業の目標概要	イタリア語共通教科書（東京大学イタリア語教材編集委員会編『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート』）を用いて、イタリア語の基礎を学びます。初めてイタリア語を学ぶ方を対象にしています。 A セメスターではイタリア語のアルファベットの読み方、発音、文の組み立て方の学習から始めて、イタリア語の概要を理解するとともに初級レベルの文法の習得を目指します。					
成績評価方法	授業への貢献（授業での積極的な発言、授業後のフィードバック） 小テスト（各单元ごとに小テストを実施します） プレゼンテーション レポート					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学イタリア語教材編集委員会編 Italiano... in partenza! イタリア語のスタート—文法と練習 白水社					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50073	A	イタリア語中級（会話）	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Lingua italiana, livello intermedio					
授業の目標概要	習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることを目指します。生きたイタリア語の材料を使い、ことばとして理解する力を高めながら、話したり書いたりする能力や意欲を高めることが目標です。					
成績評価方法	学期末筆記試験（最終授業時）と平常点だけではなく、毎回の授業に積極的に参加しているか、総合的に評価します。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50635	A	イタリア語中級（会話）	USICCO Francesca	仏語・伊語	水 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	イタリア語の世界を覗いた貴方へボンジョルノ。					
授業の目標概要	欧州文化の中心地、イタリア人の言語を使いこなそう。 ネイティブスピーカーの教員とともに、イタリア語の基本を身につけながら、コミュニケーションと自然な会話を学びます。文法事項の学習と会話練習を行います。文法に関する学びと練習に加え、生きた言葉として実際に使う演習が不可欠です。これにより基本的なイタリア語会話のやり取りを正確にできるようになります。					
成績評価方法	最終授業時の試験のみならず、平常点（授業への参加と積極性、宿題）を考慮して判定します。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50869	A	イタリア語中級（会話）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	イタリア語中級 会話（Lingua italiana, conversazione di livello intermedio） すでに習得したイタリア語文法の基礎的な知識にもとづいて、ネイティブスピーカーの教員とともに、自然な発音と会話の力や語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。					
成績評価方法	成績評価の方法について 1)全授業回数のうち、2/3 以上の出席が必須です。 2)教師より出された課題/アクティビティを行い学期末に筆記または口述試験を受験する必要があります。 3)授業中の課題/アクティビティへの個人およびグループでの参加態度は評価の対象になります。 4)科目への興味や習得したいという熱意は評価の対象になります。					
教科書 ガイダンス	出席/欠席について 1)最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。 2)期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。 3)病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。このような場合には、追試験を受けなくてはなりません。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50565	A	イタリア語中級（表現練習）	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	イタリア語中級 表現練習（Lingua italiana, espressioni di livello medio） すでに学んだイタリア語文法の基礎的な知識にもとづいて、ネイティブスピーカの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、ビデオ教材なども交えて、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。通年で開講していますが、セメスターごとに独立して受講することが履修上も内容としても可能です。					
成績評価方法	平常点と最終授業時の試験。それぞれの開講時の能力・経験を考慮し、受講を通しての達成度を評価します。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50893	A	イタリア語中級（表現練習）	Diego Martina	仏語・伊語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	イタリア語中級（表現練習） 本講義では、イタリア語でのライティング、リーディング、リスニング、スピーキングという4技能をみがくことを主目的とします。ネイティブスピーカーの講師とともに、会話や作文の練習をしながら、言語能力を高めることを目指します。イタリアの漫画から詩まで、様々な教材を使用してイタリア文化をテーマにした授業を進めます。					
成績評価方法	授業への取り組み、期末試験（最終授業時）の結果をもとに総合的に評価します。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50682	A	イタリア語中級（読解）	野里 紳一郎	仏語・伊語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	イタリア語中級講読 テキストの精読により基礎文法の知識をいかにして運用していくかの訓練。					
成績評価方法	講義最終日に、辞書持ち込み可にて全訳の試験を課す（予定）。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50833	A	イタリア語中級（インテンシヴ）	大崎 さやの	仏語・伊語	木 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	イタリア演劇からイタリア語に親しむ					
授業の目標概要	イタリアの演劇作品を読むことを通し、読解力、文章力、会話を身につける。					
成績評価方法	平常点とレポート					
教科書	その他。/Other					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50968	A	イタリア語中級（インテンシヴ）	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	イタリア語中級（インテンシヴ） / Italian Language (Intermediate)					
授業の目標概要	初修クラス受講者が集中的にさらにイタリア語能力を向上させるための中級コース。読解・文法練習・作文を中心に運用能力をたかめる授業1コマと、会話聞き取りを中心に応用力をつけるネイティブの教員による授業1コマのあわせて2コマの両方を履修する。1年間の初修イタリア語学習の基礎の上に、イタリア語の総合的な能力を定着させ、さまざまな専門分野で運用するための能力を養成する。					
成績評価方法	成績評価の方法について 1)全授業回数のうち、2/3以上の出席が必須です。 2)【イタリア語中級（インテンシヴ）】授業中に行われる2回の小テストと期末試験を受けることが必須です。小テストの欠席者は次の授業で実施しますので必ず願出してください。 3)授業中の課題/アクティビティへの個人およびグループでの参加態度は評価の対象になります。 4)科目への興味や習得したいという熱意は評価の対象になります。 出席/欠席について 1)最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。 2)期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。 3)病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。このような場合には、追試験を受けなくてはなりません。 4)インターンシップや就職活動が、やむを得ず授業日と重なる場合には、すみやかに教師に連絡してください。					
教科書	プリントを配布する。/Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50683	A	イタリア語上級（会話）	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Facciamo un passo avanti!					
授業の目標概要	Questo corso è rivolto sia per chi desidera esercitarsi nell'ascolto e nella conversazione per il livello avanzato (B1). Per la valutazione si terrà conto delle presenze (di almeno 3/4), della partecipazione, dell'interesse per la materia, del risultato di un minitest a metà corso e di un test scritto finale.					
成績評価方法						
教科書	プリントを配布する。/Will distribute handouts					
ガイダンス	Nuovo Espresso 3 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50666	A	イタリア語上級（作文）	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	水 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	イタリア語上級作文（Lingua italiana- composizione di livello avanzato） L'obiettivo del corso è imparare come scrivere un testo accademico. Redarre un testo accademico non è una cosa facile, non lo è neanche nella propria lingua. Scriverlo in un'altra lingua porta la sfida a un nuovo livello. La scrittura accademica è piena d					
成績評価方法	Compiti durante il semestre e il test alla conclusione del corso					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

総合科目 L その他外国語

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50566	A	アラビア語初級（第三外国語）	竹村 和朗	古典語・ 地中海諸言語	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>アラビア語初級文法 Sセメスターの続きで、文語文法の後半を解説します。Aセメスターの学習を終えた時に、辞書を引きながらアラビア語の簡単な文章を読めるようになっていくことが目標となります。</p> <p>各課の課題と学期末に行う試験で評価します。</p> <p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 黒柳恒男・飯森嘉助 『現代アラビア語入門』 大学書林 978-4-475-01838-8 1999年。ただし、2009年2月刊行の第6版以降（誤植等訂正済み）を推奨 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50685	A	アラビア語初級（第三外国語）	濱田 聖子	古典語・ 地中海諸言語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>アラビア語初級（第三外国語） 1年間で、正則アラビア語（フスハー）の文法を概観する。辞書を用いて、アラビア語の文章が読解できるようになることを目指す。</p> <p>毎回の課題提出と学期最後のテストで評価します。</p> <p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 黒柳恒男・飯森嘉助 『現代アラビア語入門』 大学書林 978-4475018388 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51074	A	アラビア語中級（第三外国語）	荻谷 康太	古典語・ 地中海諸言語	金 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>アラビア語中級（第三外国語） 正則アラビア語の簡単な読み物を講読します。アラビア語・英語辞典を引きながら短い物語などを正確に読み取れるようになることが目標となります。なお、本授業は、初級文法を一通り終えた方を対象とします。</p> <p>担当となった箇所の訳読などによります。</p> <p>授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50715	A	ヒンディー語初級（第三外国語）	足立 享祐	アジア・日本 研究コース	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>ヒンディー語（初級） インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口6億人超を有する「共通・標準ヒンディー語」を学びます。</p> <p>1. 動詞の体系2（前項動詞・後項動詞）2. 関係詞 を中心に学びます。 （指定テキストではUnit 18までを目標とします。）</p> <p>小テスト・試験を行い、その合計点で評価します。</p> <p>プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50782	A	ヒンディー語中級（第三外国語）	足立 享祐	アジア・日本 研究コース	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>ヒンディー語（中級） インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口6億人超を有する「共通・標準ヒンディー語」を学びます。ヒンディー語（初級）の知識に基づき、実際のヒンディー語文を読むことで、より深い知識の獲得を目指します。 初回の授業を除き、毎回の予習の出来を評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50871	A	インドネシア語初級（第三外国語）	高地 薫	アジア・日本 研究コース	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>インドネシア語入門2 (Indonesian language for beginners) インドネシア語はローマ字表記で、発音も日本人にとって比較的容易で、文法の簡易な言語である。この授業では、Sタームにインドネシア語を履修した学生を対象に、文章を読むために必要なインドネシア語の基本文法を完成することを目的とする。 Aタームでは、Sタームにおける授業内容を前提に授業を進める。 学期末テスト 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50898	A	インドネシア語中級（第三外国語）	高地 薫	アジア・日本 研究コース	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>インドネシア語中級 (Indonesian language for Intermediate Students) この授業では、インドネシア語既習者を対象に、原文の精読をする。講読するテキストは広い分野から新聞や雑誌の記事、エッセイ、短編小説などを用いる。 演習の内容により評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50200	A	ベトナム語初級（第三外国語）	野平 宗弘	アジア・日本 研究コース	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>ベトナム語入門2 Sセメスターで学んだことを復習し、暗記し、応用しながら、ベトナム語の新たな基本的文法事項を学んでいく。 ベトナム語を用いた自己紹介や日常の簡単な会話表現ができるようにする。 授業参加と課題提出および定期試験 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 三上 直光 『ニューエクスプレス ベトナム語』 白水社 ISBN-13 : 978-4560067888 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50372	A	ベトナム語中級（第三外国語）	岩月 純一	アジア・日本 研究コース	火 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ベトナム語文献講読/Vietnamese Literature Reading					
授業の目標概要	ベトナム語文献の初歩的な読解力を身につけることを目標とする。					
成績評価方法	授業における音読、訳読を見て、総合的に判断する。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50716	A	広東語初級（第三外国語）	郭 文ホウ	中国語	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	広東語（初級）					
授業の目標概要	2024年度S Semester広東語（初級）の続きです。 この授業では初級レベルの広東語の習得を目指します。 広東語教授方法の授業ではありませんので、 広東語ネイティブの受講は原則認めません。					
成績評価方法	・課題1（20%）、課題2（20%）と期末試験（60%）によって評価します。 ・期末試験に参加する条件として、7回以上の出席が必要です。					
教科書	次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 吉川雅之 香港粵語 [基本会話] 白帝社 978-4-86398-094-5					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50136	A	ヘブライ語初級（第三外国語）	飯郷 友康	アジア・日本 研究コース	月 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ヘブライ語文法初歩					
授業の目標概要	古代中世イスラエル思想、近現代ユダヤ文化を研究するためにも、中東情勢を分析するためにも、ヘブライ語の知識は 欠かせない。この重要な、そして面白い言語の初歩を、なるべく実用的、実践的に習得したいと思う。ひとまずの目標 は、自力で辞書を検索できるようになること—すなわち、文法の基礎を把握すること。そして、ある程度の複雑な長文 を理解し得る読解力を身につけること。					
成績評価方法	期末にレポートの提出を課す。 以下「履修上の注意」「学習上のアドバイス」を参照せよ。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50899	A	上海語初級（第三外国語）	張 ユエ	中国語	月 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	上海語初級 本授業は、上海語を基礎から身につけたい人を対象に、発音、語彙、文法、表現、聴き取り、書き取りといった言語的アプローチを中心に勉強します。また、中国語の共通語である普通話との違い、とりわけ音声言語としての上海語の書記方法にも着目します。さらに、言葉の学習のみならず、上海や上海語にまつわる社会・文化・歴史・トレンドについても適宜紹介します。本授業を通して、上海語ならびに漢語派諸語への理解を深め、上海語を用いた総合的コミュニケーション能力の育成を目標とします。					
成績評価方法 教科書	授業の参加度や提出課題のクオリティに基づき、総合的に評価します。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 榎本英雄・範暁 『ニューエクスプレスプラス上海語』 白水社 9784560088791					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50636	A	ペルシア語初級（第三外国語）	前田 君江	アジア・日本 研究コース	水 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ペルシア語文法の復習・補完とテキスト講読 Sセメスターで学習した文法の復習と補足を行いつつ、ペルシア語テキスト講読の演習を行う。 辞書の引き方を修得し、ペルシア語構文の読み取りに慣れ、自身で一定程度の講読を行えるようになることを狙いとす る。					
成績評価方法	また、テキスト講読を通して、イランの文化的背景を知る一助とする。 講読への参加と、期末試験で評価する。					
教科書	期末試験は、初見のテキストの日本語訳作成を行う。辞書持ち込み可とする。 プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51095	A	セルビア・クロアチア語初級 （第三外国語）	山崎 信一	ロシア語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	セルビア・クロアチア語(初級) セルビア・クロアチア語の初等文法の基礎を復習し、その後、読解力向上のための平易な文章の購読を行う。基礎的な 言語能 力を身につけることを目標とする。					
成績評価方法	平常点による。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50974	A	ポーランド語初級（第三外国語）	福嶋 千穂	ロシア語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ポーランド語初級／Polish Language (elementary) ポーランド語の基本文法、基本の語彙を学び、運用能力の土台をつくることを目標とする。 ポーランド語の正書法、格変化や活用は複雑であり、これらを理解し身に付けることが学習の要となる。					
成績評価方法 教科書	平素の授業への取り組み姿勢＋学期末試験 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 石井哲士朗、三井レナータ、阿部優子 『ニューエクスプレス＋ ポーランド語』 白水社 978-4-560-08849-4					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50686	A	タイ語初級（第三外国語）	浅見 靖仁	アジア・日本 研究コース	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	タイ語 オンライン辞書を使って、タイ語の文章を自力で読んだり、タイ語のニュース番組やドラマを見て大まかな意味を理解 できるようになることを目標とします。					
成績評価方法 教科書	宿題 10%、期末試験 90%。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 水野潔 ニューエクスプレス・プラス タイ語 白水社 978-4-560-08799-2					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50900	A	ポルトガル語初級（第三外国語）	牧野 真也	スペイン語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ポルトガル語の基礎 ポルトガル語を初めて学習する人を対象としており、S セメスターの授業と併せて通年でポルトガル語の基礎的な文法を 学びます。					
成績評価方法 教科書	授業最終日の筆記試験で評価しますが、欠席 1/4 以上で受験資格を失いますので留意してください。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 教員が PDF もしくは PowerPoint 形式で用意し、ITC-LMS で配布します。					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50872	A	ポルトガル語中級（第三外国語）	牧野 真也	スペイン語	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ポルトガル語の基礎 ポルトガル語の初歩的な知識を有する者を対象としており、読解力と聴解力を身に付けることを目指します。なお、ポル トガル語既修者の受講がない場合は初心者の受講も可能です。					
成績評価方法 教科書	出席点 5 割＋平常点 5 割（講読の割り当て部分の発表など）で 60 点以上を合格とします。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 教員が PDF もしくは PowerPoint 形式で用意し、ITC-LMS で配布します。					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50463	A	台湾語中級（第三外国語）	多田 恵	中国語	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	台湾語中級 「台湾語」とはこの400年の間、福建南部からの移民により台湾に伝えられ、現在台湾で約1600万人の母語話者人口を持つとされる重要な言語である。東南アジアにも起源を同じくする言語ないし語彙が広がっている。台湾の複雑な歴史と社会を反映して日本語や中国語からの影響が混ざり合い、社会言語学的に興味深い。					
成績評価方法	この授業は、台湾語初級の修了者もしくは同等の能力を持つ者を対象とし、台湾語の談話の構造、また、文と文を組み合わせて複雑な内容を伝え・理解する能力を習得することを旨とする。					
教科書	課題 30% 試験 70%					
ガイダンス	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 陳麗君・蔡承維・林虹瑛・三尾裕子 『台湾語入門 平成24年度言語研修 台湾語研修テキスト1』 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 978-4-86337-118-7 オンラインで無料入手可：http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/training/ilc/ilc-list/20121 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50975	A	モンゴル語初級（第三外国語）	荒井 幸康	アジア・日本 研究コース	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	モンゴル語 本授業は、夏学期履修者を前提とした授業である。 夏学期に引き続き、初歩的な文法および語彙を習得し、辞書を引きつつ、新聞が読める程度の語学力を身につけることを目標とする 夏学期では聞く、話すを中心としたが、秋学期では読む、書くを中心としたものとなる。 とはいえ、今回は部分的にドラマなどを参照するので、状況によるより具体的な菊、話すの理解を深めることも目標としている					
成績評価方法	モンゴル語の背景にある文化を織り込んだ話題を購読で織り込み、モンゴル文化への理解を深める 毎回小テストを行う予定であるので、その点数と 最終テストおよび、授業での発言で評価する					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50373	A	トルコ語初級（第三外国語）	高松 洋一	アジア・日本 研究コース	火 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	現代トルコ語初級文法入門2 現代トルコ語の初級文法を習得する。S・A 両セメスターの通年で完結するため、A セメスターは、S セメスターの既習箇所の継続となる。最終的に新聞・雑誌等のトルコ語のテキストを辞典をひきながら読めるようになることをめざす。A セメスターでは、受動の動詞、動詞の提案形、命令形、願望形、後置詞、可能の動詞、動名詞、副動詞、形動詞などを中心に学習し、初級文法をひとつおりマスターすることを目標とする。					
成績評価方法 教科書	教科書練習問題による課題の提出と、学期末に課される試験の成績をもとに評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京外国語大学 トルコ語専攻 編 『トルコ語文法 初級・中級 改訂版』 東京外国語大学生協同組合出版部 978-4-903386-18-8 一般書店では教科書の練習問題の予習・復習を毎回欠かさぬことが重要である。トルコ語は、英語をはじめとする既習の印欧語族の諸言語や孤立語の中国語とは文法体系が相当に異なるので、頭を切り替えて臨む必要がある。むしろ高校時代の日本語の古典文法の学習を念頭に置くとも良いかもしれない。また文法に例外が非常に少ないので(いわゆる「不規則動詞」は皆無に等しい)、その点では学びやすい。とは言え未修外国語を習得するのであるから、単語(語彙は日本語と似ても似つかない)や文法事項を暗記するために努力が必要であることは言うまでもない。外来語が多い言語なので、アラビア語、ペルシア語、フランス語のいずれかを知っていると若干有利かもしれない。トルコ語は、文法的には本質的に同一でありながら、音の規則によって形がいく通りもあるうちから唯一の正しい形を選ばねばならないことが多い。音の規則を正確に身につけることができれば、活用表を記憶する必要はなくなるので、しっかりと身につけてもらいたい。市販されていないので生協書籍部で購入すること					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50433	A	トルコ語中級（第三外国語）	高松 洋一	アジア・日本 研究コース	火 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	トルコ語中級文献講読2 文献講読を通じて、現代トルコ語の初級文法をいちおう習得した者を対象に、既習・未習の文法事項を整理しつつ、語彙を増やしてトルコ語テキスト読解のスキルを身につけることを目標とする。どのようなテキストに出会っても辞典さえあれば自分で問題を解決できるようになることを目指したい。あわせて講読する文献の内容を通じて、トルコの社会・文化・歴史などに関する知識を深めることも期待したい。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	学期末に試験は行わない。毎回指名してやってもらう訳読によって評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50718	A	古典語初級（ギリシア語）II	上野 慎也	古典語・ 地中海諸言語	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	古典ギリシア語の手ほどき（のつづき） 古典ギリシア語で綴られた平易な文章を読解するための力を培う。					
成績評価方法	平常点と期末試験による。平常点とは、授業時間中、教科書の問題演習をする際に、自己の予習結果を発表する事で積み上がる点の事を謂う。「出席点」なるものは存在しない。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 水谷智洋 『古典ギリシア語初歩』 岩波書店 4000008293					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51096	A	古典語初級（ギリシア語）II	松浦 高志	古典語・ 地中海諸言語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	古典ギリシア語初級（後半） Elementary Greek (second half)					
授業の目標概要	※当授業はSセメスターの「古典ギリシア語初級（前半）」（科目名：私の担当する「古典語初級（ギリシア語）I」）の続きである。これを履修していない場合、その内容を自習しておく必要がある。Aセメスターで扱う内容の概要は以下の「授業計画」に記載されている。Sセメスターで扱った内容は「関連ホームページ」に記載されているので確認しておくこと。Sセメスターで使用したテキストは、UTOL上に当授業のコマが設定され次第載せるので、Aセメスターからの受講者は確認しておくこと。					
成績評価方法	I. 目標 初級文法を一年かけて学び、古典ギ I. 概要 練習問題・原典講読の発表状況（50点） 提出課題（20点） 小テスト（30点） Sセメスターとは異なり、学期末試験は実施しない。提出課題は、ふだん口頭で発表している練習問題を、書いて提出するもの。学期中に2回程度課す。 II. 採点基準 おおむね次のようになるように採点を行う予定である。 50点：形態をある程度理解しており、練習問題を解いてきている。 65点：形態をだいたい理解しており、練習問題を解く際にそれを用いている。 80点：形態をほぼ理解しており、構文や語法に注意して練習問題を解いてきている。 90点：形態や構文、語法をほぼ正しく理解しており、自分の言葉で正しく説明できる。 練習問題を解く際は、単語の形態（名詞なら性・数・格、動詞なら法・時称・相・数・人称など）をきちんと調べておき、また構文や語法については教材のどの項目に説明があるかを調べておくと上達が早い。すなわちそのようにすれば、練習問題をよく理解して解くことができ、ギリシア語の原典も正確に理解することができるようになる。単に上手（に見えるよう）な和訳ができただけでは評価を得ることができないことに注意せよ。逆に和訳がきちんかつたとしても、形態や構文等について教材の内容をきちんと理解した上でのものであれば評価は高くなる。 III. 小テスト 小テストの内容は主に変化表の単なる暗記であり、90分授業の時間外（105分授業との差分）に各自で実施する形式である。そのため公平性を確保した上で厳密に採点することが難しい。したがって採点の際にはその点を考慮する。ただし小テストで扱う内容はいずれも暗記しているものとして授業を進めるので、その点に注意して取り組むこと。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50783	A	古典語中級（ギリシア語）II	上野 慎也	古典語・ 地中海諸言語	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	古典ギリシア語散文講読					
授業の目標概要	古典期（前五～四世紀）のアッティカ方言で綴られた散文を精読する。初級で習得した文法の運用能力を錬磨し、実際の読解に必要な作品の背景について基礎知識を蓄える。					
成績評価方法	平常点による。毎回の訳読の首尾を以てこれに当てる。遠隔授業においても履修者の平常点が積み上がるよう工夫するので、安心して受講されたい。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50434	A	古典語初級（ラテン語）Ⅰ	ヘルマン ゴチェフスキ	古典語・ 地中海諸言語	火 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>ラテン語初級（Ⅰ）-名詞形容詞変化と動詞の現在形を中心に ラテン語は古代から近代まで広く使われた言語で、さまざまな学問分野で読まれる文献も多種多様だが、その基礎勉強を提供するこの授業は古代（紀元前後一世紀ごろ）の「古典語」の文法と基礎単語を一年間のコースで身に付けることを目標としている。</p> <p>平常点と試験。最後の授業で対面の試験を行う可能性を検討しています。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Hans H. Ørberg LINGVA LATINA PER SE ILLUSTRATA. PARS I: FAMILIA ROMANA; 別冊：LINGVA LATINA PER SE ILLUSTRATA. EXERCIT 複数の出版社があり、いずれのエディションも使えます。ネットで調べてください。 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50011	A	古典語初級（ラテン語）Ⅱ	井上 秀太郎	古典語・ 地中海諸言語	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>ラテン語初級 辞書を使って独力でラテン語の簡単な文章が読めるように、基本的な文法事項を身につける。 最終日に行う期末テストに基づいて評価する 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 中山恒夫（著） 『標準ラテン文法』 白水社 ISBN978-4-560-01761-6 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50075	A	古典語中級（ラテン語）Ⅱ	井上 秀太郎	古典語・ 地中海諸言語	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>ラテン語散文講読 初級の授業で学んだことの上に立ってラテン語の散文を読み進めていく。基本的な文法事項を確認しつつ、辞書を使って独力でラテン語を読解する能力を身に付けることを目標とする。授業ではアウルス・ゲッリウスの『アッティカ夜話』を第1巻途中から読み進めていく。当作品はローマ帝政期の著述家ゲッリウスが、冬の夜を楽しく過ごせるようにとの意図で蒐集した逸話、随想集である。読み切り形式の興味深い話が多数収録されており、履修生も楽しく読み進めていくことが出来るであろう。 平常点に基づいて評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50243	A	古典語初級（サンスクリット語）II	加藤 隆宏	古典語・ 地中海諸言語	火 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	サンスクリット初級文法 (II)					
授業の目標概要	古典サンスクリット語の初級文法を習得し、平易なサンスクリット文を読解する運用力を養成することをめざす。Aセメスターは、文法の後半部（動詞の変化・複合語）を扱う。サンスクリット語は古代・中世インドで聖典に用いられ、仏教などを通してアジアの文化にも少なからぬ影響を与えた言語である。また、印欧比較言語学においては、ギリシア語・ラテン語とならぶ重要な位置を占める。サンスクリットを学ぶことは、古典教養の基礎を身につけることである。授業は文法の解説と練習問題による演習を組み合わせる。					
成績評価方法	授業参加状況（練習問題への取組と課題の提出を含む）による。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50283	A	古典中国語	田口 一郎	国文・ 漢文学	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	古典中国語文法（漢文法）の基礎					
授業の目標概要	中国古典語（漢文）読解に必要な語法理解と読解力を養成する。テキスト進度分の漢文を、1.きちんと句型を把握した上で、2.助字を正しく理解し、3.現代日本語訳できるようにします。					
成績評価方法	授業内試験による。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 西田太一郎 漢文の語法（角川ソフィア文庫） KADOKAWA 9784044006341					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50010	A 1	日本語上級	藤井 明子	日本語	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	アカデミックライティング（1） ー日本語の短編小説を読み、エッセイを書く					
授業の目標概要	Academic Writing and Japanese literature 1: Writing Essays This course is designed for students at the advanced level of Japanese. This course introduces academic writing, citation style in Japanese and critical thinking to students taking this course. It also enhances the development of students' skill in thinki					
成績評価方法	Your overall grade in the class will be decided based on the following: 1) Participation in class activities: 5% 2) Assignments : 40% 3) Reflection papers : 15% 4) Term-end paper : 40% Further details will be provided on the first day.					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50201	A 1	日本語上級	大久保 雅子	日本語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	アカデミック・プレゼンテーションのための発音／Academic presentation and pronunciation 授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。 1) ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。 2) 自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。 3) 自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。 4) 日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。 5) 聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。					
成績評価方法	録音課題 30% スピーチ・プレゼンテーション 30% 授業中の課題 40%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50242	A 1	日本語上級	奥川 育子	日本語	火 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	アカデミックプレゼンテーションとディスカッション この授業では、日本語を母語としない上級学習者を対象に、様々なアカデミックな場面での日本語によるコミュニケーション（ディスカッション、プレゼンテーション等）の能力を身につける。 学術的なテーマについて「アクティブラーニングにより必要な情報を収集し、根拠や理由を示しながら論理的に自分の意見を述べる」「専門的、時事的なテーマの発表後、自身の考えを適切にまとめ、質疑応答できる」等、アカデミックな場面での総合的な会話能力を育成する。					
成績評価方法	出席、授業参加度、課題、クイズ、発表					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50687	A 1	日本語上級	木村 政樹	日本語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える： その6 Advanced Reading in Japanese Literature: Interactive approach (6) 授業の目標：日本の近代文学を読むことで、文章を理解する力、語彙力、思考力を身につける。 授業の概要：いくつかの日本の近代文学をじっくり読むことで、言葉の意味や表現の豊かさを学ぶ。その際、時代背景や当時の社会状況について知ること、日本文化についての理解を深める。最終回では、作品ひとつを選んで、その魅力について発表する。また、選んだ作品についてのレポートを提出する。					
成績評価方法	授業への参加度・レポートをもとに総合的に評価する。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50717	A 1	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	読解を通じ、日本の歴史を考える Advanced readings in Japanese history					
授業の目標概要	※この授業は「留学生」向けの授業です。日本語を母語とする4月入学の学生、および一般入試により入学した外国人学生の履修はできません。 この授業では日本の歴史について書かれた記事の読解を通じ、日本史における特定の事象や、その事象に関する文化的背景についての理解を深めるとともに、歴史的な事象と現代との関わりについて批判的に検討できるようになることを目指します。事象の背景にある文化的背景などについては学生自身に調査してきてもらい、互いに共有し、議論していきます。こうした作業を通じ、自分が調査し考察したことを、他					
成績評価方法	授業中随時実施するクイズ 最終プレゼンテーション・最終レポート					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50901	A 1	日本語上級	胡 芸群	日本語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	アカデミック・ディスカッション：日本語で考えるSDGsと世界の課題1					
授業の目標概要	この授業では、ペアやグループ活動を通じて、大学での学習や社会生活に必要な日本語のコミュニケーション能力を育成することを目指します。毎回異なるテーマ（SDGsの目標：貧困、経済、平等など）について、ディスカッションを行い、論理的かつ簡潔に自分の意見を述べ、合意形成に至るプロセスを経験することで、議論する力を身につけていきます。また、また、話し合いでは、自分の意見と異なる点について考え、相手を尊重しながら意見を交換することで、互いを理解し協調する力を培っていきます。					
成績評価方法	授業への参加状況（出席・課題提出・ディスカッション等を含む） 授業でのポスター発表（学生同士の相互評価） 最終レポート					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51484	A 1	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	読解を通じ、日本の歴史を考える Advanced readings in Japanese history					
授業の目標概要	※この授業は「留学生」向けの授業です。日本語を母語とする4月入学の学生、および一般入試により入学した外国人学生の履修はできません。 この授業では日本の歴史について書かれた記事の読解を通じ、日本史における特定の事象や、その事象に関する文化的背景についての理解を深めるとともに、歴史的な事象と現代との関わりについて批判的に検討できるようになることを目指します。事象の背景にある文化的背景などについては学生自身に調査してきてもらい、互いに共有し、議論していきます。こうした作業を通じ、自分が調査し考察したことを、他者に効果的に表現していくためのトレーニングを行うとともに、他の学生との議論により、自己の考察をより深めていきます。					
成績評価方法	授業中随時実施するクイズ 最終プレゼンテーション・最終レポート					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60001	A 2	日本語上級	藤井 明子	日本語	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	アカデミックライティング（2） ー日本語の短編小説を批判的に読んで書評をまとめる Academic Writing and Japanese literature 2: Critical Reading and Book Review					
授業の目標概要	This course introduces academic writing, citation style in Japanese and critical thinking to students taking this course. It also enhances the development of students' skill in researching. Specifically, by the end of the course, students are expected to be able to do the following: 1) read short stories 2) write an academic essay in appropriate structure, format and style 3) cite other studies within reports/papers 4) reflect on their own learning process and assess the progress.					
成績評価方法	Your overall grade in the class will be decided based on the following: 1) Participation in class activities: 5% 2) Assignments : 40% 3) Reflection papers : 15% 4) Term-end paper : 40% Further details will be provided on the first day.					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60006	A 2	日本語上級	大久保 雅子	日本語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	アカデミック・プレゼンテーションのための発音／Academic presentation and pronunciation					
授業の目標概要	授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。 また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。 1) ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。 2) 自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。 3) 自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。 4) 日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。 5) 聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。					
成績評価方法	録音課題 30% スピーチ・プレゼンテーション 30% 授業中の課題 40%					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60007	A 2	日本語上級	奥川 育子	日本語	火 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	アカデミックプレゼンテーションとレポート執筆					
授業の目標概要	この授業では、日本語を母語としない上級学習者を対象に、様々なアカデミックな場面での日本語によるコミュニケーション（ディスカッション、プレゼンテーション等）の能力を身につける。日本語を使って自身の考えを的確に伝えることができるよう、日本の社会や文化に関するテーマを取り上げ、調査、分析、発表の仕方を学ぶ。その後、各自テーマを選び、アクティブラーニングのプレゼンテーション、ディスカッションとレポート執筆を行う。					
成績評価方法	出席、授業参加度、課題、発表、レポート					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60079	A 2	日本語上級	木村 政樹	日本語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	近代日本の童話を読む： その2					
授業の目標概要	Advanced Reading in Japanese Literature: Children's literature (2) 授業の目標：近代日本の童話を読むことで、文章を理解する力、語彙力、思考力を身につける。 授業の概要：童話は平易な文章で書かれていて読みやすく、日本語表現の基礎を学ぶのに適している。また、深くテキストを読み込むことによって、初読のときには思いもよらなかった新たな解釈を生み出すことができる。この授業では、童話を通して日本語の豊かさを学びながら、文学的想像力のもつ意義と創造的な読解の可能性について考えていく。最終回では、作品ひとつを選んで、その魅力について発表する。また、選んだ作品についてのレポートを提出する					
成績評価方法	授業への参加度・レポートをもとに総合的に評価する。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60243	A 2	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	読解を通じ、日本の歴史を考える					
授業の目標概要	Advanced readings in Japanese history ※この授業は「留学生」向けの授業です。日本語を母語とする4月入学の学生、および一般入試により入学した外国人学生の履修はできません。 この授業では日本の歴史を題材にして書かれた小説等の読解を通じ、日本史における特定の事象や、その事象に関係する文化的背景についての理解を深めるとともに、歴史的な事象と現代との関わりについて批判的に検討できるようになることを目指します。事象の背景にある文化的背景などについては学生自身に調査してもらい、互いに共有し、議論していきます。こうした作業を通じ、自分が調査し考察したことを、他者に効果的に表現していくためのトレーニングを行うとともに、他の学生との議論により、自己の考察をより深めていきます。 なお、A1タームではアカデミックな記事の読解を行う一方で、A2タームでは、歴史を題材とした文学作品を読んでいきます。異なる内容の授業になりますので、連続履修は可能です。					
成績評価方法	授業中随時実施するクイズ 最終プレゼンテーション・最終レポート					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60084	A 2	日本語上級	胡 芸群	日本語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	アカデミック・ディスカッション：日本語で考えるSDGsと世界の課題2					
授業の目標概要	この授業では、ペアやグループ活動を通じて、大学での学習や社会生活に必要な日本語のコミュニケーション能力を育成することを目指します。毎回異なるテーマ（SDGsの目標：気候、環境、防災など）について、ディスカッションを行い、論理的かつ簡潔に自分の意見を述べ、合意形成に至るプロセスを経験することで、議論する力を身につけていきます。また、また、話し合いでは、自分の意見と異なる点について考え、相手を尊重しながら意見を交換することで、互いを理解し協調する力を培っていきます。					
成績評価方法	授業への参加状況（出席・課題提出・ディスカッション等を含む） 授業でのビデオ発表（学生同士の相互評価） 最終レポート					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60089	A 2	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	読解を通じ、日本の歴史を考える Advanced readings in Japanese history					
授業の目標概要	<p>※この授業は「留学生」向けの授業です。日本語を母語とする4月入学の学生、および一般入試により入学した外国人学生の履修はできません。</p> <p>この授業では日本の歴史を題材にして書かれた小説等の読解を通じ、日本史における特定の事象や、その事象に関する文化的背景についての理解を深めるとともに、歴史的な事象と現代との関わりについて批判的に検討できるようになることを目指します。事象の背景にある文化的背景などについては学生自身に調査してきてもらい、互いに共有し、議論していきます。こうした作業を通じ、自分が調査し考察したことを、他者に効果的に表現していくためのトレーニングを行うとともに、他の学生との議論により、自己の考察をより深めていきます。</p> <p>なお、A1タームではアカデミックな記事の読解を行う一方で、A2タームでは、歴史を題材とした文学作品を読んでいきます。異なる内容の授業になりますので、連続履修は可能です。</p>					
成績評価方法	授業中随時実施するクイズ 最終プレゼンテーション・最終レポート					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

総合科目 A(思想・芸術)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50688	A	言語比較論	河崎 啓剛	言語情報 科学専攻	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	日韓(英中)対照による言語学入門					
授業の目標概要	この授業では、日本語と韓国朝鮮語の比較対照を主軸とし、中国語や英語等との対照も行う事で言語に対する理解を深める。比較的身近な言語間の共通点や相違点を体系的に理解する事でそれぞれの言語に対する知識や関心を深めると共に、言語学のいくつかのトピックに実践的に触れる事で、言語学的な基礎や考え方を身につける事を目標とする。					
成績評価方法	授業への積極的参与、毎回のミニレポート、期末レポート					
教科書	プリントを配布する。/Will distribute handouts					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51320	A	外国文学	Barnaby Ralph	文学部	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	This course offers an overview of Western literature from the classical period to today, focussing on several key themes. These themes include pastoralism, satire, and journey literature. It is intended to explore major works in context, as well as offer an intertextual discussion. Rather than a close reading of a few key works, it offers summaries and short passages from a wider range of texts, including poems, plays, and novels.					
授業の目標概要	Students who take this course will reinforce their knowledge of Western literature, history, and culture, whilst learning about how works can be connected thematically. They will be introduced to key critical terms and will also have opportunities for discussion and a chance to develop their academic writing skills. It is intended to offer information that can continue to be valuable for their future studies.					
成績評価方法	In-class work (including homework): 20% Test: 30% Essay: 50%					
教科書	プリントを配布する。/Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50284	A	批評理論	郷原 佳以	言語情報 科学専攻	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	批評理論——(文学作品を) どう読むか					
授業の目標概要	文学作品を中心としたテキストの読解の方法ないし方針として20世紀に発展した批評理論(または文学理論)には様々なものがある。専門課程に進んでから実際に批評理論を活用——さまざまな意味・方向で——できるように、批評理論発展の流れを押さえつつ、代表的な方法論について講義する。					
成績評価方法	平常点と期末試験					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50976	A	文化横断論	小林 宜子	言語情報 科学専攻	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	アーサー王物語の諸相--その翻訳と翻案の歴史 時代を超え、国境を越えて語り継がれ、書き継がれてきたアーサー王伝説。人々はこの物語に何を託し、この物語を通じて何を訴えようとしてきたのでしょうか。そして現代の私たちは、長い伝統を持つこの物語の中にどのような意味を見出すことができるのでしょうか。本授業では、12世紀以降の8世紀間にイギリス、フランス、アメリカ、日本で書かれた様々なジャンルの作品を読解しながら、アーサー王の物語が翻訳や翻案を通じて新たな意味を獲得し、各々の時代や文化の中で多様な変貌を遂げていった様子を詳細に観察し、分析します。					
成績評価方法 教科書	グループ発表への取り組みと授業への参加の度合い、学期末試験の成績を評価対象とし、それらを総合的に評価します。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook カズオ・イングロ（土屋政雄） 忘れられた巨人（ハヤカワ epi 文庫） 早川書房 978-4151200915					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50464	A	テキスト文化論	吉国 浩哉	言語情報 科学専攻	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	文学入門：本屋さんで売っている文庫本で古今東西の文学を実際に読んでみる そろそろ大学の授業にも慣れてきた（＝こんな程度かと失望したり、飽きてきたりした）人々に、オースティン、バルザック、フロベール、ドストエフスキーなど（それなりに有名な）文学作品を実際に読む機会を提供することがこの授業を開講する目的です。様々な言語で書かれた様々な作品を日本語訳でできるだけ多く読みます。古今東西これまでの人類の歴史の中で世界中のさまざまな場所で書かれたとても有名な文学作品をできるだけたくさん読むことによって世界標準の教養を身につける・・・ということを最終的な目標として掲げはするが大変すぎるのでとりあえず入手しやすい文庫本でお手軽に読むことでまずは受験勉強で破壊された脳細胞のリハビリを行いつつ「文学」なるものにちょっとだけ入門してみるような授業です。 授業で扱う予定の長編小説は以下の通りです。 オースティン『高慢と偏見』 フロベール『ボヴァリー夫人』 バルザック『ゴリオ爺さん』 ドストエフスキー『白痴』 以上四編の小説をおおむね一ヶ月に一作品のペースで読みます。それに加えて、ソフォクレス、ゲーテ、シェークスピアによる戯曲、メルヴィル、ジェームズ、漱石、鲁迅、カフカによる中短篇も読む予定です。 授業の形式は、教員が詳細な作品解説をするような講義ではなく（最低限の情報提供は行いますが）、学生による発表とディスカッションを中心とします。そのことによって、ただひたすらに本を読むことに加えて、文学作品について自分の言葉で語る（そして書く）方法も学びます。 何はともあれ、これらの「有名な」作品は、普通の意味で面白いです（だから今まで読み継がれてきました）。古い作品なので敬遠されがちですが、だまされたと思って読んでみてください。映画、ドラマ、マンガ、ゲームよりもさらに一歩、人間と人間社会の暗部（＝リアル）に踏み込んだ物語を読みたいと思う人にはお勧めです。 文学「入門」の授業ではありますが、人文学の学問を専門とする大学院進学を考えている学生の履修も歓迎します。というよりも、高校までの日本の学校では人文学の教育はあまり行われていないので、今から入門しても人文学のエキスパートとなることは日本では十分に可能です。人文学に関しては、入門は同時に専門家養成でもあります。 ※初回（10月2日 オンライン）の授業に必ず出席すること。やむをえず欠席する場合は、第2回の前に必ず担当教員にメールで連絡すること。課題があるので第2回の授業に突然来ても参加は認められない。参加型の授業なので傍観者はお勧めです。					
成績評価方法	発表、小レポート、ディスカッション、期末レポートなどを総合的に評価する。欠席4回以上で期末レポートを提出する権利を失う。発表をしないことについても同様である。					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50285	A	現代哲学	鈴木 貴之	哲学・ 科学史	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	人工知能の哲学入門					
授業の目標概要	この授業では、古典的人工知能と現代的人工知能の基本的な動きを学んだ上で、人工知能に関する理論的、哲学的な問題について考えます。					
成績評価方法	学期末に実施する筆記試験によって評価します。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50689	A	科学哲学	工藤 怜之	哲学・ 科学史	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	科学哲学入門					
授業の目標概要	いわゆる「英米系／分析系」の科学哲学の入門講義を行う。特に、科学は我々に知識を与えてくれるのか（それはいかなる意味においてか）という問題意識を動機を中心に据えて、科学哲学分野における基本的な概念や論点を学んでいく。科学哲学の基本的な概念および論点を理解すること（自分の言葉で概念を説明したり、論証を構成したりできること）を目標とする。そのためには、言葉の使い方や主張の根拠を明確にすることに注意深くなる必要がある。また、科学哲学者が（科学者にとっては必ずしも興味をひかないような）ある問題を立てるのはなぜなのか、議論の決着がなかなかつかないのはなぜなのか、といったことも理解してほしい。					
成績評価方法	科学哲学を学ぶことで、同時に、哲学とはどんなものかを、具体的トピックを通して知ることにもなるはずである。学期末の筆記試験に基づいて評価する予定だが、履修者数が少ない場合はレポート試験に替えることもありうる。r 後者に替える場合は学期開始後の早い段階で決定し、説明する。LMS (UTOL) を利用して、リアクションペーパーに相当するものも回収できるようにするつもりだが、提出は任意とする。提出しなくても成績評価にネガティブな影響はないが、提出すればポジティブに考慮する可能性がある。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50286	A	現代思想	星野 太	哲学・ 科学史	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	現代思想（2001-2024）					
授業の目標概要	この授業では、およそ 2001 年から 2024 年（現在）までの現代思想の概説を行なう。21 世紀に入って間もなく四半世紀が経とうとしているが、この間の「現代思想」のひとつの特徴は実在論への強いコミットメントだった。これは、思想的には「思弁的転回」、人類学的には「存在論的転回」などと呼ばれたりもするが、これらはいずれも 20 世紀の哲学・思想が「言語論的転回 (linguistic turn)」を経たことへに対する、ある種のカウンターであるという点で共通している。					
成績評価方法	この授業の目的は、以上の（およそ 25 年間の）現代思想の特徴について、基本的な理解を獲得することである。そうした目的のもと、本授業では (1) 思弁的実在論、新しい唯物論、オブジェクト指向存在論といった近年の思想潮流について概説を行ない、あわせて (2) それぞれの潮流を代表するとされる論者のテキストを講読・解説する。詳細は「授業計画」を参照のこと。					
教科書	教養科目であることに鑑みて、基本的には教員が解説をするかたちで進めるが、実際にその代表的な文献を読んでみる場面では、受講者に積極的な参加を求められることがある。					
ガイダンス	平常点：20% 期末試験：80% それぞれの詳細については初回の授業で説明する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50690	A	記号論理学I(文科生)	秋吉 亮太	哲学・ 科学史	水 5	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>論理学入門(命題論理・述語論理) 現代論理学, とくに命題論理と述語論理を初歩から解説する。「すべて」や「ある」といった量子子を取り扱う述語論理の意味論・証明論に慣れることを目指す。時間があれば言語哲学への応用や完全性定理を概観する。</p> <p>学期末テストによって評価します。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51097	A	記号論理学II	秋吉 亮太	哲学・ 科学史	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>不完全性定理の数学的内容と哲学的含意 ゲーデルが 1931 年に証明した不完全性定理の数学的内容と哲学的含意を説明する。まず、不完全性定理の背景となっていたヒルベルトの形式主義(無矛盾性プログラム)を三回ほどかけて概観して、算術の不完全性定理の証明を丁寧に解説する(七、八回)。より具体的には、まず算術の公理系や帰納関数論の基本的な性質を確認して、証明にとってキーとなるコーディングや対角線補題、最後に第一不完全性定理と第二不完全性定理を証明する。残りの回ではこの数学的定理がヒルベルトのプログラムに与えた影響と、これにまつわる周辺的な話題を紹介したい。</p> <p>学期末テストによって評価します。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50465	A	精神分析学	原 和之	フランス語・ イタリア語	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>思想史のなかの「精神分析」 十九世紀の終わりに神経症の治療法として登場した精神分析は、二十世紀以降人文諸学のさまざまな分野において参照されるようになり、その発想や概念の理解は、現代思想の展開を理解する鍵の一つとなっています。この授業では、精神分析学がそうした位置を占めるようになった歴史的な経緯を、特に創始者フロイトからそのフランスにおける展開に注目して辿りつつ、その基本的な発想や概念を、精神分析学内外のさまざまな文献に即して紹介します。さらに講義では、このアプローチが一般に現代の「こころ」をめぐる議論において提起するさまざまな問題や、隣接領域との歴史的あるいは今日的な関連についてもお話ししたいと思います。</p> <p>平常点(出席およびコメントペーパー等) 20% 持ち込み不可の期末試験(筆記) 80% 授業中に指示をする。/Will specify at class time 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50691	A	表象文化論	清水 晶子	表象文化論 コース	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>セクシュアリティ論 (クィアスタディーズ)</p> <p>セクシュアリティ論、とりわけ1990年代から25年にわたるクィア・スタディーズの議論の基礎を学び、セクシュアリティをめぐる現代日本の様々な文化的・政治的事象を分析しながら、性、欲望、身体の構成が文化や法や政治とどうかかわってきた／いるのかを考えます。</p> <p>授業修了時に、セクシュアリティに関する処分権を読む際に必要となることの多い基本的な用語や概念、現在セクシュアリティをめぐる交わされている多方面における議論の概観を理解していること、セクシュアリティについての議論に参加するために欠くことのできない基本姿勢を身につけていることを、目的とします。</p> <p>ジェンダー論、セクシュアリティ論についての基礎的な知識は求めません。</p> <p>初回授業はオンラインになります。そのあとは対面ですが、グループワークの実施と報告にはおそらく Google Classroom を使います。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>授業への参加貢献度、提出課題、期末課題を総合的に評価します。</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50287	A	美術論	森元 庸介	表象文化論 コース	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>金の仔牛を追いかけて——偶像崇拜と凶像破壊のあいだ</p> <p>旧約聖書に語られる名高い《金の仔牛の礼拝》(「出エジプト記」32)をめぐる凶像表象を主として取り上げ、絵画分析のための基礎的なアプローチに触れつつ、西洋キリスト教社会における偶像崇拜／凶像破壊の輻輳について一定の展望を得ることを目標とする。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>学期末のレポート。</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50692	A	映画論	CAPEL Mathieu	表象文化論 コース	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>日本戦後映画史を語りながら</p> <p>この授業では、日本映画1945年以後の映画史を語りながら、映画分析の基礎を学ぶ。</p> <p>参加度、期末試験。</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50012	A	演劇論	河合 祥一郎	表象文化論 コース	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>『ハムレット』論</p> <p>ローレンス・オリヴィエ、メル・ギブソン、ケネス・ブラナーらの映画『ハムレット』を比較して、ハムレット表象の問題を視野に入れつつ、『ハムレット』という作品の核心に迫る。</p> <p>最終試験(持ち込み可)。但し、他の人のノートのコピーの持ち込みは不可。(カンニングとみなし、厳しい処置があるので注意)。試験時にノートパソコン等電子機器は持ち込めない。持ち込んでよいのは、書籍、自筆のノート、自筆の書き込みのあるデータのプリントアウト。作成者が特定できないワープロ作成のみの文書のプリントアウトは不可。</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50202	A	音楽論	ヘルマン ゴチェフスキ	表象文化論 コース	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目 授業の目標概要	<p>日本近代における斉唱される歌：第一高等学校の寮歌を中心に</p> <p>日本の近代の異文化摂取と自文化意識形成プロセスの中で、日本の音楽文化も再構築された。その中で一般人によって斉唱される歌は重要な役割を果たした。明治初期から讃美歌等の宗教歌謡、国歌・校歌のような儀式歌、教育科目としての「唱歌」などが導入され、明治中期以後の戦争に伴って軍歌が全国の男子に流行し、また同時代から日本人の作曲による教育歌が公立学校の検定（後に国定）教材となる。明治後期から大正にかけて民間の（楽譜付き）歌集の出版文化も盛んになり、さらに大正から昭和初期にかけていわゆる「童謡運動」や「民謡運動」によって歌謡文化が多様化し、主に芸術性を目指す分野も、新しいメディアを通して商業的ポピュラー文化へと発展する分野も現れる。</p> <p>このような文化背景を論じた上に、この授業では旧制高等学校（男子校）の生徒によって作詞・作曲された第一高等学校の「寮歌」を中心に扱いたい。第一高等学校以外にも寮歌があるのに何故この授業で第一高等学校に限定するのかと、例えば、第一高等学校は東大の教養学部の一つの前身であり、現在まで第一高等学校の寮歌を歌い続けているOBが駒場キャンパスに集まることもあり、駒場の学生には身近なものだという単純な理由もある。ただし日本の近代の寮歌の中では、作品の数から見ても、旧制高等学校同士の影響関係から見ても、また一般社会における受容から見ても、第一高等学校が圧倒的に中心であったということもいえる。</p> <p>第一高等学校の寮歌の発生は自治寮の成立（明治23年）と全寮制の導入（明治34年）にあり、その最盛期は一校が駒場に移ってきた昭和十年代まで続く。ただし戦後の学校廃止（昭和24年）までの四年間、そしてその伝統を受け新制東京大学の駒場寮においても、新たに作られた寮歌がある。</p> <p>明治37年以来第一高等学校の寮歌は、年々に曲数が増えていく「寮歌集」にまとめられた。生徒の世代交代とともに主に口から口へ伝承された曲は不変なものではなかった。新しく作詞・作曲された曲の音楽様式が変化するのみならず、既存の曲の歌い方も大いに変わり、それが部分的に寮歌集の楽譜にも反映された。従って年代ごとの寮歌集を比較すれば、そこから時代と共に変化する一高生活の雰囲気も、日本近代の音楽文化の発展も読み取れる。</p> <p>広義の「寮歌」の中でも、さまざまな種類を区別することができる。その中で「狭義の寮歌」と言われるのは、明治23年の自治寮の発足を記念する「記念祭」に発表された「寮歌」と、同じく記念祭に寄贈された、卒業生による「寄贈歌」である。</p> <p>大正8年以後寮歌の募集方法と寮歌集の編纂が大きく変わったので、まずは大正7年までできたものを大正7年の寮歌集を基準に見ると以下のような種類がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 『全寮々歌』1曲（明治34年、多くの儀式に使われてきた歌。島崎赤太郎作曲） (2) 全寮々歌以前にできている寮歌17曲（明治23年の「寄宿寮歌」から始まり、歌詞の一部しか伝わらない、あるいは楽譜が残っていないものも多く、現在に歌い継がれていないものがほとんど。原則的に歌詞のみが一校生に作詞され、当時流行していた軍歌の旋律が使われた。） (3) 『全寮々歌』以後、大正7年まで、元来「東寮々歌」、「中寮々歌」などと題されて、それぞれの寮で毎年の「記念祭」に発表された歌104曲（寮生による作詞、その多くは在学生による作曲） (4) 明治35年以来、大正7年まで、一校出身でそれぞれの大学に在学している大学生によって、記念祭のために作られた「寄贈歌」50曲 (5) 明治35年以来、大正7年まで、一高の音楽隊や楽友会によって作られた「記念祭歌」、または多くの記念会で特別に募集された「〇〇年祭歌」6曲 (6) 大正7年まで『寮歌集』の付録に編入されたクラブの部歌・凱歌7曲 (7) その他大正7年まで『寮歌集』に必要なと思われる、付録に編入された歌6曲 <p>つまり大正7年まで合計191曲である。</p> <p>大正8年以後は特定の寮による寮歌の作成が廃止され、毎年2～3曲新しい寮歌が委員会によって選定された。同時にそれまで毎年行われた大学生による寄贈も不定期的になった。毎年の寮歌集の編纂は昭和18年までしか確認できないが、終戦前に寮歌集に新たに加わった寮歌は</p> <ol style="list-style-type: none"> (8) 「第〇〇回記念祭寮歌」として収録された寮生による歌70曲 (9) 各大学による寄贈歌46曲 (10) その他の寄贈歌2曲 (11) 「〇〇年祭歌」1曲 (12) 記念祭以外の機会に作られた記念歌等4曲 (13) 新たに付録に加わったクラブの部歌・応援歌・凱歌等14曲 (14) その他大正8年から終戦まで『寮歌集』に必要なと思われる、付録に編入された歌14曲 <p>合計151曲である。</p> <p>その他に戦後歌詞のみで出版されたものや、一高の廃止後一校同窓会（平成24年活動終結）によって編纂された『寮歌集』（最後のものは平成16年発行）に載っているのは</p> <ol style="list-style-type: none"> (15) 第60回記念祭（1949年）までに作られた「第〇〇回記念祭寮歌」12曲 (16) 大学による寄贈歌4曲 (17) その他の寄贈歌1曲 <p>合計17曲である。</p> <p>同窓会の活動で一高の廃止以後作られた歌も上記の寮歌集に数曲載っているが、それを除けば一高の寮歌集の最終的な曲数は359である。</p> <p>このように種類も多くあるが、寮歌は（稀な例外を除けば）単旋律無伴奏の歌で、斉唱は特定の演奏様式に従う。詳細については授業で説明するが、その演奏様式に伴って特定の韻律形式と変拍子もある。またそれが明治から昭和まで時代と共に徐々に変わっていく。この授業は「音楽論」なのでそれを音楽を中心に、楽譜と録音を分析しながら、あるいは授業での実習を伴って体で体験しながら主に音楽構造の側面から観察したいが、音楽様式に先んじて作詞様式が成立する場合もあるので、日本語の韻律論も多少触れる必要があるだろう。</p> <p>こんにちの一般の東大生が耳にする一校寮歌は「嗚呼玉杯」ぐらいかもしれない。それは明治35年作詞作曲の寮歌で、その時代の典型的な事例として、歌詞は七五調で、メロディは四分の四拍子で、元来二長調だったにもかかわらずあと</p>
-----------------	---

で変化して今日ハ短調になっている。

それに対して昭和時代の寮歌には五七調で三拍子または複合拍子のものが多い。なぜ七五調の歌が四拍子または二拍子なのか、五七調の歌は三拍子または変拍子なのか、この問題を解き明かすのは日本近代のリズムを理解するのに一つの鍵となると思う。

この講義は音楽の実技の授業ではないが、できるかぎり実際に歌う体験も含めたいと思っている。したがって授業時間を少しでも増やし、105分の授業として実施する。

履修者数に合わせて考えたいと思っている。多い場合には期末試験、少ない場合はレポートの提出にする。

教科書は使用しない。／Will not use textbook

特に行わない。／Will not conduct guidance

成績評価方法
教科書
ガイダンス

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51323	A	社会正義論	岡 真理	教養教育 高度化機構	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>パレスチナを読む——パレスチナの / をめぐる記憶のナラティブ</p> <p>「かくも深く募ってやまない痛みを、あたかも単なる政治的問題のひとつであるかのように、二者間の「紛争」などと、そして双方が「競合する」と称される物語を抱えているなどとも言えたものだ。ジェノサイドは物語なのか？ 自由を追い求めることは紛争なのか？」これはパレスチナ系アメリカ人の著述家、ラムズィ・バルードが今年5月、76回目のナクバ記念日に X にツイートした言葉です。反語疑問の形で、「パレスチナ問題」の今日のかつ歴史的な本質を端的に言い表しています。</p> <p>昨年10月7日以来、ガザをめぐる「情報」は日本でも種々のメディアで溢れています（とはいえ、それらは、ジェノサイドにほかならないその事態の規模や重大さに見合った質でもなければ量でもありません）。とりわけ主流メディアにおいては、それらの情報は問題の根源を問うことなく、一過性のニュースとして消費されて終わるという形で、ナクバ以来続くパレスチナの民族浄化を維持する「文化的暴力」として機能しています。</p> <p>さらに自由や人権や民主主義を掲げる米欧諸国においては、昨年10月以来、否定しようのないジェノサイドと化した歴史的な民族浄化に見舞われるパレスチナ人に連帯し、イスラエル国家やそのナショナル・イデオロギーであるシオニズムを批判する者たちが「反ユダヤ主義」のレッテルを貼って非難し弾圧されるという事態となっています。</p> <p>パレスチナにおいて、そしてパレスチナをめぐる行使される歴史的かつ今日的な直接的暴力と構造的暴力、そして文化的暴力に抗う一歩として、パレスチナについて、また、パレスチナをめぐる、パレスチナ人やパレスチナ人以外の者が綴ったさまざまなナラティブ——現代の古典となったものから、「今」書かれる同時代のものまで——を読むことを通して、パレスチナ問題の本質、根源と、パレスチナをめぐる問題の諸相を理解します（機会があれば、「読む」だけでなく、「観る」「聴く」も適宜、実践したいと思います）。</p> <p>平常点と期末レポート（授業では適宜、課題を出します）。</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50834	A	比較文化論	石原 剛	比較文学 比較文化コース	木 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>アメリカ文化とその多様性：日米比較の視点から</p> <p>本講義では、アメリカ文化の特色を理解する上で重要な、幾つかのテーマを中心に比較文化の視点を活用して考えていく。特に、「多様性」というアメリカの文化的・社会的特徴を、文学、映画、絵画作品などを適宜紹介しつつ解説していく。情報・コミュニケーション技術や世界市場の飛躍的な進展を迎えた今日、アメリカ文化の世界への拡大がもつ意味について理解を深めることは非常に重要である。そこで、明治以降、アメリカ文化の多大な影響を受けてきた日本の例を題材に、アメリカ文化の「グローバル化」についても取り上げる。また本講義では多様な社会を構築していく上でアメリカが直面した差別や偏見の問題、特に日系アメリカ人の歴史や、日米の戦時プロパガンダの問題を重点的に扱い、異文化が共存していくとはいかなることなのかについて熟考してもらおう。</p> <p>授業内のクイズ、授業コメント、学期末試験（実施出来た場合）、学期末レポートなどの結果によって総合的に評価します。</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50567	A	比較文学	今橋 映子	比較文学 比較文化コース	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	比較文学比較文化入門ー分断の世界を新たに生きるために 今年夏(2024年8月)に、『比較文学比較文化ハンドブック』(東京大学出版会)という、全く新しいタイプの教科書が刊行された。これは、大変に広く複雑な歴史を辿ってきたこの学問を、初学者に分かりやすく概説し、多くの良質な研究書を紹介し、特設ウェブページとも連繋して、深く勉強、研究できるように設計されている。 この授業はこのハンドブックを「使い倒し」、具体的にあるテーマと文学作品(小品)を取り上げて比較文学、比較芸術、比較文化という学問の入門になるよう進めていきたい。 そもそも「比較」とはどういう学問営為を指すのか、戦争や紛争、思想や嗜好の違いなどで分断されやすい現代世界において、比較文学比較文化という学問がどのような「知」を差し出しているのか、それを知る機会を提供し、その上でお互いに語り合っていきたい。					
成績評価方法 教科書	出席、小レポート(回数未定)、最終レポート、リアクションペーパー(回数未定)を総合的に判断する。 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 今橋映子・井上健(監修・編) 比較文学比較文化ハンドブック 東京大学出版会					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50288	A	比較思想	大石 紀一郎	比較文学 比較文化コース	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ニーチェからハーバーマスへ 19世紀後半から21世紀までのドイツ語圏における哲学・思想の展開からいくつかのテーマやポイントを取り上げて解説し、問題点を論ずる。					
成績評価方法 教科書	授業への規則的な参加を前提として期末試験を行って評価する。 教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50435	A	比較芸術	松井 裕美	比較文学 比較文化コース	火 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	フランス美術史講義(中世から近代まで) この講義では、中世から近代までのフランス美術の歴史を、年代順に解説します。 地域としてはフランス、時代としては近代までに限定しますが、この授業全体を通して、美術をはじめとする文化の歴史の語りかた・考え方について検討することを目標とします。 美術史ではひとつの作品をめぐる様々な作業を行います。作品の特徴を言葉で記述し、作者や作品についての新しい理解を与えてくれるような文献を読んだり資料を調査したりし、作品ないしは作者を歴史の中に位置付けていくのです。過去に美術作品を作っていた人は、私たちがそうであるように、その人特有の時代を生き、その時代特有の事物や考え方に囲まれながら、それらに意識的にも無意識的にも影響を受けてきました。そうした作品の背景について知ることは、なぜそのような作品が生まれたのか、ということ、歴史的に解き明かすことに繋がります。つまり、どのような歴史なのか、を知るだけでなく、ある作品がなぜ生まれ、そこから歴史が編まれていくのか、ということを知ることも必要なのです。 この授業は、これまでの美術史研究で明らかにされてきたことだけでなく、美術史の方法論についても解説します。					
成績評価方法 教科書	コメントシート 30%、レポート 70% プリントを配布する。/Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50203	A	西洋思想史	石原 孝二	哲学・ 科学史	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	狂気と人権の西洋思想史：狂気、障害、人権、差別をめぐる制度と思想					
授業の目標概要	狂気、人権、障害、差別に関する制度と思想を通じて西洋思想史の一側面を学ぶ					
成績評価方法	期末テストによる					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50719	A	科学史	東 慎一郎	哲学・ 科学史	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	「中世から初期近代ヨーロッパの科学・科学論とその諸問題」					
授業の目標概要	<ul style="list-style-type: none"> ・中世～初期近代期の科学史・科学論史について基礎的理解を獲得することにより，ヨーロッパ思想の説明的合理主義について初歩レベルの考察ができるようになる。 ・ヨーロッパ的合理性が，中世から近代にかけて一貫していたかどうか，初歩的レベルの判断ができるようになる。 					
成績評価方法	最終テスト（論述問題）で評価する。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

総合科目 B (国際・地域)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50204	A	国際関係論	吉本 郁	国際関係	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	この講義では、国境を越えて国家や様々な集団・人がかかわりあうことで生じる現象を理解し、分析する際にその道具となる概念や理論を学ぶ。講師が自ら時事的な問題を論評したり、あるべきと考える政策を提言したりすることはないが、受講生にもしそのような関心がある場合でもその前提となるような視座を提供したい。					
成績評価方法	小テスト (合計4回) : 40点 コメントペーパーおよびピアレビュー : 10点 期末試験 : 50点					
教科書	教科書は使用しない。 / Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。 / Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50568	A	国際関係論	玉置 敦彦	国際関係	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	国際政治学					
授業の目標概要	本講義は国際政治学の入門講義である。国際政治学は多様な学問分野から刺激を受けて形成されてきたために、全体像を把握することは容易ではない。本講義では、「同盟」と「帝国」という二つの概念を中心に、国際政治に対して異なる理解を提示してきた代表的な考え方を、その起源に遡って検討することで、国際政治学を理論的かつ歴史的に概観する。「国際政治」という現象が誕生した近代ヨーロッパから現代までを対象に、国際政治を理解するための基礎的な概念と考え方を理解し、時事問題に関しても専門的な見地を踏まえて考えることができるようになることが本講義の目標である。					
成績評価方法	期末試験					
教科書	教科書は使用しない。 / Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。 / Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51098	A	国際関係史	前田 亮介	国際関係	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	日本外交史					
授業の目標概要	この講義では、幕末・維新时期から冷戦終結後の現代までいたる日本の外交の軌跡を、①国内政治との連関、②国際環境の作用、の2点をとくに重視しつつ概観する。授業担当者が初年度ということもあり、150年以上の歴史をどのように授業計画のなかで配分するかは検討中であるが、明治維新から第二次世界大戦にいたる「帝国の外交」、帝国の崩壊を受けた「敗戦国の外交」、そして現代につながる「グローバル化時代の外交」、という大まかな3つの時代区分を念頭に講義を進めていきたい。					
成績評価方法	期末試験によって評価する。					
教科書	教科書は使用しない。 / Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。 / Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50289	A	現代国際社会論	酒井 啓子	国際関係	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	現代の中東政治を国際政治の枠組みで概説する。特に米国を中心としたグローバルパワーとの関係、域内のトランスナショナルなネットワークのありように着目し、国家主体のみならず非国家主体が紡ぐ政治のダイナミズムを読み解く。					
授業の目標概要	複雑に見える中東地域における政治実態を、グローバルパワーとの関係、域内における覇権抗争の枠組み、トランスナショナルな政治思想運動の展開に着目して、解明する。中東地域の政治を国際政治、比較政治の一般論からの逸脱事例とみるのではなく、中東政治のさまざまな特徴をむしろ国際政治の矛盾を表象する事象として捉え、中東から「世界」を読み解く視座を獲得する。加えて、中東政治の土台にある近現代史に対する理解を「オリエンタリズム」批判を踏まえて、再考する。					
成績評価方法	試験と、映画などの感想文の提出による。出席は問わない。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 酒井啓子 9.11 後の現代史 講談社新書					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50902	A	現代国際社会論	佐藤 仁	国際関係	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	開発協力のジレンマ					
授業の目標概要	「SDG sの問題点は何か」。この授業が終わったら、この問いに答えられるようになってほしいと思います。国際開発、国際協力は、その響きの美しさとは裏腹に、それが見えにくくする側面があります。この授業では、知らず知らず見えにくくなっている側面を取り上げ、それを自分なりに考えるために、いくつかの「ジレンマ」を取り上げていきます。					
成績評価方法	国際開発に関する授業は、通常は、貧困や気候変動といった課題を解説し、それに対する援助などの取り組みの制度や効果を論じるものが多いと思います。この授業では、一つのセクター、一つの専門的視点にこだわらず、国際開発協力から、「あちらを立てば、こちらが立たず」という悩ましい現象を取り上げて、自分で答えを探す訓練をします。またこの授業では、現在の途上国の事例だけでなく、かつて途上国であった日本の被援助経験、開発経験に伴うジレンマについても扱います。					
教科書	講義と参考文献に基づく試験を成績全体の8割、出席とコメントシート、質問などによる議論喚起を合わせて2割の比重で成績評価を行う。 成績は8割を最終試験でつけ、残りの2割を出席と授業中の参加点として加算します。授業中の参加は、教室での質問やコメント（オンライン含む）、毎授業ごとに任意で提出を求めるリフレクションペーパーの質と量で評価します。また出席（成績の5%）は、UTOLの出席管理機能を使うこととし、3回以上欠席した人に「優」はつきません。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 佐藤仁 争わない社会ー「開かれた依存関係」をつくる NHK ブックス					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50978	A	現代国際社会論	阪本 拓人	国際関係	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	現代アフリカの政治と国際関係 【概要】 現代のサハラ以南アフリカの政治や国際関係について多角的に学ぶ概説的授業である。アフリカの歴史や風土に関する導入ののち、各回の講義で、国家、紛争、開発、民主主義、グローバル化、人間の安全保障といった政治学や国際関係論の基本的な概念やテーマを取り上げ、これらを軸に、独立から今日に至るアフリカの国家と国際関係の特徴や変容を、アフリカ内の多様性にも留意しながら、コンパクトに解説していく。					
成績評価方法 教科書	【目標】 アフリカは、近年世界の中で急速に重要性を増す地域のひとつである。この講義では、アフリカが直面してきた多様な課題や問題を取り上げることで、学生がこの地域を多角的に理解するための見取り図を構築していくきっかけを提供したい。また、国家や民主主義、グローバル化といった政治学や国際関係論の基礎的な概念をアフリカの文脈において具体化・操作化することで、アフリカのみならず、政治や国際関係全般に対する見方も豊かにしてもらいたい。 主に期末試験の成績に基づき評価する。映画等視聴の際に提出する小レポートも考慮する。					
ガイダンス	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 遠藤貢・阪本拓人編 ようこそアフリカ世界へ（シリーズ地域研究のすすめ 2） 昭和堂 978-4812221280 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51099	A	平和構築論	谷垣 真理子	地域文化研究専攻	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	平和構築の実践 ASEAN 域内で、インドネシアは2億6000万人の人口を抱え、資源大国である。インドネシアの国内の治安維持において、分離運動、共産党、テロ活動の抑止は大きな比重が置かれていた。本授業では分離運動のひとつである東ティモールをとりあげて、受講者に論文を分担報告してもらい、東ティモールにおける平和構築活動について理解を深めてもらう。そのうえで、東ティモール国家警察に市民警察について第三国研修をした、インドネシア国家警察のことをとりあげる。日本警察はインドネシア国家警察改革の「お手伝い」を20年以上にわたって実施してきた。国軍から「独立」したインドネシア国家警察がどのように変化したのか／変化しなかったのかを、長期にわたって現地に赴いた専門家やプログラムマネージャー、さらにはインドネシア国家警察関係者の話を聞いてみる。クリスマス前には期末レポートの中間報告も行ってもらおう。最後に和解の試みについて講話を聞く。講師の手配状況によっては、歴史認識を含む日本の事例をとりあげるかもしれない。					
成績評価方法	参加者人数によって調整はあるが、コメントペーパーと報告（20~30%）、期末レポート（50~60%）、出席(20%)による総合評価。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50205	A	地域文化論II	速水 淑子	地域文化研究専攻	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ研究入門 日本にとって、ドイツという国は特別の意味をもちます。日独関係が始まった 19 世紀後半以来、日本の近代化の過程において、学術的な思考とそれを支える概念が形作られるにあたり、ドイツの学術の影響は決定的な意味をもちました。ドイツが歴史的に果たしてきた役割、また今日の国際社会において現実に果たしている役割に鑑みて、日本の人文社会科学の諸学問にとって、ドイツは今日なお重要な関心の対象でありつづけています。ドイツを知らずしてヨーロッパを理解すること、近現代の世界の動きを理解することはできません。また、世界でも屈指の研究環境をもつ大学、研究所等を多く有するドイツは、人文社会科学のみならず、自然科学、工学、医学などありとあらゆる領域の研究者が研鑽を積む研究の場としての意味をもっていることにも注意を払う必要があります。 研究対象としてのドイツに関心がある人も、研究の場としてドイツを選択肢に入れられるかもしれないと考えている人も、大学生の一般常識としてドイツについて最低限のことを語れるようになりたいと思っている人も含めて、今日のドイツについて分かっておきたいと考えるあらゆる人のために、この授業では、後期課程地域文化研究分科「ドイツ研究コース」およびドイツ・ヨーロッパ研究センター (DESK) の教員 4 名が、それぞれの専門 (歴史学、政治学、文学・思想) を生かして、近現代ドイツのよりすぐりのトピックを解説します。					
成績評価方法	学期末試験の成績により評価する。					
教科書	教科書は使用しない。/ Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50873	A	地域文化論II	アマンダ ネテルベック	地域文化研究専攻	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Envisioning Australia This course will introduce students to some of the ways Australia has been seen, both from within and from beyond its borders. The course will begin by exploring how the continent has been mapped, and how European incomers and Indigenous peoples viewed each other. It will then consider how cultural visions of Australia have developed and changed over time. Students will be introduced to some of the ways Australia is interpreted today through an international touristic gaze, and how it promotes itself for tourism, including in Japan. The course will include close attention to how non-Indigenous Australians have 'seen' Indigenous land and people over time, and how in turn Indigenous artists and writers have reversed that gaze to assert the history and cultures of First Nations. The course is designed to introduce students to Australian history through the theme of how the Australian continent and its different cultures have been represented over time. Through a range of sources and interpretive practices, students will consider the shifting ways in which Australia's landscapes, peoples, and society have been seen, and how Australia has projected itself on an international stage, over the nineteenth, twentieth and twenty-first centuries. The course will increase students' skills in critical reading, analysis, writing and research.					
成績評価方法	Assessment will be in two forms: a) a class presentation based on a selected list of topics, and b) an end-of-term essay based on a selected list of topics. Further details on essay requirements, including due dates and topics, will be available early in					
教科書	教科書は使用しない。/ Will not use textbook Richard White Inventing Australia: Images and Identity Routledge, 2020 978-0367718534 new edition					
ガイダンス	特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50290	A	比較地域史	杉浦 未樹	歴史学	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	繊維からみる、地域のつながりの歴史：古代から現代まで この授業では、糸・布・衣という、わたしたちにとって身近でありつつも、長い歴史を紡いできた繊維製品の歴史を振り返ります。繊維品が作られることによって、地域上、どのようなまとまりやつながりや対立が生みだされていったのかを、見ていきます。全体としては、経済史の手法を通して、産業や交易や流通の基礎的な枠組みを学ぶことを目的にします。グローバル・ヒストリーの視点にたち、三大陸にわたって、広い地域の、古代から現代までの長期的な展開を扱います。あわせて、長い歴史の中で、人類が、繊維に対して、どのような属性をのぞみ、糸や布や衣服を開発していったのか、物質性（マテリアリティ）にせまって、考えていきます。					
成績評価方法	レポートを課します。対象地域と時期を絞って、特定の繊維品・繊維業の展開について、問題設定を行い、歴史分析をするものです。形式については授業内に説明します。					
教科書 ガイダンス	その他に授業後にグーグルフォームで理解度を確認するテストを行います。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50979	A	比較地域史	外村 大	歴史学	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	日本帝国支配下の台湾と朝鮮 台湾と朝鮮はそれぞれ、1895年～1945年、1910～1945年において日本帝国の植民地支配を受けた。したがって、法制度その他において共通した面もあり、日本帝国の政策のもとで、社会変容を迫られ、似たような歴史経験をしている。しかし、そこにはかなりの差異も見られる。これは、自然環境やそれ以前の歴史そのものではくまれた文化、民族構成、言語使用の状況などが関係している。そのことは両地域の比較によって、よく理解できるはずである。そうした、地域を比較しながら歴史を学ぶことで、それぞれの地域に対する理解を深めていく手法を身に着けることをこの授業の目標とする。					
成績評価方法	これとともに、授業によって、植民地支配とはどのようなものであるのか、台湾や朝鮮・韓国の人びとに今日、いかなる影響を与えているのかについても、考えていくきっかけを与え、理解を深めるようにしたい。現代日本では、中学校・高等学校の学校教育でも、植民地期の台湾や朝鮮についてあまり詳しく教えられていない。そのようななかで、いい加減な情報が伝えられ、何が歴史研究の定説になっているのかがわからない人びとも増えている。そうした現実を踏まえて、この授業では、歴史学界の研究成果を踏まえ、史料に基づいた、台湾史像、朝鮮史像を提示していく。					
教科書 ガイダンス	授業への参加と、開講中に教員が伝えた課題への対応、および学期末に提出してもらおうレポートに基づいて評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50720	A	日本文化論I	沖本 幸子	国文・漢文学	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	盆踊りの精神史 今、盆踊りブームと言われる。各地の盆踊りを踊り歩く「盆オドラー」たちが出現し、新たな盆踊りが創作され続けている。北海道から沖縄、移民の地であるハワイやアメリカ西海岸、中南米などでも踊られる、最も広範に踊られている日本芸能でもある。一方、その歴史をたどれば、中世の風流踊や念仏踊に起源を持つ「盆」（祖先供養）の芸能であり、折々の流行歌を取り込み、戦前までは「仮装」がデフォルト、人々の大きな娯楽であり続けてきた。そしてまた、昭和の「東京音頭」ブームは、レコードというメディアによる全国化とともに、民俗芸能の商業化のいちはやい事例としても捉えることができる。					
成績評価方法	本講義では、500年もの間、形を変えながら踊られ続けてきた盆踊りの歴史と諸相（各地の個性的な盆踊りを見ていく）をたどりながら、盆踊りの精神史、そして、なぜ今盆踊りブームなのかを考えていく。それは、日本文化を考える一つの視点を与えてくれるだろう。					
教科書 ガイダンス	平常点（小レポート）及び最終テストの予定。 受講人数によっては評価方法を変える可能性がある。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50466	A	日本文化論II	矢田 勉	国文・漢文学	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	国学の言語思想					
授業の目標概要	日本においては、近代に入って西欧の言語学が導入される以前に、国学という学問の文脈の中で言語研究が既に成熟していた。 本講義は、国学は言語をどのような対象として観察していたか、国学における言語研究の特質はどのようなところにあったか、といった点について、主として資料の講読を通じて理解することを目標とする。					
成績評価方法	期末レポートによるが、受講状況等によって、適宜小課題等を課す場合がある。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50291	A 1	日本語日本文学I (理科生)	矢田 勉	国文・漢文学	火 2	1年 理科 2年 理科
講義題目	日本語音声・音韻史の方法					
授業の目標概要	日本語は、文献上遡ることができる歴史が千年以上に亘るうえ、他言語との接触はあっても、言語侵略を蒙ることはほとんどなかったという点で、言語はなぜ、どのように変化するのかということを追究するに恰好の材料である。 本講義では、日本語史の中でも特に奈良時代・平安時代・室町時代の日本語音声・音韻史を取り上げ、主として文献資料からの音声・音韻史的事実の抽出方法について理解することを目標とする。					
成績評価方法	3回の課題（各20%）および期末レポートによる。 成績評価は厳格に行う。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50693	A	日本語日本文学II	出口 智之	国文・漢文学	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>口絵・挿絵から読む日本近代文学</p> <p>日本の近代文学は、現在ではほぼ例外なくテキストのみの状態で読まれているが、実際には口絵や挿絵といった図像とともに発表されることが多かった。そして、それらの絵画は、文学作品を読んだ画家が自由かつ主体的に描くのではなく、逆に作者からの指示を受け、そのとおりに描くのが江戸時代以来の慣例だった。すなわち、坪内逍遙・尾崎紅葉・幸田露伴・樋口一葉・島崎藤村・泉鏡花・田山花袋・夏目漱石といった、近代前期を代表する作家たちは、みな絵に指示を出すことを求められていたのだった。しかも、この制作慣習は作家・画家や作品のジャンルによっては、昭和初期まで続いていたことがわかっている。</p> <p>これはすなわち、そうした作家たちにとっての自作とは、みずから指示した絵と文章がセットになった形だったということである。もちろん、その態度は様々で、特に工夫なく物語の一部を順当に描くよう指示した作家もいれば、そうした慣習自体に反発し、絵への指示を強く拒否した作家もいる。そして、なかには文章と絵とが支えあうコラボレーションを試みた作家もあり、そうした場合、当の絵を見ず文章だけを読むのでは、作家の目指したところを理解するのは不可能である。</p> <p>一方、こうした江戸以来の慣習が近代出版に組込まれたことで、様々な問題も引き起された。特に、起筆前のような早い段階での指示が求められたため、執筆中に構想が変わるなどして、本文と絵が食違うことは大きな問題であった。しかしこれも、現代の文学研究の視点からすれば、絵のなかに作品の原構想が保存されているということであり、作品理解の重要な手がかりとなる。</p> <p>この授業では、以上のような観点から、主として明治中期から大正期にかけての文学作品に附された口絵や挿絵を取り上げ、小説の解釈と分析、図像分析、出版と印刷の状況などを概説する。特に、森鷗外「文づかひ」・樋口一葉「十三夜」・尾崎紅葉「多情多恨」「金色夜叉」・泉鏡花「清心庵」・田山花袋「蒲団」といった有名作品を題材として、絵画を手がかりにその読解を再検討することを試みる。同時に、絵画の理論的分析方法や、彫師・摺師をはじめとする印刷技術の見分けかた、それらを紙誌面や書籍上で組み合わせる出版の実際など、狭義の文学研究にとどまらない多角的な知見を、実資料とともに解説する。そうした基礎知識のうえに立ち、小説の解釈と図像分析をいかに取りあわせ、そこに単行本・絵入り新聞・文芸雑誌などのメディアとのつながりをどのように定位して、明治文化の解明へとつなげてゆくのか、その方法と可能性について講義してゆく。</p> <p>また、講義の最後では、旧著作権法の整備過程にまつわる法制史的問題と、現代の知的財産法の問題にふれ、制作者の権利のあり方についても考える予定である。</p>					
成績評価方法 教科書	<p>レポート 100%。</p> <p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook</p> <p>日本近代文学館編・出口智之責任編集 『明治文学の彩り—口絵・挿絵の世界』 春陽堂書店、2022年8月 4394190304 電子版でも可</p>					
ガイダンス	<p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50014	A	東洋古典学	谷口 洋	国文・漢文学	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>月曜1限、『論語』を読む 東大生なら一度ならずお世話になる心ふるさと1号館が、新たな時代に適応するため改修工事に入る。ところがそのせいで、他の建物の稼働率を高める必要が生じ、1限の授業がいつもより増える。月曜1限が、これほど求められたことはない。</p> <p>2020年度、コロナ禍の中で水曜5限に「東洋古典学」を開講したときは、『莊子』を読んだ。すべての授業がオンラインという異常事態の中で、現実を超越する『莊子』の思想が、切実さをもって迫ってきたからだ(受講生がどう感じたかは知らない)。頭が柔らかい前期課程のうちに『莊子』を読んでほしいという思いは今も変わらないが、休み明けの頭で逍遥の世界に遊んだのでは、その週の学習に影響しないとも言いきれない。今回、月曜の朝っぱらから学生を呼び出して何を読むか、『論語』だ。『論語』しかない。</p> <p>とはいえ、先生の後についてみなで大声を出して『論語』の素読をすとか、『論語』の人生訓で寝ぼけた頭に活を入れるとか、そういうことをする気はない。ここは大学だ。原文で、辞書と自分の頭を使って読もう。もちろんいきなりは読めないから、注釈の助けを借りることになる。いや、注釈とは、単に読解の補助としてあるのではなく、古人が古典と格闘した記録でもある。注釈を読むことは、自らもまた注釈者とともに格闘することでもある。</p> <p>もう一つ、普通に手に入る『論語』の訳とは違った視点を持って読もう。ここでは、伝承文学として『論語』を捉えてみたい。『論語』を読む人は、普通は、孔子の人や思想に迫ろうとする。それが間違いだというのはないが、「子曰く、述べて作らず」というように、孔子は自分で著作したのではない。『論語』に記された言葉は、何世代もの多くの伝承者の手を経たものである。テキストと向き合う中から見えてくるのは、孔子その人以上に、孔子の言葉を伝えようとした人々の思いであるはずだ。</p> <p>こうした試みを通じ、既存の訳を読むよりも深く『論語』にふれることができたなら、目標は達せられたことになる。レポートを主とし、平常の状況を何らかの形で勘案する。</p> <p>レポートの評価に際しては、『論語』の原文にふれたことで自分が何を得たかを重視する。授業で扱うのは『論語』のうちほんの一部であるから、レポートを書くためには、翻訳の助けを借りつつも、自分で『論語』原文に接することが必須になる。</p> <p>なお、授業で提供するのの一つの視点であって、それに沿って書くことを強いるものではない。ただし、自分が考えたことを相手に伝えるのにそれなりの技術と思想が必要であることに変わりはないから、それによって評価が甘くなるということにはならぬ</p>					
成績評価方法	<p>プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					
教科書 ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50206	A	歴史社会論	後藤 はる美	歴史学	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>複合国家ブリテンと近世ヨーロッパ 現在のイギリスは、イングランド、ウェールズ、スコットランド、(北)アイルランドから成る立憲君主制の連合王国である。近年、王国を構成する各地域で自治の機運が高まり、その動きはEU脱退を受けてさらに複雑化している。歴史的にみても、王権と議会、教会、そして「三王国」との関係性の調整は、イギリスの国制問題の基幹を成してきた。この背景には、ヨーロッパ規模での宗教改革や諸革命を通じた新秩序の形成過程がある。</p> <p>本講義では、イギリスをヨーロッパ史／大西洋史／世界史のなかで位置づけながら、近代世界の形成を考察する。具体的には、18世紀を中心に名誉革命からフランス革命までのイギリスとヨーロッパを扱う。これらを通して歴史学的思考法を学び、過去と現在の政治・文化・社会のありかたへの関心をもつことを目標とする。</p>					
成績評価方法	<p>平常点と期末試験によって評価する。</p>					
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51318	A	歴史社会論	守川 知子	文学部	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	歴史の中のイスラーム社会 本講義では、イスラーム社会の歴史のかつ地域的な多様性に焦点をあてることにより、「イスラーム社会」とは何かについて考える。現在、世界人口の2~3割を占める18-19億人がイスラーム教徒(ムスリム)と見積もられているが、その歴史をひも解くと、「イスラーム」や「ムスリム」の実態は、地域や時代によって千差万別である。西アジア、東南アジア、中央アジアから中国、北・東アフリカ、インド、ヨーロッパなど、歴史的に見てもムスリムが暮らした地域は世界中に広がっており、自然環境や文化伝統が各地によって異なることは言うまでもない。とりわけ、乾燥地帯が多くを占める西アジアの場合、イスラーム教が入ってくるよりも先に、サーサーン朝やビザンツ帝国といった強大な帝国および文化圏が存在しており、発祥まもない「イスラーム社会」もまた、これら既存社会に大きく依拠していた。このようなイスラーム社会の歴史的・地域的多様性を理解することを本講義の目標とする。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	期末テスト(もしくは期末レポート)にて評価する。 プリントを配布する。/Will distribute handouts 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50292	A	歴史社会論	清水 克行	歴史学	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	15世紀の「静かな転換」を考える—日本史の「曲がり角」としての室町時代— 現代社会とは異なる原理によって成り立っていた社会を見つめることで、「異文化」に対する理解を涵養する。また、併せて基本的な中世史料の読解力を養う。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	授業時に提出してもらおうリアクションペーパーの内容と、学期末の定期試験の成績を総合的に評価する。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50721	A	近現代史	岡田 泰平	歴史学	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	21世紀に考える植民地主義 2020年代になって、植民地や植民地主義、さらには脱植民地化が改めて問われています。植民地主義とは、端的には人種的・民族的他者による支配ですが、ロシアによるウクライナ侵攻や、イスラエルによるガザへの攻撃は、人種的・民族的他者による露骨な攻撃であり、これらの戦争が改めて植民地主義とは何であるのかという問いを突きつけてきています。この授業では、植民地から国民国家の樹立へという20世紀史を幾つかのナショナル・ヒストリーから学びつつ、21世紀において脱植民地化とは何を指し、この時代を生きる私たちが何をなすべきなのかを考えていきます。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	平常点と期末テスト、 記憶するよりも、自分自身で語れることの方が重要だと思っています。期末テストでは受講者の語る能力を発揮してもらいます。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51317	A	歴史と文化	佐川 英治	文学部	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国古代史論 文明の誕生から大唐帝国にいたるまでの中華文明の多元性、多様性を東部ユーラシアの枠組みの中で体系的に理解できるよう講義を中心に学ぶ。中華文明の歴史に対する基礎知識を習得するとともに、それを東アジアや東部ユーラシアとの関わりにおいて理解し、近年の発見や研究による新しい見方について知る。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	授業の出席と毎回出す課題による。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50903	A	歴史と文化	大稔 哲也	歴史学	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中東・イスラーム歴史人類学入門 この講義は、中東やイスラームについて、これから新たに学ぼうとする学生を対象に想定して構成されています。そのための基本的な知識を得るとともに、さまざまな角度から、総体的に中東の歴史と文化について深めます。そこでは、イスラームとは何かについて生活経験にもとに省察したうえで、イスラーム教徒(ムスリム)とキリスト教徒など非ムスリムとの共存、「アラブの春」とその後の現代中東社会、中東の生活慣行、聖者崇敬、死をめぐる儀礼と他界観、欧米のムスリム社会などから、幾つかのテーマを選択して、具体的に講義します。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	レポートと平常の授業態度によります。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50980	A	歴史と文化	渡辺 美季	歴史学	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	琉球王国と日本人 現在の沖縄県域には、かつて琉球という王国があった。この王国は、日本(本土)の人々にとってどのような存在だったのだろうか(*)。地理的に日本の隣にあり、江戸時代には日本の支配下にあったことから、身近でよく知られた存在だったと考える人が多いかもしれない。しかし実際には「身近でよく知られた」とは相当異なる状況が展開していた。しかもその状況は「世界」情勢の歴史的展開と密接にリンクしていた。 本講義では、上記の「問い」(*)を軸として、「日本人にとっての琉球」を史料を通じて多角的に検討する。これにより前近代の琉球・日本の接触・交流の実態、情報の在り方、他者/自己認識の様相、さらにはその背景となる「世界」情勢の歴史的展開に対する理解を深め、またそれらを通じて現在の諸地域や国家を相対化する視点を養うことを目指したい。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	授業内課題(複数回)にて評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50293	A	世界史論	弘末 雅士	歴史学	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	世界観の歴史ー広域世界と地元社会 生活しながら様々な人々と交流するなかで、人はいかなる世界観や社会観を形成してきたかを検討する。前近代から現代に至る、広域世界と個別的な地域社会の形成の仕組みを探る。両者の形成に関わる存在に着目する。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	毎週リスポンス用紙を配布するので、その週のテーマについてのコメントや質問の内容(30%)と、最終試験(70%)で評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51100	A	世界史論	井坂 理穂	歴史学	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	植民地期のインドと世界ー史料をいかに読むかー この授業では、19世紀から20世紀半ばまでの時代にインドから世界各地へ渡航した人々に着目し、彼らの残した回想録、自叙伝、旅行記、書簡、講演その他の史料を読みながら、これらの史料から当時のインドの状況、インドと世界各地とのつながり、人やモノの移動や知の伝播のありさま、人々の自己/他者認識について、どのような手がかりが得られるのかを検討する。Aセメスターを通じて、この時代のインド社会や世界に関わる知識を身につけるとともに、様々な形態の史料に触れ、それらの分析のしかたについて考える。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	学期末試験による。ただし課題も若干の割合で評価対象に含める。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50207	A	文化人類学II	箭内 匡	文化人類学	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>人類学的思考を身につけるー映像／イメージによる今日のアプローチ</p> <p>文化人類学(以下「人類学」と略)はもともと、世界の諸民族を研究する「民族学」を原点とする学問だった。しかし、今日の人類学はそうしたイメージからかなり遠いものになっている。「未開」や「伝統」はもはや人類学の中心的テーマではなく、今日の人類学者は、例えば先端科学のラボやインターネット上の世界などもフィールドワークの対象にするようになった。そのような現代人類学は、人類学の過去の学問的遺産とどのように連結しているのか。そして、そうした伝統の上に立つ現代人類学は、どのような独自の知見を我々にもたらしてくれるのだろうか。</p> <p>過去から現在そして未来の人類学へと向かう、こうした流れの全体を見通すために、映像(写真を含む)は有益な土台となる。人類学者はフィールドワークという作業をつねに重視してきたが、そこで大事なものは、「言葉で表現されたもの」と同じかそれ以上に、「言葉で表現されていないもの」であって、映像は、うまく使うならば、この後者(およびその前者との関係)をダイレクトの感じ取らせてくれるのだ。それゆえこの授業では、映像的素材を見ながら、フィールドの現場を間近で想像しつつ、古典的および現代的な人類学の独特の思考方法を学んでいってほしいと思う。</p> <p>かつて「文化」、「社会」は人類学の基本概念であった。しかし実は、人類学は「文化」、「社会」の概念なしでも十分にやっていけるし、そういう考え方のほうが人類学的思考の今日的な現場に接近しやすいとも考えられる。この授業でのキーワードは、従って、社会・文化を次第に離れ、イメージ・自然・身体といったものになっていくはずである。このあたりの事情は、授業全体を追うなかで、少しずつ確実に理解していってもらえると思う。</p>					
成績評価方法 教科書	<p>・学期末試験を行う</p> <p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook</p> <p>箭内匡 『イメージの人類学』 せりか書房 978-4796703734</p>					
ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50294	A	現代文化人類学	津田 浩司	文化人類学	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>フィールドワーク論</p> <p>何事かが生起している現場に身を置きつつデータを収集し、そこから新たな知見を得て思考を鍛えていくことの重要性は、今や人文学・社会科学・自然科学の多くの分野で指摘されている。文化人類学は、まさにそうした学的営みとしてのフィールドワークを方法論の支柱に掲げてきた学問分野である。</p> <p>しかしながら、他の学問分野でフィールドワークの重要性が強調されるようになったのとは裏腹に、1980年代以降のいわゆる「ライティング・カルチャー (Writing Culture)」ショックによって、文化人類学分野においては、エスノグラフィ(民族誌)を書くこと、およびその前提としての(かつそれと不可分な営みとしての)フィールドワークをすることに、より反省的であることが求められるようになった。とはいえ、エスノグラフィを書くこともフィールドワークをすることも、人類学の主要な方法論であることには変わらない。</p> <p>本授業では、フィールドワークに関する基本的な論点を整理することを通して、改めて人類学的フィールドワークとは何かを初歩から考えたい。</p>					
成績評価方法	<p>数回に一度書いてもらうコメントペーパー(30%:出席点を兼ねる)とともに、学期末にエッセイ課題(70%)を提出してもらう。</p> <p>コメントペーパー、学期末エッセイ課題ともに、所定の期日内にUTOLを通じて提出してもらう。</p> <p>コメントペーパーに関しては、適宜フィードバックを行う。</p>					
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

総合科目 C (社会・制度)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50722	A	法と社会	西土 彰一郎	法・政治	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	法理論の探究 ある論者の表現を借りるならば、法理論とは「法システム全体が、環境に適合しつつその首尾一貫性を保つことができているかということについての、法システム内部における法の『反省理論』である」。本講義は、この意味での法理論を受講生諸君とともに探究することを目的とする。その際、社会学における社会システム理論など隣接分野の知見を用いつつ、法の理論的反省を企てている「教科書」を読みとくことにより、以上の目的を追究してみたい。 理論的反省の経験は、「思考の型の中で全体を推論すること」である。したがって、法の内的視点からとはいえ、反省理論を探究することは、様々な分野の学生にとっても刺激的であるように考えられる。					
成績評価方法 教科書	定期試験および授業の参加度で評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook トーマス・ヴェスティンク (毛利透=福井康太=川島惟=西土彰一郎・訳) 法理論の再興 成文堂					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50694	A	日本国憲法	山元 一	法・政治	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	日本国憲法 日本国憲法について、その歴史的意義とグローバル化時代における課題に留意しつつ、その概要について講義を行う。					
成績評価方法 教科書	学期末試験によって評価を行う。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 山元 一 グローバル化時代の日本国憲法 放送大学教育振興会 9784595319426					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51322	A	ダイバーシティと法	谷口 洋幸	教養教育高度化機構	火 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	LGBTQ+と人権 この講義のテーマは「LGBTQ+と人権」です。2013年に国連が「自由と平等キャンペーン」を立ち上げ、LGBTQ+に関する人権保障に向けた国際的な取り組みが本格化して約20年が経過しました。世界では同性同士で結婚して家庭を築いたり、自らの望む性別のあり方で平穏に生活でき国や地域が飛躍的に増えてきました。一方、同性を好きになることが死刑を含む刑罰の対象となったり、性別のあり方があいまいなだけで暴力や殺害の危険にさらされる国や地域もあります。 この講義では、日本のLGBTQ+関連の法政策の現状について、諸外国との比較や国際人権法の視点を取り入れながら学びます。主にLGBTQ+に関連する判例や法律、政策などを読み解きながら、ジェンダーやセクシュアリティに敏感な人権保障のあり方を考えます。なお、時事問題等により授業計画には若干の変更が予想されます。ご了承の上、履修してください。					
成績評価方法	・平常点 60% (ミニッツペーパー (授業のまとめ、感想、課題への回答など)、講義への積極的な参加姿勢 (講義中の質問や発言など)) ・期末レポート 40% (形式・分量・締切等の詳細は講義内で指示します)					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50904	A	比較社会論	傅 凱儀	社会・社会思想史	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>経済人類学とアフリカ Economic Anthropology and Africa This course introduces students to the concepts and case studies of economic anthropology. We will review selected papers related to economic anthropology and development of Africa. <到達目標> 1) 経済人類学の理論と事例を学ぶ。 2) アフリカの社会と経済について学ぶ <講義概要> 本講義を通じて、受講者は経済人類学の概念と事例研究、そしてアフリカでの応用について学ぶ。</p>					
成績評価方法	<p>学生発表課題 (50%)、授業への貢献度 (50%) Student presentation assignment (50%), Participation in class (50%)</p>					
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51101	A	日本の政治	鹿毛 利枝子	法・政治	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>日本の政治を分析する上での基本的な概念や考え方を紹介する。詳細は初回の授業時に説明する。 初回授業時に提示する。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50177	A	ジェンダー論 【社会科学】	野田 潤	社会・社会思想史	月 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>社会学的視点で考えるジェンダー問題 性別とは、最も「自然」「常識」と思われがちなテーマのひとつである。本講義では、性別に関する私たちの「当たり前」が、いかに当たり前ではなく「不思議なこと」なのかについて、身近なトピックを用いながら、社会学の視点で考えてゆく。 受講者には本講義を通じて、(1)性別そのものがいかに社会的に規定されているか、(2)性別に関する身の回りのさまざまな問題がいかに社会的な問題とつながっているのかを理解してもらいたい。 またその上で、(3)現代の日本社会において、どのような背景のもとでどういったジェンダー問題があるのかを具体的に知り、(4)現代日本社会のさまざまなジェンダー問題への対応策について考察するための基礎力を養ってもらいたい。 さらには上記のプロセスを通じて、社会学的な物の見方や、「社会」に対する感受性を深めてもらうことも期待する。</p>					
成績評価方法	<p>定期試験によって評価する。評価の基準は、講義で学んだ基礎的な知識を習得しているかどうか (60%)、与えられたテーマについて根拠を示しながら説得的に論ずることができるかどうか (40%) の2つの観点から行う。</p>					
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51321	A	現代と政治	谷口 将紀	法学部	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	現代と政治 政治学を学ぶと、どのような興味深い課題に出会い、かかわることができるのか。そのことの一部がわかるよう、法学政治学研究科・法学部の教員のうち13名が、1人1コマずつ、いま関心を持って取り組んでいる具体的な課題を紹介し、質疑応答の時間を多くに取ります。 政治学を学んだ経験が全くなくとも構いません。文科か理科かも問いません。2年生も歓迎しますが1年生を念頭に置いて進めます。 講義担当者は、必ずしも専門科目の枠にはとらわれず、自由に講義をする予定です。詳細はUTOLで知らせます。 第1回についてはUTOLの「オンライン授業情報」に書き込みます。					
成績評価方法	毎回の授業において出題するお題について学生が短い分量で回答するリアクションによって成績評価をします。期末試験や期末レポート出題は、実施しません。 リアクションの「提出回数」と「回ごとのA評価の数」に照らして成績評価を行います。「提出回数」は、授業に出席して理解・考察をしたことを確認できる回数のことであり、これが13回あれば多くの学生は65点となります。「回ごとのA評価」は、毎回の講義担当者が、リアクション提出者数の3割程度の数の学生に付けます(学生には回ごとの評価は知らせません)。「提出回数」と「回ごとのA評価の数」を総合して合計点を算出します。90点以上と80点以上については、それぞれ、教養学部のルールで許容される範囲内で、なるべく多めとします。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	授業資料がある場合は、オンラインまたは授業時に配布します。どちらの方法によるかは教員によります。 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51324	A	性の政治II	本山 央子	教養教育高度化機構	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	フェミニスト国際政治経済学 冷戦後グローバル・ガバナンスの中で、ジェンダー平等は多様なアクターに共有される共通の規範として確立されてきました。他方で、新自由主義グローバルイゼーションは、フェミニズムの目標にとって深刻なジレンマをもたらしています。この講義では、市場と国家を中心とする国際経済・政治の見方に対するフェミニスト批判をたどり、グローバル資本主義と国家システムの変容とジェンダー関係がどのように相互に関連してきたのかを見ていきます。そして、日本におけるわたしたちの日常と繋ぎながら、フェミニズムを組み込みつつ展開するグローバルな権力関係に対してどのような抵抗が可能かについても議論したいと思います。					
成績評価方法	出席とレポート(4回以上の欠席の場合は単位は認められません)					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50981	A	政治経済学	丸川 知雄	経済・統計	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	歴史観(マクロ・ヒストリー)の探求 人類の歴史を巨視的にとらえるさまざまな歴史観(マクロ・ヒストリー)を紹介し、その妥当性を検討します。 マクロ・ヒストリーとは、単に歴史を記述するものではなく、歴史の動きを内在的または外在的要因によって説明しようとする試みです。もちろん歴史学とは無縁ではありませんが、むしろ思想の系譜としては、哲学や政治思想、経済思想の分野から生まれてきたものです。 マクロ・ヒストリーには、技術や生産力の成長が社会の変動をもたらす、自然環境によって社会の発展パターンが決まる、といったように客観的な条件によって人類の歴史を説明するものと、民主主義や自由、あるいは特定の宗教などの理念が歴史を動かすと説明するものがあります。 また、おのおのの社会の内在的発展を見ようとする歴史観、社会の間の相互作用を重視する歴史観、さらに世界全体を見なければ意味がないとする歴史観など、歴史を見る単位による類型化もできます。 こうしてさまざまな歴史観を対比し、関連づけ、類型化することを試みたいと思います。また、理論の紹介するだけでなく、批判的に考察し、データで検証します。 文科系の皆さんの多くは大学受験のために世界史あるいは日本史の勉強をしたと思いますが、この講義では歴史観という軸によって学んだ知識を再活性化します。また、受験のために歴史を勉強したことがない人でも授業を理解し、興味が持てるように努めます。					
成績評価方法	期末試験とレポート。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50695	A	計量社会科学	石田 賢示	経済・統計	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	社会調査研究の考え方と実際 こんにち、さまざまな場で「データ」にもとづく議論、意思決定の重要性が認識されるようになってきている。社会調査データはそのうちの主要なものの一つである。グラフや表などできれいに整理された数値や図を見ると単純で簡単であるように見えるが、その背後にはさまざまな手続きや作業が存在する。この授業では、(1)「社会調査」がどのようなものか、(2)社会調査を実施するためには何をしなければ(しては)ならないか、(3)社会調査に類する各種調査にはどのようなものがあるか、(4)得られたデータをどのように整理するか、(5)社会調査を実践する上での倫理的問題、などを取り上げる。以上の点について理解し、自ら調査を企画・実践するための基礎的素養を身につけることが、本授業の目的である。					
成績評価方法	(1) 第2回以降、毎回 Google Forms 等を用いておこなう課題の評価 (30%) (2) 一部の回における課題の提出内容の評価 (30%) (3) 学期末近くに実施するオンライン上でのテストの得点 (40%) ※授業の進捗状況によって、(2)の内容を(3)と統合する場合がある。必要な説明は授業中におこなう。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50696	A	経済政策	安部 竜一郎	経済・統計	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	経済政策を問い直す 経済政策が常に論争的となるのはなぜか。国民経済を領域とする経済政策はグローバル経済のもとでどこまで可能なものか。環境問題や男女格差、貧困の是正が課題とされているにも関わらず、現実逆行しているように見えるのはなぜか。本講義では、こうした問いに答えるため、経済政策の基礎的な枠組みを学びつつ、通例のマクロ経済学や厚生経済学など「狭義の経済学」の枠組みを超えて、自然と人間-社会との相互作用という視点から経済政策を考える。					
成績評価方法	期末試験 90% 出欠 10%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50697	A	現代教育論	佐々木 英和	心理・教育学	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>教育・学校心理学</p> <p>誰もが経験し、かつ言葉としても認知している「教育」。意識的であれ無自覚的であれ、この「教育なるもの」の定義を「教え育てること」として初期設定したり、「学校の中に教育が存在する」と決めつけてしまったりする人が多くないか。もし「学校で教師が子どもたちに教え込むことが教育だ」という固定観念にとらわれているのみだとすれば、そこに根源的な間違いが潜んでおり、それにより教育実践の可能性が大きく制約されてしまうし、それどころか難題の発生源となることもある。実際、不登校問題など、学校教育の現場で「教師－児童・生徒・学生」関係がうまくいかない背景として、教育者なりの「善意」に基づいた「べき論」が被教育者に一方的に押しつけられるために生じる心理的抑圧の問題が存在しているケースも少なくない。いずれにせよ、教育に対する「思い入れ」の強さがそのまま「思い込み」の強化に転じてしまう愚から脱する必要がある。</p> <p>上記のような立場を基本とする本講義は、教育的営為に関して、視野を拡大して把握し直せるとともに、柔軟かつ根本的な発想の転換が図れるような力量を涵養しながら、受講者なりの見識を醸成し創造的に論じられる力を育成することを主目的とする。そのための学習支援戦略は、主に以下の三つである。</p> <p>第一に、大前提として、授業構成を「一般教養の一分野としての教育を学ぶ」という発想と「教育を切り口として教養概念を問い直す」という発想との二本柱で成り立たせ、両者を交差させながら展開する。これにより、表層的には学校に焦点化されがちな教育問題の背景には、家族・地域社会・組織等における人間関係や各種メディアの影響などが複雑に絡みあっており、深みと広がりのある心理社会的問題が存在していることを確認する。</p> <p>第二に、「教育現場において生じる問題及びその背景」に効果的に迫っていくための手法として、教育問題を「教育の論じられ方の問題」として扱うことを出発点にして、教育学的知識や実践事例などを参照しながら、教育について多角的に検討することにより、受講者が抱えがちな諸々の固定観念を流動化させていく。特に、教育イメージを子どもや学校だけに限定しないとともに、それを「教える－教わる」関係から解放することにより開かれてくる様々な可能性および課題について考察していく。</p> <p>第三に、「教育現場における心理社会的課題及び必要な支援」を考える際に、「教えこみ」から「学びあい」への転換こそが、教育実践として有効であることを、単なる知的理解としてだけでなく、体験的に味わってもらおう。具体的には、受講者どうしでペアやグループを組み、お互いの話を傾聴しあう実習を行うことなどにより、親や子ども達、悩みを抱えた教師などに対する接し方を実感してもらい、コミュニケーション問題の解決に不可欠なスキルの基本を経験できるように配慮する。</p>					
成績評価方法	<p>学期途中と学期末とで2回程度レポートを実施し、それらを基本として成績評価する。この際、単に「こなす学び」の域にとどまらずに、「創り出す学び」の域に達しているかどうか、評価ポイントの一つになる。なお、授業出席等の日常的要素は、原則的に加点要素として扱う。</p>					
教科書	<p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook</p> <p>佐藤晴雄・佐々木英和 社会教育経営実践論 放送大学教育振興会 978-4-595-32315-7</p> <p>講義内容に沿う形のプリントやパワーポイント等も配布する。</p>					
ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50982	A	教育臨床心理学	石垣 琢磨	心理・教育学	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>臨床心理学概論</p> <p>臨床心理学は、多様な個々のクライアントの具体的福祉向上をめざす、実践（心理臨床）のための「学」である。しかし、それを学問体系として、あるいは、科学として理解するためには、精神分析学や精神医学とならび、認知・発達・社会などの心理学諸分野の知識が不可欠である。本講義では、「発達」をキーワードに、「臨床心理学の成り立ち」についての理解を目的とする。</p> <p>今回の講義では、学生諸君自身の身近な問題を題材に検討していきたいと考えている。</p>					
成績評価方法	<p>期末試験を行う。</p>					
教科書	<p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook</p> <p>齋藤憲司・石垣琢磨・高野明 大学生のストレスマネジメント－自助の力と援助の力 有斐閣 978-4-641-17456-6</p>					
ガイダンス	<p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

総合科目 C (社会・制度)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51102	A	教育臨床心理学	前田 基成	心理・教育学	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	臨床心理学概論 近年、いじめや不登校の問題行動のほか、自然災害や犯罪被害に関連して心のケア、カウンセリングということが社会的に注目されている。本講義では心の健康である精神保健、適応論と不適応、中学生・高校生の青年期に見られる問題行動などについて、その心理的メカニズムを臨床心理学の基礎知識に基づいて学習する。					
成績評価方法	定期試験（期末試験）による。					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51328	A 1	高等教育論入門	両角 亜希子	教育学部	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	高等教育論入門 この授業は、自身の経験を超越して大学を理解する機会を提供することで、受講生の学生生活の一助とすることに加えて、大学そのものへの関心を深めてもらうことを目標としています。そのために、学生生活に関わるいくつかの題材を取り上げ、日本の動向だけでなく諸外国の状況も踏まえながら、大学や学生生活のあり方を受講生と一緒に考えます。					
成績評価方法	授業への参加状況・リフレクションシートの提出状況や内容ならびに最終レポートによって総合的に評価します。最終レポートの内容は最後の授業でアナウンスします。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51326	A	教育実践・政策学入門	宮田 玲	教育学部	月 4	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	教育実践・政策学入門 この授業は、教育の「現場」と「制度・政策」がそれぞれどのように動いているのか、また両者がどのように関係しているのかを理解したうえで、現代の教育課題を分析する視点を獲得し、それらの課題について自分で考えることができるようにすることが目標である。					
成績評価方法	教育の実践や政策に関わる領域は多岐にわたる。この授業では教育学部教育実践・政策学コースの教員 11 名が各回を担当し、学校教育、教育行政、社会教育・生涯学習、図書館情報学の研究分野について、教育実践と制度・政策の実態、および相互の関係がどう展開しているのかについて、基本的な事項を含めながら講義を行う。					
教科書	出席および授業内提出課題によって総合的に評価する。なお、課題未提出が 4 回以上の場合、単位は認められない。					
ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51325	A	教育学のフロンティア	山名 淳	教育学部	金 5	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	教育基礎科学で読み解く現代社会と教育 「教育とは何か」「善き人・善き市民になるとはどういうことか」といった教育の最も根本的な問いについて、哲学、歴史学、人間学、臨床哲学といった様々なアプローチから考察し、教育についてさらに深く学ぶための足場を提供する。教育学部の基礎教育学コースの教員がオムニバス形式で授業を構成する。各教員の専門分野における最新の研究成果を踏まえて考察する機会を提供することにより、教育学の豊かな可能性や研究の魅力を伝える。					
成績評価方法	本授業の履修によって、(1)教育のアクチュアルな問題に接近することができる、(2)哲学、歴史学、人間学、臨床哲学におけるそのための方法や知識を学ぶことができる、(3) 教育と人間形成の問題領域に対して学問に基づいた幅広い視野と関心を獲得することができる。					
教科書	各担当教員によるレポート試験と、授業での平常点を総合する形で評価する。レポート試験については、詳しくは授業時に説明する。					
ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

総合科目 D (人間・環境)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50983	A	環境物質科学	角野 浩史	化学	金 2	1年 文科 理科
<p>講義題目 物質循環と環境化学</p> <p>授業の目標概要 環境問題は近年、高濃度汚染による局地的な被害（いわゆる公害問題）から低濃度汚染による地球規模の慢性被害へと、質的に変化を遂げてきた。環境中に排出された化学物質はどのような挙動をとり、どのような運命をたどるのであるか。そのことを考える際、忘れてはならない事は、もともと天然においても化学物質は動いているのであり、地球上での循環・滞留を繰り返しているという事である。</p> <p>本講義では、環境化学・地球化学の立場から、環境中における種々の化学物質・元素の自然の分布とそれに対する人為の影響について検討する。具体的なテーマとしては、CO₂による地球温暖化、フロンによるオゾン層破壊、酸性雨などについても取り上げる。</p> <p>成績評価方法 定期試験と平常点</p> <p>教科書 プリントを配布する。／Will distribute handouts</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50905	A	生態学	池田 啓、平 尾 聡秀	生物	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 生態学</p> <p>授業の目標概要 生物と環境との関わりや生物同士の相互作用を学ぶことで、自然界における人間を含めた生物のつながりを理解できるようになることを目標とする。</p> <p>生物の生活史や環境適応といった個体レベルの現象から個体間・種間における相互作用、生物を中心に形成される自然システム（生態系）の仕組みに至る多段階の階層を網羅するように解説する。</p> <p>成績評価方法 期末試験</p> <p>教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50208	A	社会環境論	梶田 真	人文地理学	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 地域開発と地域の動態</p> <p>授業の目標概要 地域的不均衡発展という言葉があるように、経済成長は必ずしも全国一律の発展をもたらすわけではなく、成長地域と成長から取り残される地域を生み出すこととなります。このような中で、中央政府は“均衡ある国土の発展”といった観点から、経済成長から取り残された地域の開発を推進し、後進地域自身も格差を埋めようと様々な開発事業を行ってきました。しかし、こうした政策・取り組みは意図するような成果をあげることができたのでしょうか。また、経済面以外の部分を含め、地域にどのような影響を及ぼしたのでしょうか。本講義では「虫の目」の視点から、個別地域の動態を丁寧に跡づけていくことによって、これらの点について考えていきたいと思います。</p> <p>成績評価方法 成績はレポートによって評価します。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51103	A	社会生態学	田中 雅大	人文地理学	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 地理学からみる都市と社会</p> <p>授業の目標概要 本講義では、都市をめぐる様々な問題を地理学的視点で理解するための方法を学ぶことを目標とする。まず、都市を生態系のように捉える社会生態学を取り上げ、その歴史的展開と方法論的限界を検討する。その上で、その先に登場した都市社会地理学という分野について概説する。</p> <p>成績評価方法 期末レポートと授業中の課題</p> <p>教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>						

総合科目 D (人間・環境)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50178	A	地域生態学	鎌倉 夏来	人文地理学	月 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		産業立地と都市空間の変化 ・この授業では、(1) 産業立地や産業立地政策に関する基礎理論や考え方、(2) 産業立地政策の歴史的展開、(3) 産業立地と都市空間の変化について講義形式で学びます。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		コメント提出と、最終試験による。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50984	A	地域生態学	丹羽 雄一	人文地理学	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		地球環境・自然災害の地理学的解析 現代社会では、地球温暖化などの地球環境問題や巨大地震などの大規模自然災害が注目を集めている。こうした地球環境問題や自然災害と適切に向き合い、持続可能な社会を実現するための基礎として、地球規模から地域規模まで様々な空間スケールで生じる自然現象を、人間活動の影響の見られる現在(最近数 10 年～数 100 年)から人間活動の影響の見られない長期(数千年～数 100 万年)といった多様な時間スケールで捉える、自然地理学の視点が重要である。 本講義では、地球環境・自然災害の地理学的解析について扱う。前半は、長期スケール(最近数千年～数 100 万年間)の気候変動や海水準変動に関する話題を取り上げる。前半の内容を通じて、近年の地球温暖化などの地球環境問題を長期的な環境変動に位置付けて捉える考え方を養うことを到達目標とする。後半は、地震に関する話題を取り上げる。後半の内容では、最近数千年～数 100 万年間といった時間軸の中で地震を捉えることが、防災・減災においてどのような意味を持つのか、理解することを到達目標とする。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		平常点とレポートで成績評価をします。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50295	A	人間行動基礎論 (理科生)	今井 久登	心理・教育学	火 2	1年 理科 2年 理科
講義題目 授業の目標概要		心理学概論 心とは何か、そして心を探究する学問としての心理学とは何なのかを解説する講義である。 本講義では、出発点として「コミュニケーションの機能不全(うまくいかなくなった)」事態を想定し「ど」のような対応かありうるのか」という問題を經由しつつ、最終的に「心」が何なのかということについて各自がなんらかの答えにたどり着くことを目指して、人の心の理解のために現在までに蓄積されてきた心理学の知見をたどるといふ方略をとる。 具体的には、「人の心の基本的な仕組み及び働き」について、「自己と他者」「生得と環境」「生涯発達」「社会性」「身体論」などの視点を持ちながら、現在までに蓄積されてきた心理学の数々の知見を概観する。これに加えて、心の不全や心の働きの基礎としての知覚や認知、そして学問としての心理学・臨床心理学の成り立ちにも触れる予定である。 解説の立ち位置としては、計算論的・生理学的なメカニズムの解説というよりは、機能的な側面からの解説が主である。 半期の講義が終わった後に、受講者が人間理解の各自の地平をそれぞれのやり方で拓いてみようとした時、その方法のひとつとして心理学的な視点をういたり、心理学の知見を援用してみたりといったことができるようなことが最終目標である。 心との付き合い方を考えながら、人間の心の働きの複雑さと華麗さ、あるいは単純さと愚かさについて知ること、人間の心についての各自の理解を構築し、深化させてほしい。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験によって評価する(持ち込みは許可しない)。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time				

総合科目 D (人間・環境)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50723	A	情報認知科学	岡田 浩之	心理・教育学	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		<p>知覚・認知心理学 記憶、推論、問題解決などの高次認知における、内的資源(情報処理機構、経験的知識、生得的制約)と外的資源(状況、道具、他者)の利用、およびその間の相互作用について論じる。 人の感覚・知覚等の機序及びその障害や人の認知・思考等の機序及びその障害について考え、これらを通して、人工知能(機械の知性)との対比において、人間の知性を多様な資源の巧みな組合せによる創発として捉える可能性を提示する。</p>				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>学期末試験(100%)による。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50076	A	認知脳科学	石金 浩史	心理・教育学	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		<p>神経・生理心理学 <目標> ・「脳神経系の構造及び機能」を説明することができる。 ・視覚の特性とその神経科学的基盤を説明することができる。 ・「記憶、感情等の生理学的反応の機序」を説明することができる。 ・「高次脳機能障害の概要」を説明することができる。 ・脳と心の間関係を調べる実験的技法を研究に活用できる。 <概要> 本講義では様々な精神機能の実現に深く関与する「脳」を研究対象とする神経科学分野に関して、いくつかのトピックを選び、基礎的な知識から最新の知見まで紹介する。この分野は心理学・生物学をはじめとして医学・工学・物理学等が結集してその解明に突き進んでいる学際的なフロンティア領域であり、幅広くその応用が期待されている。そして、脳研究の知見は「我々がいかなる存在であるのか」ということを垣間見せてくれる。授業では「心の諸特性」とそれを司る「脳のメカニズム」がどのような実験手法で解明されてきたのかを、視聴覚教材を用いて体験しながら学ぶ。講義では、まず、脳が実現している私達人間の視覚・記憶・感情などの心的特性を学ぶ。また、脳神経系の構造及び機能を学んだ上で、視覚特性を説明する視覚系の概要や記憶・感情等の生理学的反応の機序を理解する。また、高次脳機能障害の概要を学び、そこから示唆されたことを証明した実験研究などを紹介する。さらに、心理・生物データの特性や標準的な科学的取り扱い、およびそれらに基づいた論理展開や解釈の仕方も勉強した上で、原著論文のデータを交えつつ、「ニューロンの活動」から「皮質レベルの活動」、そして「行動や意識」のレベルにいたるまでの「脳」と「心」の間関係を包括的に理解することを目指す。 学期末試験により評価を行う。</p>				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50669	A	認知脳科学	幕内 充	心理・教育学	水 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		<p>神経・生理心理学 ヒトという生物が高度な文明を築くことが出来たのは言語・数学・描画を始めとする記号操作能力を核とする高度な認知機能によるものである。この認知能力を、それを可能にする器官である脳の機能とともに理解する。また、ヒト特有の認知が脳の器質的損傷によって損なわれた状態である高次脳機能障害についても論じる。</p>				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>筆記試験 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50437	A	適応行動論	齋藤 慈子	心理・教育学	火 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ヒトの心と行動を進化から考える ヒトは他の動物と同様、進化の産物である。したがって、ヒトの心と行動も進化の影響を受けたものと考えることが可能である。本講義では、そのような視点から、ヒトと他の動物の心の連続性を前提に、ヒトの心理や行動を理解する学問である進化心理学について紹介する。前半で進化とは何か、進化と心がどのように関連しているかを理解してもらうために、進化生物学の基本的概念について説明する。次に、ヒトがどのように進化してきたかを理解してもらうために、ヒトを産んだ系統である霊長類の特徴と人類の進化史について説明する。その後、ヒトの心理や行動（配偶、養育、協力行動など）の具体的な例について、進化的観点から解説を行っていく。 一般的な心理学とは異なる側面から、人間の心や行動を理解・解釈する視点を獲得することが期待される。					
成績評価方法	以下の通り予定している。 授業への参加 15% 期末試験 85%					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 長谷川寿一・長谷川真理子・大槻久 進化と人間行動 第2版 東京大学出版会 978-4-13-062230-1					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50569	A	社会行動論	北村 英哉	心理・教育学	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	社会・集団・家族心理学 本授業は主に専門領域で言えば、心理学、なかでも社会心理学領域の講義を柱とし、家族心理学を補う。社会心理学は人間関係、集団関係の心理学領域であり、三面記事的な「社会」とは異なる。人間についても、自然法則、経済法則などといった他の分野と同様、あるいは独自の形で法則性が見られ、心理学とは人間を科学的に研究・解析してその法則性を樹立する学問分野である。イメージとしては行動科学、人間科学、認知科学といった用語の方が適合するかもしれない。一方、常に社会との関係性をも意識し、広く人文科学と社会科学をつなげる領域総合的な観点を有することも社会心理学の利点と魅力である。社会心理学分野は多岐にわたり、個人の行動分野から対人行動、自己、対人相互作用、集団過程、集合現象、家族関係など広く、経済学や政治学とも密接な関係をもつ隣接分野である。本講義は全体に目配りしながら、「対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程」、「人の態度及び行動」、「家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響」など、「公認心理師」の社会・集団・家族の選択科目分野が学べるような講義になっている。 人間関係は誰もが一生経験し、どのような職業についても無関係であることはなく、しかしながら単なる「人間関係のノウハウ」のような通俗本に取り上げられているものとは異なる。その知見は、実験や調査などの実証研究を土台とし、定義された専門用語によってはじめて正確に描写、記述することができるきわめて専門的な知識である。その専門的知識は深めるほどに個人の独創的・創造的な応用によってより深く、鋭く日常と接続し、本人の技量にしたがって一生役立てていける知識基盤となる。そして重要なのはそれは自分ためだけではなく、他者のためにもなり、またそれは結局ひいては自分のためであることを利他行動の授業回において明確に示すであろう。また心理学は一般に方法の学問と言われるように、その内容だけでなく、研究方法、知の獲得の仕方に特徴と味わいがあり、物の見方の学習こそが一生用いていくことができる最も応用可能な点である。 心理学は題材として人間を俎上に載せ、またその人間のひとは他でもない自分自身であるだろうが、だからと言ってそれは学ばずして十分理解できるものでもなく、そのパースペクティブを獲得することがなければ一生気づかずに過ごしてしまう貴重な知見を豊富に含んでいる。とりわけ進化的なパースペクティブや体内物質、遺伝についての知見は、自分自身で気づくには圧倒的に不可能なアイデアであったり、鋭く実証的な科学的知見であったりする。そもそも統計解析を重視する心理学にあって、人と環境の交互作用は知見の中心であるが、人は直観的に「交互作用効果」が理解できるように頭脳がしつらえられていない。これはきわめて現代的な進展であり、そうした学問の進展は生涯学び続けなければ、どんどん古びてしまうものである。 世間で心理学や人間について誤った言説が溢れているのは人が容易に新たな知見を学習しないからであると言っている。受講者は一生にわたってこれらの知識を現代人として更新していったほしい。そういう意味で本講義の目標はよりよい現代人になることであり、基本的な人間の性質というものへの感受性を高め、その捉え方についてより科学的なスタンスを自分自身に確立させることを目標とする。					
成績評価方法	期末試験によって70点、小課題を1回行い10点満点の採点を行う。 リアクションペーパーを小レポートと捉え、各回2点を標準とする。初回の説明を参照。質問紙調査参加による加点もある。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 北村英哉・大坪庸介 『進化と感情から解き明かす社会心理学』 有斐閣					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

スポーツ・身体運動実習

スポーツ・身体運動実習		開講区分	A		
授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解(肌でわかる・体感する)のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。				
授業計画	第1回 種目選択(対面で実施予定:集合場所は教務課HPやUTOLで連絡する) 第2回から第13回 選択した種目での対面授業 天候等により授業実施場所が変更となることもあるので、9号館前の掲示板やUTOLのお知らせをよく確認すること。				
授業の方法	以上の授業計画が変更となる場合はUTOLを使って連絡する。 第1回目の授業で種目選択を行う。各曜限の開講種目とその内容は種目選択の際に説明するが、身体運動科学研究室ホームページ(URLは後述)にも掲示する。希望者多数の場合は抽選となり、履修できない場合があるので注意すること。 基本的には選択した種目の実技を中心に授業が展開されるが、ルールの説明、技術の解説、研究内容の紹介など、講義の要素もある。実技と講義のバランスは種目や授業回により様々である。 ゴルフでは、東大検見川運動場でのラウンド実習が行われ、3回分の出席となる(詳しくは種目選択時に説明がある)。				
成績評価方法	出席:スポーツ・身体運動実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席(遅刻、早退、見学を含む)はきわめて重視される。 達成度:各自が選択したコース・実技種目に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。 その他:態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。				
教科書 履修上の注意	教科書は使用しない。/Will not use textbook 実習形式であり、また選択科目であることから、原則として授業は全て対面式で行う。したがって、対面で授業を受けられることが履修の条件である。ただし、雨天時の講義など実習でない部分についてはオンラインで実施する可能性もある。 種目選択後のキャンセルや種目変更は特別な事情(病気、怪我など)が無い限り認めない。 同一セメスターに2コマ登録することは可能であるが、希望者多数の場合は1コマ目の登録者が優先的に履修できる。 同一セメスターに3コマ以上登録することは認めない。 必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。 更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。 体育館は土足、飲食禁止である。				
学習上のアドバイス	盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。 後述する関連ホームページ内のWebシラバスを閲覧するにはECCSクラウドメールへのログインが必要である。 種目担当教員のメールアドレスはUTOLのお知らせに掲載予定である。				
関連ホームページ	https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること					
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス	
50138	月 3	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2年 文科 理科	
50296	火 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2年 文科 理科	
50570	水 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2年 文科 理科	
50985	金 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2年 文科 理科	

スポーツ・身体運動実習（メディカルケア）

スポーツ・身体運動実習（メディカルケア）		開講区分	A
授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。		
授業計画	第1回 種目選択（対面で実施予定：集合場所は教務課 HP や ITC-LMS で連絡する） 月3、火2、水2、金2のいずれかでスポーツ・身体運動実習の種目選択に参加し、希望するメディカルケアコースの登録をする。出席できない（できなかった）場合は担当教員にメールで連絡する。 第2回以降 各自の選択した曜限での授業（原則として対面授業だが、一部はオンライン授業となる可能性もある）		
授業の方法	各自の状況に応じて、各自に合った運動を処方して行う。 毎回目録をつけて、自己の状況を確認する。		
成績評価方法	出席：身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 達成度：各自が選択したコース・実技種目に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。 レポート：実習内容に関連したレポートを提出させ、知識、理解度、文章表現力などを評価することがある。レポートのテーマと評価方法は教員ごとに異なる。 その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。		
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN		
履修上の注意	基本的には健康診断等で保健センターから指示された者が受講するが、本人の申し出があっても担当教員が認めた場合は受講できる。また学期途中でも運動に制限が生じた場合はメディカルケアコースに移動すること、また回復により元の授業に復帰することも可能なため、担当教員とよく相談すること。 実習形式であり、また選択科目であることから、原則として授業は全て対面式で行う。したがって、対面で授業を受けられることが履修の条件である。ただし、実習でない部分についてはオンラインで実施する可能性もある。 必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。 更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。 体育館は土足、飲食禁止である。		
学習上のアドバイス	盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。 後述する関連ホームページ内の Web シラバスを閲覧するには ECCS クラウドメールへのログインが必要である。		
関連ホームページ	https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html		

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50209	月 5	スポーツ・身体運動実習(メディカルケア 1)	実技担当	2年 文科 理科
50499	水 1	スポーツ・身体運動実習(メディカルケア 2)	実技担当	2年 文科 理科
50015	月 1	スポーツ・身体運動実習(メディカルケア 3)	実技担当	2年 文科 理科
50244	火 1	スポーツ・身体運動実習(メディカルケア 3)	実技担当	2年 文科 理科

時間割 コード	開 講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51144	A	スポーツ・身体運動実習II	吉岡 伸輔	スポーツ・ 身体運動	集中	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>スキー・スノーボード実習 スキー・スノーボードは、代表的な冬季スポーツである。これらの種目は、雪山という特殊な自然環境のもとで、滑走のための特別な用具を用いて行われる。そのため、安全で爽快な滑走を楽しむためには、事故防止のための知識や特殊な身体操作法の獲得が必須となる。本授業では、スキー場での学外実習により、生涯スポーツとしての知識・技能の獲得を目指す。</p> <p>実習のための交通、宿泊、傷害保険、リフト代等の費用負担が必要となる。用具を持っていない者は、用具レンタル代が別途必要となる。</p> <p>受講要件もあるため、受講を検討する者は下記リンク先の「オンラインガイダンスおよび受講要件」を必ず読むこと。詳細は10/9開催のオンラインガイダンスで説明する。 https://docs.google.com/document/d/1N3zpkCWjExD0WXoI9h17chyjgQ8I7QA5/edit?usp=sharing&ouid=117436257426015575532&rtfpof=true&sd=true 1年生のみ履修可能。 募集定員(予定): スキー35名、スノーボード15名 (希望者多数の場合は抽選、 スキーはスキーの未経験者～中級者(目安:生涯滑走日数30日程度)を、 スノーボードはスノーボードの経験2日以上～初級者を優先)</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>※A セメスター第2週目にオンラインガイダンスを開催する。 内容: 授業概要、費用、受講手続き等について 日時: 10/9(水) ①12:30～12:50 ②18:40～19:00 (①と②は同内容。いずれか一方に参加すること)</p> <p>実技上達、受講態度、技術の理解、および実技実習に関するレポート プリントを配布する。/Will distribute handouts 特定日に行う。/Will conduct guidance at another time</p>					

時間割 コード	開 講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50986	A	身体運動科学	中澤 公孝	スポーツ・ 身体運動	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>身体運動科学 授業の目標: ニューロリハビリテーションやスポーツ科学の理論基盤としての身体運動科学、特に神経科学の一領域であるヒトの運動制御を学び、実用科学としての身体運動科学の意義を、臨床応用の事例を通じて理解することが目標。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>出席状況。小テスト、レポートを総合的に評価する。 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 中澤公孝 パラリンピックブレイン 東大出版 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開 講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50077	A	健康スポーツ医学	福井 尚志	スポーツ・ 身体運動	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>健康スポーツ医学 現代生活では身体を動かす機会が少なくなったことで健康がさまざまに障害されることが多くなった。糖尿病、高血圧、脂質異常症、心臓病、脳血管障害などの生活習慣病がその代表であるが、肩こりや腰痛も運動の不足と関連している。これらの健康障害を改善しまた予防するためにスポーツがすすめられる。一方、スポーツを過度に行ったことでかえって健康を害する人もいる。運動のしすぎによって病気になり、あるいはスポーツ中に怪我や障害を負うことも少なくない。スポーツ障害の原因は何か、予防のために何をすればよいか、また障害が起った場合スポーツ復帰のためにどういうことをすればよいかを考え研究するのがスポーツ医学である。本講座では内科、整形外科、精神科、歯科の専門家から現代人が知っておくべき健康医科学、スポーツ医学などの医学的知識および健康に関する知識を学ぶ。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>筆記試験(講義を分担する教員がそれぞれ出題する) 教員によっては出席状況も考慮して評価する場合がある。 授業中に指示をする。/Will specify at class time 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50246	A	身体生命科学	高橋 祐美子	スポーツ・ 身体運動	火 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>食事や運動で(あるいは運動をやることで)起こる身体の変化 日頃の生活の中で、身体は食事や運動などの刺激に対して様々な応答をしています。応答の積み重ねが適応となって、皆さんの健康を決める因子となります。この授業では、運動や食事が身体の中で起こす応答や適応について、生命科学的な知見を中心に概説します。</p> <p>授業内容は鵜呑みにするのではなく、皆さん自身で考えて取捨選択してください。本授業で得た知識、あるいは考えたことを、自身および身近な人の健康に役立ててられるようにしてください。</p> <p>この授業は生物選択でなくてもついていける内容にする予定です。高度に専門的な内容は扱わないつもりです。本授業で沸いた興味を深めたい場合は、ご自身で勉強するか、進学選択で教養学部統合自然科学科のスポーツ科学コースをぜひ選んでください。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>平常点(授業内での簡易レポートを含む)を35%、中間・期末レポートを65%として評価する。</p> <p>教科書は使用しない。/Will not use textbook</p> <p>特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50698	A	情報メディア伝達論	酒井 麻千子	情報メディア委員会	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>Law and Images : 「イメージ」の/を取り巻く技術の発展と法の対応 デジタル化の進展やインターネットの普及によって、絵画、イラスト、写真といった「イメージ」の制作・流通・消費は身近で日常的なものとなった一方、著作権・肖像権侵害等をはじめとするトラブルも頻繁に生じている。さらに近年の画像生成AIの発展により、新たな法的問題も提示されている。この講義では、「イメージ」と法をめぐる生じた・現在進行形で生じている様々な問題について、関連する法律等の基礎的な知識を獲得し、履修者自身の研究分野・興味関心とも紐付けながら、多角的に検討する能力を培うことを目標とする。</p> <p>法学を専門としない履修者も、興味のある問題についてアンテナを張り、考えるきっかけを作る一助として授業を活用できるように、身近な事例や、話題となった事例を積極的に取り上げて授業を進める予定である。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>①授業への出席・各回終了後のミニ課題の提出：50%</p> <p>②最終レポートの提出：50%</p> <p>教科書は使用しない。/Will not use textbook</p> <p>第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50211	A	情報メディア表現論	酒井 慎一	情報メディア委員会	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>人々の行動に結びつく情報伝達/Communication of information to make people disaster prevention 情報メディアは、多くの分野にまたがる学際的な分野である。ここでは、情報を作り送り出す側と情報を受け取る側とのコミュニケーションの場やその手段を、情報メディアと呼ぶことにする。この「情報メディア表現論」では、情報をどうやって得るのか、どんな方法で伝達するのか、そのデータをどう解析処理するのか、といった理工学的な研究、および、その結果をどのように可視化するのか、何を見せたら人々に伝わるのか、どんな表現が人々の行動に結びつくのか、その結果、社会がどう変わっていくのか、といった人文社会学的な研究の両方を対象とする。今回は、我々の生存に直結する災害情報(地震発生と火山噴火)を主な題材として、自然災害に直面した時に生じる情報メディアの課題を考えていく。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>成績は、主にレポートによる。特に出席は重視しないが、授業に関連した課題に対する回答も参考にする。/Results are put by a report mainly.</p> <p>教科書は使用しない。/Will not use textbook</p> <p>第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50906	A	科学技術基礎論I	廣野 喜幸	哲学・科学史	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>科学の方法を知り、科学リテラシーを高める 科学は日々、自然に関する知識を量産している。そして、技術やテクノロジーはそうした知識をもとに、人間の欲望を満たし、私たちに食い込んでいる。すでにスマホを手放すことができなくなっている人も多いだろう。往々にして私たちは、科学や技術・テクノロジーをブラックボックス化して、その成果のみを享受するだけで満足している。そうした人々には、科学が生産する知識は等し並みに映じていることだろう。しかし、科学が生みだす知識は、信頼度の点で大きく異なる。信頼すべき知識もあれば、危うい言説もある。今日の科学技術が浸透している社会に生きている身としては、科学技術知識のそうした本態を見抜く眼力を養っておいた方がいいように思われる。そのためには、科学のアプローチ法、科学知識が生みだされるプロセスの理解が欠かせないだろう。本講義では、科学の方法について理解を深め、科学技術時代を生きるための科学リテラシーの基礎を築くことを目指す。</p>					
成績評価方法	<p>レポートないし試験: 70% 科学方法論の要諦がどのくらい身についたかを問う問題が出される。 (レポートにするか、試験にするかは、受講生と相談して決める予定である。) 平常点評価: 30% 講義中に課題を2~3回ほど課す。提出者は1回につき10~15点ほどが加点される。まともな解答であればすべて満点が与えられる。</p>					
教科書 ガイダンス	<p>プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50297	A	科学技術社会論	福本 江利子	情報・図形	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>科学技術社会論入門 【授業の目標】 科学技術社会論 (Science, Technology, & Society) の学術的な基礎や事例に触れ、科学技術と社会の間で生じる諸課題について、自身で考えてみる。 【授業の概要】 現代社会には科学技術を抜きには考えられない課題群がある一方で、科学や技術の知だけでも解決できない社会の諸側面の課題が多くある。そうした課題は、環境問題、医療、災害、人工知能関連技術の発展、新型コロナウイルスの流行、格差や差別、デュアルユースなど、さまざまな場面で立ち現れる。 科学技術社会論は、科学や技術と社会との界面において生じる事象や問題を、社会学、文化人類学、歴史学、哲学、政治学、経済学および科学計量学、科学技術政策論などのアプローチを用いて探求する分野である。科学技術社会論の扱う課題群には、必ずしも答えがないけれども現実的に対処しなければならないものが多い。なかには、時間やコストの制約によって課題解決や意思決定のために適切な専門知を得ることが難しい場合や、専門知が存在しても社会的判断に論争がある場合もある。議論や対話を続けること自体に意義があるもの、さらには問いの枠組みや前提自体を問う必要のあるものもある。また、近年では、ソーシャルメディアの普及のように過去にはなかった要素も出現している。 本科目では、科学技術社会論におけるさまざまな事例を通して、科学的合理性と社会的合理性、「固い」科学観や作動中の科学、科学者の社会的責任、科学的助言、科学と社会、信頼、科学コミュニケーション、法と科学、事前警戒原則などのテーマを扱う。授業の中で、科学技術社会論のものの見方に触れ、物事を所与のものとして健全な懐疑や多角的視点をもって自身で考えてみることを期待される。</p>					
成績評価方法	<p>レポート 70%、平常点 30%</p>					
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51296	A	現代工学概論	泉 聡志	工学部	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>四力学とデザイン入門～デザイン×キカイ 機械工学科で伝統的に教えられてきた四力学（ヨソリキガク）は、機械力学、材料力学、熱工学、流体力学からなり、自動車、鉄道、航空機、ガスタービン、スマートフォン、医療器械など、あらゆるものの設計に必須の知識となっている。さまざまな機械を生み出すためのいわゆるエンジニアリングには、デザインの思考と発想力が不可欠である。そしてその発想をかたちあるものにする設計する技術、これを実際にかたちづくる生産加工技術、この2つの連携が我々の生活を豊かにする様々な機械を生み出す。</p> <p>講義は「デザイン」の観点から機械工学科で教育・研究されている様々なトピックスを学ぶ。四力学の材料力学（ザイリキ）・熱力学（ネツリキ）・流体力学（リュウリキ）・機械力学（キリキ）、ロボティクス、モビリティ、レーザ、ヒト、カンセイ、プロセスなどをキーワードに</p> <p>また、新規事業創出の考え方の概略を学び、自分の中のモヤモヤをアイデアに変えていくワークショップを行う。具体的には、「アナロジー思考」によるアイデア発想方法や「リーン・スタートアップ」によるアイデアの磨き方を実践的に学ぶ。</p>					
成績評価方法	出席及びレポートによる					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51311	A	現代工学概論	川中 孝章、大山 雄己、 趙 漢居、高木 剛、 酒井 康行、山田 淳夫、 大澤 幸生	工学部	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>工学概論 工学とは、科学技術を用いて経済的・社会的価値を生み出すための学問である。対象は宇宙、地球、地域、都市、社会、産業、製品、生活から生命、分子、原子まで、多岐にわたる。生み出される価値も、地球環境の保全、経済発展、利便性、快適性、安全安心から心の豊かさまで、幅広い。一方で、現代社会が直面する課題は、差別、貧困、気候変動、社会の超高齢化、ウイルス感染症など、複雑さと困難さを増している。工学が真に人類の福祉へ貢献し、未来社会を切り拓いていくためには、これらの課題を克服するための解決策を世に提示しなければならない。</p> <p>本講義では、現代社会における工学分野の複数の課題に対して、それぞれ2回ずつ講義を行い、初回は専任教員による学術面からの講義、2回目はそれに関連する産業界の方の講義に加えて、後半に専任教員と学生を含めた比較的長めの質疑時間を設け、教室全体でその分野を深掘りしていくことを目指す。全13回の講義の中で、工学の全体像を把握するとともに、工学の基底をなす基本的な方法論を理解する。</p>					
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・6つのサブテーマに関してそれぞれ課題として与えるレポートと、出席により総合的に評価する。 ・ただし、レポート提出3回未満の学生には、出席回数に関係なく単位を付与しないので、注意すること。 ・レポートの締め切り：各サブテーマの2回目講義の1週間後。 					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51302	A	現代工学基礎I	天野 薫	工学部	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>物理情報システム工学 -あらゆる工学を計測・制御・認識で斬る-</p> <p>物理的, 人工的, 社会的, どんな対象であれ, そこに望みの機能を工学的に実現する際,</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 対象で生じる物理現象のモデリングと解析, 2) 計測による物理現象の本質の情報化, 3) 情報処理と制御による所望の機能の最適な実現 4) 情報の認識と実世界の理解, <p>が重要となる. 本講義は, 駒場生にこの工学的的方法論のエッセンスを講義することを目的とする. 具体的には, 以下の各項目に関し, 最先端の事例を交えつつ講義する.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「非侵襲脳機能イメージングの基礎」 脳情報の解読と制御の手法とその応用 ヒトを対象とした非侵襲脳機能計測および非侵襲脳機能制御の手法を概説し, それらの手法を用いた代表的な研究を紹介する. 視覚情報のデコーディングやブレインマシンインターフェイス (BMI) 関連の最新研究についても概説する. また, 専用の計測装置を使わずにスマホのアプリだけでアルファ波を計測する技術とその応用についても紹介する. 2) 「物理情報学を支える波動現象」 波動現象は物理情報学の根幹を支える物理現象である. 人間や動物が知覚する外界の情報は, 波動の一種である光や音として伝達される. 20世紀には粒子を波動として捉える量子力学によって電子デバイスの技術が大きく進展し, 電磁波による無線通信や光ファイバで伝送される情報が人々の生活を一変させた. 現代においても先端的なコンピュータ開発や通信技術, 生体現象のセンシングと制御, など, 物理情報学の主要分野において欠くことのできない存在であり続けている. 本講義では, そのような波動現象を理解し活用するための数理と物理を整理しながら, 最先端の研究事例をまとめる. 特に情報学の中でこれまで未開拓であった触覚の活用が, 空中を伝搬する超音波によって大きく進展しつつある現状を紹介し, その可能性を議論する. 3) 「ロボットシステム」 物理世界へ働きかけるシステムの構築 物理世界と情報世界をつなぐシステムの例としてロボットシステムがある. ロボットの設計プロセスは自由な発想と物理世界の制約条件とをすり合わせる作業であり, 簡単な設計事例を用いて各工程を説明する. また, システム医工学研究室での具体的な開発事例を紹介し, ロボットシステム開発の勘所・肌感を説明する. <p>レポート課題3つで評価する. 教科書は使用しない. / Will not use textbook 第一回授業日に行う. / Will conduct guidance at first time</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51301	A	現代工学基礎II	関 真一郎	工学部	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>物理をエンジニアリング</p> <p>物理学とエンジニアリングは互いに切っても切れない関係で発展してきました. 産業革命に刺激されて発展した熱力学, 電磁気学の方程式から生まれた電信技術, ドイツ鉄鋼業から生まれた量子力学, など歴史を繙くとその例には事欠きません. そして現代, その関係はどのようになっているのでしょうか? この講義では, 身近だけれども不思議な現象を紹介するところから初めて, その謎解きとその奥にひそむ物理を解説し, さらに現代科学技術との関係までのストーリーを下記の4つのテーマについてそれぞれ「読み切り」で示します. そして, 物理がエンジニアリングに「応用される」というだけの関係ではなく, エンジニアリング自体が物理学を変革してゆく様子を皆さんにお伝えします.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 未来材料 - サステナブルな社会へ 2, 量子技術 - 量子をつくる, はかる, つかう 3, 光の物理学 - 光と原子の物理学: レーザーで原子を冷やす 4, 理論物理学の挑戦 - 基礎方程式の力 <p>成績評価は出席とレポートで行う. 教科書は使用しない. / Will not use textbook 第一回授業日に行う. / Will conduct guidance at first time</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60215	A 2	現代工学基礎II	梅田 靖	工学部	火 2 金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>デザイン思考によるイノベーション入門</p> <p>イノベーションを引き起こすためには、技術的、もしくは、非技術的な新しい発想が不可欠である。ただやみくもに考えても新しい発想が出てくる訳ではなく、そこには適切な思考方法がある。本講義では、イノベーションを引き起こすことが可能な人材になるために、広い意味での工学設計の分野で注目を集めている4つの思考法（本講義では、「イノベーションのための4つの道具」と呼ぶ）を学ぶ。4つの道具とは、デザイン思考、サービス設計、体系的設計方法論、および、ロジカル思考である。この4つの道具は、2つの座標軸によって分類できる。第一の軸は、より論理性、体系性を重んじる「論理的思考」と、より思考の柔軟性、発想の豊かさを重んじる「デザイン思考」である。第二の軸は、対象を、ものを中心に考える「実物指向」と、ものだけでなくサービスを含めて考える「サービス指向」である。</p> <p>本講義のメッセージは、この4つの道具を学ぶことにより、各道具を比較し、各道具の特徴と限界を知ることができ、結果としてこの4つの道具をバランス良く使い分けることで様々な新しい発想を生み出すことが可能になる、ということである。</p> <p>手法は、チームによる演習を通して実践的に学習し、最終回で与えられた課題に対してイノベティブな提案を行うプレゼンテーションを行う。</p> <p>演習課題は、2015年度は「一人暮らしの大学生の健康を増進する製品/サービス」、2016年度は「自分たちの欲しい学内ファシリティ」、2017年度は「超スマート社会における精神的 well-being を実現するための製品やサービスの提案」、2018年度は「一人暮らしの大学生の時間を有効に使う製品/サービス」、2019年度は「卒業後のキャリア形成に向けたスキルアップに役立つ製品/サービス」、2020年度は「コロナ禍の中で、寂しい一人暮らしの学生が救われる方法」、2021年度は「ポストコロナにおける私の明るい生活を実現するための方法」、2022年度は「大学生の健康を増進する製品/サービスの提案」、2023年度は「学生生活のモチベーション維持」であった。今年は何が出てくるか？</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>出席、演習課題、レポート、プレゼンテーション、演習への積極性を総合して評価する。</p> <p>プリントを配布する。／Will distribute handouts</p> <p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51310	A	社会システム工学基礎II	羽藤 英二、中須賀 真一、 柴崎 隆一	工学部	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>人間社会と交通システム</p> <p>交通システムは、現在の経済・生活・社会において、なくてはならないものである。また、近年の増え続ける地震などの災害や度重なる事故のことを考えると、交通システムと社会のあり方は新しいステージへと向かう必要がある。本講義は、道路交通、鉄道、航空など様々な交通システムと人間・地域社会との様々な関わりやそうした交通システムを支える様々な技術について、社会基盤学、都市工学、機械工学、電気工学をはじめとする「交通」の専門家が、歴史、人、環境、インフラ、車両、動力、制御などといった切り口から、最新の技術的展望や現代の交通政策的課題を含めて包括的に講義する。</p>					
成績評価方法	<p>1)課題内容：全4回のレポートの合計によって評価します(各25点)。各講義で出されるレポート課題に対して、前期(第1回-第7回)から2課題、後期(第8回-第13回)から2課題を選んで、レポートを提出してください。4回提出された場合のみ、成績評価の対象となりますので、注意してください。</p> <p>2)提出方法：レポートは、原則として前期は12/4 17:05、後期は1/29 17:05までにUTOL上で提出するものとします。</p> <p>3)レポートの体裁：表紙は不要。1課題ずつ別ファイルとして提出のこと。ワードファイル(.do)</p>					
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51295	A	社会システム工学基礎II	小泉 秀樹、 中島 直人	工学部	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>TOKYO: 東京の都市計画</p> <p>さまざまな人々を惹きつけてやまない世界一の大都市 TOKYO それは、どのように発展し、制御されてきたのか、そしてどこに向かおうとしているのか？ 本講義では、TOKYO/東京を題材として、都市の発展とその制御について、歴史、文化、環境、経済、社会制度、計画・デザイン手法など総合的・包括的観点から講義を行い、都市の諸問題について自問し、またその将来を構想することにむけて必要となる学術的パースペクティブを獲得することを目的として実施する。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>出席点およびレポート</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51307	A	総合工学基礎II	石川 顕一	工学部	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	核科学応用概論 現代の科学技術を支える基盤として、原子核、放射線、光の科学が欠かせません。本講義では、これらの物理現象の基礎を説明したのち、これらを活用した技術の代表例である原子力、核融合、放射線医療について解説します。2050年カーボンニュートラル実現やグリーントランスフォーメーションの推進、エネルギー安全保障、そして生活の質向上の観点から、これらの技術が世界的に注目され投資が加速しています。さらに、気候変動への関心が高まる中、それを取り巻くエネルギー問題について科学技術の観点から掘り下げていきます。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	出席状況およびレポートにより評価します。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51298	A	総合工学基礎II	寺本 進	工学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	航空宇宙工学 —社会を豊かにする総合工学— "重力に逆らって空を飛ぶ飛行機や宇宙機には 無駄のない極限的な設計が求められます。そこには、流体、構造・材料、飛行・制御、推進などの様々な工学分野のバランスの取れた""統合""が要求されます。 ライト兄弟が 1903 年に、初の動力飛行を成功させた鍵も大空への熱意と各分野の統合にありました。ライト兄弟の精神を受け継ぎ、宇宙まで飛行できる""再利用型スペースプレーン""や""小型衛星""、""惑星探査機""、""超安全航空機""、""高信頼性ロケット""など、人類のさらなる希望をかなえる航空機・宇宙機の研究に取り組んでいます。 この「バランスよく統合された最先端技術」は、皆さんの社会・暮らしを直接間接に豊かにしています。 この講義では、航空宇宙工学科で行われている研究と社会の関わりについて、理解を深めてもらうことを目的とします。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	出席および期末レポート 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51299	A	生体医工学基礎II	小谷 潔	工学部	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	生体医工学の世界—工学から見た生体物理現象と医療応用技術— 周囲の環境に適応しながら生命を維持し、伝えていくのが生体現象の本質であり、その過程で生じた障害への対処が医療診断・治療です。最先端の医療では、工学技術が重要な役割を果たしています。本講義では、生体現象を情報、物質、エネルギーの流れの視点から説明し、工学技術に基づく医療診断・治療の研究開発動向と今後の可能性について議論します。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	レポートで評価します（講義出席状況も考慮します）。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51313	A	環境・エネルギー工学概論	村上 進亮	工学部	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	環境・エネルギー工学概論／ Introduction to Environmental and Energy Engineering 本講義は工学部全体として、環境・エネルギー問題を概観した上で、工学的なアプローチの理解を進めることを目的としている。受講者には以下を目標とされたい。					
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・現在良く議論されている環境・エネルギー問題の概観を理解すること ・それぞれの問題の特徴を技術的、社会システムの双方の視点から理解すること ・技術、社会それぞれどのようなアプローチでその解決に当たっているのかを理解すること ・これらを理解した上でどのような課題が残されており、そのために何をすべきかを考えること レポート（3パートからそれぞれ1課題ずつ、各A4で2から3枚程度を予定）＋出席点による。 出席回数有余に少ない場合は合計点の如何に関わらず単位を認めない場合がある。 詳しくは第1回目の講義でのオリエンテーションで説明する。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51308	A	環境・エネルギー工学 基礎II	松島 潤	工学部	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	エネルギー資源論					
授業の目標概要	本講義では、地球科学・工学、エネルギー化学・科学、資源経済・政策学の基礎学理を概観し、地球システムの理解、エネルギー資源の開発・変換・有効利用、環境の保全、エネルギー資源の安定供給といった一連の方法論を概説する。エネルギー資源を取り巻く多様な分野を多角的に概観することにより、エネルギー資源の本質を理解することを助け、複雑性を呈するエネルギー資源に係る困難な問題にどのように対処すべきかについてともに考える。					
成績評価方法	出席状況とレポートにて成績評価する。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51309	A	環境・エネルギー工学基礎II	多部田 茂	工学部	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	地球環境を守る海の工学～海のエネルギー・資源・環境～					
授業の目標概要	人類は地球に負担をかけながら生活している。有限な地球に負担をかけず、持続可能な社会を実現するためには、地球の面積の7割を占める海洋を賢く利用して行くことが必要不可欠である。これまで海洋は科学的な探査を主体とする調査の時代であったが、これからは、海洋のメカニズムを熟知した上での統制のとれた海洋利用を実現してゆくことが、カギとなる。 例えば、海洋には未だに利用されていない資源が相当量残されており、循環型社会に適したエネルギー資源の供給源となる可能性を有している。また我が国のEEZ(排他的経済水域)内には、黒潮と親潮の合流による好漁場、深層水、メタンハイドレート、鉱物資源等が存在しており、海洋資源の潜在的ポテンシャルは非常に高い。これらを利用することにより、我が国の脆弱な食料、資源・エネルギー基盤の強化や新産業の創出が期待されるとともに、海底空間の利用によってCO ₂ の海底地下層への隔離等の環境問題の課題解決に資する可能性をも秘めている。 この講義では、食料・資源・エネルギーの安定確保と地球環境問題解決のための海洋利用技術について包括的に学び、その方向性を論じる。					
成績評価方法	授業への参加状況 40% 課題のプレゼンテーションおよびレポート 60%					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51511	A	看護学概論II	仲上 豪二郎	医学部	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	看護学概論IIー社会で活躍する看護プロフェッショナルー					
授業の目標概要	高度に医療技術が発展してきた現代社会では、疾患を抱えたまま生活する者は多くなり、また、従来の医学モデルでは解決できない、健康への様々なニーズが顕在化してきている。特に少子高齢化が高度に進んだ日本においては、この社会を看護学モデルとして扱い、新たな対処方法を構築することへの社会的期待が高まっている。つまり、生きることを支える学問である看護学は、あらゆる年代の個人から集団、地域社会を対象に、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛緩和等について、生涯を通して支援することが出来る。本講義では、保健・医療・福祉の分野における臨床実践や研究、政策活動に至るまで、社会で広く活躍している看護のプロフェッショナルから実際の活動についてご講義いただき、少子高齢社会において看護学が担う役割と今後の看護学の発展について議論する。					
成績評価方法	出席および毎回のレポート得点で評価を行う。出席した回のレポートのみを受け付ける。 最終レポートはない。出席回数およびレポート提出回数が全授業回のうち2/3以下の場合(全13回の場合、8回以下の場合)は、単位取得できない。15分以上の遅刻は原則として出席と認めないので注意すること。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60217	A 2	食糧と環境	根本 圭介	農学部	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	農業生産学概論 人口爆発に伴う食糧需要、農業を取り巻く環境の悪化と自然資本の枯渇、穀物を巡る食糧需要とエネルギー需要の競合、畜産の環境負荷、経済のグローバル化に伴って深刻化する世界農業の構造的問題など、今日の農業は、かつてなかったほど多くの問題を抱えている。本講義では、1) 世界の農業システムはいかなる座標軸(生産方法や営農形態)の上で多様化してきたか、2) そこで展開してきた技術発展の生態学的・社会的必然性とは何か、3) 食料供給網(フードサプライチェーン)の複雑化とグローバル化は農業をどのように変えてきたか、といった切り口から、これらの諸問題を概観する。その上で、あらためてアジア稲作の持つ意味やアフリカ農業の発展方向について考えてみたい。					
成績評価方法	・小レポート(毎回実施)と授業への参加姿勢により、総合的に評価する。期末試験は行わない。原則として、小レポートの提出回数が半分に達しない場合には、単位は与えない。 ・小レポートは、UTOL から提出すること。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51329	A	放射線環境科学	田野井 慶太郎、 小林 奈通子	農学部	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	福島第一原発事故に起因した農業環境における放射能汚染の実状および調査研究により得られた知見を学ぶ 2011年3月の東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故では多くの放射性物質が環境中に放出されました。放射性物質が降下した場の多くは農林水畜産業の場であり、事故直後から農学者により多くの調査研究がなされました。本講義では、食の安全と農業環境に焦点を当て、農業の場における放射能汚染の実態とその対策のための試験研究で得られた知見を学びます。加えて、当該問題を市民とどのように解決してきたのか、科学者、行政、市民といったさまざまな人たち間でのコミュニケーションやその結果としてどのような解決がなされてきたのかについて、ゲストスピーカーを招いてともに学んでいきます。受講者は、本講義を通じて、農業環境における放射能汚染の実態把握と放射能汚染からみた食の安全確保への取り組みを理解することが期待されています。さらに、当該事故と同時代を生き、今後世界を舞台に活躍が期待される受講者諸君にとって、本講義が、当該事故を体験とともに語れる人材となる最初のステップとなることを期待します。					
成績評価方法	試験および課題等により総合評価します。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51327	A	教育心理学の世界	清河 幸子	教育学部	木 5	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	教育心理学の世界 教育心理学は、心理学の手法を用いて、教育の科学的基礎を実証的に探究し、また、その知見の教育や生活場面への応用まで考える学問である。このため、教授・学習、発達、臨床、認知科学、情報科学など、人間理解にかかわる多岐にわたる内容を扱う。この授業では、教育心理学において具体的にどのような研究が行われているのかや、どのような実践が行われているのかを知ってもらうために、これまで行われてきた重要な研究から近年の新たな知見まで幅広く紹介する。各回の授業は、本学の教育心理学コースの教員や教育心理学にかかわる若手研究者が行う。これらを通じて、教育心理学とはどのような学問であるのかを知ることが主たる目的である。さらに、心理学の手法と知見にもとづき、広い分野での応用・実践に取り組む研究者、心理技術者の養成の基礎となる、人間に関する心理学的理解や、心理学の基本的な研究手法を知ることにも目的としている。					
成績評価方法	最終回に、理解度を確認するテストを実施して評価を行う。テストは、本授業で扱った複数の領域から出題される。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

総合科目 E (物質・生命)

振動・波動論		開講区分	A
授業の目標・概要		<p>音や光は我々が生存してゆく上で決定的に重要な情報を担い、音楽、美しい景色、絵画、写真と生活に喜びを与えてくれる。</p> <p>音と光は共に波動現象の典型例であるが、我々の知的興味を引き付ける振動・波動現象は身近なところに数多く存在する。</p> <p>たとえば、ブランコはどのように漕げるのだろうかとか、海の波はどのように波打ち際に砕けるのだろうかなど。また、建造物や製品の設計においても、振動・波動の影響は欠かせない。</p> <p>このように我々の日常と密接に関わっている振動・波動現象を、物理学の基本法則により根本的に理解することがこの講義の目的である。</p> <p>その内容は古典的な場の理論の初歩を含み、引き続き量子力学、場の量子論を学ぶ者にとっては必須なものでもある。</p> <p>主な項目は以下の通りであるが、実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に*印のついた項目は省略される場合がある。</p> <p>1. 序論</p> <p>2. 1 自由度系の振動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単振動 ・減衰振動 ・強制振動, 共鳴, Q 値 *パラメーター励振 *簡単な非線形振動 <p>3. 連成振動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2 自由度系 ・基準振動, うなり ・N 自由度系 <p>4. 1 次元の波動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弦, 弾性体, 気柱 ・縦波と横波 ・波動方程式 ・反射と透過 *波のエネルギー *インピーダンス <p>5. フーリエ級数, 変換の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考え方, 基本事項, 線形性 ・波束 ・位相速度と群速度 *不確定性関係 <p>*6. 2, 3 次元の波</p> <ul style="list-style-type: none"> *波動方程式 *平面波 *球面波 *水の表面波 *反射と屈折 *干渉, 回折 	
成績評価方法 教科書 ※講義の詳細については、UTAS を参照すること		<p>主として定期試験によるが担当教員の UTAS シラバスを参照すること その他。/Other</p>	
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50298	火 2	鈴木 康夫	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50699	水 5	加藤 雄介	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50988	金 2	山口 哲生	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50724	A	解析力学	菊川 芳夫	物理	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	解析力学					
授業の目標概要	解析力学は、ニュートンに始まる古典力学の最も一般的で洗練された理論形式であり、これによって保存量と対称性の関係や可積分性等の力学の構造を見通し良く理解することができるようになる。また、量子力学や統計力学を構築する上で不可欠な基礎を与えるものでもあり、現代物理学を理解する上で重要な役割を果たす。本講義では、理系1年で学ぶ力学の基礎知識をもとにして、その発展としての解析力学の理論形式や諸概念をじっくりと学ぶことを目標とする。					
成績評価方法	主に定期試験による。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50989	A	相対論	風間 洋一	物理	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	アインシュタインの原論文の精神に即した特殊相対性理論の基礎					
授業の目標概要	相対論には特殊相対論と一般相対論があるが、それらの概要を説明した後、特殊相対論に特化して、アインシュタイン自身の原論文の精神に基づいて説明する。基本となる時間及び空間座標のローレンツ変換を詳しく導出し、そこからいかに時間と空間が融合した「時空」の概念が生ずるかを説明する。次に相対論の記述の要となる「テンソル」の概念を詳しく説明し、それを用いて相対論的な運動学を構築する。そして実際に相対論が威力を発揮する具体例を学び、それらの計算ができるようになることを一つの目標とする。また最後に、電磁気学の基本理論であるマックスウェル理論の相対論がいかにうまく具現化されているかを見る。また時間があれば、一般相対論の考え方と構造への入門的説明を行う。					
成績評価方法	期末試験					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 風間洋一 相対性理論入門講義 培風館 ISBN978-4-563-02321-8 C3342					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50907	A	量子論	高木 隆司	物理	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	量子力学入門					
授業の目標概要	量子力学は古典力学が破綻するミクロスケールの物理を記述する枠組みで、素粒子物理、物性物理、量子情報科学を含む多くの学問分野の基礎となっている。本講義では、量子論を初めて本格的に学ぼうとする方を対象に、量子力学の基本的な枠組みを議論し、今後の発展的な学習・研究の下地を作ることを目指す。必要な数学は適宜補いつつ進める予定。レポートによる。					
成績評価方法	レポートによる。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50212	A	統計物理学	福島 孝治	物理	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	統計物理学 多数の気体分子を考えたとき、初期条件としての位置と運動量のようなマイクロな状態とその時間発展規則としての運動方程式が与えられると、少なくとも古典力学の意味で、マイクロな状態の時々刻々の移り変わりは予言することはできるであろう。しかしながら、その気体分子の数がアボガドロ数のように非常に大きな数の場合に、運動方程式を解くことで有益な情報は得られるとは限らない。一方で、熱力学は、温度や圧力のように驚くほど少数の変数でマクロな世界の性質を記述することに成功している。このマイクロな状態からマクロな熱力学的性質を議論する理論体系を与えているのが統計力学である。講義では、統計力学の基本的な考え方や概念を古典平衡統計力学の範囲で説明し、いくつかの適用例を通じて、マイクロとマクロをつなぐ方法論とその意義を解説する。特に、相転移の統計力学では、マイクロには同じ構成要素でありながら、マクロには全く異なる熱力学的性質を示す相転移現象の捉え方を楽しみたい。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	定期試験と数回のレポートによる総合評価 教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50299	A	物理科学II (文科生)	鳥井 寿夫	物理	火 2	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	実験して学ぶ物理科学 物理学とは、実験によって確立された一般法則や概念からなる、統一的な知識の体系である。しかしながら、文系、理系にかかわらず、多くの人々にとっては、物理学とはバラバラな知識の集合体で、入試問題のように非常に特殊な状況設定においては適用できても、現実の世界とは無関係であると思われる。このような誤解を解消したい。この授業では、現代の物理学の体系を俯瞰的に紹介していくような一方的な講義は行わない。その代わりに、物理学上の、特に基本的な概念、法則、および手法を、実際に手を動かして実験することによって学んでいく。多くは教室や自宅でできる手軽な実験だが、放射線に関するものは物理実験室 (KOMCEE East 地下1階) での実施を予定している。毎回の授業後に提出されたレポートに基づいて成績を評価する。期末試験は行わない。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50300	A	化学平衡と反応速度	堀内 新之介	化学	火 2	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	化学平衡と反応速度 化学平衡論と反応速度論に関する知識は、様々な物理現象や化学反応を理解する上で重要な概念の1つである。本講義では、熱力学の基礎を踏まえて化学平衡・反応速度の理論式とその導出方法を学ぶ。また現実の物理現象や化学反応に対して、化学平衡論・反応速度論の観点からそれらを解説する。例えば、分子がひとりでに集まり巨大な3次元構造体を形成する自己組織化現象や、溶液中での様々な化学反応に関して、化学平衡・反応速度の理論式を踏まえて実際の物理現象や化学反応のメカニズムを理解していく。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	平常点と学期末試験 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50990	A	化学平衡と反応速度	奥野 将成	化学	金 2	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	化学平衡と反応速度/Chemical Equilibrium and Kinetics 化学平衡と反応速度は、さまざまな化学反応を理解するうえで必要不可欠な概念である。本講義では、熱力学の基礎を踏まえ、物質間の平衡である化学平衡を導出する。特に化学ポテンシャルについて、深い理解を得ることを目指す。さらに、化学反応が平衡状態にいたるまでの反応速度について講義する。化学平衡および反応の基礎となる気相中での反応を、いくつかの反応メカニズムの例を通して解説したのち、現実の化学反応で問題とある溶液中の化学反応について講義する。触媒反応・光化学反応・ラジカル反応・酵素反応・爆発反応など、具体的な事例を学習する中で化学反応の基礎の理解を目指す。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	定期試験。必要に応じて演習 (クイズ) や出席状況を勘案する。 授業中に指示をする。/Will specify at class time 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50991	A	分子システムの化学	豊田 太郎	統合自然科学科	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	分子が協同的に形成する形・機能・ダイナミクス 身近にあふれる物質の様々な現象の解明、さらには最先端の高機能性材料の開発や新たな生命現象の発見は、分子の性質や反応、そして分子間の相互作用を理解し、「分子が組み合わされたシステム」という観点に立つところから始まる。これまでの講義では、原子・分子や化学反応をただ暗記していただけではなかっただろうか。もしくは、分子の形状や反応の仕組みを、物理の観点に立って理解することが、最先端の化学ということに終始していたかもしれない。否、化学本来の持ち味は「物質の多様性の理解」、「物質の設計と開発」である。本講義では、そのサイエンスの最先端を駒場の化学系教員が紹介する。基礎から体系立てて化学の最先端を解説する本講義を受講することで、分子や物質の多様性、分子システムという考え方を習得していただきたい。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	各回での復習問題の解答を総合して評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51305	A	物質・生命工学概論	野地 博行、西増 弘志、 津本 浩平、酒井 康行、 竹内 昌治、石北 央	工学部	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	つくるバイオ 工学的視点からみたとき、バイオは自然による分子工学・分子システム工学の粋とみなすことができる。現在の工学では、生体分子に基づく機能性分子や分子システムが創出されている。また、細胞自体も機能性材料と見なすことができ、様々なデバイス・材料の開発が提案されている。本講義は、このようなバイオに対する工学的アプローチを解説することで、従来の分子生物学的視点からは学ぶことができない「モノづくりとしての生命科学」に触れることを目的とする。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	発言及びレポートを重視する（予定） 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51314	A	物質・生命工学概論	吉田 英弘	工学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	物質・生命工学概論 本講義は、工学部が提供する工学概論4講義の一つである。物質・材料の探究と開発は、新たな物理現象の発見につながる基礎科学として重要であるのに加え、生命工学を通じた医療分野の技術革新から環境・資源問題の解決に至るまで、幅広い分野での産業創出や新たな社会価値の創造を支える工学の基盤となっている。本講義では、ナノサイエンス・ナノテクノロジーをベースにした物質・材料の基礎と最先端研究を紹介し、エネルギーや環境、材料、情報通信、バイオ、医療などへの応用について理解を深めることを目的とする。					
成績評価方法	出席およびレポート。 第2回～第13回の講義に関連して出題される課題（全6課題）のうち、3つを選択してレポートを提出。 最終提出期限：2025年1月17日（金）（予定）					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51304	A	物質・生命工学基礎II	長汐 晃輔	工学部	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	物質・生命工学概論 ナノ・機能マテリアル入門 「古典的・量子力学的波動の振る舞いについて理解したうえで、ナノテクノロジーとその機能マテリアルへの応用について学ぶ」ことがこの講義の目標である。大学教養学部では基礎科学の普遍性を強調したアカデミックなアプローチで講義が行われることが多く、専門の決まっていない学生に対する講義としてはある種正しい。しかしながら、厳密性を重視した数学による表現が多用されると、高校までに学習した物理や化学の知識との間に大きなギャップを感じることも多いのではないかと思う。間違えて捉えてはいけないのは、数学的難しさと物理的な難しさは違うという点である。高校物理で出てきた電子の質量は、真空中に存在する“自由な”電子の質量である。この講義では、高校までの講義内容をもとに、学部1年生から理解できるように構成している。”固体中の“電子は、真空中とは異なる質量をもち、動き回っていることを学ぶ。さらに固体中の電子の挙動を表すシュレーディンガー方程式の物理的意味を正しく理解し、どのように我々の身の回りのテクノロジーに結実しているのかをわかりやすく解説する。この講義を構造化学と相補的に使ってもらえると良いと思います。 (履修上の注意のところに学生さんからのコメント掲載、参考にしてください) 以下の項目を具体的な題材として議論したい。 光ファイバー、電子顕微鏡、走査トンネル顕微鏡、半導体レーザー、高速トランジスタ等					
成績評価方法	できる限り毎回の簡単なレポート(6割)+最終レポート(4割)での評価 (出席は取りますが、あまりにレポートの出来が悪いときに救済措置用に参考にする程度です)					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50213	A	進化学	青木 誠志郎	生物	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	進化学 生物の研究には、生物を物質として還元的に解析する分野と、ヒトを含む生物同士や生物と環境の関係性を研究する分野があります。進化学は主に後者に関心を寄せる学問とされ、本講義では進化的側面から見た生物の多様な疑問に取り組みます。例えば、協力的な関係が成立するために何が重要か、DNA と形質の多様性はどのように生まれてきたのか、男女の違いや性の存在意義・嗜好とは何か、多様な生物種がどのように誕生したのかなどについて探求します。 進化学は一般的に「進化機構」と「進化史」の2つの柱を基盤としており、この授業ではこれらの研究法とそこから得られた様々な知見について、具体的な生物の例を挙げながら順次説明していきます。毎回の授業では、系統学、生態学、行動学、集団遺伝学、分子進化学、ゲーム理論など進化学に関連する分野との連携を重視します。各項目は個別に楽しめるよう工夫されており、途中からの参加も可能です。 授業全体としては、以下のアプローチを取ります。 (1) 過去の授業で学生の皆様から高く評価された項目から始め、中盤以降にそれらを総合的に俯瞰し、進化学の総合的な考え方を説明します。 (2) コロナウイルスや戦争など、近年の世界情勢を進化学の側面から考察します。 (3) 生物学を高校で学んでいない方でも理解できるよう、授業の早い段階で最低限の分子生物学の資料を提供し、解説します。 (4) 学術論文を紹介することで、教科書的には既に解決されたとされる現象の中にも、まだ多くの未解明の謎が存在することを紹介し、将来生物の研究を志す方々にも指針となる授業を目指します。 本授業を通じて、遺伝子・個体・集団のレベルから生物を進化学的に考察する面白さを理解していただくことを目標とし、面白い・わかる・未来に繋がる・暖かい授業を目指します。					
成績評価方法	期末試験を実施する予定です。成績評価はリアクションペーパー、宿題、試験の提出状況や点数、出席状況を総合的に考慮します。また、授業への積極的な取り組みの姿勢も重視します。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50301	A 1	現代生命科学I (文科生、理一生)	坪井 貴司	生物	火 2	1年 文科 理一 2年 文科 理一
講義題目 授業の目標概要	人体の不思議をめぐる旅 生命科学は、どこまで進んでいるかという点について、私たちヒトを題材にして、講義を行います。遺伝子は何故必要なのか、精神異常は何が原因なのか、ホルモンは何故分泌されるのか、などに、私たちに身近にある問題を例をにとり、最先端の生命科学がその問題に対して、どこまで理解出来ているのかについて、解説します。					
成績評価方法 教科書	試験によって、評価します。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 坪井貴司 そうだったのか！ヒトの生物学 丸善出版 9784621304518					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60013	A 2	現代生命科学II (文科生、理一生)	晝間 敬	生物	火 2	1年 文科 理一 2年 文科 理一
講義題目 授業の目標概要	生物は周囲の生物及び環境とどのように作用して適応しているのか？ 生命たらしめている要因について学び考察する。 植物(宿主)と微生物と環境の相互作用やそれが植物の成長や生存にどのような影響を与えるのかを紹介するとともに、ヒト、植物という一見異なる生物間を様々な切り口(特に周囲の環境との相互作用の視点)で比較し、その共通性・独自性の一端を学び考察する。 それにより、生物の持つ普遍性と多様性を理解する。					
成績評価方法 教科書	出席、授業中の質疑応答、授業後の小課題と学期末の大課題によって評価する予定です。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学生命科学教科書編集委員会 現代生命科学 3版 羊土社 ISBN978-4-7581-2103-3					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51315	A	分子生命科学	上村 想太郎	理学部	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	分子から見た生命現象 生物の織りなすさまざまな生命現象は、すべて遺伝子 DNA にコードされた遺伝情報が機能を発揮した結果であると言ってもよい。遺伝情報は、RNA、タンパク質、そしてそれが作り出す低分子有機化合物などの分子の形となり、これらの分子が相互作用しながら細胞内外で働いた結果、生き物としての不思議な性質が作り出されてくるのである。生物化学という学問分野は、このような生命現象が、分子の働きによっていかに作り出されるかを解明する研究分野である。 この授業では、この分野の代表的な教科書である「細胞の分子生物学 第5版」に沿って基本的な概念の説明と、その知識を基盤とする最先端の研究の紹介を交互に行う。基礎知識がなくとも生命科学研究のテストを味わうことができるように配慮して講義を進める。理学部生物化学科の担当教員6名により、本学科の研究と密着した、タンパクの質構造と機能、RNAによる制御、神経細胞の分化、生体リズム、味覚・嗅覚・光感覚、学習記憶などのテーマについての講義を行う予定である。					
成績評価方法 教科書	毎回の授業の最後に実施する小テストにて評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook ALBERTS/JOHNSON/LEWIS/RAFF/ROBERTS/WALTER (翻訳: 中村 桂子, 中塚 公子, 宮下 悦子, 松原 謙一, 羽田 裕子, 青山 聖子, 滋賀 陽子, 滝田 郁子) 細胞の分子生物学 (第6版) ニュートンプレス 4315520624					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50908	A	惑星地球科学I(理科生)	小久保 英一郎、 中本 泰史	宇宙地球	木 5	1年 理科 2年 理科
講義題目	惑星地球科学 I(惑星系天文学概論)					
授業の目標概要	太陽系は惑星、衛星、環、小惑星、太陽系外縁天体、彗星と、質量・組成・軌道の異なる多様な天体から構成されている。これらの天体はどのような特徴をもち、どのようにして形成されたのだろうか。また、近年、観測によって銀河系には太陽系以外にも多様な惑星系が存在することが明らかになっている。これらの惑星系は太陽系とは何が違うのだろうか。授業では惑星系の構造・起源・進化について、最新の観測・理論研究の成果を交えながら概説する。					
成績評価方法	課題レポートによって評価する。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50725	A	惑星地球科学II(理科生)	黒川 宏之	宇宙地球	木 1	1年 理科 2年 理科
講義題目	地球惑星科学入門II：惑星地球の形成と進化/Introduction to Earth and Planetary Science II: Formation and Evolution of the Planet Earth					
授業の目標概要	惑星地球科学I・IIを通じて、我々が暮らす惑星地球の姿およびその起源・進化を理解する。惑星地球科学IIでは地球がどのように誕生しその姿を変えて来たのかを解説する。地球をその他の惑星と比較しながら理解するため、太陽系やその外の惑星系についても紹介する。/Through Earth and Planetary Science I and II, we aim to understand the planet Earth on which we live, as well as its origin and evolution. Earth and Planetary Science II focuses on how Earth formed and how its surface environment changed with time. In order to understand Earth in terms of comparative planetology, other planets in the solar and extrasolar systems will also be introduced.					
成績評価方法	中間レポートと期末試験によって評価する。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51316	A	地球惑星環境学入門	高橋 嘉夫、池田 昌之、 狩野 彰宏、遠藤 一佳	理学部	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	地球惑星環境学入門：地球の誕生と進化/Introduction to Earth, Planetary, and Environmental Science: Birth and Evolution of the Earth					
授業の目標概要	本講義では、太陽系の誕生、生命と地球の共進化、固体地球の構造、プレートテクトニクスと表層環境の関係、現在の地球環境と資源などの地球惑星科学の基礎知識を専門が異なる4人の講師で解説する。					
成績評価方法	出席、レポート、テスト					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50302	A	宇宙科学I(理科生)	諏訪 雄大	宇宙地球	火 2	1年 理科 2年 理科
講義題目	宇宙物理入門 / Introduction to Astrophysics					
授業の目標概要	宇宙で起こる様々な現象は、物理を用いた観測や理論に基づいて理解が進んでいる。本講義では、こうした宇宙物理という体系の一端を体感するとともに、現在の宇宙観について学ぶことが目標である。/Various phenomena occurring in the universe are being understood through observations and theories based on physics. The goal of this lecture is to experience a part of this system known as astrophysics, and to learn about the current view of the universe.					
成績評価方法	中間レポートおよび期末試験。					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50018	A	宇宙科学II (理科生)	坂井 南美	宇宙地球	月 1	1年 理科 2年 理科
講義題目 授業の目標概要	アストロケミストリー入門 ―私達の起源を宇宙に求めて― 近年、アルマ望遠鏡やジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡などの先端望遠鏡の活躍が目覚ましく、天文学のフロンティアを多方面で拡大しています。なかでも宇宙の物質進化の理解は大きく進みました。多種多様な分子が観測を通して様々な天体で検出されるようになってきた結果、星間空間における化学過程はこれまで考えられてきたよりずっと豊かで多様であることがわかってきたからです。宇宙の歴史の探求は、構造形成の歴史（大規模構造の形成や銀河形成、星・惑星系形成など）に焦点が置かれることが多いです。しかし、星の中で様々な原子が合成された後、多様な分子や物質が作られていく物質進化の歴史の探求も、究極的には太陽系の物質の起源の理解、そして宇宙における太陽系と地球の価値の化学的理解へと繋がる重要な課題です。物理学を主な背景として発展した現代の天文学を化学と融合し、惑星科学・宇宙生物学へとバトンを繋ぐ基盤となる学問分野、星間化学の入門講座です。極低温・極低密度環境下での化学で代表される従来の星間化学の基本の理解を目指すとともに、近年明らかになってきた惑星系形成領域での豊かな化学組成の起源解明に向けた、現状の問題点を共有することを目標とします。					
成績評価方法	1回の授業ごとの小問レポートと最終レポートを総合して評価する。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50992	A	惑星地球科学II (文科生)	小宮 剛	宇宙地球	金 2	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	地球惑星科学概論 II / Introduction to Earth and Planetary Sciences 2 地球惑星科学 I に引き続き、特に以下の点について、講義する。 地球史：固体地球進化（熱史）、大気・海洋表層環境進化（酸素と二酸化炭素）、暗い太陽のパラドックスと表層環境進化、地球生物史、全球凍結、顕生代の生命史と大量絶滅 表層環境：大気・海洋構造、炭素循環、第四紀以降（氷期間水期サイクル）、地球温暖化、環境と人類史、鉱床の形成と成長の限界（資源、エネルギー問題）					
成績評価方法	レポートにする。 出席をとり、成績に反映させる。 出席は授業中に UTOL を用いて小テストを行い、代行する。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50019	A	宇宙科学I (文科生)	鈴木 建	宇宙地球	月 1	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	天文学・宇宙物理学の基礎的内容 Introductory Astronomy and Astrophysics 宇宙における天体現象が、現代科学の手法を用いてどのように理解されているのかを、自ら噛み砕いて把握することが、本講義の目標である。					
成績評価方法	期末試験 + 中間レポート					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51330	A	微生物の科学	大西 康夫、原 啓文、 丸山 潤一、妹尾 啓史、西山 真、 野田 陽一、山次 康幸、 五十嵐 圭日子、野尻 秀昭、 古園 さおり	農学部	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	微生物の世界 微生物の種の多様性と微生物が示す驚くべき機能の多様性は、微生物が生物学、生物化学、遺伝学、生理学、分子生物学の基本的研究対象となり、かつバイオテクノロジーの主役として活躍する基本をなしている。本講義では、まず、イントロダクションとして、微生物学の歴史、微生物取扱手法、微生物の多様性を解説する。その後、種々の微生物（あるいは微生物群）について、それぞれが示す多様な生命現象をわかりやすく紹介していくことで、受講者を「微生物の世界」にいざなう。主として「人類に役に立つ微生物」という農学的見地から微生物について解説するが、受講者には、いわゆる「応用微生物学」のエッセンスを学んでいただきたいと考えている。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	講義の出席点（比重3分の1）と定期テスト（比重3分の2）により成績を評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51331	A 1	アグリ バイオロジ	井澤 毅、本多 親子、 矢守 航、山次 康幸、 伊藤 純一、有村 慎一、 樋口 洋平	農学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	植物の機能とその利用 前世紀後半、世界の食料生産は「緑の革命」に代表されるような資本投入型技術の開発により大きく飛躍した。これら増産主体の農業技術は、人口爆発に伴う食糧需要をなんとか支えてきた反面、農業生態系全体の調和・持続性との間に大きな摩擦を生んできた。さらなる人口増、工業化や砂漠化による耕地面積の減少、地球規模での異常気象などによってこのジレンマが拡大の一途を辿るなかで、問題解決に向けた新たな取り組みが求められている。本講義では、農業生産の基礎となる植物の機能とその利用について最新の知見を解説し、将来の技術開発の方向性を考える。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	授業への参加姿勢、出席点、筆記試験の成績によって総合的に評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51332	A	応用動物科学II	山内 啓太郎、富安 博隆、 平山 和宏、内田 和幸、 望月 学、伊藤 公一、 村田 幸久、関澤 信一、 角田 茂、中川 貴之、村上 晋、 松田 二子、芳賀 猛	農学部	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	高等動物の比較生物学：獣医学へのいざない 高等動物（主に哺乳類、鳥類）の生理、病気、感染症、診療など、加えて公衆衛生、ヒトと動物の関係などについて、農学生命科学研究科獣医学専攻の教員が講義する。					
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートによる（UTOLで提出）。 ・レポート：各講義で自分が理解した内容およびそれに関する意見をA4で2枚以内にまとめ、次回の講義時まで提出（英文可、表紙不要、1枚目上に講義タイトルと氏名、学籍番号を記載）。 ・間に合わない場合は後で提出しても良いが、減点対象となる場合がある。 ・レポートの提出がない回は0点として判定し、全回のレポートの平均点を最終成績とする。 ・最終回の講義のレポートは令和7年1月27日までに提出すること。 					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51333	A	海の生命科学	岡田 茂、大久保 範聡、 浅川 修一、潮 秀樹	農学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	海の生命科学 (Marine Life Science)					
授業の目標概要	水温、塩分、水圧等が大きく異なる棲息環境に、バクテリア、プランクトン等の微小な生物から、各種の無脊椎動物、魚類、大型ほ乳類に至る多種多様な生物が独自の進化・繁栄をしてきた。水圏には地球上のほぼすべての動物門が棲息しており、その多様性は陸上の比ではない。水中での生活を可能にするために、陸上生物には見られない特殊な器官やユニークな代謝経路を発達させた種も多い。しかし、陸上生物である我々ヒトにとって、水圏にはまだまだ未解明の現象が多く、そこに未知の利用可能性や新たな研究領域の発展可能性を秘めたフロンティアが存在する。われわれ人類は、様々な形で水圏生物と関わりを持っている。水圏生物に関する理解を深め、再生産可能な形で有効に利用することは、人類が真剣に取り組むべき課題である。この課題達成のために求められることは、水圏生物をよく知ることである。本講義では、水圏生物科学専攻各講座の教員が、(1) 海洋生物の有機化学、(2) 海洋生物の生理、(3) 海洋生物のゲノム科学、(4) 海洋生物の食への利用と生理調節作用について、その研究の概要と最新の動向について紹介する。					
成績評価方法	授業への参加状況や理解状況 (小テストなどを課す場合もある、50%) およびレポート (50%) をもとに評価する。ただし、4名の教員から課される4題のレポートを全て提出することが単位取得には必須である、未提出分のレポートがある場合は、出席点も含めて成績評価を行わない (未受験扱いとする)。					
教科書	教科書は使用しない。/ Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/ Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50214	A	生物物理学	柳澤 実穂	統合自然科学科	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	生物物理学 ー実験から理論までー					
授業の目標概要	いま、生命科学研究の最前線では生命科学と物質科学の境目があいまいとなってきた。生物を物質として捉え、物理学的な観点から見直すことにより、生命現象を自然現象の一部として統一的に理解しようとする試みが盛んに行われている。物理学の立場から生物を俯瞰すると、生物は未解明の新領域であり、新たな物理学を開拓できる可能性を秘めている。従来とは異なる観点で生物学を捉え直すことに興味がある学生や、物理学の立場から見た生命像に興味のある学生には、本講義の受講を勧める。大学の生命科学が未					
成績評価方法	生物は物質で構成されているので、物理学的な立場から生命現象を理解できるはずである。しかしながら、単に化学物質を寄せ集めただけでは生命らしさはあらわれてこない。生物物理学は、生物を分子や細胞に要素還元するとともに、それらが相互作用するシステムとして生物を捉えることで、生命現象の普遍的な理解をめざす学問であるといえる。本講義では、生物を構成する物質の最小単位であるタンパク質などの生体高分子から、それらの集合体である超分子や細胞までの各階層において生命らしさが創発する仕組みと、生命の可塑性と頑健性についての数理的な理解の方法を学ぶ。					
教科書	平常点及び小テスト					
ガイダンス	各教員が出すレポート課題 詳細は各教員の指示による。 教科書は使用しない。/ Will not use textbook 特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50700	A	先進科学IVα	加藤 英明、市橋 伯一、 矢島 潤一郎	先進科学	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>先進科学 IVα 物質から理解する生命科学</p> <p>生命というのは測ったり、作ったりできるものなのであろうか。生命科学の教科書には生命の特徴がいくつか共通して挙げられているが、生命の定義は教科書によって微妙に異なる。しかしながら、生命は、見上げればそこにある雲やたまに通りすぎる飛行機の構成成分と同様に、原子・分子といった物質から構成されていることは紛れもない事実である。一方で、原子・分子などの化学物質を寄せ集めただけでは、生命が出来上がるわけではないということも、我々は直感的に（おそらく正しい！）理解している。</p> <p>本講義では、生物としての最小限の構成単位である細胞を構成する膜タンパク質、モータータンパク質、核酸や脂質の構造や動的プロセスから生命機能を知る方法や、生体高分子がシステムとなった場合に創発される自発的な生命秩序を、物質科学の基礎的事項を整理しつつ、先端の研究事実を踏まえ、生命が物質の特殊な状態の一つであることを理解する。</p> <p>3人の教員が4回ずつ講義する形式となる。</p> <p>【各教員の講義目標/概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タンパク質機能の多彩さ、タンパク質の“カタチ”を見て“機能”を知る方法を理解する ・タンパク質や細胞の“うごき”をみて生命らしさを理解する ・生命システムを”つくる”試みである合成生物学について理解する <p>なお、受講者数を20名程度に制限するので、ガイダンス時に生命科学や生物物理への興味と学習意欲に関する調査を行う。その結果、1週間以内に、第二回以降の受講対象者の学生証番号をアドバンスト理科のホームページ http://kis.c.u-tokyo.ac.jp/ADRK.html に掲載する。</p>					
成績評価方法	平常点と（ほぼ毎回の）レポート					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

総合科目 F (数理・情報)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50726	A	数理科学概論I(文科生)	小林 俊行	数学	木 1	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	数理科学概論I 文科生向けに一変数関数の微分法の基本的な考え方から始めて、二変数関数の偏微分法の基礎と応用ならびに重積分に関する基礎的な内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を理科学向け総合科目「微積分学統論」で学ぶことができるが、そのためには「数学II」「数理科学概論II」もあわせて履修しておくことが望ましい。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	主として定期試験によるが、担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50303	A	数理科学概論II(文科生)	高木 俊輔	数学	火 2	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	数理科学概論 II (文科生) 文科生向けの、行列の定める線型変換(一次変換)の固有値と固有ベクトルを求める手法と その応用を扱う科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目では「数学II」で扱う内容を前提とするが、基礎科目「数学I」で扱う内容は前提としない。ただし、項目3においては「数学I」の関連する内容を理解しておくことが望ましい。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51303	A	数理工学入門	高安 敦	工学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	数理工学入門 情報の伝達にはその効率性や信頼性が要求される。情報理論とは、情報伝達のために必要な効率の限界の導出・具体的な符号化法の提案などを含む分野であり、数学的には確率・統計と密接な関わりがある。さらに、数理工学の様々な分野の土台になる理論であり、機械学習・情報セキュリティ・画像処理・経済学など様々な分野に繋がる。本講義では、情報理論の基礎を学びながら、データ圧縮や情報セキュリティを中心にその情報理論の応用について説明する。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	2回のレポート課題(前半・後半各1回) 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50304	A	統計データ解析I	小池 祐太	数学	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	統計データ解析I 統計データ解析 I では、受講者が統計ソフトウェアを用いた実験によって確率的現象に慣れ、統計推測法の意味を理解し、データ解析の方法を実習する。統計ソフトウェア R の使い方を学んだあと、シミュレーションによってランダムネスと極限定理を体験する。後で必要になる確率分布を学び、基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する。推測統計における基礎的な推定・検定法、および分散分析、回帰分析の方法を、データ処理を通じて実習する。統計データ解析 I は A セメスターに開講し、基礎的な数学を習得した学生は本講義の内容をより深く理解することができる。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	レポートによる。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50701	A	統計データ解析I	増田 弘毅	数学	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	統計データ解析I 統計ソフトウェアを用いた実験によって確率的現象に慣れ、統計推測法の意味を理解し、データ解析の方法を実習する。統計ソフトウェア R の使い方を学んだあと、シミュレーションによってランダムネスと極限定理を体験する。いくつかの確率分布を学び、基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する。推測統計における基礎的な推定・検定法、分散分析、回帰分析の方法を、データ処理を通じて実習する。基礎的な数学を習得した学生は本講義の内容をより深く理解することができる。					
成績評価方法	レポートによる。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50993	A	統計データ解析I	鎌谷 研吾	数学	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	統計データ解析I 統計データ解析 I では、受講者が統計ソフトウェアを用いた実験によって確率的現象に慣れ、統計推測法の意味を理解し、データ解析の方法を実習する。統計ソフトウェア R の使い方を学んだあと、シミュレーションによってランダムネスと極限定理を体験する。後で必要になる確率分布を学び、基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する。推測統計における基礎的な推定・検定法、および分散分析、回帰分析の方法を、データ処理を通じて実習する。統計データ解析 I は A セメスターに開講し、基礎的な数学を習得した学生は本講義の内容をより深く理解することができる。					
成績評価方法	レポートによる。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

図形科学 A		開講区分	A
授業の目標・概要	3次元立体形状の図的表現および形状処理について、CAD(計算機援用設計)ソフトの実習を通して学び、立体形状の把握・伝達・構想能力を養う。主な学習項目は以下のとおり。		
成績評価方法	1. 2Dモデリング(線分, 円, 多角形, スプライン曲線)		
教科書	2. 3Dモデリング(押し出し・回転, 空間幾何課題の解法)		
	3. アセンブリ・正投影図面		
	4. リンク機構とモーションの表現		
	5. レンダリング(透視投影、色彩、テクスチャー、陰影)		
	出席、レポート(実習課題)、期末試験によって評価する。		
	次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook		
	書名 3D-CADで学ぶ図形科学入門		
	著者(訳者) 横山ゆりか, 金井崇, 館知宏, 三木優彰 共著		
	出版社 サイエンス社		
	ISBN 978-4-7819-1555-5		
関連ホームページ			
※講義の詳細については、UTASを参照すること			
時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50057	月 2	奈尾 信英、柏原 賢二	1年 文科 理一(7,16-17,30,39) 2年 文科 理科
50089	月 3	柏原 賢二、奈尾 信英	1年 文科 理一(6,12,19,37) 2年 文科 理科
50254	火 2	吉岡 陽介、天童 智也	1年 文科 理二三(1-13) 2年 文科 理科
50362	火 3	天童 智也、吉岡 陽介	1年 文科 理一(10,15,21,26) 2年 文科 理科
50618	水 3	金井 崇、加戸 啓太	1年 文科 理一(5,11,14,23,35) 2年 文科 理科
50648	水 4	加戸 啓太、金井 崇	1年 文科 理一(8,27-29,33) 2年 文科 理科
50706	木 1	横山 ゆりか、三木 優彰	1年 文科 理二三(14-24) 2年 文科 理科
50760	木 2	三木 優彰、横山 ゆりか	1年 文科 理一(13,32,34,36,38) 2年 文科 理科
51023	金 3	田中 一郎、早川 大地	1年 文科 理一(18,20,22,25) 2年 文科 理科
51057	金 4	早川 大地、田中 一郎	1年 文科 理一(1-4,9,24,31) 2年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50215	A	基礎統計	佐藤 俊樹	経済・統計	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	基礎統計 統計学の考え方の基礎にあたる部分を解説する。 範囲としては、分布をとらえる基本的な指標、確率分布の基礎知識、確率モデルの基本的な考え方、検定や推定などの統計的推測の初歩であるが、技法を詳しく説明するよりも、その背後にある考え方（いわば統計学はどのような風に見えるのか）に焦点をあてて進めていく。初心者にとって最大の障壁はそこが理解できないことであり、その結果として、具体的な数式や論理が「ブラックボックス」化するからである。					
成績評価方法	考え方の理解を中心にして授業を進めるため、向いている人と向いていない人とにある程度わかれる。初回の授業などを聞いて、その点もふくめて履修するかどうかを判断してほしい。 成績評価は理系と文系別々で行い、成績区分の比率もほぼ同じくらいにする。「A」の比率は教務課のガイドラインに基本的に準拠するが、履修者が多いか少ないかによって、2割近くになる場合もあれば4割近くになる場合もある。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50994	A	基礎統計	宮田 敏	経済・統計	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	基礎統計 統計学とは、調査や実験で得られたデータを基に、そのデータを生み出した背景因子の関係を推測する方法を提供する学問である。本講義は、統計学に初めて触れる初学者を対象に、統計学とデータ解析の基本的な概念と手法を紹介する。					
成績評価方法	宿題 (50%) 中間試験 (20%) 期末試験 (30%) の結果により、総合的に評価する。括弧内は目安。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50305	A	統計分析	松浦 峻	経済・統計	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	多変量解析の基礎 本科目では、「基礎統計」を履修済みの学生あるいは同等の内容を修得済みの学生（例えば、「入門統計解析」（倉田博史・星野崇宏 著、新世社）の第8章までの内容をひと通り理解しているなど）を対象に、多変量データに対する統計解析手法の基礎的な内容について講義を行う。具体的には、回帰分析、判別分析、主成分分析、数量化Ⅲ類、因子分析、正準相関分析、多次元尺度構成法などの基本的な多変量解析法を取り上げる。					
成績評価方法	期末レポート課題によって評価を行う。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50727	A	統計分析	来島 愛子	経済・統計	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	統計学の応用 本講義は「基礎統計」の授業をすでに履修していること、あるいは統計学の基礎（例えば「入門統計解析」（倉田博史・星野崇宏 著、新世社）の第1章から第8章までの中心的な内容）を学習し、理解していることを前提として、さまざまな統計手法（回帰分析、分散分析、判別分析、主成分分析、ノンパラメトリックな手法など）を中心として「基礎統計」で扱わなかった応用的な内容について扱う。不確実な現象のモデルとして、確率過程についても触れる予定である。大学の専門課程などにおいてデータを統計的に分析することができるように考え方を身につけることが目標である。					
成績評価方法	期末試験あるいは期末レポートによって評価を行う（履修人数などの状況による）。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

アルゴリズム入門		開講区分	A
授業の目標・概要	コンピュータやインターネットに代表される情報処理・情報通信技術は、現代社会の基盤となっています。このような技術の基盤となっているのが「アルゴリズム」と呼ばれる概念です。アルゴリズムは、観測データからの気象予測や、文章からの執筆年代予測など、あらゆる分野での問題解決の基礎となるものです。本科目の目的は、アルゴリズムの基本概念や、アルゴリズムを作るための考え方を、Python 言語によるプログラミングを通して習得することです。		
成績評価方法	試験および演習課題の成績によって評価します。試験は基本的な事項の確認を中心とした問題になります。出題範囲などについては授業中に知らせます。		
教科書	次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook 書名 Python によるプログラミング入門 東京大学教養学部テキスト アルゴリズムと情報科学の基礎を学ぶ 著者(訳者) 森畑明昌 出版社 東京大学出版会 ISBN 978-4-13-062458-9		
関連ホームページ			
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50059	月 2	馬場 雪乃	1年 文科 理一(18,27-28,38) 2年 文科 理科
50150	月 4	田中 哲朗	1年 文科 理一(4,8,10,15) 2年 文科 理科
50182	月 5	杉山 磨人	1年 文科 理二三(5-6,8,12-13,15,17) 2年 文科 理科
50253	火 2	千葉 滋	1年 文科 理一(12,19-20,32) 2年 文科 理科
50306	火 2	森 純一郎、山肩 洋子	1年 文科 2年 文科 理科
50548	水 2	森畑 明昌	1年 文科 理一(9,25-26,29) 2年 文科 理科
50646	水 4	高野 保真	1年 文科 理一(1-3,5,7,35-36) 2年 文科 理科
50702	水 5	植田 一博	1年 文科 2年 文科 理科
50759	木 2	地引 昌弘	1年 文科 理一(11,16,37,39) 2年 文科 理科
50877	木 5	塩谷 亮太	1年 文科 理二三(1-3,7,9-10,14,16,24) 2年 文科 理科
50931	金 1	加藤 弘之	1年 文科 理一(17,21-22,30) 2年 文科 理科
50945	金 2	塚田 学	1年 文科 理二三(4,11,18-23) 2年 文科 理科
51022	金 3	羽山 博	1年 文科 理一(13,24,31,33) 2年 文科 理科
51058	金 4	金子 知適	1年 文科 理一(6,14,23,34) 2年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51312	A	情報・システム工学概論	長谷川 禎彦	工学部	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	情報・システム工学概論 近年情報技術の対象は、個数、金額、品番など、数値として管理するのが適切であることが一見してわかるものから、人間の言葉、動作、社会的行動など、単純な数値化による情報技術の適用が容易でないものに広がってきている。本講では、こうした対象に情報技術を適用するのに必要となる技術を概観し、具体的な適用例の紹介を通じてその理解を深める。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	出席数と、講義内容に関して出題される課題に対してレポートの採点を組み合わせて行う。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51300	A	情報システム基礎II	三田 吉郎	工学部	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	わかる電子回路 電子回路は、自動車から玩具に至るまで、世の中のありとあらゆる分野で使われている、普遍的な技術である。と同時に、電気電子工学のしっかりした理論体系を持っているので、基礎理論を一たび学ぶだけで、驚くほど多くの分野に応用することができる。工学の基礎ともいえるこの電子回路理論を、実演も含めながらわかりやすく講義する。学習の応用として実用的な回路を設計し、学生の意欲により自作演習と発表会を計画する。					
成績評価方法	出席、中間レポートならびに最終課題(学生の創意工夫を伸ばす自由課題)によって総合的に判断する。 2024年度の最終課題発表の機会は2回用意する 2025年1月16日(補講日)1限 2025年1月20日					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51297	A	情報システム基礎II	國吉 康夫	工学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ロボット・AI・VRと人間 / Robots, AI, VR and Human 人間の特性やメカニズムの理解に基づいて人工システムを構築することで、人間の機能や能力を部分的に再現・代替・拡張する、あるいは人間に対して効果的に働きかけたり支援する。ロボット、AI、VRの研究開発はいずれもこの方法論を共有し、相互に関連し、様々に融合しつつ発展している。これらの基本原理、人間との関係、最新の研究や応用、今後の方向性について、各分野の最先端研究を担う教員が解説する。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	講義への出席とミニレポート 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51294	A	モデリングと シミュレーション基礎II	長山 智則	工学部	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	力学で解く自然災害 地震、津波、洪水、台風、高潮など、我が国は世界的に見て自然災害の多い国である。多くの被害を出す大規模災害にも頻繁に見舞われてきたが、一方で自然現象の力学を理解・制御する工学を発展させることで、被害を食い止めようとしてきた。 本講義では、圧倒的な力を持つ自然現象とそれに伴う被害を人類がどのように理解・解釈し、工学モデルを築き上げてきたか、また依然未解明な問題にどのように取り組んでいるか、工学部社会基盤学科の教員が解説する。構造被害、地盤災害、沿岸災害に関連する力学数値モデリングならびにシミュレーション技術の発展について講義し、実社会の防災への適用の現状を解説する。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	3回のレポート提出および出席をもとに評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51306	A	モデリングとシミュレーション基礎II	中山 哲	工学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>化学情報とシミュレーション 社会問題を化学の力で解決に導くための基本的なシミュレーション技術や情報処理技術を Microsoft Excel を利用した演習を通して学ぶ。 また、計算化学・理論化学の基礎を学び、演習を通して、課題解決に向けての具体的なアプローチの仕方について学ぶ。 出席、および、演習結果とレポート。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60216	A 2	モデリングとシミュレーション基礎II	鳥海 不二夫	工学部	集中	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	<p>経済物理・金融情報学・計算社会科学 現代の社会における現象は複雑系に特徴的な特性を示し、新古典経済理論や金融工学、社会学では説明の付かない現象が数多く観察される。それに対して理工系の知見を適用して、社会現象を実証的に解明し解析しようとする学問がいくつも存在する。この講義では、そのような学問の中で経済物理・金融情報・計算社会科学の考え方や手法を学習するとともに、社会現象・人間行動に関係する複雑な現象にどのように取り組むかを考える。 ※履修人数制限 20 人 ※講義は集中講義にて行う。(1月21, 22日を予定) ※受講希望者は10月4日(金)までに100字程度の希望理由を添えてで申し込むこと https://goo.gl/forms/IGGUSrUvEkFJlkwl2 講義後に行われる試験によって評価。 試験は持ち込み可 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51376	A	社会を先導する化学システム工学	伊與木 健太	工学部	月 5	2	1年 理科
授業の目標概要		<p>化学システム工学科の教員が、持続可能社会を創るための化学を、基礎から分かりやすく説明します。以下のテーマを学びます。</p> <p>【環境・エネルギー分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算化学から見た触媒と環境問題 ・環境問題を解決するナノ空間材料 ・電気化学、材料科学、そして社会 ・超臨界からグリーンケミストリーへ <p>【医療分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分子から見たバイオと未来医療 ・Simulation for chemical/drug manufacturing <p>「化学と社会のつながり」を考えたい学生諸君の参加を歓迎します。教員や大学院生と交流する機会も設けます。希望者には化学システム工学科研究室見学会も企画します（参加は自由です）。</p> <p>*****</p> <p>このゼミは10月2日（水）6限（18：45～）にZoomで行われる工学部合同説明会ならびに化生系合同ガイダンスに参加予定です。いずれもオンライン開催です。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知する予定です。</p> <p>*****</p>					
成績評価方法		主に出席・レポート					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特定日に行う。／Will conduct guidance at another time					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51414	A	リベラルアーツとしての工学： 工学の歴史・現在・未来を俯瞰 するオムニバス講義	戸矢 理衣奈	生産技術研究所	火 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>本講義では、教養学部1-2年生が文系理系を問わず、人間・社会との関係性のなかで総合的に科学技術の概念を学ぶことを目的とする。</p> <p>我々は、AI、半導体、情報工学、有機EL等の先端科学技術に日々接しながら過ごしている。現代では先端科学技術が社会そして人間をも大きく規定しており、それは、エンジニアだけではなく社会全体で共有して考えるべきテーマであり、人類に共通する課題ともなっている。これまでも科学技術にまつわる意思決定にはエンジニアのみならず様々な社会的立場の者が関与してきたが、いまや文系理系に拘らず、現代人に必須の教養としての「リベラルアーツとしての工学」が求められている。</p> <p>本講義では、工学の主要領域にて先端研究に携わる研究者がオムニバス式に講義を担当する。専門領域の過去、現在、未来を踏まえつつ、人間や社会との関係性を考えるうえで焦点をなす研究や事例に着目し、数式を基本的に使わずに講義を実施する。</p> <p>教養学部生が社会を構成している先端科学技術の起点及びその発展に接することで、未来を拓くための基盤となる知見を得るとともに、俯瞰的な視点を涵養する機会となることを期待している。</p>					
成績評価方法		<p>・毎回の出席</p> <p>「講義で学んだことを500字以内にまとめよ」</p> <p>※ UTOL で講義終了10分前から講義終了後30分までに提出。</p> <p>・レポート</p> <p>「興味をもった講義を1つ選び、その内容に関して独自に調査してA4用紙2枚程度にまとめよ」</p> <p>※ UTOL で期日までに提出</p>					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51450	A	ジェンダーを考える	小川 真理子	多様性包摂共創センター	火 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	現代社会では、想定外の政治的課題や事象が次々と起こっている。その際、マジョリティ側とは異なる視点、ジェンダーや多様性の視点を導入することで、複雑な事象や課題を別の視点から捉え、分析することが可能になる。本講義では、ジェンダー平等後進国の日本の現状について、学生が認識を高め、ジェンダーをめぐる多様な問題について自ら考える機会を持つことを目的としている。初回はイントロダクション、2回目から11回目までは各講師の専門領域の視点や切り口からジェンダーに関連したトピックについて講義を行う。第12回、第13回は講義を踏まえグループに分かれて発表を行い、最後にまとめを行う。						
成績評価方法	ディスカッションへの参加度、毎回の授業後のコメントカード（300字～400字）、期末レポート（1,000字）を総合的に評価する。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51381	A	UT チャレンジャーズ・ギルドD	廣瀬 明、永綱 浩二	工学部	火 6	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	ITの普及と発展により、我々の身の回りには新しい製品やサービスが登場し、時として生活スタイルを大きく変えたり、ビジネスの枠組み自体に大きな影響を与えたりすることがある。購買者や利用者として製品やサービスが提供するメリットを享受することはたやすいが、逆に購買者や利用者を興奮させたり、目を見開かせたりする製品やサービスを創造することは容易ではない。では、購買者や利用者を「これはすごい!」、「これは便利だ」、「これは心地よい」、「これは楽しい」と言わせるモノを創ってみようではないかというのがこのゼミの狙いである。 まずは、「作ってみた」というレベルから開始して、最終的には製品やサービスが果たす「社会的なゴール」を意識したレベルのモノづくりに取り組んで欲しいと考えている。従って、ゼミに参加するにあたっては何にチャレンジしたいのか、具体的な目標を持って臨んでもらいたい。個々のゼミ生の目標に基づき、専門家による指導を受けたり、製造現場を見学に出向いたりしたいと考えている。また、構築した応用システムは、完成後、想定される利用者に試用してもらい、利用者の評価を受ける予定である。さらに、本ゼミでは起業を支援した実績があり、起業にチャレンジしたい学生諸君の参加を大いに歓迎する。 ※受講人数：10名 ※開講場所：駒場 KOMCEE 3階 K301号室 受講を希望する学生は、永綱 (t-ngtna@g.ecc.u-tokyo.ac.jp) までメールで申し込みこむこと。(希望者多数の場合には抽選) ガイダンス/ Guidance： 合同ガイダンスが設定される場合（別途周知される予定）にはこれに参加する。 個別ガイダンスは10月8日(火)18:45～からオンラインで行う。 ガイダンスのzoomURLは、UTOLのオンライン授業情報に記載する。						
成績評価方法	ガイダンス、講義、実習、システム構築、事業計画書、プレゼンテーション、発表会への参加。						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50703	A	Introduction to Japan in East Asia	前島 志保、 KUHN Felix	PEAK 前期	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>This course is a lecture series offered by faculty members of the University, and designed to showcase the wide range of research in Japan and/or East Asia. The purpose is to illustrate how fundamental concepts as well as knowledge learned in the junior division can lead to interesting intellectual explorations in the senior division of the PEAK Japan in East Asia Program.</p> <p>The scheduled twelve lectures are on cultures, societies and histories of Japan and/or East Asia. The lecturers of these classes are involved in three disciplines in the College of Arts and Sciences: Interdisciplinary Cultural Studies, Area Studies, and Interdisciplinary Social Sciences. The first class includes some guidance with a short lecture.</p> <p>教養学部教養学科の三分科（超域文化科学分科、地域文化研究分科、総合社会科学分科）の教員が交代で英語による講義を行うレクチャー・シリーズです。教養学部英語コース（Programs in English at Komaba/PEAK）の文系後期課程コースである国際日本研究コース（International Program on Japan in East Asia）の紹介も兼ねた授業ですが、PEAK 前期課程以外の学生も受講可能です。初回授業にガイダンスと詳細なスケジュールの説明を行います。</p>					
成績評価方法		50 % Class participation (reaction papers) 50% Final paper					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51443	A	装う	伊藤 徳也、白 佐立	教養教育高度化機構	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>「装う」ということは、いつも何らかの仕方で他者を前提にしている。見られたい誰かを抜きにしてファッションは考えられないし、制服は他者たちのあいだでその共同体への帰属とそこでの地位を明確にするためのものだ。また昆虫の擬態や、所謂「仮装としての女性性」をめぐる議論を想起するなら、「装う」ことは他者の脅威から身を守ることをもまた可能にする。それはよそよそしい、さらには敵対的な環境に入り込み、生き延びる手段を与えてくれるものでもあるのだ。</p> <p>さらに「装う」ということは、われわれに虚実をめぐる問いを突き付けるものでもある。たとえば誰かが「平静を装う」と言う時、そこにはその人が本当は平静でないということが暗に述べられている。ただここで前提されている本当の姿と仮の姿の区別は、見かけほど自明なものではない。これはそうした区別が外側からは分かり難いという以上に「装い」の本質に関わる。たとえば私が自分のなりたい姿を「装う」とき、それは虚実のいずれに属するのだろうか。そもそも私が他者とは無関係にはあり得ないとすれば、われわれが「私」と呼んでいるものはむしろ、われわれが他者を前にして取るさまざまな姿の集積であり、つまりは「装う」ことそのものであると言えはしないか。</p> <p>本講義では文理双方の教員が、こうした「装う」ことをめぐる問題が明らかになるさまざまな場面をとりあげ自らの専門分野から照明をあてることで、受講者がそれらを手掛かりに、この主題について独自の見方を培うことを目指す。講師と講義内容は下記の URL に9月初頭に掲載する予定</p> <p>http://www.lap.c.u-tokyo.ac.jp/ja/theme_lectures/</p>					
成績評価方法		出席、毎回の講義内容に対するコメントの提出等の平常点と期末の小論文とで総合的に評価するが、期末の小論文を締切までに提出することは、単位取得のための必須の条件となる。その他の評価基準はガイダンス時に説明する。					
教科書		プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51377	A	目的意識学 ～自分らしい”未来” のを見つけ方～	脇原 徹	工学部	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>近年、価値観の多様化や VUCA への適応が進む中で、社会的により多くの人により多様な人生の選択肢が提供されるようになってきました。その一方で、自分はどうのような選択をするべきなのか、またはしたいと思っているのか、一人一人が自分なりの判断軸を持つ必要性も高まっています。</p> <p>本講義では、その判断軸を構成する主要な要素の一つである「目的意識」にフォーカスします。受講生の皆さんには、毎回登壇する多様なフィールドで活躍するゲストスピーカーのストーリーから、目的意識について多角的に理解していただき、自分なりの「目的意識学」を深めていただきます。</p> <p>その上で、皆さん自身のこれからの学生生活や人生を豊かにするための「自分らしい軸」についての自己認知を深めることを講義の目標とします。</p>					
成績評価方法		各回の講演のまとめやワークショップのレポート提出により評価を行う					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51388	A	「現代の数学 – その源泉とフロンティア –」	小木曾 啓示	数理科学研究科	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	高等学校で学んだ数学、大学の前期課程で学ぶ数学が、どのように現代の数学につながっているか、現代の数学の研究の源泉はどこにあり、どのようなことがわかっているか、何を求めて研究が行われているかということ、最前線で活躍する数学者がいくつかのトピックについて数回ずつ解説する。						
成績評価方法	出席とレポートによる合否判定で行う。レポートは4名の先生の中から一人選んでその先生の講義に対するレポートを出してください。詳細は初回ガイダンス時に説明します。						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51380	A	海研究のフロンティアII	早稲田 卓爾	工学部	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	本講義は、理学・工学・農学・法学・総合文化・新領域創成科学研究科、大気海洋・地震・気候システム・東洋文化・生産技術研究所、史料編纂所・アジア生物資源環境研究センターなどで海洋に関する研究・教育活動に関わっている教員が、最先端の研究成果を紹介する。講義に関する追加情報は、以下に記載されます。 http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/						
	----- ※このゼミは10月2日(水)6限(18:45~)にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。 -----						
成績評価方法	出席および授業内レポート						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51371	A	ノーベル賞に学ぶ物理工学	芝内 孝禎	工学部	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	近年のノーベル物理学賞の多くは、磁性や超伝導などの物性物理学、量子光学、量子情報、ソフトマターなど「物理工学」と呼べる分野での受賞となっている。これらの受賞内容を学ぶことは、物理工学の歴史や今後の展開を知るのにいい機会になると考えられる。そこで、過去のノーベル物理学賞から物理工学分野に関連の深い受賞テーマをとりあげ、その物理的背景や受賞後の発展などを含めて、各テーマを専門とする教員陣がわかりやすく解説する。						
成績評価方法	毎回提出する小レポートにより評価を行う。						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51391	A	惑星科学のフロンティア	瀧川 晶	理学系研究科	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	我々は、太陽を周回する天体の一つである「地球」という惑星に住んでいる。それは、太陽系では地球だけが海や温暖な気候を有するからだろう。そのような生命にとって快適な環境はどのようにもたらされたのか？また、太陽系外には第二の地球と呼ぶにふさわしい惑星は存在するのか？近年では、理論・室内実験に加えて、太陽系探査や系外惑星観測など様々なアプローチで研究がなされている。本講義では、この分野の世界をリードしている科学者が最先端のサイエンスを講義する。						
成績評価方法	出席のみ。ガイダンスはありませんので、12回の講義に参加してください。 出席に関する問い合わせは、授業当日の講義時間内に各担当教員におこなってください。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51431	A	教養学部生のためのキャリア 教室	山上 揚平	教養教育高度化機構	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	国内外で活躍している各界の社会人をお迎えし、自身の進路選択、仕事の内容、人生の転機や悩み、生き方をお話いただくオムニバス形式の授業です。多様な価値観や進路選択を知ることで、グローバル化や超高齢化、高度情報化などの変化にさらされる現代で柔軟に自らのキャリアを形成するための基礎、考え方を学びます。 ゲストスピーカーは企業、官公庁、大学・研究機関、国際機関などから多様な幅広い年代の方を予定しています。講義を聞く時間だけでなく、ゲストへ質問する時間や、受講生同士で議論する時間、主体的に自分のキャリアや生き方について考えるためのワークショップもありますので、積極的に参加することが期待されます。 すでに具体的に進路を定めている人はもちろん、「社会人ってキツくて大変そうだけど実際どうなのだろう」と仕事と生活について話を聞いてみたい人、「何をやりたいかわからないけれど進学選択の際に困らないようにとりあえず高い点数を取っておこう」と考えるのを先延ばしにしている人も歓迎します。専門課程に進む前に自分のこれからについて考えてみましょう。 過去の授業概要や本年度の講義予定のゲストスピーカーと略歴は、授業ホームページ（ http://www.sr.komex.c.u-tokyo.ac.jp/career/omnibus/ ）で確認することができます。 授業関連図書：標葉靖子、岡本佳子、中村優希編『東大キャリア教室で1年生に伝えている大切なこと：変化を生きる13の流儀』東京大学出版会、2019年						
成績評価方法	①各回のミニッツレポート（30%） ・講演内容で特に印象に残った点、およびそれに対する自身の考え ・感想・意見等 をグーグルフォームに記入して、翌週月曜日 23:59 までに提出してください。 グーグルフォームは各回の冒頭に、zoom のチャット画面で送ります。 ②レポート（70%） ・自己分析（800字以上） 各回のミニッツレポートを見返し、例を一つ以上挙げながら自分の特徴や傾向を分析してください。さらにその長所や短所を考え、まとめてください。 ・調査（800字以上、タイトルをつけること） 授業を受けるなかで世の中や生き方について気になったことを調査し、考察をつけてまとめてください。記述にあたっては一つ以上の資料を参照し、出典を明記すること。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51362	A	スタートアップ・トレーニング (駒場) A セメ	長藤 圭介、杉上 雄紀	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>授業の目標概要</p> <p>※このゼミは 10月2日 (水) 6限 (18:45~) に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p> <p>A セメは S セメから受講しプロジェクトを実施している学生のみが受講できます。 以下、参考までに S セメの内容の再掲</p> <p>-----</p> <p>テクノロジー×デザイン×ビジネスのスタートアップ手法を社会実装を通じて身に着けるソニー社会連携講座のトレーニング・パートです。自分の頭で考え、手を動かして作り、足を運んで使ってもらう事を繰り返すことで、圧倒的な体験と野心的な未来構想を生み出す新規事業開発の次世代リーダーになります。 本郷近隣の東京芸術大学・デジハリの学生や現役の社内起業家と共に活動。人生を賭けて挑みたいことを本気で見つけたい人を、文理・学年問わず歓迎します。 TRAINING：スタートアップの考え方とやり方を演習を通じて身に着ける講義 EVENT：プロジェクトのテーマとチームを作るサークル活動 PROJECT：原体験を胸に社会実装に挑むサークル活動 の3つで構成される社会連携講座の講義 (TRAINING) パートで、同じ Zoom に東大の全学年全学科、東京芸大、デジタルハリウッド大学の3大学の学生が混成し5,6人のチームに分かれて講義を行う3大学連携のオンライン講義です。 参加者が70名を超える場合は選考となる可能性があります。 社会連携講座の全体像や具体的な曜日・カリキュラムについてはオリエンテーションや公式サイトを確認してください。 単独説明会：4月上旬にオンラインで60分開催 合同説明会：工学部の合同説明会にて3分程度説明、上記の単独説明会の URL を共有 公式サイト ※2024年3月末に更新予定 https://ignite-your-ambition.com</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは 4月8日 (月) 6限 (18:45~) に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p> <p>成績評価方法 教科書 ガイダンス</p> <p>出席とアイデアシートの提出 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特定日に行う。/Will conduct guidance at another time</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51363	A	UT-ONE2 -2025年度 S セメ 講義を共に創る-	長藤 圭介、杉上 雄紀	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>授業の目標概要</p> <p>UT-ONE の 2024S は、東大入学直後の1年生を対象としたアントレプレナーシップ教育の入門編として「仲間と出会い、社会を知り、自分を知る」をコンセプトに企業訪問と企業提案を実施、完走者は350人を超え、約20社に訪問や提案を行いました。2025S の UT-ONE もこのコンセプトは継承しつつ、より多くの1年生・多くの企業が参画してもわかりやすく円滑に運営できるようさらにブラッシュアップをしていくため、S セメに参加してくれた1年生と共に来年度の S セメに向けたアイデア出しや目的別プロジェクトを行います。</p> <p>おおまかな講義の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> 0) オンライン説明会 講義概要・進め方の共有・質疑応答 1) S セメのアンケート結果を踏まえたレビュー、課題・タスクの洗い出し・グルーピング 2) タスクグループ毎にやりたい1年生が集まってプロジェクト化 3) プロジェクトごとに活動、1, 2回は教員とのレビュー 4) 成果物の発表 ※12月上旬予定 それ以降は講義ではなく学生スタッフ (TA) として活動想定しているプロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・告知・広告系 3月の諸手続きイベント企画運営、SNS 運営、チラシ・ポスター制作 ・技術・プログラミング系 希望マッチングの Python スクリプト、その入力元となるフォーム ・企業連携系 企業からの参加情報のやり取り・集約法、企業集め <p>-----</p> <p>※このゼミは 10月2日 (水) 6限 (18:45~) に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p> <p>成績評価方法 教科書 ガイダンス</p> <p>12月の最終発表におけるプロジェクトごとの検討結果 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特定日に行う。/Will conduct guidance at another time</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51407	A	医科学研究最前線	武川 睦寛	医科学研究所	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>がん・免疫/アレルギー疾患・感染症をはじめとする難治性疾患の病因・病態の解明と、これらの疾患に対する治療・予防法の開発を目指す医科学研究所の研究活動の実際を紹介する。さらに、関連する分野（ゲノム・エピゲノム解析、分子病態解析、創薬、難治性感染症、神経筋疾患、ワクチン開発など）の動向について、集中講義形式で分かりやすく解説する。</p> <p>※開講日時: 令和6年12月14日(土)9:15~16:40、および12月15日(日)9:30~16:40 <12月14日> 9:15~9:30 医科研紹介 9:30~16:40 講義(1コマ90分、12:40~13:30 昼休み) <12月15日> 9:30~16:40 講義(1コマ90分、12:40~13:30 昼休み) ※医科学研究所 1号館 講堂において対面で行う。 ※ガイダンスは本年度は行わない。</p>						
成績評価方法	<p>レポート <レポートについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート内容 8講義全てについて、自分が興味を持った内容をまとめる。 ・形式 一つの PDF ファイルで提出（講師1人につき A4用紙1ページ、計8ページ（表紙含まず））・・・ファイル名は、学籍番号+氏名とすること ・提出先 以下の URL の受取フォルダにアップロードしてください。 https://univtokyo-my.sharepoint.com/:f/g/personal/9558378034_utac_u-tokyo_ac_jp/EkdX-NzVMsNOst9GP2Y 						
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。/ Will not use textbook 特に行わない。/ Will not conduct guidance</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51451	A	ジェンダード・イノベーション入門	小川 真理子	多様性包摂共創センター	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。三大学（お茶の水女子大学、東京大学、東北大学）の混成チームによるグループワークで議論をすることで理解を深め、新しいアイデアについて考察する。多様な領域の研究・開発を自分自身の関心領域と関連付けて、未来のジェンダード・イノベーション展開について創造的に考察することが目的である。</p>						
成績評価方法	<p>発表=40%、その他=40% 三大学の混成グループで活動する。積極的な意見交換や議論を期待する。授業への参加態度=20% 出席確認フォームで出席確認をとる。8割以上の出席率を求める。最終日に自己評価シートを提出する。</p>						
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。/ Will not use textbook 特に行わない。/ Will not conduct guidance</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60221	A 2	経営工学のすすめ	川中 孝章	工学部	金 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>皆さんの中には、理系に進んだけれど文系分野にも興味がある。文系に進んだけれど理系分野にも興味があるといった人がいるのではないのでしょうか？私も高校時代、数学と社会が好きでした。経営工学は文理融合の分野です。経営学、経済学を中心とした社会科学の諸問題を、科学的視点から数理的あるいは工学的アプローチにより解決することを目指しています。</p> <p>本講義では、経営工学のベーシックな理論を中心に解説します。さらに、最新の研究論文にも触れながら経営工学の応用事例を紹介します。取り上げるテーマは以下を予定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産管理 ・ファイナンス ・品質管理 ・人的資源管理、行動科学 ・ロジスティクス、サプライチェーンマネジメント (SCM) ・マーケティング、需要予測 ・プロジェクトマネジメント <p>学際的分野のため、文科、理科を問わず受講することができます。</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは10月2日(水)6限(18:45~)にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p>						
成績評価方法	出席およびレポート						
教科書	教科書は使用しない。/ Will not use textbook						
ガイダンス	第一回授業日に行う。/ Will conduct guidance at first time						

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51423	A	文化、国際協力と 質的研究入門	田中 英三郎	教養教育高度化機構	月 1	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>授業の目標概要 質的研究とは、観察やインタビューなどのデータを数量化せずそのまま分析し、社会現象を明らかにする研究手法です。文化人類学、社会学、保健医療学、心理学など異なる様々な分野で質的研究は発展してきました。特に、研究仮説を持たない未知の領域において、“そこで何がおこっているのか”を探索するのに有用です。本講義では、質的研究の背景哲学、研究方法論を理解し、最終的には研究プロトコル作成を目指します。本講義の具体的な目標は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 質的研究の特性やプロセスが説明できる。 2) 観察やインタビューを用いて質的データが収集できる。 3) 質的データを適切に分析・解釈できる。 4) 質的研究を活用した研究計画を立てることができる。 <p>本講義を担当する田中はこれまで異なる文化圏においての国際協力活動で質的研究法を活用してきました。こういった事例を紹介しつつ、質的研究が実社会でどのように活用できるかを参加者とともに議論していく予定です。</p> <p>成績評価方法 出席とレポート</p> <p>教科書 授業中に指示をする。／Will specify at class time</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>							

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50078	A	Introduction to Physical Sciences	ウッドワード ジョ ナサン ロジャー	PEAK 前期	月 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>授業の目標概要 Please note that although the main title of this course is Earth Science, the curriculum has changed as of S-semester 2024 (the formal title change will be applied later). In this course, we cover some key topics across the physical sciences to help ensure students who have studied differing amounts of chemistry and physics in high school are on the same page.</p> <p>成績評価方法 Grades for the course will be awarded based on attendance and participation in the group work activities (30%), performance in live online quizzes (10%), short written assignments (10% and a final exam (50%).</p> <p>教科書 プリントを配布する。／Will distribute handouts</p> <p>ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>							

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51421	A	The Gender, Sexuality & Identity Course	FACIUS Michael	東京カレッジ	月 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>授業の目標概要 What are gender and sexuality? How do identities based on gender and sexuality influence our thoughts, behaviors, and relationships? To address these questions, an interdisciplinary group of scholars will guide students in an exploration of genders and sexualities across different regions and time periods. Using the concept of “identity,” instructors will cover such topics as discrimination based on perceived physical attractiveness, queering Japan, toxic masculinity, and gendered moralities. In the process, the course will answer questions about how different expressions of gender and sexuality shape our experiences and how we can move closer to a society that welcomes and respects diversity.</p> <p><<Learning Goals>></p> <ul style="list-style-type: none"> - to assess and compare case studies on genders and sexualities across cultures. - to develop and explain your own views on gender and sexuality using the concept of identity. - to explore how we might promote diversity and inclusivity in society. <p>成績評価方法 pass/fail based on:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. short essay (midterm assignment) – Choose a topic on gender and/or sexuality that interests you and write a 500-word essay using at least 2 scholarly sources. 2. oral presentation (final assignment) – Using the feedback you received on your short essay, develop and give a 10-minute presentation. The presentation should include at least 4 scholarly sources. You will also need to comment on your classmates' presentations at least once <p>教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51409	A	ミュオグラフィと諸科学との 連携による地球-社会-医療-に おけるテーマ開拓 Looking for new research subjects in the field of the Earth- Society-Health in collaboration with muography	田中 宏幸	国際ミュオグラフィ 連携研究機構	月 3	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	透視、ナビゲーション、時間計量学、暗号通信等に成果を上げてきた「ミュオグラフィ」。本全学自由研究ゼミナールでは、海洋、エネルギー/環境、情報、医学、放射線工学における専門家が課題を洗い出す。そしてミュオグラフィを今後どのような価値ある形で社会へとつなげていけるのかについて集中的に考えることを目的とする。(1) 海洋センシングの新展開の可能性について議論する。(2) 石油天然ガス資源とそれに伴う温暖化対策(二酸化炭素地中貯留(CCS))の両輪について議論する。(3) 放射線工学技術の応用について議論する。(4) 大規模ストレージ開発の歴史と技術やIOTについて議論する。(5) 医療画像の機械学習による自動診断技術についても考察する。特に大規模データ活用の議論については総合研究博物館見学会として総合研究博物館のデジタルアーカイブ技術やIOTに対する理解を深める。 Muography, the novel imaging technique to visualize gigantic objects such as volcanoes, pyramids, and nuclear reactors, has been restricted to its performance on the ground. In this seminar, the experts in the fields of marine, natural resource and planetary scientists will clarify the restrictions in the current observation techniques, and will extensively discuss the following topics to address how muography can be applied to benefit their fields. (1) In the field of ocean sensing technologies, it is now possible to collect marine and ocean floor information with GNSS-A and DAS. However, the spatiotemporal windows of these techniques are still limited. (2) The target of the oil and natural gas resources are deepened, more complicated, and down-sized, and more technological developments are required. (3) Controlling and safe operation of carbon capture and storage (CCS) could be an essential technique for realizing the carbon neutral society. In this lecture, the current CCS techniques will be introduced and muographic applications to CCS will be discussed. (4) In the field of medical science, the techniques of machine learning of medical images have been highly developed. In this lecture, the recent trend of medical machine learning will be introduced and its possible application to muographic diagnosis of active volcanoes will be discussed. (3) Planetary sciences. Furthermore, in order to realize sharing and machine learning large-sized muographic data, and to utilize the muographic results between researchers and/or researchers and society in the valuable way, (4) large-sized storage and networking technologies will be discussed.						
成績評価方法	出席						
教科書	教科書は使用しない。/ Will not use textbook						
ガイダンス	第一回授業日に行う。/ Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51383	A	0 から始める Web プログラミング	吉田 壘	工学部	月 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		<p>【概要】 本授業は、知識 0 の人でも Web プログラミングを身に付けて、自分が作りたい Web システムのプロトタイプ（試作品）を作れるようになることを目指します。 Web プログラミングに必要な言語やフレームワークを学びつつ、自分たちが作りたいサービスをどのように実装していくのかを段階的に検討していきます。特に第 2 回から第 7 回では、Web プログラミングに関連するコンテンツの概論を伝え、授業後に各内容に関する動画や教材を学んでもらい、次の授業の冒頭でその内容に関する小テストを行うことで知識が身についているかを確認します。 また、特に第 8 回では、最終発表に向けたグループ分けを行います。この時、それぞれの受講者の興味や強みを共有した上で、グループを組んでもらえるよう工夫します。</p> <p>本当に知識 0 の場合は学習量が多くなりますが、その分得られるものは大きいです。ChatGPT の登場により Web プログラミングの重要性が高まっていますし、学習しやすい環境が整ってきています。Web プログラミングの技術を学生の間に身に付ければ、みなさんの強力な武器になると信じています。是非、技術を磨いて、自分が作りたい Web サービスを作れるようになりましょう！</p> <p>【授業スケジュール】 第 1 回 ガイダンス 第 2 回 開発環境 (VS Code) + Web サービスの作り方 (企画書、サイトマップ、レイアウト) + HTML 概論 (課題 HTML 勉強) 第 3 回 開発環境 (Git, GitHub, GitHub Desktop) + HTML 実習 (ページの要素作成) + CSS 概論 (課題 CSS 勉強) 第 4 回 CSS 実習 (ページのデザイン) + JavaScript 概論 基本文法編 (課題 JavaScript 勉強) 第 5 回 JavaScript 概論 Web 連携編 (課題 JavaScript 勉強) 第 6 回 JavaScript 実習 + Firebase + Hosting 概論 (課題 Firebase 勉強) 第 7 回 ログイン機能 実装 (課題 Web サービス コンセプトメイキング (企画書、ラフスケッチ)) 第 8 回 グループ分け 第 9 回 Web サービス開発 基本設計 (サイトマップ + ワイヤフレーム) 第 10 回 作業 第 11 回 中間発表 第 12 回 作業 第 13 回 最終発表</p> <p>【教員】 吉田壘 東京大学大学院工学系研究科准教授。博士 (科学)。専門は教育工学。オンラインにおけるより良い意見交換するプラットフォーム「LearnWiz One」を学生と協働して開発。その有用性が認められ世界最大の EdTech コンペティション GES Awards 2021 の R&D Open Innovation 部門にて世界大会優勝。主に関わった学生が令和 3 年度学生表彰「東京大学総長大賞」を受賞して起業。</p> <p>【補足】 ・この授業では、受講生が互いに学べることが多いと考えるため、ペアワークやグループワークで学ぶ機会を多くつくります。 ・各自プログラミング環境を整えることができる PC (Windows, Mac, Linux) を用意してください (Chromebook は不可)。 ・授業外学習が多くなるため、それを理解した上で履修してください (ただし、昨年度実施した授業をふまえてみなさんの負荷を減らす工夫をする予定です)。 ・学部後期課程、大学院の学生も履修することから、授業は 14:55 スタートで 105 分となることご了承ください。</p> <p>----- ※このゼミは 10 月 2 日 (水) 6 限 (18:45~) に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p>					
成績評価方法	授業への出席、課題の提出状況、中間発表、最終発表をふまえて、総合的に評価します。						
教科書	教科書は使用しない。/ Will not use textbook						
ガイダンス	第一回授業日に行う。/ Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50216	A	韓国ポップカルチャー論	鄭 孝俊	学生による全学自由 研究ゼミナール	月 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>近年、韓国のエンターテインメントコンテンツが世界的な人気を集めています。BTS、BLACKPINK、TWICE、aespa、NewJeans などの K-POP や映画『パラサイト 半地下の家族』、Netflix ドラマ『愛の不時着』『梨泰院クラス』が日本でも受け入れられ様々な解釈が行われています。本講座では、それらの諸問題について学問的にアプローチすることを試みます。韓国エンタメの表象分析として社会学、文化人類学、言語学、平和学などを援用しより深い議論と多角的な分析を目指すことによって韓国エンタメの研究方法について視座と展望を提示していきたいと思ひます。その一方で講師は新聞社の文化部記者として長年、取材活動を続けてきたため、受講者の興味、関心を高められるようジャーナリスティックな視点も取り入れて日韓の制作現場の違いなどをできる限り分かりやすい言葉で解説していきます。本講義が将来の就職や進路選択の参考になれば幸いです。</p> <p>【講師プロフィール】 サンケイスポーツ新聞文化報道部記者、デスク、編集委員を歴任。退社後、フリーのコラムニスト、ジャーナリスト。韓国での現地取材多数。 東京大学大学院人文社会系研究科韓国朝鮮文化研究専攻言語社会分野博士課程単位取得満期退学 首都圏の国立大、私立大の講義にゲスト講師として多数参加し、K-POP や韓国ドラマについて解説</p>					
成績評価方法		出席とリアクションペーパー、期末レポートによる総合評価となります。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51390	A	表現論入門	阿部 紀行	数理科学研究科	月 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>様々な対象の対称性を記述する概念として「群」があります。中でも線型空間に潜む対称性を記述する分野を表現論と呼びます。その設定は単純なものですが大変汎用性がある考え方で、整数論のような数学における分野、さらには物理学などとも関係する一大分野です。</p> <p>群論の解説から始めて表現論の基礎理論、および対称群の表現論に関する講義を行います。</p>					
成績評価方法		授業中に提示する。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51417	A	Molecules for Healthcare	Tito Akindele	グローバル教育センター	火 1	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>The state of any society depends on the well-being of its citizens. As such, humanity's quest for attaining the sustainable development goals will depend on a healthy society. In this course, students will learn about the medicines that have sustained humankind. This course is designed for undergraduates with an interest in the molecular basis of medicines and their impact on human health. Comprehensive support will be provided for those concerned about their level of English.</p>					
成績評価方法		Please note that this course will be graded on a Pass/Fail (P/F) basis.					
教科書		Assessed assignments, pop quizzes, and presentations 教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51392	A	Agric. Scientists Studio Interview	潮 秀樹、田中 智、五十嵐 圭日子、高橋 伸一郎	農学部	火 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>皆さん、それぞれの科学者あるいは科学に関連する仕事に就いている方々は、どのような経緯で、どのような仕事をするようになったのでしょうか？また、それで何を実現し、どのような未来を描いているのでしょうか？本講義は、そんな疑問に応えるために、科学者あるいは科学に関係する仕事に就いている方々にインタビューを試み、皆さんに、インタビュー記事を書いてもらい、science communicators としての新しい経験を積んでもらうことを目標としています。</p> <p>本講義は、One Earth Guardians (OEGs) 育成プログラムのメンバーが中心となって企画する講義です。本年度は、農学関係する領域で活躍している科学者や関連分野のしごとに就いている方々に、インタビューを受けていただきます。それぞれの方々のインタビューや仕事の内容の調査を通じて、それぞれの方の過去、現在、未来をシェアし、これらをまとめて科学者としての5W1Hの記事にすることによって確認する、そして、これらを自分のこれからの道に生かしてもらうことを最終ゴールとしています。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席とインタビュー記事の執筆、発表 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51412	A	グローバル化時代における 法学の協働	加藤 紫帆	社会科学研究所	火 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>【授業の目標】 国際公法と国際私法を専門とする担当教員二人とともに、両分野に関わる最新の研究論文を精読し、そこで扱う各テーマについて議論することで、グローバル化時代における法学の協働の在り方について理解を深めることを目標とする。</p> <p>【授業の概要】 グローバル化を通じた社会の複雑深化に対応すべく、法学を含めた社会科学の各分野は今日一層専門分化の途を進み、それぞれの領域において知識の体系を洗練し続けている。他方、現実の社会現象や社会問題はそうした知識の体系のうちの1つに収まるかたちで生じるとは限らず、複数の専門分野にまたがって生じることは珍しいことではない。「学際的」な研究の重要性が今日広く説かれるのはそうした背景からであり、法学においても複数の専門分野が連携する研究が試みられるようになってきている。そうした研究は、複数の専門分野の中間領域に属する問題に対する具体的な解決策や新たな視点を見出そうとするものであると同時に、既存の専門分野の知識の体系を時に揺るがす挑戦的な試みであることもある。</p> <p>本ゼミナールを担当する2名の教員は、それぞれ国際公法と国際私法という、隣接する2つの学問領域を専門としつつ、両者の境界領域に属する実践的・理論的な問題にも関心を持ち、共同で研究を進めている法学研究者である。国際公法と国際私法は、長らく別個独立の法学分野として認識され、各々の領域で知識の体系が構築されてきた。しかし近年、両分野の境界領域にて生じる法現象に対応すべく学際的な研究が試みられるばかりか、学問領域としての国際公法と国際私法の相対化を説く向きもある。本ゼミナールでは、国際公法と国際私法の関係（の再構築）という法学の最先端の議論にやや背伸びをしながら触れつつ、グローバル化時代における法学の協働の在り方を考えてみることにしたい。扱う文献はいずれも英語で書かれた論文や書籍であり、まとまった分量の英語文献を講読したいという学生も歓迎する。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51425	A	サイバーフェミニズム	飯田 麻結	教養教育高度化機構	火 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>サイバーフェミニズムの歴史的な隆盛とその代表的な作品・プラットフォームを参照した上で、https://cyberfeminismindex.com/に掲載された文献を中心に、デジタル・テクノロジーとジェンダー、セクシュアリティに関する多角的な視点を獲得することを目的とする。その上で、同時代的な科学技術が身体に関する理解をどのように変容させているのか、具体的な事例とともに批判的に考察する力を身に着けることが望ましい。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席、ディスカッションへの貢献、授業内での発表(15分程度)、期末レポートに基づき総合的に判断する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51465	A	SDGsを学べる授業をつくろう	中澤 明子、中村 長史	教養教育高度化機構	火 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>持続可能な開発目標（SDGs）は、ミレニアム開発目標（MDGs）の後継として2015年の国連総会で採択され、17の目標が定められている。MDGsが途上国の貧困削減や社会開発に焦点を当てていたのに対し、SDGsは世界中の国々の経済・社会・環境といったより広い問題を扱うものである。その広さゆえ総花的であるという批判もある一方、多くのアクターを巻き込めるという利点も指摘されている。</p> <p>この授業では、このようなSDGsについて高校生が効果的に学べる授業を設計してみることで、SDGsについての自分自身の学びを深めることを目指す。他者に教えることそのものや、授業を設計する過程での調査や議論は、本人にとって最も身につく学びとなる。また、この授業では「効果的に学べる」ためにアクティブラーニングという手法を用いた授業を設計することを目指す。</p> <p>具体的な到達目標は、以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①SDGsが作成された背景について説明することができる ②SDGsの意義について説明することができる ③SDGsの課題について説明することができる ④SDGsの17の目標について説明することができる ⑤学習者の学びを深める授業の方法について説明できる ⑥SDGsについて学習者の学びを深める50分間の授業を設計することができる 					
成績評価方法		最終成果物＝授業案（50%）、平常点＝議論への貢献（50%）					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51466	A	模擬国連で学ぶ国際関係と合意形成I	中村 長史	教養教育高度化機構	火 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>国際社会で生じる問題は、自然現象ではなく社会現象である以上、一人一人の力によってわずかながらでも良くすることもできるし、さらに悪くしてしまうこともあります。履修者の皆さんには、この点を意識し、自分の頭で国際問題の解決策を考えられるようになってほしいと考えています。</p> <p>この授業では、「模擬国連会議（Model United Nations）」というアクティブラーニングの手法を用いて、国際問題の解決法を考えます。多様な利害・価値観に配慮することの重要性を理解するには体感してみることが早道ですが、模擬国連会議では、一人一人が米国政府代表や中国政府代表などの担当国になりきって国際問題について話し合います。立場を固定されている点ではディベートと同様です。しかし、相手を論破することで勝利を目指すディベートと異なり、模擬国連会議では合意形成が目的であるため相手の利害・価値観を尊重したうえでの妥協が重要になります。この点を重視し、授業内では対立の激しい議題・担当国を設定して、ロールプレイとシミュレーションに取り組みます。</p> <p>2019年度Aセメスターから開講してきましたが、10期目の開講となります。</p> <p>具体的な到達目標は、以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①国際問題の構造や原因を説明できる【レポート1,2で評価】 ②国際問題をめぐる多様な立場（利害・価値観）を説明できる【レポート1,2で評価】 ③国際問題の解決・管理における妥協の重要性を説明できる【レポート1,2で評価】 ④国連の資料を自ら調べて国際問題の分析に用いることができる【レポート1,2で評価】 ⑤国際問題の解決策・管理策について、選択肢を複数挙げて比較衡量したうえで、妥当と考えられるものを説得的に示すことができる【レポート1,2で評価】 					
成績評価方法		レポート1（50%）とレポート2（50%）によって評価します。 レポートでは、2回の模擬国連会議を踏まえ、「担当国の立場からのふりかえり」と「一個人の立場からのふりかえり」を求めます。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51406	A	作曲＝指揮	伊東 乾	情報学環	火 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>担当者がなりわってきたような音楽の作曲と、アンサンブル／オーケストラやオペラなどの合奏を率いる指揮の、P.ブーレーズと担当者によるメソッド(「スペクトラル・コンダクティング」) おのおのの基礎を扱う。以前は教養学部からピントの外れた問い合わせを受けたものだが、東京藝術大学をはじめ、専門の芸術大学、音楽大学のOB OGがそれを仕事にして生活するのが困難な状況で、職業人たるべき教育などはここでは提供しない。が、基礎となる内容にはプロフェッショナルもアマチュアも違いはないのは数学や物理も同じことである。オーソドックスな内容を、履修者の準備に合わせて実技実習している。</p>						
成績評価方法	<p>実習参加と 場合により補足レポート。出席せずレポートだけでの単位発給は原則として行わない。</p>						
教科書	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p>						
ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51467	A	模擬国連で学ぶ国際関係と合意形成II	中村 長史	教養教育高度化機構	火 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>国際社会で生じる問題は、自然現象ではなく社会現象である以上、一人一人の力によってわずかながらでも良くすることもできるし、さらに悪くしてしまいうこともあります。履修者の皆さんには、この点を意識し、自分の頭で国際問題の解決策を考えられるようになってほしいと考えています。</p> <p>そこで、この授業では、「模擬国連会議 (Model United Nations)」というアクティブラーニングの手法を用いて、国際問題の解決法を考えます。多様な利害・価値観に配慮することの重要性を理解するには体感してみることが早道ですが、模擬国連会議では、一人一人が米国政府代表や中国政府代表などの担当国になりきって国際問題について話し合います。立場を固定されている点ではディベートと同様です。しかし、相手を論破することで勝利を目指すディベートと異なり、模擬国連会議では合意形成が目的であるため相手の利害・価値観を尊重したうえでの妥協が重要になります。この点を重視し、授業内では対立の激しい議題・担当国を設定して、ロールプレイとシミュレーションに取り組みます。</p> <p>具体的な到達目標は、以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①国際問題をめぐる多様な立場(利害・価値観)を説明できる【レポート1,2で評価】 ②国際問題の原因について、国際関係論の概念や事例を用いて説明できる【レポート1,2で評価】 ③国際問題の解決における妥協の重要性を説明できる【レポート1,2で評価】 ④国際問題の解決策について、選択肢を複数挙げて比較衡量したうえで、妥当と考えられるものを説得的に示すことができる【レポート1,2で評価】 ⑤国連の資料を自ら調べて国際問題の分析に用いることができる【レポート1,2で評価】 						
成績評価方法	<p>レポート1 (50%) とレポート2 (50%) によって評価します。</p> <p>レポートでは、2回の模擬国連会議を踏まえ、「担当国の立場からのふりかえり」と「一個人の立場からのふりかえり」を求めます。</p>						
教科書	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p>						
ガイダンス	<p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51469	A	「経済安全保障」の 基本文献を読む	玉井 克哉	先端科学技術研究センター	火 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>現在の世界は、激動の中にある。</p> <p>冷戦終結後の約30年間、世界経済の基調は「グローバル化」であった。物とサービスの貿易を自由化し、知的財産権の保護水準を斉一化しようとするWTO協定が、1995年に発効した。製造業のサプライチェーンは全世界に延び、各国の国民経済は「フラット化」し、自由貿易の水準をいっそう高めるための自由貿易協定（FTA）が盛行した。その間、わが国はCPTPPの締結・発効など尽力したが、世界の情勢によく対応できず、経済成長は達せられず、国際的地位は低下を続けた。</p> <p>いまや、この基調が大きく変わろうとしている。習近平体制の中国は軍備拡張を進めつつ、その経済力を武器化する姿勢を強めている。とりわけ台湾をめぐる情勢は、日に日に緊迫している。これに対し、米国は厳しい対応を強めており、バイデン政権がハリス政権になってもトランプ政権になっても基調が変わるとは予測されない。さらに、ロシアによるウクライナ侵略により、別種の不安定要因が生じている。これに伴って国際経済も大きく変化しており、日本を含む各国の法や企業のビジネスにも、大きな影響が及んでいる。</p> <p>担当教員（玉井克哉）は法学者であるが、知的財産法や行政法などの分野で、日本のルール形成に従事してきた。また、冷戦終了期のドイツ、世紀転換期の米国に留学した経験があり、法学の影響力の強い社会でのルール形成の現場を観察してきた。その立場から、現在の急激な変化を踏まえたルール形成戦略を研究対象にしており、積極的な提言を行っている。</p> <p>担当教員（井形彬）は国際政治・経済安全保障の研究者であるが、経済安保に関する最先端の議論を国内外の政策決定者や有識者と頻繁に行っている。</p> <p>また、新進気鋭の川井大介助教が演習に参加する。同助教は、インド太平洋における外交安全保障問題や重要新興技術政策に関わる研究を行なっている。</p> <p>さらに、武見綾子准教授（グローバル合意形成分野）が随時参加する予定である。同准教授は、国際的なヘルス・セキュリティと保健政策の専門家であり、マッキンゼーでコンサルタントの経歴や、世界保健機関（WHO）での職歴も有しており、2023年2月から、先端研において「グローバル合意形成分野」を立ち上げる、気鋭の研究者である。</p>					
成績評価方法		全学自由研究ゼミナールは、通常の科目とは異なり、「合」「否」によってのみ評価することとされている。毎回の授業に参加しクラスの議論に貢献した場合は、「合」となる。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50571	A	Introduction to Biology	シェファーンソン リチャード、 小見 美央	PEAK 前期	水 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>This course is designed to provide students with the essentials of biology. Biology = Science of Life. What are we? What is Life? What do living things have in common? What makes us, us?</p> <p>Non-native English speakers are welcome. Consider taking this course if you want to learn Biology in English and interact with English-speaking people.</p>					
成績評価方法		<p>Three presentation reports (80%) and participation (20%). Students give presentations in class twice. The final presentation is to be recorded and submitted to the instructor.</p> <p>Participation score includes the score of short quizzes given at the beginning of each session. In addition, students are asked to submit a short reaction paper after each session. This will be counted as part of the participation score.</p>					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50637	A	Introductory course in linear algebra	松尾 厚	PEAK 前期	水 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		Phenomena in natural and social sciences are usually complicated, and seldom described by linear equations. However, Linear Algebra is still powerful and effective in describing essential parts of the phenomena by linear approximation. Thus Linear Algebra has vast applications. Linear Algebra will further provide basics for considering linear spaces that appear in quantum mechanics or Fourier analysis. The ideas in Linear Algebra are broadly utilized in sciences and engineering, including agriculture, medicine, and economy, as well as in mathematics and physics. Although Linear Algebra is simple and clear in theory, one needs to be familiar with abstract concepts in mathematics to properly deal with it in practice. It is important for students to keep on deepening their understanding by working with exercise and related problems.					
成績評価方法		Final examination, attendance, and class participation.					
教科書		プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51415	A	日本古代・中世の日記を 読んでみよう	遠藤 珠紀	史料編纂所	水 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		日本には古い時代の日記が多く伝わっています。この授業では藤原道長の『御堂関白記』など、おおよそ11世紀～16世紀の様々な日記を取り上げます。この講義では、特に改元に関わる日記を精読することで、当時の政治・社会・文化などに触れていきたいと思えます。文章の内容はもちろんですが、それぞれの日記の形態、記主の立場、同じ案件に関する複数の日記の比較など複合的に考えることで、何が読み取れるのかを探ってみたいと思えます。史料批判の技術も身に着けていきましょう。					
成績評価方法		自身の担当回の報告、他の人の報告に対するディスカッションへの参加、授業後のコメントなどによります					
教科書		プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51411	A	世界のモスク建築	梶屋 友子	東洋文化研究所	水 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		世界宗教イスラームの礼拝所であるモスクの建築が、時代や地域に応じてどのように発展していったのか、また、どのような共通点を保持してきたのかを概説的に紹介します。					
成績評価方法		出席と期末レポート					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51382	A	グローバル共創型イノベーション プログラム 「Innovation for Well-being -GDP を 超える世界を創り出す挑戦-」	吉田 壘	工学部	水 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>[概要 / Summary]</p> <p>私達はみなさんに日本だけでなく世界でも活躍できるようになってもらいたいと考えています。そのような思いを背景に、本授業では、「Innovation for Well-being -GDP を超える世界を創り出す挑戦-」をテーマとして、経済成長のみにフォーカスしない事業の提案を行ってまいります。</p> <p>授業を通して、これからの時代に必要不可欠となる、仲間と共創する力、イノベーションを創造する力、国際的な仲間と関係性を創り出す力などを培うと同時に、これからの時代の潮流、日本と他国の社会・経済・環境の現状・未来、そして、国際的な共創活動を通じた自分の新たな可能性への理解を深めることができます。</p> <p>国連開発計画とシティ・ファウンデーションの共催で、起業家エコシステムの強化を目的に、2017年にアジア太平洋地域で発足した若年層の社会起業家コミュニティである Youth Co:Lab の協力も得て、世界的に活躍する若手起業家と交流する機会も設けますので、是非積極的に参加してください。</p> <p>[本授業の特徴 / Features of the course]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本授業は、実践を重視する授業で、課題発見・解決をしてもらえるような仕掛けを多く設けます。例えば、世界の潮流、課題の発見の仕方、課題解決の方法、解決策をビジネスとして成り立たせる方法などを体験しながら学べるワークを授業の中に多く組み込みます。 ・本授業では、学生と教員の対話、学生同士の対話から学べることが多いと考えるため、ペアワークやグループワークなどアクティブラーニングで学ぶ機会を多く作ります。 ・本授業は、全学部生、全大学院生向けに開講するため、新入生から博士学生まで幅広く受講できます。学年が異なる学生との交流の場としても機能させたいと考えていますので、横と縦のつながりを作ってもらえればと思います。 ・基本的に日本語で授業を行いますが、中間発表や最終発表では海外の起業家なども呼ぶ予定であることから、英語で発表してもらう予定です。 ・Slack を用いて、授業外でも交流できる場を設けます。 <p>-----</p> <p>※このゼミは10月2日(水)6限(18:45~)にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p>					
成績評価方法		<p>本授業は、最終的な成果物に加えて、授業自体への主体的・能動的な姿勢、各プロセスにおける共創活動へのリード・貢献、全体に対する存在価値(授業全体やチームへの良い影響力)などを総合して評価します。</p>					
教科書 ガイダンス		<p>教科書は使用しない。/ Will not use textbook 第一回授業日に行う。/ Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50704	A	ベルカント研究ゼミナール	夏目 張安	学生による全学自由 研究ゼミナール	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>ベルカント唱法の発声と呼吸法を学び、豊かな広がりのある声と、輝きに満ちた歌唱力を身につける。</p> <p>課題曲の演奏発表</p> <p>次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook イタリア古典歌曲集1 イタリア歌曲集1、コンコーネ50番 全音出版</p> <p>第一回授業日に行う。/ Will conduct guidance at first time</p>					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51353	A	モンテスキュー『法の精神』を読む	川出 良枝	法学部	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>モンテスキューの『法の精神』(De l'Esprit des lois, 1748)は、著者が20年の歳月をかけて完成させた大著である。権力分立、あるいは立法・執行・司法の三権分立は、この作品で始めて本格的に定式化された、と評価されることも多い。あらゆる権力は必ず腐敗し、濫用されるものであり、たとえば民主的な正統性をもつ指導者や機関であっても例外ではないというのがモンテスキューの立場であった。『法の精神』が自由主義的な政治理論の金字塔とみなされる所以である。とはいえ、古典を読む醍醐味は、そうした評価からいったん自由になり、テキストそのものが放つ多様なメッセージに耳を傾けることにある。本演習の枠の中で『法の精神』を通読するにはやや無理があるため、以下の3つのテーマを選び、該当する部分を読むことにする。そのテーマとは、(1) 古代ギリシア・ローマの共和政(とりわけ民主政)に対する評価、(2) 政治的自由をめぐる諸議論(とりわけイングランドの国制に対する評価)、(3) 戦争と平和など、国家間関係・世界秩序に関する議論である。本演習を通して、政治や社会を考察するための重要な手がかりを発見していただきたい。</p>						
成績評価方法	<p>平常点(出席状況)、最低1回の報告、最終回のコメント・ペーパーの提出、毎回の授業における積極的な議論への参加をもって成績評価とします。</p> <p>受講人数は最大でも15名以下とします。履修希望者が15名を超えた場合は、志望動機書(800字以内)を提出してもらい、それにより選考するので、初回授業に必ず出席してください。希望者が15名以下の場合は、志望動機書の提出は不要です。選考が必要となった場合、受講許可は第2回目までに掲示によって告知します。</p>						
教科書	<p>次の教科書を使用する。/Will use the following textbook モンテスキュー 『法の精神』上・中・下 岩波文庫(岩波書店)</p>						
ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51357	A	『世界開発報告』を読む 2024A	森川 想	工学部	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>最新版の『世界開発報告』を会読します。講師は開発の専門家ではありませんが、開発を学ぶことは、先進国・途上国を問わず現代社会の課題を見つめることに直結すると考えています。報告そのものや、その根拠となっている文献をクリティカルに読み、議論することで、社会課題解決のために世界各国で行われているプラクティスの可能性や限界、科学技術(社会科学・自然科学)と公共政策の関係等について考え、見直す機会としていただければ幸いです。ガイダンスは第一週にZoomにて実施します。この日時に出席できない方は別途相談もできますのでその場合はメールでご連絡ください。</p>						
成績評価方法	<p>議論への貢献</p>						
教科書	<p>教科書は使用しない。/Will not use textbook</p>						
ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51389	A	全学自由研究ゼミナール(行列といろいろな幾何学)	逆井 卓也	数理科学研究科	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>1年次に学習する線型代数学において、行列は列ベクトルのなす線型空間の間の線型写像として基本的かつ具体的な役割を果たしていました。とくに、n次正則行列全体の集合は行列の積や逆行列をとる操作について閉じていて、それらは線型写像の合成や逆写像と対応していました。このような積と逆演算について閉じている集合は群と呼ばれ、線型空間をはじめとする数学的対象の対称性を司るものとなっています。</p> <p>本科目では行列のなす集合に注目することから始めて、群とその作用の考え方を概観し、射影幾何や双曲幾何などへの幾何学応用を通じて近代の数学に触れていきたいと思えます。</p>						
成績評価方法	<p>レポートによる。</p>						
教科書	<p>教科書は使用しない。/Will not use textbook</p>						
ガイダンス	<p>特に行わない。/Will not conduct guidance</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51399	A	マクロ経済学の基礎	福田 慎一	経済学部	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	「なぜ経済は成長したり、停滞したりするのか？」に関する経済学の考え方を、経済学を始めて勉強する学生を対象に、マクロ経済学の基礎概念を使って勉強する。加えて、日本経済のこれまでの成長や今後の成長見通しに関して考察する。						
成績評価方法	授業への出席および授業中の報告・討論の内容による。						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 福田慎一・照山博司 マクロ経済学・入門 第6版 有斐閣 978-4641222243						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51438	A	スタートアップを考える： 社会課題を解決するビジネス エコシステムの視点	山岡 あゆち	教養教育高度化機構	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	スタートアップを、技術・アイデア勝負という視点だけでない、より俯瞰的かつ実践的な視点で現役のコンサルタントと考えてみませんか。日本経済の抱える課題解決の観点から、スタートアップを取り巻くビジネスエコシステムとその課題を取り扱います。 近年スタートアップは急成長を遂げており、日本のスタートアップ企業はおよそ2万社を超えていると言われていています。学生のみなさんにとっては大企業よりもむしろ身近な存在になりうるほどかと思えます。 一方でスタートアップ自体は失敗するケースも少なくないというのも事実です。成功に届かなかった要因は技術・アイデアが評価されなかった、それだけでしょうか。数多くのスタートアップが生まれる中において、本来であれば社会に還元されるべき多くの技術・アイデアが埋もれてしまっていればそれは看過できない社会課題の一つです。その課題について、スタートアップを取り巻く「ビジネスエコシステム」を主題として、「ステークホルダー」・「ファイナンス」・「M&A」などといった観点も用いつつ紐解いていきます。本授業の計画やファシリテーションは、現役コンサルタントが行います。 本授業では、実際に社会で日本企業の課題解決に携わるコンサルタントのもと、「現在社会の最前線の課題とは何か」、「その課題解決のアプローチとはどういうものか」、さらに学生みなさんの視点で「自分たちならどうアプローチし、解決したか」を学び・探求することを通して、課題解決に必要な視点・思考力・提案力を身に着けることを目指します。 具体的なテーマとして、近年急成長しているスタートアップに焦点をあて、スタートアップが抱える課題や関係者の多様な視点について学び、議論を行います。議論を通じてスタートアップの価値をどのように社会全体に還元するかを考えるほか、スタートアップを支える関係者（大企業、株式市場、ベンチャーキャピタル（VC）、政府など）がどのようにアイデアや技術を拡大し、社会全体に寄与できる形にするかを、実際の課題を取り上げながら学びます。						
成績評価方法	・出席：11回以上の出席 ・提出物：各回事前提出シート*・振り返りシート * 次回授業で行うグループディスカッションのテーマについて簡単に事前準備してもらおうためのもの						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51439	A	【アクセンチュア×東大】 私たちが今ほしい未来を提言— インサイト探求、アイデア創出、 アイデア検証、企業への提案まで 体験しよう！	高橋 史子	教養教育高度化機構	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>デジタル化によって、いま世界は目まぐるしく変化しています。昨日まで知らなかったサービスが突然現れ、私たちの生活を根底から変えることもあります。</p> <p>例えば、「生成 AI」は 2022 年にリリースされた ChatGPT を皮切りに、様々なサービスが生まれています。生成 AI の 1 つの ChatGPT に、「生成 AI」について聞いてみると、「生成 AI は、機械学習の一分野であり、新しいデータを作り出すことができる技術です。例えば、絵や音楽の自動生成が可能です。従来の AI は与えられたデータから予測や分類をするのに対し、生成 AI は新しいデータを作り出すことができる点が異なります」と教えてくれます。</p> <p>全国大学生活協同組合連合会の第 59 回学生生活実態調査（2023 年）によると、ChatGPT などの文章生成系 AI を 47.6% の学生が利用した経験があり、28.9% の学生が継続利用しています。もちろんビジネスの世界でも、生成 AI を業務や新サービスに取り入れる活動が活発化しています。みなさんが社会に出るころには、「生成 AI がなかった世界が信じられない」と思うほど、世の中に浸透したサービスになっているでしょう。</p> <p>驚くべきスピードで新商品・サービスが生まれる現代は、「正解がない不確実な世界」といえます。大企業だからといって、必ずしもヒット商品・サービスが生まれるわけではありません。アクセンチュアの調査によると、新規事業の立ち上げに成功したと躊躇なく言える経営幹部は、わずか 6% にとどまっています。</p> <p>それでは正解がない不確実な世界で、成功する新商品・サービスを生み出すためには、どうすればよいのでしょうか？ その答えの 1 つとして、ユーザ視点での課題・インサイト（潜在的な欲求）の見極めと、新商品・サービスを素早く市場投入する仕組みを活用できることが重要です。</p> <p>私たちアクセンチュアは、世界有数の総合コンサルティング企業として、世界中の様々な企業と一緒に、新しいサービスをビジネスとして実現させてきました。その経験と実績を活かし、本授業では、初学者を対象に、アクセンチュアの現役コンサルタントと共に、新商品・サービスを生み出すプロセスを身に付けることを目的としています。</p> <p>具体的には、課題・インサイトを抽出・深掘りし、デザインシンキングという手法で“今ほしい未来”の新しいアイデアを生み出します。そしてそのアイデアをもとに簡易プロトタイプ（検証のためのサービス・もの）を素早く作成・検証し、最終発表ではストーリーテリング（ビジネスを「物語」を通して表現する手法）を活用して、実際の企業の方へプレゼンします。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を客観的に分析する手法を学ぶことで、インサイトを抽出・深掘りする ・デザイン思考を学び、UX（ユーザ体験）、ビジネス、テクノロジーなどの視点を踏まえてソリューションを考える ・最適なプロトタイプを素早く作り、ユーザ評価を的確に分析・反映する手法を学び、実践する ・ストーリーテリングをもとに人を説得する技術を学び、発表する ・グループマネジメントやグループコミュニケーションを通じて、ビジネスにおけるコラボレーション力を向上させる ・「私たちが今ほしい未来は何か？」という正解がない「問い」に対して、自分なりの解をみつける技法を学ぶことで、不確実な世の中も楽しめるようになる。 <p>成績評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りフォーム（80%）...各回で学んだ知識、概念、理論に関する簡単な復習。疑問点や感想も書いてください。 ・発表（20%）...第 13 回授業で発表を行います。教員（10%）、アクセンチュア社員（10%）。評価基準は以下の通りです。 <p><評価基準></p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備への貢献（各チーム担当のアクセンチュア社員が評価） ・チームワークへの貢献：授業の中でチームメンバーと交流し、チームワークの向上に寄与する。また、チームにとって有益と思える内容は、積極的にフィードバックを行うことができる。 ・アイデア出しへの貢献：多様な視点を持って活動に参画し、自分のアイデアを話すことができる。また他者からの意見を取り込むことで、アイデアを進化させることができる。 ・アウトプットへの貢献：グループワークに順応するとともに、新たな、または不慣れたタスクにも積極的に取り組むことができる。また、与えられたパートのタスクを期日を守ってこなすことができる。 ・発表への貢献（教員、アクセンチュア社員が評価） ・内容のわかりやすさ：ストーリーテリングの手法で、伝えたいことを簡潔にわかりやすく話すことができる。 ・話し方の適切さ：聞き手を意識して、はっきりした発音で話すことができる。また発表時間を大幅に超えないようにコントロールできる。 ・質疑応答のわかりやすさ：質問者の意図を理解して、受け答えができる。質問内容がわからない場合は、質問者に質問して内容を確認することができる。 <p>教科書 ガイダンス</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51464	A	AI 社会を生き抜くための 教育・学習を考える	中澤 明子	教養教育高度化機構	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>ChatGPT 等の生成 AI が登場してから、人と AI との関わりがより日常的になり、AI を適切に、効果的に使うことが求められています。すなわち、AI 社会を生き抜くため、求められる能力・スキルが変化しつつあると考えられます。これから社会に出ていく大学生自身が AI について理解し、どのような能力・スキルを身につけるべきかを考え、認識することも重要です。</p> <p>本授業の目的は、授業での文献・資料の読解や体験・議論を通じて、AI 社会を生き抜くために求められる教育・学習の在り方を自分なりに考えて示すことです。</p> <p>授業の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AI や教育・学習に関する資料を読み内容を説明できる。 ・ AI や教育・学習に関するトピック、キーワードについて定義や内容を自分の言葉で説明できる。 ・ 文献・資料、ゲスト講義の内容について疑問・質問を考え、口頭もしくはテキストで示せる。 ・ 問いに対する考えや教育・学習の在り方についての自分の考えをテキストもしくは口頭で他者に説明できる。 ・ AI 社会を生き抜くために求められる教育・学習の在り方をレポートもしくは口頭発表で示せる。 						
成績評価方法	<p>最終成果物 (40%)、毎回のふり返しシートの提出 (40%)、グループワーク/ディスカッションへの参加・貢献 (20%) により総合的に評価します。</p> <p>最終成果物は、グループでのレポート作成とする予定です。</p>						
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。/ Will not use textbook</p> <p>第一回授業日に行う。/ Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51470	A	「経済安全保障」と ルール形成戦略	玉井 克哉	先端科学技術研究 センター	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>現在の世界は、激動の中にある。</p> <p>冷戦終結後の約 30 年間、世界経済の基調は「グローバル化」であった。物とサービスの貿易を自由化し、知的財産権の保護水準を斉一化しようとする WTO 協定が、1995 年に発効した。製造業のサプライチェーンは全世界に延び、各国の国民経済は「フラット化」し、自由貿易の水準をいっそう高めるための自由貿易協定 (FTA) が盛行した。その間、わが国は CPTPP の締結・発効など尽力したが、世界の情勢によく対応できず、経済成長は達せられず、国際的地位は低下を続けた。</p> <p>いまや、この基調が大きく変わろうとしている。習近平体制の中国は軍備拡張を進めつつ、その経済力を武器化する姿勢を強めている。とりわけ台湾をめぐる情勢は、日に日に緊迫している。これに対し、米国は厳しい対応を強めており、バイデン政権がハリス政権になってもトランプ政権になっても基調が変わるとは予測されない。さらに、ロシアによるウクライナ侵略により、別種の不安定要因が生じている。これに伴って国際経済も大きく変化しており、日本を含む各国の法や企業のビジネスにも、大きな影響が及んでいる。</p> <p>このゼミでは、法律と経済・経営という異なる視点から「ルール形成戦略」を手がけてきた担当教員 2 人と共に、経済の最前線で企業が直面する課題を理解し、「ルール形成戦略」の観点から課題を解決する機会を提供する。</p> <p>担当教員 (玉井克哉) は法学者であるが、知的財産法や行政法などの分野で、日本全体のルール形成に従事してきた。その立場から、現在の急激な変化を踏まえたルール形成戦略を研究対象にしている。</p> <p>担当教員 (國分俊史) は、企業に対するコンサルティング業務を長年担当し、その中で「ルール形成戦略」の重要性を強調した草分けとして、経済安全保障に先覚的な多くの企業の要望に応じてきた。その過程で、国内・海外の政治・経済関係の要人と頻繁に接触している。</p> <p>これに加え、川井大介助教 (インド太平洋安全保障・重要新興技術政策) が恒常的に参加し、さらに武見綾子准教授 (グローバル合意形成分野) が随時参加する予定である。同准教授は、国際的なヘルス・セキュリティと保健政策の専門家であり、マッキンゼーでコンサルタントの経歴や、世界保健機関 (WHO) での職歴も有しており、昨年 2 月から、先端研において「グローバル合意形成分野」を立ち上げる、気鋭の研究者である。</p>						
成績評価方法	<p>全学自由研究ゼミナールは、通常の科目とは異なり、「合」「否」によってのみ評価することとされている。毎回の授業に参加しクラスの議論に貢献した場合は、「合」となる。</p>						
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。/ Will not use textbook</p> <p>第一回授業日に行う。/ Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50835	A	Single variable calculus	長谷川 立	PEAK 前期	木 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>In this course, we study the differentiation and integration of a function of one-variable (which is also called one-variable function or single-variable function). Intuitively, differential means the slope of the tangent line of a function at a given point, and integral measures the area bounded by the graph of the function and x-axis over a given interval. Both concepts need the concept “limit”, so the first part of this course will contain the definition of a function, limit of a sequence, continuous function and related topics. In the second part of this course, we study the differential of a function, the definition, calculation techniques, properties and applications. In the third part, we define the definite and indefinite integral of a function, study the fundamental theorem of calculus: the connection between differentiation and integration, and introduce the calculation techniques. Power series will also be introduced. In the end, we discuss how to solve some simple differential equations.</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>Quizzes (50%) + a final (50%) 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51432	A	「茶わんの湯」から科学を考える ／Lesson from a Tea Cup	鹿島 勲	教養教育高度化機構	木 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>時間と空間を超越し、普遍性を追求し、多様性を受け入れ、 学問分野を自由に横断するという、日常生活の中にある茶碗から私たちの挑戦。</p> <hr/> <p>普段は特別に意識しない、なんの変哲もない茶わんと湯であっても、よくよく観察することで様々な系に共通する普遍的な構造や法則、最新の知見、歴史や文化と関係していることが見えてくる。 本ゼミは、物理学者・寺田寅彦の名随筆「茶碗の湯」を起点として、素朴な疑問を大切に、身近なものごとに潜む本質的なことを、授業内の作業や実験を通じて科学的・多面的に考えます。あらゆる先入観・偏見から解き放たれ、学問領域を自由に往来し、さまざまな視点・観点から知の再連結と思考のトレーニングをする機会を「茶わんの湯」を通じて提供することを大きな目標としています。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学的思考力/批判的思考力/創造的思考力の向上 ・多様な視点からの問題解決能力の向上 ・文化的・歴史的理解の深化 ・生成 AI の活用力の向上 <p>【授業構成】</p> <p>- 前半（実験・体験・講義） 名随筆「茶碗の湯」から展開する実験作業や体験を伴う授業を行います。水や光、お茶や器（うつわ）をキーワードに身近な題材を取り上げ、安全で初心者でも楽しめる実験や体験を行います。専門用語の事前知識は不要、実体験に基づき、注意深く観察し、自分のペースで思考する良質な時間を大切にしています。</p> <p>- 後半（ループリック・キューブ） 前半の体験授業を振り返り、寺田寅彦的な眼差しとは何かをテーマにします。具体的には、①名随筆「茶碗の湯」の評価表（ループリック）作成、②評価表（ループリック）に基づき新規のエッセイ作成、③新規のエッセイの評価を行います。ChatGPT等の生成 AI を使用し、プロンプトライティングや多面的な思考を促します。</p> <p>【備考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業時間外の作業は基本的にありません。 ・授業中に①～③の作業（ループリック・キューブ）を行います。 ・授業にテキスト入力が可能で、インターネットに接続できる端末を持参してください。 <p>【2024A スケジュール予定】</p> <p>01) 授業ガイダンス 02) 液滴の魔術：ニュートンの虹と現代光科学 鳥井 寿夫 総合文化研究科 広域科学専攻 関連基礎科学系 03) 課題取組み + グループワーク 04) 「茶わんの湯」から水環境を考える 堀 まゆみ（環境分析化学） 教養学部附属教養教育高度化機構 Educational Transformation (EX) 部門 05) 「茶わんの湯」から「茶」の実体験に基づく考察（仮） 吉田 直人 株式会社 山本山 営業本部 PR・販売促進グループ 06) 課題取組み + グループワーク 07) 破壊の記憶 中原 明生（パターン形成の物理、破壊の制御、塑性流体のレオロジー） 日本大学理工学部・一般教育教室（物理）</p>					

08) 茶碗と科学

岩田 純子、山本 幸伸、

株式会社ノリタケカンパニーリミテド

総務部広報課、ノリタケミュージアム学芸員

10) 「茶わんの湯」からマインドフルネスと社会変革を考える

齊藤 弘久 (社会科学)

総合文化研究学科附属国際交流センター

グローバル・ファカルティ・ディベロップメント

11) ココからの脱出・超越

授業「茶わんの湯」

鹿島 勲

教養学部附属教養教育高度化機構

Educational Transformation (EX) 部門

12) 「茶わんの湯」再考、ルーブリック・キューブ

Systematic Evolution of Rubric via Iterative Refinement (SERIR)

「反復的な洗練によるルーブリックの体系的進化」

鹿島 勲

教養学部附属教養教育高度化機構

Educational Transformation (EX) 部門

13) 「茶わんの湯」ルーブリック・キューブ

鹿島 勲

教養学部附属教養教育高度化機構

Educational Transformation (EX) 部門

【ガイダンス】

初回授業 Zoom に実施

Zoom セッション情報は下記 URL から確認

<https://forms.gle/U8uC5Pr6DghXsdZg6>

【教室】

KOMCEE EAST 3 階 教育開発用実験室

Google Map: <https://goo.gl/maps/dmcwqNjYiUmNuvW88>

【問い合わせ先】

kashima+Lesson_from_Teacup@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

【授業ホームページ】

URL : https://www.isaokashima.c.u-tokyo.ac.jp/news_archives/0014lessonfrom2024a

80 点以上で合格。

成績評価方法

項目 (点)

.....
講師から出題された課題の回答・提出 (25)

講師から出題された課題のグループワークディスカッションへの参加 (25)

ルーブリック・キューブの活動記録の提出 (30)

ルーブリック・キューブのクラス内フィードバックへの参加 (20)

合計 100

教科書

教科書は使用しない。 / Will not use textbook

ガイダンス

第一回授業日に行う。 / Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51386	A	全学自由研究ゼミナール (無限次元ヒルベルト空間の初歩を学ぶ)	下村 明洋	数理科学研究科	木 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>教養学部前期課程 1 年生対象の線型代数学で、線型空間（更に、計量線型空間（内積空間））について学習すると思われる。線型代数学で学ぶ線型空間は、次元によらずに導入される概念を除いて、殆どが有限次元の場合である。この授業では、無限次元ヒルベルト空間（或いは、もう少し一般に、無限次元バナッハ空間）の初歩について、それに関する基礎的な文献を受講生が輪講形式で発表する事によって学ぶ。無限次元のヒルベルト空間やバナッハ空間とそれらに於ける線型作用素の理論は、関数解析と呼ばれる分野であり、フーリエ解析、関数空間論、偏微分方程式論、確率論等を学ぶ際に必須であると考えられる。関数解析は、解析学（微分積分学を発展させた分野）の範疇に属する。現代の解析学では、無限次元の関数空間の知見が不可欠と考えられる。また、量子力学は、数学的には可分な無限次元ヒルベルト空間の枠組みで定式化される。無限次元の有用性や有限次元との違い（難しさ）を理解するのが目標である。この科目では、受講生による日本語での発表形式で行うので、関数解析の内容の理解とともに、発表内容を他の人に説明する能力を身に付ける事も目標とする。</p> <p>この科目の履修には、極限や関数列の一様収束等の厳密な微分積分学の基礎と、学部 1 年レベルの線型代数学の基礎を理解している事が前提である。前期課程科目である事から、ルベグ積分論の理解までは仮定しない。2 年生を想定して開講しているが、1 年生でも前提とする能力があれば受講可能である。</p> <p>この科目は授業形態の観点から少人数で行うのが望ましいので、履修希望者が多数の場合には、選抜を行う事がある。詳しくは第 1 回の授業で説明するので、この科目の履修を検討している人は必ず第 1 回の授業に出席すること。</p>					
成績評価方法		発表内容や授業への取り組み状況等で評価する。					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 新井朝雄 ヒルベルト空間と量子力学 [改訂増補版]（共立講座 21 世紀の数学 16） 共立出版 978-4-320-11089-2					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51468	A	Road to 2050 : グリーンビジネス概論	瀬川 浩司	教養教育高度化機構	木 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>2050 年脱炭素の世界共通目標の下で、環境負荷を減らしつつ収益するグリーンビジネスが、ビジネススタイルの世界標準となった。このビジネスを実践するための基礎技法や発想などを身に付け、グリーンビジネス具体化の人材的な基礎を作る。</p>					
成績評価方法		出席状況（25%）、授業への参画（25%）、グリーンビジネス案の内容と発表技量（50%）					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 吉高まり、小林光 GreenBusiness－環境をよくして稼ぐ。その発想とスキル 木楽舎 978-4-86324-153-4					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50909	A	国際化を読み解くゼミナール	須田 洋平	学生による全学自由 研究ゼミナール	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>ロシアによるウクライナ侵攻に対する世界各国の姿勢や、アメリカと中国との緊張関係を受け、「民主主義 vs 権威主義」ということが言われるようになり、民主主義陣営が劣勢だとの論調も見かけるようになった。さらに、民主主義国とされてきた各国においても、ポピュリズムの台頭等を理由に、民主主義が後退しているとの指摘も近年されている。そこで、民主主義が実際に後退していると言えるのかについて、データや世界各国の事情を踏まえつつ考察する。また、民主主義の現在地を踏まえ、民主主義の今後の展望を探究する。</p> <p>本ゼミナールでは、最後に学生発表の機会を設けることにしているが、そこに至るまでの各回において、学生との対話や学生同士での議論の機会を設ける予定であるため、積極的な姿勢での参加を期待する。</p> <p>民主主義や国際情勢についての理解を深めることが本ゼミナールの目標である。</p>					
成績評価方法		毎回の講義への参加姿勢及び学生発表の内容を考慮して評価する。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50910	A	「障害者のリアルに迫る」 ゼミ	御代田 太一	学生による全学自由 研究ゼミナール	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>様々な「障害」ゆえに生きづらさを抱える当事者や、「障害」問題に関わる実践者や専門家など、多彩なゲストを招き、彼らの語りを聞きタブーなき対話を重ねる中で、「障害」および人間に対する深い理解を獲得することを目指す。なお、身体障害や精神障害、知的障害といった一般的によく知られる「障害」に限らず、依存症や性的マイノリティなど、広い意味での様々な生きづらさも射程に捉える。そして障害を巡って、自身のうちに湧き上がる様々な問いについて、立ち止まって考え話し合うことのできる場を作る。</p>					
成績評価方法 教科書		<p>毎回授業後に提出するリアクションペーパーの内容を踏まえて成績を判断する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 障害者のリアル×東大生のリアル ぶどう社 978-4892402272</p>					
ガイダンス		<p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51355	A	災害復興と法・社会	米村 滋人	法学部	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>日本は世界有数の災害大国であり、地震・津波・火山噴火・台風・集中豪雨等による被害が頻繁に発生している。災害の発生後に問題となるのが、被災者・被災地域の復興である。復興支援は行政（政府や関係自治体）によっても担われるが、近年は、ボランティア活動や各種非営利活動等の民間の支援活動が重要な役割を担っている。この授業では、東日本大震災や能登半島地震などの実例を素材として、災害復興の現状と課題を知り、復興に向けた活動の意義やそのあり方を考えることを目的とする。同時に、われわれ自身が有意義な復興支援に従事するためにはどうすれば良いかについても、議論を交わしたい。</p>					
成績評価方法 教科書		<p>平常点とレポートによる。 教科書は使用しない。／Will not use textbook</p>					
ガイダンス		<p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51403	A	読み紡ぐ政治学・読み破る政治学 －多読・乱読・精読そして議論を 楽しむゼミ－	牧原 出	先端科学技術研究 センター	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>このゼミは対面で行います。説明会もまた第一週に対面で開催します。もっとも体調など個々の学生の状況に応じて、オンラインでの参加を認めてハイブリッドで開催することもあります。なお、授業前にオンラインでの講義や打ち合わせがある学生については、東大先端研の牧原研究室でオンラインで視聴するスペースを用意しますので、事前に申し出た上でオンラインの打ち合わせなどに参加した上で、対面のゼミに参加して下さい。</p> <p>牧原研のYouTubeチャンネルに、ゼミの概要を配信していますので、そちらをご覧ください。 URLは https://www.youtube.com/channel/UCjmHAPyMqKTnE1NKAK_k6hg など、過去のものも含めて適宜参照してみてください。どうしても説明会に参加できないが（できなかったが）受講を希望する学生については、個別に contact@pha.rcast.u-tokyo.ac.jp までご連絡ください。</p> <p>また事前に質問などがあれば、個別ないしはグループでのオンラインのプレゼミを開始します。上記アドレス宛にご質問など投げてください。</p> <p>今年で12年目となるこのゼミでは、多読、乱読、ときに精読を心がけ、古今東西の政治学に関する本を「読み紡ぐ」そして「読み破る」ことを目標にします。「読み紡ぐ」は歴史をひもとき、互いの議論をつないでいくという意味をこめ、「読み破る」はこれまでの自分の読みを乗り越えていくことを目標としています。毎週1冊本を読んで短いペーパーを書いて全員が事前にそれを読んだ後、ゼミが始まります。ゼミでは、いくつかのペーパーを取り上げて、全学生が意見を言う、質問をする、応答する、質問を重ねる、といった議論を繰り返します。もちろん人の意見をじっくり聞くことも大切です。教員はできるだけ議事進行に努めますが、ここぞというときには今学生に必要と判断したコメントを出すようにします。学生同士の議論が基本です。そこから何が得られるのでしょうか。もちろん政治と政治学についてよりよい読みを目指して理解を深めることはとりあえずの目標です。しかしそれだけではありません。まずは自分の考えを構築してみましょう。その上で他の学生からの質問に驚いたり新たに考えたりすることで、一冊の本に対する多様な理解があることを知るでしょう。集合知としての本に対する理解というものがあることに気づいてほしいと思います。そこから初めて自分の読みが広がります。このように自分の読みを深め広げることこそが、これから勉学を深めたり、研究に踏み込んだり、自分の人生を生きぬく力を得ることができるのです。</p> <p>こうした読書とそれについての思索・議論は、海外の大学の授業では基本的な開講形態です。また文理の学問分野の違いから言えば、このゼミでの読書とそれについての議論とは、理系にとっての実験がそうであるように、文系にとっての「実技」です。理系の人は、もう一つの「実験」の授業と思って参加していただいてもかまいません。読書自体は特別なことではないのですが、毎回気心の知れた多くのメンバーと読書して語り合う経験は、皆さんにとって特別貴重な経験となるでしょう。</p> <p>ゼミでは、そのためにいろいろな仕掛けを用意しています。ゼミ生同士で読書会をしたい人たちは、先端研の牧原研の自習室を自由に利用することができます。著者同席の回や、「私の勧める一冊」という回もあるでしょう。ゼミ終了後恒例のブック・サロン、ブック・トリップ、ラボ・アドヴェンチャーも可能な範囲で行うことを考えています。すでに多くの修了生がいますが、これらは修了生も一部参加することがあり、読書を重ねた先輩からいろいろな話を聞いたり、議論したりすることができるでしょう。また、夏休み・春休みには「合宿」を行います。合をするかは未定ですが、ここ数年、夏合宿は重要と目される本の集中的な講読、後期に継続開講するゼミでの冬合宿は本に関するドキュメンタリーを製作することが課題でした。</p> <p>※受講人数：あらかじめ制限はしない。</p>					
成績評価方法	平常点による。						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51404	A	ボーカロイド音楽論	稲見 昌彦	先端科学技術研究センター	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>昨年度まで教養学部で開講されていた「ボーカロイド音楽論」を、稲見を代表教員とし鮎川ばて氏によるリードで開講します。</p> <p>本講義は、現代日本の音楽状況の中でもっとも重要な存在感を示す「ボーカロイド（ボカロ）」を用いた音楽群の分析を通して、音楽自体の本質に迫ろうというものです。「アンチ・セクシュアル」というキーワードが、講義のひとつの軸になっていきます。</p> <p>最初に「ボーカロイド音楽シーンの中で人気を博したのが、ラブソング群ではなかった」という事実に注目します。かつて音楽評論家の湯川れい子さんは「人間は、思春期を迎えるとラブソングを求めるようになる生き物なんです」と語りました。果たしてそうでしょうか。ボカロシーンでは、恋愛などの通念を自明とはしない感性を持った曲—アンチ・ラブソングが人気を集めました（ex.「ラブという得体の知れないもの」）。人によっては厨二病的とも言うその感性の内と外を、フランスの人文学者ミシェル・フーコーの議論を参照しながら考えていくところから講義はスタートします。</p> <p>講義全体の1/3以上を、ジェンダー／セクシュアリティの議論が占めることとなります。フェミニズム、LGBTQをはじめとする性の多様性理解、クィア理論など、ジェンダー論の基礎を知ることはもちろん、それらが先端工学と関わった先にある、新しい身体論（身体情報学）を考えることにも、本講義は役立つはずで。</p> <p>主なアプローチ手法は、記号論、ジェンダー論、精神分析ですが、駒場と言えば、リベラルアーツ。前記の人文科学的手法に留まらない領域横断的な分析を試みます。</p> <p>ボカロは老若男女、すべての人を受け入れるシーンですが、その上で、やはり主役は、若いみなさんだと思っています。みなさんが当事者として立ち会い、そしていまだ深度のある議論が少ないボカロカルチャーこそは、そのような批評の対象とするに最適です。</p> <p>初音ミクが発表されて17年が経ちました。新しい作家が参入しつづけるこのシーンは衰えることを知りません（本ゼミからもたくさんのボカロPが誕生しました）。出会いばかりでなく、別れもありました。本学における本講義には、必ず関わらなければいけない作家がいます。</p> <p>ボカロ、表現、科学、ジェンダー。これらのうちどれかひとつにでも高い関心を持っていれば、どの立場の人も主役です。ボーカロイド音楽についての前提知識は必要ありません。科類も問いません。「感覚を思考の俎上に載せること」を恐れないあなたの参加をお待ちしています。</p> <p><鮎川ばてプロフィール> ボカロP／音楽評論家 ／東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻博士課程（身体情報学分野 稲見・門内研究室） ／東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科 非常勤講師 ／16～23年度 東京大学教養学部非常勤講師として「ボーカロイド音楽論」を開講</p>					
成績評価方法 教科書		<p>出席および、中間提出物と学期末レポートなどで評価する。</p> <p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 鮎川ばて 東京大学「ボーカロイド音楽論」講義 文藝春秋 4163913629</p>					
ガイダンス		<p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51405	A	AI時代の親密性—— 非人間と愛の未来	久野 愛、 OH SUNJIN	情報学環	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>高度なデジタル技術の浸透を背景とする現代社会に特有の親密な関係性のあり方に対し、近年多くの論者が懸念を示している。とくにメディア論やカルチュラルスタディーズ、および広く社会学、社会理論の領域に渡って、デジタル技術を媒介した社会関係の希薄化・資本化を危惧する声が広まっている。ところが、人工知能を活用する技術の導入やデジタル技術のプラットフォームそのものの急激な変化が決定的な影響因子になっていることから、技術論と親密性論が固有の複雑系を形成し、問題の所在を明確化することがきわめて難しくなっている。そこでこの全学自由研究ゼミナールでは、高度なデジタル技術の発展、およびその親密性の領域への浸透に対する漠然とした不安の所在に多角的にアプローチする。とくに、デジタル化する時代への診断に終わることなく、自己と他者をめぐる思想史上の古典的な議論が提起してきた親密性に関する論点を交差させ、今、われわれ自らの手で、どのような親密性を描いていくかについての実践的な議論へ開く。</p>					
成績評価方法 教科書		<p>議論への参加度（30%）＋プレゼンテーション（70%） プリントを配布する。／Will distribute handouts</p>					
ガイダンス		<p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51424	A	フェミニスト／クィア障害学	清水 晶子、井芹 真紀子	教養教育高度化機構	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		本授業では、性の政治とディスアビリティの政治を、両者の並列的な類似性においてではなく、重なり合いや交錯、衝突、交渉に焦点をあて検討する。フェミニスト障害学やクィア障害学の重要文献の講読を通じて、ジェンダー、セクシュアリティ、ディスアビリティに関する議論を適切に理解するための学問的基礎を身につけるとともに、これらの学問領域の間でなされてきた議論のどのような「接続」の仕方が、誰を／どの身体を見えなくするのか、あるいは誰を／どの身体が存在を可能にするのか、批判的に考察するための視座を養う。					
成績評価方法		授業への参加・貢献度：30% 文献発表・構想発表：30% 期末レポート：40% ※全授業の3分の2以上の出席がない場合、単位を与えない。 ※履修者の人数や理解度に応じて、授業内容および成績評価の割合が多少変更される可能性がある。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51402	A	現代中東基礎講座 II	鈴木 啓之	教養学部	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		【授業の目的】 この講義では、現代中東の諸相を横断的に学び、現代社会を理解するための基礎教養を身につけていきます。 【到達目標】 目標① 中東地域で起きた出来事について、具体例を3つ以上挙げて説明することができる。 目標② 中東地域での事象を事例として、自らの意見を述べるすることができる。 目標③ 関連する3点以上の言葉を、因果関係で結びつけて整理し、示すことができる。 目標④ 任意のテーマについて、関連するキーワードを3点以上用いて論述することができる。 目標⑤ 自らの関心に引きつけて、中東地域の具体的な事象を論じることができる。 目標⑥ 中東地域に関わる任意のテーマに関して、自ら参考文献を調べ、まとめることができる。					
成績評価方法		・以下の3点の項目から評価します 1. エントリー得点（受講者得点です）（5点：達成目標の①、②に対応） 2. ボーナス課題（各10点を加点：達成目標の③に対応） 3. 学期末プレゼン（45点：達成目標の④、⑤、⑥に対応） ・上記を総合して以下の基準で評価します （合：50以上、否：49以下、#：評価なし） ・100点満点ではないので、奇妙に見えるかもしれませんが、得点が50点を超えれば「合」、下回れば「不合」とします					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51408	A	地震火山史料を読む	加納 靖之	地震研究所	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>東京大学の地震研究所と史料編纂所が連携して設立された地震火山史料連携研究機構では、地震学者と歴史学者が協力して史料の収集・編纂と分析と、地震活動や火山活動の長期的な情報を提供するデータベースの構築を行っている。</p> <p>この連携研究機構が提供するゼミナールでは、地震や火山噴火に関する歴史史料を読みとく。入門的な素材からスタートし、講義の後半では受講生の興味に応じて選択した史料を読みとく。デジタルアーカイブで公開されている史料を活用し、必要に応じて既刊の地震史料集や刊本も利用する。歴史史料を読みとく作業を通じて、必要な情報を抽出し解釈する方法を学び、また、異分野融合研究の意義や在り方に触れる。</p> <p>授業は、加納靖之（地震研究所）が担当する。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史学や地震学を背景として、地震や火山噴火に関する歴史史料を読みとく ・複数の研究分野からのアプローチでより深く現象を理解できることを知る ・これらの研究のおもしろさや解決すべき課題について考える <p>【こんな人に来てほしい】</p> <p>文系理系を問わず、歴史、地球、防災などに関心のある人。また、本や資料を読むのが好きな人、観察や観測をもとに推理するのが好きな人など。</p> <p>（参考）地震火山史料連携研究機構の概要</p> <p>地震火山史料連携研究機構は、東京大学の地震研究所と史料編纂所が連携して設立されました。この学際的な研究機構では、歴史学者と地震学者が協力して史料の収集・編纂と分析を実施し、日本における地震活動や火山活動の長期的な情報を提供できる科学的なデータベースを構築しています。このような歴史時代のデータは、地震や火山の危険性の長期的な予測には不可欠です。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>授業での報告や討論への参加。課題（毎回のゼミナールに関する簡単なメモ）の提出。期末レポート。</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51426	A	脱植民地主義と性の政治	福永 玄弥	教養教育高度化機構	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>この授業では、「脱植民地主義と性（ジェンダー・セクシュアリティ）の政治」をテーマに、主に東アジアの地域に焦点を当てた学術論文を読み、脱植民地化のプロジェクトへの参加を促す。</p> <p>東アジアでは19世紀から20世紀にかけて華夷秩序から「大東亜共栄圏」へと国際秩序が再編された。日本の帝国化とそれにとまなう植民地支配をおして北海道や沖縄、朝鮮や台湾は近代化のプロセスに巻き込まれ、性の政治が日本の帝国主義・植民地主義のプロジェクトにおいてきわめて重要な役割を果たした。グローバル冷戦が終焉を迎えた1990年代以降、植民地支配を受けた諸地域では脱植民地化に関する議論が盛り上がりを見せたが、敗戦後も脱帝国化が果たされなかった日本ではそれらの議論に回答する声をついにもたないまま、歴史修正主義の跋扈を野放しにしている。</p> <p>この授業では、（脱）植民地主義／（脱）植民地化について、ジェンダー・セクシュアリティの観点から批判的に考察する。この作業をおして、受講生には脱植民地化プロジェクトへの参加を促す。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>授業に対する貢献度（発表やディスカッションへの参加）を総合して評価する。</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51429	A	企画を創る～ 実践から学ぶ教養としての アートマネジメント	山上 揚平	教養教育高度化機構	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>芸術と社会をつなぐ役割を担うアートマネジメントには、多岐にわたる能力が求められます。中でも企画力は、コロナ禍を経て新たな社会的フェーズを迎えた現在、イベント実施の意義そのものをより一層明確に提示する必要がある為、今後さらに重要となっていく能力であると考えられます。</p> <p>そして、企画を考えるプロセスとは、社会と芸術との関係のみならず、それらと自分自身との繋がりをも俯瞰しつつ、興味と関心を掘り下げていく必要のある、まさに「教養」の間われる知的営為とも言えるでしょう。</p> <p>本授業は、社会の一線で企画づくりに携わって来たプロフェッショナルを講師に迎え、実体験に基づくレクチャーの他、グループワークを通じて企画立案に必要な資質、構成力、発信力を学びます。最終成果発表では、グループ毎に企画を立案し、企画書の作成・ブラッシュアップからプレゼンテーションまでを行います。以上の様な実践を通して「企画を創る」ことを共に考え学び、これからの時代の「教養」としての企画力を身に付けることが、本授業の目標となります。</p> <p>●ゲスト講師紹介 鐘ヶ江織代（アートマネジャー、コーディネーター、リサーチャー） 株式会社しろばら百藝社代表取締役。パレイドリアン代表。滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール、京都コンサートホールの各事業課を経て、トーキョーワンダーサイト（現トーキョーアーツアンドスペース）では「若手のための現代音楽企画ゼミ」を企画するなど、コンサートやワークショップの企画・制作、若手クリエイターの育成・支援事業等に携わる。 山本和智（作曲家・プロデューサー） 独学で作曲を学ぶ。オーケストラ、室内楽、アンサンブル、合唱、独奏曲、映画音楽など作曲活動は広範にわたり、2006年モリナーリ国際作曲賞第1位(カナダ)、2007年AIC/Mostly Modern 国際作曲コンクール第1位(アイルランド)、2009年度武満徹作曲賞第2位、2010年第5回JFC作曲賞、2011年TOKYO EXPERIMENTAL FESTIVAL- SOUND, ART & PERFORMANCE vol.7 奨励賞受賞など。2020年にはサントリーサマーフェスティバルにてオーケストラ作品の新作を初演。2009年より『特殊音楽祭』をプロデュースする。 和光大学表現学部総合文化学科非常勤講師、音楽実験ユニット「パレイドリアン」メンバー。 眞崎光司（学習環境デザイン研究家） 青山学院大学大学院社会情報学専攻博士後期課程修了。博士（学術）。大学卒業後、大学図書館に勤務し、大学生がワークショップや展示の形で自らの学習機会を創出することができる空間（ラーニング・コモンズ）のデザインと運営を担当。現在は音楽実験ユニット「パレイドリアン」メンバーとして現代音楽の普及活動や作曲家の創造性に関する研究を行う。</p>					
成績評価方法		出席状況、授業への貢献度、最終プレゼンテーションによって合否判定をおこなう。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51435	A	実験で学ぶ物理科学	松本 悠	教養教育高度化機構	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>物理学とは、実験結果から導出された一般法則や概念からなる、統一的な知識体系です。しかしながら文理問わず多くの人は、物理学の法則や概念は、それぞれの繋がりが見えず、入試問題のように理想化された状況設定において適用されることができても、現実の世界に適用することは難しい、と考えていると思います。このような誤解を解消するのが、この授業の目標です。</p> <p>理系の学生はAセメスターから基礎実験が始まります。とても重要な授業ですが、現段階ではとにかく指定された実験をこなすだけで精一杯なのではないでしょうか？この授業では、実験というものはどのような観点で進めていくべきであるのか、科学的思考を鍛えるという本質と照らし合わせて学びます。そして、実験がどのように研究に活用されているのかを、ほんの触りを体験してもらいたいと思っています。</p> <p>授業形態は、現代物理学の体系を俯瞰的に紹介・解説していくような一方通行の講義ではありません。その代わりに、物理学上の特に基本的な概念、法則、および手法を、マイコン等の実験装置を用いて実際にデータを取得し、体験することによって学んでいくスタイルです。物理は苦手と思っている学生でも参加をお待ちしています。</p>					
成績評価方法		出席点を基本とします。その上に、題材への取組姿勢や、グループワークへの積極性、プレゼンテーションおよびレポートの内容を評価に加えます。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51436	A	塀の向こうには誰がいるのか 犯罪と刑事司法の多角的理解	山岡 あゆち	教養教育高度化機構	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>【授業の概要】 あなたの思う「犯罪者」はどんな人でしょうか。そして犯罪の原因は一体何なのでしょう。この授業では、日本の非行・犯罪の実情や課題について、架空事例やデータを解釈しながら犯罪学、犯罪心理学及び司法福祉の観点から実情を体感し、学びます。専門書などの文献を読んで学ぶ刑事司法の実際には、生々しいほどの「人」の存在や「人生」があります。また、刑事司法を学ぶことから、同時に非行・犯罪の背景にある貧困、虐待、障害、社会的孤立、依存症など社会の抱える様々な課題が浮き上がってきます。この授業ではこれらの社会の問題についても扱います。</p> <p>授業の多くの回では、実際に、刑事司法に携わる司法・犯罪領域の対人援助職（主に犯罪心理学）、弁護士などの法曹、民間団体の支援者、そして当事者の方などをゲスト講師としてお招きし、実情についての講義をしていただくオムニバス形式で行います。講義では、GW などを取り入れながら、刑事司法が抱える課題やその背景にある課題について、議論をしながら考えます。</p> <p>正解のない問いを一緒に考えてみませんか。</p> <p>【授業の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非行少年・犯罪者の再犯防止の課題を中心に刑事司法の様々な問題について犯罪学、犯罪心理学や司法福祉の観点から知る。 ・非行・犯罪の背景にある社会課題について考える。 ・犯罪被害者支援の課題について学ぶ。 ・刑事司法に携わる法曹や司法犯罪領域の対人援助職、NPO 職員などの実務家、当事者など様々な立場の人の話や考えを聞き、刑事司法について多面的な視点を持ち、キャリアについて考える。 ・犯罪学の諸理論を学び、実情を踏まえてその理論について考える。 					
成績評価方法		<ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加状況 66% ・授業への出席 33 (1回3点×全11回) ・授業への参加態度 33 (1回3点×全11回) ・授業中の参加態度 13% ・レポートの評価 21% 					
教科書 ガイダンス		<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51448	A	地球社会における リアリズムの探求 II	馬路 智仁	社会・社会思想史	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>この授業では、グローバル化した地球社会における今日の問題を論じた英文記事を分析し、議論を重ねることで、どのような分野に進もうともその基礎的体力となる、知識と情報分析能力、そして「自立した思考」の獲得を目指します。誰かの受け売りではなく、自分の目で見て、自分の頭で考え、自分の言葉で表現する能力（仮に「思考のリアリズム」と呼びます）を培うことが、本授業の最大の目的です。同時にこの授業では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現代的課題をめぐる英文記事の分析を通じて、この世界で何が起きているか、この世界はどのような方向に向かおうとしているかを知り、日本の位置を相対的に捉える視点を獲得すること、 ● 思考のリアリズムを培い、独立した個、そしてその表裏として、他者を正面から理解し協働する能力を養うこと、 ● 今後それぞれの進路においてリーダーシップを発揮する人材となるための知的体力を身に着けること、を目標とします。 <p>なお本ゼミは、履修人数を18名前後に制限します。そのため選考を行いますので、「履修上の注意」を読んでください。授業での報告・ディスカッション、小論文(論考)を基に評価する。</p>					
成績評価方法							
教科書 ガイダンス		<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51427	A	「ダイバーシティ/ Diversity & Inclusion」再考	福永 玄弥	教養教育高度化機構	金 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>近年、経済や政治や文化といったさまざまな領域で「Diversity & Inclusion」が関心を集めている。日本では2010年代から「ダイバーシティ」への取り組みが注目され、企業では女性や性的マイノリティや外国人といった多様な人材の「活用」が「ダイバーシティ・マネジメント」というかけ声のもとで進められている。行政や自治体でも、いわゆる「同性パートナーシップ条例」の制定や、防災・減災活動におけるマイノリティ視点の導入などの施策が「ダイバーシティ」言説のもとで推進されてきた。東京大学も2022年に「ダイバーシティ&インクルージョン宣言」を定め*、2023年4月には教養学部にD&I関連授業とセーフアースペース（KOSS）を提供する「Diversity & Inclusion 部門」が設置された。「ダイバーシティ/Diversity & Inclusion」の取り組みは、国連が推進してきたSDGsや、近年のフェミニズムや性的マイノリティの人権課題に対する関心の高まりとも親和性が高いようである。しかし、そもそも「多様性の包摂（Diversity & Inclusion）」とは国家や組織に対して、いかなる変化をもたらす、あるいはともなうプロジェクトなのだろうか。もとより「包摂」は「排除」と対概念で、メンバーシップの境界設定をめぐるポリティクスであるのだから、包摂されるメンバーシップには原理的に臨界点がある。とするなら、どのような政治力学によって特定のメンバーが歓迎すべき構成員として包摂され、あるいは歓迎されないヒトとして排除されたりするのか。「ダイバーシティ/Diversity & Inclusion」の取り組みは、このような困難や難題といかに向き合ってきたのだろうか。</p> <p>この授業では、「ダイバーシティ/Diversity & Inclusion」に関する理論・実証研究を学んだうえで、国連や特定の国家、自治体、大学、企業の関連施策を調査し、批判的に分析してもらおう。これらを通して「ダイバーシティ/Diversity & Inclusion」をめぐる近年の国内外の動向や問題を把握し、その課題を乗り越えるための批判的な視座の獲得を目指す。</p> <p>*東京大学（2022）「ダイバーシティ&インクルージョン宣言」 https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400197067.pdf</p>					
成績評価方法		授業に対する貢献度（発表やディスカッションへの参加）を総合して評価する。					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51104	A	法と社会と人権 - 社会の実態を知り、人権を学び考える -	石井 眞紀子	学生による全学自由 研究ゼミナール	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>当ゼミは、1992年度から川人博弁護士が中心になり担当してきた。今学期も川人弁護士の協力を得て、当ゼミの出身者である石井眞紀子弁護士が担当する。中川素充弁護士及び笠置裕亮弁護士（当ゼミOB）も協力する。</p> <p>Aセメスターのテーマとしては、メディア、国際、ジェンダー、司法、労働を予定している。</p> <p>文Iは勿論、文II・文III・理I・理II・理IIIの学生も歓迎する（例年、文I以外の学生も多く参加している）。</p> <p>人権問題を考えるにあたって大切なことは、社会の実態をよく知ることである。このゼミでは、従前より、普段の授業時間での講義以外にフィールドワークを実施している。事件現場、NGO、法律事務所、官公庁、企業、労働組合、裁判所、少年院、刑務所、入管、テレビ局、新聞社、病院などに出向き、様々な当事者、専門家、弁護士、医師、公務員などから話を聞く。様々な職に就いている当ゼミ卒業生との交流も随時行う。</p> <p>これらのフィールドワーク（主として平日午後6時40分以降、土日祝日に実施）は、今学期を通じて15回以上実施予定である。いずれかを選択して、計1回以上参加すること。</p> <p>金曜5限の授業では、10月～12月上旬は講義形式（各分野の最前線で活躍している人たちをゲストとして）を中心にし、12月～1月はテーマ班ごとに、授業やフィールドワークで学んだことをまとめて、論考を作成してもらおうとともに、学生発表を実施する。</p> <p>※ ガイダンスは10月4日5限（第1回授業時）におこなう。</p>					
成績評価方法		日常のゼミ活動、学生発表及び学期末レポートにもとづく合否判定					
教科書		講義及びフィールドワークで学んだことを基礎にして、上記発表を行い、かつ学期末レポートを作成すること 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 川人 博 編著 『テキストブック現代の人権第4版』 日本評論社 978-4-535-51725-7 なし					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51446	A	日本の経済戦略と政策が 果たす役割 ～政策の最前線で奮闘する 現役官僚が語る～	星野 岳穂	公共政策大学院	金 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>新型コロナウイルスパンデミックは、世界中の国々に大きな影響を与え、社会経済的な変革を促しました。また、世界では、「カーボンニュートラル」「サーキュラーエコノミー」「経済暗線保障（サプライチェーン強靱化）等の大きな課題に直面し、まさに激変の時代に直面しています。</p> <p>日本では、さらに、超少子高齢化、生産年齢人口の減少（人手不足）や財政赤字、急速に進む円安、物価上昇、若年層の格差拡大、国内市場の需要飽和、消費者ニーズの多様化・個別化といった新たな構造変化の局面を迎え、国内生産の促進や技術保護、国際的な協力などさまざまな政策を大規模に展開しています。半導体の重要性がますます高まる中、これらの動きは今後も注目されるでしょう。天然資源確保、食糧確保等の枠組みについても再検討する必要があることも強く示唆されます。ロシア・中国をめぐる国際秩序の変化、インドの人口増加、中東などにおける民族や宗教の対立をはじめとする世界の不安定化等、日本を取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。</p> <p>このようなグローバルな大変化や出来事1つ1つが、直ちに我々の生活や経済などに大きな影響を与え、これらが様々なリスクを含んでいることに気づかされます。これまで日本が享受してきた「秩序」や「安心」を確保する枠組みは、決して自明なものではなく、持続可能なものではないことを実感する時代に突入しました。</p> <p>他方、生成型 AI に象徴される人工知能（AI）と機械学習、量子コンピュータ、バイオテクノロジー、ナノテクノロジー、ドローン技術などの新技術は、私たちの社会や生活を大きく変える可能性を秘めています。「豊かさ」や「安心」を持続可能にしながら、「今までなかった価値」を生み出していくためには、社会と経済の「仕組み」を不断に見直し、世界の目まぐるしい変化の最先端に適応し続けることが求められます。</p> <p>本講義では、このような激動する社会において、政策立案の最前線で日々奮闘している経済産業省、財務省及び金融庁の現役官僚をゲストスピーカーとして招きます。それぞれが担当する政策分野について、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①激動する国際社会の動向、 ②その変化が私たちの社会・経済に与える影響やその変化の意義、 ③これらを踏まえた日本経済の再生に向けた戦略、 ④政策が果たす役割を語るとともに質問に答え、また学生の皆さんとディスカッションしていただきます。産業政策、財政政策、金融政策、通商政策、資源エネルギー政策、環境政策など私たちの社会・経済のあり方に深く関わる政策をテーマとしてとりあげる予定です。 <p>本講義を通じ、以下の3点を身につけていただくことができると考えています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) メディアでは時として報道されない、世界規模の構造変化の真の姿 2) 学際的な視点から、社会・経済の諸問題を分析すること 3) 日本経済の再生戦略と、それを実現するために政策が果たす役割 <p>文系・理系を問わず、次代の日本を担う学生の皆さんの幅広い参加を期待しています。</p>					
成績評価方法		<p>出席点及びレポートにより評価。レポートは、各回の終わりにゲストスピーカーが出題する課題について、2テーマを選択し、それぞれ数枚（A4で2～3ページ）にまとめたものを、所定の時期（各回の講義の中でお知らせします。）までに提出して下さい。</p> <p>詳細はガイダンス時に説明いたします。</p>					
教科書 ガイダンス		<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51354	A	法律実務家からみた 「法律を学ぶことのススメ」	梅林 啓	法学部	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>私たちの社会や生活は、あらゆる面において、法律によって規制されている。「規制」というのは、自由を奪うという側面もあるが、法律がなければ、無秩序な社会になるだけなので、法律は私たちに平穏な生活をもたらすツールでもある。法律は、誰に対しても否応なしに適用されるものなので、法律を知っていることは生きていくための武器になる一方で、法律を知らないことで損をすることも多い。</p> <p>法律を学ぶことは難しいと感じている人も多いかもしれないが、全ての法律を知る必要はない。法律を学ぶコツを知れば、必要なときに法律を知りに行くこともできる。ただ、法律は深く学べば興味は尽きない学問でもある。</p> <p>この授業は、検事として16年、弁護士として17年の実務経験を有する教授が、法律を学んだことのない学生を対象に、法律を学ぶことの意義、楽しさ、将来への実益について、様々な切り口から講義することを内容とする。そして、社会に出たときに、法律を学んだことがどう役立つかを理解し、法学部によるさらなる学業への意欲に繋げることを目標とするが、法学部に進学しない人にとっても、法律を学ぶことに興味を持つことを目標とする。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51356	A	Molecular Biology of the Cell 輪読ゼミ	菅谷 佑樹	医学部	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		主に駒場の2年生を対象とし(1年生も参加可能)、Molecular Biology of the Cellを英語で読むことで、生命科学を英語で学ぶ習慣を身につけ、さらにその基礎となっている原著論文を読む事が出来るようになる事を目標とする。					
成績評価方法		出席と上記のプレゼンテーションに基づいて評価を行う。					
教科書		次の教科書を使用する。/Will use the following textbook Bruce Alberts, Rebecca Heald, Alexander Johnson, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter, John Wilson Molecular Biology of the Cell 7th edition W W Norton & Co Inc;					
ガイダンス		第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51445	A	駒場で「食」を考える	岡田 晃枝	教養教育高度化機構	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		「駒場で『食』を考える」は身近な野菜の問題からスマート農業、そして海外の食品市場のことまで、「食」をキーワードとして文系・理系の枠を超えて学び合い、議論しあう授業である。最終的に、学んだ内容を活かし、グループで政策提言をまとめて発表してもらおう。					
		今学期は農業・水産政策に関わる方をゲストに迎え、とくに下記のテーマを中心として実施する。					
		◆もやしは「物価の優等生」と言われ、安価な野菜の代表であったが、原料調達のコストやエネルギー価格、物流コストの上昇を背景に、価格転嫁が進んでいる。一方で、価格の上昇は消費量の減少につながっており、もやし生産者は困難な状況から抜け出せていない。国産野菜の持続的な供給と日本の食の安全の観点から、野菜の価格設定について考える。					
		◆2024年7月、中西部太平洋まぐろ類委員会(WCPFC)北小委員会で太平洋クロマグロの日本の年間漁獲枠の大幅な拡大が合意された。SDGsの目標14ターゲット4では「2020年までに漁獲を効果的に規制し、過剰漁業や違法・無報告・無規制(IUU)漁業及び破壊的な漁業慣行を終了し、科学的な管理計画を実施する」ことが謳われているが、水産資源の国際的な管理と日本の水産業、日本の魚介消費量はどのような関係にあるのか。					
		◆漁業は自然環境に左右されやすい。気候変動は日本の漁業にどのような影響を与えているのか。また、漁業者を守るための制度にはどのようなものがあるのか。					
成績評価方法		授業へのコミットメントと課題によって評価する。					
教科書		教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51367	A	カーボンフリー社会のための 燃焼の科学	鈴木 雄二	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		炎を使った料理が人類を人類たらしめたという説がある一方、最近では「モノを燃やすのは悪」という風潮が広まっています。「燃やす」という行為は必然的に環境に悪影響を与えるのでしょうか?本ゼミナールでは、カーボンフリー社会のための燃焼について講義と実験を通じて学びます。					
		近年、カーボンニュートラルの達成は緊急の課題となっていますが、国土が狭く平野の少ない日本では再生可能エネルギーで需要を全て賄うことは困難です。そのため、自然エネルギー由来の水素、あるいは水素の運び手としてのアンモニアをカーボンフリー燃料として海外から輸入し、火力発電所、工業プロセス、船舶などで燃焼させて用いるための取組みが精力的に行われています。					
		本ゼミナールでは、国内外のエネルギー事情、カーボンフリー燃料の燃焼、宇宙における燃焼についての講義と、燃焼の先端計測の実験を通じて、将来のエネルギー変換でさらに重要性が増す水素、アンモニア燃料について学習します。					
		----- ※このゼミは10月2日(水)6限(18:45~)にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。 -----					
成績評価方法		出席および発表会での評価					
教科書		教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51369	A	製品を分解してわかる 環境問題	梅田 靖	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>製品を開発する際に、環境への影響を配慮して製品を設計することは今や当たり前のことになりつつある。この講義では、製品使用後にリサイクルを容易にするための「リサイクル性設計」に焦点を当て、実際の製品（液晶テレビを予定）を分解しながら、どのような設計上の工夫がされているのかを観察するとともに、「リサイクル」の仕組みについて学ぶ。</p> <p>※コロナウイルス感染症の情勢により、予定を変更する可能性があります。</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは10月2日（水）6限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席、講義中の積極性、レポートから総合的に判断する プリントを配布する。／Will distribute handouts 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51370	A	センサ技術と AI を使った スポーツアナリティクスについて 考えてみよう	亀崎 允啓	工学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>スポーツアナリティクスとは、スポーツに関するデータを収集・分析して、選手やチームのために活用することをいいます。スポーツの世界は経験や勘が重要であり、データ活用とは縁遠い分野であるというイメージをお持ちの方もいらっしゃるかもしれませんが、しかし、近年ではデータ収集技術が向上したことや、データ活用により成果をあげているプロスポーツチームが増えてきたということもあり、スポーツの世界でもデータ活用が重要視されるようになってきました。本講義では、スポーツアナリティクスの技術を高めること、もしくは、従来では実現しえなかった新たなデータ分析を提供することで、スポーツの競技レベルの向上と、スポーツの新たな魅力を引き出すことを目的に、「センサ技術と AI を使ったスポーツ穴ティクス」手法について考えていきたいと思います。あらゆるスポーツを対象とします。例えば、個人競技では、陸上、水泳、柔道、テニス、スノーボードなど、チーム競技では、野球、サッカー、ラグビーなどです。スポーツアナリティクスには、さまざまな学問知識の融合と応用が必要となります。データ取得のためのウェアラブルセンサを構築するための、電気電子・機械工学、センサデータを処理して学習させてモデルを構築する情報学だけでなく、認知科学、生理学、心理学、さらには、システムを利用してもらうための経済学などが例示できます。これらについての見を広げられ、融合したものづくりのためのセンスを養える機会を提供します。</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは10月2日（火）6限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席、レポート、最終発表にて総合的に評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51374	A	化学システム工学の研究を体 験しよう！	小畑 圭亮	工学部	集中	2	1年 理科
授業の目標概要		<p>「環境・エネルギー・医療」を柱とする化学システム工学。本郷キャンパスの研究室に実際に入って、研究体験します。触媒化学とエネルギーの研究室（高鍋・小畑・岸本研）、環境浄化作用を持つ多孔性材料の研究室（大久保研・脇原研）、そして医薬品の製造プロセス設計の研究室（杉山・Badr 研）が参加します。化学を基盤に、様々な知識をネットワーク状に組み合わせ、社会の実課題を解決し、あるべき姿を示す化学システム工学の真髄に触れます。</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは10月2日（水）6限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>実習への参加により評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51375	A	生体を化学システムとして 捉えてみよう！	太田 誠一	工学部	集中	2	1年 理科
授業の目標概要		<p>本ゼミナールは工学部の化学システム工学科の研究室の協力により実施する全学自由研究ゼミナールです。研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。原則教養学部講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します(3~4日間)。研究を体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは1年 理科です。本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。</p> <p>【ガイダンス】</p> <p>-----</p> <p>このゼミは10月2日(水)6限に開催される工学部合同ガイダンスに参加予定です。いずれもオンライン開催です。受講希望者は、必ずガイダンスに参加して下さい。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知する予定です。</p> <p>-----</p>					
成績評価方法		実習への参加により評価する。					
教科書		教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス		特定日を行う。/Will conduct guidance at another time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51378	A	化学・生命系3学科 全学自由研究ゼミナール 化学生命工学科「分子の世界に飛び込 もう：化学と生命の最前線に触れる」	伊藤 喜光	工学部	集中	2	1年 理科
授業の目標概要		<p>本ゼミナールは工学部の化学・生命系三学科(化学生命工学、応用化学、化学システム工学)の研究室の協力により実施する全学自由研究ゼミナールです。各研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します(3~4日間)。研究現場、討論などを体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは1年 理科です。</p> <p>【注意】本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。工学部合同説明会にて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。</p> <p>※開講日・具体的内容は、授業計画欄参照。</p> <p>※このゼミは10月2日(水)6限(18:45~)にオンラインで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p>					
成績評価方法		実験等への参加により評価する。					
教科書		教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51393	A	伊豆に学ぶプラス A 上級編 「感じる・考える・行動する」 サイクルの発動	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>【注意】この自由研究ゼミは対面で実施します</p> <p>この講義の最大の目標は、伊豆ゼミ運営に関わる学生スタッフの育成と組織化である。学生スタッフとは一ゼミ生でありながら、伊豆ゼミをよく理解するファシリテータとしてゼミにおいて自律的に活躍してゼミの目指すべき方向性を示す、伊豆ゼミの中核となる存在である。大役であればこそ、大きく成長する機会となるであろう。大役と聞いてちょっと尻込みする貴方・貴女へは、「それができる様に育てるのがプラスの講義です」「案ずるより産むが易しです」と励ましたい。</p> <p>この講義のもっと具体的な目標は、全学体験ゼミ「伊豆に学ぶプラス初級編」の事前講義と事後講義を企画・運営することである。その背景には、伊豆に学ぶへのより深い理解が重要であることは言うまでもない。</p> <p>本講義「伊豆に学ぶプラス上級編」は、伊豆ゼミの果実を確かなものにするために、真剣に考え・顧みて、議論することを大切にす。最近の若者を支配する「空気を読む」ことを強要するような雰囲気には、異を唱えたい。同じるばかりに気が行ったら、自由にとことん議論して真に和するということがないのではないかと心配になる。和して同ぜず。色々な背景を背負った受講生同士が異なる意見を吐露し合い、むしろ意見が違っても大切に思っている根っこの部分が同じであったり共通性があったりすることに気付くこと、そういう仲間の存在のありがたさを知ることを実現する「場」を本ゼミに具現したい。受講生同士のつながりから、己と社会のつながりをいかに構築していくかを模索し、社会の一員として環境保全に取り組むべきと強く意識できることを期待したい。学生が主体となり、自由に学ぶ「場」を実現すること、それが全ての伊豆に学ぶシリーズに共通する理念であり、伊豆に学ぶプラス生（上級編）が果たす役割である。総合大学ならではの面白さを追求したいと考えている。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>授業態度、取組姿勢を重視し、プレゼンテーションとファシリテーションの質を評価する。</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51394	A	獣害問題とは何の問題か A (自由自主の企画系ゼミ) ～獣だけの話ではない。見えにくい 防災問題や国土荒廃の連環～	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>これまで全学体験ゼミ・全学自由研究ゼミを通して多くの東大生に接する機会をいただき、気づいたことがあります。それは、東大生は効率よくスマートに動きたい思いが強く、スマートに片づけられないことを遠ざけがちであるということ。もちろん、全員がそうだと決めつけるつもりはありません。</p> <p>そう言われると自分も当てはまるかも知れない。</p> <p>この機会に何とかしたい。</p> <p>そう思ったあなたにこそ、このゼミをお奨めしたい。</p> <p>君の大切なものは何？</p> <p>どういう価値観で生きているの？</p> <p>社会とどう向き合って生きていくつもりなの？</p> <p>と尋ねると、以下の様に回答する東大生がかなり高い割合でいます。</p> <p>自分は何がしたいのか分からない・決められない。</p> <p>それを決めずに入れるから東大を選んだと言い、</p> <p>大学でやりたいことを今探しているところなので、その問いには直接答えることはできません、と。</p> <p>しかし、大学に入っても自身の価値観は固まらず、進振り制度に直面しても自分が何をしたいのか、何をすべきなのかということ自分を自分で決められずに、右往左往していないでしょうか。結局自分では決められずに、何となく皆が行きたがる人気の高い学科が良さそうに思えてくる。人気が集まると点数が足りなかったりする。すると、自分の点数と見比べて、自分の点数で行ける中で一番点数が高そうなところを選んだりしてしまう。そのような調子で過ごしていて、果たして自分の頭で考え、判断したことになるのでしょうか？</p> <p>そんな調子で大学生活を過ごして、大学を卒業して社会に出た時に、自律的に判断・行動できる人材に自分を仕立てられていると思えますか？</p> <p>次に林業について。</p> <p>本ゼミ主催者は長年、全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」を担当してきました。それらのゼミ中に学生に日本林業の今後の展望を尋ねると、利益を出せない以上は林業が停滞するのはやむを得ないという、大人の意見が返ってくる人が多いです。</p> <p>ってゆーか、そんな答えしか返ってきません！</p> <p>東大生は、涼しい顔をして大人の意見を言うだけで満足する人が多いと思います。</p> <p>「林業は難しい」という答えは現時点の状況を端的に表わしているという点で、試験の解答としては正解なのかもしれませんが。しかし、そう片づけてしまえば、それで仕舞いです。そこからはもう何も新しいことが生まれて来そうにもあ</p>					

りません。

東大生の皆さんには、是非、新しい何かを生み出す原点や原動力になっていただきたい。それが「伊豆に学ぶ」や「森に学ぶ」など一連の全学ゼミで皆さんにお伝えしたいことです。

全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」で初めて獣害を意識したという方には、もう少しじっくりと向き合っていたく機会を提供したい。そのために用意したのが「日本は林業を放棄してよいのか」と投げかけるこのゼミです。もちろん、「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」の受講生ばかりではなく、「林業」について考えてみたい、考える必要を感じる、重要なだろうけどどこか他人ごとになってしまう、という普通の東大生に「皆で考える」場を提供するゼミにしたいと思っています。

それらについて、ただ考えるだけでなく、考えたことを交流させる「場」を本ゼミに実現させて、それを拡大して学園祭にも「場」を作り広げることを一つの具体的な目標とします。

本自由研究ゼミはこれまで、学園祭においてイノシシピザやイノシソーセージの燻製を来訪者に提供する取り組みを通して、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」で扱ったイノシシ被害の問題が南伊豆地域に実際に存在していることを伝えてきました。

講義タイトルにはあえて「獣害問題」と書きました。

なぜ、野生動物と人との軋轢が増しているのでしょうか。

「オオカミを絶滅させてしまったからシカやイノシシが増えている。他所から捕食者オオカミを再導入すればこの問題は解決する」

という話を耳にすることがあります。

オオカミの再導入で問題は簡単に解決するのでしょうか？

問題はそれほど単純ではないと思われます。

オオカミを再導入する前に、なぜ日本人はニホンオオカミを絶滅させてしまったのかということにしっかりと向き合う必要があるはずです。

ニホンオオカミと日本人との間に軋轢があり、その結果としてニホンオオカミを絶滅させることになったのであれば、他所から再導入するオオカミと私たちとの間に軋轢が生じないかと考えることに合理性はあるのでしょうか。

現代社会は複雑であるがために、私たちを取り巻く様々な関係が希薄になっています。それがために、諸処において自分と対象物・対象事象との繋がりに実感が伴いません。その結果として当事者意識を持ってないことになってしまい、それが問題をさらに深刻化させるといふ、負のスパイラルの見本の様な状態と言えます。「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」ゼミではこれらの気付きを得た学生さんが多数います。

ゼミ中に得たその「感覚」も、そのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。

本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、「伊豆に学ぶ」とは違った視点を得て、自ら発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。

この自由研究ゼミの目標は「獣害問題」の解決に向け政策提案することではありません。政策提案することを目標としてしまうと、あたかもその提案によって解決できるかの如く話をまとめることが目的になり兼ねません。

複雑な問題に対して何とか「解」を捻り出して政策提案することではなく、複雑な問題とじっくりと向き合うこと自体を目的とします。

大学入学試験では、正しい解を素早く出すことが求められるので、多くの東大生はついつい結論を急いでしまいがちではないでしょうか。入試であれば、回答欄に不正解を記そうが、何も書かずにいようが、0点であることに変わりません。偶然か何かのハズミで正解する可能性があるならば、記入しないよりも何らかの解答を記すべきだと教わります。しかし、今の話題は大学入試ではないので、テキトーな答えを書き入れて、さっさと思考を終わらせることは上策ではありません。答えが出ないことと向き合うことは、東大生がもっとも不得手とすることかもしれません。皆さんが社会に出てから向き合うことは、一筋縄では行かないことが多く、最短距離で正解に直行する思考方法はあまり役に立たないでしょう。そのこと知ることは決して無駄なことではありません。

答えが出せない複雑な問題は、人任せにして、自分ほうまく避けて通ればよいのでしょうか。

本ゼミでは、受講生が希望すれば、南伊豆を訪ね獣害の現場を視察するという選択肢を生み出すことができます。本ゼミと合わせてそれらのゼミ作りに関わりませんか。

そこまでできない場合には、本ゼミは「体験」する部分がないので、例えば「森に学ぶ」などに参加して山林の現状を見ることから始めたいと思います。

Sセメスタのゼミでは大菩薩峠を訪ね、増え続けるシカが森林にどんな影響を及ぼすのか、実態をご覧いただきました。大菩薩峠はハイカーに人気ある山域で、多くのハイカーが足を運びます。ハイカーにはシカの影響がどの様に伝わっているのか、日本人の自然観察眼についても実態をご覧いただきたい。

興味がわいたら、51397、60231「森に学ぶ」にてもっと山の実情を見に行くことをお勧めします。

獣害の現場を視察し、畏を作り、仕掛けたいとか、害獣をジビエと捉えて手作りイノシソーセージを作りたいとかのご希望があれば、60228「続伊豆に学ぶ イノシソーセージ作りは考えるきっかけを与えてくれる」への参加をお勧めします。

さて、本ゼミは自由自主の企画系ゼミですので、

「獣害問題とは何の問題か」という論点を社会に発信してもらいます。

前述した様に、このゼミでは五月祭・駒場祭に「獣害問題とは何の問題か」企画を打ち出します。

問題の本質が何であるのかと一緒に「場」を作り出すのがこの企画の狙いです。

学園祭企画を創作していきましょう。

問題の本質が何であるのかについて、周りを巻き込んで一緒に考えるきっかけを提供する、そういった体験をしてもらうことがこの企画の狙いです。

何を発信するのか

どう発信するのか

自由と自主で行動するのが大の苦手という方、少しでも克服したいと、初めの一步を踏み出そうという方を応援する、そのようなゼミにしたいと思っています。

※講義の目標：自主・自律に動けるようになること。様々な問題を他人ごとにしなない気分を身に付けること。

授業中の取り組み姿勢、企画立案および企画実行の取り組み姿勢、責任ある行動を重視する。

教科書は使用しない。／Will not use textbook

第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51395	A	日本は林業を放棄してよいのか S (自由自主の企画系ゼミ) —日本国民は国土面積の 25%に 及ぶ人工林をどうするつもり？	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

これまで全学体験ゼミ・全学自由研究ゼミを通して多くの東大生に接する機会をいただき、気づいたことがあります。それは、東大生は効率よくスマートに動きたい思いが強く、スマートに片づけられないことを遠ざけがちであるということ。もちろん、全員がそうだと決めつけるつもりはありません。そう言われると自分も当てはまるかも知れない。この機会に何とかしたい。そう思ったあなたにこそ、このゼミをお奨めしたい。君の大切なものは何？ どういう価値観で生きているの？ 社会とどう向き合っているつもりなの？ と尋ねると、以下の様に回答する東大生がかなり高い割合でいます。自分は何がしたいのか分からない・決められない。それを決めずに入れるから東大を選んだと言い、大学でやりたいことを今探しているところなので、その問いには直接答えることはできません。しかし、大学に入っても自身の価値観は固まらず、進振り制度に直面しても自分が何をしたいのか、何をすべきなのかという自分を自分で決められずに、右往左往していないでしょうか。結局自分では決められずに、何となく皆が行きたがる人気の高い学科が良さそうに思えてくる。人気が集まると点数が足りなかったりする。すると、自分の点数と見比べて、自分の点数で行ける中で一番点数が高そうなどころを選んだりしてしまう。そのような調子で過ごしていて、果たして自分の頭で考え、判断したことになるのでしょうか？ そんな調子で大学生活を過ごして、大学を卒業して社会に出た時に、自律的に判断・行動できる人材に自分を仕立てられていると思えますか？

次に林業について。
本ゼミ主催者は長年、全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」を担当してきました。それらのゼミ中に学生に日本林業の今後の展望を尋ねると、利益を出せない以上は林業が停滞するのはやむを得ないという、大人の意見が返ってくることも多いです。ってゆーか、そんな答えしか返ってきません！ 東大生は、涼しい顔をして大人の意見を言うだけで満足する人が多いと思います。「林業は難しい」という答えは現時点の状況を端的に表わしているという点で、試験の解答としては正解なのかもしれませんが。しかし、そう片づけてしまえば、それで仕舞いです。そこからもう何も新しいことが生まれて来そうにもありません。東大生の皆さんには、是非、新しい何かを生み出す原点や原動力になっていただきたい。それが「伊豆に学ぶ」や「森に学ぶ」など一連の全学ゼミで皆さんにお伝えしたいことです。全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」で初めて林業を意識したという方には、もう少しじっくりと向き合っていたく機会を提供したい。そのために用意したのが「日本は林業を放棄してよいのか」と投げかけるこのゼミです。もちろん、「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」の受講生ばかりではなく、「林業」について考えてみたい、考える必要を感じる、重要なんだろうけどどこか他人ごとになってしまう、という普通の東大生に「皆で考える」場を提供するゼミにしたいと思っています。それらについて、ただ考えるだけでなく、考えたことを交流させる「場」を本ゼミに実現させて、それを拡大して学園祭にも「場」を作り広げることを一つの具体的な目標とします。日本は国土面積の7割近くが森林で覆われています。その40%に当たる1,000万haが人工林です。人工林は管理をし続けないと、健全性を保つことができず、また、収穫し、再造林しなければ若返り(更新)が担保されません。それらを担うのが林業です。人工林を天然林に戻すという考え方もありますが、それを実行するにしても林業が機能しなければ、樹種を変えていくというアクションを起こすことができません。現在の日本において、林業には全方位に解決しなくてはならない問題があると言っても過言ではありません。林業従事者が少ない問題、森林所有者の問題(500万haにおよぶ森林が私有地であり、所有者の3/4は5ha以下の小面積所有、そして所在不明案件が10万件に及ぶなどの問題)、獣害の問題、コストの問題(大型草本の問題や獣害の問題とも関係する)など、枚挙すれば切りがありません。そういった問題一つ一つへの理解と、社会全体に理解を広めることが、日本が林業を手放すという選択肢を選択しないために不可欠なことなのでしょう。企画系自由研究ゼミはこれまで、学園祭においてイノシシピザやイノシシソーセージの燻製を来訪者に提供する取り組みを通して、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」で扱ったイノシシ被害の問題が南伊豆地域に存在していることを伝えてきました。しかし、林業についてじっくりと考えて、発信するという機会は持てずに過ごしてきました。満を持して、とは申しませんが、この度、垣根を低く設定して林業を考え発信するゼミを立ち上げることにしました。講義タイトルにはあえて「日本は林業を放棄してよいのか」と書きました。現代社会は複雑であるがために、私たちを取り巻く様々な関係が希薄になっています。それがために、諸処において自分と対象物・対象事象との繋がりに実感が伴いません。その結果として当事者意識を持っていないことになってしまい、それが問題をさらに深刻化させているという、負のスパイラルの見本の様な状態と言えます。「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」ゼミではこれらの気付きを得た学生さんが多数います。ゼミ中に得たその「感覚」も、そのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。

本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」とは違った視点で、発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。

この自由研究ゼミの目標は「林業問題」の解決に向け政策提案することではありません。政策提案することを目指してしまうと、あたかもその提案によって解決できるかの如く話をまとめることが目的になり兼ねません。複雑な問題に対して何とか「解」を捻り出して政策提案することではなく、複雑な問題とじっくりと向き合うこと自体を目的とします。

大学入学試験では、正しい解を素早く出すことが求められるので、多くの東大生はついつい結論を急いでしまいがちではないでしょうか。入試であれば、回答欄に不正解を記そうが、何も書かずにいようが、0点であることに変わりません。偶然か何かのハズミで正解する可能性があるならば、記入しないよりも何らかの解答を記すべきだと教わります。しかし、今の話題は大学入試ではないので、テキトウな答えを書き入れて、さっさと思考を終わらせることは上策ではありません。答えが出ないことと向き合うことは、東大生がもっとも不得手とすることかもしれません。皆さんが社会に出てから向き合うことは、一筋縄では行かないことが多く、最短距離で正解に直行する思考方法はあまり役に立たないでしょう。そのこと知ることは決して無駄なことではありません。

答えが出せない複雑な問題は、人任せにして、自分ほうまく避けて通ればよいのでしょうか。

本ゼミでは、受講生が希望すれば、南伊豆を訪ね林業会社でインターン体験をするというオプションを生み出すことができます。

さて、前述した様に、このゼミでは五月祭・駒場祭に「日本は林業を放棄してよいのか」企画を打ち出します。問題の本質が何であるのかを一緒に考えるきっかけを提供するのがこの企画の狙いです。学園祭企画を創作していきましょう。

※学園祭に自分たちの企画を出展することを本ゼミの最終目標とする

授業中の取り組み姿勢、企画立案および企画実行の取り組み姿勢、責任ある行動を重視する。

教科書は使用しない。／Will not use textbook

第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

成績評価方法
教科書
ガイダンス

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51400	A	最先端の生命科学研究を駒場で体験する/Experiencing cutting-edge life science research at Komaba	吉本 敬太郎	教養学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>教養学部後期課程（理系）・統合自然科学科の「統合生命科学コース」には、ライフサイエンス研究の若きトップランナーが集結し、生命科学のフロンティアを開拓しています。本ゼミの履修学生は、最先端の研究を展開している研究室に数名ずつ配属され、未解明の研究課題に実際に取り組んでもらいます。</p> <p>研究の進め方は教員と相談して決めます。研究室によって曜限を指定する場合、指定しない場合、集中して行う場合があります。セメスターの最後に、履修者全員が参加して成果報告会を開催する予定です。</p> <p>統合生命科学コースの特徴は、先端性と多様性である。准教授が独立した研究室を運営できるため、26もの研究室がある。その研究テーマは極めて多様であり、分子生物学や細胞生物学、植物生理学といった理学的な基礎研究から、神経科学、内分泌学といった医科学的な研究、そして、創薬などを旨とした薬学・農学・工学的な研究まで多岐にわたる。ノーベル生理学・医学賞を受けたオートファジー研究が駒場で開始されたという事実が象徴するように、流行にとらわれない独創性の高い研究が行われている。実験や理論などのアプローチ法も多彩である。若き教員が柔軟な発想で、先端的でチャレンジングな研究テーマを選び、熱心に学生を指導するのみでなく、教員自らが現場に立って実験をしている研究室も多い。</p> <p>生命科学が大好きで、新しい分野を切り拓きたいという熱い思いを持つ学生を歓迎する。また、文系から理系への転向を考えている学生も受講できる。教科書で学ぶことの先にある生命科学の最先端を体験して欲しい。</p> <p>担当教員と研究テーマ（テーマと教員は変更・増減する可能性があります）： 野本 貴大 切らない手術 ケミカルサージェリー・ドラッグデリバリーシステム 道上 達男 ツメガエル胚の形づくりに力はどうに関わるか 晝間 敬 植物と共生する微生物の未知の機能の探索 吉本 敬太郎 核酸医薬の分子設計と機能評価 加納 純子 染色体末端テロメア/サブテロメアの分子機能の解明</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>研究への取り組みや成果報告会での発表をもとに評価します。</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>特定日に行う。／Will conduct guidance at another time</p>					

時間 割 コ ード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51401	A	生命の普遍原理に迫る 研究体験ゼミ	石原 秀至	生物普遍性研究機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>授業の目標概要 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>東京大学生物普遍性連携研究機構（Universal Biology Institute, UBI）に関連する研究室で研究体験型のゼミをおこなう。過去半世紀にわたる生命科学の進展により、我々は生体内で起こる分子レベルの反応の詳細や、それに関わる分子種についての膨大な知識を集積してきた。一方で、それら分子が総体として織りなす「生きている状態」とは、そもそもどのような状態なのか？そして、そのような状態を特徴付ける法則や原理は何か？このような基本的な問題について、我々人類はまだほとんど理解できていない。この問いは生物学のみに閉じた課題ではなく、現象の記述と理解に必要な数理科学の発展や、新たな実験・計測技術の開発を必須とする。この意味で現代生命科学は科学諸分野のフロンティアを押し広げるとともに、これらを再統合する現場ともなっている。UBIでは、生物に共通する普遍的な法則とメカニズムの解明を目指し、従来の生物学の枠を越えて、数理科学、理論物理、分子生物学、生物物理学、進化生物学、有機化学、ナノバイオテクノロジー、細胞イメージングなど、広範な分野の研究者が共同で研究に取り組んでいる。</p> <p>本ゼミでは、通常の学生実験や授業とは異なる、最先端の科学研究の現場を体験する機会を提供する。履修者は下記のいずれかの研究室に配属し、学問分野の垣根を越えた、分野横断的な科学研究に触れながら、基本的な実験技術やデータ解析手法を学習したり、数理演習や計算機実習を通じて理論研究の基礎を学んだりする。未知の分野にチャレンジし、将来的に自ら新しい分野を開拓していこうと思う意欲的かつ野心的な学生を歓迎する。</p> <p>担当教員</p> <p>【駒場キャンパス】</p> <p>澤井 哲: 粘菌の形態形成をしらべよう 若本 祐一: 細胞表現型ゆらぎと適応・進化の関係を探る実験研究 石原 秀至: 生命現象の数理モデルのシミュレーション 豊田 太郎: 人工細胞観察デバイスを微細加工技術で創って、人工細胞を実際に観察する 市橋 伯一: 人工細胞系の普遍遺伝暗号表を自在にデザインできるようにしてみよう(駒場IIキャンパス) 柳澤 実穂: 生命現象をソフトマターの視点から明らかにする実験的研究(駒IIキャンパス) 大泉 匡史: 大規模な神経活動データにおける神経情報表現の構造の解析 晝間 敬: 根圏糸状菌により誘導される植物成長促進効果に関する実験的研究 小林 徹也: 生体情報処理や自己複製・進化の理論的研究(駒場IIキャンパス)</p> <p>【本郷キャンパス】</p> <p>古澤 力: 進化過程の計算機シミュレーションによって何が解るか? 岡田 康志: 顕微鏡を作って生きた細胞を計測する 伊藤 創祐: 情報理論や確率的な熱力学を用いた生命現象の理論研究 杉村 薫: 組織成長の定量生物学 豊島 有 :線虫の神経活動と行動の解析</p> <p>最新の情報は以下を参照。 https://rcis.c.u-tokyo.ac.jp/education/ 研究への取り組み方、研究の達成度、報告会での発表等から総合的に判断する。 教科書は使用しない。/Will not use textbook ガイダンス 特定日に行う。/Will conduct guidance at another time</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51413	A	学部学生のための研究入門コース- UROP2 (Undergraduate Research Opportunity Program 2)	川越 至桜	生産技術研究所	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>駒場リサーチキャンパスにある生産技術研究所（生研）では、IT、ナノテクノロジー、バイオや環境の分野を始めとした、工学全般における様々な最先端の研究を行っている。このような先端研究について、従来の受動的な授業とは異なり、自分自身の手を動かしながら研究を進め、実験や実習を通して実践的に学んでいくのが、本ゼミナールの特徴である。</p> <p>研究テーマに関しては、生研で行われている数々の研究から興味のあるテーマを選択する。授業の形態としては、選択したテーマを研究している研究室の一員として、設定した目的や計画のもと研究を進め、最後に研究成果の発表を行う。具体的な方法、内容や日時などの研究の進め方については、研究室の教員と相談しながら決めること。</p> <p>このような実際の研究プロセスを体験することにより、研究のノウハウを学んでいく入門コースである。</p> <p>授業内容や研究テーマの詳細については、ホームページ (http://www.oshimalab.iis.u-tokyo.ac.jp/UROP/) を参照のこと。</p> <p>※履修人数を20名に制限する。 ※開講場所：生産技術研究所 ※ガイダンスは、10月2日（水）および10月7日（月）の2日間、12時20分よりオンラインにて行う。2回とも同一内容で実施。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>日頃の研究への取り組み、報告書、および研究発表により、成績を評価する。</p> <p>授業中に指示をする。／Will specify at class time 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51420	A	スポーツ自主分析科学 研究実践	佐々木 一茂、 秋山 英文	スポーツ先端科学連 携研究機構	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>東京大学スポーツ先端科学連携研究機構＝UTSSIにて、2024年度から新たに、「スポーツ自主分析科学研究」をテーマとする全学ゼミを開講しています。前期Sセメスターに「スポーツ自主分析科学研究入門」（1単位）を開講したの続き、後期Aセメスターに「スポーツ自主分析科学研究実践」（1単位）を開講します。</p> <p>担当教員は、総合文化研究科の佐々木一茂、工藤和俊、中澤公孝、教育学研究科の野崎大地、物性研究所の秋山英文です。</p> <p>この全学ゼミは、スポーツを題材に、データ計測・解析・統計処理など科学的ツールを含めた分析を行い、自主的な研究を実践し体得する企画です。運動部などで選手としてスポーツをやっている学生、アナリストとしてデータ分析を行っている学生、その他、同好会・地域クラブ・趣味などでスポーツの上達や分析に興味をもつ一般の学生に、研究を試行してもらうためものです。UTSSIの教員がガイダンスやアドバイスをを行います。</p> <p>大学は、学問の中心たる場所です。「学問」は、人類がこれまでに得てきた知識や方法を、体系的に整理しつつ積み上げたものです。「研究」は、先人がまだ答えを得ていない未解決の問題を解き明かす活動です。研究の積み上げにより、学問領域は常に発展しています。現在までに積み上げられた学問を「勉強」「学習」することは重要ですが、単にそれを行っているだけでは、研究にはなりません。研究は、もっと能動的で創造的な活動です。未解明の問題に着目し、深く興味を持ち、解決の手段を自分で見つけ、あるいは新たに創り出し、正解にたどり着く活動が、研究です。</p> <p>論語の中に、「子曰く、学びて思わざれば則ち罔し（くらし）、思いて学ばざれば則ち殆し（あやうし）」という一節があります。学習と研究の両者の重要性を説いています。勉強が中心の高校生とは異なり、大学生には研究とその魅力を是非知って欲しいです。</p> <p>社会人の多くも広義には研究をしています。新しい味を生み出そうとする料理人、新しい販路を開拓しようとする営業職、新製品や新サービスを開発したい技術者など、いくらでも例示できます。東京大学の学生は、既にかんがりの勉強や学習を経験し、それらに長けている人も多いためです。一方で、研究は殆ど未経験でしょう。大学生が、早く研究に接してその面白さを感じ、学部卒業時には社会や大学院で本格的な研究を開始できるようになって欲しいと、大学教員たちは強く願っています。</p> <p>スポーツに真剣に取り組む選手たちは、殆ど皆、日々強い意欲を持って、自分の技量向上の糸口を探し、課題克服の試行錯誤を重ね、上達に努めています。いわば、自分自身の技量能力向上をテーマにした研究をしているわけです。研究は、一見、難しいもののように感じますが、実は、スポーツ選手にとっては身近な活動です。指導者・先輩・教本などに習うのが勉強や学習であり、自分で考えて試行錯誤を繰り返して上達の道を切り拓くのが研究でしょう。</p> <p>研究においては、対象となるテーマに強い興味・好奇心など動機を持つことが重要なポイントです。「三度の飯より××が好き」という表現がありますが、××は野球、サッカー、ゴルフなどかもしれません。スポーツ選手やスポーツ好きな人は、既に、研究テーマに恵まれているのです。あとは、研究のスキルを身につければ、面白い有意義な研究ができ、自分の上達も達成できるのではないかと思います。</p> <p>大学で学問として行う研究では、論理性や客観性が重要で、「科学」のアプローチを用います。この全学ゼミでも、各人が興味をもつスポーツのテーマに対して、計測、データ、統計、分析、計算、シミュレーション、数学、物理など、様々な学問の科学的な知識や方法を活用して、研究を試みたいと思います。</p> <p>例えば、 ・新しい計測技術を使って自分や友人のデータを取る。</p>					

- 取得したデータに対して、自分の視点からの分析・統計処理を加え、考察する
- ボールや用具や体の動きをモデル化し、シミュレーションし、機構を理解する
- 自分で練習法や練習器具をつくり、データを取り、効果を検証する
- 他者が出しているデータ・動画・解説・論文などを調査し、自分なりに整理・体系化する
- 上記の組合せ

などが想定されます。より具体的な例は、ゼミの中で議論したいと思います。

以上のような趣旨で、このゼミの標題を「スポーツ自主分析科学研究」とし、前期 S セメスターに「入門」(1 単位)を開講し、後期 A セメスターに「実践」(1 単位)を開講します。

前期 S セメスターの「入門」では、まず、担当教員が、スポーツの自主分析を科学的に行う研究の例や手法の紹介・指導などを行いました。それらを参考にして、学生自身に、研究テーマや進め方を立案してもらいました。個人単位でもグループ単位でもよく、自分(たち)の興味あるスポーツ関連の課題についてどんな研究を行いたいのか、さらに、どんなデータの収集や分析、シミュレーション、調査など、科学的なアプローチを使って研究を進めるかなどの具体的な計画を立案してもらいました。8 月に発表の場を設け、研究テーマの立案ができた学生やグループにはそれを発表してもらい、皆で討論をしました。

後期 A セメスターの「実践」では、次のようにゼミを進めます。

既に、前期 S セメスターの「入門」のゼミに参加するなどして、研究テーマの立案が済んでいる学生やグループには、自分(たち)で決めたスポーツ科学のテーマで、学生自身に研究を実施してもらいます。もし、面白い研究が進んだ場合には、スライドを用いた発表のみではなく、成果をレポート、公表記事、論文などにまとめることも目指します。一方、中間時点で上手く研究が進まない学生には、適宜、担当教員が状況を聞きアドバイスを行います。研究は、必ずうまくゆくとは限りません。むしろ、順調に進まないことの方が多いです。順調に進まないときでも、その記録を残し、その状況を発表したりレポートにまとめることは極めて重要です。皆で、その発表を聞き、レポートに目を通し、議論することで、新展開が生まれ膠着状態を脱出できることが良くあります。このようにして、学生に身近なスポーツのテーマで「研究」というものを体験してもらおうことがゼミの目標です。

前期 S セメスターの「入門」のゼミには参加せずに、初めて後期 A セメスターのゼミに参加する学生もいると思います。そのような学生には、「入門」の内容を実施してもらいます。すなわち、担当教員が、スポーツの自主分析を科学的に行う研究の例や手法の紹介・指導などを行い、それらを参考にして、学生自身に、研究テーマや進め方を立案してもらいます。

授業は、集中講義形式で、スポーツ科学の自主分析科学研究の参考になる講義と、学生の間接報告および議論を 5 回ほど行います。最後に、学生の最終発表の場を設けます。期間中、要望に応じて質問や相談に応えるための機会もオンラインで設けます。

授業計画

10/4 金曜日 @zoom 6 限 (19:00-20:30) ガイダンス

10/11 金曜日 @対面(駒場Iキャンパス 12 号館 1212 教室) 6 限 授業+学生中間報告

10/18 金曜日 @対面(駒場Iキャンパス 12 号館 1212 教室) 6 限 授業+学生中間報告

10/25 金曜日 @対面(駒場Iキャンパス 12 号館 1212 教室) 6 限 授業+学生中間報告

11/1 金曜日 @対面(駒場Iキャンパス 12 号館 1212 教室) 6 限 授業+学生中間報告

11/8 金曜日 @対面(駒場Iキャンパス 12 号館 1212 教室) 6 限 授業+学生中間報告

12/20 金曜日 @対面(駒場Iキャンパス 12 号館 1212 教室) 6 限 発表会

12/27 金曜日 @対面(駒場Iキャンパス 12 号館 1212 教室) もしくは zoom 6 限 予備日

講師：佐々木一茂、仮題：挙上速度を測りながら行う筋力トレーニング (VBT) について

講師：工藤和俊、仮題：運動技術の上達過程

講師：野崎大地、仮題：身体動作における効率的な反力の利用

講師：秋山英文、仮題：駒場 FUSION と自宅でのゴルフ自主分析科学研究の企画

講師：中澤公孝、仮題：野球の神経科学的アプローチ

初回ガイダンスを、オンラインで実施し、2 回目以降は、集中講義形式で、対面で実施する

上記授業予定に加えて、質問や相談に応えるための機会をオンラインで設ける

ガイダンスや授業・質問のためのオンライン(zoom)接続の URL や連絡事項は、この全学ゼミの UTOL で通知する。

補助的に、オンライン参加や、録画視聴が出来るようにする (予定)。

発表会での発表、レポート提出により、評価する。授業を聞くのみでは、単位は出ない。

教科書は使用しない。/ Will not use textbook

ガイダンス 特定日に行う。/ Will conduct guidance at another time

成績評価方法

教科書

ガイダンス

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51430	A	ブランドデザインスタジオ 30 「志を育む」を ブランドデザインする	真船 文隆、 山上 揚平	教養教育高度化機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要 <ul style="list-style-type: none"> ●プログラムについて <p>※参加者同士で交流・対話しながら進めるワークショップ形式の授業となります。 『正解のない問いに、共に挑む』特別教育プログラムです。参加者の皆さんが今後、広く社会一般で活用し得る「共創」の手法を、「21 KOMCEE（理想の教育棟）」を舞台に、東京大学×博報堂研究デザインセンターのコラボレーションにより学んでいただきます。現役の広告会社社員、ブランド・コンサルタントがプログラム・デザインおよびファシリテーションを担当します。参加者でプロジェクトチームを結成し、チームでテーマに関するリサーチや分析、アイデア発想、プレゼンテーション制作を行ってもらうことを予定しています。</p> <p>【URL】 http://www.bdstudio.komex.c.u-tokyo.ac.jp/</p> ●テーマについて <p>今期のテーマは、『「志を育む」をブランドデザインする』。 皆さんは、いつから「志」や「夢」を意識しましたか？幼いころから「将来の夢」を聞かれ、大学受験や進路選択では様々な学問分野に戸惑いながら、自身の進路を悩んだ人も多いのではないのでしょうか。 近年では小学生ごろから「夢ノート」を作り、早くから子供たちに「夢」を語らせる教育が広まっています。また中高生からは「キャリア教育」として、職場体験などの体験型授業も行われるようになり、まだ見ぬ自分の将来を考える機会はますます増えていると言えそうです。 また就活活動においても、「自己分析」が非常に重要視されるようになってきました。この自己分析では過去の実績（いわゆる「ガクチカ」）だけではなく、応募者の個性や志望動機、将来のビジョンが含まれます。自分はどんな人間で、その企業に入って何を取り組みたいか、またどんな社員になりたいのかなど、応募者の「志」を重視する企業は増え、大学生のみなさんは、自分の将来に主体的に向き合うことを求められています。 さらには個人だけではなく、組織や社会においても「志」を提示することが求められるようになってきました。企業活動では、自社の活動が何を目指しているのかという「パーパス」や「ミッション」を大きく掲げる経営手法が増えています。また社会においても、SDGsのように目指すべきゴールを共有し、活動をともにすることを求める動きも活発になってきました。 しかし、このような「志を尊重する」風潮は、心地よいだけでしょうか。技術の発展や社会の変化によって、今ある職業が脅かされ、新しい職業が数多く生まれる中で、従来の「よい大学を出て、就職して…」というような「基本」とされる人生のルールは崩れ始めました。また、憧れの存在であるロールモデルも多様化し、一つの明確な目標を示せなくなっています。確実な未来も憧れも見通せない現代において、それでも自分の未来を全て自分で決めなければならないという「重圧」に疲れる人も増え、「ドリームハラスメント」という言葉も聞かれるようになりました。 「志」や「夢」を持つのは、素晴らしいこと。しかし一方で、この理想に苦しむ人もいます。 個人や組織への「志」や「夢」への期待と疲弊が共存する今、参加者のみなさんには、この概念を改めて深く考えていただきたいと思います。そして、その探求をもとに、「志を育む」をテーマにした製品やサービスを具体的に構想いただき、人々を幸せにできる新しい「ブランド」として提案していただきたいと思います。 詳しくは10月3日（木）17:30～開催されるガイダンス兼体験ワークショップで説明しますので、ご関心を持っていただけた方はぜひご参加ください。</p> 							
成績評価方法 全ての授業への参加を前提に、個人ワークの提出内容、グループワークへの貢献、最終プレゼンテーション内容により評価します。							
教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook							
ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51437	A	刑務所×（架ける）：障害を持つ 出所者の社会復帰を考える	山岡 あゆち	教養教育高度化機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>授業の概要：現在、刑務所出所者の社会復帰が大きな社会課題になっている。現在の刑務所の実情と課題を学んだうえで、特に障害を持つ出所者の実情と課題について学び、様々な立場の人とどのような社会復帰の在り方があるかを考える。受刑者における障害を有している者の割合の高さについても重要な課題の一つである。社会復帰の際、社会がどのように関わっていくかということや地域住民の視点、コミュニティにできることという観点から考え、政策立案の形のワークショップを実施する。本講義は集中講義であり、千葉県内、東京都23区外の矯正施設の見学も含めた複数日にわたる集中講義である。</p> <p>授業の目的：障害を有する受刑者の社会復帰というテーマを中心にとりあげる。受刑者の一定数に障害を有する者がいるという実情について社会構造の観点からも考察し、今後の社会復帰に向けた働きかけに社会が何ができるかを考える。刑事司法制度の課題について実際に支援に携わるゲスト講師の講話や対話をもとに考える。ゲスト講師として刑事司法、司法福祉などに携わる実践家を中心に、問題を知り、考える。実際に福祉の取り組みを拡充させている府中市の府中刑務所、市原市の市原青年矯正センターについて施設参観も行う。その上で、ゲスト講師と共に政策立案ワークショップを行う。政策立案ワークショップではロジックモデルの考え方を軸として、課題を整理して、自分たちの考える解決策を立案していくことを体験する。</p>						
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への出席・議論への参加 ・見学前課題 ・リアクションペーパー 						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51440	A	企画の研究所 — ころと社会 を動かすコミュニケーション —	桑田 光平	教養教育高度化機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>この講座は、人の気持ちの動かし方を考える研究を行います。 人の気持ちが動くとき、社会は動く。そのスイッチを探していきたい。 ころを動かすコミュニケーションを実践してきた電通のクリエイティブと 東京大学が手を組んで、あたらしい企画の研究所を立ち上げます。 さて。 みなさんが、将来やりたいことは何でしょうか。 社会のためになることをやりたい。 あたらしい体験を生み出したい。 研究で多くの人を救いたい。サービスを立ち上げたい。 人の数だけやりたいことはあるのかもしれませんが。 これらには共通項があります。 それは、「人のころを動かす」ということ。 気持ちが動かないと、人は動きません。 サービスを受ける人は何に喜ぶのか。 社会のための行動は、どんな気持ちを動かすべきなのか (説教くさいと動かなかったりしますよね)。 AIが発達し、人間性への回帰が重視される中、 人の気持ちへの向き合いは、より重要になっていくはず。 私たちは、長年にわたって人の気持ちをさまざまな表現手法で動かしてきました。 映像、言葉、体験、空間、ビジュアルなどジャンルは多岐にわたります。 その中心にあるのが「企画」です。 人の気持ちを考えて、動かすためのアイデアと手段。 それが、「企画」という技能。 たとえば、ゴミ拾いをしようと言っても動かない人でも 「ルールがあるゴミ拾いの競争という企画」にしたら動くかもしれません。 これからの世界において、「企画」はより重要になっていくと考えています。 それは、ビジネスでも表現でも生活でも生きる力になります。 しかし、人の気持ちを動かす「企画」は属人的であり体系化されていません。 そこで、このプロジェクトでは「企画」にもう一度向き合います。 人の気持ちとは何なのか。 どういう時に動くのか。 動かすための表現にはどんな技術があるのか。 映画、漫画、音楽、ファッション、落語、短歌。 人の気持ちを動かすものは何を内包しているのか。 目指すのは、誰もが「企画」を力にする社会。 この無謀なプロジェクトの1期生となるあなたとの出会いを、楽しみにしています。 ■進め方について 各回テーマを持ちながらも、大きく4つの力を鍛えていきたいと考えております。 見る力：課題を見つける。表現を見る。世界を見る目の解像度を上げる。 分析する力：伝え方を収集する。人の気持ちが動く瞬間を収集する。類型化して一般的な手法にしていく。 表現する力：人の心を動かす企画をする。それに伴う表現方法を学ぶ。 実践する力：実際のクライアント（予定）を巻き込んで、上記の研究を実践する。 このどれもが、社会人、表現者の基礎体力となるような力となるのは間違いありません。 研究のみならず表現・実践まで落とし込んでいくことが、本授業の醍醐味となるはずです。 全ての授業への参加を前提に、個人ワークの提出内容、グループワークへの貢献、プレゼンテーションの内容により評価します。</p>						
成績評価方法	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>						
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51441	A	生活誌聞き書きフィールドワーク実習@高知	白 佐立	教養教育高度化機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>【講義概要・内容】 高知の職人や日曜市の経営者たちのライフストーリーとものづくりや商売の思考についての聞き取りを行ってもらおうほか、日常生活に密着してもらうことを通して、ブランディング計画を作成してもらおうとともに、ルポルタージュを執筆してもらおう。 高知はとても不思議な場所だ。経済的な統計から見れば決して上位の地域ではない。人によっては「なにもない」田舎だと思うだろう。 だが現地に行くと、この「なにもない田舎」にしかないこと、もの、人にたくさん出会う。毎週日曜日に開催される定期市は300年以上続いており、約300店舗が出店する。前日に収穫した農産物や加工食品が並び、市を訪ねる客でいつでもごった返している。港の近くにある海産物加工場の小さな販売所には、そこでしか手に入らない、数時間前に水揚げしたばかりのドロメが並び、山の上の小さな工房では、炭とかまどで手間のかかる方法にこだわり、1日に70丁しかできない豆腐を作り続ける。高知県内でしか展開しない飲食店は、各店舗が固有のコンセプトを持ち、そのコンセプトに沿った個性的なインテリアで、ゆったりとした環境で美味しい食事をゆっくり楽しめる。海辺に並び、真夏の日中には気温80度にのぼるビニールハウスの中で、優しくも鋭いまなざしで塩と向き合う塩杜氏が作った塩は、塩なのに甘い。 高知でしか出会えられないこと、もの、人にはエネルギーに溢れている。このエネルギーの正体はいったいなんなのだろう。このようなエネルギーを築きあげる人びとは、どのような人生を過ごしてきただろう。どのようにして現在の生活の営みが可能になったのだろう。 本研修は高知の人びとの声に耳を傾け、「普通」の人の日々の生活を観察・考察する。そこで得られる声と生活の断片に基づき、①ブランディング計画を考案し（チームワーク）、②ルポルタージュを執筆する（個人作業）。</p> <p>【開講・作業期間】 ・履修者はガイダンス、事前講義（対面講義）、フィールドワーク（2回）に参加することおよびフィールドワークの内容を作品化するものの提出が単位取得の必須条件となる。 ・開講期間は①2024年11月下旬に4日間と②2025年2月中旬に5日間、2回にわたり計9日間のフィールドワークを行う。 ・1回目にフィールドワークには南京大学からの短期留学生も参加し、本学の履修生と共に活動することとなる。 ・事前講義、フィールドワークなどの詳細日程はガイダンスで説明する。</p> <p>【ガイダンス】 ・日時：2024年10月9日（水）12：20～12：50 ・場所：国際教育研究棟（KIBER）314教室 *受講人数：10～15名程度。履修希望者が多い場合はレポートによる選抜を実施する。 *授業計画・方法：ガイダンス時に説明する。 *駒場キャンパスから現地までの往復交通費、現地での宿泊費の一部は大学により負担することがある。参加費用に関してはガイダンスで説明する。 *講義に関する最新情報はLAPウェブサイト参照すること。問い合わせも、LAPウェブサイトの問い合わせ欄から行うこと。 http://www.lap.c.u-tokyo.ac.jp/ja/(http://www.lap.c.u-tokyo.ac.jp/ja/)(http://www.lap.c.u-tokyo.ac.jp/ja/)(http://www.lap.c.u-tokyo.ac.jp/ja/)</p> <p>【注意】 この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。 ・履修者はガイダンス、事前講義（日時未定）、フィールドワーク（2回）に参加することが単位取得の必須条件となる ・フィールドワーク、ディスカッションへの参加態度 ・フィールドワークの内容を作品化するものの提出</p>						
成績評価方法	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time						
教科書 ガイダンス							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51442	A	生活誌聞き書き フィールドワーク実習@南京	白 佐立	教養教育高度化機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>本研修は南京現地で生身の人々の声を聞き、それを書き留めるためのフィールドワークである。本研修では、南京大学の学生と共に南京で生活する人びとの声に耳を傾け、「普通」の人びとの日々の生活を観察・考察することを通して、個々人のリアリティーに接近することを目指す。そして、南京での見聞を文章化することで、現地では出会った人びとの生活誌聞き書きを作成する。</p> <p>これまでの研修では、担当教員が研修内容、方法、スケジュールなどを指定してきたが、今年度はフィールドワークの思考、心構え、必要な技術だけではなく、履修者の企画力も総体的に鍛えることを目的とし、フィールドワークの内容やスケジュールの組み立ては担当教員とのチュートリアルを通して立案してもらう予定。</p> <p>現地への派遣期間は2024年3月中旬～下旬の約1週間とするが、事前に必ずフィールドワークをともに行う南京大生とオンライン形式でフィールドワークの内容を協議すること。また、フィールドワークは南京大学国際処・教務処の協力のもと実施する。</p> <p>【開講・作業期間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履修者はガイダンス、事前講義（対面）、事前討論（オンライン）南京現地で研修に参加することおよびフィールドワークの内容を作品化するものの提出が単位取得の必須条件となる。 ・派遣期間：2025年3月中旬～下旬の8日間 ・事前講義、フィールドワークなどの詳細日程はガイダンスで説明する。 ・研修実施場所：南京大学および南京市内 <p>【ガイダンス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：2024年10月9日（水）17：30～18：00 ・場所：国際教育研究棟（KIBER）314教室 <p>* 受講人数：10～15名程度。履修希望者が多い場合はレポートによる選抜を実施する。 * 授業計画・方法：ガイダンス時に説明する。 * 駒場キャンパスから現地までの往復交通費、現地での活動費の一部は大学により負担する。参加費用に関してはガイダンスで説明する。 * 講義に関する最新情報はLAPウェブサイト参照すること。問い合わせも、LAPウェブサイトの問い合わせ欄から行うこと。</p> <p>http://www.lap.c.u-tokyo.ac.jp/ja/</p> <p>【注意】</p> <p>この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。</p>						
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・履修者はガイダンス、事前講義（日時未定）、フィールドワーク（2回）に参加することが単位取得の必須条件となる ・フィールドワーク、ディスカッションへの参加態度 ・フィールドワークの内容を作品化するものの提出 						
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts						
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51447	A	海のアジア 2024 東南アジアと付き合う	山口 健介	公共政策大学院	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>☆受講希望者はガイダンス（オンラインにて実施予定）へご参加ください。（詳しくは下記「履修上の注意」項を参照）</p> <p>日本と東南アジアは、古くから海を通じた交流が行われてきました。昨年には日 ASEAN 友好協力 50 周年を迎え、「自由で開かれたインド太平洋」という言葉の下、日本、そして世界各国で、ASEAN 地域の重要性が意識されています。その背景には、米中対立の深まりといった外交情勢の大きな変化があります。</p> <p>東南アジア地域の特徴を一言で言い表すと、「多様性」です。宗教、言語、政治、経済、外交姿勢など、実に様々です。ただ歴史を紐解くと、外の世界の影響－イスラーム商人や華僑の流入、欧米による植民地化、日本による占領統治、近年では中国の進出－を大きく受けつつも、世界の変化や大国の介入に対して「したたか」に応じてきたという共通項も見出せます。</p> <p>本講義の目的は、大きく分けて二つあります。一つ目は、この地域の歴史を振り返り、今日の東南アジア地域の動きについて、その背景や源流にあるものを理解することです。二つ目はその理解を通じて受講生がそれぞれ、日本、そして自分と東南アジアのつきあい方について考察することです。</p> <p>本講義では、全7回の授業とは別に、セミナーを月1・2回ほどの頻度で開催します。セミナーでは、東南アジア諸国の大使経験者や新聞記者をはじめ、ASEAN 地域に深く関与されている方をお呼びする予定です（下記を参照）。また、A セメスター終了後の春休みには、参加任意でエクスカッションを実施する予定です。</p> <p>【現時点で決定しているセミナー（開催順）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新田祐一氏（日本経済新聞記者／東南アジア・ミャンマー情勢に詳しい） ・河合正男氏（元駐ノルウェー・ブルネイ大使） <p>* その他セミナー講師は受講生と相談の上で、決めます。</p> <p>【（参考）これまでに開催した主なセミナー・エクスカッション】</p> <p>（セミナー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中村亮氏（外務省南部アジア部長） ・Ong Eng Chaun 氏（駐日シンガポール大使） ・その他、防衛省、商船三井安全運航支援センター、国際金融公社東京事務所への訪問を実施。 <p>（エクスカッション）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022 年度：広島県江田島の海上保安庁関連施設への訪問 ・2023 年度：マレーシア・インドネシアでの現地研修（現地の海上交通の様子の視察や、マレーシアの大学への訪問を実施） 					
成績評価方法		1) 授業への出席（エクスカッションやセミナー参加は任意です。）、2) グループによる最終発表、3) 希望者は個別レポート提出を認めます。					
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 岩崎育夫 入門 東南アジア近現代史 講談社					
ガイダンス		特定日に行う。／Will conduct guidance at another time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51452	A 1	The Value of Language - From Multilingualism to Technology (言語の価値 - 多言語主義か ら技術まで)	HAUTASAARI ARI MARKKU JUHANI	工学部	月 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>This seminar explores how language and language use creates and enables the exchange of value in the global society from the historical perspective to the 21st century digital era. We begin with an introduction to the history and philosophy of language, discuss how language shapes the way we think and interact, and how verbal and non-verbal communication influence how we perceive ourselves and other actors in our daily lives. We will then look at the role of language in the creation of economic and societal value, as well as explore the role of technological innovations, including machine translation, automated speech recognition and the Internet in general, that enable and enhance value creation through mediating and transforming language use. This seminar will also introduce guest speakers from the field of language training and linguistics.</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは 10 月 2 日（水）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p>					
成績評価方法		Active participation / 出席・授業への積極的な参加 Final report / ファイナルレポート					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51458	A 1	多元宇宙へようこ! The many worlds of quantum mechanics and the cosmos	MELIA THOMAS EDWARD	カブリ数物連携宇宙 研究機構	火 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		量子力学は、宇宙の最も深い理論を支えています。シュレーディンガー方程式は、私たちがこれまで書き留めてきた他のすべての科学方程式や世界モデルを生み出す役割を果たしています。しかし、この方程式の解釈は驚くべきものです。私たちは多元宇宙に住んでいます! 量子的な出来事が起こるたびに、宇宙は分裂します。多くの教科書がそれを避けるために余分な公理を導入しているという事実にもかかわらず、この解釈には実際のところ議論の余地はありません。このコースの目的は、1) 宇宙論と基礎物理学の研究の最前線で量子論がどのように使用されているかを紹介すること、2) 多元宇宙の概念を紹介すること、そして教科書の量子公理がどのようにそれに従うかを紹介することです。					
成績評価方法		Evaluation by open-ended questions posted online after the lectures, and through evaluation of engagement in group discussion work in class					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。/ Will not use textbook 特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51461	A 1	「グローバル人材」とは何か What is a "global personnel"?	宮崎 彩	教養教育高度化機構	火 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>東京大学だけでなく日本の高等教育の現場では、グローバル社会に対応できるいわゆる「グローバル人材」の養成が求められています。しかし、「グローバル人材」というのはどのような人を指すのでしょうか？</p> <p>大学教育はそのような人材を輩出できるような教育の場を提供しているといえるのでしょうか？</p> <p>東京大学ではこれまで「グローバル人材」を育成するための様々なアプローチが取られてきました。2010～2014年度にかけては、教養学部附属教養教育高度化機構により、『グローバル時代をどう生きるか：プロフェッショナルが語る新たな可能性』というオムニバス講義が実施され、世界で活躍する先輩方をお迎えしてきました。また、東大憲章のうたう「世界的視野を持った市民的エリート」や、アドミッションポリシーでいうような「自国の歴史や文化に深い理解を示すとともに、国際的な広い視野をもち、高度な専門知識を基盤に、問題を発見し、解決する意欲と能力を備え、市民としての公共的な責任を引き受けながら、強靱な開拓者精神を発揮して、自ら考え、行動できる人材」を輩出すべく、東大の仕組みの中に留学やインターンシップ、ボランティアなど多様な海外経験を積む機会が増えています。</p> <p>しかしながら、このアプローチはとても日本的と言えます。例えば、英語には「グローバル人材」を直接的に訳した言葉が存在しません。Global talent や globally minded/competent human resources, global leaders, expatriates などが近い言葉ですが、その意味するところはグローバルな視点、異文化コミュニケーション能力、適応力、学ぶ力、外国文化を尊重する力を有しているか、という点にフォーカスしています。</p> <p>学生として大学に所属する皆さんは、果たしてどのようなグローバル人材を目指していきたいのでしょうか。そもそもどのような人を「グローバル」であると想像しますか？そして、そのような「グローバル人材」になるためには、どのような要素、ツール、経験が必要でしょうか？</p> <p>本全学自由研究ゼミナールでは、これらの視点に立ちながら、21世紀に求められるグローバル人材の姿を考え、学生による新たな定義を打ち出すことを目標としています。世界で活躍する/してきた若手、OB の先輩方をゲストにお呼びし、様々な分野で国境という枠組みを超えてそれぞれの道を切り拓いてきた方たちとのディスカッションを通して、グローバル人材とは何かに正面から向き合います。</p> <p>到達目的： 国境を越えて道を切り拓いてきた先輩やそのような人々を輩出しようとする既存の施策などから、いわゆる「グローバル人材」として求められるファクター（ツール、マインドセット、スキル、経験など）を学び、構造化することを目的とします。そのうえで、国内外の社会問題・情勢に対応するために必要なファクターを言語化し、学生による「グローバル人材」の新たな定義を作成します。</p> <p>到達目標： 1：グローバル人材に求められている諸要素・条件などを知り、批判的に分析できる。 2：すでに世界で活躍する人々との対話を通じて、グローバル人材に求められるファクターを抽出し、定義を考える。 3：グローバル人材を育成するために求められるファクターと、それを獲得するために必要なツール・場などを考え、大学に提言する。</p>					
成績評価方法		25% 授業への参加状況 75% 課題の提出状況及び質的評価 内訳： 25% 授業メモの提出 25% グループプレゼンテーション 50% 最終「グローバル人材」定義作成・提出					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。/ Will not use textbook 特に行わない。/ Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51444	A 1	平和のために 東大生ができること I	岡田 晃枝	教養教育高度化機構	木 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		冷戦の終焉から 30 年経過した今、世界は再び核の脅威にさらされている。また、エネルギーや食料の価格高騰をはじめ、遠い国での戦争が我々の生活に大きく影響することを学生のみなさんも実感していることであろう。このゼミでは軍縮と平和について、感情論に陥らず、イデオロギー色をできるだけ排して、学び合い、語り合うことを目的とする。今学期は SDGs (持続可能な開発目標) の Goal16「平和と公正をすべての人に」を主なテーマにかかげ、中央アジア諸国を事例として、ソ連からの政治・経済・社会の移行期に生じた(あるいは生じている)さまざまな問題に加え、ウクライナ戦争の影響等の現在進行中の問題についても探求する。関連する文献を多数読むほか、映像資料なども利用する。なお、本授業は A2 ターム (集中) に実施予定の国際研修「平和のために東大生ができること：中央アジア研修」(渡航先はカザフスタンを予定) の準備授業を兼ねる。国際研修の履修希望者が定員を上回る場合はこの全学ゼミの平常点とレポートによってセレクションを行う。同国際研修を履修希望の学生はこの全学ゼミを必ず履修すること。国際研修に参加しない学生の全学ゼミ参加ももちろん歓迎する。					
成績評価方法		授業へのコミットメント (60%) とレポート (40%) によって評価する。					
教科書		教科書は使用しない。/ Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。/ Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51456	A 1	資本主義・イノベーション・ジェンダー・ メディアのフロンティア探求	山本 浩司	経済学部	金 4	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		本ゼミは現代世界を大きく左右する経済・科学・文化的事象について考え抜く思考力を鍛える機会を提供します。その際キーワードとして注目するのが、「資本主義・イノベーション・ジェンダー・メディア」です。受講者の皆さんには、世界を覆い尽くした資本主義、目覚ましい速度で開発応用される科学技術イノベーション、「社会」の構成要素を根底から問い直すジェンダー・フェミニズム論、そしてそれらを総括しようとする文化批評とメディア産業について、自分なりの分析視点を見つけ、意見を練り上げてもらいます。答えのない大きな問いに向き合うための素材・土台として使うのが、英米圏の書評記事やジャーナリズムです。特に、本ゼミでは、New York Review of Books や New Yorker など、定評の高い英文雑誌から記事を指定し、読解を行います。開講する教員は歴史的アプローチを専門とする研究者です。答えのない大きな問題に立ち向かうためのツールの一つとして、「歴史的思考」をしばしば使うことになるでしょう。受講者には、毎週チームに分かれ、指定の記事について特定の視点から発表をしてもらう予定です。授業時間中は、受講者の発表をベースにディスカッションを行います。授業時間の最後(もしくは授業後)に A4 で 1 枚程度のリアクションペーパーを提出してもらいます。授業外のグループワークを前提としますので、負担は決して軽くはないでしょう。しかし、文系理系の垣根を越えて最先端の英文記事と格闘しながら大きな問題に取り組む経験は、その後のキャリアや学びを考える上でも、替え難い機会となるはずです。知的好奇心旺盛な学生の受講を歓迎します。					
成績評価方法		プレゼンテーション・ディスカッションおよびリアクション・ペーパーをもとに評価を行います。					
教科書		授業中に指示をする。/ Will specify at class time					
ガイダンス		第一回授業日に行う。/ Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51460	A 1	パラスポーツから障がいと Diversity & Inclusion を考える	平松 竜司	スポーツ先端科学 連携研究機構	金 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		この夏開催されるパリ 2024 パラリンピックでは様々な障がいのある選手たちが人間の持つ大きな可能性を魅せてくれます。パラスポーツ(障がい者のスポーツ)は、誰もが個性や能力を発揮し活躍できる公正な機会が与えられている場といえます。一方、パラスポーツを様々な観点から紐解いていくと、障がいのある人々を取り巻く社会課題も見えてきます。本ゼミは東京大学スポーツ先端科学連携研究機構(UTSSI)の参画教員並びに日本パラスポーツ協会、パラスポーツへの取り組みを行う企業、地方自治体などによる講義や情報提供、パリパラリンピックに出場したアスリートなどとのパラスポーツの体験を通して、パラスポーツや障がいについて学び、接する機会を提供します。そして共生社会実現に向けたアプローチを考える題材として、障がいのあるなしに関わらず誰もが楽しめるスポーツイベントでの企画の立案をグループワークで行います。イベントは実際に開催予定のものを対象とします。また、希望者に対してはゼミ期間中に実施されるスポーツイベントへの参加機会を提供する予定です。これらを通して、多様性(Diversity)への理解を深め、共生社会の実現(Inclusion)に向け、我々自身も当事者であることを実感し、そして何ができるかを具体的に考えることを本ゼミの目標とします。					
成績評価方法		出席(30%)、発表会での発表(40%)、レポート(30%)により、評価する。					
教科書		教科書は使用しない。/ Will not use textbook					
ガイダンス		第一回授業日に行う。/ Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51457	A 1	新書で考える教育と社会	中村 高康	教育学部	月 1, 木 1	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	授業担当者の専門分野である教育社会学では、研究者たちによって学問的見識に基づく様々な社会発信が行なわれている。そうした社会発信の一つの手段である「新書」は初学者には格好のテキストとなる。そこでこのゼミナールでは、こうしたテキストを多数取り上げ、それに入門的な解説を加えつつ講読する。受講者全員で自由に議論を行うことで、学生諸君の教育と社会に関する知的好奇心喚起の一助となることを目指す。						
成績評価方法	成績は、授業参加度（報告+出席）が中心となるが、簡単なレポートを提出してもらうこともある。それらを総合的に評価する。						
教科書	その他。/Other						
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60234	A 2	核融合 -地上の太陽をめざして-	篠原 孝司	新領域創成科学 研究科	月 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	持続可能な社会の重要な基盤の一つが、持続可能なエネルギー源である。人類社会が数千年単位で持続することを考えた時、既存のエネルギー源は、その燃料や供給源の観点から十分とは言えない。水素を燃料とする核融合はこの問題を克服できる。核融合は太陽で起きている反応で、まさに地上に太陽のエッセンスを実現しようというプロジェクトとも言える。本講義では、この核融合がどのようなものであるのか、そして、その課題がどのようなもので、どのように研究が進められているのかを多角的に理解する。						
成績評価方法	レポート						
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook						
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60233	A 2	圏論的対称性入門	山崎 雅人	カブリ数物連携 宇宙研究機構	水 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	自然界の記述において対称性はしばしば重要な役割を果たしてきた。数学的には対称性は群 (group) で表現されるというのが長年の定説であったが、より一般的な数学の概念である圏 (category) により対称性を表現するという考え方が近年重要性を増してきており、現在でも毎日のように関連論文が出版されているほどである。本講義では、基礎事項から出発して、講義の参加者がこの分野における最新の発展に触れることを目標とする。これらの話題は通常は大学院生が勉強する話題であるが、本講義では学部 1-2 年生にも理解できるよう、専門的な知識はできるだけ必要としないように講義を行う予定である。						
成績評価方法	出席及び授業中に出席する問題についてのレポート問題で行う。						
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook						
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60241	A 2	平和のために東大生ができる こと II	岡田 晃枝	教養教育高度化機構	木 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	この授業は A2 ターム集中の国際研修「平和のために東大生ができること：中央アジア研修」の準備授業である。渡航先であるカザフスタン共和国の政治・経済・文化について知識を深めるとともに、カザフスタンで現地学生に向けて行うプレゼンテーションの土台作りのために、関連する日本の事情についても探求する。						
成績評価方法	授業へのコミットメントによって評価する。						
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook						
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60222	A 2	ワンパクなタンパク質を 科学する：実習編	片岡 直行、岩間 亮、奥田 傑、 小南 友里、宮永 顕正、 ブランパン 騰真、正木 聡、 田中 智、伯野 史彦、 伏信 進矢、新井 博之、 福田 良一、五十嵐 圭日子、 渡邊 壮一、後藤 康之、 永田 宏次、潮 秀樹	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>【注意】この授業は、農学部の実験室において対面で実験を行うため、履修者を対面授業に参加する学生に限定します。なお、COVID-19 禍により、対面実習が難しい場合には、開講できない可能性があることを了承願います。</p> <p>私たちの初年次ゼミナール理科「私たちの身近にあるワンパクなタンパク質を科学する」では、身近にある興味あるタンパク質を選び、性質を調べると同時に、その重要性を体験し、この経験をもとに、一般の人達にそのタンパク質の重要性を納得してもらおうツールを作ってきました。本講義は、その続編として、タンパク質やこれをコードする遺伝子を実際に扱ってみて、タンパク質とは何かを実体験することを目標としています。もちろん、私たちの担当した初年次ゼミナール理科の講義を履修していない学生さんの参加も歓迎します。</p>						
成績評価方法	出席と実習での活動で評価します。						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60223	A 2	伊豆に学ぶプラス A 初級編 「感じる・考える・行動する」 サイクルを回してみよう！	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>【注意】本ゼミは対面で実施します。リモート受講はできません。</p> <p>【注意】本ゼミを単独で受講することはできません。本自由研究ゼミは体験ゼミ「伊豆に学ぶ 自然の恵みを活かす技」に併設して実施するものです。体験ゼミとセットでお申し込みください。</p> <p>自由研究ゼミ「伊豆に学ぶプラス初級編」は、体験ゼミ「伊豆に学ぶ 自然の恵みを活かす技」の単なるオプションではありません。体験ゼミの学びを確かなものにするために、真剣に考え・顧みて、議論する時間を一緒に過ごすゼミです。「伊豆に学ぶ」体験を一層充実したものにして、大学で学ぶということについて考えるゼミです。なお、体験ゼミの夕食後に、この自由研究ゼミの時間を連日確保しています。体験ゼミと自由研究ゼミ、重複履修をお勧めします。</p> <p>①大学とは何であるかとちゃんと考えたことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生が学ぶ機関でしようという答えは、不正解ではありません。 ・専門的な考え方や技術を身につける場所という答えも然り。 ・友達を作るところという答えは、正解でないこともないと思います。 <p>②君たちは大学生になりましたが、日頃、真面目に議論する機会はあるでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議論しようなんて言うと、面倒くさがられるから、とても話を振れない ・言い争いは避けたいので、クラスメートやサークル仲間とは表面的な話ししかしない ・議論の中で自分を曝け出すと、そこへ土足で踏み込まれそうで怖い <p>「伊豆に学ぶプラス初級編」では大学における学びとは何であるのかということにしっかりと向き合います。社会を知り、社会との接点を考えることがとても重要だということは分かっているつもりだけど、ゆっくりと考える余裕がないと言う人も、自由研究ゼミ「伊豆に学ぶプラス初級編」では、忙しい日常生活から離れ、日中のアクティビティを振り返ることを重要なきっかけとして、自分自身の感覚や考え方と向き合うことができます。大学生同士の議論を通して、自分一人では気づくことができなかつたことを、お互いに補填し合う、そういう体験をしてみようことを一つの目的としています。</p> <p>自由研究ゼミ「伊豆に学ぶプラス初級編」は、学生の自由な議論を大切にします。まずは、議論するという土俵の上に、ほんの少しの勇気をもって上がってください。議論しやすい雰囲気作りを自由研究ゼミ「伊豆に学ぶプラス上級編」の学生が手伝ってくれるので、初めての方もしっかりと議論に加わることができます。不安や心配は無用です。伊豆ゼミのコミュニティが肌に合わないとお感じの場合は、その後関わらなければ良いだけです。失うものは何もありません。本ゼミの参加条件は2つあります。一つは真面目に議論する気持ちを持つこと、もう一つは真面目に議論している人を茶化さないことです。</p> <p>この二つはとても大切ですので、条件を満たさない場合は退場していただくことがあります。その点だけは、しっかりとお伝えしておきます。</p> <p>最近の若者を支配する「空気を読む」ことを強要するような雰囲気には、異を唱えたい。同じるばかりに気が行つては、自由にとことん議論して真に和するということがないのではないかと心配になります。和して同ぜず。色々な背景を背負った受講生同士が異なる意見を吐露し合い、むしろ意見が違っても大切に思っている根っこの部分が同じであったり共通性があったりすることに気付くこと、そういう仲間存在のありがたさを知る「学びの場」を具現化したいと考えています。受講生同士のつながりから、己と社会のつながりをいかに構築していくかを模索し、社会の一員として、どの様に社会と関りを結ぶのかをじっくりと考える機会としていただきたい。それは今後の大学生活をどの様に過ごすべきかを考える上で、とても重要なことになるはずで。</p> <p>学生が主体となり、自由な「学びの場」を実現すること、それがこれまで伊豆に学ぶシリーズが追求してきた共通理念です。総合大学ならではの学びの面白さを追求したいと考えています。</p>					
成績評価方法	積極的に活動に取り組む姿勢を最重視する。						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time						

全学体験ゼミナール

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51433	A	ミューオンを知ろう	松本 悠	教養教育高度化機構	月 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>ミューオン、あるいは素粒子と聞くと何やら難しい感じがするかもしれません。確かに、きちんと理論を勉強するには、基礎知識が必要です。しかし“素粒子”は、非常に身近な存在です。そこで、この授業では、理論的な背景はある程度割愛して（希望があれば説明します）、素粒子の種類や性質、相互作用といった観測事実を基に、どのように分類できるのかを自ら考え理解してもらいます。</p> <p>また、簡単な実験装置を使い、宇宙から飛来する素粒子、ミューオンを観測し、その実験結果から何が分かるか、考えてもらいます。ただ装置を使ってデータを解析するだけではなく、実験装置自体に改良を加えて、独自の観点から実験計画・実施し、検証をするという素粒子物理実験の、簡単な体験をしてもらいたいと思います。</p>					
成績評価方法		出席点を基本とします。その上に、題材への取組姿勢や、グループワークへの積極性、プレゼンテーションおよびレポートの内容を評価に加えます。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51418	A	ささえあいレシピ ～ピアサポートを知る&動く～	高野 明	相談支援研究開発 センター	火 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>ピアサポートとは、学生生活上で支援(援助)を必要としている学生に対し、仲間である学生同士で手助けを行う活動です。本学では、学生のみなさんの支え合いと自主的成長を促進するために、学生ボランティアのピアサポーターを組織し、学生による学生を支えるピアサポート活動を全学的に展開しています。</p> <p>この授業では、ピアサポートの理論と実践方法について体験的に学習し、相互扶助のキャンパスづくりに貢献できる知識とスキルを習得することを目標とします。授業は、ピアサポート活動に関わる教員による講義と実習、学生同士のディスカッションによって構成されます。受講者には、相互扶助のキャンパス作りに関する学習への積極的なコミットメントが求められます。</p> <p>なお、この授業を受講することで、ピアサポーター認定のための予備研修・総括講義を受けたことになり、登録後すぐに活動ができます。</p>					
成績評価方法		授業での発表や毎回授業で実施するレポート作成をもとに評価します。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51368	A	飛行ロボットを作って飛ばす	土屋 武司	工学部	水 5	2	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>飛行ロボットとは無人航空機（ドローン）である。室内で飛行する大きさ数 10cm～1m 程度、重量数 100g の飛行ロボットを自ら設計、製作し飛行させることを目標とする。小さくても飛行ロボットには航空工学の要素が詰まっており、講義、実習を通じてこれを理解する。</p> <p>※このゼミは 10 月 2 日（水）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。</p>					
成績評価方法		授業への参加、貢献度による。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51416	A	生命科学の最前線	深谷 雄志	定量生命科学研究所	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>定量生命科学研究所で行われている最先端の生命科学研究を「体験」することを目的として、様々な生物材料を使用した生命科学実験の実施や実験設備の見学を行う。これまで教科書を通して知識として学んできた「生命科学」が、実際にはどのような実験により、どのように見出されたきたのかを、研究の現場に足を運ぶという「生きた体験」を通じて実感してほしい。また、「研究者を目指したいが、研究室とはどのような雰囲気なのだろうか？」と不安を抱える学生にとっても、悩みを解消し、将来の進路などについて実際に研究者に相談できる機会を提供する。</p>					
成績評価方法		出席					
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51358	A	ロボット競技を体験しよう B	國吉 康夫	工学部	水 6	2	1年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>ロボット競技とは、決められたルールに従ってオリジナルのロボットを製作して競わせるものである。ルールを徹底的に分析し、討論して最適戦略と最適マシン仕様を策定し、機械工学、電子工学、情報工学、人工知能を学び、身につけ、協力して最強のマシンを設計・製作・改良・検証する。勝つためには、訴求力あるプレゼン資料の作成や、力を発揮する組織運営、あらゆる事象を想定した危機管理など、文系的能力も不可欠である。</p> <p>本ゼミでは、これらの総合的取り組みの様々な段階を実体験することで、一つの具体的目標に向けて、全員が徹底的に頭脳を振り絞り、創造力を発揮することで、総合的に人間力を高めることを狙う。</p> <p>専門的な知識は前提としない。文理問わず興味を持った人に来てもらいたい。</p> <p>本ゼミは1年S semesterのAから2年A semesterのDまでで構成される。Aに参加した学生には、基礎からの講義および実習を行い、基礎的な知識・技能の習得をまず達成する。その後、次学期以後の当ゼミに参加して発展的内容に取り組むことで学習効果が十分に得られるが、どうするかは本人の自由である。</p> <p>発展的内容を体験したい学生や、本格的なロボットの企画設計、製作等の活動を通じた「ものづくり」を体験したい場合は、「NHK 学生ロボコン」に参加するチーム「東京大学 RoboTech」の活動への参加も歓迎する。</p> <p>講義はオンラインおよび一部対面で実施予定である。現地での実施が可能な場合、実習は集中講義形式をとり、本郷で行う（土曜、日曜、長期休暇中に行う場合がある）。</p> <p>※関連 HP：https://tuk.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/</p>					
成績評価方法		講義及び実習への参加度合いにより、合格・不合格を判定する。					
教科書		各学生の得意分野を積極的に評価する。たとえば、文系の学生で機械加工等が得意でなくとも、論理的分析やプレゼン資料作成で評価するなど、多様性を重んじる。					
ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51359	A	ロボット競技を体験しよう D	國吉 康夫	工学部	水 6	2	2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>ロボット競技とは、決められたルールに従ってオリジナルのロボットを製作して競わせるものである。ルールを徹底的に分析し、討論して最適戦略と最適マシン仕様を策定し、機械工学、電子工学、情報工学、人工知能を学び、身につけ、協力して最強のマシンを設計・製作・改良・検証する。勝つためには、訴求力あるプレゼン資料の作成や、力を発揮する組織運営、あらゆる事象を想定した危機管理など、文系的能力も不可欠である。</p> <p>本ゼミでは、これらの総合的取り組みの様々な段階を実体験することで、一つの具体的目標に向けて、全員が徹底的に頭脳を振り絞り、創造力を発揮することで、総合的に人間力を高めることを狙う。</p> <p>専門的な知識は前提としない。文理問わず興味を持った人に来てもらいたい。</p> <p>本ゼミは1年S semesterのAから2年A semesterのDまでで構成される。Aに参加した学生には、基礎からの講義および実習を行い、基礎的な知識・技能の習得をまず達成する。その後、次学期以後の当ゼミに参加して発展的内容に取り組むことで学習効果が十分に得られるが、どうするかは本人の自由である。</p> <p>発展的内容を体験したい学生や、本格的なロボットの企画設計、製作等の活動を通じた「ものづくり」を体験したい場合は、「NHK 学生ロボコン」に参加するチーム「東京大学 RoboTech」の活動への参加も歓迎する。</p> <p>講義はオンラインおよび一部対面で実施予定である。現地での実施が可能な場合、実習は集中講義形式をとり、本郷で行う（土曜、日曜、長期休暇中に行う場合がある）。</p> <p>※関連 HP：https://tuk.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/</p>					
成績評価方法		講義及び実習への参加度合いにより、合格・不合格を判定する。					
教科書		各学生の得意分野を積極的に評価する。たとえば、文系の学生で機械加工等が得意でなくとも、論理的分析やプレゼン資料作成で評価するなど、多様性を重んじる。					
ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51387	A	電磁気学で使う数学	石毛 和弘、 清野 和彦	数理科学研究科	金 2	2	1年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>理系の1年生がAセメスターで学ぶ電磁気学では、物理的な量の関係がスカラー場やベクトル場という場(ば)というものの微積分によって表されます。ところが、場の微積分を数学の授業で学ぶのは2年生のSセメスターであり、さらに、その前提となる多変数関数の積分を学ぶのは1年生Aセメスターの微積分学の中盤になるのが普通です。そこで、このゼミナールでは多変数関数の積分と場の微積分について学びます。内容がかなり多いので、数学として何を言っているのかを説明するのが主で、証明はあまりしない予定です。必要なことは電磁気学の講義でも説明されるし、少し待てば数学の講義でも学ぶ内容なので、数学が気になって電磁気学の本当の内容に集中できない人や、数学が苦手で見たくもない数学の記号がでてきただけでめまいがして電磁気学どころではなくなってしまう、というような人を念頭において話を進める予定です。</p> <p>なお、電磁気学の物理学としての内容には一切触れません。電磁気学そのものの理解を深めようというものでないことにくれぐれも注意してください。また、このゼミで扱う数学はすべて電磁気学で使われますが、電磁気学の講義で使われるかどうかはそれぞれの電磁気学の授業の担当教員に依ります。その点も心に留めておいて下さい。</p>					
成績評価方法		<p>「授業の方法」に書いた毎回課す問題の答案で評価します。詳しいことは第1回の資料を参照して下さい。第1回の資料は9月27日(第1回の一週間前)までにUTOLにアップロードする予定です。</p>					
教科書 ガイダンス		<p>プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51385	A	じっくり学ぶ数学 II	石毛 和弘、 牛腸 徹	数理科学研究科	金 5	2	1年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>数学を学ぶ上で微積分学と線型代数学は最も基本的なものです。そこで、Sセメスターの「じっくり学ぶ数学 I」に引き続き、論理的な順番には余りこだわらずに、微積分学や線型代数学における基本的な考え方を順番に取り上げて、何をどう考えているのかとか、何がアイデアなのかということになるべくはっきりした形で説明してみようと思います。それにより、正規の数学の講義と合わせて、皆さんにより良く微積分学や線型代数学を身につけていただく助けになればと考えています。</p> <p>一応、ゼミは講義形式で行おうと考えていますが、時間の余裕のある方には演習問題を解いて頂く時間を取りたいと思っています。また、文系の方でも十分理解していただけるのではないかと思いますので、文系、理系を問わず、興味のある方でしたらどなたでも歓迎します。</p> <p>※授業登録はできませんが、もう一度、数学をじっくり学び直したいと思われる2年生の参加も歓迎します。</p>					
成績評価方法		<p>問題を解いたノート提出</p>					
教科書 ガイダンス		<p>プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51422	A	囲碁で養う考える力	森畑 明昌	教養教育高度化機構	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>囲碁は、古い歴史を持つ日本の伝統文化であるばかりでなく、国際的にも広く普及し親しまれている頭脳のスポーツである。本ゼミナールでは、囲碁のルールを学び、お互いの実戦を通じて、判断力、分析力、洞察力、集中力などを養う。指導に際しては日本棋院の全面的な協力を得る。囲碁は初めての人を対象として、基本のルールから教える。</p> <p>第1回にオンラインでガイダンスを行い、履修希望調査(ITC-LMSで提出)をふまえ受講者「40名」を決定する。</p> <p>※受講可能人数は40名 ※受講者は囲碁の未経験者・初心者に限る ※ガイダンスはオンラインで、セレクション後の講義は対面で行う。オンラインでの参加はできない。</p>					
成績評価方法		<p>講義への参加状況をもとに合否を判定する。</p>					
教科書 ガイダンス		<p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 石倉昇・梅沢由香里・黒瀧正憲・兵頭俊夫 東大教養囲碁講座 -ゼロからわかりやすく 光文社(新書) 978-4334034108 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51434	A	科学教育の実践 ～物理の実験教室～	松本 悠	教養教育高度化機構	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>皆さんは、教える側に立ったことがあるでしょうか？友達に授業でわからないところを教えた、弟や妹の勉強を見てあげた、あるいは親にパソコンの使い方を教えてあげた、など色々あると思います。これらは知識や技術をピンポイントに効率よく伝えられますね。家庭教師や塾講師で授業した場合は？じっくり時間をかけて問題の解き方や考え方を教えられますね。ではさらに、最近増えてきた「実験教室」では、何を教えられる（伝えられる）でしょうか？「実験教室」ならではの、伝える内容・深さ・効率（効果）があります。それを議論し、目的を達成できそうな教材開発・授業計画を行い、実践し、検証するのがこの授業の目標です。</p> <p>「実験教室」の内容は、基本的に物理系です。実践の場は、埼玉県のとある地域の一般市民向け実験教室で、対象は小学生、日時は10月、12月、1月の日曜です。必須ではありませんが、極力1回は参加するようにしてください。詳細は授業でお話します。</p> <p>サークルでも「実験教室」活動を精力的に行っているところもあり、実験教室で教える側に立った方もいるかと思います。それぞれの活動場所で、それぞれの目的があると思いますが、皆さんの知見を合わせ、さまざまな視点から実験教室を組み立てていきたいと思えます。</p>					
成績評価方法		出席点を基本とします。その上に、題材への取組姿勢や、グループワークへの積極性、プレゼンテーションおよびレポートの内容を評価に加えます。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51360	A	フォーミュラレーシングカーを 作る B	山崎 由大、 草加 浩平	工学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に2年生は本科目の成績が進学選択が可能となる条件に含まれない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>本ゼミでは9月に開催が予定されている自動車技術会主催の「学生フォーミュラ日本大会」に出場する電気駆動フォーミュラレーシングカーの企画、設計、製作、試験、改良の一連のプロジェクトを体験する。これにより、「ものづくり」の楽しさ、面白さ、難しさを感じ取ると共に、工学の基礎を身に付け、更には自分の進むべき道を見つけることを目標とする。</p> <p>自動車産業が総合産業であるのと同じく、本プロジェクトに要求される内容も単に工学的知識だけでなく、企業との交渉、広報活動、ドライビングなど多岐にわたる。ゼミ参加メンバー各自がそれぞれに自分の得意とするあるいは興味の有る分野の仕事を見つけ、進める。このため本ゼミでは工学部進学希望者に限らず、文科系、理科系全ての学生を対象とする。水曜日の5・6限に駒場で、あるいは土・日等の休日に本郷で行う集中講義形式とする。（詳細日程はゼミ参加者で相談して決める）</p> <p>授業では電気自動車の基礎、ものづくりの基礎を講義・演習（この部分を必修とする）を通して教える。それらの基礎の上に、希望者に関しては「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動に参加してもらい、フォーミュラレーシングカーの企画から設計、製作、試験、改良などの一連の作業に取り組み、仮想的企業活動を体験する。</p> <p>本ゼミは1学年Sセメスターの「フォーミュラレーシングカーを作るA」に始まり、Aセメスターの「同B」・・・と各セメスターに開講するが、Sセメスター開講のA及びAセメスター開講のB(Aを履修しなかった学生向け)で基礎を教える。2年次以降の学生でも一連のゼミを受講する場合は最初に「フォーミュラレーシングカーを作るA」または「同B」を受講すること。「フォーミュラレーシングカーを作るA」を受講した学生は「同B」以後の受講を可能とする。初めて「フォーミュラレーシングカーを作るB」を受講した学生は「同C」以後の受講を可能とする。「同B」以後のゼミは、主に輪講形式で実施する。更に専門課程進学後の3年から4年夏に掛けては工学部共通科目「創造的ものづくりプロジェクト」の1テーマとして、修士1年に対しては工学系研究科共通科目「創造性工学プロジェクト」の1テーマとして設定されており、文科系であっても他学部聴講あるいは他研究科聴講の形で受講できる。</p> <p>具体的製作活動は「学生フォーミュラ日本大会」出場チームである「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動として行う。製作活動は本郷キャンパス工学部8号館地下2階0069号室「メカノデザイン工房」及び「工学部ものづくり実験工房」で行う。</p> <p>※安全教育を実施します（対面で実施予定）。これは実習受講のために必須なので、受講希望者は必ず出席すること。出席できない場合は、事前に草加まで連絡すること。</p> <p>※開講場所；講義；駒場、実習；本郷キャンパス工学部8号館地下2階0069号室「メカノデザイン工房」他</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは10月2日（水）6限（18：45～）にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p>					
成績評価方法		必修項目への出席およびプロジェクトへの参加度合いにより、合格・不合格を判定する。					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51361	A	フォーミュラレーシングカーを 作る D	山崎 由大、 草加 浩平	工学部	集中	2	2年 文科 理科

授業の目標概要	<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。特に2年生は本科目の成績が進学選択が可能となる条件に含まれない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>本ゼミでは9月に開催が予定されている自動車技術会主催の「学生フォーミュラ日本大会」に出場する電気駆動フォーミュラレーシングカーの企画、設計、製作、試験、改良の一連のプロジェクトを体験する。これにより、「ものづくり」の楽しさ、面白さ、難しさを感じ取ると共に、工学の基礎を身に付け、更には自分の進むべき道を見つけることを目標とする。</p> <p>自動車産業が総合産業であるのと同じく、本プロジェクトに要求される内容も単に工学的知識だけでなく、企業との交渉、広報活動、ドライビングなど多岐にわたる。ゼミ参加メンバー各自がそれぞれに自分の得意とするあるいは興味のある分野の仕事を見つけ、進める。このため本ゼミでは工学部進学希望者に限らず、文科系、理科系全ての学生を対象とする。水曜日の5・6限に駒場で、あるいは土・日等の休日に本郷で行う集中講義形式とする。(詳細日程はゼミ参加者で相談して決める)</p> <p>授業では電気自動車の基礎、ものづくりの基礎を講義・演習(この部分を必修とする)を通して教える。それらの基礎の上に、希望者に関しては「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動に参加してもらい、フォーミュラレーシングカーの企画から設計、製作、試験、改良などの一連の作業に取り組み、仮想的企業活動を体験する。</p> <p>本ゼミは1学年Sセメスターの「フォーミュラレーシングカーを作るA」に始まり、Aセメスターの「同B」・・・と各セメスターに開講するが、Sセメスター開講のA及びAセメスター開講のB(Aを履修しなかった学生向け)で基礎を教える。2年次以降の学生でも一連のゼミを受講する場合は最初に「フォーミュラレーシングカーを作るA」または「同B」を受講すること。「フォーミュラレーシングカーを作るA」を受講した学生は「同B」以後の受講を可能とする。初めて「フォーミュラレーシングカーを作るB」を受講した学生は「同C」以後の受講を可能とする。「同B」以後のゼミは、主に輪講形式で実施する。更に専門課程進学後の3年から4年夏に掛けては工学部共通科目「創造的ものづくりプロジェクト」の1テーマとして、修士1年に対しては工学系研究科共通科目「創造性工学プロジェクト」の1テーマとして設定されており、文科系であっても他学部聴講あるいは他研究科聴講の形で受講できる。</p> <p>具体的製作活動は「学生フォーミュラ日本大会」出場チームである「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動として行う。製作活動は本郷キャンパス工学部8号館地下2階0069号室「メカノデザイン工房」及び「工学部ものづくり実験工房」で行う。</p> <p>※安全教育を実施します(対面で実施予定)。これは実習受講のために必須なので、受講希望者は必ず出席すること。出席できない場合は、事前に草加まで連絡すること。</p> <p>※開講場所; 講義; 駒場、実習; 本郷キャンパス工学部8号館地下2階0069号室「メカノデザイン工房」他</p> <p>-----</p> <p>※このゼミは10月2日(水)6限(18:45~)にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p> <p>-----</p> <p>成績評価方法 教科書 ガイダンス</p> <p>必修項目への出席およびプロジェクトへの参加度合いにより、合格・不合格を判定する。 プリントを配布する。/Will distribute handouts 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>
---------	--

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51364	A	小学生にもものづくり教育を行う 「ものラボ」キャンプII	杉田 直彦	工学部	集中	2	1年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。本プロジェクトでは、小学生を対象とした「創造的なものづくりワークショップ」をプロジェクトに参加する学生で開発・実践します。学生はどのようにしたら小学生に創造的なものづくりを楽しんで学んでもらえるかを検討し、ワークショップの企画・運営を行います。これにより、ものづくりにおける難しさ、楽しさはどこにあるかを小学生の眼を通して改めて考え、学生がものづくりの魅力を再発見し、課題解決に取り組みます。このワークショップに参加する子供が、ものづくりの楽しさを体感し、エンジニアを志すきっかけを作ります。</p> <p>※このゼミは10月2日(水)6限(18:45~)にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席を勘案して決定します。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51365	A	小学生にもものづくり教育を行う 「ものラボ」キャンプ IV	杉田 直彦	工学部	集中	2	2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。本プロジェクトでは、小学生を対象とした「創造的なものづくりワークショップ」をプロジェクトに参加する学生で開発・実践します。学生はどのようにしたら小学生に創造的なものづくりを楽しんで学んでもらえるかを検討し、ワークショップの企画・運営を行います。これにより、ものづくりにおける難しさ、楽しさはどこにあるかを小学生の眼を通して改めて考え、学生がものづくりの魅力を再発見し、課題解決に取り組みます。このワークショップに参加する子供が、ものづくりの楽しさを体感し、エンジニアを志すきっかけを作ります。</p> <p>※このゼミは10月2日(水)6限(18:45~)にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席を勘案して決定します。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51366	A	魔改造技術者養成プログラム 2024A	長藤 圭介	工学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ガイダンスにて説明します</p> <p>※このゼミは10月2日(水)6限(18:45~)にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>ガイダンスにて説明します 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特定日に行う。/Will conduct guidance at another time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51372	A	ナノ・バイオテクノロジー： 最先端ラボへようこそ	宮田 完二郎	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>最先端の科学技術では、ナノスケールでの物質の構造や特性の制御が欠かせません。これをどうやって実現しているのか、実際に研究室で体験してみませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナノスケールの極小の世界で起こる出来事は、どのようにして知ることができるのでしょうか？ ・ナノスケールの材料を操作して組み立てるには、どうすればいいのでしょうか？ ・ナノスケールの材料研究において計算科学やシミュレーションはどのように役に立つのでしょうか？ ・ mRNA ワクチンなどのナノ医薬はどのようにして調製・評価されるのでしょうか？ <p>本体験ゼミナールでは、ナノとバイオに関する最先端研究を実際に体験し、その面白さと奥深さを学んでもらいます。</p> <p>※このゼミは 10 月 2 日（水）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>講義や実習への参加による評価 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51373	A	応用化学の最先端研究を 体験してみよう A	鈴木 康介	工学部	集中	2	1年 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>本授業では、工学部応用化学科の研究室での化学実験を通して応用化学の最先端研究を体験し、化学に対する理解を深めることを目的とする。</p> <p>*****</p> <p>このゼミは 10 月 2 日(水)6 限の工学部合同ガイダンス（オンライン開催）に参加予定です。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。</p> <p>*****</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>実験への参加状況で評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51379	A	鉱物資源はどこでできるのか？ ～フィールド調査と鉱物採集の 旅：海底資源編～	中村 謙太郎、 安川 和孝	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>私たちの文明の発展は、多種多様な鉱物資源によって支えられています。特に近年では、持続可能な人類社会を築くためにさまざまな金属（ベースメタル、レアメタル、貴金属）が不可欠となっており、その供給源としての鉱物資源の役割は増大しています。では、これらの「鉱物資源」は一体どこから生まれるのでしょうか？</p> <p>水の惑星と呼ばれる地球には、海でできた鉱物資源が数多く存在しています。驚くべきことに、陸地で採掘される資源の中にも、過去に海で形成されたものがたくさん含まれています。そして、東京近郊にも海に由来する鉱物資源が存在し、実際に過去には採掘されていたのです。</p> <p>そこでこの授業では、東京周辺で野外巡検（日帰り）を行い、過去の海でできた岩石と鉱物資源を実際に観察・分析してもらいます。自ら手を動かし、その実態と魅力に触れてもらうことで、私たちの生活を支える鉱物資源とそれを生み出す海に対する理解を深めてもらうことを目標とします。</p> <p>※このゼミは 10 月 2 日（水）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>講義、野外巡検、化学分析の終了後にレポートを作成してもらい、その内容により成績評価を行います。 なお、2 回の講義と巡検への参加およびレポート提出の全てが単位認定に必須となります。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51384	A	目に見えない素粒子や原子核を 見てやろう	山口 英斉	理学系研究科附属 原子核科学研究 センター	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>サブ・アトム粒子、即ち原子以下の大きさを持つ微細粒子を測ることは、原子核・素粒子・宇宙物理学の実験的研究において最も基本的な手法であり、検出器はサブ・アトム粒子の世界を研究する上で、の目や耳ともいうべきものである。授業では、目に見えないサブ・アトム粒子測定の基本原則を理解することを目標とする。そのため、授業は以下のような構成を取る。</p> <p>(1) 講義により、粒子検出器についての基礎的な検出原理を理解する。(2) 実際に、幾つかの検出器を構築する。(3) 構築した検出器を用いてサブ・アトム粒子を測定する。(4) 測定結果を評価考察する。</p> <p>※実習指導の都合から、履修人数は10名以下が望ましい。</p> <p>※このゼミナールは、埼玉県和光市理化学研究所キャンパス(東武・東京メトロ和光市駅から徒歩15分程度)内にある東大原子核科学研究センターで開催される。期間中は近隣の宿泊施設(ホテル)に宿泊していただく予定。実習へと取り組み姿勢と達成度、及び発表会での発表内容に基づいて評価する。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>教科書は使用しない。/Will not use textbook</p> <p>特定日に行く。/Will conduct guidance at another time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51396	A	房総の森と生業(なりわい)を 学ぶ	鎌田 直人、 井上 広喜、 楠本 大	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>森林は長らく人間の生活の一部であり、生業(なりわい)として森林の資源を利用する人々を中心に管理されてきた。しかし、現代ではそれらの生業の多くは衰退し、人間と森林の関わりは希薄になってきており、様々な弊害も生じている。たとえば、森林における生業が衰退すれば広大な森林への目配りや管理が不十分となる。その上、森林との関わり希薄化は森林に対する誤解や過剰な期待をもたらす、森林による地球温暖化防止や国土保全といった課題に際して方向性を誤る恐れも大きくなる。</p> <p>本ゼミは、人間との共存の長い歴史を持つ南房総の暖温帯林において、森林の生態や景観に親しむとともに、炭焼きや林業、工芸、狩猟採集などの生業を体験・学習することで、自分が納得できる「森林との関係」を会得するとともに、今後推進すべき森林産業や、森林と人間のあるべき未来を考えてもらうことが目的である。</p> <p>将来様々な分野に進む幅広い人材が受講することを期待しています。</p> <p>【履修希望者への注意事項】</p> <p>履修希望者は、第1回講義終了後から10月18日(金)17:00までに下記サイトにアクセスし、所定のフォームで①氏名、②メールアドレス、③希望動機(100字程度)を入力してください。10月18日の17時を過ぎるとアクセスできなくなります。なお、この履修希望申込とは別に、大学の通常の履修登録も所定の手続きで行ってください。欠員が出た場合には、追加で参加を認める場合がありますので、選考にもれた場合でも履修に興味がある場合には履修登録を行うことを推奨します。参加希望申込サイト：https://forms.gle/p4K9wKtgti41BepC8</p> <p>参加の可否は10月21日(月)24:00までにメールで連絡しますが、連絡がない場合は下記の担当教員にメールで問い合わせして下さい。また履修希望申込をしたあとや、参加可能な連絡を受けたあとにキャンセルする場合も必ず担当教員に連絡して下さい。</p> <p>連絡先：鎌田直人(千葉演習林 教授) kamatan@uf.a.u-tokyo.ac.jp</p> <p>最終日に学習成果を発表し討論を行う。成果発表により可否を判定する。</p> <p>教科書は使用しない。/Will not use textbook</p> <p>第一回授業日に行く。/Will conduct guidance at first time</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>教科書は使用しない。/Will not use textbook</p> <p>第一回授業日に行く。/Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51397	A	森に学ぶ__林業を意識する低山歩き と森林生態系を意識する奥山歩き A_1 (秩父ゼミ)	鴨田 重裕、 平尾 聡秀	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この体験ゼミは森林・林業を意識するために現地に足を運ぶスタイルをとるため、対面受講できる学生のみが受講することができます。オンライン受講はできないのでご注意ください。逆に、山歩きなら簡単に済むだろうという志望動機の方にも不向きなゼミです。

歩くことは必須ですが、歩いて終わりというゼミではありません。

【注意】このゼミは歩くことが億劫でない限り、誰でも参加することができます。山野に興味ある人に、安全に山を楽しむながら山林の現状を知ってもらうと同時に、山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらうために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。ゆっくり歩いて時間を過ごすことを東大生はあまり得意としないように見受けられます。この機会に極上の時間の過ごし方を身につけられてはいかがでしょうか。

【注意】A1ターム「森に学ぶ__林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩き A (秩父ゼミ)」、A2タームに「森に学ぶ 森林・林業を意識する低山歩き A (低山ゼミ)」を行います。これらは別のゼミで重複履修可能です。行き先が異なり、見えて来るものも違うでしょうし、巡らせる志向にも違いが現れると思います。A2タームは厳冬期に当たるので秩父奥山にはお連れせず、低山歩きをすることにします。秩父ゼミでも低山ゼミでも秩父演習林の宿泊施設に泊まり、しっかりと山行を振り返り、各人の意見を交換する機会を設定します。

日本の国土は7割近くが森林に覆われていることをあなたは当然ご存じのはずですが、その7割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、あなたは考えてみたことはありますか？

山林のことは林業関係者に任せておけば良いでしょうか？ 自分はそういう方面に就業しないから考えなくても良いのでしょうか？ 人任せ、あるいは誰かの考えに盲従していても、国土が取り返しのつかないことになる心配はないと思えますか？

いま現在、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。

日本の林業は外国に比べてコスト高であるため、儲けを出しにくいと言われていて、儲からない産業には資本が投下されにくい（資本主義から見放される）。すべてを資本主義的な価値観で判断するのであれば、日本の山林は放置するのが最も合理的であるということになりかねません。しかし、その判断はあくまでも資本を投下して、その投下に見合った回収を期待できるかどうかという価値観によるものに過ぎません。現状を放置すると、例えば獣が増えて植生を壊滅させることが起こり得ます。植生を失うと、豊かであった土壌が簡単に流亡することになります。土壌の流亡は規模を増したときには、大規模に近辺の植生もろとも土石を下流に押し流してしまうこともあるでしょう。その様な時、下流の人の営みに甚大な影響が出ないかと考えることには無理があります。災害ばかりではありません、豊かな土壌を失うことは、生産性を失うことと同義です。一度失うと、簡単に取り戻すことはできません。

あなたはハイキングや山野を歩くことが好きでしょうか（好きになりそうでしょうか）。

このゼミでは東京近郊の身近な山と、奥秩父のあまり人が訪れない山を歩きます。林業を意識しながら歩いたり、目の前の森林の来し方行く末を思いながら山を歩いたりする機会を提供することを目的とする講義です。自然豊かな秩父の山の奥の方と、人里に近い低山とを歩き比べてみましょう。どちらが自分好みか、優劣をつける様な価値を持ち込みがちですが、ここは是非両方の良さを知る機会にさせていただきたいと思えます。

森林・林業を意識する？

山歩きはとても気持ちいいものです。色々なことをくよくよ考えたり、せわしなく過ごしたりしがちな日常生活から距離をとる。山歩きをしているその瞬間は、日常をすっかり忘れて、ただ歩くことだけに気持ちを向かわせることができます。それはそれでよいものです。

その様に無心に山野を歩くのも好いですが、このゼミでは森林を意識する・林業を意識するという視点を少し持って歩くことを提案します。意識を働かせることで見え方がグッと変わってくることを体験してもらいたい。そこで見えたコト・モノももちろん大切ですが、この体験ゼミでは自分の意識をコントロールすることで見えるコト・モノに変化が生じることを体験し、その体験の意味をしっかりと噛みしめていただきたいのです。このゼミで林業を自分で意識できるようになれば、いろいろなコト・モノに目を向ける姿勢を身につけることになるでしょう。

私たちが生きる現代社会の特徴

私たちが生きる現代社会は、いろいろなプロセスが見えづらい時代であると捉えることができます。構造が複雑になりブラックボックス化が進んでいることがその大きな要因の一つでしょう。しかし、それが原因だから仕方がないと片付けてしまえばそれまでです。複雑で忙しい日々を過ごすうちに、思考を節約して簡単に済ませる術を身につけるという、いわば生活習慣によって観察できない状態・考えられない状態に追い込まれていると捉えることはできないでしょうか。

このゼミでは忙しく歩くような山歩きはしません。まわりの植物をゆっくりと観察できるくらいの歩調で、時に立ち止りながら山林の中に身を置きます。ゆっくりと歩き、時に立ち止ることで見える量も質も大きく異なってきます。ブラックボックスに立ち向かうためにはゆっくりと思考する姿勢が何よりも大切になります（ゼミ中にたまに少しだけ先を急ぐことがあるかも知れませんが、そんな時はどうぞ笑って許してください）。

このゼミではたっぷりとその様なことを考えてもらいたい。

何か正解を見つけに山歩きをするわけではありません。知れば知るほど難しい問題になるのかも知れませんが、一つだけ正解がある様な問題とは限りません。よく考えてみることで、それ自体がこのゼミの目的と言えます。

手つかずの奥山の様子と資源利用を行う人工林と、両方を意識して歩いてみると何が見えて来るでしょうか。自分が何を感じたか、感じたことを出発点として何を考えたか。そして、それをどの様に自分の行動に落とし込んでいくことができるか。

感じる・考える・行動するのサイクルを回そう。これは伊豆ゼミシリーズにも共通する理念です。本ゼミをきっかけに、これらのゼミを母体とするコミュニティに残り、どう行動するかを大学生の内に何か一つでも実現できたならば、あなたの生き方が大きく変わるかも知れない。

本文中に「自然豊かな秩父の山」と表現しました。自然という響きは豊かな状態を想起すると思えます。ここにもステレオタイプが忍び寄ります。

果たして、あなたのそのステレオタイプは正しいのか？

実際に秩父の山をご自身の目で見て確かめてみましょう。

講義の受講態度と事後レポートの内容により可否を判定します。

- ・レポート提出が無い場合は不合格になります。
- ・受講態度が本ゼミに相応しくないと判断された場合には改善を求めますので、指示に従ってください。
- ・レポートは内容により可否を判定します。大学生のレポートのレベルに達していると認められない場合は不可になることがあるのでご注意ください。
- ・山行の感想文の様なものはレポートとは認められません。
- ・無理な出席は推奨していません。そのため、欠席しても以下の様に単位を付けます。

51397「森に学ぶ__林業を意識す
教科書は使用しない。／Will not use textbook
特定日に行く。／Will conduct guidance at another time

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51398	A	森に学ぶ__林業を意識する低山歩きと 森林生態系を意識する奥山歩き A_2 (秩父ゼミ)	鴨田 重裕、 平尾 聡秀	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この体験ゼミは森林・林業を意識するために現地に足を運ぶスタイルをとるため、対面受講できる学生のみが受講することができます。オンライン受講はできないのでご注意ください。逆に、山歩きなら簡単に済むだろうという志望動機の方にも不向きなゼミです。

歩くことは必須ですが、歩いて終わりというゼミではありません。

【注意】このゼミは歩くことが億劫でない限り、誰でも参加することができます。山野に興味ある人に、安全に山を楽しむながら山林の現状を知ってもらうと同時に、山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらうために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けです。誰でも参加できます。

ゆっくり歩いて時間を過ごすことを東大生はあまり得意としないように見受けられます。この機会に極上の時間の過ごし方を身につけられてはいかがでしょうか。

【注意】A1ターム「森に学ぶ__林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩き A (秩父ゼミ)」、A2タームに「森に学ぶ 森林・林業を意識する低山歩き A (低山ゼミ)」

を行います。これらは別のゼミで重複履修可能です。行き先が異なり、見えて来るものも違うでしょうし、巡らせる志向にも違いが現れると思います。A2タームは厳冬期に当たるので秩父奥山にはお連れせず、低山歩きをすることになります。秩父ゼミでも低山ゼミでも秩父演習林の宿泊施設に泊まり、しっかりと山行を振り返り、各人の意見を交換する機会を設定します。

日本の国土は7割近くが森林に覆われていることをあなたは当然ご存じのはずですが、その7割の面積におよぶ森林をどの様に管理すべきか、あなたは考えてみたことはありますか？

山林のことは林業関係者に任せておけば良いでしょうか？ 自分はそういう方面に就業しないから考えなくても良いのでしょうか？ 人任せ、あるいは誰かの考えに盲従していても、国土が取り返しのつかないことになる心配はないと思えますか？

いま現在、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。

日本の林業は外国に比べてコスト高であるため、儲けを出しにくいと言われてます。儲からない産業には資本が投下されにくい（資本主義から見放される）。すべてを資本主義的な価値観で判断するのであれば、日本の山林は放置するのが最も合理的であるということになりかねません。しかし、その判断はあくまでも資本を投下して、その投下に見合った回収を期待できるかどうかという価値観によるものに過ぎません。現状を放置すると、例えば獣が増えて植生を壊滅させることが起こります。植生を失うと、豊かであった土壌が簡単に流亡することになります。土壌の流亡は規模を増したときには、大規模に近辺の植生もろとも土石を下流に押し流してしまうこともあるでしょう。その様な時、下流の人の営みに甚大な影響が出ないと思えることには無理があります。災害ばかりではありません、豊かな土壌を失うことは、生産性を失うことと同義です。一度失うと、簡単に取り戻すことはできません。

あなたはハイキングや山野を歩くことが好きでしょうか（好きになりそうでしょうか）。

このゼミでは東京近郊の身近な山と、奥秩父のあまり人が訪れない山を歩きます。林業を意識しながら歩いたり、目の前の森林の来し方行く末を思いながら山を歩いたりする機会を提供することを目的とする講義です。自然豊かな秩父の山の奥の方と、人里に近い低山とを歩き比べてみましょう。どちらが自分好みか、優劣をつける様な価値を持ち込みがちですが、ここは是非両方の良さを知る機会にさせていただきたいと思えます。

森林・林業を意識する？

山歩きはとても気持ちいいものです。色々なことをくよくよ考えたり、せわしなく過ごしたりしがちな日常生活から距離をとる。山歩きをしているその瞬間は、日常をすっかり忘れて、ただ歩くことだけに気持ちを向かわせることができます。それはそれでよいものです。

その様に無心に山野を歩くのも好いですが、このゼミでは森林を意識する・林業を意識するという視点を少し持って歩くことを提案します。意識を働かせることで見え方がグッと変わってくることを体験してもらいたい。そこで見えたコト・モノももちろん大切ですが、この体験ゼミでは自分の意識をコントロールすることで見えるコト・モノに変化が生じることを体験し、その体験の意味をしっかりと噛みしめていただきたいのです。このゼミで林業を自分で意識できるようにすれば、いろいろなコト・モノに目を向ける姿勢を身につけることになるでしょう。

私たちが生きる現代社会の特徴

私たちが生きる現代社会は、いろいろなプロセスが見えづらい時代であると捉えることができます。構造が複雑になりブラックボックス化が進んでいることがその大きな要因の一つでしょう。しかし、それが原因だから仕方がないと片付けてしまえばそれまでです。複雑で忙しい日々を過ごすうちに、思考を節約して簡単に済ませる術を身につけるといって、いわば生活習慣によって観察できない状態・考えられない状態に追い込まれていると捉えることはできないでしょうか。

このゼミでは忙しく歩くような山歩きはしません。まわりの植物をゆっくりと観察できるくらいの歩調で、時に立ち止りながら山林の中に身を置きます。ゆっくりと歩き、時に立ち止ることで見える量も質も大きく異なってきます。ブラックボックスに立ち向かうためにはゆっくりと思考する姿勢が何よりも大切になります（ゼミ中にたまに少しだけ先を急ぐことがあるかも知れませんが、そんな時はどうぞ笑って許してください）。

このゼミではたっぷりとその様なことを考えてもらいたい。

何か正解を見つけに山歩きをするわけではありません。知れば知るほど難しい問題になるのかも知れませんが、一つだけ正解がある様な問題とは限りません。よく考えてみることで、それ自体がこのゼミの目的と言えます。

手つかずの奥山の様子と資源利用を行う人工林と、両方を意識して歩いてみると何が見えて来るでしょうか。

全学体験ゼミナール

成績評価方法	<p>自分が何を感じたか、感じたことを出発点として何を考えたか。そして、それをどの様に自分の行動に落とし込んでいくことができるか。</p> <p>感じる・考える・行動するのサイクルを回そう。これは伊豆ゼミシリーズにも共通する理念です。本ゼミをきっかけに、これらのゼミを母体とするコミュニティに残り、どう行動するかを大学生の内に何か一つでも実現できたならば、あなたの生き方が大きく変わるかも知れない。</p> <p>本文中に「自然豊かな秩父の山」と表現しました。自然という響きは豊かな状態を想起すると思います。ここにもステレオタイプが忍び寄ります。</p> <p>果たして、あなたのそのステレオタイプは正しいのか？</p> <p>実際に秩父の山をご自身の目で見て確かめてみましょう。</p> <p>講義の受講態度と事後レポートの内容により可否を判定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート提出が無い場合は不合格になります。 ・受講態度が本ゼミに相応しくないと判断された場合には改善を求めますので、指示に従ってください。 ・レポートは内容により可否を判定します。大学生のレポートのレベルに達していると認められない場合は不可になることがあるのでご注意ください。 ・山行の感想文の様なものはレポートとは認められません。 ・無理な出席は推奨していません。そのため、欠席しても以下の様に単位を付けます。 <p>51397「森に学ぶ」林業を意識す</p>
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>特定日に行く。／Will conduct guidance at another time</p>

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51410	A	火山との共生：箱根火山を知ろう	前野 深	地震研究所	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>このゼミナールでは、地球科学の一分野である火山学の基礎と、実際に発生した火山活動が学術的にどのように理解できるかを、首都圏に最も近い活火山・箱根火山を例に学ぶ。2回の事前授業により火山学の概要と箱根火山の基礎について学ぶ。そして12月上旬に実際に箱根火山での巡検を行い、実スケールの火山を体験し、火山研究の現場に触れる。講義と巡検を通して火山研究の一端に触れ、火山学の役割や火山と人間社会とのかかわりについて考える。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>講義および巡検の出席状況とレポートにより評価する。</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>特定日に行く。／Will conduct guidance at another time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51419	A	最先端メディカルゲノムサイエンスを体験する	松田 浩一	新領域創成科学研究科	集中	2	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>メディカル情報生命専攻に所属する教員が実施する体験的プログラムに参加することで、現代生物学・基礎医学研究の最先端の現場を体験することができます。</p> <p>合わせて、実施キャンパスの見学説明等も行いますので、実際の大学院での研究がどんな雰囲気のところ、どのように行われるのかを直接肌で感じ取り、今後の進路選択にも役立つ貴重な経験が出来るでしょう。</p> <p>★履修ガイダンスとして、下記メディカル情報生命専攻 HP の「カリキュラム」→「教養学部生へ」→『全学体験ゼミナール』を是非訪問してください。</p> <p>『A セメスター開催予定プログラム』</p> <p>(1) 糸川昌成先生・松田浩一先生・富田章弘先生「医学研、がん研、医科研を体験しよう！ 一来て・見て・触れて新領域」</p> <p>※ 詳細や更新内容については、メディカル情報生命専攻のホームページ</p> <p>【URL】：http://www.cbms.k.u-tokyo.ac.jp</p> <p>に掲示するので随時確認してください。</p> <p>※ 本プログラムは、3つのキャンパスで実施されます。キャンパスによって予定日時が異なります。また、UTAS への履修登録に加え、別途メールで実習申込を行い採択される必要があります。詳細情報は「授業計画」を参照してください。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>各プログラム責任者からの出席状況を取りまとめこれに基づき評価(合格、不合格、欠席)を決定する。</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51428	A	身近な環境化学実習 －身近な水を水質調査から科学する－	佐藤 守俊、 堀 まゆみ	教養教育 高度化機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>「水」と聞いてどのようなイメージを持ちますか？一水道水は採取場所や日時によって違いがあるのか、水道水とペットボトルの水はどう違うのか、ミネラルウォーターといっても色々な種類があるがいったいどのような違いがあるのか、水道水と井戸水の水質はどのような違いがあるのか、といった私たちの生活にとっても身近な「水」に関するさまざまな疑問を、化学実験を通して多角的な視点で解決していきます。</p> <p>本実習では、身近な水、例えばキャンパス内の建物や自宅の水道水、市販のペットボトルウォーターなど、各自が調査対象とする水試料を決め、化学分析（試料サンプリング、前処理操作、測定）を実際に行い、構成している成分が何であるか、それらの成分濃度はどれくらいであるか、といった情報を取得し、得られた結果から普段私たちが身近に接している水の状態を環境化学的に解釈し考察します。実習最終日にはショートプレゼンテーションを実施し、得られた結果や考察に対する理解を深めます。</p> <p>専門知識や事前学習を必要としません。研究プロセスを体験し、実験計画を自由に考えながら実験を遂行し、環境分析化学の面白さに触れてもらうことを重要視しています。そのため、文科・理科を問わず、環境や水に興味がある学生を歓迎します。</p> <p>【ガイダンス（授業の詳細説明）】 2024年10月3日(木)12:15～12:45 Zoom 配信 以降、10月28日までオンデマンド視聴可能（UTOL に掲載） 【授業実施日】 以下の日程で実施予定。 11月：25日(月)、26日(火) 14時～16時 2月：4日(火)～7日(金)13時30分～16時（実験の進捗により終了時刻は前後することがある） *開講日時は履修者が決定したのちに、都合を確認し最終決定する。 教室は、KOMCEE East 棟 3階 教育開発用実験室および4階 化学実験室。授業前にアナウンスします。 出席、取り組み姿勢、ショートプレゼンテーションを総合的に評価。詳細は、ガイダンスおよび実習1日目に説明する。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席、取り組み姿勢、ショートプレゼンテーションを総合的に評価。詳細は、ガイダンスおよび実習1日目に説明する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行く。／Will conduct guidance at another time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51449	A	映像デザイン実習	松本 文夫	教養学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>映像制作の実習を通して「イメージをカタチにする」体験をすることがこの授業の目標である。20世紀は映像の世紀であったといわれる。19世紀以降、写真、映画、テレビ、インターネットが次々と生み出され、視覚情報の生産と流通は劇的に増大した。社会の出来事や物語がおびただしい映像断片に記録され、世界は映像を介して理解される対象になっている。一方、自らカメラを持って「世界をみる」という行為は、現実を観察して写し取ることに始まり、そこに内在する人・モノ・意味などの諸関係を再編成する試みに結びつく。映像は記録と保存だけでなく、創出と再生を担うメディアである。映像によって記憶を蓄積し、物語を構築し、時空を横断し、新しい世界の姿を示すことができるだろう。この授業を通して、映像による表現の可能性を徹底的に追究してほしい。映像制作の経験は必要としないが、映画・写真・物語・構造・空間・造形などに関心があることが望ましい。</p> <p>10月3日(木)の5時限に授業ガイダンスを実施する。 履修希望者は10月6日(日)までに UTOL に小課題を提出すること。 履修希望者が予定人数（20名）を上回るときは、この小課題により履修許可者を選抜する。 授業ガイダンスおよび小課題については、UTOL で別途告知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開講区分：A ・単位数：2 ・対象学年：1年(文科/理科)、2年(文科/理科) ・履修人数：20名に制限する ・開講期間：2024年10月17日(木)、11月7日(木)、11月28日(木)、12月19日(木)、2025年1月9日(木) ・開講場所：駒場キャンパス 13号館 1312教室 					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>提出作品により評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特定日に行く。／Will conduct guidance at another time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51462	A	最新の遺伝子治療に関する体験 ゼミ	岡田 尚巳	医科学研究所	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>遺伝子治療とは、従来『疾病の治療や予防を目的として遺伝子または遺伝子を導入した細胞を人の体内に投与すること』であったが、ゲノム編集技術の躍進により、現在は『疾病の治療や予防を目的とした (1) 遺伝子又は遺伝子を導入した細胞を人の体内に投与する、(2) 特定の塩基配列を標的として人の遺伝子を改変する、(3) 遺伝子を改変した細胞を人の体内に投与する』、のいずれかに該当する行為を指す。</p> <p>遺伝子 (DNA または RNA) を細胞内に効率的に輸送し発現させるため、ウイルスベクター、化学修飾法、脂質コーティング法など様々な方法が研究されており、当研究室においてはウイルスが元々持っている細胞進入機構を利用するウイルスベクターの研究を行っている。遺伝子治療用ウイルスベクターは、遺伝性疾患を対象とした原因遺伝子の発現調節や遺伝子修復技術の活用により、難治性疾患の根本治療が期待される。また一方、予防的観点から、抗原発現を行うワクチンとしての開発も進められている。</p> <p>本体験ゼミでは、遺伝子治療の現状と課題について講義を行ったのち、遺伝子治療用ベクターであるアデノ随伴ウイルスベクターを実際に作製し細胞に導入する体験を行う。当講義では、以上を通じて遺伝子治療に対する興味を惹起し理解を深めることを目的とする。</p>					
成績評価方法 教科書		<p>成績は出席と理解度をもって評価する。</p> <p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Tom Strachan, Andrew Read Human Molecular Genetics 5th Edition Garland Science 978-0367002503</p>					
ガイダンス		<p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51453	A 1	Virtual Exchange for Global Citizens～ プリンストン大学日本語学習者との オンライン国際交流～	秋山 友香	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>プリンストン大学の日本語学習者と協力して、様々なタスクに取り組むプロジェクト型の授業です。授業は講義、国際コミュニケーション演習、そして成果発表の3部構成で展開されます。授業での使用言語は英語ですが、プリンストン大学の学生と交流する時には日本語と英語両方を使用します。国境や学問の枠を超えた交流を通じて、世界で活躍するために必要な語学力と異文化コミュニケーション能力を養います。さらに、国と国の表層的な比較に留まらない、多様性に焦点を当てたプロジェクトを行うことで、真のグローバル市民になるのに必要な資質を育てます。</p> <p>Virtual Exchange for Global Citizens is a project-based course where students from the University of Tokyo partner with Japanese language learners at Princeton University. Together, they tackle a range of tasks using both Japanese and English. The course is divided into three key segments: lectures, interactive international communication exercises, and final presentations. By engaging in cross-border and interdisciplinary interactions, students are expected to develop linguistic and intercultural competence, both vital for global effectiveness. The course's projects are designed to foster genuine global citizenship, emphasizing the significance of diversity and going beyond superficial comparisons of nation-states.</p>					
成績評価方法		<p>講義&ワークショップへの参加 (20%) Zoom セッションへの参加 (50%) プロジェクトの成果発表 (20%) その他課題 (10%)</p>					
教科書 ガイダンス		<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time</p>					
		<p>※このゼミは10月2日(水)6限(18:45～)にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51454	A 1	都市林の景観を学ぶ －武蔵野編	安村 直樹、水内 佑輔、 前原 忠、後藤 晋	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>森林と言われれば何が思い浮かぶだろうか。茫漠と良いイメージが浮かぶ一方で、どこか生活からは遠い存在かもしれない。しかし、森林は木材生産、環境保全、防災など様々な機能を持ち、人間の生活を支え、人間との生活の関わりの中で森林が維持されてきた。近年では温暖化やヒートアイランド現象が進行する中において、「都市林」の重要性が増している。これらの森は、放置しておけばよいのではなく適正な管理、すなわちあるべき森の形を設定し、そのために手を加える必要がある。加えて、森林の持つ多面的機能と整理されるように、1つの森林が複数の機能を持つという森林の持つ特徴も忘れてはならない。</p> <p>本講義では、森林の持つ多面的機能のうち、保健・レクリエーション機能、文化機能に重きを置きながら、森林の調査や管理作業を体験し、今後の望ましい森林造成や管理のあり方について考える導きとする。本年度は、森と人との関係性、特に東京という場所の地域特性に着目し、東京大学の演習林や明治神宮を訪れ、森の造成の背景や造成後の管理方法を学ぶ。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>フィールド体験ゼミへの出席と、レポートによって評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51455	A 1	続伊豆に学ぶ エネルギーの森作り A1 早生樹を植えて、あなたもちょっと SDG s に参加してみませんか	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】本ゼミは千葉県にユーカリ苗の植林を実施します。リモート受講はできません。</p> <p>我が国の一次エネルギー自給率は11%ほどでもとても低い。全方位でエネルギー自給率を上げる取り組みがなされるべきです。</p> <p>洋上風力や太陽光パネルは参加するにはちょっと敷居が高いかも知れない。学生のあなたにも手軽に参加できるSDG sの取り組みがあります。</p> <p>それは早生樹植えて、エネルギーの森を作ること。</p> <p>昔々あるところにおじいさんとおばあさんが住んでいました。おじいさんは山に柴刈りに・・・</p> <p>このよく聞く昔話の冒頭にもあるように、人類は長い歴史の中でずっと森林資源をエネルギー利用してきました。70年前くらいに燃料革命が起こり、先進国と言われる国々では主に化石燃料が重用されるようになり、森林資源がエネルギー利用されることはほとんどなくなりました。その結果わが国では薪炭利用されていた雑木林は放置され、ドングリを着ける木々が巨大化して、様々な問題(カシノナガキクイムシの蔓延や獣に栄養豊富なドングリを供給するなど)の原因になっていきます。</p> <p>第二次大戦後、木質資源の枯渇を背景とした拡大造林によってスギ・ヒノキ・カラマツの針葉樹人工林の面積は倍増し、1000万haに及びました。木質資源の需要を見込んで拡大造林をおこなったのですが、現在は住宅着工件数は減少し、木質資源がだぶついています。1000万haの人工林を抱えた状況では、需給バランスが悪いと言わざるを得ない状況です。</p> <p>伐期を迎えたスギ林を伐っても使う当てがない、つまり人工林が余っているという状態が見えてきています。</p> <p>話を変えます。2019年に千葉県に上陸した台風15号を覚えているでしょうか。家屋の損壊もさることながら、大停電が起こり、なかなか復旧できなかったことは大きな衝撃でした。停電の復旧が進まなかった原因として、溝腐れ病を患ったサンプスギが至る所で倒れて電線に掛かってしまったといいます。溝腐れ病で材質が悪く使い物にならないために、山野に放置されてしまったことが原因です。誰が悪いと言えるものではありませんが、森林資源を利用しないまま放置すれば、同様の大停電を繰り返す可能性が高いことは自明です。</p> <p>この体験ゼミの背景には、そのサンプスギをバイオマス発電の燃料として活用する取り組みがあります。これは自明の負の遺産とちゃんと向き合う取り組みとして評価することができます。使い道が無いサンプスギも燃やせば発電の足しになります。バイオマス発電が動いていることの重要性を垣間見る思いがします。</p> <p>皆伐した跡地をどうするか？ また、スギを植える？ スギが余っていることは上述した通りです。 同じサンプスギを植えれば、また溝腐れ病を患う可能性があります。 あなたなら、もう一度スギを植えますか？ 今回は皆さんに早生樹ユーカリ植栽に参加してもらうことにしました。 スギ・ヒノキではなく ドングリを着けるコナラ・クヌギでもなく ユーカリを植えるということが、どういうことであるか、是非、じっくりと考える機会にしてください。 持続可能なゴールが見えるでしょうか？ 積極的に活動に取組む姿勢を最重視する。加えて事後レポートの内容で評価する。</p>					
成績評価方法 教科書 ガイダンス		<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51459	A 1	森と人を紡ぎ直す感性と 技術の方法論	中村 和彦	新領域創成科学 研究科	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>今や、世界中のあらゆる情報がインターネット上に存在するようにも思えるが、それは人の生活圏に限ったことである。人里離れた森の情報は、未だインターネット上にほとんど存在しない。</p> <p>森は古来、人間にとって資源獲得や環境保全のために不可欠な存在であった。近代化以前はエネルギー源として生活に直結していたが、現代では二酸化炭素吸収や防災、保健・レクリエーションなど、人間との関係における時空間スケールがより大きくなり、森と人の関係を実感しにくくなっている。</p> <p>本ゼミナールでは、現代的な森と人の新たな関係を紡ぎ直すための感性と技術の方法論として、インターネットへの配信を前提とした映像制作（平たくいえば「森の YouTuber」的な活動）を体験する。感性と技術に関する基礎的な理論と技能を持って、実際に人里離れた森を訪れ撮影を行い、映像編集を行ってインターネットへの配信を試みる。</p>						
成績評価方法	授業への参加態度および映像作品の制作・配信内容を総合的に評価する。						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60224	A 2	雪の森林に学ぶ ～北海道演習林	尾張 敏章 田中 延亮	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>北方針広混交林帯に位置する北海道演習林では、森林環境の保全と持続的な木材生産との調和を目指した研究を一貫して行っている。本ゼミナールでは、雪に覆われた北海道の冬の森林をスノーシューを履いて探索し、冬季の樹木、植物、動物などの姿を通じて森林生態系の総合的な理解を深める。また、北海道演習林で行っている天然林施業の実際を学ぶことにより、森林資源の保全と活用の方法について考究する。</p>						
成績評価方法	インターネット経由でビデオ配信する第2回講義の課題および、現地講義・実習におけるレポートによる合否判定						
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60225	A 2	伊豆に学ぶ自然の恵みを活かす技 Learning at Izu: skills and arts to utilize nature's gifts	齋藤 暖生 井上 広喜 鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>樹芸研究所は伊豆半島の南端、静岡県南伊豆町に立地する東京大学演習林の一つである。この研究所は、第二次世界大戦中、熱帯・亜熱帯産の特用樹木の研究施設として設立された歴史を持つ。東京大学演習林の中で、樹芸研究所の特徴として以下の2点が挙げられる。熱帯・亜熱帯の植物を多く扱っている点、および樹木をはじめとした森林植物の加工過程に重点が置かれている点である。</p> <p>特に後者の特徴は、本講義の主題に深く関わる。樹木は、私たち人間が価値を見出し、あるいはさらに手を施すことによって「恵み」となる。この研究所が追求する「樹芸」とは、樹木をはじめとした森林の様々な資源を、より有効に人間社会に活かそうとする人間の技や営みである。</p> <p>本講義は、樹芸研究所および周辺地域における体験を伴う現地集中講義を主体とする。本講義が行われる地域は、伊豆半島の南端であり、どの地域からもアクセスは容易ではない。しかし、こうした地域にも多くの人々が暮らしてきたし、また、その歴史も長い。このことは、この地域にある自然を「恵み」として活かす「眼差し」や「技」が、古くから存在してきたことを意味する。</p> <p>日本は小資源国である、という定説がある。この定説において、人が自然から「恵み」を創り出す能力は、捨象されていると言ってよい。本講義は、この人が持つ能力の可能性を理解することを目標とする。そして、この能力は、単に机上の知識で十分に理解できるものではない。実際に現地を歩き、自然から恵みを得るための作業に身を投げ、頭と体をフル動員して理解してもらいたい。</p> <p>※受講可能人数：野外実習での安全管理のため15名までとする。受講希望者がこれを上回る場合は抽選を行う。</p> <p>※ガイダンス：12月5日2限に行う。</p> <p>※現地集中講義の時期と場所：2月25日（火）から2月28日（金）までの3泊4日の日程で、樹芸研究所およびその周辺地域において実施する。</p> <p>出席（原則として全参加）および、現地講義終了後のレポートによって評価する。</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>ガイダンス 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time</p>							
<p>成績評価方法 教科書 ガイダンス</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60226	A 2	猟師に学ぶヒトと自然	齋藤 暖生	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>ヒトは雑食動物であり、植物のみならず動物のみならず主要な栄養摂取源としてきた。各種の考古学的史料を見るまでもなく、ヒトが食料を獲得するために行う狩猟の歴史は、ヒトの歴史とともに古い。しかしながら、現代のヒトは動物性の栄養源を獲得するために、狩猟を必須としない。むしろ、狩猟以外の方法、すなわち畜産等に依存している。このような時代においても狩猟が存在するという事は、興味深い事象である。</p> <p>動物性の食料を得るうえで現在私たちが依存しているのは、人類が築き上げた知恵であり、技術であると概括できる。畜肉を取り上げるならば、動物を家畜化し、家畜の特性に改良を重ね、量的・質的に安定した生産システムを構築し、消費者の負担を極度に軽減する形で提供される流通システムが実現されている。現代の私たちが気軽に畜肉を消費できる背景には、こうした大掛かりなシステム（技術の集合）があるが、これはまさに人類の知恵の産物である。</p> <p>一方、狩猟は技術という点では、銃の使用やGPSの導入など、一定の進展はあるとはいえ、いまだに低位に留まっている。猟師が獲物に接近するには、現地に立ってその目で観察し、獲物の居場所を自分の知力で突き止める必要があるし、突き止めたところで、確実に捕獲できるとは限らない。上記の畜肉と比較したとき、技術水準の低さから資源獲得の確実性は低位に留まっていると特徴づけられる。しかし、低技術であるがゆえに、狩猟には狩猟者自身の高度な知識と技が要求される。その重要な部分が、生身の体をもって自然の状況を知る技である。これは、現代の人類の多くが失いつつある、あるいはすでに失ってしまった能力であり、今となってはヒトの「もうひとつの知性」と言えるものだろう。</p> <p>樹芸研究所青野研究林では、猟師グループによるイノシシを主要なターゲットとした狩猟活動が行われている。本講義では、この狩猟グループに属する狩猟者とともに、実際の猟場を探索し、狩猟者の活動を可能な限りリアルに体験することで、「もうひとつの知性」を体得する足掛かりとしたい。また、「もうひとつの知性」を得ることで見えてくる自然のあり方、ヒトのあり方を学ぶことを目指す。</p> <p>※受講可能人数：野外実習での安全管理のため10名までとする。受講希望者がこれを上回る場合は初回講義で提示した課題への提出内容に応じて、選抜を行う。</p> <p>※事前講義：12月2日1限にガイダンスを兼ねた第1回講義、1月20日1限に第2回講義を行う。</p> <p>※現地集中講義の時期と場所：2月10日（月）から2月12日（水）までの2泊3日の日程で、樹芸研究所において実施する。</p> <p>出席（原則として全参加）および、現地講義終了後のレポートによって評価する。</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>ガイダンス 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time</p>							
<p>成績評価方法 教科書 ガイダンス</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60227	A 2	続伊豆に学ぶ エネルギーの森作り A2 早生樹を植えて、あなたもちょっと SDG s に参加してみませんか	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。

【注意】本ゼミは千葉県にユーカリ苗の植林を実施します。リモート受講はできません。

我が国の一次エネルギー自給率は11%ほどでとても低い。全方位でエネルギー自給率を上げる取り組みがなされるべきです。

洋上風力や太陽光パネルは参加するにはちょっと敷居が高いかも知れない。学生のあなたにも手軽に参加できるSDGsの取り組みがあります。

それは早生樹植えて、エネルギーの森を作ること。

昔々あるところにおじいさんとおばあさんが住んでいました。おじいさんは山に柴刈りに・・・

このよく聞く昔話の冒頭にもあるように、人類は長い歴史の中でずっと森林資源をエネルギー利用してきました。

70年前くらいに燃料革命が起こり、先進国と言われる国々では主に化石燃料が重用されるようになり、森林資源がエネルギー利用されることはほとんどなくなりました。その結果わが国では薪炭利用されていた雑木林は放置され、ドングリを着ける木々が巨大化して、様々な問題(カシノナガキクイムシの蔓延や獣に栄養豊富なドングリを供給するなど)の原因になっています。

第二次大戦後、木質資源の枯渇を背景とした拡大造林によってスギ・ヒノキ・カラマツの針葉樹人工林の面積は倍増し、1000万haに及びました。木質資源の需要を見込んで拡大造林をおこなったのですが、現在は住宅着工件数は減少し、木質資源がだぶついています。1000万haの人工林を抱えた状況では、需給バランスが悪いと言わざるを得ない状況です。

伐期を迎えたスギ林を伐っても使う当てがない、つまり人工林が余っているという状態が見えてきています。

話を変えます。2019年に千葉県に上陸した台風15号を覚えているでしょうか。家屋の損壊もさることながら、大停電が起こり、なかなか復旧できなかったことは大きな衝撃でした。停電の復旧が進まなかった原因として、溝腐れ病を患ったサンプスギが至る所で倒れて電線に掛かってしまったといいます。溝腐れ病で材質が悪く使い物にならないために、山野に放置されてしまったことが原因です。誰が悪いと言えるものではありませんが、森林資源を利用しないまま放置すれば、同様の大停電を繰り返す可能性が高いことは自明です。

この体験ゼミの背景には、そのサンプスギをバイオマス発電の燃料として活用する取り組みがあります。これは自明の負の遺産とちゃんと向き合う取り組みとして評価することができます。使い道が無いサンプスギも燃やせば発電の足しになります。バイオマス発電が動いていることの重要性を垣間見る思いがします。

皆伐した跡地をどうするか？

また、スギを植える？

スギが余っていることは上述した通りです。

同じサンプスギを植えれば、また溝腐れ病を患う可能性があります。

あなたなら、もう一度スギを植えますか？

今回は皆さんに早生樹ユーカリ植栽に参加してもらうことにしました。

スギ・ヒノキではなく

ドングリを着けるコナラ・クヌギでもなく

ユーカリを植えるということが、どういうことであるか、是非、じっくりと考える機会にしてください。

持続可能なゴールが見えるでしょうか？

積極的に活動に取組む姿勢を最重視する。加えて事後レポートの内容で評価する。

教科書は使用しない。/Will not use textbook

第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time

成績評価方法

教科書

ガイダンス

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60228	A 2	続伊豆に学ぶ イノシシソーセージ作りは考える きっかけを与えてくれる	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>【注意】本ゼミは対面で実施します。リモート受講はできません。</p> <p>皆さんは外を歩いている時にイノシシに出会ったことがあるでしょうか？</p> <p>東京に暮らしていると野生の獣、特に大型の獣に出会う機会はほとんどないと思います。ニュースや新聞で、地方都市にクマやイノシシの出現が報じられても、どこか他人ごとになってしまいがちではないでしょうか。</p> <p>地方に暮らす人にとって、獣は身近な存在であり、自分の生活を直に脅かす存在です。</p> <p>一方、大都市の中心地に暮らす人は、野生の獣に接する機会はないので、恐怖を感じることもありませんし、明日収穫しようと思っていた野菜を野生獣に食べられ続けることもありません。そういう生活をしていれば、野生獣に苦しめられている人の気持ちを理解しにくいかも知れません。殺処分と聞けば、嫌悪感をいだくかも知れません。</p> <p>私たち現代人はとても複雑な仕組みの中で暮らしています。複雑であることから、多くのことに自分の目を向けることを諦めてしまいがちです。なぜならば、逐一のことに拘泥する「暇」がないからです。</p> <p>自分の常識が通用しない世界があること、そんなことは当たり前でしょうと言うかもしれませんが、知らず知らずの内に、常識に似ているかも知れないステレオタイプによって雁字搦めになってはいないでしょうか。</p> <p>この講義は南伊豆でイノシシソーセージ作りを教えてもらったり、くくり罠作りを教えてもらったりしながら、南伊豆の人が吸う同じ空気を吸うことから始めて徐々にその土地への理解を深めていただきたい。</p> <p>イノシシソーセージが語り掛けて来るまで、かすかな声を聴き分けられるまで、ゆっくりとじっくりと時間を過ごしてみたいかでしょうか。</p>					
成績評価方法		<p>積極的に活動に取組む姿勢を最重視する。</p> <p>加えて事後レポートの内容で評価する。</p>					
教科書 ガイダンス		<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>特定日に行う。／Will conduct guidance at another time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60229	A 2	続伊豆に学ぶ 林業体験から見えるコト 薪はただのエネルギーではない。 味のあるエネルギーなのだ	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>【注意】本ゼミは対面で実施します。リモート受講はできません。</p> <p>私たち現代人はとても複雑な仕組みの中で暮らしています。複雑であることから、多くのことに自分の目を向けることを諦めてしまいがちです。なぜならば、逐一のことに拘泥する「暇」がないからです。(ただし、本当にそういう暇がないのかと言えば、かなり疑わしいところではあります。)</p> <p>そして、あふれる情報。情報が多くと一つ一つ吟味しては、情報処理が間に合いません。そこで、ステレオタイプが幅を利かせることになります。符号化するステレオタイプは便利です。もともとは考える時間の節約だったので、度を過ぎて、節約どころか、「根本原理」的なものになっていないでしょうか。</p> <p>本ゼミの主宰は今年伊豆を離れ、秩父に異動しました。本ゼミは、南伊豆町の林業会社の方々に支えられて成り立つプログラムですので、旧態を踏襲して続けます。</p> <p>このAセメスタから新体制の「伊豆に学ぶ」が始まります。</p> <p>それと区別できるように本ゼミは「続」を冠して「続伊豆に学ぶ」というタイトルにしました。</p> <p>なぜ、林業を考えてもらいたいのか。</p> <p>日本の国土の2/3は森林で覆われている。その森林面積のおよそ40%が人工林です。</p> <p>人工林は管理を続けることを前提としたデザインで植えられているため、放置すると荒れ放題となってしまうやすい。</p> <p>国土面積の4分の1ほどの人工林の管理をどうすることができるのか？</p> <p>このような話の流れの中で、日本社会は林業を手放してよいのだろうか？</p> <p>君たちが自分から「日本林業をどうすればよいのか？」などと考える機会はない(・なかった)と思う。この授業の目標は、受講生に「日本林業のこと・日本林業再生のことを考えないでは済まないのだ」という理解・合意に達してもらうこと。</p> <p>それを押し付けるものではないけれど、「考えないで済む」ことを合理的に説明ができるのであれば、是非伺わせてもらいたい。</p> <p>合理的に説明できないのであれば、是非日本林業の今後のことを考えてみて欲しい。</p>					
成績評価方法		<p>積極的に活動に取組む姿勢を最重視する。</p> <p>加えて事後レポートの内容で評価する。</p>					
教科書 ガイダンス		<p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60230	A 2	続伊豆に学ぶ 伝統工芸を守る意義とは 伝統工芸は人が自然と向き合った 営みが詰まっている	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>【注意】本ゼミはたたら製鉄・刀剣の里である岡山県を訪ねます。研磨炭焼き体験を基に考察するゼミですので、リモート受講はできません。</p> <p>伝統工芸の価値とはいったいどの様なものなのでしょう。美術的な価値でしょうか、あるいは希少性に由来する類の価値でしょうか。</p> <p>このゼミでは、長い歴史の中で培われてきた土地土地での人の営みを顧みたり、人がどの様に自然に向き合い活用してきたかを今に伝えたりする価値（≒意義）があると考えています。手に入れられるモノが、質・量ともに少なかった中で、使えるものを徹底的に工夫して、最大限に活用する（素材のところを最大限に引き出す）技が蓄積していったのでしょう。技が受け継がれ、その技の対象と成るモノがしっかりと供給されて、初めて伝統工芸が守られることとなります。それらがしっかりと守られることによって、現代社会が見落としがちのことに意識を向ける絶好の仕掛けとして機能するのではないかと期待します。</p> <p>このゼミで着目する駿河炭は、いわゆる伝統工芸品そのものではありません。駿河炭は伝統工芸に欠かせない研磨炭で、明治期に漆器製造が盛んであった静岡県（駿河）でアブラギリの炭が焼かれ研磨炭に用いられたという経緯があります。現在、駿河炭は駿河では焼かれておらず、福井県と岡山県で焼かれています。</p> <p>駿河炭には、ニホンアブラギリ資源の枯渇という持続可能性の面で問題がありました。アブラギリはかつて桐油（乾性油）を得るために栽培され、明治初期は福井県や島根県が主要な産地でした。今も福井で駿河炭が焼かれているのは、資源量が多かったからと言えそうです。今は、それも底をつきつつあります。</p> <p>木材の塗装や紙に撥水性を付与する用途のために桐油が使われましたが、石油由来の製品にとって代われ、今ではアブラギリを栽培することはなくなりました。ということは、現状で何もしなければ、アブラギリ資源は回復を見込めないということになります。東大演習林は、アブラギリ資源を絶やさない施業の仕方に取り組んでいて、それも伝統工芸を守る重要な役割の一つであると考えています。</p> <p>駿河炭は漆器表面の研磨に欠かせない研磨炭であるが、そのことはあまり知られていない。漆器と言えば、ウルシ（植物）や漆掻きや塗師の重要さは誰でも知っているが、研磨炭は漆器の仕上がりを左右するというのにその重要性が知られていないのはどうしたことであろう。</p> <p>本ゼミでは日本刀の聖地のひとつ岡山県長船を訪ねます。刀工集団「福岡一文字派」が活躍した備前国福岡の地。現在の長閑な雰囲気と、かつて武器製造拠点であったという史実に大きな隔たりを感じるのでしょうか、それとも蓋然性のようなものを感じるのでしょうか。自然と人の繋がり 文化</p> <p>積極的に活動に取り組む姿勢を最重視する。加えて事後レポートの内容で評価する。</p> <p>成績評価方法 教科書 ガイダンス</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60231	A 2	森に学ぶ 森林・林業を意識する低山歩き A_1 (低山ゼミ)	鴨田 重裕、 平尾 聡秀	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この体験ゼミは森林・林業を意識するために現地に足を運ぶスタイルをとるため、対面受講できる学生のみが受講することができます。オンライン受講はできないのでご注意ください。逆に、山歩きなら簡単に済むだろうという志望動機の方にも不向きなゼミです。

歩くことは必須ですが、歩いて終わりというゼミではありません。

【注意】このゼミは歩くことが億劫でない限り、誰でも参加することができます。山野に興味ある人に、安全に山を楽しむながら山林の現状を知ってもらうと同時に、山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらうために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。ゆっくり歩いて時間を過ごすことを東大生はあまり得意としないように見受けられます。この機会に極上の時間の過ごし方を身につけられてはいかがでしょうか。

【注意】A1ターム「森に学ぶ_林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩き A (秩父ゼミ)」、A2タームに「森に学ぶ 森林・林業を意識する低山歩き A (低山ゼミ)」を行います。これらは別のゼミで重複履修可能です。行き先が異なり、見えて来るものも違うでしょうし、巡らせる志向にも違いが現れると思います。A2タームは厳冬期に当たるので秩父奥山にはお連れせず、低山歩きをすることにします。秩父ゼミでも低山ゼミでも秩父演習林の宿泊施設に泊まり、しっかりと山行を振り返り、各人の意見を交換する機会を設定します。

日本の国土は7割近くが森林に覆われていることをあなたは当然ご存じのはずですが、その7割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、あなたは考えてみたことはありますか？

山林のことは林業関係者に任せておけば良いでしょうか？ 自分はそういう方面に就業しないから考えなくても良いのでしょうか？ 人任せ、あるいは誰かの考えに盲従していても、国土が取り返しのつかないことになる心配はないと思えますか？

いま現在、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。

日本の林業は外国に比べてコスト高であるため、儲けを出しにくいと言われてます。儲からない産業には資本が投下されにくい（資本主義から見放される）。すべてを資本主義的な価値観で判断するのであれば、日本の山林は放置するのが最も合理的であるということになりかねません。しかし、その判断はあくまでも資本を投下して、その投下に見合った回収を期待できるかどうかという価値観によるものに過ぎません。現状を放置すると、例えば獣が増えて植生を壊滅させることが起こり得ます。植生を失うと、豊かであった土壌が簡単に流亡することになります。土壌の流亡は規模を増したときには、大規模に近辺の植生もろとも土石を下流に押し流してしまうこともあるでしょう。その様な時、下流の人の営みに甚大な影響が出ないかと考えることには無理があります。災害ばかりではありません、豊かな土壌を失うことは、生産性を失うことと同義です。一度失うと、簡単に取り戻すことはできません。

あなたはハイキングや山野を歩くことが好きでしょうか（好きになりそうでしょうか）。

このゼミでは東京近郊の身近な山と、奥秩父のあまり人が訪れない山を歩きます。林業を意識しながら歩いたり、目の前の森林の来し方行く末を思いながら山を歩いたりする機会を提供することを目的とする講義です。自然豊かな秩父の山の奥の方と、人里に近い低山とを歩き比べてみましょう。どちらが自分好みか、優劣をつける様な価値を持ち込みがちですが、ここは是非両方の良さを知る機会にさせていただきたいと思います。（低山ゼミでは奥秩父には参りません）森林・林業を意識する？

山歩きはとても気持ちいいものです。色々なことをくよくよ考えたり、せわしなく過ごしたりしがちな日常生活から距離をとる。山歩きをしているその瞬間は、日常をすっかり忘れて、ただ歩くことだけに気持ちを向かわせることができます。それはそれでよいものです。

その様に無心に山野を歩くのも好いですが、このゼミでは森林を意識する・林業を意識するという視点を少し持って歩くことを提案します。意識を働かせることで見え方がグッと変わってくることを体験してもらいたい。そこで見えたコト・モノももちろん大切ですが、この体験ゼミでは自分の意識をコントロールすることで見えるコト・モノに変化が生じることを体験し、その体験の意味をしっかりと噛みしめていただきたいのです。このゼミで林業を自分で意識できるようになれば、いろいろなコト・モノに目を向ける姿勢を身につけることになるでしょう。

私たちが生きる現代社会の特徴

私たちが生きる現代社会は、いろいろなプロセスが見えづらい時代であると捉えることができます。構造が複雑になりブラックボックス化が進んでいることがその大きな要因の一つでしょう。しかし、それが原因だから仕方がないと片付けてしまえばそれまでです。複雑で忙しい日々を過ごすうちに、思考を節約して簡単に済ませる術を身に着けるという、いわば生活習慣によって観察できない状態・考えられない状態に追い込まれていると捉えることはできないでしょう。

このゼミでは忙しく歩くような山歩きはしません。まわりの植物をゆっくりと観察できるくらいの歩調で、時に立ち止りながら山林の中に身を置きます。ゆっくりと歩き、時に立ち止ることで見える量も質も大きく異なってきます。ブラックボックスに立ち向かうためにはゆっくりと思考する姿勢が何よりも大切になります（ゼミ中にたまに少しだけ先を急ぐことがあるかも知れませんが、そんな時はどうぞ笑って許してください）。

このゼミではたっぷりとその様なことを考えてもらいたい。

何か正解を見つけに山歩きをするわけではありません。知れば知るほど難しい問題になるのかも知れませんが、一つだけ正解がある様な問題とは限りません。よく考えてみることで、それ自体がこのゼミの目的と言えます。

手つかずの奥山の様子と資源利用を行う人工林と、両方を意識して歩いてみると何が見えて来るでしょうか。自分が何を感じたか、感じたことを出発点として何を考えたか。そして、それをどの様に自分の行動に落とし込んでいくことができるか。

感じる・考える・行動するのサイクルを回そう。これは伊豆ゼミシリーズにも共通する理念です。本ゼミをきっかけに、これらのゼミを母体とするコミュニティに残り、どう行動するか部分を大学生の内に何か一つでも実現できたならば、あなたの生き方が大きく変わるかも知れない。

本文中に「自然豊かな秩父の山」と表現しました。自然という響きは豊かな状態を想起すると思います。ここにもステレオタイプが忍び寄ります。

果たして、あなたのそのステレオタイプは正しいのか？

実際に秩父の山をご自身の目で見て確かめてみましょう。

講義の受講態度と事後レポートの内容により可否を判定します。

- ・レポート提出が無い場合は不合格になります。
- ・受講態度が本ゼミに相応しくないと判断された場合には改善を求めますので、指示に従ってください。
- ・レポートは内容により可否を判定します。大学生のレポートのレベルに達していると認められない場合は不可になることがあるのでご注意ください。
- ・山行の感想文の様なものはレポートとは認められません。
- ・無理な出席は推奨していません。そのため、欠席しても以下の様に単位を付けます。

51397「森に学ぶ__林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩き A_1」が1単位、
51398「森に学ぶ__林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩き A_2」が2単位になっています。
全ての日程に参加し、大学生のゼミレポートと認定されると「1ゼミ」「2ゼミ」計3単位を付けます。

2 山行+レポート合格の場合は「2ゼミ」に2単位を付けます。「1ゼミ」は欠席。

1 山行+レポート合格の場合は「1ゼミ」に1単位を付けます。「2ゼミ」は欠席。

教科書

ガイダンス

教科書は使用しない。／Will not use textbook

特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60232	A 2	森に学ぶ 森林・林業を意識する低山歩き A_2 (低山ゼミ)	鴨田 重裕、 平尾 聡秀	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この体験ゼミは森林・林業を意識するために現地に足を運ぶスタイルをとるため、対面受講できる学生のみが受講することができます。オンライン受講はできないのでご注意ください。逆に、山歩きなら簡単に済むだろうという志望動機の方にも不向きなゼミです。

歩くことは必須ですが、歩いて終わりというゼミではありません。

【注意】このゼミは歩くことが億劫でない限り、誰でも参加することができます。山野に興味ある人に、安全に山を楽しむながら山林の現状を知ってもらうと同時に、山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらうために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。

ゆっくり歩いて時間を過ごすことを東大生はあまり得意としないように見受けられます。この機会に極上の時間の過ごし方を身につけられてはいかがでしょうか。

【注意】A1ターム「森に学ぶ_林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩き A (秩父ゼミ)」、A2タームに「森に学ぶ_森林・林業を意識する低山歩き A (低山ゼミ)」

を行います。これらは別のゼミで重複履修可能です。行き先が異なり、見えて来るものも違うでしょうし、巡らせる志向にも違いが現れると思います。A2タームは厳冬期に当たるので秩父奥山にはお連れせず、低山歩きをすることにします。秩父ゼミでも低山ゼミでも秩父演習林の宿泊施設に泊まり、しっかりと山行を振り返り、各人の意見を交換する機会を設定します。

日本の国土は7割近くが森林に覆われていることをあなたは当然ご存じのはずですが、その7割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、あなたは考えてみたことはありますか？

山林のことは林業関係者に任せておけば良いでしょうか？ 自分はそういう方面に就業しないから考えなくても良いのでしょうか？ 人任せ、あるいは誰かの考えに盲従していても、国土が取り返しのつかないことになる心配はないと思えますか？

いま現在、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。

日本の林業は外国に比べてコスト高であるため、儲けを出しにくいと言われていました。儲からない産業には資本が投下されにくい（資本主義から見放される）。すべてを資本主義的な価値観で判断するのであれば、日本の山林は放置するのが最も合理的であるということになりかねません。しかし、その判断はあくまでも資本を投下して、その投下に見合った回収を期待できるかどうかという価値観によるものに過ぎません。現状を放置すると、例えば獣が増えて植生を壊滅させることが起こり得ます。植生を失うと、豊かであった土壌が簡単に流亡することになります。土壌の流亡は規模を増したときには、大規模に近辺の植生もろとも土石を下流に押し流してしまうこともあるでしょう。その様な時、下流の人の営みに甚大な影響が出ないかと考えることには無理があります。災害ばかりではありません、豊かな土壌を失うことは、生産性を失うことと同義です。一度失うと、簡単に取り戻すことはできません。

あなたはハイキングや山野を歩くことが好きでしょうか（好きになりそうでしょうか）。

このゼミでは東京近郊の身近な山と、奥秩父のあまり人が訪れない山を歩きます。林業を意識しながら歩いたり、目の前の森林の来し方行く末を思いながら山を歩いたりする機会を提供することを目的とする講義です。自然豊かな秩父の山の奥の方と、人里に近い低山とを歩き比べてみましょう。どちらが自分好みか、優劣をつける様な価値を持ち込みがちですが、ここは是非両方の良さを知る機会にさせていただきたいと思います。（低山ゼミでは奥秩父には参りません）森林・林業を意識する？

山歩きはとても気持ちいいものです。色々なことをくよくよ考えたり、せわしなく過ごしたりしがちな日常生活から距離をとる。山歩きをしているその瞬間は、日常をすっかり忘れて、ただ歩くことだけに気持ちを向かわせることができます。それはそれでよいものです。

その様に無心に山野を歩くのも好いですが、このゼミでは森林を意識する・林業を意識するという視点を少し持って歩くことを提案します。意識を働かせることで見え方がグッと変わってくることを体験してもらいたい。そこで見えたコト・モノももちろん大切ですが、この体験ゼミでは自分の意識をコントロールすることで見えるコト・モノに変化が生じることを体験し、その体験の意味をしっかりと噛みしめていただきたいのです。このゼミで林業を自分で意識できるようになれば、いろいろなコト・モノに目を向ける姿勢を身につけることになるでしょう。

私たちが生きる現代社会の特徴

私たちが生きる現代社会は、いろいろなプロセスが見えづらい時代であると捉えることができます。構造が複雑になりブラックボックス化が進んでいることがその大きな要因の一つでしょう。しかし、それが原因だから仕方がないと片付けてしまえばそれまでです。複雑で忙しい日々を過ごすうちに、思考を節約して簡単に済ませる術を身につけるという、いわば生活習慣によって観察できない状態・考えられない状態に追い込まれていると捉えることはできないでしょうか。

このゼミでは忙しく歩くような山歩きはしません。まわりの植物をゆっくりと観察できるくらいの歩調で、時に立ち止りながら山林の中に身を置きます。ゆっくりと歩き、時に立ち止ることで見える量も質も大きく異なってきます。ブラックボックスに立ち向かうためにはゆっくりと思考する姿勢が何よりも大切になります（ゼミ中にたまに少しだけ先を急ぐことがあるかも知れませんが、そんな時はどうぞ笑って許してください）。

このゼミではたっぷりとその様なことを考えてもらいたい。

何か正解を見つけに山歩きをするわけではありません。知れば知るほど難しい問題になるのかも知れませんが、一つだけ正解がある様な問題とは限りません。よく考えてみることで、それ自体がこのゼミの目的と言えます。

手つかずの奥山の様子と資源利用を行う人工林と、両方を意識して歩いてみると何が見えて来るでしょうか。自分が何を感じたか、感じたことを出発点として何を考えたか。そして、それをどの様に自分の行動に落とし込んでいくことができるか。

感じる・考える・行動するのサイクルを回そう。これは伊豆ゼミシリーズにも共通する理念です。本ゼミをきっかけに、これらのゼミを母体とするコミュニティに残り、どう行動するか部分を大学生の内に何か一つでも実現できたならば、あなたの生き方が大きく変わるかも知れない。

本文中に「自然豊かな秩父の山」と表現しました。自然という響きは豊かな状態を想起すると思います。ここにもステレオタイプが忍び寄ります。

果たして、あなたのそのステレオタイプは正しいのか？

実際に秩父の山をご自身の目で見て確かめてみましょう。

全学体験ゼミナール

成績評価方法

講義の受講態度と事後レポートの内容により合否を判定します。

- ・レポート提出が無い場合は不合格になります。
- ・受講態度が本ゼミに相応しくないと判断された場合には改善を求めますので、指示に従ってください。
- ・レポートは内容により合否を判定します。大学生のレポートのレベルに達していると認められない場合は不可になることがあるのでご注意ください。
- ・山行の感想文の様なものはレポートとは認められません。
- ・無理な出席は推奨していません。そのため、欠席しても以下の様に単位を付けます。

51397「森に学ぶ__林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩き A_1」が1単位、

51398「森に学ぶ__林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩き A_2」が2単位になっています。

全ての日程に参加し、大学生のゼミレポートと認定されると「1ゼミ」「2ゼミ」計3単位を付けます。

2山行+レポート合格の場合は「2ゼミ」に2単位を付けます。「1ゼミ」は欠席。

1山行+レポート合格の場合は「1ゼミ」に1単位を付けます。「2ゼミ」は欠席。

教科書

教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス

特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60235	A 2	柏キャンパスサイエンスキャンプI ・物理と数学による宇宙研究コース (カブリ数物連携宇宙研究機構) ・宇宙コース (宇宙線研究所)	伊藤 耕一	新領域創成科学 研究科	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【Note】今年度は英語のみで行うプログラムが含まれます。英語プログラムは以下の Web サイトも参照してください。 (This academic year includes courses that contain programs conducted entirely in English. For English programs, please also refer to the following website: URL: https://drive.google.com/file/d/1_vPzo8PmuMSTfISs5MoLZEXTK11jYF0H</p> <p>【Note2】【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。(Please be aware that due to the course schedule, the grades for this course may not be reflected in the requirements for completion. Exercise caution when enrolling in this course.)</p> <p>本科目は、本学柏キャンパスの先端研究部局における「知の冒険の現場」を、ウィンタープログラムとして3泊4日にわたり集中的に体験する「柏キャンパスサイエンスキャンプ(以下、KSC)」(ホームページ:https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp)のひとつであり、将来の研究者としての基礎トレーニングを積むことを目的としています。 (宿泊は柏キャンパス、神岡宇宙素粒子研究施設近隣の宿泊施設(基本的に2名1室)を利用、宿泊費用は大学が負担)情報が随時アップデートされますので、KSC ホームページを参照してください。</p> <p>KSC では、4名程度の小グループで行われる研究室体験活動を通じて、柏キャンパスの研究室あるいは神岡宇宙素粒子研究施設で実際に最先端の研究を体験します。最終日には研究室体験活動の成果発表会を行います。研究テーマは多岐にわたり、世界トップレベルの教員のもと、普段の授業では体験できない「研究者」としての自分を発見する新しい世界へ誘います。また、本科目をサポートする研究室の大学院生や若手研究員、海外研究者との交流を通じて、今後の「研究者という人生」を考える絶好の機会が提供されます。</p> <p>KSC は開催期間別に I-IV まであり、開催期間の異なるコース 2 つまで履修可能です。ただし履修人数には上限があります。</p> <p>【ガイダンスとエントリー登録 (Guidance and Application Registration)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月3日(木) 6限(18:45-)に KSC2024 のガイダンス(Zoom オンライン)を開催します。ガイダンス参加は KSC のホームページから申込みできます。(A guidance session (Zoom online) for KSC2024 will be held on Thursday, October 3rd, during the 6th period (6:45 PM-). You can apply to participate in the guidance session through the KSC website.) ・履修希望者は KSC のホームページにある応募フォームで必ず履修登録前にエントリーして下さい。エントリー期限は「2024年10月7日(月)午前10時」です。エントリー後、KSC 事務局から確定者にはご連絡をしますので UTAS で履修登録を行ってまいります。(Students who wish to enroll in this course must first apply through the application form on the KSC website before course registration. The application deadline is Monday, October 7, 2024, 10:00 AM. After applying, the KSC office will contact successful applicants to proceed with course registration on UTAS.) <p>【物理と数学による宇宙研究コース (6プログラム)】対象：科類問わず 理科・文科</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ミリ波で観る宇宙の始まり」松村知岳 准教授 2. 「素粒子を見る技術」樋口岳雄 教授 3. 「いけばなと数学」伊藤由佳理 教授 4. 「量子コンピューターで遊んでみよう」山崎雅人 教授 5. 「ジェイムズ・ウェッブ望遠鏡 (JWST) で観る遠方銀河 (Observing Distant Galaxies with the James Webb Space Telescope (JWST))」Language: English 使用言語: 英語 John Silverman 教授 6. 「生まれたての星と銀河をみてみよう (Observations of forming stars and galaxies in the Cosmos)」Language: English 使用言語: 英語 Kheec-Gan Lee 特任講師 <p>【宇宙コース (4プログラム)】対象：理科学生のみ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「最高エネルギー宇宙線の起源を探る」塚隆志 准教授 2. 「神岡地下で触れるニュートリノ研究の最前線(神岡宇宙素粒子研究施設)」早戸良成 准教授 3. 「マイケルソン干渉計を利用した重力波検出の原理(神岡宇宙素粒子研究施設)」宮川治 准教授 4. 「高エネルギーガンマ線望遠鏡で見る極限宇宙」窪秀利 教授 					
成績評価方法		担当教員による研究室体験活動の評価と成果発表会の評価による。(Evaluation will be based on the research experience activity assessment by the instructor and the final presentation assessment.)					
教科書		教科書は使用しない。/ Will not use textbook					
ガイダンス		特定日に行う。/ Will conduct guidance at another time					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60236	A 2	【講義題目】 柏キャンパスサイエンスキャンプII ・生研コース（生産技術研究所） ・生命コース（新領域創成科学研究科・生命科学研究所）	伊藤 耕一	新領域創成科学研究科	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【授業の目標、概要】</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>本科目は、本学柏キャンパスの先端研究部局における「知の冒険の現場」を、ウィンタープログラムとして3泊4日にわたり集中的に体験する「柏キャンパスサイエンスキャンプ(以下、KSC)」(ホームページ:https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp)のひとつであり、将来の研究者としての基礎トレーニングを積むことを目的としています。</p> <p>(宿泊は柏キャンパス近隣の宿泊施設(基本的に2名1室)を利用、宿泊費用は大学が負担)</p> <p>情報が随時アップデートされますので、上記 URL を参照してください。</p> <p>KSCでは、4名程度の小グループで行われる研究室体験活動では、柏キャンパスの研究室で実際に最先端の研究を体験します。最終日には研究室体験活動の成果発表会を行います。研究テーマは多岐にわたり、世界トップレベルの教員のもと、普通の授業では体験できない「研究者」としての自分を発見する新しい世界へ誘います。また、本科目をサポートする研究室の大学院生や若手研究員、海外研究者との交流を通じて、今後の「研究者という人生」を考える絶好の機会が提供されます。</p> <p>KSCは開催期間別にI-IVまであり、開催期間の異なるコース2つまで履修可能です。ただし履修人数には上限があります。</p> <p>【ガイダンスとエントリー登録】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月3日(木)6限(18:45-)にKSC2024のガイダンス(Zoom オンライン)を開催します。ガイダンス参加はKSCのホームページから申込みできます。 ・履修希望者はKSCのホームページにある応募フォームで必ず履修登録前にエントリーして下さい。エントリー期限は「2024年10月7日(月)午前10時」です。エントリー後、KSC事務局から確定者にはご連絡をしますのでUTASで履修登録を行ってまいります。 <p>【生研コース(5プログラム)】対象：理科・文科(プログラム1は理科のみ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.「物性理論物理のフロンティア」(理科学生のみ対象)羽田野直道 教授 2.「日本に降った雨は、いつどうやってブラジルに到着するのか」芳村圭 教授・吉兼隆生 特任准教授 3.「シミュレーションで琵琶湖の環境を予測してみよう」北澤大輔 教授 4.「身の回りの金属の中をマイクロな視点から覗いてみよう」井上純哉 教授 5.「コンピュータはどうやって「ビッグデータ」を扱うのか?その基盤技術を体験しよう」合田和生 教授 <p>【生命コース(4プログラム)】対象：理科・文科(プログラム4は理科のみ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.「トゲウオから探る適応進化の分子遺伝機構」石川麻乃 准教授 2.「寒さへの適応能力に関するゲノム研究」中山一大 准教授 3.「植物木部道管細胞から学ぶ細胞分化のダイナミクス」大谷美沙都 教授 4.「性別決定の分子メカニズムとその人為操作」(理科学生のみ対象)鈴木雅京 准教授 <p>担当教員による研究室体験活動の評価と成果発表会の評価による。</p> <p>成績評価方法 教科書 ガイダンス</p> <p>教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60237	A 2	柏キャンパスサイエンスキャンプIII ・大気と海洋コース（大気海洋研究所） ・エネルギーとマテリアルコース(新領域 創成科学研究科・基盤科学研究系)	伊藤 耕一	新領域創成 科学研究科	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【授業の目標、概要】</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。本科目は、本学柏キャンパスの先端研究部局における「知の冒険の現場」を、ウィンタープログラムとして3泊4日にわたり集中的に体験する「柏キャンパスサイエンスキャンプ(以下、KSC)」(ホームページ:https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp)のひとつであり、将来の研究者としての基礎トレーニングを積むことを目的としています。(宿泊は柏キャンパス近隣の宿泊施設(基本的に2名1室)を利用、宿泊費用は大学が負担)情報が随時アップデートされますので、上記 URL を参照してください。</p> <p>KSCでは、4名程度の小グループで行われる研究室体験活動を通じて、柏キャンパスの研究室で実際に最先端の研究を体験します。最終日には研究室体験活動の成果発表会を行います。研究テーマは多岐にわたり、世界トップレベルの教員のもと、普段の授業では体験できない「研究者」としての自分を発見する新しい世界へ誘います。また、本科目をサポートする研究室の大学院生や若手研究員、海外研究者との交流を通じて、今後の「研究者という人生」を考える絶好の機会が提供されます。</p> <p>KSCは開催期間別にI-IVまであり、開催期間の異なるコース2つまで履修可能です。ただし履修人数には上限があります。</p> <p>【ガイダンスとエントリー登録】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月3日(木)6限(18:45-)にKSC2024のガイダンス(Zoom オンライン)を開催します。ガイダンス参加はKSCのホームページから申込みできます。 ・履修希望者はKSCのホームページにある応募フォームで必ず履修登録前にエントリーして下さい。エントリー期限は「2024年10月7日(月)午前10時」です。エントリー後、KSC事務局から確定者にはご連絡をしますのでUTASで履修登録を行ってまいります。 <p>【大気と海洋コース(5プログラム)】対象：理科・文科</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「人工衛星データを用いて地球環境を調べてみよう」今須良一 教授 2. 「南極海の石から探る変動する地球の姿」山口飛鳥 准教授 3. 「バイオリギングで調べる海洋動物の行動と生態」坂本健太郎 准教授 4. 「未知なる海の動物プランクトンの多様性を探索しよう」平井惇也 講師 5. 「DNAから探るサンゴ礁生態系の謎」新里宙也 准教授 <p>【エネルギーとマテリアルコース(5プログラム)】対象：理科・文科(プログラム4は理科のみ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「超伝導で体験する量子物性の世界」芝内孝禎 教授・橋本頭一郎 准教授 2. 「形状記憶合金の不思議」御手洗容子 教授 3. 「走行中給電を体験しよう」藤本博志 教授・清水修 准教授 4. 「大型風洞を使って学ぶ超音速ジェットの流れ力学」(理科学生のみ対象) 岡本光司 准教授 5. 「核融合プラズマを電磁波で測ろう」辻井直人 准教授 <p>成績評価方法 教科書 ガイダンス</p> <p>担当教員による研究室体験活動の評価と成果発表会の評価による。 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance</p>					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60238	A 2	柏キャンパスサイエンスキャンプIV ・物性コース（物性研究所） ・環境コース(新領域創成科学研究科・環境学研究系) ・サステイナブル政策コース（サステイナブル社会デザインセンター）	伊藤 耕一	新領域創成科学研究科	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【授業の目標、概要】

【Note】今年度は英語のみで行うプログラムが含まれます。英語プログラムは以下の Web サイトも参照してください。
 (This academic year includes courses that contain programs conducted entirely in English. For English programs, please also refer to the following website:

URL: https://drive.google.com/file/d/1_vPzo8PmuMSTfISs5MoLZEXTK11jYF0H

【Note2】【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。(Please be aware that due to the course schedule, the grades for this course may not be reflected in the requirements for completion. Exercise caution when enrolling in this course.)

本科目は、本学柏キャンパスの先端研究部局における「知の冒険の現場」を、ウィンタープログラムとして3泊4日にわたり集中的に体験する「柏キャンパスサイエンスキャンプ(以下、KSC)」(ホームページ:<https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp>)のひとつであり、将来の研究者としての基礎トレーニングを積むことを目的としています。
 (宿泊は柏キャンパス近隣の宿泊施設(基本的に2名1室)を利用、宿泊費用は大学が負担)
 情報が随時アップデートされますので、KSC ホームページを参照してください。

KSCでは、4名程度の小グループで行われる研究室体験活動を通じて、柏キャンパスの研究室で実際に最先端の研究を体験します。最終日には研究室体験活動の成果発表会を行います。研究テーマは多岐にわたり、世界トップレベルの教員のもと、普段の授業では体験できない「研究者」としての自分を発見する新しい世界へ誘います。また、本科目をサポートする研究室の大学院生や若手研究員、海外研究者との交流を通じて、今後の「研究者という人生」を考える絶好の機会が提供されます。

KSCは開催期間別にI-IVまであり、開催期間の異なるコース2つまで履修可能です。ただし履修人数には上限があります。

【ガイダンスとエントリー登録 (Guidance and Application Registration)】

・10月3日(木)6限(18:45-)にKSC2024のガイダンス(Zoom オンライン)を開催します。ガイダンス参加はKSCのホームページから申込みできます。(A guidance session (Zoom online) for KSC2024 will be held on Thursday, October 3rd, during the 6th period (6:45 PM-). You can apply to participate in the guidance session through the KSC website.)

・履修希望者はKSCのホームページにある応募フォームで必ず履修登録前にエントリーして下さい。エントリー期限は「2024年10月7日(月)午前10時」です。エントリー後、KSC事務局から確定者にはご連絡をします。UTASで履修登録を行っていただきます。(Students who wish to enroll in this course must first apply through the application form on the KSC website before course registration. The application deadline is Monday, October 7, 2024, 10:00 AM. After applying, the KSC office will contact successful applicants to proceed with course registration on UTAS.)

【物性コース (5プログラム)】対象：理科・文科

1. 「走査トンネル顕微鏡で探るナノの世界」長谷川幸雄 教授
2. 「原子数層のシート状物質で量子現象を見てみよう」井手上敏也 准教授
3. 「量子スピンとエンタングルメント」(※理科の学生と同等以上の数学・物理の予備知識があれば文科可。)押川正毅 教授

4. 「理論研究を体験：フロッケ・エンジニアリングで新現象を発見しよう！」岡隆史 教授

5. 「モータータンパク質の運動を見よう！」林久美子 教授

【環境コース (4プログラム)】対象：理科・文科

1. 「カーボンニュートラル国際海運システムのデザイン」稗方和夫 教授・中島拓也 助教
2. 「CO2を捕まえよう」伊與木健太 准教授
3. 「音と技術が紡ぎだす 森と人の将来像」中村和彦 講師
4. 「海岸の波の運動をシミュレーションしてみよう」(物理、数学、プログラミング、のいずれかに興味があれば文科可) 奥田洋司 教授・松永拓也 講師

【サステイナブル政策コース (4プログラム)】対象：科類問わず 理科・文科

1. 「共同で漁業資源を管理する：宮城県南三陸町の事例から」石原広江准教授・福永真弓准教授
2. 「グローバルヘルスと生活習慣病：カンボジアの糖尿病対策を評価してみよう」齋藤英子 准教授・笹山桐子 特任研究員
3. 「Multidisciplinary Perspectives on Carbon Neutrality: Justice, Ethics, and Technology」Language: English 使用言語：英語 張潤森 准教授・Naw Thiri, May Aye 助教・Layna Droz 助教
4. 「複合的危機って何だろう？：気候変動対策と資源利用から学ぶ」脇岡靖明 客員教授・藤井実 客員教授・中島謙一 客員教授

成績評価方法

担当教員による研究室体験活動の評価と成果発表会の評価による。(Evaluation will be based on the research experience activity assessment by the instructor and the final presentation assessment.)

教科書

教科書は使用しない。/ Will not use textbook

ガイダンス

特定日に行う。/ Will conduct guidance at another time

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60239	A 2	 身近な生命科学実習 ／ Molecular Biology in our daily lives	鹿島 勲	教養教育高度化機構	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。

- * 対面授業に参加可能な学生のみ履修を制限
- * 実験三昧・研究室体験
- * 少人数制
- * 生命科学分子生物学実験入門編
- * 体験を通じた“考えるトレーニング”

この授業では、分子生物学の入門編に相当する実験体験を、実質6日間の集中講義で開講します。特色は、文理の垣根を越えた少人数制、可能な限り個別最適なプログラムになるような授業デザインになっています。実習は、大きく分けて2つのパートに分けることができます。前半のAパートは、共通課題としてマグロ属魚類の魚種類判別実験を通じて、基礎的なスキルと、考え方を身に着けます。後半のBパートでは、前半で学習した内容を活用し、自由課題に取り組みます。最終日は、各自の取り組んだ内容をラボミーティング形式で発表を行います。

A パート

基礎的な実験スキルと考え方の習得

マグロの切り身の味や形状からその種別を判別・評価することは、魚の専門家でない限り極めて難しい。では、どうすれば誰でも正確に再現的にマグロの種別を判別できるであろうか？

本実習では、分子生物学的手法を用いたマグロ属に属する魚の種別判別実験の体験を通じて、1. 基礎的な実験スキル・考察方法習得、2. ニュースなどでもよく出てくるDNA、PCRといった生命科学用語・技術の理解を目的とする。

【実習の流れ】

- ① 本実習内容の説明
- ② マグロからDNA抽出
- ③ 遺伝子増幅法(PCR法)によるDNAの増幅とDNA配列特異的切断酵素による切断
- ④ DNA断片を電気泳動により分離して検出
- ⑤ 得られたDNAのパターンからマグロの種別判別
- ⑥ サンガーシーケンス解析によるマグロの種別判別
- ⑦ 結果に関する発表および、ディスカッション

B パート

自由課題を通じた“考えるトレーニング”

上記の既定の作業に加え、参加している学生各自の学習到達度・実験の進行度合いに個別に対応し、初心者でも理解可能なシンプルな課題を個人/グループに随時与える。Web検索、過去のプリント集、生成AIを利用しても、答えは簡単には見つからない。各自/グループは、実験を自らデザインして各種の検討を行う必要もある。規定の実習の作業内容に追加するこの“考えるトレーニング”、答えが確定していない課題に挑戦する体験、楽しみながら実習に取り組んで欲しい。

【ガイダンス】

下記の履修登録希望届フォームへアクセス、本実習ホームページと合わせてガイダンス動画を閲覧し、履修を検討すること。履修には、人数、日程の調整が必要であるため、必ず下記のフォームを送信すること。

<https://forms.gle/E4jGCyjuPpQ7a8Uy7>

個別に対応が必要な場合は、メールでその旨ご連絡ください。

【実習実施日】

Day1 2025年2月12日(水) 13:00~18:00

Day2 2025年2月13日(木) 13:00~18:00

Day3 2025年2月17日(月) 13:00~18:00

Day4 2025年2月19日(水) 13:00~18:00

Day5 2025年2月20日(木) 13:00~18:00

◎Day6 2025年2月25日(火) 13:00~18:00

上記の実習実施日のスケジュールで原則開講。*は、個別指導のため二度開催するので、どちらかの日程に参加する。

◎は発表会、必ず出席する必要がある。定期試験や個別の事情により、実習実施日に参加できない学生は、必ず事前にその旨を連絡すること。相談の上、予備日から振替をすることが可能な場合がある。

【問い合わせ先】

 kashima+MolBioDailyLife@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

====En====

- ・ Restricted to students who can attend face-to-face classes
- ・ Introduction to Molecular Biology Experiments
- ・ Numerous experiments & "critical thinking training"

This course is a six-day intensive programme that provides an experimental experience equivalent to an introduction to molecular biology. The course features small class sizes that bridge the gap between the humanities and sciences, and a class design that is highly individualised to create the best possible programme. The practical training is divided into two main parts. In the first half, Part A, participants will learn basic techniques and concepts through experiments to identify fish species of the genus Tuna as a common subject. In the second half, Part B, participants will work on independent assignments, building on what they learned in the

first half. On the last day of the course, participants will give a presentation in the style of a lab meeting.

🔗 #DIYbiology

Guidance

Participation in English will be handled individually to propose the best-individualised schedule and programme. For inquiries, please send an e-mail to the address below.

YouTube <https://youtu.be/9pwgg0QXijU>

✉ kashima+MolBioDailyLife@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

Schedule of the practical course

The lab will be open from Wednesday, 12 February, 2025, through Tuesday, 25 February, 2025. During this period, actual attendance for 6 days is required for credit; a lab meeting-style presentation will be held on February 25 for all participants.

成績評価方法

①出席、②実験ノートの提出、③課題の提出、④プレゼンテーションにより評価する。※安全管理上、レクチャーを受講しない学生は実験に参加することはできない。詳細は、ガイダンス時に確認すること。

===En===

Grading for this practical training will be done as follows. A grade of 80% or higher is required to pass the course and receive credit.

For safety reas

教科書

教科書は使用しない。 / Will not use textbook

ガイダンス

特定日に行う。 / Will conduct guidance at another time

「国際研修」の履修について

国際研修の各授業では、以下の共通目標が定められている。

異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現場を体験し、グローバルな視野を養う機会を得る。

授業内容としては、(1) 海外の学生との合同学習などを含む短期の海外研修、(2) 海外教育機関との海外での共同教育プログラム、(3) 海外の学生との日本国内での研修、(4) 海外の教育機関が提供するプログラムを利用した研修、といったさまざまな活動がある。そのような機会によって得られる成果が、主題科目の単位として認定される。

国際研修の受講にあたっては、海外渡航経験の有無は問わない。国際研修はむしろ、学生にとっては初めての海外経験を、後押しする科目である。進んで自分の視野を開こうとする、学生の積極的な参加姿勢がのぞまれる。

授業によっては、参加者の選抜を行ったり、ある水準以上の語学力を求めたりする場合がある。研修のため海外に渡航する前に事前講義が実施される授業や、他の科目の履修が条件とされる授業もある。履修科目登録期間後に選抜の結果が発表される授業もある。その場合は履修を希望する授業にまず登録し、選抜にもれた場合は履修科目確認・訂正期間に登録を削除すること。また、履修が許可された後から出発までの期間の履修の辞退は、担当教員に膨大な負担をかけることになるので、あらかじめ十分に授業内容、渡航に際する留意事項、費用を確認して履修登録すること（履修を取りやめることで学生個人に対して生じるキャンセル料は原則学生負担になる）。学生が負担する費用については、授業によって異なる。それぞれの授業のシラバスを参照し、ガイダンスに出席して説明を受けること。

※国際情勢・諸外国の動向により、例年と開講形態や研修内容等が大幅に変更になる可能性があるため、履修にあたっては必ず最新のシラバスを UTAS で確認すること。

国際研修

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60092	A 2	ケルン大学ドイツ語春季研修	速水 淑子	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>【注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、不開講、あるいはオンラインでの代替研修となる可能性が十分にあります。 ・この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。 ・「国際研修」科目では、異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現状を体験し、グローバルな視野を養う機会を得ることを目標とします。 <p>ケルン大学で約2週間ドイツ語集中講座を受講し、実践的なドイツ語能力習得を目指します。午前中は話す、聞く、書くを中心としたドイツ語集中コース、午後や週末はドイツ・ヨーロッパ事情の講義やワークショップ、ドイツの社会や文化に触れる研修等を行います。</p>					
成績評価方法	授業への積極的な参加と、帰国後のレポート（4000字程度）の提出、（メールによる提出）。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60093	A 2	TLP フランス語春季研修	藤岡 俊博 寺田 寅彦	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>【注意】2025年2月～3月に2週間程度、パリ市（フランス）、リヨン市（フランス）での研修実施を予定するものの、感染拡大状況次第でオンライン交流あるいは国内研修に切り替える（あるいは研修自体を中止する）ものとし、最終決定は遅くとも11月下旬を予定する。なお、場合によってはリヨン市（フランス）の代わりに、ブリュッセル市（ベルギー）とパリ市（フランス）の組み合わせになる可能性もある。選抜試験を11月上旬～12月上旬に実施予定。A2チームの履修確認訂正期間までに選抜が終わらない可能性があるため、履修確認訂正期間までに選抜が終わらなかった場合には選抜者決定次第、教務課で履修登録をする。したがって当初の履修登録期間にあらかじめ履修登録をすることはしないように注意すること。成績報告についてはプログラム終了次第、可能な限り速やかに行われるが、所定の成績確認日より後に登録・公開される見込みが高い。新型コロナウイルス感染症拡大のため不開講もしくはオンライン代替授業となる可能性が十分にある。</p> <p>【授業の目標、概要】予定ではパリ市（フランス）、リヨン市（フランス）でフランス語による発表を大学やフランス省庁で行いフランス語の運用能力を高め、学生交流や社会交流を行うことで高い国際感覚を養う。各国の学生と授業だけではなく各種催しを通じて交流の現場を体験し、また文化施設で異なる言語・文化の環境に触れてグローバルな視野を養う機会を得る取り組みを行う。場合によってはリヨン市（フランス）の代わりに、ブリュッセル市（ベルギー）とパリ市（フランス）の組み合わせになる可能性がある。</p>					
成績評価方法	研修への参加状況、研修後の提出物、現地での学習成果。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time					

国際研修

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60094	A 2	平和のために東大生ができること： 中央アジア研修	岡田 晃枝	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要 <p>■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。</p> <p>【注意 1】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>【注意 2】この国際研修の履修を希望する者は必ず 10/3 (木) 5 限に行われる全学自由研究ゼミナール「平和のために東大生ができること I」のガイダンスに参加し、A1 タームの同全学ゼミを履修してセレクションを受けること。セレクションに合格して国際研修を履修することになった者は、A2 ターム木曜 5 限に行われる全学ゼミ「平和のために東大生ができること II」を履修すること。</p> <p>【注意 3】国際情勢や渡航先の状況によって変更・中止の可能性がある。</p> <p>旧ソ連中央アジアの1国カザフスタンは、ソ連時代に数百回の核実験が行われたセミパラチンスク核実験場(1991年閉鎖)跡を国内に擁し、核軍縮分野でイニシアティブを発揮しており、この分野で日本と協働することも多い。一方で、国内では2022年1月に大きな暴動と政治変動を経験し、現在は関係の深いロシアのウクライナ侵攻によりさまざまな影響を受けている。</p> <p>この国際研修ではカザフスタンを訪問し、同国が直面している安全保障上の問題について現地で学ぶと同時に、持続可能な開発目標(SDGs)の目標16「平和と公正をすべての人に」をテーマに、現地学生と学び合い、議論してその成果をまとめる。</p> <p>事前準備としてA1ターム・A2タームを使って全学ゼミ(上記注意事項参照)で基礎的な知識を得てもらうほか、外務省や駐日カザフスタン大使館等での事前研修を予定している。</p> <p>渡航時期は3月上旬から中旬の約10日間である。</p> <p>*この国際研修のガイダンスは、A1ターム全学ゼミ「平和のために東大生ができること I」のガイダンスと同時に行う。10月3日(木)5限実施。希望者は必ず出席すること。</p>						
成績評価方法 研修準備への取組、研修中のコミットメント、研修後の報告書						
教科書 教科書は使用しない。/Will not use textbook						
ガイダンス 特定日に行う。/Will conduct guidance at another time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60095	A 2	国際研修 (台湾)	阿古 智子	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要 <p>■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>台湾にてフィールドワークを中心とする研修を行う(2月下旬~3月2週目の7泊8日になる予定)。A2に行われる事前講習にも必ず出席しなければならない。</p>						
成績評価方法 後日連絡する。						
教科書 教科書は使用しない。/Will not use textbook						
ガイダンス 特定日に行う。/Will conduct guidance at another time						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60240	A 2	ソウル大学校韓国語研修 ウィンタープログラム	三ツ井 崇	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要 <p>■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>TLP 韓国朝鮮語を履修している2年生、共通韓国朝鮮語(前期課程においては総合科目L系列の韓国朝鮮語)の中級以上の授業を履修している(履修したことがある)者、およびそれと同等の韓国朝鮮語能力を有する者を主たる対象として、ソウル大学校での語学研修を行う。会話を中心とした実践的な韓国朝鮮語力を身に付けることを目的とする。また、アクティブ・ラーニングや文化体験などを通じて韓国社会や文化について学ぶ。</p>						
成績評価方法 現地での活動状況、修了試験によって評価する。						
教科書 教科書は使用しない。/Will not use textbook						
ガイダンス 特に行わない。/Will not conduct guidance						

PEAK 科目

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50436	A	法・政治(PEAK)	FOOTE Daniel 杉之原 真子	PEAK 前期	火 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Law and Political Science The objective of the course is to familiarize the students with the basics of law and political science. The course will be taught by specialists in these fields.					
成績評価方法	Written examination at the end of the semester. Class participation (including submission of comments via Google Forms) will also be taken into account.					
教科書	その他。/Other Class materials will be distributed digitally via UTOL.					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50467	A	経済・統計(PEAK)	Griffen Andrew Shields	PEAK 前期	火 6	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	This is a topics course on economics and statistical models. We will approach the models from a mathematical, empirical, and applied perspective. Students will be expected to solve mathematical models however assigned readings will be used to frame the models and issues in an applied way. The overall goal is to give you a sense of how economics and statistics can be used to answer policy important questions. Topics will include markets, supply and demand, competition, monopoly, public goods, the commons, environmental policy, human capital, economic history, GDP, economic growth, monetary policy, finance, and AI.					
成績評価方法	1. Homework There will be a small weekly homework assignment on Google classroom. 2. Quizzes There will be pop quizzes during the semester. This is to encourage punctuality, attendance, and for you to follow along with the course. 3. Exams There will be a cumulative final exam on the last day of class.					
教科書	教科書は使用しない。/Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50137	A	国際関係(PEAK)	鈴木 早苗	PEAK 前期	月 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Introduction to International Relations This is an introductory course on international relations and aims to obtain theoretical perspectives to understand international phenomena. We plan to cover a wide range of issues related to international relations. This course consists of three parts. The first concerns history and structure of international system to learn basic concepts in international relations. The second part deals with how to order and manage international system and the role of nation-states. Finally, we will learn how to analyze transnational and global issues beyond nation-state in international relations.					
成績評価方法	participation (40%), final exam (60%)					
教科書	授業中に指示をする。/Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。/Will not conduct guidance					

PEAK 科目

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50013	A	哲学・倫理(PEAK)	佐藤 邦政	PEAK 前期	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Introduction to Non-Ideal Epistemology This class is designed to examine a wide range of basic topics in contemporary non-ideal epistemology. In the analytic tradition, epistemology tended to focus exclusively on the nature of justification and knowledge, but in recent years, various branches of epistemology, such as social, virtue, and feminist epistemology, are exploring epistemological issues about testimony, epistemic injustice and oppression, the ethics of belief, propositional ignorance, and liberatory intellectual virtue and vice. This class offers students many opportunities to deepen the understanding of the contemporary non-ideal epistemology so that they will be able to consider many classical and contemporary questions, including a way to rectify epistemic disfunctions in the present social world. Learning goals: First, students will acquire historical and contemporary perspectives about non-ideal epistemology, such as dispute over the nature of ignorance. Second, students will acquire questioning competences through active participation in group discussion so that they will clearly express their views.					
成績評価方法	Grade: Your grade is determined by participation in the group questioning practice in each class (13 times) (about 70%) and term paper submission (30% max.). I will adjust grades to expected levels for undergraduate programs. Regarding the term paper, students are assigned a term paper between 1000 and 2000 words (incl. any footnote, but excl. bibliography; the accepted file format is Word doc or PDF). Topic: As far as your paper addresses the themes discussed in the class, any topic is fine. Content: The term paper composes of the synopsis of the class argument and your critique of the discussion. Submission: the instruction is given in class.					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50977	A	思想・芸術I(PEAK)	山辺 恵理子	PEAK 前期	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Philosophical Issues in Education COURSE OBJECTIVES The aim of this course is to deepen students' understandings on education through philosophical dialogues on ethical and controversial issues in education. Abilities 1) to pose philosophical questions, 2) to think logically and critically, 3) to listen to counterarguments and to take them into serious account, 4) to reflect on one's own conceptions, perceptions, and assumptions and at times reshape or even abandon them, and 5) to read and write philosophical papers, are essential to philosophical dialogues, and thus will be developed and assessed in this course.					
成績評価方法	GRADING CRITERIA Class participation 30% Mid-term essay and in-class discussions 30% Final essay 40%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

PEAK 科目

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50667	A	思想・芸術III(PEAK)	GEILHORN Barbara	PEAK 前期	水 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Aesthetics and Politics of Japanese Theatre This course will scrutinize Japanese performing arts from the classics to the contemporary to provide the background necessary for a better understanding and appreciation. We will address topics such as: aesthetics and staging, contents of plays, historical background, relation between classical and contemporary performing arts and culture, as well as the social structure of the world of performing arts and their relevance for contemporary society. The readings will introduce students to theories and methods of analyzing artistic discourse and help them to situate their findings in the wider context of Japanese society and culture.					
成績評価方法	Students will be asked to undertake two pieces of work for assessment in addition to their participation in class discussion. • Class presentation. 20% A class presentation of no more than 20 mins that responds to the themes and readings for that work. The presentation should use PowerPoint or similar presentational media. • An essay of approx. 10 pages on a topic covered in the course. 65% Students are free to develop their own essay topic based on the course content in discussion with the professor. All essay topics should be approved by the professor before starting work. Due dates of essays will be discussed in the beginning of the semester. My preference is for your essay to be submitted as a word and a pdf document.					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50668	A	国際・地域I(PEAK)	高橋 史子	PEAK 前期	水 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Introduction to Comparative Education This course is designed to learn educational systems and topics in different countries including Japan, consider the role of international organizations in the field of education, and get familiarize with the approaches of comparative education research. The topics to be covered include the moral, social and cultural development in primary schooling, schoolteachers, minorities in education, higher education in a globalized world, educational transfer/policy borrowing and education during/after the Covid-19 pandemic. We will mainly focus on so-called “developed” countries in this course, so if you are interested in “developing” countries, other courses such as development studies or development education are recommended. In Week 1, the instructor will talk about the course objectives, schedule, assessment, as well as introduce some comparative educational research and the relevant work by the international organizations such as UN and OECD. After Week 2, the students will be expected to read the assignments about the topic for each week before the class. There will be a short lecture about the topic and a group/class discussion. The reading assignments will be shared on UTOL.					
成績評価方法	Students will be able to –understand the similarities and the differences of the educational systems in several countries, and –critically discuss the issues in the field of comparative education research. Final Paper 100% A student is expected to pick up a question from the list of the essay questions and answer it with a focus on two or three countries (societies). The class attendance will not be counted in your assessment; however, the group/class discussion will be helpful to answer the question in Final Paper. Thus, your attendance is highly encouraged.					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

PEAK 科目

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51046	A	社会・制度I(PEAK)	鈴木 早苗	PEAK 前期	金 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Global governance in International Society The concept of global governance has increasingly been important for last decades. We have observed emergence of an international society where states, international organizations and non-state actors attempted to address global problems and issues. This course provides an overview of concepts, processes and outcomes of global governance. The course is divided into three parts. The first introduces the current global governance structure, core concepts and theoretical perspectives on global governance. The second part focuses on actors in global governance: international and regional organizations and non-state actors, and examines how they play roles for global governance. The third part deals with issues in global governance ranging from security, economic to social aspects. The course addresses diverse empirical cases, and analyzes how and why processes differ across different issue areas. As a wrap-up session, we will discuss effectiveness of global governance incorporating concepts such as power, authority and legitimacy.					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	participation (40%), final exam (60%) 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50374	A	科学技術基礎論 (PEAK)	三村 太郎	PEAK 前期	火 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	History of Science: from Greek Science to Newton Science has an image of being a discipline that deals with unchangeable truths. but on the other hand, science has a long history dating back to ancient times, with various 'sciences' having been accomplished in different regions and at different times, forming the science of today. This lecture will provide an opportunity to look at science from the perspective of world history. In particular, I will trace how science was developed in each region and period, by what kind of people, for what purpose and in what form, from ancient times to the formation of modern science.					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	The final report will be required. 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50987	A	地球環境(PEAK)	成田 大樹	PEAK 前期	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Global environmental problems and sustainable development This course will introduce the students to the current debates surrounding the global environmental problems, such as climate change, transboundary air pollution, biodiversity loss, and the issues of natural resources and their use (water, etc.). In the course, we will not discuss environmental problems in isolation but view them as an element among other great social challenges of our time. Specifically, the course's perspective is summarized by the following basic questions: - People in the world are living under vastly different conditions in terms of income levels, etc. Given these differences, what kind of global environment should we aim for? - How can we form a global consensus on collective actions against environmental problems? On a more practical level, what are the existing global agreements and institutions on environmental management? - On a global scale, what kinds of environmental or resource limits are we bound by? Given the instructor's field of expertise, a particular attention will be paid to economic dilemmas of the global environmental problems, e.g., the needs for balancing environmental quality and poverty reduction. However, the lectures and class discussions also touch on various other aspects -- such as natural-scientific, policy (political and legal) and technological aspects -- of global environmental issues. From a methodological standpoint, the focus of lectures will be placed on: (i) how we can formulate consistent and comparable metrics regarding global sustainable development, which often needs to deal with vague concepts (e.g., "sustainability"); (ii) how we can distinguish reliable and unreliable data, and where we can find the latter in practice; (iii) what aspects of global sustainable development are potentially quantifiable, and what are not. The course is primarily designed for PEAK students, but participation of April-entry students (一般生、非 PEAK 学生) is also welcomed.					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	Grading will be made based on a class presentation and commentaries about class presentations (25%), a final essay (25%) and short exercises/assignments given at each class (50%). Details of each requirement will be given at class. 教科書は使用しない。/Will not use textbook 特に行わない。/Will not conduct guidance					

PEAK 科目

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50501	A	意思決定の数理 (PEAK)	前田 章	PEAK 前期	水 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Decision Analysis Policy makers in governments and management in businesses are experiencing ever more complex situations these days in light of their economic surroundings, stakeholders, organizations, etc. To make rational and sound decisions in policy making or management strategy, they seek for transparent methodologies and tools that have a basis on objective information and quantitative analyses. In this lecture, students will learn the theory and practice of Decision Analysis (DA). DA is a school among theories of decision making that is on the basis of probability, optimization, and expected utility theories, and that is intended to offer a framework of “normative” decision making. Related disciplines include management science/operations research and microeconomics. This lecture thus also works as a good introduction to these subjects.					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	Evaluation is based on take-home final exam (assignment). The details will be announced in due course. プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50179	A	コンピューティングの基礎 (PEAK)	甘蔗 寂樹	PEAK 前期	月 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Introduction to computing In recent academic and scientific researches, computer aided researches such as analysis and design have become more highlighted than before. In this class, beginners will touch the academic computing and learn how to create the numerical computing algorithms using MATLAB, a computer programming software.					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	Assignments and class participation プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50874	A	スポーツ・身体運動実習 II(PEAK)	竹下 大介、 金子 直嗣	PEAK 前期	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Recreational activities for the promotion of fitness and wellness Provide an understanding of the fitness components and the importance of good strength, flexibility and endurance in physical health and wellness. Expose students to variety of activities that can be incorporated into a daily lifestyle. Apply the training principles for the management of the fitness components.					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	a. Participation – 60% (minimum two-thirds attendance required) b. Effort in class activities – 25% c. Written Report – 15% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50139	A 1	電磁気学の基礎 (PEAK)	深津 晋	PEAK 前期	月 3, 月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Electromagnetism(PEAK) Electromagnetism is at the heart of the many natural sciences. In fact, all chemical bondings are nothing but the electromagnetic coupling, while diverse activities in living things are largely controlled by the electromagnetic, if not gravitational, interactions. This course is intended to be an introduction to the concepts of classical nonetheless modern theories of electromagnetism building on Maxwell’s equations plus Lorentz force. Key topics include electrostatics and magnetostatics, time-varying electric and magnetic fields with their origins, scalar and vector potentials, and electrodynamics. Relevant topics in view of potential applications will also be covered. A series of table-top, hands-on experiments for demonstrative purposes will be planned.					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	Homework assignments: 50% (Vector calculus 10%, Electrostatics 10% , Magnetostatics 10% , Electrodynamics 10%) Final exam.: 50% Total 100% 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

PEAK 科目

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50784	A	情報科学(PEAK)	未定	PEAK 前期	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Understanding Information and Information Environments Information science is an interdisciplinary science with a wide range of interests and goals. A major element in the field is concerned with fundamental information processes such as the acquisition and collection of information, the classification and storage of information, the manipulation and retrieval of information, as well as the analysis, dissemination, usage, and maintenance of information. Another focus in the course relates to the concept of information itself. Although the importance of information has been recognized in many fields, as a concept, information is difficult to define. The course, therefore, not only tries to familiarize students with the history and evolution of the field of information science, the course also investigates the fundamental question: What is information? Students completing the course will recognize the aims and goals of fundamental information processes. They will learn to analyze, evaluate, and appreciate the value that information science provides. In addition, students may develop an understanding of information on a deeper (philosophical) level. This understanding may help them to understand today's information society and modern technology from a more comprehensive information perspective.					
成績評価方法	By the end of the semester, students should: (i) be familiar with the history and evolution of the field of information science, (ii) understand fundamental information processes, (iii) have acquired an understanding about the notion of information from various points of view, and (iv) be able to reason about modern society and modern technology from an information perspective.					
教科書	Assignments and Class Participation: 40% Final Exam: 60%					
ガイダンス	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Luciano Floridi Information: A Very Short Introduction Oxford: Oxford University Press (2010) 978-0-19-955137-8 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50186	A	社会科学ゼミナール (PEAK)	ジロドウ イザベル	PEAK 前期	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Law, Technoscience and Society This course is an introduction to Law, Technoscience and Society as an emergent field of study. It explores the multifaceted interplay existing between law (environmental law, constitutional law, human rights law, criminal law, property law, international trade law) and technological developments in both life sciences and information sciences. Through interactive lectures, case studies, and the preparation of a final mini-project, students reflect in particular on how to address the growing gap between the pace of such developments and the lagging responsiveness of legal and ethical oversight society relies on to govern emerging technoscience.					
成績評価方法	Active participation in group and classroom discussions: 30%. Three 600-word write-ups: 30%. Final mini-project (joint oral presentation + individual 1000-word essay): 40%.					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

PEAK 科目

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50259	A	自然科学ゼミナール (PEAK)	前田 章、ウッドワード ジョナサン ロジャー、甘蔗 寂樹	PEAK 前期	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>Applications of Mathematics in the Sciences</p> <p>This course is designed to demonstrate how mathematical concepts that U. Tokyo students have learned in their pure mathematics classes are used and applied in advanced studies in the natural and social sciences. Understanding applications of mathematics in the sciences allows students to understand what they have learned more deeply, and helps them to realize the importance of mathematics for their advanced studies in the Senior Division programs.</p> <p>The course is delivered by three instructors from different fields of expertise, presenting three stories of the use of mathematics. Each part focuses on particular mathematical ideas and methods and gives examples of where they can be applied. The fields of academic discipline and topics are the following:</p> <p>Part I (physics / chemistry). The mathematical description of quantum mechanics: Complex linear vector spaces and bra-ket notation and their application in describing the fundamental property of spin.</p> <p>Part II (mathematical economics). Dynamic optimization and economic decision: Finding optimal lifelong consumption-savings plan.</p> <p>Part III (chemical and environmental engineering). Process modeling and control: Mathematical modelling and control systems related to industrial and environmental processes.</p>					
成績評価方法	<p>Grading for this course is based on those of three parts.</p> <p>Part I: Assignments, quizzes, attendance and participation</p> <p>Part II: In-class quizzes and attendance</p> <p>Part III: Assignments, attendance and participation</p>					
教科書 ガイダンス	<p>授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

